

令和5年度決算
事業担当課による
事務事業評価調書

豊後大野市

目 次

『 事業担当課による事務事業評価調書』

I 基本的な考え方	3 P
II 評価調書における各項目の説明	6 P
III 評価項目、評価対象事業の考え方及び今後の方向性	7 P
IV 課局別評価（事業の方向性）結果一覧表	8 P
V 事務事業評価調書	10 P
VI 課局別評価対象外事務事業一覧表	420 P

I 「事業担当課による事務事業評価」の基本的な考え方

○事務事業評価の目的

全ての業務は「手段」であって、活動することそのものに目的はなく、「成果」を生み出すことに「目的」があります。

しかし、業務を遂行した結果、どのような「成果」が生まれるのか、あるいは「行政サービスの受け手がどのようになるのか」について、あまり意識をせずに業務を行っているケースも見られます。

そこで「成果」を意識した計画立案を行うことや、「活動」した結果から生まれた「成果」について、担当職員や所属長等が「確認・共有化」を図るために、一次評価として担当係長が、二次評価として所属長等が事務事業を評価します。

また、担当職員自らが市民の目線で、実施した事業の目的や方法を客観的に見つめ直し、意識改革を図ります。

さらに、評価結果に基づき、目的達成のための課題や問題点を発見し、各課が主体的に改善・改革方法を考え実行していきます。

○事務事業の効率性の向上

事務事業を予算の執行率や事業の進捗度という観点からだけでなく、事務事業の目的や目標を明確にし、その成果・結果を明らかにすることによって、当初設定した目標の達成度等を客観的に評価し、その結果を行政運営の改善につなげることにより、市民の満足度の高い行政サービスを効率的に提供します。

○事務事業の見直しと予算編成への反映

不要・不急あるいは効果の小さい事務事業を明確にすることによって、事務事業の整理・合理化・廃止及び予算編成への反映やその効率的な配分を図ります。

事務事業担当課は、当初予算編成時に示されるシーリング（事業充当一般財源の要求上限額）の範囲内で、自ら積極的なマネジメント（事業の優先順位に伴う取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド等）により予算編成を行います。その際（マネジメント時）の判断材料（優先順位等の根拠）として事務事業評価を活用することとします。

○行政の透明性と市民への説明責任

事務事業の目的、内容、達成度などを市民に公表することによって、行政の透明性の向上を図るとともに市民に対する説明責任を果たします。

○職員の意識改革

評価活動を通して、担当する事務事業の目的意識・目標達成意識やコスト意識の浸透など、職員の意識改革を図ります。



総合計画の全体図

まちの将来像

人も自然もシアワセなまち

まちづくりの大綱

育ち合い、行動する、市民参画によるコミュニティづくり

基本理念

しごと・くらし・ひと・環境

政策

豊かな生活を支える
しごとがあるまち

施策

1. 農業の振興

- (1) 農業経営基盤を整備する
- (2) 多様な担い手を育成する
- (3) 農業生産基盤を整備する
- (4) ブランド化、販路拡大を強化する
- (5) 遊休農地の解消を推進する
- (6) 畜産業を支援する
- (7) 有害鳥獣対策を強化する

2. 林業の振興

- (1) 林業経営体を支援する
- (2) 林業生産基盤を整備する

3. 工業の振興

- (1) 企業誘致を推進する
- (2) 新たな産業を支援する

4. 商業・サービス業の振興

- (1) 経営基盤を強化する
- (2) 商店街を活性化する
- (3) 中心市街地を活性化する

5. 観光の振興

- (1) 新たな観光振興ビジョンを策定する
- (2) 観光情報発信を強化する
- (3) 観光拠点を整備する

6. 雇用環境の向上

- (1) 雇用創出の拠点を整備する
- (2) 就業環境を充実する
- (3) 勤労者福祉を向上する

政策

豊かな福祉社会の実現を
目指すまち

施策

1. 保健・医療サービスの充実

- (1) 健康づくり活動を推進する
- (2) 疾病予防を推進する
- (3) 地域医療環境を充実する

2. 地域福祉の充実

- (1) 地域福祉活動を推進する
- (2) 災害時における地域福祉を支援する

3. 結婚・出産・子育て支援の充実

- (1) 子育て支援サービスを充実する
- (2) 保育サービスを充実する
- (3) 男女の出会いの場を提供する

4. 高齢者福祉の充実

- (1) 介護サービスを充実する
- (2) 介護予防・地域包括ケアを充実する
- (3) 生きがいづくりを推進する

5. 障がい者福祉の充実

- (1) 障がい者福祉サービスを充実する
- (2) 自立支援サービスを充実する

6. 社会保障の充実

- (1) 低所得者福祉を充実する
- (2) 国民健康保険制度の健全な運営を推進する
- (3) 国民年金制度の健全な運営を推進する
- (4) 後期高齢者医療制度の健全な運営を推進する

政策

豊かなくらしと安心を
実感できるまち

施策

1. 交通ネットワークの整備

- (1) 市道を整備する
- (2) 国道・県道の整備を促進する
- (3) 公共交通の整備を促進する
- (4) コミュニティバスの運行を推進する

2. 上下水道の整備

- (1) 上下水道を整備する
- (2) 生活排水処理を推進する

3. 住宅環境等の整備

- (1) 市営住宅を整備する
- (2) 住宅団地を整備する
- (3) 公園・緑地を整備する

4. 土地利用・景観の整備

- (1) 都市計画区域を整備する
- (2) 地籍調査を推進する
- (3) 緑化を推進する

5. 環境衛生の推進

- (1) 汚水処理対策を充実する
- (2) 廃棄物対策を充実する
- (3) 葬斎場等の適正管理、公衆衛生を推進する
- (4) 循環型社会を形成する

6. 移住・定住の促進

- (1) 移住・定住を促進する

7. 交通安全・防犯対策の推進

- (1) 交通安全対策を推進する
- (2) 防犯対策を推進する
- (3) 消費者対策を充実する

8. 防災対策の充実

- (1) 防災体制を強化する
- (2) 災害危険区域を整備する
- (3) 災害対策を強化する

9. 消防・救急体制の充実

- (1) 消防・救急体制を強化する
- (2) 消防施設を整備する

10. 情報管理、情報化の推進

- (1) 適正な情報管理を強化する
- (2) 公聴・広報活動を充実する
- (3) ケーブルテレビ事業を充実する
- (4) 携帯電話不感地域を狭める

政策

豊かさをつなぐ協働によるまちづくり

施策

- 1. 地域コミュニティ活動の推進**
 - (1) 地域コミュニティを育成する
 - (2) 地域を支える人材を育成する
- 2. 協働によるまちづくりの推進**
 - (1) 協働の仕組みづくりと意識を高揚する
- 3. 広域連携の推進**
 - (1) 多様な広域連携を推進する
- 4. 主体的で計画的な行財政運営の推進**
 - (1) 事務事業の点検と改善を強化する
 - (2) 民間活力を推進する
 - (3) 公共施設の適正配置と整備を強化する
 - (4) 財政の健全な運営を図る
 - (5) 市職員のレベル向上を目指す

政策

豊かな心と学ぶ意欲を育むまち

施策

- 1. 学校教育の充実**
 - (1) 教育内容を充実する
 - (2) 教育体制を充実する
 - (3) 安心安全な教育環境をつくる
 - (4) 就学環境を充実する
 - (5) 高等学校を支援する
- 2. 生涯学習の推進**
 - (1) 生涯学習を推進する
 - (2) 公民館機能を充実する
 - (3) 図書館を整備する
- 3. スポーツの振興**
 - (1) 生涯スポーツを推進する
 - (2) スポーツ施設を整備する
 - (3) 競技スポーツを振興する
- 4. 文化・芸術の振興**
 - (1) 文化・芸術活動を推進する
 - (2) 文化活動施設を整備する
 - (3) 友好都市との交流を推進する
- 5. 文化財等の保存・継承**
 - (1) 文化財等の保存・継承・活用を推進する
- 6. 人権尊重社会の実現**
 - (1) 人権が尊重される地域社会を実現する
 - (2) 男女共同参画社会づくりを推進する

政策

豊かな自然を未来に残し伝えるまち

施策

- 1. ジオ・自然との共生**
 - (1) 自然教育を推進する
 - (2) 大地の恵み、ジオを継承する
 - (3) 生物多様性を保全する
- 2. 環境保全の推進**
 - (1) 環境保全対策を推進する
 - (2) 自然保護対策を推進する
 - (3) 環境美化活動を推進する
 - (4) 景観を保全・形成する

II 評価調書における各項目の説明

事業番号 枝番 (令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) (様式1)
 細事業と評価事業の枝番 (令和5年度決算) 事務事業評価調書 課局名 係名

事業 事務事業 細事業 細事業名 実施計画事業 評価事業の実施計画の事業名 終了年度 終了年度が予定されているものは記入

総合計画体系図№ ()

会計 一般 政策 評価事業の総合計画後期基本計画に基づく「政策」「施策」「施策の展開」の体系図

款 政策 展開

目 予算所在・決算事業概要書のページ 前期基本計画 後期基本計画のページ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当

個別計画名 期間 評価事業の位置づけられている市の個別計画 期間 令和5年度 主な歳出名称 評価事業の主な歳出予算の内容 当初予算額

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	Plan	年度	主な活動実績	Do	事業費計	財源内訳 (単位: 千円)			
						国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的>	事業の目的	R3	活動実績 ※R6年度以降は、決算後記入	R3計画	当初予算				
		決算額							
<令和5年度の取組内容(計画)>	取組内容	R4	R4計画	当初予算	実施計画事業に係る事業費と財源内訳 ・計画額はR7年度まで記入 ・当初予算額はR6年度まで記入 ・決算額はR5年度まで記入				
		決算額							
		R5	R5計画	当初予算					
				決算額					
		R6	R6計画	当初予算					
				決算額					
		R7	R7計画	当初予算					
				決算額					
		R3 ~ R7 合計			計画額				
				当初予算					
				決算額					

II 評価調書における各項目の説明

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	活動指標 評価事業の業務の量を数値化して表すための指標名とその算出にかかる説明	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	成果指標 評価事業の目的を数値化して表すための指標名とその算出にかかる説明	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

左記で設定した指標の実績
※中段=各年度の実績、下段=目標値に対する達成率

E 評価対象外の理由 評価事業の分析(担当課) ※基準は別紙参照 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目 / 5つの視点 (1~5点で評価)	Check	一次評価 (係長)		二次評価 (課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	点		点	
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	点		点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	点		点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点	点	点	点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点	点 / 25点	点	点 / 25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方 Action

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

I 令和7年度の事業の方向性 ⇨ 評価事業の翌年度(担当課) ※確定ではない

Ⅲ 評価項目、評価対象事業の考え方及び今後の方向性

※事業担当課による評価

《評価項目》

評価項目	分析基準（1～5点で評価）
1. 市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている
2. 事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた
4. 活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した
5. 成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した

《評価対象事業の考え方》

※原則、市が実施する予算を伴う全事業。ただし、以下の義務的な事務事業等は評価対象外とする

評価対象外の項目
1. 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
2. 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
3. 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
4. 国県が河川、道路等を直轄で行う事業で、市がその経費の一部を法律等で負担しなければならない負担金事業
5. 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
6. 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
7. 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
8. 公共施設（箱物）の新築や大規模改修
9. その他（評価が困難な事務事業）

《今後の方向性》

方向性の区分	判断基準
A 現状のまま継続	・現状の事業内容や経費などに変更が無く、今後も実施する事務事業 ・事業の目的を達成するためには、現状どおりの事業手段で継続することが適当と認められる事務事業
B 見直しの上で継続 （1 拡 充）	・市民のニーズや社会情勢から事業を拡大していくことが適当と判断される事務事業 ・事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進すべき事務事業
B 見直しの上で継続 （2 手段等の改善）	・事業の対象や手段（活動内容）等を見直すことにより、成果が向上すると判断される事務事業
B 見直しの上で継続 （3 効率化/RPA等）	・電子化、民間委託や事務の見直し等により事務の効率化や経費削減が見込まれる事務事業
B 見直しの上で継続 （4 縮 小）	・費用負担を軽減しても、成果及び市民サービスの低下をもたらさないと認められる事務事業 ・利用者、対象者の減少など市民ニーズの低下傾向がみられる事務事業 ・市民ニーズを上回るサービス提供となっている事務事業
B 見直しの上で継続 （5 統 合）	・他の事業等と対象、手段、意図が類似し、統合することにより経費の削減や効率化が図られる事務事業
C 終了	・目的を達成した事業、評価年度で終了する事務事業 ・成果指標等の達成、補助団体等の発展的解消や事業期間が終了する事務事業
D 休 止	・事業の成果や財政状況等により、一時的に休止がやむを得ないと判断される事務事業 ・暫定的に休止する事務事業（隔年または不定期に実施する事務事業）
E 廃 止	・実施の妥当性が認められないまたは実施の必要性が低い事業、成果が認められない事務事業 ・利用者、対象者の減少などにより市民ニーズが著しく低下した事務事業

IV 課局別評価(事業の方向性)結果一覧表

担当課局係名	評価対象 事業数	評価対象の令和7年度事業の方向性									評価対象 外事業
		継続	見直しの上で継続					終了	休止	廃止	
			拡充	手段等 の改善	効率化/ RPA等	縮小	統合				
総務課	総務係	4									4
	ケーブルテレビ管理係	1		1							
	人事給与係	4	4								
	広報広聴係	2	2								
	情報推進係	4	3				1				
	防災対策係	9	9								
財政課	管財係	3	3								
	財政係	4	3								1
	契約検査/財政係	1	1								
税務課	収納管理係	2	2								
まちづくり推進課	企画調整係	16	8	1	5						2
	地域振興係	23	20	1	2						
	文化芸術振興係	3	3								
	朝倉文夫記念館係	3	3								
市民生活課	戸籍住民係	5									5
	国保年金係	3									3
	健康づくり支援係	8	7								1
	親子健康係	11	9								2
	食育推進係	2	2								
環境衛生課	清掃センター係	2	2								
	環境衛生係	11	8		1		1				1
	白鹿浄化センター係	1	1								
人権・部落差別 解消推進課	人権・部落差別 解消推進係	7	7								
	男女共同参画係	1	1								
	隣保館係	6	5		1						
社会福祉課	生活保護係	9	5		2	1					1
	福祉監査係	10	6								4
	障がい支援係	31	18	1			1				11
子育て支援課	こども支援係	37	20	1			1		2		13
	家庭支援係	23	6	3	4						10
	緒方保育園	4	2								2
高齢者福祉課	いきいき高齢者係	20	19								1
	地域包括ケア推進係	3	3								
	介護保険係	2									2

IV 課局別評価(事業の方向性)結果一覧表

担当課局係名		評価対象 事業数	評価対象の令和7年度事業の方向性									評価対象 外事業
			継続	見直しの上で継続					終了	休止	廃止	
				拡充	手段等 の改善	効率化/ RPA等	縮小	統合				
農業振興課	担い手支援係	20	16	1	2					1		
	畜産振興係	12	11									1
	農政企画係	8	8									
	農業再生協議会	2	2									
	農業振興係	15	11									4
農林整備課	地籍調査係	1	1									
	基盤整備係	11	8									3
	林業振興係	17	16					1				
	農林企画係	3	3									
商工観光課	経済振興係	15	13				1		1			
	観光振興係	10	8		2							
建設課	建設企画係	5	2						1			2
	道路保全係	12	7	2					1			2
	道路建設係	7	7									
	都市計画建築係	6	4		2							
上下水道課	工務係/管理係	7	1									6

【教育委員会】

学校教育課	教育総務係	10										10
	学校教育係	40	19	1				1				19
	学校給食係	1	1									
社会教育課	スポーツ推進係	7	6									1
	図書館係	4	2					2				
	文化財係	4		3								1
	社会教育係	17	12		2							3

【その他部局】

議事事務局	議会係	3	2									1
会計課	会計管理係	1	1									
選挙管理委員会事務局	選挙係	2	1									1
監査事務局	監査係	1	1									
農業委員会事務局	農地管理係	4	2									2

【消防本部】

総務課	消防保安係	2	1	1								
	総務係	5	3						2			

合計		527	351	16	23	1	4	5	8	0	2	117
----	--	-----	-----	----	----	---	---	---	---	---	---	-----

事業	議会運営事業	細事業	議会会議録調製事務	実施計画事業	議会会議録調製事務事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (275)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 筆耕翻訳料 1,980 会議録検索システム更新業務委託料 277 会議録検索システム使用料 779 音声認識システム等使用料 542	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち			
款	1	施策	10 情報管理、情報化の推進			
項	1	施策展開	② 広聴・広報活動を充実する			
目	1	後期基本計画	71 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	11					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 会議録に審議経過・議決結果を正確に作成し、保存する。また、作成した会議録をHP(ホームページ)等で公開し、いつでも検索できるようにする。これらにより、市民への情報公開と市政への参加を推進する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ○本会議録の作成 ○本会議録のホームページ公開</p>	R3	定例会4回、臨時会2回の本会議会議録の作成 本会議会議録のホームページ公開	R3計画 3,968 当初予算 3,968 決算額 2,554				3,968	
	R4	定例会4回、臨時会2回の本会議会議録の作成 本会議会議録のホームページ公開	R4計画 3,968 当初予算 3,660 決算額 2,909				3,968	
	R5	定例会4回、臨時会1回の本会議会議録の作成 本会議会議録のホームページ公開	R5計画 3,968 当初予算 3,578 決算額 2,888				3,968	
	R6		R6計画 3,968 当初予算 3,200 決算額				3,968	
	R7		R7計画 3,968 当初予算 決算額				3,968	
	R3 ~ R7 合計			計画額 19,840 当初予算 14,406 決算額 8,351				19,840 14,406 8,351

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 会議録作成回数(会議録HP更新回数)	定例会年4回、臨時会は年3回程度	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	回	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	6	6	5		
					% 達成率					
					目標値					
D 成果指標 1 会議録HP閲覧件数	会議録ホームページに掲載した会議録の閲覧件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	1,479	回	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,276	1,451	2,173		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
					目標値					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
					目標値					

E 評価対象外の理由 〇評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	25点	5点	25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 本会議会議録の作成と検索システムの情報の追加・更新を適時行っており、市民への情報公開を適切に行っている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業は、計画どおり、適時適切に行った。次年度以降も同様の取組が必要である。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	議会運営事業	細事業	議会だより編集発行事業	実施計画事業	議会だより編集発行事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (274)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 10 情報管理、情報化の推進				
款	1	施策展開 ②広聴・広報活動を充実する	期間	年度 ~ 年度	印刷製本費	3,010
項	1	後期基本計画 71 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	期間	年度 ~ 年度	議会広報点字版・音声版作成委託料	367
目	1					
決算	11					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 議会の考えや活動状況を広く市民に情報提供するため、広報紙を発行する。また、発行した広報紙をHP(ホームページ)に掲載し、いつでも閲覧できるようにする。これらにより、市民への情報公開と市政への参加を推進する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ○ 広報紙の編集・発行 年5回(定例号4回、臨時号1回) ○ 広報紙点字版・音声CDの発行 ○ 広報紙PDF版・音声版のホームページ掲載</p>	R3	○ 広報紙の編集・発行 年5回(定例号4回、臨時号1回) ○ 広報紙点字版・音声CDの発行 ○ 広報紙PDF版・音声版のホームページ掲載	R3計画 3,105 当初予算 3,105 決算額 2,206				3,105 3,105 2,206	
	R4	○ 広報紙の編集・発行 年4回(定例号4回) ○ 広報紙点字版・音声CDの発行 ○ 広報紙PDF版・音声版のホームページ掲載	R4計画 2,958 当初予算 3,043 決算額 1,989				2,958 3,043 1,989	
	R5	○ 広報紙の編集・発行 年5回(定例号4回、臨時号1回) ○ 広報紙点字版・音声CDの発行 ○ 広報紙PDF版・音声版のホームページ掲載	R5計画 3,105 当初予算 3,377 決算額 2,513				3,105 3,377 2,513	
	R6		R6計画 2,958 当初予算 3,526 決算額				2,958 3,526	
	R7		R7計画 3,105 当初予算 決算額				3,105	
	R3 ~ R7 合計			計画額 15,231 当初予算 13,051 決算額 6,708				15,231 13,051 6,708

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 広報紙発行回数 定例会号年4回 臨時会号年1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	回	目標値	5	4	5	4	5
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5	4	5		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 ○ 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	16点	/25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
「議会だより」を定例会・臨時会の開催にあわせて適時発行しており、議会での各議員の対応などの情報を広く提供・発信している。インターネット中継のVOD配信と併せてQRコードの掲載などにより、誌面と映像の共有が図られた。
議会広報編集特別委員会の決定により、今後の編集方法に変更があった場合には、次年度以降の当初予算で対応していく必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和5年度は、広報紙を計画どおりに適正に発行できており、UDフォントの導入など、可読性などを向上させる取組も実施している。
令和6年度も、試行等を重ねながら、議会活動に対する市民の関心が向上する取組が必要である。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	総務一般管理事業	細事業	職員研修事業	実施計画事業	職員研修事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進		期間	年度	年度			職員研修委託料	2,000
項	1	施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり		期間	年度	年度			普通旅費	581
目	1	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		期間	年度	年度			講師謝礼金	150
決算	12				期間	年度	年度			実費弁償	50

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 各種研修を通じ、職員の資質及び能力の向上を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・市独自研修(新採用職員研修、人権研修、ハラスメント研修等) ・大分県自治人材育成センター研修 ・市町村アカデミー研修</p>	R3	・市独自研修 886名 ・大分県自治人材育成センター研修 171名	R3計画 2,925 当初予算 2,925 決算額 1,511			230	2,695	
	R4	・市独自研修 参加者1005人 ・大分県自治人材育成センター研修 参加者186人 ・市町村アカデミー研修 参加者1名 ・計1,192人	R4計画 2,925 当初予算 2,905 決算額 1,976			230	2,695	
	R5	・市独自研修 参加者717人 ・大分県自治人材育成センター研修 参加者259人 ・計976人	R5計画 2,925 当初予算 2,873 決算額 1,473			230	2,695	
	R6		R6計画 2,925 当初予算 2,859 決算額			230	2,695	
	R7		R7計画 2,925 当初予算 決算額			230	2,695	
	R3 ~ R7 合計			計画額 14,625 当初予算 11,562 決算額 4,960			1,150	13,475

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 各種研修機会の提供 市独自研修 5回、県自治人材育成センター研修 1回、市町村アカデミー研修 1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	回	目標値	7	7	7	7	7
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	7	8		
		%			達成率	100	100	114.3		
D 成果指標	1 研修受講者数 各種研修の受講者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	1,411	名	目標値		1,192	976		
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,057	1,192	976		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率		100	100	

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1点	19点	1点	21点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
市独自研修について、年度毎に職員の資質の向上につながる研修を企画し実施する。また、大分県自治人材育成センターが実施する研修を有効活用し、多分野の研修への参加を促進する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引き続き、職員に対して、資質の向上に資する研修の機会を提供する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	福利厚生事業	細事業	メンタルヘルス相談事業及び職場復帰支援事業	実施計画事業	メンタルヘルス相談事業及び職場復帰支援事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------------------	--------	-----------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (305)		個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	ストレスチェック業務委託料	991
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進	メンタルヘルス相談業務委託料	546
項	1	施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり	安全衛生産業医報酬	540
目	1	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	費用弁償	15
決算	13				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 合同衛生委員会の開催及び公認心理師によるカウンセリングを実施し、職員の健康管理や仕事と家庭の調和を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・合同衛生委員会の開催 ・月に45時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談(衛生管理者) ・月に80時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談(産業医) ・産業医による職場巡視 ・ストレスチェックの実施 ・高ストレス者に対する精神科医師面談 ・公認心理師によるカウンセリング ・休職者等の職場復帰支援</p>	R3	合同衛生委員会 8回開催 ストレスチェック事業 575名 メンタルヘルス相談事業 12回開催延べ相談者数44名	R3計画 2,380 当初予算 2,380 決算額 1,499				2,380	
	R4	・合同衛生委員会の開催 12回 ・月に45時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談(衛生管理者) 23人 ・月に80時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談(産業医) 0人 ・産業医による職場巡視 65所 ・ストレスチェックの実施 580人 ・高ストレス者に対する精神科医師面談 1人、公認心理師面談 8人 ・公認心理師によるカウンセリング 12日 47件 ・休職者等の職場復帰支援 随時面談実施	R4計画 2,380 当初予算 2,218 決算額 1,286				2,380	
	R5	・合同衛生委員会の開催 12回 ・月に45時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談(衛生管理者) 44人 ・月に80時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談(産業医) 0人 ・ストレスチェックの実施 569人 ・高ストレス者に対する精神科医師面談 1人、公認心理師面談 10人 ・公認心理師によるカウンセリング 12日 58件 ・休職者等の職場復帰支援 随時面談実施	R5計画 2,380 当初予算 2,092 決算額 1,297				2,380	
	R6		R6計画 2,380 当初予算 2,092 決算額				2,380	
	R7		R7計画 2,380 当初予算 決算額				2,380	
	R3 ~ R7 合計			計画額 11,900 当初予算 8,782 決算額 4,082				11,900 8,782 4,082

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 衛生活動開催回数 各課等の事業場単位で、所属長が主体となって実施する衛生活動の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	390	回	目標値	660	660	660	660	660
					実績値	660	588	564		
					% 達成率	100	89.1	85.5		
2 カウンセリングの実施	「職員サポート相談会」の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	12	12	12		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 合同衛生委員会の開催回数 別途、委員会を設置している市民病院を含めた市の合同衛生委員会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	8	12	12		
					% 達成率	66.7	100	100		
2 カウンセリング相談件数	毎月実施する「職員サポート相談会」の実施に伴う相談件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	48	件	目標値	36	36	36	36	36
					実績値	44	47	58		
					% 達成率	122.2	130.6	161.1		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1点	1点	1点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	5点	21点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
合同衛生委員会は、職員の健康管理及び職場環境の改善等に資するため、毎月1回開催し、職場巡視の報告、衛生管理者による健康診断結果の分析報告などを行った。今後も労働安全衛生法に基づき必要な会議を開催し、衛生管理者を有効に活用しながら委員会の充実を図る。
ストレスチェック事業は、正規職員、再任用職員、会計年度任用職員、569人を対象にwebによるチェックを実施し、高ストレス者については、公認心理師及び産業医による面談を実施した。今後もストレスチェックを実施し、高ストレス者に対してはカウンセリングに声かけするなど、メンタルヘルスの維持・改善に資するよう取り組みを推進する。
メンタルヘルス相談事業は、公認心理師が専門知識を活用し相談者が抱える悩み事や困り事を解決することと併せ、相談者の相談内容は完全秘密という形態をとっているため、職員からの相談件数も毎回定員に近い件数となっている。適切なアドバイスによりメンタルヘルスの維持・改善に有効であるため、今後も継続して実施する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
労働安全衛生法上必要な事業であり、今後もより効果的な事業の推進が図られるよう取り組む必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	福利厚生事業	細事業	職員健診事業	実施計画事業	職員健診事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (305)		政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進				
款	2	施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり				
項	1	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1	決算	13	期間	年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 疾病の予防、早期発見、早期治療をめざした健診事業を実施し、職員の健康保持増進を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・総合検診 ・要精密検査対象者への受診勧奨 ・対象は、正規職員、再任用職員、会計年度任用職員</p>	R3	正規職員 486名 会計年度任用職員 65名	R3計画 6,177 当初予算 6,177 決算額 5,494				6,177 6,177 5,494	
	R4	職員健診事業 ・正規職員 475人 ・再任用職員 23人 ・会計年度任用職員 113人 ・計611人受診(受診率100%)	R4計画 6,170 当初予算 8,698 決算額 6,335				6,170 8,698 6,335	
	R5	職員健診事業 ・正規職員 466人 ・再任用職員 22人 ・会計年度任用職員 108人 ・計596人受診(受診率100%)	R5計画 6,170 当初予算 7,499 決算額 6,097				6,170 7,499 6,097	
	R6		R6計画 6,170 当初予算 7,079 決算額				6,170 7,079	
	R7		R7計画 6,170 当初予算 決算額				6,170	
	R3 ~ R7 合計			計画額 30,857 当初予算 29,453 決算額 17,926				30,857 29,453 17,926

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 周知件数 事業対象者への受診周知件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	560	件	目標値		611	596		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	575	611	596		
		% 達成率				100	100			
D 成果指標	1 受診率 受診対象者の受診率	<input type="checkbox"/> 総合計画	99.8	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100	100		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1点	1点	1点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		21点	21点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和5年度の受診率は100%で、今後も職員の健康増進のため事業を継続する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 今後も職員の健康増進のため事業を継続する。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	福利厚生事業	細事業	職員互助会事業	実施計画事業	職員互助会事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.→ (305)		政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	施策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進		期間	年度 ~ 年度			職員互助会負担金	2,499
款	2	施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり							
項	1									
目	1	後期基本計画	80 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	
決算	13									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市職員の相互共済及び福利増進 <令和5年度の取組内容(計画)> 事業に必要な経費の一部負担金の交付	R3	理事会への参加 3回	R3計画 2,499				2,499
			当初予算 2,499				2,499
			決算額 2,499				2,499
	R4	理事会への参加 2回開催のうち2回出席	R4計画 2,499				2,499
			当初予算 2,499				2,499
			決算額 2,499				2,499
	R5	理事会への参加 2回開催のうち2回出席	R5計画 2,499				2,499
			当初予算 2,499				2,499
			決算額 2,499				2,499
	R6		R6計画 2,499				2,499
			当初予算 2,499				2,499
			決算額				
	R7		R7計画 2,499				2,499
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 12,495				12,495
			当初予算 9,996				9,996
			決算額 7,497				7,497

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 理事会への参加	参加回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	3	2	2		
						% 達成率	100	66.7	66.7		
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値	3				
						% 達成率					
D 成果指標	1 適正な負担額	互助会事業費に対する負担額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,499	千円	目標値	2,499	2,499	2,499	2,499	2,499
						実績値	2,499	2,499	2,499		
						% 達成率	100	100	100		
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1点	2点	14点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	3点	
		16点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 事業内容については毎年度見直し、会員が利用しやすい環境を整えていく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 次年度に向け一部事業内容の見直しが図られた。毎年度の実績を踏まえ、事業内を見直し改善していく必要がある。
---	--

事業	財政管理事業	細事業	基金運営管理事業	実施計画事業	基金運営管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (311)		会計 一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名 第2次豊後大野市総合計画後期基本計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 財政調整基金積立金 減債基金積立金 公共施設整備基金積立金 地域振興基金積立金	当初予算額 18,002 4,238 8,275 1,077
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進				
項	1	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化				
目	2	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	14						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 年度間の財源の不均衡を調整するため、地方債の計画的な償還を行うため、将来の特定の財政需要に備えるため</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・当初予算編成において、財源不足調整のため財政調整基金の繰入を見込む。また、対象事業に対して目的基金を充当する。 ・基金運用から生じた利子の積立をする。 ・前年度決算の実質収支額1/2以上を財政調整基金に積立</p>	R3	財政調整基金残高 5,957,067千円 減債基金残高 1,937,011千円 公共施設整備基金残高 4,882,556千円 地域振興基金残高 2,848,357千円	R3計画 22,153			22,153	
			当初予算 22,153			22,153	
			決算額 229,677			79,662	150,015
	R4	財政調整基金残高 5,501,302千円 減債基金残高 1,940,306千円 公共施設整備基金残高 4,844,181千円 地域振興基金残高 2,775,836千円	R4計画 22,153			22,153	
			当初予算 20,106			20,106	
			決算額 60,353			60,353	
	R5	財政調整基金残高 5,835,382千円 減債基金残高 2,006,874千円 公共施設整備基金残高 4,380,635千円 地域振興基金残高 2,672,261千円	R5計画 22,153			22,153	
			当初予算 31,591			31,591	
			決算額 133,386			70,076	63,310
	R6		R6計画 22,153			22,153	
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 22,153			22,153		
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 110,765			110,765	
			当初予算 73,850			73,850	
			決算額 423,416			210,091	213,325

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 財政調整基金残高30億円	<input type="checkbox"/> 総合計画	5,864,547	円	目標値	2,920,123	2,918,530	3,000,000		
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	5,957,067	5,501,302	5,835,382		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	204	188.5	194.5		
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 引き続き適正な基金管理に努めることとし、基金管理計画を作成し実施する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、適正な基金管理に努めるとともに、中長期的な視点をもって基金の運用を図っていくことが必要である。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
5002	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	財政課	係名	財政係
-----	-----	----	-----

事業	財政管理事業	細事業	連結財務諸表作成事業	実施計画事業	連結財務諸表作成事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (316)

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
款	2	施策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
項	1	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化
目	2	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	14		

個別計画名	第2次豊後大野市総合計画後期基本計画
期間	R3 年度 ~ R7 年度
期間	年度 ~ 年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
財務書類作成支援業務委託料	3,036

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 連結財務諸表の作成により、公共施設等を総合的・統括的に管理・運営・活用するとともに、財政の見える化を推進する</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 総務省からの「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき財務書類の作成を委託</p> <p><連結対象> ・一般会計 ・公営企業会計(6会計) ・公営事業会計(3会計) ・一部事務組合・広域連合(大分県消防補償等組合など4団体5会計) ・豊後大野市土地開発公社 ・豊後大野市農業農村振興公社 ・ぶんごおおのエナジー</p>	R3	連結財務諸表等の作成・ホームページでの公表
	R4	連結財務諸表等の作成・ホームページでの公表
	R5	連結財務諸表等の作成・ホームページでの公表
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	2,948				2,948
当初予算	2,948				2,948
決算額	2,948				2,948
R4計画	2,948				2,948
当初予算	2,948				2,948
決算額	2,948				2,948
R5計画	2,948				2,948
当初予算	3,036				3,036
決算額	3,036				3,036
R6計画	2,948				2,948
当初予算					
決算額					
R7計画	2,948				2,948
当初予算					
決算額					
計画額	14,740				14,740
当初予算	8,932				8,932
決算額	8,932				8,932

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 対象決算の翌年度までに連結財務諸表の作成する		<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1		
			<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	1		
	2 わかりやすい財務諸表の作成	わかりやすい財務諸表を作成し、公表する	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1		
			<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	1		
D 成果指標	1 連結財務諸表の完成と公表		<input type="checkbox"/> 総合計画	1	回	目標値	1	1	1		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	1	1		
	2 公表周知	市のホームページに掲載し、公表周知を図っている。	<input type="checkbox"/> 総合計画	1	回	目標値	1	1	1		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	1	1		
					%	達成率	100	100	100		
					%	達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
連結対象の数が多く、事務負担が多い反面、担当する職員は他の財政業務を兼務しているおり多くの時間をかけられないため、事業に対する深いリテラシーが必要である。このため担当職員のスキルアップを図るための研修等に参加することは有意義だと考えるが、他業務との兼ね合いもあり、困難となっている。また、現状は外部委託の作成支援により行っているが、これらを活用した公共施設マネジメント等には至っていないのが現状。しかしながら、国は積極的に推進を図っていることや、活用方法によっては限られた財源を賢く使うことにつながるから、今後もさらなる事業の推進が必要となると考えられるが、現状の職員配置では困難なため、一担当業務としての職員の配置が必要と考える。	連結財務諸表等については、本市での活用方策等を具体化する中で現実的な対応を求めていく必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	財政管理事業	細事業	財政管理事務費	実施計画事業	財政管理事務事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (316)		会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	2	施策 4 主体的で計画的な行財政運営の推進	起債システム保守管理委託料					581
項	1	施策展開 ②健全な財政運営と財政基盤の強化	行政情報サービス使用料					423
目	2	後期基本計画 80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	公共施設マネジメントシステム利用料					833
決算	14							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 持続可能な財政基盤の確立を図り、計画的で健全な財政運営を行う</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・起債償還等の適正管理を行う ・Ijumpで行政情報収集を行う ・長期的な修繕計画等の包括的な管理を行う</p>	R3	・入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を執行した。 ・入札・契約管理システムを使用し、契約管理を行った。	R3計画 3,926 当初予算 3,926 決算額 3,607				3,926	
	R4	・入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を執行した。 ・入札・契約管理システムを使用し、契約管理を行った。 ・公共施設マネジメントシステムを使用し、長期的な修繕計画等の包括的な管理を行った	R4計画 4,263 当初予算 4,263 決算額 4,017				4,263	
	R5	・起債の適正管理を行った ・Ijumpで行政情報収集を行った ・長期的な修繕計画等の包括的な管理を行った	R5計画 1,937 当初予算 1,937 決算額 1,936				1,937	
	R6		R6計画 1,999 当初予算 決算額				1,999	
	R7		R7計画 1,999 当初予算 決算額				1,999	
	R3 ~ R7 合計			計画額 14,124 当初予算 10,126 決算額 9,560				14,124

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標		<input type="checkbox"/> 総合戦略		件	目標値					
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値					
D 成果指標		<input type="checkbox"/> 総合戦略			達成率					
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 公共施設マネジメントシステムについてはシステムを使った効率的な運用を検討する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 公共施設マネジメントシステムの活用の要否について検討する必要がある。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	財政管理事業	細事業	契約検査事務費	実施計画事業	契約検査事務費	終了年度	なし
----	--------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (316)		会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	2	施策 4 主体的で計画的な行財政運営の推進	期間		年度	年度	入札・契約管理システム保守管理委託料			830
項	1	施策展開 ②健全な財政運営と財政基盤の強化	期間		年度	年度	入札・契約管理システム改修業務委託料			4,000
目	2	後期基本計画 80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	期間		年度	年度	県共同利用型電子入札システム負担金			3,800
決算	14									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 持続可能な財政基盤の確立を図り、計画的で健全な財政運営を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を執行する。 ・入札・契約管理システムを使用し、契約管理を行う。</p>	R3		R3計画				
			当初予算				
			決算額				
	R4		R4計画				
			当初予算				
			決算額				
	R5	・入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を執行した。 ・入札・契約管理システムを使用し、契約管理を行った。	R5計画				
			当初予算	8,681	900		7,781
			決算額	7,619	1,947		5,672
	R6		R6計画	4,263			4,263
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	4,263			4,263
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	8,526			8,526
			当初予算	8,681	900		7,781
			決算額	7,619	1,947		5,672

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 入札執行	<input type="checkbox"/> 総合戦略	400	件	目標値	316	393	411	300	300
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	316	393	411		
		% 達成率			100	100	100			
		目標値			300	372	381	300	300	
2 契約管理	<input type="checkbox"/> 総合戦略	372	件	実績値	300	372	381			
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			達成率	100	100	100			
				目標値						
				実績値						
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率								
		目標値								
2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画				実績値					
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				% 達成率					
	<input type="checkbox"/> 個別計画				目標値					
					実績値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>・入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を適正に執行することができた。 ・入札・契約管理システムを使用し、適正に契約管理を行うことができた。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>入札・契約管理システム及び大分県共同利用型入札システムの利活用により適正に入札を執行することができた。また、市の入札・契約管理システムの、より効率・効果的な利用促進を図るため、システムの改善について不断の見直しをしていくことが必要である。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	会計管理事業	細事業	会計管理事業	実施計画事業	会計管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (316)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 印刷製本費 755 手数料 21,277	当初予算額
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり			
款	2	施策	4 主体的で計画的な財政運営の推進			
項	1	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化			
目	3	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	15			期間 年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 公金出納事務の適正かつ迅速な執行を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出) ・支払に伴う伝票審査 ・基金の運用・管理 ・決算の調製 ・窓口取納業務 ・経理事務説明会の実施 ・公金管理運用検討委員会の開催 ・総合収納システムの運用 ・財務伝票の電子決裁の運用開始	R3	・歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出) ・支払に伴う伝票審査 ・基金の運用・管理 ・決算の調製 ・窓口取納業務 ・経理事務説明会の実施	R3計画 19,120 当初予算 19,120 決算額 15,976				19,120	
	R4	・歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出) ・支払に伴う伝票審査 ・基金の運用・管理 ・決算の調製 ・窓口取納業務 ・経理事務説明会の実施 ・公金管理運用検討委員会の開催 ・総合収納システムの運用 ・財務伝票の電子決裁の一部開始	R4計画 18,963 当初予算 18,963 決算額 17,828				18,963	
	R5	・歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出) ・支払に伴う伝票審査 ・基金の運用・管理 ・決算の調製 ・窓口取納業務 ・経理事務説明会の実施 ・公金管理運用検討委員会の開催 ・総合収納システムの運用 ・財務伝票の電子決裁の運用開始	R5計画 22,633 当初予算 22,633 決算額 17,852				22,633	
	R6		R6計画 19,120 当初予算 決算額				19,120	
	R7		R7計画 19,120 当初予算 決算額				19,120	
	R3 ~ R7 合計			計画額 98,956 当初予算 60,716 決算額 51,656				98,956

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 経理事務説明会の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2	4		
						%	達成率	100	100	200
	2 公金管理運営委員会の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
実績値					1	1	1			
					%	達成率	100	100	100	
D 成果指標	1 適正かつ迅速な事務処理	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
						%	達成率			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値				
実績値										
					%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 「支払に伴う伝票審査」について、例年、全職員を対象とした経理事務説明会を開催しているが、本年度は新採用職員を対象とした説明会も開催して適正な事務執行を周知したが、伝票作成上の不備が一定数あった。適正な事務執行については、個別の指導を行うと共に庁内ネットワーク等を利用して周知しているが、特に個別指導は会計業務を圧迫する一因となっており、事務処理レベルを全体的に向上させることが課題である。不備の内容としては、日付や添付書類に関する事など極めて平易な誤りが多いため、マニュアルを改訂し、経理事務説明会を通して適正な事務執行をはかることなど極めて平易な誤りが多いため、マニュアルを改訂し、併せて、担当課内で審査・決裁を行う係長以上の職員に対して、適正に審査を行うように働きかける。他の事業目標については、適切に実施できた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 全職員を対象とした経理事務説明会に加え、新採用職員を対象とした説明会も開催した。会計事務処理の不備が多いため、随時事務の見直しを行い、周知した。以上のことから、事業目標については適切に実施できている。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	財産管理事業	細事業	財産維持管理事業	実施計画事業	財産維持管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (317)		政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2 年度 ~ R7 年度 第1期豊後大野市公共施設等総合管理計画 期間 H27 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	4 主体的で計画的な財政運営の推進				
款	2	施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応				
項	1	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	4					光熱水費	49,056
決算	16					清掃委託料	29,365
						市有地管理委託料	7,408
						庁舎設備保守点検委託料	6,159

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 庁舎等内の秩序や安全の保持及び災害時の防災拠点としての役割を果たすため、庁舎機能が適正に稼働するための建物や付属設備の保守管理、良好な衛生環境維持のための清掃や各種検査、施設修繕等の維持管理に関する各種業務を専門業者に委託をしながら実施する。また、市が管理する施設等の災害共済保険等の業務を一括契約し行政効率の向上を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 本庁や支所等の光熱水費及び消耗品等(トイレトペーパー・ゴミ袋・照明器具等)の必要経費を執行する。 庁舎の電気設備、空調設備、エレベータ設備、自動ドア、消防設備、冷暖房設備などの保守点検及び清掃委託等業務を専門業者に委託し実施する。 市有地の維持管理を実施する。</p>	R3	旧大野高校跡地地面保護工事を実施 14,264,800円 駐車場等へ注意喚起の看板設置 2,310,000円	R3計画 134,486 当初予算 134,486 決算額 126,572			24,119	110,367	
	R4	大野支所改修工事を実施 11,000,000円 千歳支所空調改修工事を実施 2,299,000円 本庁舎車止め設置工事を実施 1,276,000円	R4計画 134,486 当初予算 129,077 決算額 142,550			24,119	110,367	
	R5	大野支所空調機更新工事 10,670,000円 上緒方小跡地場内整備工事 3,029,400円	R5計画 125,193 当初予算 162,944 決算額 137,318			20,000	105,193	
	R6		R6計画 125,393 当初予算 169,204 決算額			20,000	105,393	
	R7		R7計画 125,593 当初予算 決算額			20,000	105,593	
	R3 ~ R7 合計			計画額 645,151 当初予算 595,711 決算額 406,440			108,238	536,913

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略	37,155	%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
D 成果指標	1 光熱水費の削減	<input type="checkbox"/> 総合計画	37,155	%	目標値	37,155	39,252	48,374	40,853	40,853
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	39,252	48,374	40,853		
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
既存の施設で業務を行っている大野支所について、昨年の改修工事に続き、空調機更新工事を実施した。また、上緒方小学校跡地の市有地について、雨水対策として側溝を整備するなど維持管理に努めた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引き続き、庁舎の保守や検査、修繕等により適正に管理していくことが必要である。

I 令和7年度の事業の方向性 A. 現状のまま継続

事業	財産管理事業	細事業	財産処分事業	実施計画事業	財産処分事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (317)		政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2年度 ~ R7年度 第1期豊後大野市公共施設等総合管理計画 期間 H27年度 ~ R6年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進				
款	2	施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応				
項	1	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	4	決算	16			市有建物解体工事請負費	216,660
						市有建物解体工事設計委託料	6,500
						不動産鑑定登記委託料	5,400
						アスベスト定量分析委託料	1,500

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 耐震性がなく老朽化した施設について、合併特例債を活用し計画的に解体を行う。また、普通財産の売却や譲渡等を行い、維持管理等の必要経費を削減する。</p> <p><令和5年度取組内容(計画)> ・普通財産の処分(売却、譲渡等の分筆登記及び不動産鑑定) ・建物解体工事(旧大野公民館、旧朝地小学校)</p>	R3	建物解体工事(旧千歳村役場、旧千歳公民館、旧家畜診療所、旧清川支所)	R3計画 195,000 当初予算 195,000 決算額 138,174		178,100	102	16,798	
	R4	建物解体工事(旧朝地支所、旧綿田小学校、旧三重町倉庫)	R4計画 195,000 当初予算 189,546 決算額 112,089		178,100	102	16,798	
	R5	解体工事(旧大野公民館、旧上緒方駐在所)	R5計画 237,560 当初予算 230,060 決算額 91,531		211,900	102	25,558	
	R6		R6計画 109,060 当初予算 32,934 決算額		86,900	102	22,058	
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 736,620 当初予算 647,540 決算額 341,794		655,000	408	81,212

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 建物の解体	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	件	目標値	4	7	3	5	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	4	7	2		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	66.7		
	2 普通財産処分(売却等)	<input type="checkbox"/> 総合計画	1	件	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値			1		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率			100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
施設解体計画に基づき工事を実施した。今後も解体計画に沿って事業を行う。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引き続き、解体計画に沿って事業を実施していくことが必要である。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	財産管理事業	細事業	公用車管理事業	実施計画事業	公用車管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系No.→ (317)		会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2 年度 ~ R7 年度 第1期豊後大野市公共施設等 総合管理計画 期間 H27 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称		当初予算額
款	2	施策	4 主体的で計画的な財政運営の推進			燃料費	10,000	
項	1	施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応			車輛購入費	13,426	
目	4	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			修繕料	4,345	
決算	16					自動車損害保険料	3,061	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 公用車の使用については、私用車に比べてより適正な管理と安全運転の確保が求められるため、「豊後大野市庁用自動車等管理規程」に基づいて事業を遂行する。また公用車を常に良好な状態で使用できるよう車両維持管理の徹底を図るとともに、効率的な活用を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ①車検等の実施 ②修繕の実施 ③車両の更新 ④洗車等の維持管理業務 ⑤自動車損害保険(任意)の加入・解約・請求手続きを行う</p>	R3	<購入> 軽貨物バン 2台 軽自動車乗用 6台 <廃車> 軽自動車乗用 9台	R3計画 27,465 当初予算 27,465 決算額 19,717			1,002	26,463	
	R4	<購入> 軽貨物自動車 2台、小型乗用自動車 3台 <処分> 普通乗用自動車 1台、小型乗用自動車 2台 軽貨物自動車 1台、軽乗用自動車 1台	R4計画 27,465 当初予算 31,386 決算額 23,579			1,002	26,463	
	R5	<購入> 軽貨物自動車4台 軽乗用自動車6台 <処分> 軽貨物自動車1台 軽乗用自動車5台	R5計画 27,308 当初予算 32,580 決算額 22,577			2	27,306	
	R6		R6計画 31,673 当初予算 31,922 決算額			2	31,671	
	R7		R7計画 24,511 当初予算 決算額			2	24,509	
	R3 ~ R7 合計			計画額 138,422 当初予算 123,353 決算額 65,873			2,010	136,412

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略	81.9	%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 公用車の年間乗車率	<input type="checkbox"/> 総合計画	81.9	%	目標値	80	80	80	80	80
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	78.8	70.4	72		
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	98.5	88	90		
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
公用車の適正な維持管理(車検、修繕)を行い、公用車の更新基準に基づき、原則登録から13年以上または13万キロメートルを超えた車両について処分を行った。また、公用車の適正な配置を行うため、車輛の新規購入も行った。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引き続き、公用車の適正な維持管理と適正配置に努める必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	ふるさと応援寄附金事業	細事業	ふるさと応援寄附金事業	実施計画事業	ふるさと応援寄附金事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (306)				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり				
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進				
項	1	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化				
目	4	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	17						
期間	年度 ~ 年度					ふるさと納税業務委託料	127,175
						ふるさと応援基金積立金	120,141
						ふるさと納税サイト使用料	22,440

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的></p> <p>当市にゆかりのある方をはじめ、市外の方から広く寄附金を募集し応援してもらうことにより、財源を確保し各種事業を実施する。また、返礼品の周知を通じて豊後大野市の魅力を発信し、地元特産品のPR及び販路拡大による地域経済の活性化を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税のPR(商工会との連携、SNS等の活用) 返礼品の充実を図る 寄附金受領証明書の発送、ワンストップ特例制度の取組 寄附金の収納、財政調整基金への積立て 企業版ふるさと納税の発信 	R3	<ul style="list-style-type: none"> 国の制度に沿ったふるさと納税事務の執行 企業版ふるさと納税の開始とそれに伴うホームページとチラシの作成 返礼品登録事業所数(80箇所→106箇所) 返礼品登録数(266品→378品) 臨時交付金を活用した商品開発補助事業や広報活動に対する補助事業の実施 	R3計画	270,582			240,182	30,400
	当初予算	270,582			240,182	30,400		
	決算額	243,590	8,645	115,578	119,367			
	R4	<ul style="list-style-type: none"> 国の制度に沿ったふるさと納税事務の執行とPR活動の実施 返礼品登録事業所数(120事業所) 返礼品登録数(418品) ふるさと納税制度を活用した楽器寄附(三重総合高3件、三重中1件) 	R4計画	280,000			250,000	30,000
	当初予算	270,602			240,269	30,333		
	決算額	192,406			192,406			
	R5	<ul style="list-style-type: none"> 国の制度に沿ったふるさと納税事務の執行とPR活動の実施 返礼品登録事業所数(128事業所) 返礼品登録数(672品) 実践型商品開発セミナーの実施(商工会との連携、参加数19社) 企業版ふるさと納税業務支援サービス(寄附額:10,200千円・企業数10社) 	R5計画	290,000			260,000	30,000
	当初予算	272,710			240,241	32,469		
	決算額	165,400			77,333	88,067		
	R6			R6計画	300,000			270,000
当初予算	271,451			240,640	30,811			
決算額								
R7			R7計画	310,000			280,000	30,000
当初予算								
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	1,450,582			1,300,182	150,400
			当初予算	1,085,345			961,332	124,013
			決算額	601,396	8,645		192,911	399,840

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 返礼品登録事業者	返礼品登録事業者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	80	社	目標値	85	90	95	100	105
						実績値	106	120	128		
						% 達成率	124.7	133.3	134.7		
2 登録返礼品	登録返礼品数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	266	品	目標値	280	290	300	310	320	
					実績値	378	418	672			
					% 達成率	135	144.1	224			
D 成果指標	1 寄附件数	ふるさと納税寄附件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	14,394	件	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
						実績値	13,627	12,191	10,558		
						% 達成率	90.9	81.3	70.4		
2 寄付金額	ふるさと納税寄附金総額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	274,664	千円	目標値	240,000	250,000	260,000	270,000	280,000	
					実績値	228,467	186,245	154,483			
					% 達成率	95.2	74.5	59.4			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	15点	3点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
令和5年度は、これまで行ってきたふるさと納税返礼品の充実、新規の提供事業者や新たな返礼品の選定に加え、地域おこし協力隊による事業者訪問やSNSを活用した商品PR活動、商工会との連携による商品開発セミナーに取組んだ。また、新たに企業版ふるさと納税業務の委託をおこなったことにより、多くの寄附をいただくことができた。令和6年度も、これまでの取組を活かしつつ、地域産品のPR活動を通じて豊後大野市を応援していただける方を増やす必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
事業者の支援につながる特産品等の充実を図り市の魅力発信を図る。

I 令和7年度の事業の方向性 → B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	交通安全対策事業	実施計画事業	交通安全施設整備事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (240)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間	交通安全施設・防犯施設整備工事	6,000
款	2	年度	請負費	
項	1	年度	消耗品費	408
目	5	年度	修繕料	40
決算	18			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 交通事故等から市民を守り、安心して生活することができる施設整備を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> カーブミラーの設置 カーブミラーの購入 道路白線の設置 ガードレールの設置</p>	R3	次の事業を行った。 カーブミラー新設 56基 カーブミラー購入 31基 ガードレール設置 3箇所 道路白線設置 1箇所	R3計画 6,383 当初予算 6,383 決算額 5,044				6,383	
	R4	次の事業を行った。 カーブミラー新設 50基 カーブミラー給付 16基 ガードレール設置 1箇所 道路白線設置 0箇所	R4計画 6,383 当初予算 6,383 決算額 5,519				6,383	
	R5	次の事業を行った。 カーブミラー新設 33基 カーブミラー給付 17基 ガードレール設置 5箇所 道路白線設置 5箇所	R5計画 6,383 当初予算 6,448 決算額 6,373				6,383	
	R6		R6計画 6,383 当初予算 6,383 決算額				6,383	
	R7		R7計画 6,383 当初予算 決算額				6,383	
	R3 ~ R7 合計			計画額 31,915 当初予算 25,597 決算額 16,936				31,915 25,597 16,936

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 カーブミラーの設置	カーブミラー新規設置箇所数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	66	基	目標値	60	60	60	60	60
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	56	50	33		
		% 達成率			93.3	83.3	55			
D 成果指標 1 人身事故発件数	人身事故発件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	63	件	目標値	62	62	61	61	60
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	42	30	35		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	—	—	—		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	24点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 交通安全対策に必要な事業であり、今後も自治会からの要望もあることから継続する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 指数値となるカーブミラー新設数について、カーブミラー給付件数を合算すると50基(83%)となるため、おおむね計画どおり推移していると評価できる。また、成果指標については、十分に達成しているものの、人身事故発件数は、前年比で+5件となっており、引き続きの取組が不可欠である。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	交通安全対策事業	実施計画事業	運転免許証自主返納支援助成事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	----------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (241)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 当予算額	
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち			
款	2	施策	7 交通安全・防犯対策の推進			
項	1	施策展開	①交通安全対策を推進する			
目	5	後期基本計画	64 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	18				期間 年度 ~ 年度	運転免許証自主返納支援助成金 1,500
					通信運搬費 83	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 運転免許証の自主返納を考えている高齢者の免許返納後の移動手段を支援することで自主的な返納を促し、高齢者が加害者となる交通事故の抑制を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 自主返納者へのタクシー券、バス券の支給。</p>	R3	運転免許証自主返納者160名へ1万円分のタクシー券、バス券を支給した。	R3計画 2,583				2,583
			当初予算 2,583				2,583
			決算額 1,420				1,420
	R4	運転免許証自主返納者154名へ1万円分のタクシー券、バス券を支給した。	R4計画 2,583				2,583
			当初予算 1,583				1,583
			決算額 1,306				1,306
	R5	運転免許証自主返納者166名へ1万円分のタクシー券、バス券を支給した。	R5計画 2,583				2,583
			当初予算 1,583				1,583
			決算額 1,342			334	1,008
	R6		R6計画 2,583				2,583
			当初予算 1,584				1,584
			決算額				
	R7		R7計画 2,583				2,583
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 12,915				12,915
			当初予算 7,333				7,333
			決算額 4,068			334	3,734

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 支給者数(自主返納者の中の申請者数)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	180	人	目標値	180	180	180	180	180
					実績値	160	154	166		
					% 達成率	88.9	85.6	92.2		
D 成果指標	1 人身事故件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	63	件	目標値	62	62	61	61	60
					実績値	42	30	35		
					% 達成率	—	—	—		
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>運転免許証の自主返納を考えている高齢者の返納後の移動手段を支援することにより自主的な返納を促し、高齢者が加害者となる交通事故の抑制を図ることは必要であることから継続する。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>平成30年3月30日施行の本事業により、当時67件発生していた人身事故(高齢者以外も含む)は年々減少しており、令和5年は35件と前年対比で+5件となったものの事業効果が高いと評価できる。 (参考) H30:67件、R1:63件、R2:40件、R3:42件、R4:30件</p>
---	---

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	防犯対策事業	実施計画事業	防犯灯LED化事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (244)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	2	施策 7 交通安全・防犯対策の推進	期間		年度 ~ 年度	交通安全施設・防犯施設整備工事 請負費			3,000
項	1	施策展開 ②防犯対策を推進する	期間		年度 ~ 年度	消耗品費			1,350
目	5	後期基本計画 64 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	18								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 犯罪等から市民を守り、安心して生活することが出来る施設整備を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> LED防犯灯の設置 LED防犯灯の購入	R3	LED防犯灯新規設置 78基 LED防犯灯購入 0基 ※防犯灯具200基の寄付があったため購入数は0基(給付件数は162基)	R3計画 4,350 当初予算 4,350 決算額 1,763			4,000	350	
	R4	LED防犯灯新規設置 75基 LED防犯灯購入 0基 ※R3年度に寄附のあった灯具の余剰があったため購入数は0基(給付は87基)	R4計画 4,350 当初予算 4,350 決算額 1,745			4,000	350	
	R5	LED防犯灯新規設置 97基 LED防犯灯購入 0基 ※R3年度に寄附のあった灯具の余剰があったため購入数は0基(給付実績は86基)	R5計画 4,350 当初予算 4,350 決算額 2,943			4,000	350	
	R6		R6計画 4,350 当初予算 3,000 決算額				3,000	
	R7		R7計画 4,350 当初予算 決算額			4,000	350	
	R3 ~ R7 合計			計画額 21,750 当初予算 16,050 決算額 6,451			20,000	1,750

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 LED防犯灯の設置	LED防犯灯新規設置数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	94	基	目標値	90	90	90	90	90
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	78	75	97		
		% 達成率			86.7	83.3	107.8			
D 成果指標 1 犯罪認知件数	豊後大野署管内刑法犯認知件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	53	件	目標値	51	50	50	50	50
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	55	64	85		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	—	—	—		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	23点	23点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 防犯対策に必要な事業であり、自治会からの要望も多いが、給付事業については令和5年度で終了する。新規設置事業については継続する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 豊後大野警察署管内における刑法犯認知件数は年々増加しており、自治会からの防犯灯新規設置要望も比例して増加している。新規設置事業を継続し、市民が安心して暮らせるまちづくりに尽力していく。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	防犯対策事業	実施計画事業	犯罪被害者等見舞金事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (246)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	
款	2	施策	7 交通安全・防犯対策の推進	犯罪被害者等見舞金 400
項	1	施策展開	②防犯対策を推進する	
目	5	後期基本計画	64 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	18			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 犯罪被害者へ見舞金を支給し、被害の早期回復、及び軽減を図る。 <令和5年度の取組内容(計画)> 犯罪被害者へ見舞金の支給。 遺族見舞金 300千円 重傷病見舞金 100千円	R3	犯罪被害者へ見舞金の支給がなかった。	R3計画 400	200			200
			当初予算 400	200			200
			決算額				
	R4	犯罪被害者へ見舞金の支給がなかった。	R4計画 400	200			200
			当初予算 400	200			200
			決算額				
	R5	犯罪被害者へ見舞金の支給がなかった。	R5計画 400	200			200
			当初予算 400	200			200
			決算額				
	R6		R6計画 400	200			200
			当初予算 400	200			200
			決算額				
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,000	1,000		
			当初予算 1,600	800			800
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 見舞金の給付	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値					
					実績値					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率		—	—		
					目標値					
D 成果指標	1 犯罪被害者等見舞金申請者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値					
					実績値					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	—	—	—		
					目標値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	点	点	点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	10点	10点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 今後も犯罪被害者へ見舞金を支給し、被害の早期回復及び軽減を図ることは必要であることから継続する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業の趣旨に則り、継続して実施する必要がある
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	防犯対策事業	実施計画事業	防犯電話機等購入補助事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (243)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 防犯電話機等購入補助金	当初予算額 800	
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち				
款	2	施策	7 交通安全・防犯対策の推進				
項	1	施策展開	②防犯対策を推進する				
目	5	後期基本計画	64 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	18						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 特殊詐欺等による被害防止を図るため、特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費を助成する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助。	R3	特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助を26件行った。	R3計画 1,000	500			500
			当初予算 1,000	500			500
			決算額 247	124			123
	R4	特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助を44件行った。	R4計画 1,000	500			500
			当初予算 1,000	500			500
			決算額 420	210			210
	R5	特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助を80件行った。	R5計画 1,000	500			500
			当初予算 800	400			400
			決算額 784	392			392
	R6		R6計画 1,000	500			500
		当初予算 1,200	600			600	
		決算額					
		R7計画 1,000	500			500	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 5,000	2,500			2,500
			当初予算 4,000	2,000			2,000
			決算額 1,451	726			725

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 補助件数	特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	46	件	目標値	50	50	50	50	50
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	26	44	80		
		% 達成率			52	88	160			
D 成果指標 1 犯罪件数	豊後大野署管内刑法犯認知件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	53	件	目標値	51	50	50	50	50
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	55	64	85		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	—	—	—		
2 —		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	23点	20点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 頻発する特殊詐欺等による被害防止を図るために必要な事業であるため、令和5年度より交付対象範囲を拡大したところ、年度途中で予算額に達し、県補助もあることから増額補正できなかった。令和6年度は県とも協議し、予算額を増額した。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 大分県下でも特殊詐欺被害件数は3年連続増加傾向にあり、令和5年中には発生件数206件、被害総額約3億1090万円と報告されてる。特に高齢化の進む本市においては、本事業の取組強化により引き続き特殊詐欺被害の未然防止に努めていく必要がある。(参考)豊後大野警察署管内における特殊詐欺の被害状況(R2:1件、R3:4件、R4:3件、R5:5末:1件)
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	広報広聴事業	細事業	広報事業	実施計画事業	広報誌事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------	--------	-------	------	----

総合計画体系図No.1 (274)				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち						
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進			印刷製本費	9,700		
項	1	施策展開	②広聴・広報活動を充実する			市報点字版・音声版作成委託料	902		
目	6	後期基本計画	71 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	19								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市の情報を正確・迅速に市民に提供するため広報誌を発行する。 また、視覚障がい者等通常の市報では情報を得ることができない方のために、市報点字版及び音声版を発行する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 年12回の広報誌発行 年12回の市報点字版及び音声版の発行</p>	R3	年12回広報誌発行 年12回市報点字版及び音声版の発行	R3計画 13,158			14	13,144
			当初予算 17,921			14	17,907
			決算額 10,419			12	10,407
	R4	年12回の広報誌発行 年12回の市報点字版及び音声版の発行	R4計画 13,158			12	13,146
			当初予算 11,171			12	11,159
			決算額 7,786			10	7,776
	R5	年12回の広報誌発行 年12回の市報点字版及び音声版発行	R5計画 13,158			12	13,146
			当初予算 10,602			10	10,592
			決算額 8,737			8	8,729
	R6		R6計画 13,158			12	13,146
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 13,158			12	13,146
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 65,790			62	65,728
			当初予算 39,694			36	39,658
			決算額 26,942			30	26,912

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 市報発行回数	市報発行回数(年単位)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	12	12	12		
							%	達成率	100	100	100
	2 市報点字版及び音声版発行回数	市報点字版及び音声版発行回数(年単位)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
実績値						12	12	12			
						%	達成率	100	100	100	
D 成果指標		1 市報発行部数	市報発行部数(月単位)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	16,300	部	目標値	16,000	16,000	16,000	16,000
	実績値						16,000	16,000	16,000		
	%						達成率	100	100	100	
	2 市報点字版及び音声版発行部数	市報点字版及び音声版発行部数(月単位)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	10	部	目標値	10	10	10	10	10
						実績値	10	10	10		
						%	達成率	100	100	100	

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	24点	3点	23点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点	
		24点	25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 特集は年6回。特集の内容は防災・子育て・高齢者福祉・まちづくり・cocomio・緒方町の農村景観と市の事業や取り組みをわかりやすく紹介。裏表紙では、園芸重点10品目とその野菜農家を紹介する「大分の野菜畑 豊後大野」や、活躍する女性にスポットを当てた「ぶんごおおの生き生き女性」など、様々な分野で活躍する豊後大野市民や市にゆかりのある人物を幅広く紹介することができた。
 12月号では、ながたに振興協議会の竹を活かした地域づくりを特集し、大分県広報誌コンクールで特選を受賞し、全国広報コンクールへ推薦された。
 課題1：広報誌は、高齢化率の高い当市において現在も重要な広報手段であり、広報誌の急速なデジタル化は困難であることから、そのタイミングは慎重に検討する必要がある。
 課題2：紙面に対して掲載依頼が多く、記事の取捨選択に苦慮している。内容や対象者によりホームページやSNSの活用をさらに推進する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 より読みやすく、市民全世代に必要とされる広報誌になるよう改善を継続する。

事業	広報広聴事業	細事業	広報事業	実施計画事業	ホームページ管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (274)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額	
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち			
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進			
項	1	施策展開	② 広聴・広報活動を充実する			
目	6	後期基本計画	71 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	19					
A 事業目的・内容・実績					B 事業計画額・決算額等	

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 市の情報を正確・迅速に市民に提供するため公式ホームページを運用する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 各課・各支所による市政情報の掲載	R3	各課・各支所が市政情報を掲載	R3計画 1,362 当初予算 1,362 決算額 1,362				1,362	
	R4	各課・各支所による市政情報の掲載	R4計画 1,362 当初予算 1,362 決算額 1,362				1,362	
	R5	各課・各支所による市政情報の掲載	R5計画 1,362 当初予算 1,362 決算額 1,362				1,362	
	R6		R6計画 1,362 当初予算 決算額				1,362	
	R7		R7計画 1,362 当初予算 決算額				1,362	
	R3 ~ R7 合計			計画額 6,810 当初予算 4,086 決算額 4,086				6,810 4,086 4,086

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 ホームページ記事作成者	ホームページ記事作成者(令和3年6月末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	268	人	目標値	268	268	268	268	268
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	283	287	294		
		% 達成率			105.6	107.1	109.7			
D 成果指標 1 ホームページ閲覧者	ホームページ閲覧者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	526,097	人	目標値	430,000	430,000	430,000	430,000	430,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	979,555	848,462	692,479		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	227.8	197.3	161		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	24点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 令和5年5月、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、コロナ禍で中止や規模縮小で開催していたイベントが徐々に通常開催並みに戻った。ホームページにおいてもイベント告知を積極的にを行い、SNSにも幅広く展開した。ホームページへの訪問者はコロナ禍で急増したが、5類移行後は関心が低下したため減少傾向にある。それでも、コロナ禍前よりも高い水準を維持しており(令和2年度比+32%)市民が公式ホームページを情報取得の重要なツールとして活用していることが伺える。
 課題：現ホームページは平成27年度にリニューアル後、8年が経過。今後も市民が見やすいホームページの運用に努めるが、近年リニューアルした他自治体のホームページと比較して構成や検索機能、デザインなどで見劣りする点もあるため、今後のリニューアルに向けて実施時期や内容を検討する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 ホームページへの訪問者数は、高い水準を維持しており、市民が公式ホームページを情報取得の重要なツールとして活用していることが推測できることから、より市民が見やすく、情報収集が容易なホームページとなるよう改善を図る。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	新エネルギー導入促進事業	細事業	新エネルギー導入促進事業	実施計画事業	新エネルギー導入促進事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No. (400)		政策	VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち	個別計画名	豊後大野市新エネルギービジョン	令和5年度主な歳出名称	当初予算額				
会計	一般	施策	2 環境保全の推進		期間			H29年度～R8年度	サイクリングハブ施設管理委託料	4,144	
款	2	施策展開	①環境保全対策を推進する		豊後大野市分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン			期間	—年度～—年度	光熱水費	480
項	1	後期基本計画	100 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画			<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	通信運搬費	148
目	7							新エネルギービジョン推進委員謝礼金	128		
決算	20										

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 地域資源を活用したエネルギーの地産地消型システムを構築するため、平成28年度に策定した「豊後大野市新エネルギービジョン」「豊後大野市分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン」に基づきエネルギー事業を推進する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・サイクリングハブ施設管理 ・ぶんごおおのエネルギー経営戦略会議の開催等</p>	R3	・サイクリングハブ施設指定管理委託 ・ぶんごおおのエネルギー経営戦略会議の開催	R3計画 6,528				6,528
			当初予算 6,528				6,528
			決算額 6,461			13	6,448
	R4	・サイクリングハブ施設指定管理委託 ・ぶんごおおのエネルギー経営戦略会議の開催等	R4計画 6,528				6,528
			当初予算 6,428				6,428
			決算額 6,299				6,299
	R5	・サイクリングハブ施設指定管理委託 ・ぶんごおおのエネルギー経営戦略会議の開催等	R5計画 6,528				6,528
			当初予算 5,031			38	5,031
			決算額 5,691				5,653
	R6		R6計画 6,528				6,528
		当初予算 15,101				15,101	
		決算額					
R7		R7計画 6,528				6,528	
		当初予算					
		決算額					
R3～R7合計			計画額 32,640				32,640
			当初予算 33,088				33,088
			決算額 18,451			51	18,400

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値						
					% 達成率						
D 成果指標	1 ぶんごおおのエネルギー再エネ電源調達割合	再エネ電源調達割合(年間平均)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	24	%	目標値	50	50	50	50	50
					実績値	16	11	11.2			
					% 達成率	32	22	22.4			
	2 サイクリングハブ施設利用者数	施設利用者数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,936	人	目標値	2,500	3,000	3,500	4,000	4,500
					実績値	2,232	2,595	2,984			
					% 達成率	89.3	86.5	85.3			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	12点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 ㈱ぶんごおおのエネルギーは、市が55%出資しており、経営方針等について連携して取り組む必要がある。
 サイクリングハブ施設の管理について、令和4年度までは指定管理業務委託としていたが、令和5年度は直営となった。今後の施設運営について検討する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 ㈱ぶんごおおのエネルギーと連携するとともに、サイクリングハブの利活用に努める。

事業	公共交通事業	細事業	路線バス運行補助事業	実施計画事業	路線バス運行補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (180)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ~ R3 年度 豊後大野市公共交通計画 期間 R4 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 路線バス運行補助金 当初予算額 53,125
会計	一般	施策 I 交通ネットワークの整備		
款	2	施策展開 ③公共交通の整備を促進する		
項	1	後期基本計画 52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
目	7			
決算	21			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 既存の公共交通機関の利用促進を行うことで、高齢化社会に対応した日常生活の利便性を高める。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 路線バス運行補助金 大野竹田バス株式会社</p>	R3	路線バス補助金 大野竹田バス ・11路線16系統 45,626千円 ・白三線 6,136千円	R3計画 54,705	5,790	46,400	2,515	
			当初予算 54,705	5,790	46,400	2,515	
			決算額 51,762	12,800	37,000	1,962	
	R4	路線バス補助金 大野竹田バス ・11路線16系統 43,336千円 ・白三線 6,127千円	R4計画 55,000	6,000	46,550	2,450	
			当初予算 49,463	7,008	40,300	2,155	
			決算額 49,463	8,702	38,700	2,061	
	R5	路線バス補助金 大野竹田バス ・9路線14系統 42,673千円 ・白三線 6,713千円	R5計画 55,000	6,000	46,550	2,450	
			当初予算 53,125	8,702	42,200	2,223	
			決算額 49,386	12,361	35,200	1,825	
	R6		R6計画 55,000	6,000	46,550	2,450	
		当初予算 50,610	12,329	36,300	1,981		
		決算額					
	R7		R7計画 55,000	6,000	46,550	2,450	
		当初予算					
		決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額 274,705	29,790	232,600	12,315	
			当初予算 207,903	33,829	165,200	8,874	
			決算額 150,611	33,863	110,900	5,848	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 白三線を除く路線バスへの補助	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	41,214	千円	目標値	45,527	45,527	45,527	45,527	45,527	
					実績値	45,626	43,336	42,673			
						%	達成率	100.2	95.2	93.7	
	2 白三線への補助	補助金額 (目標値 R3年度支出額)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,775	千円	目標値	9,178	9,179	9,180	9,181	9,182
実績値						6,136	6,127	6,713			
					%	達成率	66.9	66.8	73.1		
D 成果指標		1 路線バス補助金	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	42,989	千円	目標値	54,705	54,706	54,707	54,708	54,709
	実績値					51,762	49,463	49,386			
						%	達成率	94.6	90.4	90.3	
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和5年度は、利用者の少ないバス路線のうち貫原線や両家線の運休をおこなっている。また、令和3年度から取組んでいる学生を対象とした通学定期の割引制度「ジモテキ」は、利用者が増加しており効果が出ている。今後も豊後大野市地域公共交通計画に基づき地域公共交通網の維持確保に努めるとともに、モニタリング調査結果や事業者との調整を行いながら、運行内容の見直し等を図る必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	地域公共交通計画策定業務委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ~ R3 年度 豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	1 交通ネットワークの整備				
項	1	施策展開	⑤公共交通網の整備を推進する				
目	7	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	21						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 地域公共交通計画に位置づけた事業に取り組む。また、必要に応じ計画変更を行なう。</p> <p><令和5年度の実績内容(計画)> ・計画変更 ・計画に位置づけたコミュニティバス等の運行</p>	R3	市地域公共交通計画(素案)策定	R3計画	5,670	2,500			3,170
			当初予算	6,710	2,000			4,710
			決算額	4,705				4,705
	R4	地域公共交通計画の承認 地域公共交通利便増進計画(素案)の策定	R4計画	4,000	2,000			2,000
			当初予算	4,000	2,000			2,000
			決算額	3,184				3,184
	R5	・国の制度改正に伴う計画変更(R5.6) ・計画に位置づけたコミュニティバス等の運行	R5計画					
			当初予算					
			決算額					
	R6		R6計画					
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画					
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	9,670	4,500			5,170
			当初予算	10,710	4,000			6,710
			決算額	7,889				7,889

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用状況の整理	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		1	式	目標値	1			
						実績値	1			
	% 達成率	100								
2 住民アンケートの実施	地域内在住の1,000世帯を対象に実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,000	世帯	目標値	1,000				
					実績値	1,000				
					% 達成率	100				
D 成果指標	1 市地域交通計画の策定	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		1	式	目標値	1			
						実績値	1			
						% 達成率	100			
	2 市地域公共交通利便増進計画の策定	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		1	式	目標値		1		
						実績値		1		
						% 達成率		100		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
計画に基づいた事業を進めるほか、近隣市と連携して取組んでいるゾーン制運賃実現に向けた取組を進める必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	コミュニティバス運行管理委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (182)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ~ R3 年度 豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 コミュニティバス運行管理委託料 85,000
款	2	施策	1 交通ネットワークの整備		
項	1	施策展開	④コミュニティバスの運行を推進する		
目	7	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	21				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 本市にとって最適な交通ネットワークを構築し、市民が利用しやすい生活交通手段の確保を図るため、コミュニティバスなどの地域公共交通の充実を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> コミュニティバス 44路線 あいのりタクシー 7区域の運行 運行見直しに伴う時刻表作成・配布</p>	R3	コミュニティバス 41路線 大野犬飼線実証運行(1月~3月) あいのりタクシー 5区域の運行 時刻表作成・配布 (R4年3月)	R3計画 78,100	12,883	57,800	4,321	3,096
			当初予算 78,100	12,883	57,800	4,321	3,096
			決算額 77,683	17,545	55,500	3,930	708
	R4	コミュニティバス 41路線 あいのりタクシー 5区域の運行 大野犬飼線実証運行(4月~10月) 運行見直しに伴う時刻表作成・配布	R4計画 85,000	12,000	65,550	4,000	3,450
			当初予算 85,000	13,799	67,600	3,601	
			決算額 82,608	14,843	60,600	3,880	3,285
	R5	コミュニティバス 44路線 あいのりタクシー 7区域の運行 運行見直しに伴う時刻表作成・配布	R5計画 85,000	12,000	65,550	4,000	3,450
			当初予算 85,000	13,799	65,000	3,900	2,301
			決算額 81,006	11,459	62,400	3,847	3,300
	R6		R6計画 85,000	12,000	65,550	4,000	3,450
			当初予算 87,500	11,708	68,000	3,500	4,292
			決算額				
	R7		R7計画 85,000	12,000	65,550	4,000	3,450
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 418,100	60,883	320,000	20,321	16,896
			当初予算 335,600	52,189	258,400	15,322	9,689
			決算額 241,297	43,847	178,500	11,657	7,293

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 公共交通の充実	コミュニティバス・あいのりタクシー時刻表等配布地区数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3	地区	目標値	3	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	4	3		
		% 達成率			233.3	133.3	100			
D 成果指標 1 コミュニティバス・あいのりタクシーの利用者数	令和元年度利用者数 30,139人 最終(令和7年度)利用者数 30,140人	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	23,831	人	目標値	25,090	26,350	27,610	28,870	30,140
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	22,660	22,020	21,402		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	90.3	83.6	77.5		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 コミュニティバス、あいのりタクシーを含めた公共交通利用者が年々減少している。令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき利用促進策に取り組むとともに、利用実態に応じた運行内容の見直しを検討する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	コミュニティバス関係業務委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (183)		III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ~ R3 年度 豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4 年度 ~ R8 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策		コミュニティバス関係業務委託料	3,636
款	2	施策			
項	1	施策展開			
目	7	後期基本計画 52 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	21				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 公共交通利用者の維持・増加を目指した取組を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> [大学・市] ・利用促進の検討 [安全対策装置の設置] ・通園・通学児童の安全対策を目的とした装置の設置	R3	[大野竹田バス(株)] ・学生割定期「ジメテキ」販売開始 ・路線バス運行ルートの見直し [高校・大学] ・バスラッピング等利用促進事業の実施 [市] ・アンケート調査や利用状況の調査等	R3計画 3,706		3,500		206
			当初予算 3,706		3,500		206
			決算額 3,144		1,900		1,244
	R4	[大学・市] ・大野町北部地区における集落調査の実施 ・新たな交通体系の検討	R4計画 3,700		3,500		200
			当初予算 3,700		1,400	399	1,901
			決算額 3,014		2,800		214
	R5	[大学・市] ・大野町北部地区における集落調査の実施 ・理容促進の検討 [安全対策装置の設置] ・通園・通学児童の安全対策を目的とした装置の設置(大野町3台、大飼町1台)	R5計画 3,700		3,500		200
			当初予算 3,636		2,800		836
			決算額 4,336	264	2,800		1,272
	R6		R6計画 3,700		3,500		200
		当初予算 10,156	6,000			4,156	
		決算額					
	R7		R7計画 3,700		3,500		200
		当初予算					
		決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額 18,506		17,500		1,006
			当初予算 21,198	6,000	7,700	399	7,099
			決算額 10,494	264	7,500		2,730

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 バス交通などの維持と利用促進 行政、市民、事業者の協働による利用促進事業を行う。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	式	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	1		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標	1 コミュニティバス・あいのりタクシーの利用者数 令和元年度利用者数 30,139人 最終(令和7年度)利用者数 30,140人	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	23,831	人	目標値	25,090	26,350	27,610	28,870	30,140
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	22,660	22,020	21,402		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	90.3	83.6	77.5		
2 路線バス利用者	令和2年度輸送人員 26,121人	<input type="checkbox"/> 総合計画	26,121	人	目標値	26,121	26,121	26,121	26,121	26,121
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	23,964	22,748	22,902		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	91.7	87.1	87.7		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 令和5年度は、大野町北部地区を対象として、社会実験を土師振興協議会と大分大学、大分県先端技術挑戦課と実施した。また、学校保健安全法施行規則の一部改正に伴い、通園・通学児童が乗車するバス車両に安全装置を設置することが義務化されたことに伴い対象車両への改造を行なった。今後も地域と連携した取組を行ないながら、新たな公共交通体系の検討を進める必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	公共交通運行モニタリング等業務委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	---------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (186)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ~ R3 年度 豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 公共交通運行モニタリング等業務委託料 当初予算額 4,862
会計	一般	施策 1 交通ネットワークの整備		
款	2	施策展開 ⑤公共交通網の整備を推進する		
項	1	後期基本計画 52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
目	7			
決算	21			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 本市で運行されているコミュニティバス・あいのりタクシー及び民間路線バスを対象として、利用動向調査、利用者満足度を把握すると同時に、運行にあたっての課題把握、コミュニティバスへの利用促進策の検討を行い、豊後大野市全体の交通ネットワークとして更なる利便性向上、利用者増加を目指した検証(モニタリング)を実施する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・コミュニティバス及び路線バスの利用動向調査 ・利用者満足度調査 ・あいのりタクシーの課題と改善策の検討 ・報告書取りまとめ</p>	R3	・コミュニティバス及び路線バスの利用動向調査 ・利用者満足度調査 ・あいのりタクシーの課題と改善策の検討 ・報告書	R3計画 5,000 当初予算 5,000 決算額 2,244	4,700			300
	R4	・コミュニティバス及び路線バスの利用動向調査 ・利用者満足度調査 ・あいのりタクシーの課題と改善策の検討 ・報告書	R4計画 5,000 当初予算 4,000 決算額 3,916	4,700			300
	R5	・コミュニティバス及び路線バスの利用動向調査 ・利用者満足度調査 ・あいのりタクシーの課題と改善策の検討 ・報告書取りまとめ	R5計画 5,000 当初予算 4,862 決算額 4,851	4,700			300
	R6		R6計画 5,000 当初予算 4,092 決算額	4,700			300
	R7		R7計画 5,000 当初予算 決算額	4,700			300
	R3 ~ R7 合計			計画額 25,000 当初予算 17,954 決算額 11,011	23,500		1,500

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用動向調査、利用者満足度調査の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	式	目標値	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1	1	
		%	達成率			100	100	100		
D 成果指標	1 事業評価の評価結果	<input type="checkbox"/> 総合計画		2	判定	目標値	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1	1	1	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率	100	100	100
E 評価対象外の理由		O 評価対象		(対象外事業はF~I欄未記入可)						

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 地域の特性や実情を把握し、最適な公共交通ネットワークを確保・維持していくためにモニタリング調査を継続していくことが必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。
--	--

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	大分空港利用促進期成会負担金事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (186)		政策 III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	施策 1 交通ネットワークの整備		期間	年度	年度			大分空港利用促進期成会負担金	267
款	2	施策展開 ⑤公共交通網の整備を推進する		期間	年度	年度				
項	1	後期基本計画 52 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	7									
決算	21									

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 大分空港の国際化及び国内路線の充実を協力を推進することを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 期成会への参加及び負担金の支出</p>	R3	負担金の支出	R3計画 291				291
			当初予算 291				291
			決算額 227				227
	R4	期成会への出席及び負担金の支出	R4計画 300				300
			当初予算 275				275
			決算額 227				227
	R5	期成会への出席及び負担金の支出	R5計画 300				300
			当初予算 267				267
			決算額 247				247
	R6		R6計画 300				300
			当初予算 314				314
			決算額				
	R7		R7計画 300				300
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,491				1,491
			当初予算 1,147				1,147
			決算額 701				701

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 期成会への参加 期成会への出席回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		1	1		
		% 達成率				100	100			
D 成果指標	1 負担金の支出 期成会からの負担金請求額	<input type="checkbox"/> 総合計画	227	千円	目標値	300	300	300	300	300
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	227	227	247		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	75.7	75.7	82.3		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	15点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
		25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
大分空港利用促進期成会では、コロナ禍の影響で近年行なっていなかった負担金割合の見直しを今後予定している。インバウンドの回復や宇宙港への取組など新たな動きもあることから状況を注視する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
大分空港利用促進期成会事務の適切な執行に努めるとともに、状況の推移を見守ることとする。

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	コミバス車両購入事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ~ R3 年度 豊後大野市公共交通計画 期間 R4 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	1 交通ネットワークの整備			
項	1	施策展開	④コミュニティバスの運行を推進する			
目	7	後期基本計画	52 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	21					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 老朽化したコミュニティバス車両を更新し、運行の継続を図る</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 車両の入替を行う</p>	R3	車両更新 1台 ワゴンタイプ(14人乗)ディーゼル車	R3計画 4,948 当初予算 5,069 決算額 4,842	4,400			548 669 442
	R4	車両更新なし	R4計画 当初予算 決算額				
	R5	教育委員会よりマイクロバス1台の管理替があったことから、老朽化した26人乗り車両の売却を行なった。	R5計画 当初予算 決算額				
	R6		R6計画 5,100 当初予算 6,500 決算額	2,500			2,600 1,500
	R7		R7計画 当初予算 決算額				
	R3 ~ R7 合計			計画額 10,048 当初予算 11,569 決算額 4,842	6,900 9,400 4,400		3,148 2,169 442

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 コミュニティバスの運行継続 2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		1	式	目標値	1			1
						実績値	1			
D 成果指標	1 - 2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100			
						目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	実績値				
						達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	15点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
今後も適宜車両更新を行なう。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
公共交通体系の整備の検討により、適正な車両の確保をする。また、車両の小型化、環境対応型の車両の検討を図る。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	空き家成約奨励金給付事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (231)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間	空き家成約奨励金	1,800
款	2	年度		
項	1	年度		
目	7	年度		
決算	22	年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市内に存在する空き家の有効活用を通じた、地域活性化や移住定住を促進するため、空き家バンク制度を通じた物件の成約の際に物件所有者に奨励金を交付するもの。また、自治会等がその区域内にある空き家の情報を提供した場合に奨励金を交付するもの。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家成約奨励金の交付 ・定住支援活動奨励金の交付</p>	R3	・情報発信による制度周知 ・空き家成約奨励金の交付 20件	R3計画 1,500 当初予算 1,500 決算額 2,000				1,500	
	R4	・情報発信による制度周知 ・空き家成約奨励金の交付 20件 ・定住支援活動奨励金の交付 1件	R4計画 1,500 当初予算 1,500 決算額 2,010				1,500	
	R5	・情報発信による制度周知 ・空き家成約奨励金の交付 20件 ・定住支援活動奨励金の交付 2件	R5計画 1,800 当初予算 1,800 決算額 2,030				1,800	
	R6		R6計画 1,800 当初予算 1,800 決算額				1,800	
	R7		R7計画 2,500 当初予算 決算額				2,500	
	R3 ~ R7 合計			計画額 9,100 当初予算 6,600 決算額 6,040				9,100

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 空き家バンク新規物件登録数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	34	件	目標値	35	35	40	45	50
					実績値	29	41	35		
					% 達成率	82.9	117.1	87.5		
D 成果指標	1 空き家バンク成約件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	件	目標値	20	20	25	25	30
					実績値	26	35	24		
					% 達成率	130	175	96		
2 奨励金交付件数	奨励金交付件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	16	件	目標値	15	15	20	20	25
					実績値	20	20	20		
					% 達成率	133.3	133.3	100		

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 移住者からニーズの多い市内の空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に努めるとともに、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し制度の周知に取組む必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 移住定住策として空き家の活用を推進する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業(家財道具処分補助(県外))	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	------------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (231)				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち				
款	2	施策	6 移住・定住の促進				
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する				
目	7	後期基本計画	62 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	22			期間	年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し、家財道具等の処分費用に対する補助をおこなう。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家家財道具等処分補助金の交付	R3	・情報発信による制度周知 ・空き家家財道具等処分補助金交付(県外移住者分) 3件	R3計画 200	100			100
			当初予算 200	100			100
			決算額 300	150			150
	R4	・情報発信による制度周知 ・空き家家財道具等処分補助金交付(県補助活用分) 8件	R4計画 400	200			200
			当初予算 300	150			150
			決算額 779	389			390
	R5	・情報発信による制度周知 ・空き家家財道具等処分補助金交付(県補助活用分) 3件	R5計画 300	150			150
			当初予算 300	150			150
			決算額 299	149			150
	R6		R6計画 300	150			150
		当初予算 300	150			150	
		決算額					
R7		R7計画 600	300			300	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,800	900			900
			当初予算 1,100	550			550
			決算額 1,378	688			690

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 空き家バンク成約件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	件	目標値	20	20	25	25	30
					実績値	26	35	24		
					% 達成率	130	175	96		
2 補助金交付数	補助金交付件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	2	2	2	2	3
					実績値	3	8	3		
					% 達成率	150	400	150		
D 成果指標	1 市外からの移住者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
					実績値	96	109	41		
					% 達成率	160	155.7	51.3		
					2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 制度の周知を図るとともに、活用可能な空き家の掘り起こしに努める。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住定住策として空き家の活用を推進する。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業(空き家購入・改修(県外))	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	------------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (231)				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち				
款	2	施策	6 移住・定住の促進				
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する				
目	7	後期基本計画	62 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	22						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した県外移住者に対し、空き家の購入や改修に対する補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家購入補助金の交付 ・空き家改修補助金の交付</p>	R3	・情報発信による制度周知 ・空き家改修補助金の交付(県外移住者分) 3件	R3計画 2,400	1,200			1,200
			当初予算 2,400	1,200			1,200
			決算額 2,000	1,000			1,000
	R4	・情報発信による制度周知 ・空き家改修補助金の交付(県外移住者分) 5件	R4計画 2,000	1,000			1,000
			当初予算 1,800	900			900
			決算額 2,723	1,261			1,462
	R5	・情報発信による制度周知 ・空き家購入補助金の交付(県外移住者分) 5件 ・空き家改修補助金の交付(県外移住者分) 4件	R5計画 1,500	750			750
			当初予算 1,500	750			750
			決算額 4,544	2,151			2,393
	R6		R6計画 2,000	1,000			1,000
		当初予算 2,000	1,000			1,000	
		決算額					
R7		R7計画 2,800	1,400			1,400	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 10,700	5,350			5,350
			当初予算 7,700	3,850			3,850
			決算額 9,267	4,412			4,855

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 空き家バンク成約件数	空き家バンク成約件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	件	目標値	20	20	25	25	30
						実績値	26	35	24		
						% 達成率	130	175	96		
2 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	件	目標値	3	3	3	3	4	
					実績値	3	5	9			
					% 達成率	100	166.7	300			
D 成果指標	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	96	109	41		
						% 達成率	160	155.7	51.3		
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移住者からニーズの多い市内の空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に努めるとともに、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し制度の周知に取組む必要がある。	移住定住策として、空き家活用を推進する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業(家財道具処分・空き家購入・改修補助(県内))	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	---------------------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (231)				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち				
款	2	施策	6 移住・定住の促進				
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する				
目	7	後期基本計画	62 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	22			期間 年度 ~ 年度			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した市外移住者や空き家所有者に対し、補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家家財道具等処分補助金の交付 ・空き家購入補助 ・空き家改修補助</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信による制度周知 空き家改修補助金 8件 空き家家財道具等処分補助金 7件 不動産契約仲介手数料補助金(経過措置) 1件 引越費用補助金(経過措置) 1件 	R3計画 4,750				4,750	
				当初予算 4,750				4,750
				決算額 6,625				6,625
	R4	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信による制度周知 空き家改修補助金 6件 空き家家財道具等処分補助金 10件 	R4計画 5,300				5,300	
				当初予算 4,300				4,300
				決算額 4,097				4,097
	R5	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信による制度周知 空き家バンクの活動促進 空き家家財道具等処分補助金の交付 12件 空き家購入補助 6件 空き家改修補助 8件 	R5計画 6,400				6,400	
				当初予算 6,400				6,400
				決算額 7,479				7,479
	R6			R6計画 5,900				5,900
			当初予算 5,900				5,900	
			決算額					
R7			R7計画 7,500				7,500	
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 29,850				29,850	
			当初予算 21,350				21,350	
			決算額 18,201				18,201	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 空き家バンク成約件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	20	件	目標値	20	20	25	25	30
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	26	35	24		
	% 達成率	130	175	96						
2 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	24	件	目標値	13	12	14	15	17
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	17	16	26		
		% 達成率			130.8	133.3	185.7			
D 成果指標	1 市外からの移住者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	96	109	41		
	<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率	160	155.7	51.3					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 制度の周知を図るとともに、活用可能な空き家の掘り起こしに努める。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住定住策として、空き家活用を推進する。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業(県外移住者就業支援)	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	---------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (231)				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち				
款	2	施策	6 移住・定住の促進				
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する				
目	7	後期基本計画	62 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	22			期間 年度 ~ 年度			

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 県外からのU・I・Jターンによる起業・就業者の創出を支援するため、県の求人マッチングサイトを通じて就業した者やテレワークを実施する者等に対して移住支援金を交付する。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・情報発信による制度周知 ・移住支援金の交付	R3	・情報発信による制度周知	R3計画 1,000	500			500
			当初予算 1,000	500			500
			決算額				
	R4	・情報発信による制度周知 ・移住支援金の交付(世帯)1件	R4計画 1,000	500			500
			当初予算 1,000	750			250
			決算額 1,000	750			250
	R5	・情報発信による制度周知 ・移住支援金の交付(単身)2件、(世帯)1件	R5計画 3,000	2,250			750
			当初予算 3,000	2,250			750
			決算額 2,500	1,650			850
	R6		R6計画 4,200	2,250			1,950
		当初予算 4,200	2,250			1,950	
		決算額					
R7		R7計画 1,000	500			500	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 10,200	6,000			4,200
			当初予算 9,200	5,750			3,450
			決算額 3,500	2,400			1,100

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助金の交付件数 補助金の交付件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		件	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		1	3		
			%		達成率		100	300		
D 成果指標	1 市外からの移住者数 各種移住施策による移住者数(年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画		53	目標値	60	70	80	90	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	96	109	41		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	160	155.7	51.3	
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	15点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		3点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 引続き制度の周知を図るとともに、移住者の獲得に努める。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住定住策として就業支援策を推進する。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	移住情報発信・移住定住フェア参加事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (232)				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち				
款	2	施策	6 移住・定住の促進				
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する				
目	7	後期基本計画	62 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	22						
移住情報発信・移住定住フェア参加事業	広告料	495					
	移住・定住促進ポータルサイト保守委託料	330					
	移住・定住促進ポータルサイト制作委託料	330					
	移住フェアブース出展料	264					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 魅力ある地域情報や市の総合的な支援等をPRし、本市への関心を高めるため、ウェブサイト等を活用した情報発信に取り組む。また移住イベントに参加し、移住を促進する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・ポータルサイト「ぶんごおおの暮らし手帖」の運営、更新 ・SNSによる情報発信と拡散 ・移住相談会等への参加 ・移住関連サイト等の広告掲載 ・移住コーディネーターによる移住相談</p>	R3	・ポータルサイト「ぶんごおおの暮らし手帖」の運営、更新 ・SNSによる情報発信と拡散 ・移住関連サイト等の広告掲載 ・移住コーディネーターによる移住相談	R3計画 1,909 当初予算 1,909 決算額 1,212				1,909 1,909 1,212	
	R4	・ポータルサイト「ぶんごおおの暮らし手帖」の運営、更新 ・SNSによる情報発信と拡散 ・移住関連サイト等の広告掲載 ・移住コーディネーターによる移住相談	R4計画 880 当初予算 1,419 決算額 1,256				880 1,419 1,256	
	R5	・ポータルサイト「ぶんごおおの暮らし手帖」の運営、更新 ・SNSによる情報発信と拡散 ・移住相談会等への参加 ・移住コーディネーターによる移住相談	R5計画 1,419 当初予算 1,419 決算額 891				1,419 1,419 891	
	R6		R6計画 1,419 当初予算 1,419 決算額				1,419 1,419	
	R7		R7計画 880 当初予算 決算額				880	
	R3 ~ R7 合計			計画額 6,507 当初予算 6,166 決算額 3,359				6,507 6,166 3,359

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 専用サイトのアクセス数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	70,864	回	目標値	72,000	73,200	74,400	75,600	76,800
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	82,711	86,180	116,112		
	% 達成率	114.9	117.7	156.1						
2 移住相談件数	移住相談件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1,599	件	目標値	1,500	1,550	1,600	1,650	1,700
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1,853	1,254	1,235		
		% 達成率			123.5	80.9	77.2			
D 成果指標	1 市外からの移住者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	96	109	41		
	<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率	160	155.7	51.3					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
他市の取組も参考にしながら、SNSやポータルサイトでの情報発信の内容の見直しを行なうとともに、移住希望者に寄り添った相談業務に引き続き努める。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移住定住の情報発信は重要であり、またニーズも多いことから積極的に活用する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	関係人口創出事業	細事業	関係人口創出事業	実施計画事業	関係人口創出事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (235)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策 6 移住・定住の促進	期間		年度 ~ 年度	関係人口ネットワークシステム保守管理委託料			1,162	
項	1	施策展開 ②関係人口の創出・拡大と取り込み	施設等使用料		72					
目	7	後期基本計画 62 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当			関係人口等構築補助金	1,000
決算	23									

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的> 新しい時代の流れをつかみ、豊後大野の人や地域との深いつながりを築き、多様な人材の確保につなげていくため、都市住民などの多様な人材と地域内人材との融合により豊後大野出身者など外から地域を支える人材の確保など、関係人口の創出及び拡大に取り組む。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・関係人口マッチングサイトの管理運営 ・出身者等受入支援 ・指定管理者や県と連携した関係人口創出イベントの実施</p>	R3	旧歴史民俗資料館を改修し、多機能型の拠点施設を整備した。また、新たな施設の条例を制定し、指定管理制度を導入のため、選定及び決定を行った。また、令和4年度から実施する事業プログラムを策定した。	R3計画	114,913	69,614		30,000	15,299	
				当初予算	114,913	69,614		30,000	15,299
				決算額	114,226	71,844		7	42,375
	R4	・関係人口交流拠点施設の開館 ・指定管理者による施設の運営 ・指定管理者と関係人口創出事業の推進 ・拠点施設専用サイトの制作 ・出身者等とのマッチングサイト開設、受入支援	R4計画	30,000	15,000			15,000	
				当初予算	34,758	16,250			18,508
				決算額	23,326	8,340			14,986
	R5	・関係人口マッチングサイトの管理運営 ・出身者等受入支援 ・指定管理者や県と連携した関係人口創出イベントの実施	R5計画	30,000	15,000			15,000	
				当初予算	2,234	831			1,403
				決算額	1,702	831			871
	R6			R6計画	30,000	15,000			15,000
			当初予算	2,234	831			1,403	
			決算額						
R7			R7計画	5,000				5,000	
			当初予算						
			決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	209,913	114,614		30,000	65,299	
			当初予算	154,139	87,526		30,000	36,613	
			決算額	139,254	81,015		7	58,232	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用者数(累積)	拠点施設の利用者数(年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	人	目標値		1,300	1,300	1,300	1,300
					実績値		1,507	3,422		
					% 達成率		115.9	263.2		
C 活動指標	2 参加者数(累積)	拠点施設で行うセミナー等の参加者数(年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	人	目標値		100	100	100	100
					実績値		134	170		
					% 達成率		134	170		
D 成果指標	1 事業創出数(累積)	拠点施設の利用による新規事業創出数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	件	目標値		3	5	7	7
					実績値			8		
					% 達成率			160		
D 成果指標	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 関係人口交流拠点施設cocomioの指定管理者であるホーホッと連携し、関係人口の創出拡大の取組みを進める必要がある。また、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけたFrom豊後大野ネットワーク構築事業である「ボラホリぶんごおの」を通じ、地域を外から支える市内出身者等のデータベース化と地域活動への参画を促す取組みを進める必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引続き関係人口の創出・拡大に努める。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	コミュニティ助成事業	実施計画事業	コミュニティ助成事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (287)		政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名 豊後大野市地域コミュニティビジョン 期間 H25 年度 ~ 年度 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称 コミュニティ助成事業助成金 35,100	当初予算額
会計	一般	施策	1 地域コミュニティ活動の推進			
款	2	施策展開	①地域コミュニティを育成する			
項	1	後期基本計画	74 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	7	決算	24			

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> コミュニティ活動に必要な施設整備や備品購入等への支援を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・助成を希望する事業の募集 ・助成金の交付	R3	・コミュニティセンター助成事業 1団体 ・一般コミュニティ助成事業 2団体 ・地域づくり助成事業 1団体 に助成金を交付。	R3計画 22,000			22,000	
			当初予算 22,000			22,000	
			決算額 21,900			21,900	
	R4	・コミュニティセンター助成事業 1団体 に助成金を交付。	R4計画 12,000			12,000	
			当初予算 12,000			12,000	
			決算額 12,000			12,000	
	R5	・コミュニティセンター助成事業 2団体 ・一般コミュニティ助成事業 3団体	R5計画 35,100			35,100	
			当初予算 35,100			35,100	
			決算額 34,900			34,900	
	R6		R6計画 7,100			7,100	
		当初予算 7,100			7,100		
		決算額					
	R7		R7計画				
			当初予算				
			決算額				
	R3 ~ R7 合計		計画額 76,200			76,200	
			当初予算 76,200			76,200	
			決算額 68,800			68,800	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 申請数 申請があった団体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	件	目標値	5	5	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	1	6		
		% 達成率			80	20	120			
D 成果指標	1 採択団体 採択された団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画	5		目標値	5	5	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	4	1	5		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	80	20	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 引続き事業の周知を図るとともに、助成金を活用した活動を希望する団体には引続き情報提供をおこなう必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 地域コミュニティ活動が活性化するように、希望する団体には引き続き情報提供を行う。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	小規模集落対策事業	実施計画事業	小規模集落対策委託事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (287)		IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり		個別計画名 豊後大野市地域コミュニティビジョン 期間 H25 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称 小規模集落対策事業委託料	当初予算額 10,967
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり			
款	2	施策	1 地域コミュニティ活動の推進			
項	1	施策展開	①地域コミュニティを育成する			
目	7	後期基本計画	74 P			
決算	24					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 高齢化率が45%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会に、地域の課題把握や協議会の運営等を行う地域支援員を配置し、住民が安心して暮らせる地域づくりの体制の整備を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・小規模集落対策事業業務委託の締結(契約内容) 地域振興協議会の設置 地域づくり計画に基づく活動の実施 地域支援員の配置 ・ワークショップ等の開催</p>	R3	小規模集落対策事業業務委託の締結 ・7団体 ワークショップ等の開催 ・大野町東部・南部 ・緒方町小富士 ・三重町菅尾 計20回	R3計画 7,707 当初予算 7,707 決算額 7,508			7,000	707	
	R4	小規模集落対策事業業務委託の締結7団体 ワークショップ等の開催 ・大野町東部 ・役員会+支部別説明会 13地区 ・緒方町小富士 ・役員会+地区別説明会 6箇所 ・三重町菅尾:役員会、協定書締結 ・協議継続地区対象研修会の開催 1回	R4計画 10,107 当初予算 9,372 決算額 7,492			10,000	107	
	R5	小規模集落対策事業業務委託の締結9団体 ワークショップ等の開催 ・緒方町小富士 ・役員会、協定書締結(5回) ・大野町東部地区 ・役員会(13回) ・協議継続又は新規地区対象研修会の開催 (1回)	R5計画 11,307 当初予算 10,967 決算額 10,029			11,000	307	
	R6		R6計画 14,907 当初予算 12,390 決算額			14,000	907	
	R7		R7計画 18,507 当初予算 決算額			18,000	507	
	R3 ~ R7 合計			計画額 62,535 当初予算 40,436 決算額 25,029			60,000	2,535
							35,000	5,436
						24,400	629	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 配置数 地域支援員配置協議会数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	8	9		
		%			達成率	87.5	88.9	90		
2 開催数	ワークショップ等開催数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	10	回	目標値	12	12	14	14	15
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	20	20	19		
		%			達成率	166.7	166.7	135.7		
D 成果指標	1 設置数 地域振興協議会設置数(令和7年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	7	8	9		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	87.5	88.9	90	
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
高齢化率が50%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会には、地域の課題把握や協議会の運営等を行う地域支援員を配置し、住民が安心して暮らせる地域づくりの体制整備のための支援や学習会などを引続きおこなう必要がある。令和5年度は小富士地区において新たな地域振興協議会を設立した。令和6年度も新たな協議会設立に向けて住民間の合意形成のために話し合いを続けている地域に対し、引続き設立支援に向けた取組を継続する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民への支援体制の整備を検討し、引き続き支援を行う。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	小規模集落対策事業	実施計画事業	地域づくり交付金事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	-----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (288)		会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名 豊後大野市地域コミュニティビジョン 期間 H25 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 地域づくり交付金	当初予算額 11,353
款	2	施策 1 地域コミュニティ活動の推進				
項	1	施策展開 ①地域コミュニティを育成する				
目	7	後期基本計画 74 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	24					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 高齢化率が45%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会に、地域づくり計画に基づく活動を地域づくり交付金により支援し、地域の創意・工夫・責任による特色のある地域づくりの展開を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・地域づくり交付金の交付</p>	R3	地域づくり交付金の交付対象: 7団体	R3計画 9,546			9,000	546
			当初予算 9,546			9,000	546
			決算額 8,981			8,300	681
	R4	地域づくり交付金の交付対象: 7団体	R4計画 12,446			12,000	446
			当初予算 10,199			10,000	199
			決算額 8,272				8,272
	R5	地域づくり交付金の交付対象: 9団体	R5計画 13,946			13,000	946
			当初予算 11,353			9,500	1,853
			決算額 10,323			10,000	323
	R6		R6計画 18,446			18,000	446
			当初予算 13,135			9,500	3,635
			決算額				
	R3 ~ R7 合計			計画額 77,330			74,000
			当初予算 44,233			38,000	6,233
			決算額 27,576			18,300	9,276

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付件数 地域づくり交付金交付件数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	7	9		
		% 達成率			87.5	77.8	90			
D 成果指標	1 設置数 地域振興協議会設置数(令和7年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	7	8	9		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	87.5	88.9	90		
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 地域振興協議会の取組に対し引き続き支援を行う必要がある。また、新たに整備した補助金交付要綱に基づき拠点整備に対して支援していく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民のニーズに対応し、更に支援を続ける。
--	--

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	小規模集落対策事業	実施計画事業	小規模集落等支援補助事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	-----------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No. (288)		会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名 豊後大野市地域コミュニティビジョン 期間 H25 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 小規模集落等支援事業補助金	当初予算額 29,925
款	2	施策	1 地域コミュニティ活動の推進			
項	1	施策展開	①地域コミュニティを育成する			
目	7	後期基本計画	74 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	24					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 小規模集落等において、地域による自発的かつ主体的な地域づくりの推進を図るため、地域住民や地域コミュニティ組織等が自ら集落等生活圏の維持及び活性化を考え、活力ある生きがいの創出等に対する取組みに対し経費の一部を補助することで豊かなコミュニティづくりの推進を図ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク・コミュニティ推進事業 小規模集落等支援補助事業 地域振興協議会拠点整備補助金 <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <ul style="list-style-type: none"> 補助事業の案内周知 申請者へのヒアリング 申請者への事業計画策定支援 補助事業の進捗管理 補助事業の事業完了支援 	R3	小規模集落支援事業費補助金 ・申請団体: 5団体 ・採択団体: 2団体	R3計画 7,600	6,000			1,600	
				当初予算 7,600	6,000			1,600
				決算額 6,005	4,739			1,266
	R4	小規模集落支援事業費補助金 ・申請団体: 3団体 ・採択団体: 2団体	R4計画 7,600	6,000			1,600	
				当初予算 7,600	6,000			1,600
				決算額 7,599	5,997			1,602
	R5	○ネットワーク・コミュニティ推進事業 ・清川町支え合いまちづくり仕掛人会 ○小規模集落支援事業費補助金 ・申請団体: 3団体 ・採択団体: 2団体 (ながたに振興協議会、緒方町天神区) ○地域振興協議会拠点整備補助金 ・白山地域振興協議会	R5計画 7,600	6,000			1,600	
				当初予算 29,925	6,375			23,550
				決算額 25,388	10,042			15,346
	R6		R6計画 7,600	6,000			1,600	
			当初予算 11,025	8,625			2,400	
			決算額					
R7		R7計画 7,600	6,000			1,600		
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 38,000	30,000			8,000	
			当初予算 56,150	27,000			29,150	
			決算額 38,992	20,778			18,214	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 申請団体	申請団体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	8	者	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	5	3	3		
						% 達成率	250	150	150		
D 成果指標	1 採択件数	採択件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	件	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2	2		
						% 達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
事業の周知を図るとともに、県と調整しながら希望する団体への支援を図る必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民のニーズに対応し、更に支援を続ける。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	地域コミュニティ支援事務費	実施計画事業	ふるさとまつり実行委員会補助金	終了年度	なし
----	--------------	-----	---------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (295)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称 当初予算額
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり		
款	2	施策	2 協働によるまちづくりの推進		
項	1	施策展開	①協働の仕組みづくりと意識を高める		
目	7	後期基本計画	76 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	24				

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 豊後大野市の物産や観光コンテンツなどを一同に体験できるイベントを実施し、市内外に向けて効果的に地域の魅力を発信することで、にぎわいを創出し、地域経済活性化や市民の地域に対する誇りや郷土愛の醸成、シティプロモーションを図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 「ぶんごおおのフェスタ2023」開催 ・ステージイベント ・飲食や雑貨販売等の出店 ・各種PRブースの設置</p>	R3	コロナ禍に伴い開催中止	R3計画 6,200 当初予算 6,200 決算額			6,000	200	
	R4	・ウィズコロナに対応した新たなイベントとして「ぶんごおおのフェスタ2022」開催	R4計画 8,000 当初予算 6,200 決算額 5,087			7,500	500	
	R5	「ぶんごおおのフェスタ2023」開催 ・ステージイベント ・飲食や雑貨販売等の出店 ・各種PRブースの設置	R5計画 8,000 当初予算 5,800 決算額 5,800			7,500	500	
	R6		R6計画 8,000 当初予算 5,800 決算額			7,500	500	
	R7		R7計画 8,000 当初予算 決算額			7,500	500	
	R3 ~ R7 合計			計画額 38,200 当初予算 24,000 決算額 10,887			36,000	2,200

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 広報活動 市報、チラシ配布、マスメディアによる広報	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	式	目標値	1	5	5	6	6
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値		5	5		
		% 達成率					100	100			
D 成果指標	1 来場者数 ふるさとまつり来場者数 (令和元年度来場者数 約12,000人)	<input type="checkbox"/> 総合計画			人	目標値		12,000	12,000	12,000	12,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値		2,000	5,000		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率			16.7	41.7	

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和5年度は、これまでのふるさとまつりの開催の開催方法を見直し、市内外に向けた賑わいを創出するとともに、地域経済活性化や郷土愛の醸成、シティプロモーションを図ることを目的に開催した。当日は、子育て世代の参加が多くみられるなど多くの来場者があり盛況のうちに終了した。今後は、市内向けの賑わい創出のみでなく、市内外に向けたシティプロモーションの強化などの検討を行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 内容の検討を行ないながら事業を実施する。
---	--

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	地域コミュニティ支援事務費	実施計画事業	提案型まちづくり活動補助事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	---------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (292)		会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額			
款	2	施策	2 協働によるまちづくりの推進		期間	年度	年度			提案型まちづくり活動補助金	3,000	
項	1	施策展開	①協働の仕組みづくりと意識を高める		期間	年度	年度					
目	7	後期基本計画	76 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>			総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	24											

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市民活動団体の先駆性や柔軟性を生かしたアイデアやノウハウによって、より効果的な地域の課題解決や活性化、市民サービスの向上を目指すもの。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・事業アイデアの募集 ・提案団体へのヒアリング ・審査委員会の開催 ・採択団体の選定・通知 ・補助金の交付 ・事業への着手</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> 事業アイデアの募集 (R3.3.1~4.16) 追加募集 (R3.6.28~7.9) 提案した団体へのヒアリング 7団体 審査委員会の開催 (書類審査2回、プレゼンテーション審査1回) 採択団体の選定・通知 補助金の交付 	R3計画 3,000			3,000	
	当初予算	3,000			3,000		
	決算額	2,400			2,400		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> 事業アイデアの募集 (R4.3.1~4.15) 提案した団体へのヒアリング 9団体 審査委員会の開催 (書類審査1回、プレゼンテーション審査1回) 採択団体の選定・通知 補助金の交付 	R4計画 3,000			3,000	
	当初予算	3,000			3,000		
	決算額	2,999			2,990	9	
	R5	<ul style="list-style-type: none"> 事業アイデアの募集 (R5.3.1~4.14) 提案した団体へのヒアリング 9団体 審査委員会の開催 (書類審査1回、プレゼンテーション審査1回) 採択団体の選定・通知 補助金の交付 	R5計画 3,000			3,000	
	当初予算	3,000			3,000		
	決算額	2,875			2,500	375	
	R6			R6計画 3,000			3,000
当初予算	3,000				2,500	500	
決算額							
R7			R7計画 3,000			3,000	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 15,000			15,000	
			当初予算 12,000			11,500	500
			決算額 8,274			7,890	384

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7						
C 活動指標	1 提案団体数	提案団体へのヒアリング実施回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	件	目標値	5	6	6	6	6					
						実績値	7	9	9							
							%	達成率	140	150	150					
	2 開催数	審査委員会等の開催数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2					
実績値						3	2	2								
						%	達成率	150	100	100						
						%	達成率									
D 成果指標	1 採択数	提案団体の採択数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	5	件	目標値	3	6	6	6	6					
						実績値	4	7	6							
							%	達成率	133.3	116.7	100					
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値									
実績値																
							%	達成率								
							%	達成率								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>この事業をきっかけに新しい団体も設立されており、社会的な使命を達成することを目的とした市民活動団体が増えていくことは、本市の魅力を増進していると考えている。採択された団体が事業終了後も継続的・発展的な活動が行えるように、団体の活動を把握しながら、状況に応じて国や県等の事業を団体に情報提供など行っていくことが必要である。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市民のニーズに対応し、適正に事業実施をする。</p>
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	地域活動支援事業	実施計画事業	地域活動支援事業(地域おこし協力隊)	終了年度	なし
----	--------------	-----	----------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (290)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 当予算額
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり		
款	2	施策	1 地域コミュニティ活動の推進		
項	1	施策展開	②地域を支える人材を育成する		
目	7	後期基本計画	74 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	24				会計年度任用職員報酬 1,992
					自動車等借上料 304
					社会保険料(会計年度任用職員分) 250
					期末手当 332

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 都市地域から本市に移住し、地域ブランドや地場産品の開発、販売、PR等の地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、地域への定住・定着を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・地域おこし協力隊交流事業への参加 ・地域定着後のフォローアップ</p>	R3	地域おこし協力隊員 (R4.3.31時点) ・まちづくり推進課 1名 ・商工観光課 2名 (退任 2名、着任 3名)	R3計画 1,899				1,899	
				当初予算 1,899				1,899
				決算額 1,714				1,714
	R4	地域おこし協力隊員 5名 (R5.3.31時点) ・まちづくり推進課 1名 ・商工観光課 4名 うち着任1名	R4計画 4,068					4,068
				当初予算 4,421				4,421
				決算額 2,841				2,841
	R5	地域おこし協力隊員 3名 (R6.3.31時点) ・まちづくり推進課 1名 ・商工観光課 2名	R5計画 4,068					4,068
				当初予算 3,907				3,907
				決算額 3,831				3,831
	R6		R6計画 4,068					4,068
				当初予算 3,943				3,943
				決算額				
	R7		R7計画 4,068					4,068
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 18,171				18,171	
			当初予算 14,170				14,170	
			決算額 8,386				8,386	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 定着定住に向けた研修	人材育成のための研修参加	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		1	1		
					% 達成率		50	50		
D 成果指標	1 定住数	地域おこし協力隊任期後の定住数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	人	目標値	1	2			1
					実績値	2				
					% 達成率	200				
E 評価対象外の理由	O 評価対象		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 まちづくり推進課所属の地域おこし協力隊員は、本市ふるさと納税返礼品のSNSでのPRや新規商品登録補助のほか、cocomioでのイベント開催、地域に根ざした活動として朝地町内で開催されるイベント補助など多彩な活動を積極的に行っている。今後も地域おこし協力隊員自らが、地域おこし団体活動などがおこなう「地域協力活動」への参画等を通じて、地域への定住・定着を図る活動を支援していく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民のニーズに対応し、適正に事業実施をする。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	企画事業	細事業	自治基本条例関連事業	実施計画事業	自治推進委員会事業	終了年度	なし
----	------	-----	------------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額					
款	2	施策	2 協働によるまちづくりの推進		期間	年度	～	年度			自治推進委員会報酬	221			
項	1	施策展開	①協働の仕組みづくりと意識を高める		期間	年度	～	年度			費用弁償	47			
目	7	後期基本計画	76 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略			<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	通信運搬費	23
決算	25														

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 自治基本条例(豊後大野市まちづくり基本条例・平成24年3月)は、広範囲な市民理解と合意を得ることが必須であり、さらには市全体への浸透を図ると同時に市外からの認知と理解を得る必要があるため、市民等への啓発を推進する。 豊後大野市自治推進委員会の所掌事務は、①条例の運用状況に関すること、②条例による自治の推進の検証に関すること、③条例の見直しに関すること、④その他自治の推進に関すること。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・自治推進委員会(任期2年、現在9名)の開催(年6回予定) ※R5.9月に委員改選</p>	R3	・自治推進委員会の開催 5回	R3計画 333				333	
				当初予算 333				333
				決算額 236				236
	R4	・自治推進委員会の開催 4回	R4計画 333					333
				当初予算 291				291
				決算額 178				178
	R5	・自治推進委員会の開催 6回	R5計画 333					333
				当初予算 291				291
				決算額 277				277
	R6		R6計画 333					333
				当初予算 344				344
				決算額				
	R7		R7計画 333					333
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,665				1,665	
			当初予算 1,259				1,259	
			決算額 691				691	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 自治推進委員会の開催回数 開催回数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	5	回	目標値	6	6	6	6	6
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5	4	6		
		% 達成率			83.3	66.7	100			
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
まちづくり基本条例は市政運営の最高規範とされるので、他の条例の制定等や運用に当たっては、まちづくり基本条例の趣旨を最大限尊重し整合性を図る必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
自治基本条例の趣旨に基づき、効果的な事業実施に努める。

事業	企画事業	細事業	過疎対策事業	実施計画事業	過疎対策事業	終了年度	なし
----	------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No. (319)		会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名 豊後大野市過疎地域持続的発展計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 大分県過疎地域振興協議会負担金 消耗品費	当初予算額 198 20
款	2	施策 4 主体的で計画的な行政運営の推進				
項	1	施策展開 ③社会インフラの老朽化等への適切な対応				
目	7	後期基本計画 80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	25					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づく豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)の事業推進及び進捗管理に取り組む。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)の事業推進及び進捗管理</p>	R3	・「豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)」策定及び進捗管理	R3計画 324				324
			当初予算 324				324
			決算額 307				307
	R4	・豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)の事業推進及び進捗管理	R4計画 324				324
			当初予算 250				250
			決算額 217				217
	R5	・豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)の事業推進及び進捗管理	R5計画 324				324
			当初予算 218				218
			決算額 198				198
	R6		R6計画 324				324
		当初予算 400				400	
		決算額					
		R7計画 324				324	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 1,620				1,620
			当初予算 1,192				1,192
			決算額 722				722

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				目標値					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			実績値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	9点	9点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)」の進捗管理を行い、必要に応じて計画見直しを行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 7年度までの計画に基づき事業を実施し、適時、進捗管理を行う。
---	--

事業	企画事業	細事業	地域創生事業	実施計画事業	地域創生事業	終了年度	なし
----	------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (319)	会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款 2	施策 4	主体的で計画的な行政運営の推進	期間 R3	年度 ~ R7	サイクルイベント委託料	300
項 1	施策展開 ③	社会インフラの老朽化等への適切な対応	期間	年度 ~	普通旅費	201
目 7	後期基本計画 80 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	期間	年度 ~	草刈等委託料	200
決算 25					愛媛大分交流市町村連携事業負担金	162

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 「まち・ひと・しごと創生法」に基づく第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和3年度~令和7年度)について、豊後大野市総合戦略推進委員会において計画の検証・見直し等を行い、地方創生事業の推進を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・豊後大野市総合戦略推進委員会の開催(2回予定) ・大分都市広域圏事業サイクリング大会の開催 ・愛媛大分交流事業の実施</p>	R3	・大分都市広域圏事業サイクリング大会の開催(R4.3.27)等	R3計画 653				653
			当初予算 953				953
			決算額 681				681
	R4	・豊後大野市総合戦略推進委員会の開催(1回) ・大分都市広域圏事業サイクリング大会の開催(3/12) ・愛媛大分交流事業の実施	R4計画 853				853
			当初予算 1,093				1,093
			決算額 468				468
	R5	・豊後大野市総合戦略推進委員会の開催(1回) ・大分都市広域圏事業サイクリング大会の開催(3/20) ・愛媛大分交流事業の実施	R5計画 853				853
			当初予算 1,026				1,026
			決算額 439				439
	R6		R6計画 853				853
			当初予算 966				966
			決算額				
	R7		R7計画 853				853
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 4,065				4,065
			当初予算 4,038				4,038
			決算額 1,588				1,588

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 総合戦略推進委員会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	回	目標値	2	2	2	2	4	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		1	1			
	2 -				%	達成率		50	50		
						目標値					
D 成果指標	1 大分都市広域圏での連携事業数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	17	事業	目標値	21	21	21	21	21	
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	17	17	17			
	<input type="checkbox"/> 個別計画	%			達成率	81	81	81			
	2 -					目標値					
			実績値								
		<input type="checkbox"/> 総合計画		%	達成率						

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			15点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和3年度~令和7年度)」の豊後大野市総合戦略推進委員会における検証・見直し等については、効果的・効率的な検証方法にて行い、事業推進を図る必要がある。また、広域連携都市との交流事業については、効果的な事業に取り組む必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき事業実施を行う。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	少子化対策結婚支援事業	細事業	婚活支援事業	実施計画事業	婚活支援事業	終了年度	R7
----	-------------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (137)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	婚活支援事業委託料	3,000
款	2	施策 3 結婚・出産・子育て支援の充実		
項	1	施策展開 ③結婚に向けた取組を支援する		
目	7	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	26			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供して結婚のきっかけづくりを行い、本市の人口減少の抑制へとつなげる。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・個別相談会の開催 ・婚活イベントの開催 ・婚活サポータースキルアップ研修 ・婚活サポーター交流会及び情報交換会 ・婚活サポーター研修会 ・婚活イベント企画会議	R3	・個別相談会 7回 ・婚活セミナー・イベント 9回 ・婚活サポーター育成・指導 3回 ・婚活サポーター先進地研修 白杵市 ・婚活講演会 1回	R3計画 3,500	1,750			1,750
			当初予算 3,500	1,750			1,750
			決算額 3,116	1,558			1,558
	R4	・個別相談会の開催 8回 ・婚活セミナー・イベントの開催 2回 ・婚活サポータースキルアップ研修 3回 ・婚活サポーター情報交換会 1回 ・婚活サポーター養成講座 3回	R4計画 3,500	1,750			1,750
			当初予算 3,117	2,000			1,117
			決算額 3,055	1,500			1,555
	R5	・個別相談会の開催 6回 ・婚活イベントの開催 3回 ・婚活サポータースキルアップ研修 4回 ・婚活サポーター研修会 1回 ・婚活サポーター交流会及び情報交換会 4回 ・婚活イベント企画会議 3回	R5計画 3,500	1,750			1,750
			当初予算 3,080	2,000			1,080
			決算額 3,009	2,250			759
	R6		R6計画 3,500	1,750			1,750
		当初予算 3,000	2,000			1,000	
		決算額					
R7		R7計画 3,500	1,750			1,750	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 17,500	8,750			8,750
			当初予算 12,697	7,750			4,947
			決算額 9,180	5,308			3,872

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 開催回数①	個別相談会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	3	3	6	3	3
						実績値	7	8	6		
						% 達成率	233.3	266.7	100		
C 活動指標	2 開催回数②	婚活セミナー・婚活イベントの開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	9	2	3		
						% 達成率	300	66.7	100		
D 成果指標	1 相談者数	個別相談会の相談者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	22	人	目標値	64	64	64	64	64
						実績値	7	14	12		
						% 達成率	10.9	21.9	18.8		
D 成果指標	2 参加人数	婚活セミナー・婚活イベントの参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	43	人	目標値	56	56	84	56	56
						実績値	115	54	58		
						% 達成率	205.4	96.4	69.1		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 婚活イベントの参加者については、男性に比べ女性の申込が少ない。参加者からの意見として、同じ市内で知り合いの人に遭遇するかもしれないといった理由があることから、今後は他市と連携した取組も検討していきたい。また、婚活サポーターの育成に力を入れ、自立した組織を目指していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 婚活支援は、少子化対策の重要な事業ととらえており、今後も適正に事業の実施を行う。

I 令和7年度の事業の方向性 → B.見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業	少子化対策結婚支援事業	細事業	結婚新生活支援事業	実施計画事業	結婚新生活支援事業	終了年度	R7
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No. (139)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 3 結婚・出産・子育て支援の充実				
款	2	施策展開 ③結婚に向けた取組を支援する				
項	1	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	7					
決算	26					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的> 結婚を希望する男女や、結婚したいが経済的に結婚に踏み切れないカップルが結婚に踏み出すための支援として、引越費用や新居の取得に係る経費、家賃等を補助する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対し、新生活を始める際に係る経費を補助する。 600千円×10件=6,000千円</p>	R3	夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対し、新生活を始める際に係る経費を補助した。 300千円×4件=1,200千円	R3計画 当初予算 決算額	4,500 4,500 1,200	2,250 2,250 600			2,250 2,250 600	
	R4	夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対し、新生活を始める際に係る経費を補助した。 7件	R4計画 当初予算 決算額	4,500 3,000 2,947	2,250 2,000 1,376			2,250 1,000 1,571	
	R5	夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対し、新生活を始める際に係る経費を補助した。 6件	R5計画 当初予算 決算額	4,500 6,000 2,014	2,250 4,000 786			2,250 2,000 1,228	
	R6		R6計画 当初予算 決算額	4,500 6,000	2,250 4,000			2,250 2,000	
	R7		R7計画 当初予算 決算額	4,500	2,250			2,250	
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	22,500 19,500 6,161	11,250 12,250 2,762			11,250 7,250 3,399

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 申請件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	15	15	15	15	15
					実績値	4	7	6		
					% 達成率	26.7	46.7	40		
D 成果指標	1 対象者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	15	15	15	15	15
					実績値	4	7	6		
					% 達成率	26.7	46.7	40		
D 成果指標	2 婚姻数推計値	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	105組(令和元年大分県人口動態総覧・市町村別 令和2年10月)	組	目標値	105	105	105	105	105
					実績値	93	72	69		
					% 達成率	88.6	68.6	65.7		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
結婚に伴う経済的不安の軽減のため、今後も国の支援制度に則して本事業に取り組む必要があるが、国の補助要件から外れる新婚世帯を対象とする支援も検討する必要がある。なお、事業の周知を徹底する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
国の動向もみながら、今後も適正に事業の実施を行う。

事業	電源立地地域対策交付金事業	細事業	電源立地地域対策交付金事業	実施計画事業	電源立地地域対策交付金事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No. (262)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策 8 防災対策の充実	期間		年度 ~ 年度			
項	1	施策展開 ③災害対策を強化する	期間		年度 ~ 年度			
目	9	後期基本計画 66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	28							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 発電用施設の立地及び周辺地域の公共施設整備等に係る事業を行うことで、地域の活性化と住民の福祉の向上を図る。</p> <p><令和5年度の実績内容(計画)> ・電源立地地域対策交付金実施事業の進捗管理 ・県への交付金業務 ・次年度の実施事業の抽出、選定 ・関連協議会を通じた国への要望活動</p>	R3	交付金対象の小型動力消防ポンプ車両整備事業とコミュニティバス整備事業に取組み、事業の進捗管理をおこなった。また交付金の継続及び確保のため、国への要望活動をおこなった。	R3計画	57				57
				当初予算	57			57
				決算額	35			35
	R4	交付金対象の給食用パン運搬車整備事業と消防ポンプ自動車整備事業に取組み、事業の進捗管理をおこなった。また交付金の継続及び確保のため、国への要望活動をおこなった。	R4計画	57				57
				当初予算	38			38
				決算額	32			32
	R5	R5年度交付金対象事業であった消防ポンプ自動車整備事業とR4年度繰越事業の給食用パン運搬車整備事業に取組み、事業の進捗管理を行った。また交付金の継続及び確保のため、国への要望活動を行った。	R5計画	57				57
				当初予算	32			32
				決算額	32			32
	R6		R6計画	57				57
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画	57				57
				当初予算				
				決算額				
R3 ~ R7 合計			計画額	285			285	
			当初予算	127			127	
			決算額	99			99	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付金事業実施数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	件	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	1	2		
					% 達成率	100	50	100		
D 成果指標	1 公共施設や車両等の整備数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	件	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	1	2		
					% 達成率	100	50	100		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	15点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 事業の進捗管理の注意しながら効果的な事業執行が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、適正に事業を実施する。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	国際キャンプ事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No. (370)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策 4 文化・芸術の振興					
項	1	施策展開 ③友好都市との交流を推進する					
目	10	後期基本計画 90 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	29						
						講師謝礼金	80
						消耗品費	60
						施設等使用料	48

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 感受性豊かな子どもたちが新しい感覚や異文化を体験することで、国際的な視野を広めることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・事前研修、キャンプ(1泊2日) 市内小学生4、5、6年生を対象に、APU学生や市・県国際交流員等とともに交流体験を行う。</p>	R3	・キャンプ 小学生6名参加(※1日のみの開催)	R3計画 214 当初予算 214 決算額 1				214	
	R4	・キャンプ(1泊2日) 小学生15名参加	R4計画 214 当初予算 201 決算額 103				214	
	R5	・キャンプ(1泊2日) 小学生18名参加	R5計画 214 当初予算 210 決算額 157				214	
	R6		R6計画 214 当初予算 210 決算額				214	
	R7		R7計画 214 当初予算 決算額				214	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,070 当初予算 835 決算額 261				1,070

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
D 成果指標	1 国際キャンプ参加児童数	<input type="checkbox"/> 総合計画		人	目標値	20	20	20	20	20
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	6	15	18		
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	30	75	90		
		<input type="checkbox"/> 総合計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
参加する小学生の募集、協力いただく留学生の募集に苦慮している。令和6年度以降は事業内容の変更も視野に入れ、事業目的のために一過性のイベントにせず、次につながる施策も必要である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
事業について、見直しも含め検討も必要。

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	国際交流員活用事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (370)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策 4 文化・芸術の振興	期間 年度 ~ 年度					会計年度任用職員報酬	3,360
項	1	施策展開 ③友好都市との交流を推進する	期間 年度 ~ 年度					外国青年招致事業負担金	450
目	10	後期基本計画 90 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						社会保険料(会計年度任用職員分)	320
決算	29							費用弁償	167

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 国際交流関係事務等の補助のため、語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)を活用し、地域において国際交流活動に従事する国際交流員を配置する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・国際交流関係事務の補助 ・地域住民に対する語学指導への協力 ・民間国際交流団体の事業活動に対する助言、参画等</p>	R3	・韓国語教室 全26回 ・文化講座 2回 ・日韓オンライン交流会(両協会)通訳等	R3計画 4,229 当初予算 4,229 決算額 2,577				4,229	
	R4	・韓国語教室 全46回 ・文化講座 3回 ・放課後チャレンジ教室 全7回 ・韓国交流事業時翻訳・通訳等	R4計画 5,000 当初予算 4,463 決算額 4,714				5,000	
	R5	・韓国語教室 全33回 ・文化講座 3回 ・放課後チャレンジ教室 全6回(朝地、緒方、三重4校) ・韓国交流事業時翻訳・通訳等	R5計画 5,000 当初予算 4,533 決算額 4,418				5,000	
	R6		R6計画 5,000 当初予算 4,566 決算額				5,000	
	R7		R7計画 5,000 当初予算 決算額				5,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 24,229 当初予算 17,791 決算額 11,709				24,229

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 活動事業数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値					
					実績値	9	11	10		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
					目標値					
D 成果指標	1 活動事業参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値					
					実績値	400	500	500		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
					目標値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
韓国機張郡等との交流における翻訳通訳や先方との連絡調整のほか、国際交流協会事業の文化講座(料理教室等)の開催や公民館の韓国語教室講師として市民に語学指導や異文化交流を行う上で必要な事業(人材)である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
インバウンド対応や国際化の推進に積極的に取り組む。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	国際交流協会事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (370)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	4 文化・芸術の振興				
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する				
目	10	後期基本計画	90 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	29						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 民間レベルで国際交流事業を展開している豊後大野市国際交流協会(平成17年10月設立)の事業活動を支援することで、市民の国際理解や国際感覚を高め、国際人の育成を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・豊後大野市国際交流協会への運営補助</p>	R3	・豊後大野市国際交流協会運営補助金交付	R3計画 1,537				1,537
			当初予算 1,537				1,537
			決算額 478				478
	R4	・豊後大野市国際交流協会運営補助金交付	R4計画 1,537				1,537
			当初予算 1,537				1,537
			決算額 731				731
	R5	・豊後大野市国際交流協会運営補助金交付	R5計画 1,537				1,537
			当初予算 1,537				1,537
			決算額 1,537				1,537
	R6		R6計画 1,537				1,537
			当初予算 1,577				1,577
			決算額				
	R7		R7計画 1,537				1,537
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 7,685				7,685
			当初予算 6,188				6,188
			決算額 2,746				2,746

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 交流事業数(協会主催)	事業数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	7	7	7	7	7
						実績値	7	9	10		
						% 達成率	100	128.6	142.9		
D 成果指標	1 交流事業参加者数(協会主催)	参加者数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	650	人	目標値	500	500	500	500	500
						実績値	650	770	700		
						% 達成率	130	154	140		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点	2点	2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		14点	14点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
文化講座や市内で暮らす外国人向けの日本語教室などの活動に取り組んでいる。外国人材の受け入れ・共生に向けて市と連携して取り組む事業もあり、今後の事業継続のためには引き続きサポートする必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
国際化の推進のため、引き続き支援する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
18001	4

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係
-----	----------	----	-------

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	中国荊州区交流事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (369)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち			
款	2	施策	4 文化・芸術の振興			
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する			
目	10	後期基本計画	90 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	29					

個別計画名	期間	年度	～	年度
	期間	年度	～	年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
通信運搬費	14

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 「友好都市交流協定」(平成18年10月1日)を結んでいる中国荊州区との交流事業。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・中国荊州区へ表敬訪問予定(※未定)	R3	・表敬訪問等交流なし
	R4	・表敬訪問等交流なし
	R5	・表敬訪問等交流なし
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	14				14
当初予算	14				14
決算額					
R4計画	14				14
当初予算	14				14
決算額					
R5計画	14				14
当初予算	14				14
決算額					
R6計画	14				14
当初予算					
決算額					
R7計画	14				14
当初予算					
決算額					
計画額	70				70
当初予算	42				42
決算額					

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C	活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
			<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				% 達成率				
			<input type="checkbox"/> 個別計画				目標値				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
			<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率				
D	成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
			<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率				
			<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
			<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	7点	3点	7点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	1点		1点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
				7点		7点
				25点		25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
平成30年度から再開した中国荊州区との交流について、新型コロナウイルス感染症の影響で表敬訪問が実現できず、交流内容の協議ができていない。本格的な交流再開には十分な調整が必要である。	国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。

I 令和7年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	韓国機張郡交流事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No. (369)		V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	政策	4 文化・芸術の振興					
款	2	施策	③友好都市との交流を推進する	期間	年度 ~ 年度	交流事業委託料	1,000	
項	1	施策展開	後期基本計画 90 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	普通旅費	306
目	10						費用弁償	200
決算	29						記念品代	50

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 旧清川町で「友好協力宣言」(平成15年9月19日)を締結し、豊後大野市に引き継いでいる韓国機張郡との交流事業。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・機張郡への表敬訪問 (R5年10月予定)</p>	R3	・オンライン交流会(日韓両協会役員等) ※ホームステイ受入中止	R3計画 1,495 当初予算 1,495 決算額				1,495	
	R4	・機張郡からの訪問団受け入れ (R4.11.18~20)	R4計画 1,295 当初予算 1,495 決算額 1,422				1,295	
	R5	・機張郡への訪問 (R5.10.23~25)	R5計画 1,495 当初予算 1,601 決算額 1,115				1,495	
	R6		R6計画 1,295 当初予算 2,406 決算額				1,295	
	R7		R7計画 1,495 当初予算 決算額				1,495	
	R3 ~ R7 合計			計画額 7,075 当初予算 6,997 決算額 2,537				7,075

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
2-		<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			実績値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
2-		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点	3点	9点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 豊後大野市日韓国際交流協会(清川町)が主体となり、令和4年度、3年ぶりに機張郡から訪問団の受け入れを行った。令和5年度は機張郡を訪問し、従来のホームステイ交流の再開及び今後の交流内容等に向けて協議した。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	韓国益山市交流事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (369)		政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額			
会計	一般	施策	4 文化・芸術の振興							
款	2	施策展開	③友好都市との交流を推進する	期間	年度 ~ 年度	通信運搬費	14			
項	1	後期基本計画	90 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	
目	10	決算	29							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 旧三重町の真名野長者伝説と益山市に伝わる武王伝説が類似していることで始まったもので、「友好交流協定」(平成17年8月22日)を結んでいる韓国益山市との交流事業。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 未定</p>	R3	表敬訪問実施なし	R3計画 14				14
			当初予算 14				14
			決算額				
	R4	・益山市議会からの表敬訪問団受け入れ (R5.3.15)	R4計画 14				14
			当初予算 14				14
			決算額				
	R5	表敬訪問実施なし	R5計画 14				14
			当初予算 14				14
			決算額				
	R6		R6計画 14				14
		当初予算 14				14	
		決算額					
		R7計画 14				14	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 70				70
			当初予算 56				56
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点	3点	9点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
平成28年の益山市との協議により、隔年での訪問は止め、市長就任時の訪問や記念事業の際での訪問等に切り替えている。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	外国人材受入・共生事業委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (370)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	4 文化・芸術の振興					
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する					
目	10	後期基本計画	90 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	29							

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 増加傾向にある外国人市民が、地域社会で生活していくために必要な日本語能力を身につけながら地域住民と関わる機会を増やし、お互いが地域の一員としてより暮らしやすくなることを目指すことを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ※国際交流協会事業として実施</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室の開催 12回 ニーズ調査 15事業所 ボランティアスキルアップ研修 9回 	R3計画 500				500
			当初予算 1,001	501			500
			決算額 361	180			181
	R4	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室の開催 14回 新規ボランティア養成講座 12回 ボランティアスキルアップ研修 5回 	R4計画 500				500
			当初予算 1,000	500			500
			決算額 334	166			168
	R5	令和5年度事業実績なし	R5計画 500				500
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 500				500
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 500				500	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 2,500				2,500
			当初予算 2,001	1,001			1,000
			決算額 695	346			349

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 日本語教室開催回数	教室開催回数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	50	70	90	120	150
						実績値	12	14	45		
					%	達成率	24	20	50		
D 成果指標	1 日本語教室等の外国人受講者数	教室参加人数(年間延べ人数)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	500	750	950	1,400	1,750
						実績値	37	45	164		
					%	達成率	7.4	6	17.3		
	2		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	17点	17点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
外国人を雇用している事業所等に対するニーズ調査によると、日本語教室の開催に対する要望が強く、今後増加が予想される外国人に対し有効な事業と考える。今後は国際交流協会の自主事業として実施する。	市内在住の外国の方々の生活等しやすい環境づくりに努める。

事業	交流促進事業	細事業	地域間交流促進事業	実施計画事業	交流イベント事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (369)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	2	施策	4 文化・芸術の振興	期間		年度	～	年度	交流イベント業務委託料			350
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する	期間		年度	～	年度	普通旅費			414
目	10	後期基本計画	90 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画		<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		通信運搬費			130
決算	29											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 旧朝地町が昭和62年から始めた東京都台東区との友好都市交流事業。また、連携都市等との交流事業。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・隅田川花火大会友好都市交流(7/29) ・台東区ふるさとPRフェスタ出店(10/21-22) ・まるごとみやま市民まつり(11月)</p>	R3	※台東区との交流事業中止	R3計画 1,007				1,007
			当初予算 1,007				1,007
			決算額 119				119
	R4	・まるごとみやま市民まつり(みやま市) ※台東区との交流事業は中止	R4計画 1,007				1,007
			当初予算 1,005				1,005
			決算額 63				63
	R5	・隅田川花火大会友好都市交流(7/29) ・台東区ふるさとPRフェスタ出店(10/21-22) ・まるごとみやま市民まつり(11/11-12)	R5計画 1,007				1,007
			当初予算 1,010				1,010
			決算額 903				903
	R6		R6計画 1,007				1,007
			当初予算 1,099				1,099
			決算額				
	R7		R7計画 1,007				1,007
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 5,035				5,035
			当初予算 4,121				4,121
			決算額 1,085				1,085

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交流事業数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		1	3		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		50	150		
					目標値					
D 成果指標	1 交流事業参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
					実績値		350	10,000		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		35	1,000		
					目標値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点		2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	12点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	25点	2点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から交流事業のほとんどが中止となった。今後は、継続可能な交流方法等について考える必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、適正に事業実施をする。
---	--

事業	行政事務情報化推進事業	細事業	基幹電算事務事業	実施計画事業	基幹電算事務事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進		期間	年度 ~ 年度			基幹電算システム改修業務委託料	19,382
項	1	施策展開	⑤行政デジタルシフトの推進		期間	年度 ~ 年度			ソフトウェア使用料	103,771
目	11	後期基本計画	71 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		期間	年度 ~ 年度			自治体DX対応業務	15,280
決算	30								機械器具費	13,425

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等					
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			一般財源	
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
事業の目的と内容 <事業の目的> 基幹系等電算システムの円滑な運営を図り、行政業務を支援する。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・行政事務システムの安定利用 ・自治体DX対応業務として、標準化システム対応と業務改善活用ツールの拡大普及	R3	通常の電算システム、機器管理業務は通年通り。行政手続オンライン化については国のスケジュールに沿って計画し、令和4年度中の構築となった。AIツールの活用については、いくつかの業務で実運用が開始できた。別途、業務改善ツールとして「Kintone」を導入し活用推進を行った。	R3計画	139,097	1,064		138,033	
			当初予算	139,097	1,064		138,033	
			決算額	133,842	1,500	33	132,309	
		R4	・基幹情報系関連システム等改修(セキュリティ関連等) ・行政手続オンライン化対応(子育て・介護関係) ・財務会計電子決裁化対応(機器整備) ・業務改善ツール活用(Kintone、電子申請システム、RPA等)	R4計画	140,000			140,000
			当初予算	192,701	10,563		182,138	
			決算額	180,365	3,967		176,398	
		R5	・システム標準化対応(Fit&Gap、文字同定、事前移行作業) ・IaaSサーバー更改対応 ・業務改善ツール活用(Kintone、電子申請システム、RPA等)	R5計画	140,000			140,000
			当初予算	157,550	14,180		143,370	
			決算額	186,935	9,416		177,519	
		R6		R6計画	140,000			140,000
			当初予算	257,495	89,161		168,334	
			決算額					
		R7		R7計画	140,000			140,000
			当初予算					
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	699,097	1,064		698,033	
			当初予算	746,843	114,968		631,875	
			決算額	501,142	14,883	33	486,226	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 行政手続電子申請化数	市民の行政手続きの電子申請化数(国推進の子育て、介護、被災者支援等)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	業務	目標値	26	35			
						実績値	3	36			
						% 達成率	11.5	102.9			
2 AI-OCR、RPA活用人材の育成	AI-OCR、RPA活用人材の育成	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	業務	目標値	5	10				
					実績値	2	7				
					% 達成率	40	70				
D 成果指標	1 行政手続き電子申請件数	行政手続き電子申請件数(びったりサービス利用件数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	件	目標値	100	1,000	1,000		
						実績値	1	47	161		
						% 達成率	1	4.7	16.1		
2 AI-OCR、RPA活用業務数	AI-OCR、RPA活用業務数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	業務	目標値	5	10	10			
					実績値	7	12	12			
					% 達成率	140	120	120			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	17点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ・行政システム標準化対応については、補助費用やガバメントクラウド利用に関する内容等での未確定なものも多く、補助金申請、業務委託契約が思ったように進まなかったが、予定していた内容のFit&Gap調査作業と文字同定作業は期間内に完了できた。 ・現在利用している大分クラウドサービスの一部であるIaaS環境サーバーのガバメントクラウドに移行しないシステム(家庭用、水道システム)の更新については無事に完了した。 ・業務改善ツールの活用については、すでに導入済であるKintoneと電子申請システム(Logoフォーム)については、各業務にて多くの活用ができており、RPAについては活用対象となる基幹システムの標準化移行が控えているため、新たな追加活用については標準システム移行後を考慮しているが、現在利用中のシステムについては、標準システムに対応するよう再構築の必要がある(令和6年度後半から7年度対応予定)	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 電子申請システムについては、未整備事業の電子申請の要否を検討し、相応の整備を実施する。業務改善については、未利用ツールを廃止し、新たな業務課題に対応したツールを開発する。基幹システムの標準化については、令和7年度稼働に向け、進捗管理を徹底するとともに計画的な移行に向け、必要な作業を講じること。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	行政事務情報化推進事業	細事業	情報ネットワーク管理事業	実施計画事業	情報ネットワーク管理事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	ICT環境整備事業	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進		期間 R2 年度 ~ R3 年度	イントラネット保守委託料	2,200
項	1	施策展開	⑤行政デジタルシフトの推進		期間 年度 ~ 年度	情報ネットワーク保守業務委託料	16,085
目	11	後期基本計画	71 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			インターネット使用料	1,107
決算	30						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 本庁、支所及び出先機関(市内小中学校等の接続を含む)を結ぶ情報ネットワークの円滑な運営管理。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・情報ネットワーク保守業務委託 ・イントラネット保守委託料 ・インターネット接続環境利用料 ・その他ネットワーク接続関連経費</p>	R3	例年通り情報ネットワーク全体の保守管理については大きな問題もなく、GIGAスクール事業等に関連した必要な変更や対策はしっかり対応した。 庁舎内Wi-Fi環境整備については、本庁及び支所、出先機関をはじめ、災害時避難場所となる各公民館についても環境整備(予算は総務係の庁舎等建築予算を利用)を行い年度内に完了した。	R3計画	17,562			17,562
			当初予算	17,562			17,562
			決算額	14,533			14,533
	R4	・庁舎内Wi-Fi整備(施設追加等) ・情報ネットワーク保守 ・イントラネット共架電柱移設対応	R4計画	19,000			19,000
			当初予算	19,271			19,271
			決算額	19,205	532		18,673
	R5	情報ネットワーク保守業務委託 イントラネット保守委託料 インターネット接続サービス利用料	R5計画	19,000			19,000
			当初予算	22,051			22,051
		決算額	17,707			17,707	
	R6		R6計画	19,000			19,000
			当初予算	28,044			28,044
			決算額				
	R7		R7計画	19,000			19,000
			当初予算				
			決算額				
	R3 ~ R7 合計		計画額	93,562			93,562
			当初予算	86,928			86,928
			決算額	51,445	532		50,913

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 庁舎内Wi-Fi環境整備箇所	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		2	目標値	14	14	14	14	14
					実績値	14	20	20		
					% 達成率	100	142.9	142.9		
D 成果指標	1 庁舎内リモート会議数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		会議	目標値	5	10	20	30	40
					実績値	10	15			
					% 達成率	200	150			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	19点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>・情報ネットワークについてはトラブルもなく安定した運用ができた ・イントラネット(屋外光ケーブル伝送路)は災害対応もほぼなく、部分的な定期調査の実施 ・指標である庁内Wi-Fiについては令和4年度に必要な箇所の整備は完了しており現在安定稼働中 ・オンライン会議はコロナ禍から通常に戻った関係で、対面会議も戻ってきている状況であるが、県等とのオンライン会議は一定数常用化されてきているのと、オンラインウェビナーなど現地参加不要の研修は活発にいろいろと行われている状況。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>整備したオンライン環境が有効に活用できるよう保守管理はもとより、必要な改善を図る。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	行政事務情報化推進事業	細事業	情報化推進事務費	実施計画事業	情報化推進事務事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No. (286)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 ICT環境整備事業	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 10 情報管理、情報化の推進	期間 R2 年度 ~ R3 年度	GISライセンス料	4,998
款	2	施策展開 ⑤行政デジタルシフトの推進	期間 年度 ~ 年度	ペーパーレス会議システム利用料	1,530
項	1	後期基本計画 71 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		消耗品費	80
目	11			OA機器廃棄業務委託料	50
決算	30				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 庁舎内共通業務に関する統合型サービス利用推進 <令和5年度の実績内容(計画)> ・ペーパーレス会議室システム運用管理 ・庁舎内統合型GISシステム運用管理	R3	・ペーパーレス会議室システム運用管理 ・庁舎内統合型GISシステム運用管理	R3計画 6,374				6,374
			当初予算 6,374				6,374
			決算額 5,536				5,536
	R4	・ペーパーレス会議室システム運用管理 ・庁舎内統合型GISシステム運用管理	R4計画 7,500				7,500
			当初予算 6,408				6,408
			決算額 6,170				6,170
	R5	・ペーパーレス会議室システム運用管理 ・庁舎内統合型GISシステム運用管理	R5計画 6,670				6,670
			当初予算 6,670				6,670
			決算額 6,511				6,511
	R6		R6計画 7,500				7,500
		当初予算					
		決算額					
		R7計画 7,500				7,500	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 35,544				35,544
			当初予算 19,452				19,452
			決算額 18,217				18,217

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 タブレット、リモートパソコン導入	<input type="checkbox"/> 総合戦略		5	台	目標値 200	200	200	200	200
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値 205	205			
	2 業務データ一元管理ツール導入	<input type="checkbox"/> 総合戦略			ライセンス	目標値 35	80	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値 35	80	80		
					%	達成率 102.5	102.5			
D 成果指標	1 ペーパーレス会議数実績	<input type="checkbox"/> 総合計画			会議	目標値 5	10	20	30	40
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値 10	70			
	2 データ一元管理業務数	<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率 200	700		
		<input type="checkbox"/> 総合計画			業務	目標値 3	10	30	40	50
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値 3	10			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率 100	100			

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	18点	3点	18点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ・ペーパーレス会議は議会をはじめ庁内連絡会議や個別の説明会等にも安定して活用されている ・GISシステムについては、システムのバージョンアップにより画像表示等のレスポンスが向上し扱いやすくなった ※令和6年度、本事業は基幹電算事務事業に統合	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 今後も安定したり利活用に資するため、必要な保守管理を継続するとともに、利用状況を踏まえた必要最小限の環境整備に努める。
--	--

事業	地域情報化推進事業	細事業	携帯不感地域解消事業	実施計画事業	携帯不感地域解消事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (281)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	2	施策 10 情報管理、情報化の推進	期間		年度 ~ 年度	火災等保険料			75
項	1	施策展開 ④携帯電話不感地域を狭める	期間		年度 ~ 年度	立木伐採委託料			100
目	11	後期基本計画 71 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				鉄塔土地借上料			600
決算	31								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市事業で設置した携帯電話基地局(10基地局)の維持管理</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 火災保険継続。鉄塔土地借上の処理。基地局の伐採、除草作業。災害等による柵等の修繕対応</p>	R3	民間携帯電話サービス事業者により、国に報告していた市内携帯電話不感地域はエリア的にはすべて解消となった。一部電波の受信状況が良くない地域等もあり、個別にサービス事業者へ報告も行っている。またその地域の利用者からも、直接サービス事業者へ連絡いただくよう協力いただいている。	R3計画 775				775
			当初予算 775				775
			決算額 657				657
	R4	市の事業で整備した携帯電話基地局(10基地局)の維持管理	R4計画 775				775
			当初予算 775				775
			決算額 775				775
	R5	・携帯基地局設置借地料 ・機器保険料	R5計画 775				775
			当初予算 775				775
			決算額 655				655
	R6		R6計画 775				775
		当初予算 775				775	
		決算額					
R7		R7計画 775				775	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 3,875				3,875
			当初予算 3,100				3,100
			決算額 2,087				2,087

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 市内携帯電話サービス提供者数	市内携帯電話サービス提供者数 (R2.4)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	社	目標値	4	4	4	4	4
						実績値	4	4	4		
						% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 携帯電話不感地域解消箇所数	携帯電話不感地域総務省報告数 (R2.4) 不感地域 6か所	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	箇所	目標値	6	6	6	6	6
						実績値	6	6	6		
						% 達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	20点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	2点		2点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
総務省に報告している市内の夜間居住地の携帯電話の繋がらない地域については、事業者の独自事業によりすべて解消している。予算も市の事業で設置した基地局の個人所有地の借地料が主となっている。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
今後も基地局の設置に係る必要な経費を維持する。

事業	ケーブルテレビ管理事業	細事業	ケーブルテレビ管理事業	実施計画事業	ケーブルテレビ管理事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No. (279)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進				
項	1	施策展開	③ケーブルテレビ事業を充実する				
目	12	後期基本計画	71 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	32						
		ケーブルテレビ施設管理委託料	23,371				
		ケーブルテレビ運営業務委託料	106,319				
		自主放送番組制作業務委託料	38,935				
		ケーブルテレビ関連機器更新工事請負費	98,890				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> コミュニティ情報の基盤となる番組制作及びケーブルテレビ設備・機器の維持・更新を行い、行政情報の伝達及びテレビ放送等の安定したサービス提供を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 行政情報と放送番組等サービスを安定供給するため、伝送路の維持管理、設備・機器の保守及び更新を行う。</p>	R3	週間!情報トレインを中心とした自主放送番組を制作し、市民への情報提供を行った。テレビ放送や通信サービス等を安定供給するため、伝送路の維持管理、設備・機器の保守及び更新を行った。	R3計画 348,796	700	318,242	29,854	
			当初予算 348,796	700	318,242	29,854	
			決算額 378,433	800	249,267	128,366	
	R4	週間!情報トレインを中心とした自主放送番組を制作し、市民への情報提供を行った。テレビ放送や通信サービス等を安定供給するため、伝送路の維持管理、設備・機器の保守及び更新を行った。	R4計画 347,985		318,242	29,743	
			当初予算 349,734		326,980	22,754	
			決算額 383,130		326,392	56,738	
	R5	週間!情報トレインを中心とした自主放送番組を制作し、市民への情報提供を行った。テレビ放送や通信サービス等を安定供給するため、伝送路の維持管理、設備・機器の保守及び更新を行った。	R5計画 347,985		318,242	29,743	
			当初予算 355,401		329,038	26,363	
			決算額 341,588		335,095	6,493	
	R6		R6計画 347,985		318,242	29,743	
			当初予算 624,218	250,000	328,936	45,282	
			決算額				
	R7		R7計画 347,985		318,242	29,743	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,740,736	700	1,591,210	148,826	
			当初予算 1,678,149	700	1,303,196	124,253	
			決算額 1,103,151	800	910,754	191,597	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ケーブルテレビ設備・機器更新 機器更新工事の請負額	<input type="checkbox"/> 総合戦略	95,700	千円	目標値	97,900	97,900	97,900	97,900	97,900
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	95,700	95,700	97,350		
		%			達成率	97.8	97.8	99.4		
D 成果指標	1 ケーブルテレビ加入率 各年度末日の加入世帯/令和2年国勢調査世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	88.4	%	目標値	89	89	89	89	90
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	88.5	92.2	92		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	99.4	103.6	103.4		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		23点	23点
		/25点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
半導体不足による、ケーブルテレビ関連機器の供給については、かなり改善されてきたため計画どおりの機器更新が実施できた。その中で、インターネットサービスに必要な機器については、導入から10年以上経過しており更新のタイミングとなっているが、更新だけでも多額の費用が発生するため、長期的に利用でき2重投資が発生しないことを目標に検討を進めた。その結果、機器の更新に合わせ、将来的な需要を満たすことができ、都市部との格差解消を行うため、10Gに対応できる機器を導入することを更新の第一条件として計画を作成し、令和6~7年度で工事を実施するための準備を行った。
今後も行政情報を継続し発信していくため、時代や状況に合わせ機能を拡充しつつ、機器更新を実施していく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
通信ネットワークの高速化に向けた準備が整った。令和6年度~令和7年度に向けた10Gへの移行機器更新を円滑に実施する必要がある。また、サービス開始に向けた諸準備を並行して実施する必要がある。

事業番号	23002
枝番	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	まちづくり推進課	係名	朝倉文夫記念館係
-----	----------	----	----------

事業	文化振興事業	細事業	朝倉文夫記念館自主事業	実施計画事業	朝倉文夫記念館自主事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (364)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市文化振興計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	4 文化・芸術の振興							
項	1	施策展開	①文化・芸術活動を推進する							
目	13	後期基本計画	90 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画					<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	33									

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 朝倉文夫の調査・研究を行い、顕彰するとともに、市民への美術鑑賞の機会を提供し、美術に関する感性を醸成する。また、美術制作を楽しんでいる市民に発表の場を提供し、文化活動を支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・県内作家による個展等2回、共催展(県美展巡回展)1回、県内のアマチュア作家を対象とした美術コンクールを1回開催 ・外に出る美術館事業 10か所程度 ・朝倉文夫・兄弟等に関する調査及び小冊子発行 ・朝倉文夫生誕140周年記念コーナー展示の実施</p>	R3	・県内作家による個展2回、県内のアマチュア作家を対象とした美術コンクール1回、大分県美術協会の共催事業1回開催 入場者数 計2,074人 ・外に出る美術館 6回実施 参加者数131人 ・朝倉文夫・兄弟等に関する調査 6回実施、小冊子「朝倉文夫 第5集」の発行	R3計画 2,070 当初予算 2,070 決算額 1,811			350	1,720	
	R4	・県内作家による個展等2回、共催展(県美展巡回展)1回開催 ・外に出る美術館事業 10か所 ・朝倉文夫・兄弟等に関する調査及び小冊子「日本近代彫塑の巨匠 朝倉文夫No.6」を発行	R4計画 3,500 当初予算 3,091 決算額 2,087			200	3,300	
	R5	・県内作家による個展等2回、共催展(県美展巡回展)1回、県内のアマチュア作家を対象とした美術コンクールを1回開催 ・外に出る美術館事業 9か所実施 ・朝倉文夫と「ウエツマ」に関する調査 ・小冊子 朝倉文夫 No.7の発行 ・朝倉文夫生誕140周年記念コーナー展示「美術学校時代の朝倉文夫と渡辺長男」の実施	R5計画 2,500 当初予算 2,518 決算額 2,206			350	2,150	
	R6		R6計画 3,500 当初予算 2,854 決算額			200	3,300	
	R7		R7計画 2,500 当初予算 決算額			350	2,150	
	R3 ~ R7 合計			計画額 14,070 当初予算 10,533 決算額 6,104			1,450	12,620

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 朝倉記念館鑑賞型事業の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1,460	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2,074	1,143	1,603		
	2 朝倉記念館参加型事業の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	695	人	目標値	300	300	300	300	300
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	131	191	171		
					%	達成率	103.7	57.2	80.2	
D 成果指標	1 文化活動の活性化自主事業の数	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	回	目標値	3	2	3	2	3
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	3	2	3		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
					%	達成率	100	100	100	

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
さまざまな美術作品の鑑賞や体験の機会を提供するとともに、創作した作品の発表の機会を提供することによって、市民の豊かな感性を育む、市の文化振興のために必要な事業である。また、「外に出る美術館事業(出前講座)」や隔年開催で実施している「市内小中学生招待事業」は、朝倉文夫の作品や大分アジア彫刻展の作品などを鑑賞することにより、幼い頃より芸術に親しみ、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことに寄与している事業と言える。現在もポスター、チラシ、DMハガキの配布や、ホームページ、ケーブルテレビ、市報、新聞等による広報活動を行っているが、まだまだPRが不足しているのが課題である。報道各社への取材依頼やSNSによる情報発信など、有効な広報の方法を検討して集客につなげたい。	施設の情報発信により、市民が利用しやすい環境づくりを進め、適正に事業の実施を行う。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	文化振興事業	細事業	大分アジア彫刻展事業	実施計画事業	大分アジア彫刻展事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No. (364)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市文化振興計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	2	施策 4 文化・芸術の振興	大分アジア彫刻展負担金					3,900
項	1	施策展開 ①文化・芸術活動を推進する						
目	13	後期基本計画 90 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	33							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 日本近代彫刻の基礎を築いた本市出身の彫刻家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登竜門となる彫刻展を開催する。彫刻展を開催することで、地方から全国・世界へ向けて文化情報の発信を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・第17回大分アジア彫刻展作品募集(8月~12月) ・紹介展 3箇所程度 ・第一次審査会、専門委員会(2月~3月予定)	R3	・実行委員会、第16回大分アジア彫刻展作品募集応募総数172点 ・第一次及び第二次審査会、専門委員会を実施 ・関連事業として、巨大猫制作第3弾「立ち上がる猫」の作品制作を実施 観覧者数 2642人 ・「立ち上がる猫」制作風景写真展1回、過去の入賞作品を展示する紹介展 県内外で5回開催	R3計画 3,900			3,000	900
			当初予算 3,900			3,000	900
			決算額 3,900			3,000	900
	R4	・実行委員会、最終審査会(6月) ・第16回大分アジア彫刻展(10月~11月) ・東アジア文化都市事業 大分アジア彫刻展紹介展 韓国慶州市・中国温州市(9月~11月) ・紹介展 県内2箇所(1~2月) ・専門委員会(2月)	R4計画 6,900				6,900
			当初予算 6,900			6,000	900
			決算額 6,900			6,000	900
	R5	・第17回大分アジア彫刻展作品募集 8/1~12/21(応募総数209点~辞退等3点) ・2/22 第一次書類審査 206点→58点 ・3/27 専門委員会&第二次審査 能登半島地震による作品破損の為 57点→30点(入選作品)	R5計画 3,900				3,900
		当初予算 3,900			3,000	900	
		決算額 3,900			3,000	900	
R6		R6計画 6,900			6,000	900	
		当初予算 6,900			6,000	900	
		決算額					
R7		R7計画 3,900				3,900	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計		計画額 25,500			9,000	16,500	
		当初予算 21,600			18,000	3,600	
		決算額 14,700			12,000	2,700	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 彫刻展本展等の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1,619	人	目標値		2,500		2,500	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2,642	2,054			
	% 達成率			82.2						
2 彫刻展の応募者数	彫刻展の応募者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	311	人	目標値	300		300		300
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	172		209		
		% 達成率			57.3		69.7			
D 成果指標	1 文化活動の活性化事業の数	<input type="checkbox"/> 総合計画	5	回	目標値		5			
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	6	8	7		
	<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率			160					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
朝倉文夫の顕彰とアジア地域在住の新進彫刻家の輩出を目的とした特色ある彫刻展であり、平成4年度から大分県と共催で実施している。作品を通じて市民が彫刻に親しみ、国際文化に触れる機会を提供するため、必要な事業である。今回は、応募総数はアジア11か国と1地域から209点となり、前回より37点増となった。専用ホームページやSNSでの広告掲載、動画による紹介等の応募数増加に向けた取り組み結果が増加と思われるため、今後も継続した取り組みを行う。また以前関連事業として、巨大猫制作に携わった東京藝術大学の卒大生が応募されるなど、関連事業を通じての繋がり見られた。今後も市民参加のワークショップなどの体験型事業を通じて、文化・芸術活動を推進する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
SNSなどの情報発信ツールを活用し、出展数の増加の増に努め、適正に事業の実施を行う。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	文化振興事業	細事業	文化芸術振興総務事業	実施計画事業	文化芸術振興総務事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市文化振興計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	4 文化・芸術の振興				
項	1	施策展開	①文化・芸術活動を推進する				
目	13	後期基本計画	90 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	33						
		総合計画体系図No.1 (364)		期間	年度 ~ 年度	文化芸術振興事業補助金	130
				期間	年度 ~ 年度	県美展巡回展負担金	80
						芸術文化全国大会等出場補助金	50
						神楽会館運営委員会委員報酬	37

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 豊後大野市の文化振興を図り、市内の文化団体や文化活動を支援する。 市文化連盟協議会の支援・市芸術祭の開催・市美術協会の支援・県美展の支援等</p> <p>■令和5年度から細事業が変更■ ○～R4年度:総合文化センター自主事業 神楽会館自主事業 ○R5年度～:文化芸術振興総務事業(一本化)</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 文化芸術振興事業補助金の交付 県美展巡回展負担金の交付 県美展市長賞負担金の交付 市文化連盟協議会事務の実施 市芸術祭実行委員会事務の実施</p>	R3		R3計画				
	R4	神楽会館一般公演、特別公演の企画・実施 公演回数:12回 入場者数:1,728人	当初予算 決算額	8,500 8,509			8,500 8,509
	R5	文化芸術振興事業補助金の交付 115,000円 県美展巡回展負担金の交付 80,000円 県美展市長賞負担金の交付 15,000円 市文化連盟協議会事務及び市芸術祭実行委員会事務の実施	当初予算 決算額	370 251			370 251
	R6		当初予算 決算額	8,500			8,500
	R7		当初予算 決算額	8,500			8,500
	R3 ~ R7 合計		計画額 当初予算 決算額	25,500 8,879 8,474			25,500 8,879 8,474

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 神楽会館自主事業の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	553	人	目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
					実績値	932	1,562	2,100		
					% 達成率	38.8	65.1	87.5		
2 文化連盟加盟団体数	豊後大野市文化連盟協議会に加盟している団体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値			60	60	60
					実績値			62		
					% 達成率			103.3		
D 成果指標	1 文化活動の活性化自主事業の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	回	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	8	12	12		
					% 達成率	66.7	100	100		
2 文化連盟加盟団体数	豊後大野市文化連盟協議会に加盟している団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値			60	60	60
					実績値			62		
					% 達成率			103.3		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
市内の文化団体や文化活動を支援することができた。
また、市芸術祭では新たな取り組みにも着手することができた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引き続き、事業の支援を行うとともに、適正に事業の実施を行う。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	文化振興施設管理事業	細事業	総合文化センター管理事業	実施計画事業	総合文化センター管理事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (367)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市文化振興計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 総合文化センター指定管理委託料 77,631 総合文化センター改修工事設計業務委託料 6,600	当初予算額
款	2	施策	4 文化・芸術の振興			
項	1	施策展開	②文化活動施設を整備する			
目	13	後期基本計画	90 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	34					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 文化施設や郷土の作家作品等を後世に引き継ぐとともに、市民の主体的な文化活動を積極的に推進するため、文化施設環境を整備する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 施設の有効利用、市民が利用しやすい施設環境の整備 指定管理業務委託 舞台照明・音響設備等改修工事設計業務委託 舞台照明・音響設備等改修工事工事監理業務委託 舞台照明・音響設備等改修工事	R3	施設の利用者の安全確保に努め、市民等が利用しやすい施設整備を行った。 ・敷地内の樹木剪定 ・舞台照明設備改修工事 ・WiFi環境整備工事	R3計画 97,114 当初予算 97,114 決算額 99,049	2,000		52	97,114 97,114 96,997	
	R4	施設の有効利用及び利用者への安全確保に努め、市民等が利用しやすい施設環境の整備を行った。 ・令和4年度指定管理事業 総合文化センター指定管理委託76,861,784円 ・修繕・工事事業 大ホール調光特性発生器取替工事 1,980,000円 天井名所修繕 1,188,000円 ・指定管理施設緊急修繕費現金交付事業 1,858,000円	R4計画 97,000 当初予算 79,764 決算額 81,887				97,000 79,764 81,887	
	R5	施設の有効利用、市民が利用しやすい施設環境の整備を行った。 空調機部品取替修繕 493,900円 指定管理業務委託 77,631,000円 舞台照明・音響設備等改修工事設計業務委託 3,286,800円 舞台照明・音響設備等改修工事工事監理業務委託 2,200,000円 舞台照明・音響設備等改修工事 324,500,000円	R5計画 97,000 当初予算 84,231 決算額 408,272		6,200		97,000 78,031 56,472	
	R6		R6計画 97,000 当初予算 決算額			97,000		
	R7		R7計画 97,000 当初予算 決算額			97,000		
	R3 ~ R7 合計			計画額 485,114 当初予算 261,109 決算額 589,208	2,000	313,400	38,452	485,114 254,909 235,356

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 年間入館者数	総合文化センターの年間入館者数	22,311	人	目標値	62,000	62,000	62,000	62,000	62,000
					実績値	25,737	40,177	56,994		
	2 -			%	達成率	41.5	64.8	91.9		
D 成果指標	1 年間入館者数	総合文化センターの年間入館者数	22,311	人	目標値	62,000	62,000	62,000	62,000	62,000
					実績値	25,737	40,177	56,994		
	2 -			%	達成率	41.5	64.8	91.9		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 指定管理者と連絡を密に取り、施設の有効利用に努めることができた。指定管理期間の満了に伴い、予定どおり指定管理者の更新を行うことができた。舞台照明・音響設備等改修工事設計業務の成果を受け、工事請負費を補正し改修工事に着手できた。引き続き、必要に応じた修繕、改修を行い、施設を有効に活用していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 利用者増を図り、計画的な施設の改修の取組む。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	文化振興施設管理事業	細事業	朝倉文夫記念公園管理事業	実施計画事業	朝倉文夫記念公園管理事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市文化振興計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額				
款	2	施策	4 文化・芸術の振興	期間	H29年度～R8年度	会計年度任用職員報酬	3,729				
項	1	施策展開	②文化活動施設を整備する	期間	年度～年度	光熱水費	3,200				
目	13	後期基本計画	90 P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	朝倉文夫記念公園施設管理委託料	5,568
決算	34					記念館改修工事請負費	4,078				

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 文化施設や郷土の作家作品等を後世に引き継ぐとともに、市民の主体的な文化活動を積極的に推進するため、文化施設環境を整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・記念公園及び各施設の管理 ・記念館収蔵庫改修工事 ・記念館展示室防犯カメラ設備工事 ・朝倉文夫、兄弟らの作品・資料収集</p>	R3	・記念公園及び各施設の管理 ・文化ホール地下水対策工事 ・吊り橋奥土間コン修繕 ・朝倉文夫、兄弟らの作品・資料収集	R3計画 64,082 当初予算 64,082 決算額 57,721			49,820	14,262	
	R4	・記念公園及び各施設の管理 ・朝倉文夫、兄弟らの作品・資料収集	R4計画 50,000 当初予算 14,585 決算額 14,386			1,009	13,576	
	R5	・記念公園及び各施設の管理 ・記念館収蔵庫改修工事の実施 ・朝倉文夫、兄弟らの作品・資料収集	R5計画 50,000 当初予算 19,493 決算額 16,417			4,077	15,416	
	R6		R6計画 50,000 当初予算 25,805 決算額			10,201	15,604	
	R7		R7計画 50,000 当初予算 決算額				50,000	
	R3～R7合計			計画額 264,082 当初予算 123,965 決算額 88,524			49,820	214,262

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 朝倉文夫記念館の来館者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3,176	人	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
					実績値	3,523	3,521	2,851		
					% 達成率	58.7	58.7	47.5		
D 成果指標	1 年間利用者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3,176	人	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
					実績値	3,523	3,521	2,851		
					% 達成率	58.7	58.7	47.5		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
文化施設の維持管理、公園の環境整備を行い、施設の長寿命化を図る。R5年度は記念館収蔵庫改修工事を行った。しかし、記念館展示室防犯カメラ設備工事が出来なかった。朝倉文夫やその兄弟の作品や資料の収集を行った。
経年劣化により、施設の維持や改修には多額の費用を要するが、優先順位や実施方法を検討しながら、今後も市民が利用しやすい文化施設環境の整備を計画的に行う。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
施設の計画的改修に取組み、施設全体の管理の見直しの検討も必要。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	文化振興施設管理事業	細事業	神楽会館管理事業	実施計画事業	神楽会館管理事業	終了年度	なし
----	------------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市文化振興計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	4 文化・芸術の振興	期間	H29年度～R8年度	神楽会館指定管理委託料	23,200
項	1	施策展開	②文化活動施設を整備する	期間	年度～年度		
目	13	後期基本計画	90 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	34						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 文化施設や郷土の作家作品等を後世に引き継ぐとともに、市民の主体的な文化活動を積極的に推進するため、文化施設環境を整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 施設の有効利用、市民が利用しやすい施設環境の整備 神楽会館指定管理委託</p>	R3	施設の有効利用及び利用者への安全確保に努め、市民等が利用しやすい施設環境の整備を図った。 ・神楽会館楽屋入口屋根設置工事	R3計画 5,620 当初予算 5,620 決算額 6,236			1,050	4,570	
	R4	施設の有効利用、市民が利用しやすい施設環境の整備のため、以下の修繕を行った。 ・神楽会館南面壁修繕 ・神楽会館駐車場照明ランプ取替修繕	R4計画 5,600 当初予算 5,579 決算額 5,014			1,050	4,529	
	R5	施設の有効利用、市民が利用しやすい施設環境の整備を行った。 屋内壁面シート張替え修繕 494,912円 指定管理業務委託 23,200,000円 監視カメラ増設工事 352,000円 ビデオプロジェクター購入 528,000円	R5計画 5,600 当初予算 23,200 決算額 24,575				5,600	
	R6		R6計画 5,600 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 5,600 当初予算 決算額				5,600	
	R3～R7合計			計画額 28,020 当初予算 34,399 決算額 35,825			1,050	26,970
							2,100	32,299
							310	35,515

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 年間入館者数	神楽会館の年間入館者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,914	人	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
						実績値	4,497	6,152	7,545		
						% 達成率	32.1	43.9	53.9		
D 成果指標	1 年間入館者数	神楽会館の年間入館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,914	人	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
						実績値	4,497	6,152			
						% 達成率	32.1	43.9			

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 必要に応じた修繕等、市民が利用しやすい施設環境の整備が行えた。指定管理者と連絡を密に取り、施設の有効利用に努めることができた。引き続き、必要に応じた修繕、改修を行い、施設を有効に活用していきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 利用しやすい施設をめざし、計画的改修を検討する。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	税務総務事業	細事業	税務総務事業	実施計画事業	税務総務事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	4 主体的で計画的な行政運営の推進		期間	年度	～	年度			市税過誤納還付金	14,000
項	2	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化		期間	年度	～	年度			会計年度任用職員報酬	1,716
目	1	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当								大分県軽自動車連絡協議会負担金	596
決算	35										普通旅費	400

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 税務管理行政の円滑な遂行</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 公平・公正かつ適正な課税・徴収を行うための事務を行う。</p>	R3	税務の管理に関する事業	R3計画 18,512				18,512
			当初予算 18,512				18,512
			決算額 10,946				10,946
	R4	税務の管理に関する事業	R4計画 18,000				18,000
			当初予算 18,450				18,450
			決算額 14,014				14,014
	R5	税務の管理に関する事業を行う。	R5計画 18,000				18,000
			当初予算 18,390				18,390
			決算額 16,103				16,103
	R6		R6計画 18,000				18,000
			当初予算 18,418				18,418
			決算額				
	R7		R7計画 18,000				18,000
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 90,512				90,512
			当初予算 73,770				73,770
			決算額 41,063				41,063

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 過誤納金の減少	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12,199	千円	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
					実績値	7,409	10,780	12,574		
					% 達成率	61.7	89.8	104.8		
D 成果指標	1 適正な課税資料の収集	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 税務の管理に関する事業として適正に管理されている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 税務管理行政の円滑な遂行に寄与できていると考える。今後も、税制改正等への適時・適切な対応に努めるとともに、DXへの取り組みも推進していきたい。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	賦課徴収事業	細事業	賦課徴収事業	実施計画事業	賦課徴収事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (309)		会計 一般	政策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	2	施策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進		期間	年度	年度			手数料	6,989
項	2	施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化		期間	年度	年度			固定資産評価替業務委託料	16,940
目	2	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		期間	年度	年度			固定資産税課税支援業務委託料	1,489
決算	36				期間	年度	年度			課税システム改修業務委託料	2,134

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 行政施策を継続的かつ安定的に供給するため 税収を確保する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 公平・公正かつ適正な課税・徴収を行う</p>	R3	市県民税の賦課業務、固定資産税の賦課業務、軽自動車税の賦課業務、国民健康保険税の賦課業務、滞納者に対する催告及び徴収業務等。	R3計画 100,530			4,784	95,746
			当初予算 100,530			4,784	95,746
			決算額 87,713			5,223	82,490
	R4	公平・公正かつ適正な課税・徴収を行う。総合収納システム改修業務・課税システム改修業務を行う。	R4計画 60,000				60,000
			当初予算 87,354			4,460	82,894
			決算額 93,413	14,228		4,509	74,676
	R5	市県民税の賦課業務、固定資産税の賦課業務、軽自動車税の賦課業務、滞納者に対する催告及び徴収業務等を行った。	R5計画 60,000				60,000
			当初予算 62,297			4,217	58,080
			決算額 58,916			4,288	54,628
	R6		R6計画 60,000				60,000
			当初予算 71,381			4,174	67,207
			決算額				
	R7		R7計画 60,000				60,000
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 340,530			4,784	335,746
			当初予算 321,562			17,635	303,927
			決算額 240,042	14,228		14,020	211,794

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 収納率の向上	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	96.8	%	目標値	97	97	97	97	97
					実績値	97.85	98.3	98.4		
	達成率	100.9	101.3	101.4						
2 納税に対する啓発		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	件	目標値	13	13	13	13	13
					実績値	13	13	13		
					達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 税収の確保	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 税の賦課・徴収業務において適正な事業が実施されている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 本市の貴重な自主財源である税収の確保、税負担の公正性の確保のため、公平・公正かつ適正な課税の下、徴収率の向上に寄与できていると考える。令和5年度の本市の徴収率は98.4%と昨年度より0.1%上昇し大分県内で第4位の結果であったが、県平均が98.7%であり、県平均に達していなかった。今後も、同様の取り組みを一層進めていく。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	選挙啓発事業	細事業	選挙啓発事業	実施計画事業	選挙啓発事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	2	施策	10 情報管理、情報化の推進		印刷製本費	138			
項	4	施策展開	②広聴・広報活動を充実する		消耗品費	100			
目	2	後期基本計画	71 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		通信運搬費	22			
決算	39								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 執行機関から独立し、選挙に関する事務を管理、また選挙が公正に行われることを目的とする</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 啓発活動の実施 ・啓発ポスター募集 ・広報誌作成 ・明るい選挙推進協議会開催</p>	R3	啓発活動の実施 ・啓発ポスター募集 ・広報誌作成 ・明るい選挙推進協議会開催	R3計画 267				267
			当初予算 267				267
			決算額 174				174
	R4	啓発活動の実施 ・啓発ポスター募集 ・広報誌作成 ・明るい選挙推進協議会開催	R4計画 267				267
			当初予算 267				267
			決算額 206				206
	R5	啓発活動の実施 ・啓発ポスター募集 ・広報誌作成 ・明るい選挙推進協議会開催	R5計画 267				267
			当初予算 260				260
			決算額 236				236
	R6		R6計画 267				267
			当初予算 260				260
			決算額				
	R7		R7計画 267				267
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 1,335				1,335
			当初予算 1,054				1,054
			決算額 616				616

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 啓発ポスターの募集人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	427	人	目標値	300	300	300	300	300
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	419	373	382		
	% 達成率	139.7			124.3	127.3				
2 模擬投票の開催数	R3~R5は実績なし	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3	回	目標値	3	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 成果指標	1 投票率	<input type="checkbox"/> 総合計画	80	%	目標値	80	80	80	80	80
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	59.04	54.93	51.78		
	<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率			73.8	68.7	64.7			
	<input type="checkbox"/> 個別計画	目標値								
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画		%	実績値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 啓発ポスターの募集、広報誌の作成、明るい選挙推進協議会の開催は計画通り実施 出前授業等については、令和6年度実施出来るように準備(学校に依頼)	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 選挙啓発の目的は市民の投票率の維持、向上であるので目標達成に向けた取り組みの強化を図っていく必要がある。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	監査委員事業	細事業	監査委員事業	実施計画事業	監査委員事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No. (305)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 監査委員報酬 消耗品費 費用弁償 研修会等負担金	当初予算額 2,112 405 147 125
会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり			
款	2	施策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進			
項	6	施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり			
目	1	後期基本計画	80 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	43			期間 年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 普通地方公共団体の財務に関する事務の執行及び運営に係る事業の管理等を監査する。 <令和5年度の取組内容(計画)> ○ 例月現金出納検査 4月から3月まで ○ 決算審査 6月から8月まで ○ 定期監査・行政監査 9月から3月まで ○ 財政援助団体等監査 5月から3月まで ○ 事務監査請求 4月から7月まで ○ 住民監査請求 4月から3月まで	R3	<input type="checkbox"/> 例月現金出納検査 4月から3月まで <input type="checkbox"/> 決算審査 6月から8月まで <input type="checkbox"/> 定期監査・行政監査 9月から3月まで <input type="checkbox"/> 財政援助団体等監査 5月から3月まで	R3計画 3,007				3,007
			当初予算 3,007				3,007
			決算額 2,626				2,626
	R4	<input type="checkbox"/> 例月現金出納検査 4月から3月まで <input type="checkbox"/> 決算審査 6月から8月まで <input type="checkbox"/> 定期監査・行政監査 9月から3月まで <input type="checkbox"/> 財政援助団体等監査 5月から3月まで <input type="checkbox"/> 事務監査請求 1月から3月まで <input type="checkbox"/> 住民監査請求 4月から5月まで	R4計画 3,000				3,000
			当初予算 2,922				2,922
			決算額 2,692				2,692
	R5	<input type="checkbox"/> 例月現金出納検査 4月から3月まで <input type="checkbox"/> 決算審査 6月から8月まで <input type="checkbox"/> 定期監査・行政監査 9月から3月まで <input type="checkbox"/> 財政援助団体等監査 5月から3月まで <input type="checkbox"/> 事務監査請求 (1件) <input type="checkbox"/> 住民監査請求 (3件)	R5計画 3,000				3,000
			当初予算 2,922				2,922
			決算額 2,696				2,696
	R6		R6計画 3,000				3,000
		当初予算 2,610				2,610	
		決算額					
R7		R7計画 3,000				3,000	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 15,007				15,007
			当初予算 11,461				11,461
			決算額 8,014				8,014

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 定期・行政監査実施対象部署数 本庁支所の全部署及び小中学校、幼稚園、学校支援センターなどの対象部署数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	54	課	目標値	54	54	54	54	54
					実績値	54	54	54		
					% 達成率	100	100	100		
2 財政援助団体等監査実施対象団体数 財政援助団体等監査実施計画に基づくもの	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	8	団体	目標値	6	6	6	6	6	
				実績値	1	2	2			
				% 達成率	16.7	33.3	33.3			
D 成果指標	1 定期・行政監査における勧告・指摘・注意部署数 監査業務を通じて、勧告、指摘、注意の部署がないことを目標とする	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	16	課	目標値					
					実績値	21	19			
					% 達成率					
2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画									

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
		14点	14点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 ① およそ県内で35年ぶりに提出された事務監査請求について、地方自治法第75条の規定等に基づき監査し、おおむね4か月で、事務監査請求代表者に結果を通知することができた。
 ② 3年連続で、地方自治法第242条の規定に基づく住民監査請求の監査を実施し、法定の期限内に請求人に対し監査結果を通知することができた。
 ③ 突然提出される監査請求に対応するため、情報収集に努めるとともに、法や判例、行政実例等の理解を深める。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 地方自治法、地方公営企業法等に基づき実施している。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	遺族会援護事業	実施計画事業	遺族会援護事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (125)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 遺族会補助金 507 自動車等借上料 317 追悼式祭壇作成委託料 110 消耗品費 52	当初予算額
会計	一般	施策 2 地域福祉の充実			
款	3	施策展開 ①地域福祉活動を推進する			
項	1	後期基本計画 40 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	1				
決算	44				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市遺族会連合会が実施している戦没者遺族の福祉の向上や英霊顕彰の活動等に要する費用の一部補助することにより、戦争体験を伝えることなど恒久平和の実現に関わる活動につながる。また、戦没者の追悼及び慰霊事業を実施する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・市遺族会連合会への運営補助 ・戦没者に対する追悼及び慰霊に関する事業(市戦没者追悼式・大分県戦没者追悼式)</p>	R3	・市遺族会連合会への運営補助金の交付 ・戦没者に対する追悼及び慰霊に関する事業(市戦没者追悼式は縮小開催。県戦没者追悼式は中止)	R3計画 1,013 当初予算 1,013 決算額 674				1,013 1,013 642	
	R4	・市遺族会連合会への運営補助金の交付 ・戦没者に対する追悼及び慰霊に関する事業(市戦没者追悼式は縮小開催。県戦没者追悼式は中止)	R4計画 1,013 当初予算 1,025 決算額 670				1,013 1,025 670	
	R5	・市遺族会連合会への運営補助金の交付 ・戦没者に対する追悼及び慰霊に関する事業(市戦没者追悼式は通常開催。県戦没者追悼式は参加制限ありの開催)	R5計画 1,013 当初予算 1,003 決算額 892				1,013 1,003 892	
	R6		R6計画 1,013 当初予算 1,142 決算額				1,013 1,142	
	R7		R7計画 1,013 当初予算 決算額				1,013	
	R3 ~ R7 合計			計画額 5,065 当初予算 4,183 決算額 2,236	32			5,065 4,183 2,204

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 遺族会連合会役員会議	遺族会連合会役員会議数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	回	目標値	4	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	4	5		
		% 達成率			100	100	125			
D 成果指標 1 役員会議参加人数	遺族会連合会役員会議参加人数(延べ人数)	<input type="checkbox"/> 総合計画		人	目標値	44	44	44	44	44
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	48	40	50		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	109.1	90.9	113.6		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	20点	3点	20点
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
連合会の会員数減少については引き続き課題となっているが、役員のみならず手についても苦慮しているため体制の見直し等の動向に注視しつつ、補助金のあり方についての検討・協議も考えていくこととなる。
県・市戦没者追悼式については、市開催は通常開催、県追悼式の開催は人数に制限を設けての開催となり、来年度の開催計画等については、通常実施と同様の内容で取り組んでいく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
連合会の会員数が減少する中、補助金額の見直し等も今後の課題となると考えるが、引き続きでの支援は必要。
県・市戦没者追悼式については、来年度についてもこれまでどおりの実施内容で取り組みたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	社会福祉協議会支援事業	実施計画事業	豊後大野市社会福祉協議会補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (123)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	施策 2 地域福祉の充実		期間 年度 ~ 年度		豊後大野市社会福祉協議会補助金	55,000
款	3	施策展開 ①地域福祉活動を推進する		期間 年度 ~ 年度			
項	1	後期基本計画 40 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
目	1						
決算	44						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 社会福祉協議会は地域福祉の推進を図ることを目的とした団体であり、地域共生社会の実現に向けた取組みを進める上で社協が実施する地域福祉事業の実施に対して予算の範囲内で補助金を交付する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 社協が実施する地域福祉のための各種事業に係る費用に対して行なう補助。	R3	運営補助金の交付	R3計画 55,000				55,000
			当初予算 55,000				55,000
			決算額 55,000				55,000
	R4	運営補助金の交付	R4計画 55,000				55,000
			当初予算 55,000				55,000
			決算額 55,000				55,000
	R5	運営補助金の交付	R5計画 55,000				55,000
			当初予算 55,000				55,000
			決算額 55,000				55,000
	R6			R6計画 55,000			
			当初予算 55,000				55,000
			決算額				
	R7		R7計画 55,000				55,000
			当初予算				
			決算額				
	R3 ~ R7 合計		計画額 275,000				275,000
			当初予算 220,000				220,000
			決算額 165,000				165,000

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地区社協の設置及び運営支援 地区社協の設置数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	箇所	目標値	7	7	7	7	7
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	7	7		
		%			達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 地区社協の連絡会の開催 連絡会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画		回	目標値	1	1			
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	—		
2 地区社協に参加している団体 参加団体数		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値			70	70	70
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値			87		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率			124.3	

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市社協の実施事業の精査及び運営状況のほか、運営補助金以外の市より委託等行っている事業で交付されている人件費との充当状況の重複確認などを実施し、関係課と交付内容の正当性について随時協議を行いながら市社協と補助金額について毎年確認する。	市社会福祉協議会の実施事業の精査及び事業で交付されている人件費との充当状況の重複確認などを実施し、関係課と交付内容の正当性について随時協議を行っていく。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	社会福祉協議会支援事業	実施計画事業	地域福祉推進大会補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (123)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間	地域福祉推進大会補助金	250
款	3	年度		
項	1	年度		
目	1	年度		
決算	44	年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 地域福祉の意識を高め身近に感じることを目的に開催される地域福祉推進大会の運営に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 市地域福祉推進大会の運営補助。</p>	R3	表彰式のみ縮小開催。	R3計画 250				250
			当初予算 250				250
			決算額 78				78
	R4	市地域福祉推進大会開催に係る運営補助。(開催内容:表彰式及び講演会)	R4計画 250				250
			当初予算 250				250
			決算額 250				250
	R5	市地域福祉推進大会開催に係る運営補助。(開催内容:表彰式及び講演会)	R5計画 250				250
			当初予算 250				250
			決算額 149				149
	R6		R6計画 250				250
		当初予算 250				250	
		決算額					
R7		R7計画 250				250	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,250				1,250
			当初予算 1,000				1,000
			決算額 477				477

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地域福祉推進大会関係団体	関係団体数	13	団体	目標値	13	12	12	12	12
					実績値	12	12	12		
					% 達成率	92.3	100	100		
2 -					目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 地域福祉推進大会参加者	参加者人数	25	人	目標値	300	300	300	300	300
					実績値		500	200		
					% 達成率		166.7	66.7		
2 -					目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	20点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	20点	4点
		20点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
表彰及び市民向けに講演会を実施した。通常開催する会場が使用できず、規模を縮小しての開催となったが、多くの市民の方に参加いただけた。今後も引き続き多くの市民の方の参加をいただけるよう実施内容の協議、検討を行っていく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
開催方法、講演内容については多くの市民の方に参加いただけるよう毎年協議・検討が必要である。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
40004	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	社会福祉課	係名	福祉監査係
-----	-------	----	-------

事業	社会福祉総務事業	細事業	避難行動要支援者対策事業	実施計画事業	避難行動要支援者対策事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (126)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち								
款	3	施策	2 地域福祉の充実								
項	1	施策展開	②災害時における地域福祉を支援する								
目	1	後期基本計画	40	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	44										

個別計画名	期間	年度	～	年度
	期間	年度	～	年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
避難行動要支援者管理システム改修業務委託料	701
避難行動要支援者システム保守委託料	324
消耗品費	110
通信運搬費	55

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 平時時から避難行動要支援者に関する情報の把握や関係者との情報共有等を行なうことで災害時の避難・誘導の支援体制を整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・避難行動要支援者の把握及び名簿の作成 ・平時からの情報提供を行なう旨の意思確認 ・協力員の設置について(自治委員へ協力依頼) ・個別避難計画の作成</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者の把握及び名簿の作成、平時からの情報提供を行なう旨の意思確認の実施。 協力員の設置については、自治委員へ協力依頼し要支援者への支援体制の推進をはかった。 個別避難計画作成準備にあたっては庁内の関係部署との検討会議を開催した。
	R4	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者の把握及び名簿の作成、平時からの情報提供を行なう旨の意思確認の実施。 協力員の設置については、自治委員へ協力依頼し要支援者への支援体制の推進をはかった。 個別避難計画作成にあたっては庁内の関係部署との検討会議の開催及びシステムにハザード情報を導入し優先的に作成が必要な方の把握ができるよう整備した。
	R5	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者の把握及び名簿の作成 平時からの情報提供を行なう旨の意思確認 協力員の設置について(自治委員へ協力依頼) 個別避難計画の作成(地図情報の更新)
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	760				760
当初予算	760				760
決算額	664				664
R4計画	535				535
当初予算	1,932				1,932
決算額	2,037				2,037
R5計画	535				535
当初予算	1,236				1,236
決算額	1,209				1,209
R6計画	535				535
当初予算	3,089				3,089
決算額					
R7計画	535				535
当初予算					
決算額					
計画額	2,900				2,900
当初予算	7,017				7,017
決算額	3,910				3,910

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 避難行動要支援者名簿の情報提供先	平時からの情報提供に同意した方の名簿情報の提供先の数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		5	団体	5	5	5	5	5
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								
D 成果指標	1 避難行動要支援者名簿の情報提供同意者	支援関係者への平時からの情報提供同意者の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		66	%	66	68	70	72	75
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	なっていない ⇒ なっている	4点	21点	21点	4点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	優先度低い ⇒ 優先度高い	4点			4点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	できなかった ⇒ できた	4点			4点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	推移していない ⇒ 推移した	5点			5点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	推移していない ⇒ 推移した	4点			4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
個別避難計画作成のため、関係機関等との連携を目的に居宅介護支援事業者連絡会で事業説明等を行った。今後も引き続き関係機関との連携に係る取組を進めていく。また、対象者の現状について、関係部署とも連携し、実情に近い情報の整理ができるよう取り組んでいく。個別避難計画の作成と並行して福祉避難所の指定についても、関係施設と協議を行い推進していく。	個別避難計画作成のため、関係機関等との連携が重要。今後も関係機関との取組を進めたい。個別避難計画の作成と並行して福祉避難所の指定についても、関係機関と協議・検討を行う必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	社会福祉関係総務事務費	実施計画事業	社会福祉関係総務事務事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (123)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
会計	一般	施策 2 地域福祉の充実		期間	年度 ~ 年度			行旅病人行旅死亡人援護費	227
款	3	施策展開 ①地域福祉活動を推進する						通信運搬費	177
項	1	後期基本計画 40 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>						消耗品費	150
目	1							統計指導員・調査員報酬	65
決算	44								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的></p> <p>地域福祉全般に係る各種事業(地域福祉計画に関する事・社会福祉法人監査に関する事・特別弔慰金等援護事務に関する事・行旅病人行旅死亡人に関する事)を実施する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人監査業務 行旅病人行旅死亡人に係る救護及び援護業務 地域福祉計画業務 地域共生社会構築連携業務 	R3	<ul style="list-style-type: none"> 第4期地域福祉計画の策定 第11回特別弔慰金支給案(2カ年目) 社会福祉法人監査はコロナ感染症の拡大のため、予定していた3カ所の実施ができず1カ所の実施となった 行旅死亡人の取扱い1件 地域共生社会構築連携会議2回開催、作業部会の設置(3部) 	R3計画	4,359	357			4,002	
				当初予算	4,359	357			4,002
				決算額	4,102	407	20		3,675
	R4	<ul style="list-style-type: none"> 第11回特別弔慰金支給業務(3カ年目) 社会福祉法人監査はコロナ感染症の拡大のため、予定していた6カ所の実施ができず5カ所の実施となった 行旅死亡人の取扱い1件 地域共生社会構築連携会議3回開催 国民生活基礎調査の実施 	R4計画	692	266			426	
				当初予算	838	456			382
				決算額	531	114	65		352
	R5	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人監査(4カ所実施) 行旅死亡人の取扱い2件 庁内関係者会議2回開催(地域共生) 地域共生庁内職員研修の実施(1回) 	R5計画	692	266			426	
				当初予算	754	374			380
				決算額	649	65			584
	R6			R6計画	692	266			426
				当初予算	612	367			245
				決算額					
	R7			R7計画	692	266			426
			当初予算						
			決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	7,127	1,421			5,706	
			当初予算	6,563	1,554			5,009	
			決算額	5,282	586	85		4,611	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 社会福祉法人指導監査の実施 実施法人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	箇所	目標値	3	4	3	3	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	5	4		
		%			達成率	33.3	125	133.3		
D 成果指標	1 社会福祉法人指導監査での文書指摘 社会福祉法人指導監査での文書指摘がなかった法人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	4	箇所	目標値	2	3	2	2	3
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	50	—	—	
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	17点	3点	17点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>地域共生社会の実現に向けた取組で重層的支援体制整備事業の実施に向けた準備を進めていくために、庁内の相談関係部署との会議を行い情報の共有、今後の連携について確認した。継続して取組を進め、庁外の関係者も含めた連携体制の構築を進めていくことが重要な課題である。また、社会福祉法人指導監査については、予定通り実施することができた。指導事項も以前と比べ減ってはきたが、引き続き、適正に運営がされるよう関係部署とも連携した実施を行っていく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>地域共生社会の実現に向けた取組である重層的支援体制整備事業をR7年度から実施予定。R5年度に関係機関と今後の連携について確認ができたので、準備期間の最後の年であるR6年度に繋げていきたい。社会福祉法人指導監査については予定どおり実施できた。</p>
--	---

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	住居確保給付事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (163)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 6 社会保障の充実		期間	年度 ~ 年度		
款	3	施策展開 ①低所得者福祉を充実する					
項	1	後期基本計画 48 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
目	1					住居確保給付金	333
決算	44						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 休業・離職等により住居を失った又はそのおそれのある者に対し、住まいを確保し、安心して就職活動ができるよう、家賃に充てるための費用を支給することにより自立の促進を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 申請に基づく給付金の支給</p>	R3	申請に基づく給付事業であるが、申請がなかった。	R3計画	333	249		84
			当初予算	333	249		84
			決算額				
	R4	申請に基づく給付事業であるが、申請がなかった。	R4計画	333	249		84
			当初予算	333	249	84	
			決算額				
	R5	申請に基づく給付事業であるが、申請がなかった。	R5計画	333	249		84
			当初予算	333	249	84	
			決算額				
	R6		R6計画	333	249		84
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	333	249		84
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	1,665	1,245		420
			当初予算	999	747	168	84
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 給付対象者	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
					目標値					
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
					目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		17点	17点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。支給実績はないが、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、事業を継続する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、事業を継続する必要がある。
--	--

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	子どもの学習・生活支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (163)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額				
款	3	施策	6 社会保障の充実		期間	年度	年度			会計年度任用職員報酬	965		
項	1	施策展開	①低所得者福祉を充実する		期間	年度	年度			期末手当(会計年度任用職員分)	161		
目	1	後期基本計画	48 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>			総合戦略	<input type="checkbox"/>	講師謝礼金	480
決算	44				<input type="checkbox"/>	コロナ充当					<input type="checkbox"/>	火災等保険料	164

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子供に対する学習支援をすることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・支援対象世帯に学習ボランティアを派遣 ・学習支援員を中心とした関係機関との情報共有</p>	R3	支援対象世帯に、学習支援、関係機関との情報共有や連絡調整を実施した。	R3計画	2,382	1,191		1,191	
			当初予算	2,382	1,191		1,191	
			決算額	1,747	873		874	
	R4	支援対象世帯に、学習支援、関係機関との情報共有や連絡調整を実施した。	R4計画	2,382	1,191		1,191	
			当初予算	2,367	1,183		1,184	
			決算額	1,765	882		883	
	R5	支援対象世帯に、学習支援、関係機関との情報共有や連絡調整を実施した。	R5計画	2,382	1,191		1,191	
			当初予算	2,064	1,031		1,033	
			決算額	1,581	790		759	32
	R6		R6計画	2,382	1,191		1,191	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画	2,382	1,191		1,191	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	11,910	5,955		5,955	
			当初予算	6,813	3,405		3,408	
			決算額	5,093	2,545		2,516	32

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 学習ボランティア	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	8	人	目標値	8	8	8	8	8	
					実績値	6	7	10			
	2 学習・生活支援	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	10	人	目標値	10	10	10	10	10	
					実績値	7	12	11			
					%	達成率	75	87.5	125		
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値						
					実績値						
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値						
					実績値						
					%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	18点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			18点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。学習支援を中心に生活困窮世帯の子供が抱える課題の解決を図ることで、貧困の連鎖を防止することに寄与する事業である。不登校や進路等の目に見える成果に表れないが、今後も継続する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。学習支援を中心に生活困窮世帯の子供が抱える課題の解決を図ることで、貧困の連鎖を防止することに寄与する事業であるため、今後も継続する必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	生活困窮者自立相談支援事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (163)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 生活困窮者自立相談支援事業委託料	当初予算額 11,471
会計	一般	施策 6 社会保障の充実				
款	3	施策展開 ①低所得者福祉を充実する				
項	1	後期基本計画 48 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>				
目	1					
決算	44					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、さまざまな支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・豊後大野市社会福祉協議会に委託 ・自立相談支援調整会議を開催し、関係者の情報共有と支援内容の協議を行う。</p>	R3	豊後大野市社会福祉協議会に委託し事業を実施した。また、関係者の情報共有と支援内容の協議を行った。	R3計画 11,324	6,750		4,574	
			当初予算 11,324	6,750		4,574	
			決算額 8,537	6,402		2,135	
	R4	豊後大野市社会福祉協議会に事務委託し事業を実施した。また、関係者の情報共有と支援内容の協議を行った。	R4計画 11,324	6,750		4,574	
			当初予算 11,478	6,750		4,728	
			決算額 9,946	6,750		3,185	11
	R5	豊後大野市社会福祉協議会に事務委託し事業を実施した。また、関係者の情報共有と支援内容の協議を行った。	R5計画 11,324	6,750		4,574	
			当初予算 11,471	6,750		4,721	
			決算額 11,471	8,603		2,868	
	R6		R6計画 11,324	6,750		4,574	
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 11,324	6,750		4,574	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 56,620	33,750		22,870	
			当初予算 34,273	20,250		14,023	
			決算額 29,954	21,755		8,188	11

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 自立相談	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	182	件	目標値					
					実績値	121	76	52		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	目標値							
			実績値							
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	目標値							
			実績値							
			達成率							
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	目標値							
			実績値							
			達成率							

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	17点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			17点
			25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。複合的な課題を抱える生活困窮者に対して、包括的な支援を今後も継続して提供が必要であるとともに、関係職員が研修でスキルの向上を図るなど、さらに事業の充実に努めるべきである。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。複合的な課題を抱える生活困窮者に対して、包括的な支援を今後も継続して提供が必要である。関係職員については研修でスキルの向上を図るなど、事業の充実に努めるべきである。</p>
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	家計改善支援事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (163)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計 一般	3	施策 6 社会保障の充実				
項 1	1	施策展開 ①低所得者福祉を充実する				
目 1	1	後期基本計画 48 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>				
決算	44				家計改善支援事業委託料	957

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 家計収支の均衡が取れていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言・指導等の支援を行うことにより、早期に相談者の生活が再生されることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・グリーンコープ生活協同組合おおいに委託 ・家計再生プランの作成を通じて家計収支の均衡を図るなどの出納管理の支援を行う。 ・滞納や負債を把握し、債務整理の調整等の支援を行う。</p>	R3	グリーンコープ生活協同組合おおいに委託し事業を実施した。	R3計画	957	638		319
			当初予算	957	638		319
			決算額	270	179		91
	R4	グリーンコープ生活協同組合おおいに事務委託し事業を実施した。	R4計画	957	638		319
			当初予算	957	638		319
			決算額	544	363		181
	R5	社会福祉法人グリーンコープ(旧グリーンコープ生活協同組合おおいに)に事務委託し事業を実施した。	R5計画	957	638		319
			当初予算	957	638		319
			決算額	544	363		181
	R6		R6計画	957	638		319
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	957	638		319
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	4,785	3,190		1,595
			当初予算	2,871	1,914		957
			決算額	1,358	905		453

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 家計改善支援	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	5	人	目標値					
					実績値	4	9	11		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					
					目標値					
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					
					目標値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		19点	19点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。生活困窮者の多くが家計に関わる問題を抱えていることを踏まえれば、事業の必要性は大きい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。家計に関わる事案を抱えていることを踏まえれば、事業の必要性は大きい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	就労準備支援事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (163)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 6 社会保障の充実				
款	3	施策展開 ①低所得者福祉を充実する				
項	1	後期基本計画 48 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1				就労準備支援事業委託料	1,392
決算	44					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を目的として、生活リズムを整える、他者と適切なコミュニケーションを図ることができるようになるなどといった日常生活自立や社会参加自立に関する支援から、就労体験の利用の機会の提供等を行い、一般就労に向けた技法や知識の習得等を通じて、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・ワーカーズコープに、佐伯市及び臼杵市、杵築市、由布市、国東市、豊後高田市、豊後大野市、大分県(九重町、玖珠町、日出町、姫島村)の7市1県で共同委託。 ・直ちに就労に踏み出せない生活困窮者に対し、日常生活、社会自立に関する支援を行う。</p>	R3	ワーカーズコープに委託し、実施した。	R3計画	1,347	898		449	
				当初予算	1,347	898		449
				決算額	1,347	898		449
	R4	ワーカーズコープに事務委託し事業を実施した。	R4計画	1,347	898		449	
				当初予算	1,344	896		448
				決算額	1,288	858		430
	R5	ワーカーズコープに事務委託し事業を実施した。	R5計画	1,347	898		449	
				当初予算	1,392	927		465
				決算額	1,392	928		464
	R6		R6計画	1,347	898		449	
				当初予算				
				決算額				
	R7		R7計画	1,347	898		449	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	6,735	4,490		2,245	
			当初予算	4,083	2,721		1,362	
			決算額	4,027	2,684		1,343	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就労準備支援	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値					
					実績値	1	1	1		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					
					目標値					
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					
					目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			16点
			25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。単にハローワークで職業相談や職業訓練では解決できず、複合的な課題がある者に対しては当該事業が必要である。また、対象者が単年度で一般就労に移行するものではなく、成果は乏しいが継続する必要がある。ワーカーズコープで探しているが、協力(受入)企業が少ないことが課題である。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。ハローワークで職業相談や職業訓練では解決できず、複合的な課題がある者に対しては当該事業が必要である。また、対象者が単年度で一般就労に移行するものではなく、成果は乏しいが継続する必要がある。</p>
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	民生・児童委員関係事業	細事業	民生・児童委員関係補助金	実施計画事業	民生児童委員協議会補助事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	--------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No. (127)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 民生児童委員協議会補助金	当初予算額 7,031
会計	一般	施策 2 地域福祉の充実			
款	3	施策展開 ②災害時における地域福祉を支援する			
項	1	後期基本計画 40 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	1				
決算	45				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市民生児童委員協議会の運営に資するため、予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 民児協が相互の研鑽を深めるために実施する全体の研修会または、各町単位の研修会、部会活動、主任児童委員活動等の事業実施に係る補助。</p>	R3	民児協で主催した合同研修会の開催、また、各町単位の研修会、部会活動、主任児童委員活動等の事業を実施し、市の関係する事業にも積極的に協力、参加した。	R3計画 7,031				7,031
			当初予算 7,031				7,031
			決算額 7,031				7,031
	R4	民児協で主催した合同研修会の開催、また、各町単位の研修会、部会活動、主任児童委員活動等の事業を実施し、市の関係する事業にも積極的に協力、参加した。	R4計画 7,031				7,031
			当初予算 7,031				7,031
			決算額 7,031				7,031
	R5	民児協で主催した研修会の開催、また、各町単位の研修会、部会活動、主任児童委員活動等の事業を実施し、市の関係する事業にも積極的に協力、参加した。	R5計画 7,031				7,031
			当初予算 7,031				7,031
			決算額 7,031				7,031
	R6		R6計画 7,031				7,031
			当初予算 7,031				7,031
			決算額				
	R7		R7計画 7,031				7,031
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 35,155				35,155
			当初予算 28,124				28,124
			決算額 21,093				21,093

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 市民児協主催の研修会 研修会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	4		
				%	達成率	50	50	200		
D 成果指標	1 市民児協主催の研修会への参加 研修会の延べ参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画		人	目標値	210	210	210	210	210
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	130	109	265		
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	61.9	51.9	126.2		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		22点	22点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
障がい・高齢・児童の3部会ごとに研修会を開催し、それぞれの分野について理解を深めることができた。引き続き活動に必要な制度等について、知識を深めることは重要であるため、市としても企画や講師招聘に係る協力を行っていく。また、各町単位民生児童委員協議会が主催する各種研修等についても、積極的な開催を各地域行っており、来年度も引き続き取り組んでいけるよう支援を行う。地域共生社会の実現に向けて、地域の方で解決できる活動も求められている中、民生委員児童委員においては、その職務を發揮できるよう引き続きの支援と連携体制が必要と考える。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
地域共生社会の実現に向けて、地域の方で解決できる活動も求められている中、民生委員児童委員においては、その職務を發揮できるよう引き続きの支援と連携体制が必要と考える。積極的な開催を各地域行っており、来年度も引き続き取り組んでいけるよう支援を行う。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	障害者相談支援事業	実施計画事業	障害者相談支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 地域生活支援事業委託料	当初予算額 22,000		
款	3	施策	5 障がい福祉の充実								
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実								
目	2	後期基本計画	46	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画				<input type="checkbox"/>	総合戦略
決算	49	A 事業目的・内容・実績									

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等					
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			一般財源	
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 障がいのある人や障がいのある人を介護する人などからの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援などの必要な支援を行うとともに、虐待の防止やその早期発見のための関係機関との連絡調整など、権利擁護のために必要な援助を行う。また、特に必要と認められる能力を有する専門職員を配置し地域における相談支援事業者などに対する専門的な指導・助言、情報収集・提供、人材育成の支援、地域移行に向けた取り組みを実施することにより、相談支援機能の強化を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 2ヶ所の相談支援事業所と委託契約を行い、専門的知識を有する相談員が対応を行う。</p>	R3	2ヶ所の相談支援事業所と委託契約を行い、専門的知識を有する相談員が対応を行った。	R3計画	20,000	7,272		12,728	
				当初予算	20,000	7,272		12,728
				決算額	20,000	6,599		13,401
	R4	2ヶ所の相談支援事業所と委託契約を行い、専門的知識を有する相談員が対応を行った。	R4計画	20,000	7,272		12,728	
				当初予算	20,000	6,738		13,262
				決算額	20,000	6,751		13,249
	R5	2ヶ所の相談支援事業所と委託契約を行い、専門的知識を有する相談員が対応を行った。	R5計画	22,000	7,272		14,728	
				当初予算	22,000	6,738		15,262
				決算額	22,000	7,003		14,997
	R6		R6計画	20,000	7,272		12,728	
				当初予算	22,000	7,638		14,362
				決算額				
	R7		R7計画	20,000	7,272		12,728	
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	102,000	36,360		65,640	
			当初予算	84,000	28,386		55,614	
			決算額	62,000	20,353		41,647	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 委託相談支援事業所	委託相談支援事業所数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2	箇所	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2	2		
					%	達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	16点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		16点	16点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められているので、それに沿って社会福祉法人が設置している指定一般相談支援事業所に事業を委託している。国の補助金がR6までのため、国が自治体に設置を促進している基幹相談支援センターを設置予定であり、障害者相談支援事業のあり方も今後協議を行っていく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められているので、それに沿って社会福祉法人が設置している指定一般相談支援事業所に事業を委託している。国が基幹相談支援センターの設置を推進しているため、今後障害者相談支援事業のあり方の検討が必要である。

事業	地域生活支援事業	細事業	日常生活用具給付事業	実施計画事業	日常生活用具給付事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	5 障がい者福祉の充実		地域生活支援事業費	12,354
款	3	施策	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
項	1	施策展開	後期基本計画 46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2					
決算	49					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 障がい者等に対して、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図り福祉の増進を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 障がい者等に対して、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図り福祉の増進を図る。</p>	R3	申請受付、給付決定、支払業務等	R3計画 12,903	5,805			7,098
			当初予算 12,903	5,805			7,098
			決算額 12,259	5,402			6,857
	R4	申請受付、給付決定、支払業務等実施。	R4計画 12,903	5,805			7,098
			当初予算 12,521	5,634			6,887
			決算額 10,119	4,562			5,557
	R5	申請受付、給付決定、支払業務等実施。	R5計画 12,903	5,805			7,098
			当初予算 12,354	5,559			6,795
			決算額 9,378	3,869			5,509
	R6		R6計画 12,903	5,805			7,098
			当初予算 11,367	5,115			6,252
			決算額				
	R7		R7計画 12,903	5,805			7,098
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 64,515	29,025			35,490
			当初予算 49,145	22,113			27,032
			決算額 31,756	13,833			17,923

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略	965	件	目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1 支給件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	965	件	目標値	1,085	1,085	1,085	1,085	1,085	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	996	830	771			
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	%			達成率	91.8	76.5	71.1			
	<input type="checkbox"/> 総合計画	%			達成率						
2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略	%	達成率								
	<input type="checkbox"/> 個別計画	%	達成率								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	15点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で支給の対象となる用具や対象者が定められているので、それに沿って給付してあり、必要不可欠な事業として継続していく。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で支給の対象となる用具や対象者が定められているので、それに沿って給付してあり、必要不可欠な事業として継続していく。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	移動支援事業	実施計画事業	移動支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 地域生活支援事業委託料	当初予算額 6,211		
款	3	施策	5 障がい福祉の充実								
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実								
目	2	後期基本計画	46	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画				<input type="checkbox"/>	総合戦略
決算	49										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出の為に支援を行い、地域における自立生活・社会参加を促す。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 本事業におけるサービスの内容は、次に掲げるもので、利用対象者の日常生活上必要と認められる移動支援とする。 (1) 官公庁や金融機関への外出、公的行事への参加、生活必需品の買い物等社会生活上必要不可欠な外出 (2) その他対象者の社会参加を図る上で、市長が特に必要と認めるもの前項のサービスの提供範囲は、原則として1日の範囲内で用務を終えるものに限るものとする。</p>	R3	契約を締結した9事業所に委託して事業を実施した。	R3計画	5,112	2,299			2,813
	当初予算	5,112	2,299			2,813		
	決算額	4,210	1,855			2,355		
	R4	契約を締結した9事業所に委託して事業を実施した。	R4計画	5,112	2,299			2,813
	当初予算	4,727	2,127			2,600		
	決算額	5,321	2,399			2,922		
	R5	契約を締結した9事業所に委託して事業を実施した。	R5計画	5,112	2,299			2,813
	当初予算	6,211	2,794			3,417		
	決算額	4,821	1,989			2,832		
	R6		R6計画	5,112	2,299			2,813
	当初予算	6,603	2,970			3,633		
	決算額							
	R7		R7計画	5,112	2,299			2,813
当初予算								
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	25,560	11,495			14,065
			当初予算	22,653	10,190			12,463
			決算額	14,352	6,243			8,109

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7			
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値							
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値							
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値							
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値							
D 成果指標	1 事業利用延べ時間	<input type="checkbox"/> 総合計画	1,932	時間		目標値	2,700	2,700	2,700	2,700			
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1,679	1,923	1,827				
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率	62.2	71.2	67.7			
	2 実利用人数	<input type="checkbox"/> 総合計画				27	人		目標値	30	30	30	30
		<input type="checkbox"/> 総合戦略							実績値	25	30	30	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画							%	達成率	83.3	100	100

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	14点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者と事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる社会福祉法人等に委託している。事業を継続して、障がい者等の地域での自立生活や社会参加の促進を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者と事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる社会福祉法人等に委託している。障がい者等の地域での自立生活や社会参加の促進を図るため、事業の継続が必要。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	訪問入浴サービス事業	実施計画事業	訪問入浴サービス事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (158)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指す		個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 地域生活支援事業委託料	当初予算額 2,033
会計	一般	施策	5 障がい者福祉の充実				
款	3	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実				
項	1	後期基本計画	46 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2	決算	49				

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 訪問による居宅での入浴サービスを提供し、身体障がい者の身体の清潔の保持及び心身機能の維持等を図り、もって日常生活の支援、福祉の増進を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 訪問入浴介護員を派遣し、訪問入浴サービスを提供する。</p>	R3	訪問入浴介護員を派遣し、訪問入浴サービスを提供した。	R3計画 614	276			338
			当初予算 614	276			338
			決算額 908	400			508
	R4	訪問入浴介護員を派遣し、訪問入浴サービスを提供した。	R4計画 614	276			338
			当初予算 1,996	897			1,099
			決算額 1,292	582			710
	R5	訪問入浴介護員を派遣し、訪問入浴サービスを提供した。	R5計画 614	276			338
			当初予算 2,033	913			1,120
			決算額 1,160	479			681
	R6		R6計画 614	276			338
			当初予算 1,408	633			775
			決算額				
	R7		R7計画 614	276			338
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,070	1,380			1,690
			当初予算 6,051	2,719			3,332
			決算額 3,360	1,461			1,899

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 実施箇所数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	箇所	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1	1		
		% 達成率	100			100	100				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略									
		<input type="checkbox"/> 個別計画									
		% 達成率									
D 成果指標	1 実利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画			人	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1	1	1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画									
		<input type="checkbox"/> 総合戦略									
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率							

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	20点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点
			20点
			25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる民間事業所に事業を委託している。介護保険法の適用を受けられない日常生活を営むことに支障のある在宅の身体障がい者を対象としており、必要な事業として今後も継続していく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる民間事業所に事業を委託している。介護保険法の適用を受けられない日常生活を営むことに支障のある在宅の身体障がい者を対象としており、今後も事業として継続が必要。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	日中一時支援事業	実施計画事業	日中一時支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (158)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 地域生活支援事業委託料	当初予算額 10,038
会計	一般	政策	5 障がい者福祉の充実			
款	3	施策	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
項	1	施策展開	後期基本計画 46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2					
決算	49					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 障がい者等の日中における活動の場を確保し、日常的に介護している家族の一時的な休息を支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 障がい者等を一時的に預かり、日常活動の場を提供するとともに、社会に適応するための恒常的な訓練を行う。</p>	R3	障がい者等を一時的に預かり、日常活動の場を提供するとともに、社会に適応するための恒常的な訓練を行った。	R3計画 4,282	1,926			2,356
			当初予算 4,282	1,926			2,356
			決算額 7,124	3,139			3,985
	R4	障がい者等を一時的に預かり、日常活動の場を提供するとともに、社会に適応するための恒常的な訓練を行った。	R4計画 7,200	3,240			3,960
			当初予算 10,238	4,606			5,632
			決算額 8,831	3,981			4,850
	R5	障がい者等を一時的に預かり、日常活動の場を提供するとともに、社会に適応するための恒常的な訓練を行った。	R5計画 7,200	3,240			3,960
			当初予算 10,038	4,516			5,522
			決算額 9,970	4,113			5,857
	R6		R6計画 7,200	3,240			3,960
			当初予算 11,068	4,980			6,088
			決算額				
	R7		R7計画 7,200	3,240			3,960
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 33,082	14,886			18,196
			当初予算 35,626	16,028			19,598
			決算額 25,925	11,233			14,692

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 実施箇所数		<input type="checkbox"/> 総合戦略	11	箇所	目標値	11	11	11	11	11
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	9	8	6		
		% 達成率			81.8	72.7	54.6			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 成果指標 1 実利用者数		<input type="checkbox"/> 総合計画	21	人	目標値	20	20	20	20	20
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	25	28	28		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	125	140	140		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	20点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
			20点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で対象者が定められており、適切な事業運営が確保できる指定障害福祉サービス事業所及び社会福祉法人等に事業を委託している。今後も必要な事業として継続していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で対象者が定められており、適切な事業運営が確保できる指定障害福祉サービス事業所及び社会福祉法人等に事業を委託している。今後も必要な事業として継続する。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	自動車改造助成事業	実施計画事業	自動車改造助成事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	地域生活支援事業補助金	200
款	3	施策 5 障がい者福祉の充実		
項	1	施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実		
目	2	後期基本計画 46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	49			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 身体障がい者に対して、自動車の改造に要する経費の一部を助成し、身体障がい者の社会活動への参加を促進する。 <令和5年度の実績内容(計画)> 市内に住所を有し、身体障害者手帳の交付を受けている上肢、下肢又は体幹機能障害者であって、実施要綱の要件に該当するものへ自動車の改造に要する費用の一部を助成する。	R3	市内に住所を有し、身体障害者手帳の交付を受けている上肢、下肢又は体幹機能障害者であって、実施要綱の要件に該当するものへ自動車の改造に要する費用の一部を助成した。	R3計画 200				200	
				当初予算 200				200
				決算額 50				50
	R4	市内に住所を有し、身体障害者手帳の交付を受けている上肢、下肢又は体幹機能障害者であって、実施要綱の要件に該当するものへ自動車の改造に要する費用の一部を助成した。	R4計画 200				200	
				当初予算 200				200
				決算額 100				100
	R5	申請者なしのため実績なし。	R5計画 200				200	
				当初予算 200				200
				決算額				
	R6		R6計画 200				200	
				当初予算 100				100
				決算額				
	R7		R7計画 200				200	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,000				1,000	
			当初予算 700				700	
			決算額 150				150	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1 自動車改造助成件数	<input type="checkbox"/> 総合計画		3	件	目標値 2	2	2	2	2	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値 1	1				
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率 50	50				
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	12点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 身体障がい者の社会活動を促進するために必要な事業。今後も現行の予算内で事業を実施予定。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 R5年度は申請が無かったが、身体障がい者の社会活動を促進するために必要な事業。今後も現行の予算内で事業に取り組みたい。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	地域活動支援センター事業	実施計画事業	地域活動支援センター事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (158)		II 豊かな福祉社会の実現を目指す		個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 地域生活支援事業委託料	当初予算額 28,249
会計	一般	政策	5 障がい福祉の充実			
款	3	施策	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
項	1	施策展開	後期基本計画 46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	2					
決算	49					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 就労等が困難な障がい者等を通所させ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> (1) 地域活動支援センターII型 基礎的事業(地域活動支援センターの基本事業として、利用者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行った。加えて、地域において雇用、就労が困難な在宅障害者等に対し、機能訓練、社会適応訓練及び入浴サービス等の支援を行う。 (2) 地域活動支援センターIII型 基礎的事業に加えて、作業訓練、社会適応訓練等を中心とする事業を行い、小規模作業所として5年以上の運営実績がある法人等が実施する。</p>	R3	1) 地域活動支援センターII型 基礎的事業(地域活動支援センターの基本事業として、利用者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行った。加えて、地域において雇用、就労が困難な在宅障害者等に対し、機能訓練、社会適応訓練及び入浴サービス等の支援を行った。	R3計画 当初予算 決算額	24,441 24,441 24,989	3,150 3,150 2,930		21,291 21,291 22,059	
	R4	1) 地域活動支援センターII型 基礎的事業(地域活動支援センターの基本事業として、利用者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行った。加えて、地域において雇用、就労が困難な在宅障害者等に対し、機能訓練、社会適応訓練及び入浴サービス等の支援を行った。	R4計画 当初予算 決算額	24,441 25,780 25,574	3,150 3,150 3,179		21,291 22,630 22,395	
	R5	(1) 地域活動支援センターII型 基礎的事業(地域活動支援センターの基本事業として、利用者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行った。加えて、地域において雇用、就労が困難な在宅障害者等に対し、機能訓練、社会適応訓練及び入浴サービス等の支援を行った。	R5計画 当初予算 決算額	24,441 28,249 25,696	3,150 3,150 2,556		21,291 25,099 23,140	
	R6		R6計画 当初予算 決算額	28,394 28,394	3,150 3,150		25,244 25,244	
	R7		R7計画 当初予算 決算額	24,441	3,150		21,291	
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	126,158 106,864 76,259	15,750 12,600 8,665		110,408 94,264 67,594

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 委託施設数		<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	箇所	目標値	4	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	4	4		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標 1 事業利用者数		<input type="checkbox"/> 総合計画	22	人	目標値	22	22	22	22	22
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	22	24	25		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	109.1	113.6		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	22点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できる社会福祉法人等に事業を委託している。地域において就労が困難な障がい者等に対して、自立と生きがいを高める必要不可欠な事業であり、今後も事業を継続していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できる社会福祉法人等に事業を委託している。地域において就労が困難な障がい者等に対して、自立と生きがいを高める必要不可欠な事業であるため、今後も継続していく。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	聴覚障害者支援事業	実施計画事業	聴覚障害者支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (158)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 5 障がい者福祉の充実	期間 R3 年度 ~ R5 年度	地域生活支援事業委託料	1,620
款	3	施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	期間 年度 ~ 年度	会計年度任用職員報酬	1,286
項	1	後期基本計画 46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		期末手当	215
目	2			費用弁償	175
決算	49				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 意思疎通を図ることに支障がある障がい者が、自立した日常生活又は社会生活を営めるよう支援を行い、意思疎通の円滑化を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・手話通訳者設置事業 ・手話通訳者及び要約筆記者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業</p>	R3	・手話通訳者設置事業 ・手話通訳者及び要約筆記者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業 以上事業を行った。	R3計画 3,780	1,701			2,079
			当初予算 3,780	1,701			2,079
			決算額 3,323	1,464			1,859
	R4	・手話通訳者設置事業 ・手話通訳者及び要約筆記者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業 以上事業を行った。	R4計画 3,780	1,701			2,079
			当初予算 3,785	1,702			2,083
			決算額 3,329	1,478			1,851
	R5	・手話通訳者設置事業 ・手話通訳者及び要約筆記者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業 以上事業を行った。	R5計画 3,780	1,701			2,079
			当初予算 3,651	1,642			2,009
			決算額 3,185	1,314			1,871
	R6		R6計画 3,780	1,701			2,079
			当初予算 3,780	1,701			2,079
			決算額				
	R7		R7計画 3,780	1,701			2,079
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 18,900	8,505			10,395
			当初予算 14,996	6,746			8,250
			決算額 9,837	4,256			5,581

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 手話奉仕員養成研修	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	事業	目標値	2	2	2	2	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2	2	2		
	2 手話通訳者及び要約筆記者派遣	<input type="checkbox"/> 総合戦略	78	件	目標値	101	101	101	101	101
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	85	76	68		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	18点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点
			18点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。社会福祉課に手話通訳者1名を週4日配置するとともに手話通訳者及び要約筆記者の派遣を社会福祉法人大分県聴覚障害者協会に委託し実施している。聴覚障がい者等の社会参加を促進するため、今後も必要不可欠な事業として実施していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。社会福祉課に手話通訳者1名を週4日配置するとともに手話通訳者及び要約筆記者の派遣を社会福祉法人大分県聴覚障害者協会に委託し実施している。聴覚障がい者等の社会参加を促進するため、今後も必要不可欠な事業として実施していく。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	その他地域生活支援事務費	実施計画事業	成年後見制度利用支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (158)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 地域生活支援事業補助金 手数料	当初予算額 436 120
会計	一般	施策	5 障がい者福祉の充実				
款	3	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実				
項	1	後期基本計画	46 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2	決算	49				

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 成年後見制度の利用が必要と認められる障がい者に対して、成年後見制度利用の申立てに要する経費や後見人の報酬を助成するなど、成年後見制度の利用を支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 成年後見支援センターの職員と連携し、制度の相談及び支援に取り組む。</p>	R3	成年後見支援センターの職員と連携し、制度の相談及び支援に取り組んだ。	R3計画	204	91		113
			当初予算	204	91		113
			決算額				
	R4	成年後見支援センターの職員と連携し、制度の相談及び支援に取り組んだ。	R4計画	204	91		113
			当初予算	204	91		113
			決算額	1			1
	R5	成年後見支援センターの職員と連携し、制度の相談及び支援に取り組んだ。	R5計画	204	91		113
			当初予算	456	204		252
			決算額	7	3		4
	R6		R6計画	204	91		113
			当初予算	456	204		252
			決算額				
	R7		R7計画	204	91		113
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	1,020	455		565
			当初予算	1,320	590		730
			決算額	8	3		5

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 成年後見制度利用支援	成年後見制度助成件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	件	目標値	1	1	1	1	1
					実績値			2		
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	%	達成率			200		
					目標値					
D 成果指標	1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	%	目標値					
					実績値					
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	%	達成率					
					目標値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	13点	3点	13点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。障がい者の権利擁護を図るため、今後も不可欠な事業として実施していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 障がい者の権利擁護を図るために今後も必要な事業。成年後見支援センターと連携して成年後見制度の利用促進を図る。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	その他地域生活支援事務費	実施計画事業	自動車運転免許取得助成事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 地域生活支援事業補助金	当初予算額 100
会計	一般	政策	5 障がい者福祉の充実			
款	3	施策	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
項	1	施策展開	後期基本計画 46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2					
決算	49					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 身体障がい者に対して免許の取得に要する費用の一部を助成することにより、身体障がい者の就労等社会活動への参加を促進する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 市内に住所を有する身体障害者手帳を保持する者で、その他実施要綱の要件を満たす者へ、第一種普通自動車運転免許の取得に要する費用の一部を助成する。</p>	R3	市内に住所を有する身体障害者手帳を保持する者で、その他実施要綱の要件を満たす者へ、第一種普通自動車運転免許の取得に要する費用の一部を助成した。	R3計画 100				100	
				当初予算 100				100
				決算額 100				100
	R4	市内に住所を有する身体障害者手帳を保持する者で、その他実施要綱の要件を満たす者へ、第一種普通自動車運転免許の取得に要する費用の一部を助成した。	R4計画 100				100	
				当初予算 100				100
				決算額 100				100
	R5	申請なし	R5計画 100				100	
				当初予算 100				100
				決算額				
	R6		R6計画 100				100	
				当初予算 100				100
				決算額				
	R7		R7計画 100				100	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 500				500	
			当初予算 400				400	
			決算額 200				200	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
D 成果指標	1 免許取得助成件数	<input type="checkbox"/> 総合計画		1	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	1			
	2-	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	100		
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	13点	5点	13点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 身体障がい者の就労等社会参加を促進するために必要な事業。今後も現行の予算内で事業を実施していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 R5年度は申請が無かったが、身体障がい者の就労等の社会参加を促進するために必要な事業。今後も事業を実施していく。
---	--

事業	地域生活支援事業	細事業	その他地域生活支援事務費	実施計画事業	理解促進研修・啓発事業(福祉教室)	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	-------------------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 講師謝礼金	当初予算額 90
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実				
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実				
目	2	後期基本計画	46 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	49						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合える共生社会を目指し、障がいに対する理解の促進を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 地域の団体や学校等によびかけし、障がい福祉教室を開催する。</p>	R3	地域の団体や学校等によびかけし、障がい福祉教室を開催した。	R3計画	90	40		50
			当初予算	90	40		50
			決算額	10	5		5
	R4	地域の団体や学校等によびかけし、障がい福祉教室を開催に取り組んだ。(実績なし)	R4計画	90	40		50
			当初予算	90	40		50
			決算額				
	R5	地域の団体や学校等によびかけし、障がい福祉教室の開催に取り組んだ。	R5計画	90	40		50
			当初予算	90	40		50
			決算額	10	4		6
	R6		R6計画	90	40		50
			当初予算	90	40		50
			決算額				
	R7		R7計画	90	40		50
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	450	200		250
			当初予算	360	160		200
			決算額	20	9		11

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 障がい福祉教室	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1		1		
					% 達成率	100		100		
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	12点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点
			12点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会を目指し、障がい者に対する理解の促進を図るため、必要な事業。内容について検討を行い、今後も必要な事業として継続していく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>障がいに対する理解促進を図るため、必要な事業。内容について検討を行い、今後も必要な事業として継続していく。</p>
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	障害程度区分認定等事務事業	実施計画事業	障害程度区分認定等事務事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (158)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	5 障がい者福祉の充実		期間 年度 ~ 年度	障害者自立支援認定審査会委員報酬	816
款	3	施策	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			手数料	686
項	1	施策展開				費用弁償	69
目	2	後期基本計画	46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			地域生活支援事業委託料	40
決算	49						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に定める障害支援区分認定のために調査を実施し、医師の意見書を求め、それらの内容に基づいて認定審査会を開催する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 豊後大野市障害者自立支援認定審査会を定期的に開催。</p>	R3	豊後大野市障害者自立支援認定審査会を定期的に開催した。	R3計画 1,662				1,662
			当初予算 1,662				1,662
			決算額 1,381				1,381
	R4	豊後大野市障害者自立支援認定審査会を定期的に開催した。	R4計画 1,662				1,662
			当初予算 1,586				1,586
			決算額 1,400				1,400
	R5	豊後大野市障害者自立支援認定審査会を定期的に開催した。	R5計画 1,662				1,662
			当初予算 1,643				1,643
			決算額 1,327				1,327
	R6		R6計画 1,662				1,662
			当初予算 1,701				1,701
			決算額				
	R7		R7計画 1,662				1,662
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 8,310				8,310
			当初予算 6,592				6,592
			決算額 4,108				4,108

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 豊後大野市障害者自立支援認定審査会	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	12	12	12		
					% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
	20点	20点	20点
	25点	25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>市町村は、介護給付費等の支給対象となる障害福祉サービスの支給申請があった場合、障害支援区分の認定を行うこととされており、その判定を行う審査会の運営及び認定に係る医師意見書等の聴取、認定調査に関する事務事業がある。令和5年度は障害支援区分の不服申立てはなく、公正に行うことができた。障害者総合支援法に基づく義務的な事業のため、今後も継続していく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市町村は、介護給付費等の支給対象となる障害福祉サービスの支給申請があった場合、障害支援区分の認定を行うこととされており、その判定を行う審査会の運営及び認定に係る医師意見書等の聴取、認定調査に関する事務事業がある。障害支援区分の不服申立てはなく、公正に行うことができた。障害者総合支援法に基づく義務的な事業のため、今後も継続する。</p>
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地域生活支援事業	細事業	巡回支援専門員派遣事業	実施計画事業	巡回支援専門員派遣事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No. (158)		II 豊かな福祉社会の実現を目指す		個別計画名 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 地域生活支援事業委託料	当初予算額 306
会計	一般	政策	5 障がい福祉の充実			
款	3	施策	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
項	1	施策展開	後期基本計画 46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	2					
決算	49					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等								
事業の目的と内容		年度	主な活動実績		財源内訳 (単位:千円)					
					事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 発達面で気になる子どもについて、発達障がいに関する知識を有する専門員が子育て支援施設等へ巡回支援を実施し、施設等の職員や障がい児の保護者等に対し、障がいや特性の早期把握、早期発見、早期対応のための助言等の支援を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 子育て支援施設等の支援を担当する職員や障がい児の保護者に対し、巡回による支援を基本とし、子育て支援施設等からの派遣依頼に応じて専門員を派遣する。また、必要に応じて、その他の方法(特定の場所を拠点とした面談や講習)による支援を行う。</p>		R3	子育て支援施設等の支援を担当する職員や障がい児の保護者に対し、巡回による支援を基本とし、子育て支援施設等からの派遣依頼に応じて専門員を派遣した。また、必要に応じて、その他の方法(特定の場所を拠点とした面談や講習)による支援を行った。	R3計画	306	136			170	
				当初予算	306	136				170
				決算額	68	30				38
		R4	子育て支援施設等の支援を担当する職員や障がい児の保護者に対し、巡回による支援を基本とし、子育て支援施設等からの派遣依頼に応じて専門員を派遣した。また、必要に応じて、その他の方法(特定の場所を拠点とした面談や講習)による支援を行った。	R4計画	306	136				170
				当初予算	306	136				170
				決算額	221	99				122
		R5	子育て支援施設等の支援を担当する職員や障がい児の保護者に対し、巡回による支援を基本とし、子育て支援施設等からの派遣依頼に応じて専門員を派遣した。また、必要に応じて、その他の方法(特定の場所を拠点とした面談や講習)による支援を行った。	R5計画	306	136				170
				当初予算	306	136				170
				決算額	153	153				
				R6計画	306	136				170
		当初予算	306	136				170		
		決算額								
		R7計画	306	136				170		
		当初予算								
		決算額								
		R3 ~ R7 合計		計画額	1,530	680			850	
				当初予算	1,224	544			680	
				決算額	442	282			160	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 1 委託事業所数		<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	件	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1	1		
		% 達成率				100	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			件	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
		% 達成率									
D 1 巡回支援専門員の派遣		<input type="checkbox"/> 総合計画		4	件	目標値	18	18	18	18	18
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	4	13	9		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	22.2	72.2	50		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			件	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点
			／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容及び実施方法等が定められており、適切な事業の運営が確保できる団体に事業の実施を委託している。国の制度改正により、令和5年度から地域生活支援事業ではなく、地域障害児支援体制強化事業の補助事業となる。関係課と連携し、専門機関とつながっていない発達面で気になることも幅広いアドバイスする事業を継続していくが、大分県発達障がい支援センターECOALが行っている「大分県発達障がい者支援専門員」スーパーバイザー等派遣事業の利用により、本事業の派遣件数が減少しているため、今後の派遣件数の状況により見直しを検討する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容及び実施方法等が定められており、適切な事業の運営が確保できる団体に事業の実施を委託している。同様の事業が別あり、この事業での派遣件数が減少しているため、事業の見直しが必要。

事業	障害福祉サービス事業	細事業	在宅重度障害者住宅改造助成事業	実施計画事業	在宅重度障害者住宅改造助成事業	終了年度	なし
----	------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
会計	一般	施策	5 障がい者福祉の充実					
款	3	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実		期間	年度 ~ 年度	在宅重度障害者住宅改造助成金	800
項	1				期間	年度 ~ 年度		
目	2	後期基本計画	46 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	50							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 障がい者が生活しやすくするため住宅改造に要する費用の助成を行い、障がいがあっても自立した生活を送ることができるよう支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・制度の周知(市報) ・窓口対応</p>	R3	市報やホームページで制度の周知を実施した。	R3計画 800	400			400
			当初予算	800	400		400
			決算額				
	R4	市報やホームページで制度の周知を実施した。	R4計画 800	400			400
			当初予算	800	400		400
			決算額				
	R5	市報やホームページで制度の周知を実施した。	R5計画 800	400			400
			当初予算	800	400		800
			決算額				
	R6		R6計画 800	400			400
			当初予算	800			800
			決算額				
	R7		R7計画 800	400			400
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 4,000	2,000		2,000	
			当初予算 3,200	800		2,400	
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
				%	達成率					
D 成果指標	1 助成件数	<input type="checkbox"/> 総合計画		1	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					
2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率						

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	11点	3点	11点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 県の補助事業を活用した事業。令和5年度は事業の申請者がいなかったが、障がいのある人が自宅で安心して生活するために必要な事業として継続していく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 県の補助事業を活用した事業。障がいのある人が自宅で安心して生活するために必要な事業として継続していく。
--	---

事業	障害福祉サービス事業	細事業	重度心身障害者医療費給付事業	実施計画事業	重度心身障害者医療費助成事業	終了年度	なし
----	------------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間	年度 ~ 年度	108,000
款	3	年度	年度 ~ 年度	
項	1	年度	年度 ~ 年度	
目	2	年度	年度 ~ 年度	
決算	50	年度	年度 ~ 年度	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 心身に一定の障がいを持つ重度心身障害者に対し、その医療費の一部を助成することで保健の向上及び福祉の増進を図る</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 申請受付、給付決定、支払業務等</p>	R3	申請受付、助成決定、支払業務等 支給対象者数1,159人 給付件数25,670件	R3計画 120,000	60,000		1	59,999
			当初予算 120,000	60,000		1	59,999
			決算額 105,838	52,644		549	52,645
	R4	申請受付、助成決定、支払業務等 支給対象者数1,109人 給付件数24,913件	R4計画 120,000	60,000			60,000
			当初予算 110,400	55,200		1	55,199
			決算額 101,086	50,219		647	50,220
	R5	申請受付、助成決定、支払業務等 支給対象者数1,059人 給付件数23,930件	R5計画 120,000	60,000			60,000
			当初予算 108,000	54,000			54,000
			決算額 98,350	49,175			49,175
	R6		R6計画 120,000	60,000			60,000
			当初予算 107,421	52,200		1	55,220
			決算額				
	R7		R7計画 120,000	60,000			60,000
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 600,000	300,000		1	299,999
			当初予算 445,821	221,400		3	224,418
			決算額 305,274	152,038		1,196	152,040

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
					% 達成率					
					目標値					
D 成果指標	1 受給者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	1,204	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,159	1,109	1,059		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	96.6	92.4	88.3		
					目標値					
2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				実績値					
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				% 達成率					
	<input type="checkbox"/> 個別計画				目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	15点	4点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県の補助事業を活用した事業。医療機関の受診が多い重度心身障がい者に対して医療費を助成することは、精神的、経済的負担を軽減する。重度心身障がい者が地域で安心して暮らすために今後も必要な事業として継続していく。	医療機関の受診が多い重度心身障がい者に対して医療費を助成することで、精神的、経済的負担を軽減する事業。障がい者が安心して暮らすために今後も必要な事業である。

事業	障害福祉サービス事業	細事業	身体障害児(者)補装具給付事業	実施計画事業	身体障害児(者)補装具給付事業	終了年度	なし
----	------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額			
会計	一般	政策	5 障がい者福祉の充実		期間	年度	年度			身体障害児(者)補装具給付費	11,400	
款	3	施策	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実		期間	年度	年度					
項	1	施策展開	後期基本計画 46 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>			総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
目	2											
決算	50											

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具について、購入又は修理に要した費用を支給することで住みやすい環境の中で自立した生活を送ることができるよう支援する</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 申請受付、給付決定、支払業務等</p>	R3	申請受付、給付決定、支払業務等 給付件数 者:87件 児:8件	R3計画 13,800	13,800	10,350			3,450
			当初予算	13,800	10,350			3,450
			決算額	8,363	7,431			932
	R4	申請受付、給付決定、支払業務等	R4計画 13,800	13,800	10,350			3,450
			当初予算	13,800	10,350			3,450
			決算額	9,036	6,777			2,259
	R5	申請受付、給付決定、支払業務等	R5計画 13,800	13,800	10,350			3,450
			当初予算	11,400	8,550			2,850
			決算額	10,651	6,750			3,901
	R6		R6計画 11,340	11,340	8,460			2,880
			当初予算	11,340	8,460			2,880
			決算額					
	R7		R7計画 13,800	13,800	10,350			3,450
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 66,540	49,860			16,680	
			当初予算 50,340	37,710			12,630	
			決算額 28,050	20,958			7,092	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略	130	件	目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値						
D 成果指標	1 給付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	130	件	目標値	130	130	130	130	130	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	95	109	114			
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	73.1	83.9	87.7		
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略	実績値								
		<input type="checkbox"/> 個別計画	%	達成率							

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	16点	5点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
法令に定められた事務であり、障がいのある方が日常生活や就労がしやすくなり、自立と社会参加に繋がる必要不可欠な事業。今後も継続して実施していく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
法令に定められた事務である。障がいのある方が自立と社会参加に繋がる必要不可欠な事業として、今後も継続が必要。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	障害福祉サービス事業	細事業	身体障害児(者)補装具給付事業	実施計画事業	軽度・中度聴覚障がい児支援事業	終了年度	なし
----	------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	5 障がい者福祉の充実					
款	3	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実		期間 年度 ~ 年度	年度 ~ 年度	身体障害児(者)補装具給付費	60
項	1	後期基本計画	46 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	2	決算	50					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 公的助成を受けられない軽度・中度の聴覚障がい児に対して補聴器の交付を行うことにより、早期からの言語発達やコミュニケーション能力の獲得及び学力向上を支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 申請受付、給付決定、支払業務等</p>	R3	申請受付、給付決定、支払業務等 給付件数 1件	R3計画 60	30			30
			当初予算 60	30			30
			決算額 77	38			39
	R4	相談受付等	R4計画 60	30			30
			当初予算 60	30			30
			決算額				
	R5	申請受付、給付決定、支払業務等	R5計画 60	30			30
			当初予算 60	30			30
			決算額 77	38			39
	R6		R6計画 60	30			30
			当初予算 60	30			30
			決算額				
	R7		R7計画 60	30			30
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 300	150			150
			当初予算 240	120			120
			決算額 154	76			78

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
				%	達成率						
	2	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
				%	達成率						
D 成果指標	1 給付人数	<input type="checkbox"/> 総合計画			人	目標値	1	1	1	1	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1		1			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100		100		
	2	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)		
			評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	14点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		
			25点	3点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県の補助事業を活用し、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度又は中度の難聴児を支援している。補聴器を利用することによって、言語の習得、教育等で健やかな成長が期待できる事業であり、今後も継続が必要。	県の補助事業を活用し、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度及び中度の難聴児を支援している。補聴器を利用することによって、言語の習得等が期待できる事業であり、今後も継続が必要。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	障害福祉サービス事業	細事業	特別障害者手当等給付事業	実施計画事業	特別障害者手当等給付事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No. (158)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	5 障がい者福祉の充実					
款	3	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実		期間 年度 ~ 年度	年度 ~ 年度	特別障害者手当等給付費	23,220
項	1	後期基本計画	46 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	2	決算	50					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 特別障害者手当:精神又は身体に著しく重度の障がい者、日常生活において常時特別の介護を必要とする特別障がい者に対して手当を支給することにより特別障がい者の福祉の向上を図る。 障害者福祉手当:常時介護を必要とする重度障がい児に対して、手当を支給することにより特別障がい児の福祉の向上を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 申請受付、給付決定、支払業務等</p>	R3	市報やホームページ等で制度を周知。申請受付、給付決定、支払業務等を実施。	R3計画	24,905	18,678		6,227
			当初予算	24,905	18,678		6,227
			決算額	20,381	15,286		5,095
	R4	市報やホームページ等で制度を周知。申請受付、給付決定、支払業務等を実施。	R4計画	24,905	18,678		6,227
			当初予算	23,500	17,625		5,875
			決算額	20,885	15,516		5,369
	R5	市報やホームページ等で制度を周知。申請受付、給付決定、支払業務等を実施。	R5計画	24,905	18,678		6,227
			当初予算	23,220	17,415		5,805
			決算額	20,152	15,262		4,890
	R6		R6計画	24,905	18,678		6,227
			当初予算	22,886	17,164		5,722
			決算額				
	R7		R7計画	24,905	18,678		6,227
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	124,525	93,390		31,135
			当初予算	94,511	70,882		23,629
			決算額	61,418	46,064		15,354

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略	904	件	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 支給件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	904	件	目標値	952	952	952	952	952
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	856	856	804		
	<input type="checkbox"/> 個別計画	達成率			89.9	89.9	84.5			
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値								
		<input type="checkbox"/> 個別計画	達成率							

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	14点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく事業。市報やホームページ等で制度の周知に努めている。今後も在宅で重度の障がい者も常時介護を必要とする人の生活を支援するため、必要不可欠な事業として継続していく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく事業。市報やホームページ等で制度の周知に努めている。今後も在宅で重度の障がい者も常時介護を必要とする人の生活を支援するため、必要不可欠な事業。</p>
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	障害福祉サービス事業	細事業	デイケア等交通費助成事業	実施計画事業	デイケア等交通費助成事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称 精神障害者デイケア等交通費助成金	当初予算額 1,000
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実		期間	年度	年度		
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実		期間	年度	年度		
目	2	後期基本計画	46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		期間	年度	年度		
決算	50								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 在宅の精神障がい者がデイケア等へ通所するための交通費を助成することによりデイケア等の利用を促進し、精神障がい者の福祉の増進を図る。 <令和5年度の取組内容(計画)> 申請受付、支給決定、支払業務等	R3	申請受付、支給決定、支払業務等	R3計画 1,000 当初予算 1,000 決算額 561				1,000	
	R4	申請受付、支給決定、支払業務等	R4計画 1,000 当初予算 1,000 決算額 472				1,000	
	R5	申請受付、支給決定、支払業務等	R5計画 1,000 当初予算 1,000 決算額 547				1,000	
	R6		R6計画 1,000 当初予算 1,000 決算額				1,000	
	R7		R7計画 1,000 当初予算 決算額				1,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 5,000 当初予算 4,000 決算額 1,580				5,000 4,000 1,580

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
D 成果指標	1 支給件数	<input type="checkbox"/> 総合計画		108	件	目標値 130 実績値 87	130	130	130	130
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率 66.9	56.9	63.1			
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	14点	4点	14点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
市の単独事業。市内に精神科の病院がないため、精神障がい者を経済的に支援を行うことは精神障がい者の福祉増進につながる重要な事業である。今後も事業を継続していく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
経済的に支援を行う本事業は精神障がい者の福祉増進につながる重要な事業。今後も事業継続が望ましい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	障害福祉サービス事業	細事業	配食サービス事業	実施計画事業	配食サービス事業	終了年度	なし
----	------------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (158)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	配食サービス委託料	548
款	3	施策 5 障がい者福祉の充実		
項	1	施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実		
目	2	後期基本計画 46 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	50			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 食事の確保が困難な障がい者に対して、定期的に居宅を訪問して栄養のバランスをとれた食事を提供するとともに、安否を確認することにより、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援し、福祉の向上を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 申請受付、支給決定、支払業務等</p>	R3	申請受付、支給決定、支払業務等	R3計画 519				519
			当初予算 519				519
			決算額 265				265
	R4	申請受付、支給決定、支払業務等	R4計画 519				519
			当初予算 519				519
			決算額 373	15			358
	R5	申請受付、支給決定、支払業務等	R5計画 519				519
			当初予算 548				548
			決算額 316				316
	R6		R6計画 419				419
			当初予算 418				418
			決算額				
	R7		R7計画 519				519
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 2,495				2,495
			当初予算 2,004				2,004
			決算額 954	15			939

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
					% 達成率						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
					% 達成率						
D 成果指標	1 利用人数	<input type="checkbox"/> 総合計画		2	人	目標値 5	5	5	5	5	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値 3	3	3			
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率 60	60	60			
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	12点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
65歳未満の在宅の障がい者の食の支援を行っている。今後も高齢者福祉課と連携して配食サービスの提供を図っていく。	65歳未満の外出困難な障がい者を支援している。今後も高齢者福祉課と連携して配食サービスの提供を図っていく事が必要。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業番号	46001
枝番	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	差別をなくす市民のつどい事業	実施計画事業	差別をなくす市民のつどい事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (380)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
目	4	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>
決算	52		

個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版)
期間	H29 年度 ~ 年度
個別計画名	豊後大野市部落差別解消推進教育・啓発基本計画
期間	H30 年度 ~ 年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
講演委託料	200
消耗品費	50
託児業務委託料	17
食糧費	2

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的></p> <p>大分県では、部落差別問題の早期解決を目指すことを目的に、同和対策審議会答申があった8月を「部落差別等あらゆる差別をなくす運動月間」と定め、啓発活動を集中的に実施しています。</p> <p>豊後大野市においても、この趣旨に則り、部落差別をはじめあらゆる差別の解消とお互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に「差別をなくす市民のつどい」を市内3会場で行います。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <p>「差別をなくす市民のつどい」講演会 講師 森山 資典さん 演題 「なかまをつくる部落に生まれて」</p> <p>①8月25日(金) 18:30~エイトピア ②8月26日(土) 10:00~緒方公民館 ③8月26日(土) 13:30~千歳公民館</p> <p>その他、市報やCATV等を活用した広報・啓発活動(人権啓発パネル展)</p>	R3	「差別をなくす市民のつどい」講演会 講師 評創者の会 大滝 昇さん 演題 出会いと表現~あることをないことにしない~ 8/27~28 市内3会場で開催予定だったが、コロナ禍のため中止。 横断幕等の掲示と、人権パネル展(教科書無償化の運動、市内7公民館で2ヶ月間巡回)による啓発活動を行った。
	R4	「差別をなくす市民のつどい」講演会 講師 評創者の会 大滝 昇さん 演題 出会いと表現~あることをないことにしない~ 8月26日(金) エイトピア 8月27日(土) 神楽会館・大野公民館 ・377名参加、関心・理解度93.6%
	R5	「差別をなくす市民のつどい」講演会 講師 森山 資典さん 演題 「なかまをつくる部落に生まれて」 ①8月25日(金) 18:30~エイトピア ②8月26日(土) 10:00~緒方公民館 ③8月26日(土) 13:30~千歳公民館 参加者585名、関心理解92.7%、満足度94.1%。 その他、市報やCATV等を活用した広報・啓発活動(人権啓発パネル展は、7公民館で18~1213名参加)
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	268				268
当初予算	268				268
決算額	35				35
R4計画	269				269
当初予算	269				269
決算額	259				259
R5計画	268				268
当初予算	269				269
決算額	128	48			80
R6計画	268				268
当初予算	375	100			275
決算額					
R7計画	268				268
当初予算					
決算額					
計画額	1,341				1,341
当初予算	1,181	100			1,081
決算額	422	48			374

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C	1 講演会の実施箇所数	市内3会場で開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	会場	目標値	3	3	3	3	3
						実績値		3	3		
						% 達成率		100	100		
D	1 参加者数	講演会への参加者数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	453	人	目標値	460	480	500	520	540
						実績値		377	585		
						% 達成率		78.5	117		
D	2 アンケート結果	アンケート結果で関心・理解が深まった割合(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	82.3	%	目標値	84	86	88	90	92
						実績値		93.7	92.7		
						% 達成率		109	105.3		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	25点	5点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>森山資典さんの講演は、熱く温かく前向きなお話で、差別をなくす仲間作りに取り組み本市にとって最適なお話であった。アンケート結果による関心・理解度は92.7%、満足度も94.1%と高く、今後の地域内外での広がりを期待する。7公民館で実施した人権啓発パネル展「これってへんじゃない?」では、日常の身近な人権課題を考えてもらう機会を作った。今後とも、部落差別問題をはじめとしたあらゆる人権課題を自分事として考えられるような講演会や啓発活動をすすめていきたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>森山資典さんの講演は、差別をなくす仲間作りに取り組み本市にとって最適なお話であり、今後の地域内外での広がりが期待できる。今後も森山さんのような影響力のある講師の選定を望みます。人権啓発パネル展「これってへんじゃない?」は、公民館来客者に日常の身近な人権課題を考えてもらう機会を作った。今後とも、部落差別問題をはじめとしたあらゆる人権課題を市民の皆さんが自分事として考えられるような講演会や啓発活動をすすめていきたい。</p>
---	---

I 令和7年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

事業番号	46002
枝番	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権を守る市民のつどい事業	実施計画事業	人権を守る市民のつどい事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (376)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
目	4	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>
決算	52		

個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版)
期間	H29年度～年度
期間	年度～年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
講演委託料	200
消耗品費	35
講師謝礼金	30
実費弁償	35

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 1948(昭和23)年12月10日に国連で採択された「世界人権宣言」を記念して、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定め、広く国民に人権意識の高揚を呼びかけている。豊後大野市でもこの趣旨に則り、あらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に、「人権を守る市民のつどい」事業や人権講座等を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 「人権を守る市民のつどい」 12月9日(土)10時～ エイトピアおおの 第1部 人権標語・ポスター表彰式 第2部 人権講演会 講師 未定</p> <p>そのほか、各地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座</p>	R3	<p>「人権を守る市民のつどい」 12月4日(土)10時～ エイトピアおおの 第1部 人権標語・ポスター表彰式 第2部 人権講演会 講師 中西麻耶さん 「あきらめない心」</p> <p>そのほか、各地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座 ・11/17 大野 石川英樹さん「部落差別とわたし」、職員による多様な性について ・12/2 朝地 谷口久枝さん「つながるのち、つながる心」 ・12/3 朝地 佐藤 幸三さん「知らないことと差別～あることのないことについて～」</p>
	R4	<p>「人権を守る市民のつどい」 12月10日(土) エイトピアおおの 第1部 人権標語・ポスター表彰式 第2部 人権講演会 講師 劇団一人ぼっち 演題「LETTER(幸せの手紙)」 ・238名参加、関心・理解度94.3% そのほか、各地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座</p>
	R5	<p>「人権を守る市民のつどい」 12月9日(土)10時～ エイトピアおおの 第1部 人権標語・ポスター表彰式 第2部 人権講演会 講師 人権バンド「イソジンス.W.L.C」 演題「伝えたい、この思い」 参加者292名。関心理解96.4%、満足度95.9%。 そのほか、各地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座</p>
	R6	
	R7	
	R3～R7合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	293	100		193
当初予算	293	100		193
決算額	241	106		135
R4計画	293	100		193
当初予算	294	100		194
決算額	197	100		97
R5計画	293	100		193
当初予算	294	100		194
決算額	128	28		100
R6計画	294	100		194
当初予算	196			196
決算額				
R7計画	293	100		193
当初予算				
決算額				
計画額	1,466	500		966
当初予算	1,077	300		777
決算額	566	234		332

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 講演会、人権講座の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	回	目標値	7	7	7	8	8	
					実績値	4	3	5			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画									
D 成果指標	1 参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	175	人	目標値	200	220	250	270	300	
					実績値	297	238	292			
					%	達成率	148.5	108.2	116.8		
	2 アンケート結果	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	94	%	目標値	94.5	95	95	95	95	
実績値					89	94.3	96.4				
				%	達成率	94.2	99.3	101.5			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>人権バンド「イソジンス.W.L.C」の講演は、音楽と熱く温かいお話しを通して、いじめ、障がい者に対する差別、部落差別問題などを正しく知り、考え直すよい機会となった。森山さんは、8月のつどいでも好評で、そこからつながるお話しも差別をなくす仲間作りに効果的であった。参加者の関心・理解は96.4%、満足度は95.9%であった。また、各町の地域協でも様々な人権講座が行われ、市民の人権意識の高揚が図られた。今後もあらゆる差別をなくすための取組を効果的に進めていく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>「イソジンス.W.L.C」の講演は、いじめ、障がい者に対する差別、部落差別問題などを正しく知り、考え直すよい機会となった。森山さんは、8月のつどいでも好評で、そこからつながるお話しも差別をなくす仲間作りに効果的であった。今後ともよい影響力のある講師の選定に努められたい。また、各町の地域協でも様々な人権講座が行われ、市民の人権意識の高揚が図られた。今後もあらゆる差別をなくすための取組を効果的に進められたい。</p>
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業番号	46003	枝番	1
------	-------	----	---

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権ポスター、標語募集事業	実施計画事業	人権ポスター、標語募集事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (376)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
目	4	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>
決算	52		

個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版)
期間	H29 年度 ~ 年度
期間	年度 ~ 年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
印刷製本費	366
記念品代	84
人権問題講師団会議謝礼金	56
消耗品費	10

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 市民にとって幅広く「人権」について考えるきっかけや、市民の人権意識の高揚を図ることを目的に、「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターを募集する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターの募集 【募集期間】 市内小中高校 5月1日~9月30日 一般その他 8月1日~9月30日</p> <p>市人権問題講師、美術指導経験者による審査により、優秀賞と入選作品を選び、12月の「人権を守る市民のつどい」で表彰する。 優秀賞・入選作品のポスターやリーフレットを作成し、市内各学校や公共施設等に掲示。リーフは市内全戸配布。</p>	R3	<p>「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターの募集 【募集期間】 市内小中高校 5月1日~9月30日 一般その他 8月1日~9月30日</p> <p>ポスターに170人、標語に2538人が取り組んでいただき、審査により優秀賞12点と入選作品を表彰した。 優秀賞・入選作品は、ポスターやリーフレットにして、全戸配布や学校・公共施設等に掲示し、啓発した。</p>
	R4	<p>「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターの募集 ・応募 ポスター273点、標語2483点</p> <p>優秀賞と入選作品を選び、12月の「人権を守る市民のつどい」で表彰。 優秀賞・入選作品のポスターやリーフレットを作成し、市内各学校や公共施設等に掲示。リーフは市内全戸配布し啓発した。</p>
	R5	<p>「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターの募集 ・応募 ポスター228点、標語2366点</p> <p>優秀賞と入選作品を選び、12月の「人権を守る市民のつどい」で表彰。 優秀賞・入選作品のポスターやリーフレットを作成し、市内各学校や公共施設等に掲示。リーフは市内全戸配布し啓発した。</p>
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	521	237			284
当初予算	521	237			284
決算額	317	231			86
R4計画	521	237			284
当初予算	521	237			284
決算額	334	237			97
R5計画	521	237			284
当初予算	521	237			284
決算額	347	248			99
R6計画	521	237			284
当初予算	519	237			282
決算額					
R7計画	521	237			284
当初予算					
決算額					
計画額	2,605	1,185			1,420
当初予算	2,082	948			1,134
決算額	998	716			282

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C	1 募集の周知	募集の周知回数(市報、HP、校長会、差別をなくす市民のつどい等令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	回	目標値	4	4	5	5	6
						実績値	4	4	5		
						% 達成率	100	100	100		
2 審査会	審査会の回数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1	
					実績値	1	1	1			
					% 達成率	100	100	100			
D	1 応募数	ポスター応募総数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	124	枚	目標値	127	131	134	137	140
						実績値	150	273	228		
						% 達成率	118.1	208.4	170.2		
	2 応募数	人権標語応募総数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,579	点	目標値	2,590	2,600	2,610	2,620	2,630
						実績値	2,538	2,483	2,366		
						% 達成率	98	95.5	90.7		

E 評価対象外の理由	〇 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	一次評価(係長)		二次評価(課長等)																			
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計																		
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	5点	24点	5点	24点																		
							2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点	24点	5点	24点												
													3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点	24点	5点	24点						
																			4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	24点	5点	24点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
小中学生、三重総合高校生徒を中心に2300点以上の人権標語、228点のポスターの応募があった。市民にとって、身近な人権について考えるきっかけになったと考える。今回の応募作品もは、コロナ禍での人権課題、いじめやスマホの問題、命の大切さ、性の多様性などを敏感に捉えた作品が多かった。人権を守る市民のつどいで、優秀賞のみを表彰したが、参加者の心に響いたようだった。優秀作品のポスターやリーフを全戸配布等しているため、今後も市民が身近なところで人権感覚を磨ききっかけになると考える。	小中学生、三重総合高校生徒を中心にたくさんの人権標語、ポスターの応募があった。コロナ禍での人権課題、いじめやスマホの問題、命の大切さ、性の多様性などを敏感に捉えた作品が多かった。市民にとって、身近な人権について考えるきっかけになったと考える。今後はもっと大人が応募が増えるよう期待する。優秀作品のポスターやリーフを全戸配布等しているため、市民のみならず更に人権感覚を磨ききっかけになると考える。

I 令和7年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	枝番
46004	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権研修事業	実施計画事業	人権研修事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (376)		会計 一般		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 講師謝礼金 実費弁償	当初予算額 45 40
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現					
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する					
目	4	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>					
決算	52							

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現のために、人権研修講師の派遣や紹介等を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 各種団体や企業に人権研修を呼びかけ、その研修に講師を派遣したり、講師の紹介を行う。人権問題講師の育成(県の研修会等)。</p>	R3	各種団体や企業に人権研修を呼びかけ、その研修に講師を派遣したり、講師の紹介を行う。令和3年度は、派遣が9件、紹介が7件となっている。コロナ禍のため、計画していたが、中止になっている。市内47社には、人権研修の講師派遣制度について毎年案内を出している。
	R4	各種団体や企業に人権研修を呼びかけ、その研修に講師を派遣したり、講師の紹介を行う。令和4年度は、派遣が17件、紹介が6件。市内47社には、人権研修の講師派遣制度等について毎年案内している。
	R5	各種団体や企業に人権研修を呼びかけ、その研修に講師を派遣したり、講師の紹介を行う。令和5年度は、派遣が19件、紹介が10件。市内50社には、人権研修の講師派遣制度等について毎年案内している。
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	85				85
当初予算	85				85
決算額					
R4計画	85				85
当初予算	85				85
決算額					
R5計画	85				85
当初予算	85				85
決算額	6				6
R6計画	85				85
当初予算	85				85
決算額					
R7計画	85				85
当初予算					
決算額					
計画額	425				425
当初予算	340				340
決算額	6				6

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 各種団体や企業への呼びかけ数	各種団体や企業への人権研修呼びかけ数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	47	社	目標値 実績値 %	47 47 100	48 47 97.9	49 50 102	50	51
	2 人権問題講師数	人権問題講師の人数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	人	目標値 実績値 %	12 12 100	12 12 100	13 12 92.3	13	
	D 成果指標	1 講師の派遣・紹介数	人権研修の講師派遣・紹介数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	回	目標値 実績値 %	21 16 76.2	22 23 104.6	25 29 116	27
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値 実績値 %					

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 団体や企業への人権研修は、派遣が19件、紹介を10件行った。令和3年度に実施した人権問題に関する市民意識調査結果から考える身近な人権課題、水平社100年から人を尊敬することの大切さを考えること、部落差別解消法の周知など、あらゆる差別の解消に向けた正しい理解と、人権意識の高揚が図られた。今後も、市内の団体や企業に人権研修の重要性を理解していただきながら、講師派遣制度の紹介も重ねていく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 コロナの影響も減り、団体や企業への人権研修は、30件近く実施できた。少人数単位での人権研修により、市民意識調査結果から考える身近な人権課題、水平社100年から人を尊敬することの大切さを考えること、部落差別解消法の周知など、あらゆる差別の解消に向けた正しい理解と、人権意識の高揚が図られたと考える。今後も、市内の団体や企業に人権研修の重要性を理解していただきながら、差別をなくす仲間作りを進められたい。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	46005
枝番	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権・部落差別解消推進事務事業	実施計画事業	社会を明るくする運動推進委員会補助事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	-----------------	--------	---------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (382)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 社会を明るくする運動推進委員会補助金	当初予算額 100
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現				
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する				
目	4	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	52						

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい社会を築くことを目的に、「社会を明るくする運動」を推進する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会を組織している(会長は市長)。</p> <p>○社会を明るくする運動メッセージ伝達式 ○キャンペーンの実施 ハーレークラブによる広報、キャンペーン車等による市内広報、市内小中学校へ社明作文の依頼と啓発用品の配布 ○豊後大野市大会(社明作文の発表、講演会)の実施 7月13日エイトピアおおの ※対象:三重総合高校の生徒 ○広報活動</p>	R3	<p>社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会を組織している(会長は市長)。</p> <p>○社会を明るくする運動メッセージ伝達式 ○キャンペーンの実施 ○キャンペーン車等による市内広報、市内小中学校へ社明作文の依頼と啓発用品の配布 ○豊後大野市大会(社明作文の発表、講演会)の実施 7月11日エイトピアおおの ○広報活動</p>
	R4	<p>社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会を組織している(会長は市長)。</p> <p>○社会を明るくする運動メッセージ伝達式 ○キャンペーンの実施 ハーレークラブによる広報、キャンペーン車等による市内広報、市内小中学校へ社明作文の依頼と啓発用品の配布 ○豊後大野市大会(社明作文の発表、講演会)の実施 7月16日エイトピアおおの ・189名参加 ○広報活動</p>
	R5	<p>○社会を明るくする運動メッセージ伝達式 ○キャンペーン車等による市内広報、市内小中学校へ社明作文の依頼と啓発用品の配布 ○豊後大野市大会(社明作文の発表、講演会)の実施 7月13日エイトピアおおの ・429名参加 ○広報活動</p>
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	100			100
当初予算	100			100
決算額	53			53
R4計画	100			100
当初予算	100			100
決算額	67			67
R5計画	100			100
当初予算	100			100
決算額	90			90
R6計画	100			100
当初予算	100			100
決算額				
R7計画	100			100
当初予算				
決算額				
計画額	500			500
当初予算	400			400
決算額	210			210

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 広報活動	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	3	3	4	4	4
					実績値	3	4	4		
					% 達成率	100	133.3	100		
D 成果指標	1 参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	320	人	目標値	140	150	350	160	165
					実績値	123	189	429		
					% 達成率	87.9	126	122.6		

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>豊後大野市では、保護司会、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会が多年にわたって更生保護関係団体として、地域活動に取り組んでいただいている。市が10万円、保護司会が13万円を出し合って、社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会として啓発活動や講演会等を実施しており、7月の強調月間を中心に講演会や各種啓発活動を行い、市民理解の促進を図った。</p> <p>一昨年3月に策定した再犯防止計画に沿った取り組みも行っている。</p> <p>今後も、更生保護関係団体と協力しながら、安全で安心なまちづくりを推進する。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>豊後大野市では、保護司会、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会が多年にわたって更生保護関係団体として、地域活動に積極的に取り組んでいただいております。社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会として啓発活動や講演会等を実施しており、市民理解の促進が図られている。</p> <p>令和4年3月に策定した再犯防止計画の進捗管理を徹底しながら、今後も、更生保護関係団体と協力しながら、安全で安心なまちづくりを推進されたい。</p>
--	---

I 令和7年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業番号	46005	枝番	2
------	-------	----	---

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権・部落差別解消推進事務事業	実施計画事業	地域人権教育啓発推進協議会補助事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	-----------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No. (376)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
目	4	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>
決算	52		

個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版)
期間	H29 年度 ~ 年度
期間	年度 ~ 年度

令和5年度主な歳出名称	地域人権教育啓発推進協議会補助金	当初予算額	1,260

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に、地域ぐるみ(町毎)での自主的な学習・啓発活動を支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 各町の地域人権教育・啓発推進協議会による地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓発活動。 各町の代表による連絡会議を組織し、連携・情報共有を行う。</p>	R3	7町の地域人権教育・啓発推進協議会による地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓発活動を行っている。 各町の代表による連絡会議を組織し、連携・情報共有もしている。
	R4	7町の地域人権教育・啓発推進協議会による地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓発活動を実施。 各町の代表による連絡会議を組織し、連携・情報共有も行った。
	R5	7町の地域人権教育・啓発推進協議会による地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓発活動を実施。 各町の代表による連絡会議を組織し、連携・情報共有も行った。
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	1,260				1,260
当初予算	1,260				1,260
決算額	831				831
R4計画	1,260				1,260
当初予算	1,260				1,260
決算額	902				902
R5計画	1,260				1,260
当初予算	1,260				1,260
決算額	998				998
R6計画	1,260				1,260
当初予算	1,260				1,260
決算額					
R7計画	1,260				1,260
当初予算					
決算額					
計画額	6,300				6,300
当初予算	5,040				5,040
決算額	2,731				2,731

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 連絡協議会の開催数	連絡協議会の開催回数(令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2	2		
						%	達成率	100	100	100	
D 成果指標	1 講座・講演会等の参加者数	講座・講演会等の参加者数(令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,056	人	目標値	1,070	1,200	1,400	1,600	1,800
						実績値	1,264	1,562	1,574		
						%	達成率	118.1	130.2	112.4	
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						%	達成率				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている 優先度低い ⇒ 優先度高い できなかった ⇒ できた 推移していない ⇒ 推移した 推移していない ⇒ 推移した	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか		5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)		5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか		5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか		5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか		5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
この協議会は平成21年度から設置され、部落差別問題をはじめあらゆる差別の解消に向け、地域ぐるみで自主的な学習・啓発活動を行うことにより、人権尊重の精神に富んだ明るく住みよいまちづくりに寄与することを目的としている。 各町で地域ごとに精通した団体代表や、人権擁護委員、人権問題講師団、福祉団体等の方が委員となり、各町独自の啓発活動や講演会などを行い、様々な差別の解消に向けてご尽力いただいている。 今後も自治会やサロン、学校、職場など地域の小さい単位での学習や啓発活動を行い、差別のない明るいまちづくりを進める。また、各町の役員による連絡会議を開催し、情報共有や連携を深める。	各町で地域ごとに精通した団体代表や、人権擁護委員、人権問題講師団、福祉団体等の方が委員となり、各町独自の啓発活動や講演会などを行い、様々な差別の解消に向けてご尽力いただいております。 今後も自治会やサロン、学校、職場など地域の小さい単位での学習や啓発活動を行い、差別をなくす仲間作りを進める。また、各町の役員による連絡会議を開催し、情報共有や連携を深められたい。

I 令和7年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	46005	枝番	3
------	-------	----	---

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係
-----	--------------	----	--------------

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権・部落差別解消推進事務事業	実施計画事業	部落解放同盟大分県連合会大野支部補助事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	-----------------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (380)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
目	4	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>
決算	52		

個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版)
期間	H29 年度 ~ 年度
個別計画名	豊後大野市部落差別解消推進教育・啓発基本計画
期間	H30 年度 ~ 年度

令和5年度主な歳出名称	部落解放同盟大分県連合会大野支部補助金	当初予算額	1,200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に、運動団体の活動を支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 運動団体は、部落差別問題の完全解消に向け、様々な啓発活動に取り組むとともに、各種研修会等に参加している。市は、運動団体と定期協議を行い、情報共有や情報交換等を行っている。</p>	R3	運動団体は、部落差別問題の完全解消に向け、様々な啓発活動に取り組むとともに、各種研修会等に参加している。令和3年度はコロナ禍により活動が制限されている。市は、運動団体と情報交換等を行っている。
	R4	運動団体は、部落差別問題の完全解消に向け、様々な啓発活動に取り組むとともに、各種研修会等に参加している。基本計画の改定等でも連携。市は、運動団体と定期協議を行い、情報交換等を行っている。
	R5	運動団体は、部落差別問題の完全解消に向け、様々な啓発活動に取り組むとともに、各種研修会等に参加している。市は、運動団体と定期協議を行い、情報共有や情報交換等を行っている。
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	1,200				1,200
当初予算	1,200				1,200
決算額	164				164
R4計画	1,200				1,200
当初予算	1,200				1,200
決算額	358				358
R5計画	1,200				1,200
当初予算	1,200				1,200
決算額	195				195
R6計画	1,200				1,200
当初予算	1,200				1,200
決算額					
R7計画	1,200				1,200
当初予算					
決算額					
計画額	6,000				6,000
当初予算	4,800				4,800
決算額	717				717

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 運動団体との定期協議	運動団体との定期協議回数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		2	回	目標値 2 実績値	2	2	2	2
						%	達成率	50	150		
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値 実績値 達成率				
D 成果指標	1 人権を学ぶ子ども会等への参加	人権を学ぶ子ども会等地域の子どもたちとの関わりへの参加回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		2	回	目標値 2 実績値 6	2	3	4	5
						%	達成率 300	300	133.3		
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値 実績値 達成率				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	5点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点	5点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	4点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	5点
			22点	22点
			25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
人権を尊重し、あらゆる差別のない住みよい社会の実現をめざすため、大野支部が行う事業に対し、補助金を交付している。令和5年度もコロナの影響や役員の体調不良等により、一部の研修会等が中止となり、多くの活動ができていないが、人権を学ぶ子ども会や、高校生人権学習会、甘藷植え付け体験など地域交流事業等に積極的に参加いただき、地域の子どもたちを励ましていた。大野支部との意見交換会も行い、地域の困りごとなどの情報交換等もしている。今後も部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向け、大野支部の活動に対し予算の範囲内で支援したい。	令和5年度もコロナの影響や役員の体調不良等により、一部の研修会等が中止となり、多くの活動ができていない状況ではあるが、人権を学ぶ子ども会や、高校生人権学習会、甘藷植え付け体験など地域交流事業等に積極的に参加いただき、地域の子どもたちを励ましていた。大野支部との意見交換会も行い、地域の困りごとなどの情報交換等もしている。今後も部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向け、大野支部の活動に対し予算の範囲内で支援したい。

I 令和7年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

事業	男女共同参画事業	細事業	男女共同参画社会啓発事業	実施計画事業	男女共同参画社会啓発事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (383)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第2次豊後大野市男女共同参画基本計画(改訂版) 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	6 人権尊重社会の実現				
款	3	施策展開	②男女共同参画社会づくりを推進する				
項	1	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	4			期間	年度 ~ 年度	講師謝礼金	230
決算	53					男女共同参画推進協議会委員謝礼	138
						実費弁償	105
						消耗品費	65

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 男女共同参画社会の実現に向けて、男女が互いを認め思いやり、個性と能力が発揮できる男女共同参画のまちづくりをめざす</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画市民のつどい、市民講座、出前講座の実施及び市報、広報誌、ケーブルテレビ、ホームページ等各種媒体において啓発を実施する。また、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入したこと、多様な性のあり方について重点的に啓発を行う。</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> ○第15回男女共同参画市民のつどいを開催 参加者 一般171人 実行委員等関係者31人 ○男女共同参画啓発講座等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・市民講座 1回 参加者13人 ・癒しのコンサート 参加者 一般158人 実行委員等関係者13人 ・放課後チャレンジ教室 5カ所 参加者 93人 ・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度導入関連啓発・研修等 29回 参加者703人 	R3計画	923			923
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ○第16回男女共同参画市民のつどいを開催 参加者 一般172人 実行委員会等関係者27人 ○男女共同参画啓発講座等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・市民講座 5回 参加者 183人 ・癒しのコンサート 参加者 一般162人 実行委員等関係者 8人 ・放課後チャレンジ教室 7カ所 参加者 112人 ・男女共同参画出前講座 5カ所 参加者 73人 	R4計画	773			773
	R5	<ul style="list-style-type: none"> ○第17回男女共同参画市民のつどいを開催 参加者 一般208人 実行委員会等関係者44人 ○男女共同参画啓発講座等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・市民講座 6回 参加者 204人 ・癒しのコンサート 参加者 一般208人 出演者17人 ・実行委員等関係者6人 ・放課後チャレンジ教室 5カ所 参加者75人 コーディネータ等17人 ・男女共同参画出前講座 7カ所 参加者241人 	R5計画	773			773
	R6		R6計画	773			773
	R7		R7計画	2,273			2,273
	R3 ~ R7 合計		計画額	5,515			5,515
			当初予算	4,978			4,978
		決算額	1,719			1,719	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 啓発講座や講演会の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	9	回	目標値	16	17	18	19	20
					実績値	8	18	21		
	2 各種審議会等委員の女性登用率	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	34.5	%	目標値	38	41	44	47	50
					実績値	36.4	35.9	35		
D 成果指標	1 社会全体において男女が平等と感じる割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	17.5	%	目標値					30
					実績値					
	2 「男は仕事、女は家庭」という考え方に同調しない人の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	72.1	%	目標値					75
					実績値					
E 評価対象外の理由		O 評価対象		(対象外事業はF~I欄未記入可)						

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		23点	23点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>市民講座では、男女共同参画基本計画の重点目標に沿った内容の様々なジャンルの講座を行い、幅広い年代、関心のある内容、参加しやすい時間帯等に配慮し参加者が固定化しないように努めた。</p> <p>大分県パートナーシップ宣誓制度導入に向け、県下共通サービスや市の独自サービスの調整を行い、新しい行政サービスを拡充できた。また、制度の周知および性の多様性の理解について、各種団体に出向き積極的な研修会・講座の実施に努めた。</p> <p>今後も、あらゆる場面・世代等において性別に関わらず個性と能力を発揮することができる地域となるよう啓発事業を継続する。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>男女共同参画基本計画に沿った内容で市民講座や放課後チャレンジ教室等に工夫して取り組み、幅広い年代への啓発ができた。</p> <p>性の多様性の理解や、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の周知についても、様々な機会をとらえて実施し、市民理解が促進できた。今後も、誰もがその人らしく生きていける社会の実現をめざして、あらゆる機会を通じた啓発事業を根気強く継続する。</p>
--	--

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	地域交流事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (378)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現				
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する				
目	5	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	54						
				費用弁償(会計年度任用職員分)	63	講師謝礼金	30
						実費弁償	19
						消耗品費	10

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的></p> <p>第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む。相談事業や文化・教育及び人権に関する学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <p>自立支援等のための訪問活動を実施し地域福祉の推進を図る</p> <p>休日開館や各種クラブ活動、レクリエーション、教養、文化活動等各種講座を開催し、地域住民相互の交流・促進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談事業(随時) 交流促進講座(ヨガ教室)4回開催予定 児童館児童と地区住民の交流 甘藷植付け収穫体験 植付け体験 令和4年6月予定 収穫体験 令和5年11月予定 おいも収穫祭 令和5年11月予定 休日等開館 24日開館予定 	R3	<ul style="list-style-type: none"> 交流促進ヨガ教室(4回 延べ272人) 地域交流促進事業(甘藷植付け及び収穫体験、おいも収穫祭 延べ132名) 休日開館(25日) 	R3計画	36	27			9
	R4	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流促進事業(甘藷植付け及び収穫体験 延べ22名) 休日開館(24日) 	当初予算	36	27			9
	R5	<small>自立支援等のための訪問活動を実施し地域福祉の推進を図る</small> <small>休日開館や各種クラブ活動、レクリエーション、教養、文化活動等各種講座を開催し、地域住民相互の交流・促進を図る</small> <small>相談事業(随時)</small> <small>児童館児童と地区住民の交流</small> <small>甘藷植付け収穫体験</small> <small>植付け体験</small> <small>収穫体験</small> <small>おいも収穫祭</small> <small>休日等開館</small>	R5計画	36	27			9
	R6		当初予算	134	100			34
	R7		決算額	93	47			46
	R3 ~ R7 合計		計画額	180	135			45
			当初予算	292	218			74
			決算額	64,970	30,105			34,865

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 広報啓発活動	隣保館だよりの発行回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	12	12	12		
	2 参加者数	交流事業の参加者数(甘藷植付け収穫体験、おいも収穫祭)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	130	人	目標値	120	120	120	120	120
						実績値	132	22	45		
D 成果指標	1 発行回数	事業普及のため隣保館だよりの発行回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	12	12	12		
	2 参加者数	地域交流促進のため休日開館を含む交流事業の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	130	人	目標値	120	120	120	120	120
						実績値	104	85	82		
						達成率	86.7	70.8	68.3		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	19点	3点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
			25点	4点	25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 新事務所を活用し、交流促進事業を実施することができた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 新しい隣保館でさまざまな地域交流事業や人権啓発事業が進められた。また、毎月の訪問による相談事業に取り組み、地域の困りごと等への対応がなされた。今後は、なかなか会うことのできない家庭への対応を検討されたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	調査研究事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (378)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 調査研究事業謝礼金 消耗品費 実費弁償	当初予算額 84 66 7
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現				
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する				
目	5	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	54						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む。相談事業や文化・教育及び人権に関する学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 専門的知識のある有識者を活用し、基礎となるデータ収集を行うとともにあらゆる隣保館事業の基礎となる地域の実態把握するため地域住民の生活の実態を調査し、生活の改善向上を図る。 ・社会調査及び研究事業調査研究会3回開催予定 ・地域の実情に応じた実態調査の実施</p>	R3	調査研究会(1回) 相談(388回)	R3計画 115 当初予算 115 決算額 25	86			29
	R4	調査研究会(1回) 相談(385回)	R4計画 115 当初予算 157 決算額 69	86	117	35	29
	R5	専門的知識のある有識者を活用し、基礎となるデータ収集を行うとともにあらゆる隣保館事業の基礎となる地域の実態把握するため地域住民の生活の実態を調査し、生活の改善向上を図る。 ・社会調査及び研究事業調査研究会1回開催 ・地域の実情に応じた実態調査の実施	R5計画 115 当初予算 157 決算額 83,881	86	117	38,906	44,975
	R6		R6計画 115 当初予算 決算額	86			29
	R7		R7計画 115 当初予算 決算額	86			29
	R3 ~ R7 合計			計画額 575 当初予算 429 決算額 83,975	430		145
							109
						45,020	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2	
					実績値	1	1	1			
	% 達成率	50	50	50							
2 相談件数	来館・訪問等による受付件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	480	回	目標値	480	480	480	480	480	
					実績値	388	385	271			
					% 達成率	80.8	80.2	56.5			
D 成果指標	1 利用者延べ人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
					実績値	1,068	1,268	2,421			
					% 達成率	106.8	63.4	121.1			
	2 相談件数	定期訪問活動回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	600	600	600	600	600
						実績値	653	667	526		
						% 達成率	108.8	111.2	87.7		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	20点	3点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 調査研究会を1回実施し、啓発資料のまとめに向けて事務局案の検討を進めることができた。相談事業については、健康相談が7割を占めている。単身高齢者などへの重点的な訪問をするなど、今後も地域の状況を把握し、適確な支援に繋げていくことが必要と考えられる。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 有識者による社会調査及び研究事業調査研究会の活動に感謝する。その成果レポートの活用と、実態調査の分析及び訪問事業等への反映について関係機関との連携を図りながら取り組まれない。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
48001	3

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保館係
-----	--------------	----	------

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	ふれあい教室事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (378)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
目	5	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>
決算	54		

個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版)
期間	H29 年度 ~ 年度
期間	年度 ~ 年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	190
自動車等借上料	66
実費弁償	57
消耗品費	42

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的></p> <p>第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <p>各種体験活動を通して住民相互の交流の促進を図る</p> <p>・ふれあい教室(4教室) 料理教室・絵手紙教室・実用書道教室 手編み教室 5月から10回開催予定</p>	R3	・ふれあい教室事業(4教室32回 210人)
	R4	・ふれあい教室事業(5教室43回291人)
	R5	各種体験活動を通して住民相互の交流の促進を図る ・ふれあい教室(5教室) 料理教室・絵手紙教室・実用書道教室 手編み教室 5月から10回開催 ヨガ教室 6月から5回開催
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	377	283			94
当初予算	377	283			94
決算額	258	16			242
R4計画	377	283			94
当初予算	384	288			96
決算額	304	152			152
R5計画	377	283			94
当初予算	395	296			99
決算額	325,930	150,950			174,980
R6計画	377	283			94
当初予算					
決算額					
R7計画	377	283			94
当初予算					
決算額					
計画額	1,885	1,415			470
当初予算	1,156	867			289
決算額	326,492	151,118			175,374

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 開催回数	ふれあい教室の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	33	回	目標値	40	40	40	40	40
						実績値	32	43	44		
						% 達成率	80	107.5	110		
2 参加者数	ふれあい教室の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	250	人	目標値	230	230	230	230	230	
					実績値	210	291	326			
					% 達成率	91.3	126.5	141.7			
D 成果指標	1 参加者数	ふれあい教室の参加者数(令和7年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	250	人	目標値	230	230	230	230	230
						実績値	210	291	326		
						% 達成率	91.3	126.5	141.7		
2 アンケート結果	アンケート調査から習熟度、満足度の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値	70	70	70	70	70	
					実績値	70	70	70			
					% 達成率	100	100	100			

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている 優先度低い ⇒ 優先度高い できなかった ⇒ できた 推移していない ⇒ 推移した 推移していない ⇒ 推移した	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか		4点	21点	4点	21点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)		4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか		5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか		4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか		4点		4点	
				21点		21点
				25点		25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
継続参加する方が多かった。参加者を対象に実施した人権学習では意識の高さを確認できた。今後も人権啓発及び交流の推進のため、参加者の要望にも対応しながら事業を継続する。	各種体験活動を通して住民相互の交流の促進が図られている。人権啓発の拠点として今後も継続した人権啓発に取り組まれたい。

I 令和7年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	出前隣保館事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (378)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 講師謝礼金 消耗品費 実費弁償 通信運搬費	当初予算額 41 16 12 5
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現				
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する				
目	5	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	54						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む <令和5年度の取組内容(計画)> 教養・娯楽、保健福祉、軽スポーツ等通じて高齢者の健康保持や人権意識の高揚及び住民交流を図ることを目的とし開催 民間保健師による健康相談、血圧測定等を実施 ・出前隣保館(2地区集会所)、まちなかサロン(隣保館) ・5月から10回開催予定 ・合同交流会 ・9月開催予定	R3	出前隣保館事業(2地区16回、隣保館7回、合同交流会1回 延べ138人)	R3計画 225	169			56
	R4	出前隣保館事業(2地区17回、1地区1回、隣保館9回、合同交流会1回 延べ135人)	当初予算 225	169			56
			決算額 141	9			132
	R5	出前隣保館事業(2地区16回、1地区1回、隣保館10回、合同交流会1回 延べ127人)	R4計画 225	169			56
			当初予算 220	165			55
			決算額 21	11			10
	R6		R5計画 225	169			56
			当初予算 77	57			20
			決算額 31,629	14,694			16,935
	R7		R6計画 225	169			56
		当初予算					
		決算額					
		R7計画 225	169			56	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 1,125	845			280
			当初予算 522	391			131
			決算額 31,791	14,714			17,077

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	27	回	目標値	27	27	27	27	27	
					実績値	24	26	28			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	88.9	96.3	103.7		
						目標値					
D 成果指標	1 参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	27	27	27	27	27	
					実績値	24	26	27			
	2 アンケート結果	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	88.9	96.3	100		
						目標値	80	80	80	80	80
					実績値	80	80	80			
					達成率	100	100	100			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	22点	22点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
		22点	22点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 天候などの影響で予定どおりの実施が出来なかったが、今後も相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会など参加者に密着した内容で事業を継続する。
 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 今後も相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会などを参加者に密着した内容で継続されたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	フィールドワーク事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (380)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版) 期間 H29 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 講師謝礼金 印刷製本費 草刈委託料 通信運搬費	当初予算額 100 93 52 35
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現				
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する				
目	5	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>				
決算	54						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関する学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 部落差別問題をはじめ広く人権に関する理解を深めるため、日常生活に根ざした啓発活動を行う ・フィールドワーク研修「むらを歩いて」の開催 ・フィールドワーク研修講師団会議の開催 ・隣保館主催人権講座の開催 7月、11月2回開催予定</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク研修「むらを歩いて」(2回 延べ138人) ・フィールドワーク研修講師団会議(4回) 	R3計画 113	39	60	14	
	当初予算	113	39	60	14		
	決算額	27	8		19		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク研修「むらを歩いて」(7回 延べ53人) ・フィールドワーク研修講師団会議(4回) 	R4計画 113	39	60	14	
	当初予算	193	91	48	54		
	決算額	43	22		21		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> 部落差別問題をはじめ広く人権に関する理解を深めるため、日常生活に根ざした啓発活動を行う ・フィールドワーク研修「むらを歩いて」の開催 20団体24回(延べ367名受講) ・フィールドワーク研修講師団会議の開催 2回 ・隣保館主催人権講座の開催 7月、10月、2月開催 	R5計画 113	39	60	14	
	当初予算	285	213		72		
	決算額	112,665	40,075	70,400	2,190		
	R6		R6計画 113	39	60	14	
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 113	39	60	14		
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 565	195	300	70	
			当初予算 591	343	108	140	
			決算額 112,735	40,105	70,400	2,230	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数 フィールドワーク研修及び人権講座開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	27	回	目標値	10	20	20	20	20
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	12	7	27		
		% 達成率			120	35	135			
2 開催回数 フィールドワーク研修講師団会議開催回数	3	回	目標値	3	3	3	3	3		
			実績値	4	4	2				
			% 達成率	133.3	133.3	66.7				
D 成果指標	1 開催回数 フィールドワーク研修及び人権講座開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画		回	目標値	10	20	20	20	20
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	12	7	27		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	120	35	135		
2 アンケート結果 フィールドワーク研修及び人権講座アンケート結果で理解が深まった割合(令和7年度末)		%	目標値	80	80	80	80	80		
			実績値	80	80	80				
			% 達成率	100	100	100				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 研修現地でスズメバチの巣が見つかり、現地研修に支障が発生した。今後の事業継続に向けては、職員が研修現地を巡回するなどして、環境の整備に努める。また、研修現地周辺の住民の理解をいただき、フィールドワーク講師団と協議しながら取り組む。さらに、フィールドワーク研修とは違う啓発研修についても研究をする。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 部落差別問題の解決に向けフィールドワーク研修は貴重な取り組みであり、地域の方々や講師団の皆さんに感謝している。今後も事業継続に向け、職員が研修現地を巡回するなどして、環境の整備に努められたい。また、研修現地周辺の住民の理解をいただきながら、フィールドワーク講師団と協議しながら取り組みをすすめていきたい。さらに、スライド学習資料などの作成について研究されたい。
---	--

事業番号	枝番
48002	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保館係
-----	--------------	----	------

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館管理事業	実施計画事業	隣保館管理事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (382)

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
款	3	施策	6 人権尊重社会の実現
項	1	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
目	5	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	54		

個別計画名	豊後大野市人権教育・啓発基本計画(改定版)
期間	H29 年度 ~ 年度
期間	年度 ~ 年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
施設警備委託料	430
修繕料	100
隣保館施設管理委託料	22
オープニングイベント業務委託料	264

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 隣保館の維持及び修繕を実施し建物の管理に関する業務や貸館を行う <令和5年度の取組内容(計画)> 隣保館で、きめ細かな人権啓発、交流機会の推進を図る ・施設管理及び修繕 ・施設管理委託 ・開館式典開催	R3	隣保館解体工事に伴い令和3年9月1日から仮事務所へ移転 ・施設警備委託
	R4	隣保館解体工事に伴い仮事務所にて業務を進めた。 ・施設警備委託
	R5	隣保館事務所で、きめ細かな人権啓発、交流機会の推進を図る ・施設管理及び修繕 ・施設管理委託
	R6	
	R7	
R3 ~ R7 合計		

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	1,235	75		120	1,040
当初予算	1,235	75		120	1,040
決算額	441	35		5	401
R4計画	1,235	75			1,160
当初予算	282	75			207
決算額	1,129	565			564
R5計画	1,235	75		30	1,130
当初予算	918	75			843
決算額	1,450,315	662,157			788,158
R6計画	1,235	75		30	1,130
当初予算					
決算額					
R7計画	1,235	75		30	1,130
当初予算					
決算額					
計画額	6,175	375		210	5,590
当初予算	2,435	225		120	2,090
決算額	1,451,885	662,757		5	789,123

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 人権啓発、交流機会の推進 隣保館数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	館	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	1		
		%			達成率	100	100	100		
2 人権啓発、交流機会の推進	利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	5,270	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1,068	1,268	2,421		
		%			達成率	106.8	126.8	242.1		
D 成果指標	1 人権啓発、交流機会の推進 隣保館数	<input type="checkbox"/> 総合計画		館	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	1	1		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	100	100	
2 人権啓発、交流機会の推進	利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画		人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1,068	1,268	2,421		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	106.8	126.8	242.1	

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	15点	15点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新事務所において、人権啓発、交流機会の推進を図った。フィールドワーク研修が再開したこともあり利用者は2千人を超えることはできたが、貸館事業による一般の利用件数は伸びていない。隣保館施設の活用方法を提案する広報なども検討していきたい。	新隣保館において、人権啓発、交流機会の推進を図った。子どもから高齢者まで様々な世代の方が利用しやすい施設の活用方法を検討されたい。

I 令和7年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	老人福祉総務事業	細事業	はり、きゅう治療費助成金	実施計画事業	はり、きゅう治療費助成事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (144)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 はり、きゅう治療費助成金 印刷製本費 通信運搬費	当初予算額 3,100 35 5
会計	一般	施策	4 高齢者福祉の充実			
款	3	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する			
項	2	後期基本計画	44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1	決算	56	期間	年度 ~ 年度	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的> はり、きゅう、マッサージの施設を利用する者の経費を助成することにより、健康保持と福祉増進に寄与する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・利用券交付申請者に対し「はり、きゅう等施設利用券」を交付する。 ・指定施術担当者からの助成金請求書に基づき支払を行う。</p>	R3	70歳以上高齢者数は、令和4年3月末現在で12,233人であり、うち7.0%に当たる857人が、はり・きゅう治療費助成金を利用した。利用者一人当たりの利用回数は、3.2回(2,770回÷857人)であった。	R3計画	3,239			791	2,448	
				当初予算	3,239			791	2,448
				決算額	2,804			650	2,154
	R4	70歳以上高齢者数は、令和5年3月末現在で12,168人であり、うち6.8%に当たる828人が、はり・きゅう治療費助成金を利用した。利用者一人当たりの利用回数は、3.2回(2,675回÷828人)であった。	R4計画	3,239			791	2,448	
				当初予算	3,238			669	2,569
				決算額	2,708			631	2,077
	R5	70歳以上高齢者数は、令和6年3月末現在で12,114人であり、うち7.0%に当たる854人が、はり・きゅう治療費助成金を利用した。利用者一人当たりの利用回数は、3.2回(2,764回÷854人)であった。	R5計画	3,239			791	2,448	
				当初予算	3,140			650	2,490
				決算額	2,835			650	2,185
	R6			R6計画	3,239			791	2,448
				当初予算	2,869			631	2,238
				決算額					
	R7			R7計画	3,239			791	2,448
			当初予算						
			決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額	16,195			3,955	12,240	
			当初予算	12,486			2,741	9,745	
			決算額	8,347			1,931	6,416	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 実利用者数	年間申請者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	805	人	目標値	900	900	900	900	900
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	857	828	854		
		%			達成率	95.2	92	94.9		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		%	達成率							
D 成果指標 1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	12点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点
			12点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 70歳以上高齢者の7.0%に当たる854人が、はり・きゅう治療費助成金を利用したことから、高齢者の健康保持と福祉の向上に寄与したと考える。健康保持、医療費の抑制にも効果がある事業であるため、積極的に広報をすることにより、年間利用者数の増加に努めたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 70歳以上の高齢者の7.0%に当たる854人がはり・きゅう治療費助成金を利用しており、高齢者の健康保持と福祉の向上に寄与したと考えられる。健康保持、医療費の抑制にも効果がある事業であるため、より積極的な広報を行い年間利用者数の増加に努める必要がある。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
50002	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人福祉総務事業	細事業	敬老祝品支給事業	実施計画事業	敬老祝品支給事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (152)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指す
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実
項	2	施策展開	③生きがいつくりを推進する
目	1	後期基本計画	44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	56		

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
期間	R3 年度 ~ R5 年度
期間	年度 ~ 年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
記念品代	876
敬老祝品配送業務委託料	259
消耗品費	138
通信運搬費	9

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的></p> <p>80歳及び100歳に到達した高齢者に対して、敬老祝品を支給することにより長寿を祝福し敬老の意を表す。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・80歳祝品：基準日(9/1)において80歳に達した方に対し、800円相当の祝品を送付する。 ・100歳祝品：100歳の誕生日を迎えた方に対し、10,000円相当の祝品と祝辞を持参する。 	R3	80歳に達した481人に三重総合高校のジャムセット(お祝いメッセージ入り)を送付し、100歳に達した32人に羽毛布団と祝辞を持参した。
	R4	80歳に達した494人に三重総合高校のジャムセット(お祝いメッセージ入り)を送付し、100歳に達した38人に羽毛布団と祝辞を持参した。
	R5	80歳に達した442人に三重総合高校のジャムセット(お祝いメッセージ入り)を送付し、100歳に達した34人に羽毛布団と祝辞を持参した。
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位：千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	1,229				1,229
当初予算	1,229				1,229
決算額	1,009				1,009
R4計画	1,229				1,229
当初予算	1,314				1,314
決算額	1,097				1,097
R5計画	1,229				1,229
当初予算	1,282				1,282
決算額	1,058				1,058
R6計画	1,229				1,229
当初予算	1,235				1,235
決算額					
R7計画	1,229				1,229
当初予算					
決算額					
計画額	6,145				6,145
当初予算	5,060				5,060
決算額	3,164				3,164

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C	1 80歳到達者	前年度の9/2以降の80歳到達から、当該年度の基準日(9/1)において80歳に達した方の人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	476	人	目標値	490	500	500	500	500	
			<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	481	494	442			
	2 100歳到達者	当該年度において100歳の誕生日を迎えられた方の人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	39	40	目標値	40	40	40			
			<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	32	38	34			
D	1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
			<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
			<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率						
	2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
				<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
				<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
長寿を祝う本事業は、高齢者福祉の目的である生きがいや喜びに繋がっている。高齢者世帯数は、令和6年3月末現在で7,338世帯、全体の47%を超え年々増加している。高齢者の健康保持や生きがいづくりのため、今後も80歳及び100歳に到達した高齢者に対して、敬老祝品を贈呈する。	長寿を祝う本事業は、高齢者福祉の目的である生きがいや喜びに繋がっており、今後も事業の継続は必要である。

I 令和7年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	老人福祉総務事業	細事業	ねんりんピック	実施計画事業	ねんりんピック事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (152)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 消耗品費 138 自動車等借上料 97 食糧費 84 通信運搬費 11	当初予算額
会計	一般	施策 4 高齢者福祉の充実			
款	3	施策展開 ③生きがいつくりを推進する			
項	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1				
決算	56				

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 様々な分野で参加することができる「豊の国ねんりんピック」に参加することで、高齢者の生きがいつくりと地域活動の仲間づくりを目指す。 <令和5年度の取組内容(計画)> 大会開催の周知、競技団体への参加要請を行う。	R3	豊の国ねんりんピックに係る関係団体打合せ会議の参加や参加申込の集約など、大会に向け準備を進めていたが、コロナ禍の影響により、大会すべてが中止となった。	R3計画 289				289	
				当初予算 289				289
				決算額 4				4
	R4	4年ぶりの開催であったが、大会開催の周知、競技団体への参加要請を行った結果、12競技、111名がねんりんピックに参加した。	R4計画 289				289	
				当初予算 289				289
				決算額 70				70
	R5	大会開催の周知、競技団体への参加要請を行った結果、12競技、113名がねんりんピックに参加した。	R5計画 289				289	
				当初予算 330				330
				決算額 201				201
	R6		R6計画 289				289	
				当初予算 95				95
				決算額				
	R7		R7計画 289				289	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,445				1,445	
			当初予算 1,003				1,003	
			決算額 275				275	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 参加競技団体数	参加競技団体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	14	団体	目標値	15	15	15	15	15
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		12	12		
		% 達成率				80	80			
D 成果指標 2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	83.4	84.2	83.4		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100.5	101.5	100.5		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ねんりんピックは、今後も参加への支援は必要である。高齢者の豊かな技術等を発揮できる場づくりの充実のため、今後も事業の継続が必要である。大会事務局が示す参加要請数に満たない競技がある。このため、大会開催の周知、競技団体への参加要請を早めに行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 競技団体の役員交代などにより、参加要請がスムーズに行えない問題はあるが、高齢者の豊かな技術等を発揮できる場づくりの充実のため、今後も事業の継続が必要である。
---	---

事業	老人福祉総務事業	細事業	権利擁護事業	実施計画事業	権利擁護対応専門相談事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (148)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度 主な歳出名称 権利擁護対応専門相談事業委託料	当初予算額 88
会計	一般	政策			
款	3	施策			
項	2	施策展開			
目	1	後期基本計画 44 P			
決算	56		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 高齢者虐待等における困難事例対応のため、「大分高齢者虐待対応専門職チーム(弁護士・社会福祉士)」に、個別会議への出席及び専門的助言を受けられるよう委託する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 必要に応じ、「大分高齢者虐待対応専門職チーム(弁護士・社会福祉士)」の派遣依頼を行う。</p>	R3	高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を開催し、大分高齢者虐待対応専門職チーム(弁護士・社会福祉士)による講演を行った。	R3計画 88				88
			当初予算 88				88
			決算額 22				22
	R4	大分高齢者虐待対応専門職チーム(弁護士・社会福祉士)に3件の電話相談を行ったが、派遣を依頼するほどの困難事例が発生しなかった。	R4計画 88				88
			当初予算 88				88
			決算額				
	R5	大分高齢者虐待対応専門職チーム(弁護士・社会福祉士)に2件の電話相談を行ったが、派遣を依頼するほどの困難事例が発生しなかった。	R5計画 88				88
			当初予算 88				88
			決算額				
	R6		R6計画 88				88
		当初予算 44				44	
		決算額					
R7		R7計画 88				88	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 440				440
			当初予算 308				308
			決算額 22				22

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 虐待防止ネットワーク連絡会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1		
					% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	12点	3点	12点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点		—点	
		25点		25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 高齢者虐待等における困難事例対応のため、今後も大分県高齢者虐待対応専門職チームへの派遣依頼は必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和5年度は派遣を依頼する困難事例は発生していないが、高齢者虐待等における困難事例対応のため、引き続き大分県高齢者虐待対応専門職チームへの派遣依頼は必要である。
---	--

事業番号	50004
枝番	2

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人福祉総務事業	細事業	権利擁護事業	実施計画事業	成年後見支援センター委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (148)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
目	1	後期基本計画	44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	56		

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
期間	R3 年度 ~ R5 年度
期間	年度 ~ 年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
成年後見支援センター委託料	10,779

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的></p> <p>高齢者や障がい者等の判断能力が不十分な者の利益の保護を図り、成年後見制度の利用促進ができる体制づくりのため、市と共に中核機関としての機能を担う成年後見支援センターの運営する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <p>成年後見支援センター業務を豊後大野市社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の利用を促進するための各種施策に取り組む。</p>	R3	豊後大野市成年後見支援センターを設置し、豊後大野市社会福祉協議会に委託した。主な活動は、相談業務34件、申立支援2件、市民後見人養成講座8回、運営協議会2回、担当者会議11回であった。
	R4	成年後見支援センター業務を豊後大野市社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の利用を促進するための取組を行った。主な取組は、相談46件、申立支援13件、運営協議会2回、受任調整10回であった。
	R5	成年後見支援センターの運営業務を豊後大野市社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の利用を促進するための取組を行った。主な取組は、相談41件、申立支援4件、受任調整3件であった。
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	4,339	743			3,596
当初予算	4,339	743			3,596
決算額	3,073	594			2,479
R4計画	4,339	743			3,596
当初予算	7,345	1,567			5,778
決算額	5,726	1,838			3,888
R5計画	4,339	743			3,596
当初予算	10,779	2,511			8,268
決算額	8,047	2,070			5,977
R6計画	4,339	743			3,596
当初予算	10,183	1,631			8,552
決算額					
R7計画	4,339	743			3,596
当初予算					
決算額					
計画額	21,695	3,715			17,980
当初予算	32,646	6,452			26,194
決算額	16,846	4,502			12,344

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C	1 市民後見人養成講座修了者	過去の実績から算出	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	人	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	11	1	10		
						% 達成率	220	20	200		
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D	1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
判断能力が不十分な認知症高齢者等が財産管理等の必要性がある場合、成年後見制度などを利用しながら住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、成年後見支援センターは重要である。引き続き、制度の周知や相談体制の充実に取り組んで行く。	成年後見支援センターを社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の利用を促進するための取組を行った。判断能力が不十分な認知症高齢者等が財産管理等の必要性がある場合、成年後見制度などを利用しながら住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、成年後見支援センターは重要であり、引き続き制度の周知や相談体制の充実に取り組む必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	枝番
50005	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係
-----	--------	----	----------

事業	老人福祉総務事業	細事業	老人福祉事務費	実施計画事業	老人福祉事務事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (148)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 地域福祉基金積立金 燃料費 修繕料 自動車損害保険料	当初予算額 728 100 94 20
会計	一般	政策	4 高齢者福祉の充実			
款	3	施策	②介護予防・地域包括ケアを充実する			
項	2	施策展開	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	56					

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<事業の目的> 地域福祉基金、公用車の管理を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・地域福祉基金利子積立 ・公用車維持管理	R3	地域福祉基金の定期預金利息648,093円を積み立てた。所管する公用車1台の維持管理として、車検等を適正に行った。
	R4	地域福祉基金の預金利息559,275円を積み立てた。所管する公用車1台の維持管理を適正に行った。
	R5	地域福祉基金の預金利息527,129円を積み立てた。所管する公用車1台の維持管理を適正に行った。
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	1,116			874	242
当初予算	1,116			874	242
決算額	813			648	165
R4計画	1,116			874	242
当初予算	1,015			839	176
決算額	670			559	111
R5計画	1,116			874	242
当初予算	966			728	238
決算額	719			527	192
R6計画	1,116			874	242
当初予算	866			686	180
決算額					
R7計画	1,116			874	242
当初予算					
決算額					
計画額	5,580			4,370	1,210
当初予算	3,963			3,127	836
決算額	2,202			1,734	468

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1-		<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
			<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
	2-		目標値									
			実績値									
D 成果指標	1-		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
			<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
	2-		<input type="checkbox"/> 個別計画				目標値					
			<input type="checkbox"/> 総合計画				実績値					
2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略	目標値										
	<input type="checkbox"/> 個別計画	実績値										

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

F 評価	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点	3点	9点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 豊後大野市地域福祉基金条例第4条に基づき運用益金の処理を行った。また、一般介護予防事業に使用している所管する公用車1台の維持管理を行った。今後も適正に事務事業を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 公用車1台の維持管理など、適正に事務事業を行えた。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業	在宅老人福祉事業	細事業	在宅老人福祉事業	実施計画事業	老人クラブ補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (152)		II 豊かな福祉社会の実現を目指す	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名	老人クラブ補助金	7,056
款	3	4 高齢者福祉の充実	期間 R3 年度 ~ R5 年度		
項	2	③生きがいつくりを推進する	期間 年度 ~ 年度		
目	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	57				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 健康づくり、学習活動、社会奉仕活動等を通じて、その知識や経験を活かして地域を豊かにする社会活動に取り組んでいる老人クラブの活動を支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・豊後大野市老人クラブ連合会への補助金交付 ・豊後大野市単位老人クラブへの補助金交付 ・老人クラブの加入促進のため、広報等に取組む。</p>	R3	老人クラブ連合会の地域助け合い事業及び健康づくり事業、体制強化事業並びに単位老人クラブ(81クラブ)に対し、経費の一部を助成し、老人クラブ会員相互の親睦と高齢者の福祉増進を図った。	R3計画 7,921	5,280			2,641	
			当初予算	7,921	5,280			2,641
			決算額	6,730	4,320			2,410
	R4	老人クラブ連合会の地域助け合い事業及び健康づくり事業、体制強化事業並びに単位老人クラブ(77クラブ)に対し、経費の一部を助成し、老人クラブ会員相互の親睦と高齢者の福祉増進を図った。	R4計画 7,921	5,280			2,641	
			当初予算	7,540	5,026			2,514
			決算額	6,813	4,454			2,359
	R5	老人クラブ連合会の地域助け合い事業及び健康づくり事業、体制強化事業並びに単位老人クラブ(76クラブ)に対し、経費の一部を助成し、老人クラブ会員相互の親睦と高齢者の福祉増進を図った。	R5計画 7,921	5,280			2,641	
			当初予算	7,056	4,704			2,352
			決算額	6,701	4,361			2,340
	R6		R6計画 7,921	5,280			2,641	
			当初予算	7,012	4,354			2,658
			決算額					
	R7		R7計画 7,921	5,280			2,641	
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 39,605	26,400			13,205	
			当初予算 29,529	19,364			10,165	
			決算額 20,244	13,135			7,109	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 老人クラブ数	老人クラブ数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	86	クラブ	目標値	86	86	86	86	86
						実績値	81	77	76		
						% 達成率	94.2	89.5	88.4		
2 市報等広報掲載回数	市報等広報掲載回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2	
					実績値	2	2	2			
					% 達成率	100	100	100			
D 成果指標	1 介護認定新規申請者の平均年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
						実績値	83.4	84.2	83.4		
						% 達成率	100.5	101.5	100.5		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画									

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			15点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
自身の健康保持、教養を高める学習活動、社会奉仕活動等を通じて、生きがいつくりを目指すことはもとより、地域の支え合い活動を担う老人クラブの活動は、ますます重要になっている。このため、今後も事業の継続が必要である。クラブ数、加入率ともに減少傾向にあるため、積極的に広報することにより、加入者の増加に努めたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
自身の健康保持、教養を高める学習活動、社会奉仕活動等を通じた生きがいつくりなど、地域の支え合い活動を担う老人クラブの活動は重要である。しかし、クラブ数・加入率ともに減少傾向にあり、加入者増に向けた取組が必要である。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	在宅高齢者住宅改造助成事業	実施計画事業	在宅高齢者住宅改造助成事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (144)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 在宅高齢者住宅改造助成事業補助金 通信運搬費	当初予算額 1,998 2
会計	一般	政策	4 高齢者福祉の充実			
款	3	施策	②介護予防・地域包括ケアを充実する			
項	2	施策展開	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2					
決算	57					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 高齢者の自立を支援し、介護者の負担軽減を図るために、居住する住宅を改造する必要があると認められる高齢者に対し、改造工事を行う場合に必要となる費用の一部を助成する。 <令和5年度の実績内容(計画)> ・申請書類の審査 ・補助金の交付決定 ・工事の進捗管理 ・対象者への補助金助成 ・県補助金の申請、請求、実績報告等、補助金交付要綱に基づき処理する。	R3	段差解消5件、便器取替1件、手すり取付1件の改造工事費用の一部を助成した。	R3計画	2,001	999		1,002
	当初予算	2,001	999		1,002		
	決算額	1,625	812		813		
	R4	段差解消5件の改造工事費用の一部を助成した。	R4計画	2,001	999		1,002
	当初予算	2,000	999		1,001		
	決算額	1,315	657		658		
	R5	段差解消1件、扉の取替1件の改造工事費用の一部を助成した。	R5計画	2,001	999		1,002
	当初予算	2,000	999		1,001		
	決算額	464	232		232		
	R6		R6計画	2,001	999		1,002
当初予算	2,000	999		1,001			
決算額							
R7		R7計画	2,001	999		1,002	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額	10,005	4,995		5,010
			当初予算	8,001	3,996		4,005
			決算額	3,404	1,701		1,703

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用物件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	8	件	目標値	5	5	5	5	5
					実績値	7	5	2		
					% 達成率	140	100	40		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	11点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点
			11点 / 25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 在宅高齢者の住宅設備を改造する経費を助成することにより、寝たきり防止、介護者の負担の軽減を図るため、今後も事業の継続が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 段差解消1件、扉の取替1件の改造工事の一部助成を行えた。今後も高齢者等が自宅において暮らしやすい生活ができるよう高齢者の自立を支援するため、介護者の負担の軽減を図るとともに、事業の周知を行う必要がある。
---	--

事業	在宅老人福祉事業	細事業	緊急通報装置設置事業	実施計画事業	緊急通報装置設置事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (144)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 緊急通報サービス利用事業委託料 手数料 通信運搬費	当初予算額 311 158 25
会計	一般	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち			
款	3	4 高齢者福祉の充実			
項	2	②介護予防・地域包括ケアを充実する			
目	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	57				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> ひとり暮らし高齢者等に対して緊急通報装置を通じた見守りサービスを提供することにより、急病・事故等の際における不安感の緩和を図り、緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・市報等で周知を行う。 ・委託事業者との契約及び支払事務等 ・利用者からの申請に基づき決定、廃止等</p>	R3	ひとり暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することにより、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応した。実利用者は109人、日常生活の相談は26件、緊急通報は4件であった。	R3計画 921 当初予算 921 決算額 469			896 896 320	25 25 149	
	R4	ひとり暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することにより、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応した。実利用99人、日常生活の相談25件、緊急通報7件であった。	R4計画 921 当初予算 527 決算額 298			896 495 290	25 32 8	
	R5	ひとり暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することにより、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病などの緊急時に迅速に対応した。実利用90人、日常生活の相談32件、緊急通報11件であった。	R5計画 921 当初予算 494 決算額 308			896 462 240	25 32 68	
	R6		R6計画 921 当初予算 353 決算額			896 345	25 8	
	R7		R7計画 921 当初予算 決算額			896	25	
	R3 ~ R7 合計			計画額 4,605 当初予算 2,295 決算額 1,075			4,480 2,198 850	125 97 225

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7			
C 活動指標	1 新規利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	8	人	目標値	15	15	15	15	15			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	15	10	16					
						% 達成率	100	66.7	106.7				
						目標値	110	110	110	110	110		
D 成果指標	2 実利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	111	人	実績値	109	99	90					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	99.1	90	81.8					
						目標値							
						% 達成率							

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	12点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
コールセンターによる24時間365日の体制で日常生活の相談から毎日の安否確認等も行っており、在宅生活を送るうえでの安心感に繋がっているため、今後も事業の継続が必要である。緊急時に駆けつけることのできる近隣者の協力支援も必要であることから、今後も事業内容の理解のために周知を行う。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引き続き、ひとり暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することで、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応する必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	在宅老人福祉事業(委託事業分)	実施計画事業	へき地サロン送迎事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (152)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	在宅老人福祉事業委託料	224
款	3	4 高齢者福祉の充実	期間 R3 年度 ~ R5 年度	通信運搬費	2
項	2	③生きがいつくりを推進する	期間 年度 ~ 年度		
目	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	57				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> へき地で開催されるサロンに参加するため移動する方法を支援することにより、要介護状態になることを予防し、地域社会において自立した生活を送ることができる。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・対象者への利用券の交付 ・事業者からの請求に基づく支払 ・タクシー事業者委託契約事務</p>	R3	へき地で開催されるサロンに参加するため、タクシーによる送迎を延べ利用者51名に行った。	R3計画 226			224	2
			当初予算 226			224	2
			決算額 119			100	19
	R4	へき地で開催されるサロンに参加するため、タクシーによる送迎を延べ利用者64名に行った。	R4計画 226			224	2
			当初予算 226			224	2
			決算額 156			156	
	R5	あいのりタクシーを使って地域拠点(土師公民館)まで参加者に来てもらう、土師振興協議会での取組に移行することで、安藤、中土師のみで実施していたへき地サロン送迎事業を廃止した。	R5計画 226			224	2
			当初予算 226			224	2
			決算額				
	R6		R6計画 226			224	2
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 226			224	2
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,130			1,120	10
			当初予算 678			672	6
			決算額 275			256	19

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 実施サロン数	実施サロン数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	箇所	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2			
						% 達成率	100	100			
2 延べ利用者数	延べ利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	47	人	目標値	60	60	60	60	60	
					実績値	51	64				
					% 達成率	85	106.7				
D 成果指標	1 サロンの開催回数	サロンの開催回数(2箇所合計)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	回	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	13	17			
						% 達成率	65	85			
						% 達成率					
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点	3点	9点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	1点		1点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1点		1点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1点		1点	
			／25点		／25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 事業実施地域において、地域振興協議会と協議・検討を行った結果、あいのりタクシーを利用したサロン送迎に移行することができた。このため、事業を廃止した。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業実施地域において、地域振興協議会と協議・検討を行い、あいのりタクシーを利用したサロン送迎に移行することができたため、事業は廃止した。
---	--

事業	在宅老人福祉事業	細事業	配食サービス事業	実施計画事業	配食サービス事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (144)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 配食サービス委託料 印刷製本費 通信運搬費	当初予算額 29,000 87 80
会計	一般	施策	4 高齢者福祉の充実			
款	3	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する			
項	2	後期基本計画	44 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2	決算	57			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 食事の確保が困難な高齢者に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行うことで地域での生活を支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・配食サービス事業申請の受付・審査・決定・変更・廃止等 ・配食サービス事業所からの請求に基づく支払 ・配食サービス事業所指定事務 ・配食サービス事業所委託契約事務</p>	R3	配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者(実利用者239名)に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。	R3計画 29,168	29,168	27,500	1,668	
	当初予算	29,168	27,500	1,668			
	決算額	27,858	25,100	2,758			
	R4	配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者(実利用者240名)に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。	R4計画 29,168	29,168	27,500	1,668	
	当初予算	29,168	27,500	1,668			
	決算額	24,532	22,900	1,632			
	R5	配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者(実利用者291名)に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。	R5計画 29,168	29,167	27,500	1,667	
	当初予算	29,167	27,500	1,667			
	決算額	24,015	22,500	1,515			
	R6		R6計画 29,168	27,250	25,700	1,550	
	当初予算	27,250	25,700	1,550			
	決算額						
	R7		R7計画 29,168	29,168	27,500	1,668	
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 145,840	114,753	137,500	8,340	
			当初予算 114,753	76,405	108,200	6,553	
			決算額 76,405		70,500	5,905	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 実利用者数	実利用者数	390	人	目標値	400	400	400	400	400
					実績値	239	240	291		
	2 利用食数	利用食数	66,807	食	目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
					実績値	67,672	59,806	56,269		
				%	達成率	59.8	60	72.8		
				%	達成率	96.7	85.4	80.4		
D 成果指標	1 -				目標値					
					実績値					
					% 達成率					
	2 -					目標値				
						実績値				
						% 達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		11点	11点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 自分で料理をすることが困難で、かつ、買い物も不自由な高齢者がいる。在宅で自立した生活を支援するため、今後も事業の継続が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者に対してバランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。在宅で自立した生活を支援するため、今後も事業の継続が必要である。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	高齢者世帯リフォーム支援事業	実施計画事業	高齢者世帯リフォーム支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (144)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	4 高齢者福祉の充実				
款	3	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する				
項	2	後期基本計画	44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	2	決算	57				
		個別計画名		期間	年度 ~ 年度	高齢者世帯リフォーム支援事業補助金	600

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 高齢者の暮らしの安全確保のためバリアフリー改修工事等を行った住宅の所有者に対し、規定の補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・市報、市HP及び市内居宅支援事業所への周知 ・申請受付・審査・決定通知等、補助金交付要綱に基づき処理する。 ・県補助金の申請、請求、実績報告等、補助金交付要綱に基づき処理する。</p>	R3	高齢者のために行う浴室改修工事(1件)に対し、補助金を交付した。	R3計画	600	300		300	
				当初予算	600	300		300
				決算額	200	100		100
	R4	高齢者のために行う浴室改修工事(2件)に対し、補助金を交付した。	R4計画	600	300		300	
				当初予算	600	300		300
				決算額	600	300		300
	R5	高齢者のために行う浴室改修工事(1件)に対し、補助金を交付した。	R5計画	600	300		300	
				当初予算	600	300		300
				決算額	300	150		150
	R6		R6計画	600	300		300	
				当初予算	600	300		300
				決算額				
	R7		R7計画	600	300		300	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	3,000	1,500		1,500	
			当初予算	2,400	1,200		1,200	
			決算額	1,100	550		550	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7						
C 活動指標	1 利用物件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1	件	目標値	2	2	2	2	2						
					実績値	1	2	1								
						%	達成率	50	100	50						
	2 市報等広報回数	市報等広報回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2					
実績値						2	1	1								
						%	達成率	100	50	50						
D 成果指標						1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値						
	実績値															
	%	達成率														
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値										
						実績値										
						%	達成率									

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	11点	3点	11点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
			／25点		／25点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>高齢者のいる世帯に対しバリアフリー改修工事の費用を補助することにより、暮らしの安全確保や住環境の向上を図るため、今後も事業の継続が必要である。今後も広報及びパンフレットを窓口を設置することにより、利用者の増加に努めたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>浴室改修工事(1件)に対し補助金を交付した。高齢者のいる世帯にバリアフリー改修工事の費用を補助することにより、暮らしの安全確保や住環境の向上を図っており、今後も事業の継続が必要である。併せて、今後も周知を行い利用者の増加に努める必要がある。</p>
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	認知症予防推進対策事業	実施計画事業	認知症高齢者個人賠償責任保険事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (144)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 認知症高齢者個人賠償責任保険料	当初予算額 232
会計	一般	施策 4 高齢者福祉の充実			
款	3	施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する			
項	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2		期間	年度	年度
決算	57				

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 認知症高齢者と介護家族を市が加入する損害賠償責任保険の保険対象者とする事で、安心して在宅生活を送れるようにすること。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 随時、保険対象者の受付を行う。</p>	R3	令和4年3月末の登録者は78名で、前年度より6名の増加。年度内の異動内訳は新規加入12名、廃止6名である。	R3計画	232			230	2
			当初予算	232			230	2
			決算額	142			141	1
	R4	令和5年3月末時点の加入者は62名である。令和4年度中の異動は新規加入6名、廃止22名であった。	R4計画	232			230	2
			当初予算	232			230	2
			決算額	174			50	124
	R5	令和6年3月末の対象者は55名である。令和5年度の新規加入は9名、廃止は16名であった。	R5計画	232			230	2
			当初予算	232			230	2
			決算額	138			130	8
	R6		R6計画	177			230	-53
			当初予算	177				177
			決算額					
	R7		R7計画	232			230	2
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	1,105		1,150	-45	
			当初予算	873		690	183	
			決算額	454		321	133	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 保険対象者の数 豊後大野市老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画での保険対象者の目標設定をしている。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	74	人	目標値	70	75	80	85	90
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	78	62	55		
		% 達成率			111.4	82.7	68.8			
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	10点	3点	10点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		2点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
事業開始から5年が経過したが、事故等は起きておらず、保険の請求も0件である。令和4年度から連続して減少した。認知症の他の事業の登録は増えているが、保険の加入は断るケースがあり、啓発や周知方法の見直しが必要である。本事業は、第9期介護保険事業計画の認知症施策における基本目標である「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」を実現するために重要な事業であると考え、今後も他の認知症施策と併せて啓発を行ない、加入者の増大に努めたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
認知症高齢者本人を市が加入する損害賠償責任保険の保険対象者とする事で、安心して在宅生活を送れるようにすることが目的であり、今後も事業の継続が必要である。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	認知症予防推進対策事業	実施計画事業	認知症カフェ運営事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No. (147)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 認知症カフェ運営事業委託料	当初予算額 2,230
会計	一般	施策 4 高齢者福祉の充実			
款	3	施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する			
項	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2				
決算	57				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> WHOによると、認知症予防（認知症の進行を遅らせること）には他者との交流が有効とされ、令和元年6月に閣議決定された「認知症施策推進大綱」においても、認知症カフェの普及が明記されています。 本市においても認知症の予防や認知症の方本人・家族の相談窓口とするため、認知症カフェを設置します。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 認知症カフェを設置し、毎週1回の開設を行います。</p>	R3	コロナ禍の影響で、長らく開催を見合わせており、再開後も感染症対策として参加者の調整を行い、毎週水曜日の週1回の開催、参加者は2班に分け、隔週で参加と制限を設けて実施し、年間で参加者798人とスタッフ779人の参加であった。	R3計画 2,230			2,220	10
	当初予算	2,230			2,220	10	
	決算額	1,929			1,900	29	
	R4	コロナ禍の影響で、感染症対策を新たに行った。毎週1回水曜日に開催し、参加者を2班に分け、隔週で参加するようにして参加人数の調整を行った。年間で48回実施し、延べ参加者1258人とスタッフ761人の参加であった。	R4計画 2,230			2,220	10
	当初予算	2,230			2,230		
	決算額	2,000			2,000		
	R5	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、引き続き感染症対策を行いながら、毎週1回水曜日に開催した。年間で48回実施し、延べ参加者1,122人とスタッフ1,111人の参加であった。	R5計画 2,230			2,220	10
	当初予算	2,230			2,220	10	
	決算額	2,230			2,230		
	R6		R6計画 2,230			2,220	10
当初予算	2,230				2,230		
決算額							
R7		R7計画 2,230			2,220	10	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 11,150			11,100	50
			当初予算 8,920			6,670	2,250
			決算額 6,159			4,130	2,029

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 認知症カフェの参加者延べ人数	市が委託している「カフェひなたぼっこ」の延べ利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	771	人	目標値	800	800	800	800	800
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	798	1,258	1,122		
		% 達成率			99.8	157.3	140.3			
D 成果指標 1 認知症カフェのスタッフ延べ人数	認知症カフェの参加者が増加することに伴い、ボランティアスタッフの増加も見込まれます。社会の中で役割を持つことが認知症予防に資するとされるため、「カフェひなたぼっこ」におけるスタッフ延べ人数を評価指標とした。	<input type="checkbox"/> 総合計画	880	人	目標値	900	900	900	900	900
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	779	761	1,111		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	86.6	84.6	123.4		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
本事業は、認知症の進行を遅らせ、住み慣れた自宅で安心して暮らすために認知症の方本人・家族の居場所相談窓口として重要な役割を持っている。感染症対策は継続して行いながら、認知症の方本人・家族が安心して生活できるような支援を継続している。目標数は達成しているが、前年度より利用者数が減っており、利用者、支援者ともに高齢化が進んでいることが課題となっている。利用者の新規獲得、支援者の確保が重要で、このような活動を市内に広げていくことも必要と考える。今後もカフェの開催が安定して継続できるように、委託事業者の指導及び支援を行っていく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
住み慣れた地域で安心して暮らすために認知症の方本人・家族の居場所・相談窓口として重要な役割を持つ事業であり、今後もカフェの開催が安定して継続できるように、委託事業者の指導及び支援を行っていく必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	地域包括ケアシステム事業	実施計画事業	コミュニティカフェ運営事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No. (147)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 消耗品費 講師謝礼金 実費弁償	当初予算額 230 70 21
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実			
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する			
目	2	後期基本計画	44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	57					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 住み慣れた地域で、高齢者の方がここから健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なところから通う地域拠点とする居場所(コミュニティカフェ)の充実を推進します。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 現在、各町1か所、計7か所のコミュニティカフェが週1回以上、介護予防等に取り組める場所を、継続して運営できるように支援を行う。</p>	R3	コロナ禍で7か所のカフェが休止と感染症対策を施しての実施を断続的に行った。再開時に安心して開催できるように感染症対策の助言や指導などの支援を行った。	R3計画 321			321	
	当初予算	321			321		
	決算額	65			31	34	
	R4	コロナ禍で7か所のカフェが、休止と感染症対策を施しての実施を断続的に行った。再開時に安心して開催できるように、感染症対策の助言や指導などの支援を行った。延べ参加者は4654人であった。	R4計画 321			321	
	当初予算	321			321		
	決算額	87			41	46	
	R5	新型コロナウイルス感染症が5類移行を受けて、週1回の開催に戻したことで、活動が活発化した。しかし、以前から通っていた参加者が減るなど、この数年の自粛の影響が残っている。参加者は延べ7,177人であった。	R5計画 321			321	
	当初予算	321			321		
	決算額	137			127	10	
	R6		R6計画 338			321	17
当初予算	338				338		
決算額							
R7		R7計画 321			321		
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 1,622			1,605	17
			当初予算 1,301			963	338
			決算額 289			199	90

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 コミュニティカフェの開設数 各町に1か所開設しているコミュニティカフェを継続運営する。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	箇所	目標値	7	7	7	7	7
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	7	7		
		%			達成率	100	100	100		
2 コミュニティカフェ参加者延べ人数	7か所のコミュニティカフェの延べ参加者の実数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4,910	人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5,513	4,654	7,177		
		%			達成率	110.3	93.1	143.5		
D 成果指標	1 介護認定新規申請者の平均年齢 介護認定新規申請者の平均年齢	<input type="checkbox"/> 総合計画	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	83.4	84.2	83.4		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100.5	101.5	100.5	
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		16点	16点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>住み慣れた地域で、高齢者の方が心と体の健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なところから通う地域拠点とする居場所(コミュニティカフェ)を各町1か所整備を行い、継続的に開催できるように支援を行ってきた。コロナを経て、活動内容に変化が見られたコミュニティカフェも見受けられるが、元気で通い続けるための取組で体操メニューに加えるなどの工夫も見られているが、運営スタッフが高齢化していることが懸念材料である。今後も継続して開催できるように支援をするとともに、コミュニティカフェが介護予防の地域拠点として、活動を小地域に広げていくことも視野に入れて支援を行って行く。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>住み慣れた地域で高齢者がここから健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なところから通う居場所づくりとしてコミュニティカフェの充実を推進している。高齢者が安心して地域で済み続けるために必要な事業であり、活動を小地域に広げていくことも視野に入れながら、継続して支援を行う必要がある。</p>
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	地域包括ケアシステム事業	実施計画事業	サロン等介護予防派遣事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (150)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 サロン等介護予防派遣事業委託料 114
会計	一般	施策 4 高齢者福祉の充実		
款	3	施策展開 ③生きがいづくりを推進する		
項	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
目	2			
決算	57			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 社会福祉協議会がいきいきサロン事業に基づいた活動を実施する団体に対し、社会福祉協議会にボランティア登録している講師等を派遣する際の講師派遣委託を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 登録講師派遣に係る委託料の契約及び支払い。</p>	R3	各地区のサロンにボランティア登録講師を24回派遣した。	R3計画 114			114	
			当初予算 114			114	
			決算額 29			29	
	R4	各地区のサロンにボランティア登録講師を38回派遣した。	R4計画 114			114	
			当初予算 114			114	
			決算額 46			46	
	R5	各地区のサロンにボランティア登録講師を49回派遣した。	R5計画 114			114	
			当初予算 114			114	
			決算額 59		43	16	
	R6		R6計画 114			114	
			当初予算 114			114	
			決算額				
	R7		R7計画 114			114	
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 570			570	
			当初予算 456			456	
			決算額 134		43	29	62

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 講師派遣回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	26	回	目標値	50	50	50	50	50
					実績値	24	38	49		
					% 達成率	48	76	98		
D 成果指標	1 介護認定新規申請者の平均年齢	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	83.1	83	目標値	83	83	83	83	83
					実績値	83.4	84.2	83.4		
					% 達成率	100.5	101.5	100.5		
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		3点	3点
		3点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>ボランティア登録している講師(保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、運動トレーナー、レクリエーションインストラクター等)をサロンに派遣し、介護予防に関する知識の普及啓発を行っている。地域において自主的な介護予防に向けた取組みが実施されるため、今後も事業の継続が必要である。リーダーの高齢化等により存続が難しくなっているサロンも少なくないため、今後も社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化に努めたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>地域において自主的な介護予防の取組が実施されるために今後も事業の継続が必要である。また、社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化に努める必要がある。</p>
---	---

事業	在宅老人福祉事業	細事業	地域包括ケアシステム事業	実施計画事業	サロン事業補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (150)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 サロン事業補助金 当初予算額 1,600
会計	一般	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		
款	3	4 高齢者福祉の充実		
項	2	③生きがいつくりを推進する		
目	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	57			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 要介護及び要支援状態になるおそれのある高齢者が居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、自主的に介護予防活動等を行っている団体に、予算の範囲内において補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している団体に、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。</p>	R3	豊後大野市自主的介護予防活動等補助金交付要綱に基づき、社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している141団体に、補助金を交付した。	R3計画 1,320			1,320	
			当初予算 1,320			1,320	
			決算額 696			696	
	R4	豊後大野市自主的介護予防活動等補助金交付要綱に基づき、社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している130団体に、補助金を交付した。	R4計画 1,320			1,320	
			当初予算 1,600			1,600	
			決算額 830			460	370
	R5	豊後大野市自主的介護予防活動等補助金交付要綱に基づき、社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している119団体に、補助金を交付した。	R5計画 1,320			1,320	
			当初予算 1,600			1,600	
			決算額 943			870	73
	R6		R6計画 1,320			1,320	
		当初予算 1,350			1,350		
		決算額					
R7		R7計画 1,320			1,320		
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 6,600			6,600	
			当初予算 5,870			5,870	
			決算額 2,469			2,026	443

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 サロン数	サロン数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	147	箇所	目標値	145	145	145	145	145
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	141	130	119		
		% 達成率			97.2	89.7	82.1			
D 成果指標 1 介護認定新規申請者の平均年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	<input type="checkbox"/> 総合計画	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	83.4	84.2	83.4		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100.5	101.5	100.5		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	14点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			14点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 地域の高齢者が身近なところで気軽に集まることができるサロンは、ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者が定期的な交流を通じて生きがいや楽しみを持つことができるため、今後も事業の継続が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している119団体に、補助金を交付した。ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者が、定期的な交流を通じて生きがいや楽しみを持つことができるために事業の継続が必要である。なお、今後も社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化が必要となる。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	在宅老人福祉事業	細事業	居宅介護用品券交付事業	実施計画事業	居宅介護用品券交付事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (148)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額	
会計	一般	政策		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	居宅介護用品券交付事業費	2,100
款	3	施策		4 高齢者福祉の充実	印刷製本費	46
項	2	施策展開		②介護予防・地域包括ケアを充実する	消耗品費	27
目	2	後期基本計画		44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	通信運搬費	10
決算	57					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 居宅で家族等から介護を受ける高齢者等の介護用品購入に係る費用に対し、月あたり7,000円の給付券を交付することにより、家族等の経済的負担を軽減するとともに、住み慣れた地域で生活することを支援する。	R3	介護用品購入に係る費用に対し、ひと月5,000円の給付券を実利用者30名に交付した。	R3計画 1,787			1,700	87
			当初予算 1,787			1,700	87
			決算額 1,031			900	131
	R4	介護用品購入に係る費用に対し、1月当たり7,000円の給付券を実利用者34名に交付した。	R4計画 1,787			1,700	87
			当初予算 2,198			2,100	98
			決算額 1,709			1,590	119
	R5	介護用品購入に係る費用に対し、1月当たり7,000円の給付券を実利用者34名に交付した。	R5計画 1,787			1,700	87
			当初予算 2,183			2,100	83
			決算額 1,655			1,560	95
	R6		R6計画 1,787			1,700	87
			当初予算 2,052			1,980	72
			決算額				
	R7		R7計画 1,787			1,700	87
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 8,935			8,500	435
			当初予算 8,220			7,880	340
			決算額 4,395			4,050	345

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 実利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	217	人	目標値	50	50	50	50	50
					実績値	30	34	34		
					達成率	60	68	68		
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		11点	11点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 居宅において要介護高齢者の介護を行う家族介護者の経済的負担の軽減と要介護高齢者が住み慣れた地域で生活することを支援するため、今後も事業の継続が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 居宅で要介護高齢者の介護を行う家族介護者の経済的負担を軽減し、要介護高齢者が住み慣れた地域で生活することを支援するため、今後も事業の継続が必要と考える。
---	---

事業	老人施設措置事業	細事業	養護老人ホーム措置事業	実施計画事業	老人ホーム入所措置事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (148)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 老人ホーム入所措置費 老人ホーム入所判定委員会委員報酬 消耗品費 通信運搬費	当初予算額 94,845 56 20 11
会計	一般	施策 4 高齢者福祉の充実			
款	3	施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する			
項	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	3				
決算	58				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 居宅において養護を受けることが困難な高齢者を公の責任において養護し、高齢者の生活の安定を確保する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 老人ホーム入所判定審査票を基に入所判定会議で措置の適否を判断しますが、事前に本人、家族、ケアマネ、民生委員及び関係機関等でケース会議を開催し、他に利用できる支援や施設はないか検討する。</p>	R3	老人福祉法第11条に基づき、要保護老人を養護老人ホームに措置した。令和4年3月末現在で常楽荘に34人、三国寮に6名を措置している。	R3計画 103,689			16,340	87,349
			当初予算 103,785			16,340	87,445
			決算額 78,958			15,524	63,434
	R4	老人福祉法第11条に基づき、要保護老人を養護老人ホームに措置した。令和5年3月末現在で常楽荘に32人、三国寮に6名を措置している。	R4計画 103,689			16,340	87,349
			当初予算 95,330			15,294	80,036
			決算額 75,482			16,525	58,957
	R5	老人福祉法第11条に基づき、要保護老人を養護老人ホームに措置した。令和6年3月末現在で常楽荘に25人、三国寮に5名を措置している。	R5計画 103,689			16,340	87,349
			当初予算 94,932			16,419	78,513
			決算額 66,692			14,681	52,011
	R6		R6計画 103,689			16,340	87,349
		当初予算 85,244			15,543	69,701	
		決算額					
		R7計画 103,689			16,340	87,349	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 518,445			81,700	436,745
			当初予算 379,291			63,596	315,695
			決算額 221,132			46,730	174,402

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 利用施設数	市内施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2	施設	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2	2		
						% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	3点	12点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 環境上の理由及び経済的な理由により家庭で生活を続けていくことが困難な高齢者等に対して、今後も必要に応じて養護老人ホームへの入所措置を図っていく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 環境上の理由や経済的な理由により身寄りがなく自力で暮らせないなど、家庭で生活を続けていくことが困難な高齢者等に対して、必要に応じて養護老人ホームへの入所措置を図っていき、生活の安定を確保するために事業を継続する必要がある。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	老人施設管理事業	細事業	高齢者福祉施設管理事業	実施計画事業	犬飼高齢者生活福祉センター指定管理委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-----------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (148)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度	令和5年度 主な歳出名称 清川高齢者生活福祉センター等指定管理委託料	当初予算額 8,200
会計	一般	施策 4 高齢者福祉の充実			
款	3	施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する			
項	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	5				
決算	60				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 劣悪な住宅環境や高齢による身体虚弱等のため自立した生活には不安があるが、身の周りのことは自分でできる高齢者等に住居を提供する。 令和4年度から令和6年度までの3年間、豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定している。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・指定管理先の更新等 ・指定管理料の年度協定締結 ・指定管理料の支払 ・入退居及び負担金徴収等に関する事務</p>	R3	犬飼高齢者生活福祉センターふれあい荘等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和4年3月末現在で入居者は6人であった。	R3計画 8,200			28	8,172
	当初予算	8,200			42	8,158	
	決算額	8,200			48	8,152	
	R4	犬飼高齢者生活福祉センターふれあい荘等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和5年3月末現在で入居者は5人であった。	R4計画 8,200			28	8,172
	当初予算	8,200			96	8,104	
	決算額	8,200			87	8,113	
	R5	犬飼高齢者生活福祉センターふれあい荘等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和6年3月末現在で入居者は3人であった。	R5計画 8,200			28	8,172
	当初予算	8,200			168	8,032	
	決算額	8,200			94	8,106	
	R6		R6計画 8,200			28	8,172
当初予算	8,200				8,200		
決算額							
R7		R7計画 8,200			28	8,172	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 41,000			140	40,860
			当初予算 32,800			306	32,494
			決算額 24,600			229	24,371

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	9点	9点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、今後も居宅を提供することにより、福祉の増進を図る。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 高齢者に対して居住機能を提供することにより、高齢者が安心して生活を送れるように支援しており、高齢者の福祉の増進を図るために今後も継続していく必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	老人施設管理事業	細事業	高齢者福祉施設管理事業	実施計画事業	朝地憩いの村指定管理委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (148)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 清川高齢者生活福祉センター等指定管理委託料	当初予算額 6,400
会計	一般	施策 4 高齢者福祉の充実			
款	3	施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する			
項	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	5				
決算	60				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 劣悪な住宅環境や高齢による身体虚弱等のため自立した生活には不安があるが、身の周りのことは自分でできる高齢者等に住居を提供する。 令和4年度から令和6年度までの3年間、豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定している。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・指定管理先の更新等 ・指定管理料の年度協定締結 ・指定管理料の支払 ・入退居及び負担金徴収等に関する事務</p>	R3	朝地憩いの村居住部門等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和4年3月末現在入居者は4人であった。	R3計画 6,400			70	6,330
			当初予算 6,400			70	6,330
			決算額 6,400				6,400
	R4	朝地憩いの村居住部門等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和5年3月末現在入居者は6人であった。	R4計画 6,400			70	6,330
			当初予算 6,400				6,400
			決算額 6,400				6,400
	R5	朝地憩いの村居住部門等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和6年3月末現在入居者は6人であった。	R5計画 6,400			70	6,330
			当初予算 6,400				6,400
			決算額 6,400			81	6,319
	R6		R6計画 6,400			70	6,330
		当初予算 6,400				6,400	
		決算額					
R7		R7計画 6,400			70	6,330	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 32,000			350	31,650
			当初予算 25,600			70	25,530
			決算額 19,200			81	19,119

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	9点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	9点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、今後も居宅を提供することにより、福祉の増進を図る。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
高齢者に対して居住機能を提供することにより、高齢者が安心して生活を送れるように支援しており、高齢者の福祉の増進を図るために今後も継続していく必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	老人施設管理事業	細事業	高齢者福祉施設管理事業	実施計画事業	生活支援ハウス事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (148)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ~ R5 年度 令和5年度 主な歳出名称 清川高齢者生活福祉センター改修工事 8,272 大飼高齢者生活福祉センター改修工事請負費 2,750	当初予算額
会計	一般	施策 4 高齢者福祉の充実		
款	3	施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する		
項	2	後期基本計画 44 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
目	5			
決算	60			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 高齢者生活福祉センター(3箇所)の老朽化に伴う施設設備の更新工事等を行い、入居者の安全及び施設の長寿命化を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 施設の長寿命化のため計画的な施設設備の更新工事を行う。</p>	R3	生活支援ハウス改修工事、朝地憩いの村改修工事、大飼高齢者生活福祉センター改修工事、清川みつば苑ボイラー取替え工事、清川高齢者生活福祉センター改修工事を行った。	R3計画 17,543				17,543
			当初予算 17,543				17,543
			決算額 16,913				16,913
	R4	朝地憩いの村改修工事12,177千円、大飼高齢者生活福祉センター改修工事1,439千円、清川高齢者生活福祉センター改修工事1,298千円、デイサービスセンター悠々改修工事8,415千円を行った。	R4計画 17,543				17,543
			当初予算 34,620	13,000			21,620
			決算額 23,329			8,000	15,329
	R5	朝地憩いの村改修工事363千円、大飼高齢者生活福祉センター改修工事3,267千円、清川高齢者生活福祉センター改修工事7,165千円、デイサービスセンター悠々改修工事935千円を行った。	R5計画 17,543				17,543
			当初予算 11,022				11,022
			決算額 11,730				11,730
	R6		R6計画 17,543				17,543
		当初予算 19,289			10,000	9,289	
		決算額					
R7		R7計画 17,543				17,543	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 87,715				87,715
			当初予算 82,474	13,000		10,000	59,474
			決算額 51,972			8,000	43,972

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	9点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 高齢者生活福祉センターの老朽化が進んでおり、修繕や機器の更新が必要となっている。入居者の安全及び施設の長寿命化を図るため、今後も計画的な修繕等を行っていく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 老朽化が進んでおり、修繕や機器の更新が必要となっている。入居者の安全及び施設の長寿命化を図るため、今後も計画的に修繕等を行う必要がある。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	児童福祉総務事業	細事業	児童福祉事務費	実施計画事業	子育て支援従事者スキルアップ事業委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (134)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度 主な歳出名称 子育て支援従事者スキルアップ事業委託料	当初予算額 400
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	1					
決算	62					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 子どもを安心して育てることができる体制を整備するためには、子育て支援従事者のサービスの質の向上が求められている。そこで、資質向上研修を実施する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 子育て支援従事者の質の向上を図ることを目的に開催する研修会等を実施する事業者に委託する。</p>	R3	子育て支援従事者のスキルアップを図るための研修を実施した。《放課後児童支援員資質向上研修(4回開催、98人参加)、保育の質の向上研修(1回開催、83人参加)》	R3計画 400	200			200
			当初予算 400	200			200
			決算額 375	187			188
	R4	子育て支援従事者のスキルアップを図るための研修を実施した。《放課後児童支援員資質向上研修(4回開催、88人参加)、保育の質の向上研修(2回開催、163人参加)》	R4計画 400	200			200
			当初予算 400	200			200
			決算額 395	197			198
	R5	子育て支援従事者のスキルアップを図るための研修を実施した。《放課後児童相談員資質向上研修(4回開催、98人参加)》《保育の質の向上研修(1回開催、127人参加)》	R5計画 400	200			200
			当初予算 400	200			200
			決算額 391	195			196
	R6		R6計画 400	200			200
		当初予算 400	200			200	
		決算額					
	R7		R7計画 400	200			200
		当初予算					
		決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額 2,000	1,000			1,000
			当初予算 1,600	800			800
			決算額 1,161	579			582

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修開催 研修を開催した回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	2	2	2	2	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	6	5		
		% 達成率			150	300	250			
D 成果指標	1 参加人数 研修会への参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	215	人	目標値	200	200	200	200	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	181	251	225		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	90.5	125.5	112.5		
2 研修内容の理解度	「理解できた」「だいたい理解できた」と回答した人数/参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	71.6	%	目標値	70	70	70	70	70
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	75.5	75.6	75.6		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	107.9	108	108		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	19点	21点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和5年度も全ての目標値を上回る成果を挙げることができている。引き続き子育て支援関係者のスキルアップを図るため、研修内容の検討及び理解度向上の取組が必要と考える。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 放課後児童クラブ連絡協議会や市教育保育協議会に委託して、成果をあげることができている。
--	---

事業	児童福祉総務事業	細事業	児童福祉事務費	実施計画事業	保育所等業務効率化推進事業補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (136)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度 主な歳出名称 保育所等業務効率化推進事業補助金	当初予算額
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	62					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 多様な保育需要に対応するために、認定こども園等や病児保育施設においてICT化を推進し、子どもを安心して育てることができる環境整備を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p>	R3	保育所等においてICTを活用した業務支援システムを導入した。《保育所等(1か所)、病児保育施設(3か所)》	R3計画 3,090	1,960			1,130
			当初予算 2,430	1,520			910
			決算額 1,260	840			420
	R4	保育所等においてICTを活用した業務支援システムを導入した。《保育所等(1か所)》	R4計画 3,000	2,000			1,000
			当初予算 3,000	2,000			1,000
			決算額 750	500			250
	R5	要望がなかった。	R5計画 3,000	2,000			1,000
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 1,570	1,140			430
			当初予算 1,570	1,140			430
			決算額				
	R7		R7計画 3,000	2,000			1,000
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 13,660	9,100			4,560
			当初予算 7,000	4,660			2,340
			決算額 2,010	1,340			670

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 事業対象となる施設	補助金対象施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1	か所	目標値	5	5			
						実績値	4	1			
						% 達成率	80	20			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	1 補助金対象施設件数	補助金件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1	か所	目標値	5	5			
						実績値	4	1			
						% 達成率	80	20			
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和5年度はICT化に取り組む施設がなかったが、引き続き業務効率化を図るための取組を推進する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 保育所等のICT化導入を支援し、保護者及び事務の軽減を図るために工夫を凝らしたシステム導入を積極的な支援を行っていく必要がある。
---	--

事業	児童福祉総務事業	細事業	児童福祉事務費	実施計画事業	認可外保育施設衛生・安全対策事業補助事業	終了年度	R7
----	----------	-----	---------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (136)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度 主な歳出名称 認可外保育施設衛生・安全対策事業補助金	当初予算額 20
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	1					
決算	62					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的> 多様な保育需要に対応するために認可外保育施設において、子どもを安心して育てることができる環境整備を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 認可外保育施設を利用する未就学児に対する健康診断を実施するために必要となる経費を補助する。</p>	R3	認可外保育施設を利用する未就学児に健康診断を実施するために必要となる経費に対し補助した。《実施施設1か所》	R3計画 当初予算 決算額	20 20 20	10 10 10			10 10 10	
	R4	認可外保育施設を利用する未就学児に健康診断を実施するために必要となる経費に対し補助した。《実施施設1か所》	R4計画 当初予算 決算額	20 20 20	10 12 10			10 8 10	
	R5	認可外保育施設を利用する未就学児に健康診断を実施するために必要となる経費に対し補助した。《実施施設1か所》	R5計画 当初予算 決算額	20 20 20	10 10 10			10 10 10	
	R6		R6計画 当初予算 決算額	20 20 20	10 10 10			10 10 10	
	R7		R7計画 当初予算 決算額	20 20 20	10 10 10			10 10 10	
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	100 80 60	50 42 30			50 38 30

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 事業対象となる施設	補助金対象施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		か所	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	1		
		% 達成率	100		100	100				
D 成果指標 1 補助件数	補助金件数	<input type="checkbox"/> 総合計画		か所	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	1	1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	22点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	4点	
		21点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 認可外保育施設を利用する未就学児に対して健康診断を実施することで、安心して子どもを育てることのできる環境を整備することができた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 認可外保育施設を利用する未就学児の健康診断を実施し、環境整備を図っている。
---	---

事業	児童福祉総務事業	細事業	子ども・子育て支援総務事業	実施計画事業	子ども・子育て支援総務事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 子ども・子育て会議委員報酬 費用弁償 子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料	当初予算額 180 33 3,643
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	1					
決算	62					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 子ども・子育て会議を開催し、支援事業の進捗状況を確認するとともに、子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、子育てサービスにつながる事業の充実を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 子ども・子育て会議の開催及び第4次地域子ども・子育て支援事業計画策定に係る実態調査の実施</p>	R3	子ども・子育て会議を2回開催し、教育・保育の量や提供体制等について検証・協議した。	R3計画 247				247	
				当初予算 247				247
				決算額 145				145
	R4	子ども・子育て会議を2回開催し、教育・保育の量や提供体制等について検証・協議し、中間見直を行った。	R4計画 250				250	
				当初予算 408				408
				決算額 617				617
	R5	子ども・子育て会議を2回開催し、教育・保育の量や提供体制等について検証・協議した。	R5計画 2,400				2,400	
				当初予算 3,856				3,856
				決算額 2,214				2,214
	R6		R6計画 2,488				2,488	
				当初予算 2,488				2,488
				決算額				
	R7		R7計画 2,500				2,500	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 7,885				7,885	
			当初予算 6,999				6,999	
			決算額 2,976				2,976	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地域子ども・子育て支援事業数値目標の検証 地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」を設定しており、事業が円滑に実施されているか数値目標の検証が必要である。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	30	事業	目標値	30	30	30	30	30
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	30	30	30		
		%			達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 子ども子育て会議 子ども子育て会議の開催数	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	回	目標値	2	3	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2	2	2		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	66.7	100	
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	21点	4点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		4点	
			／25点		／25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
「子ども・子育て会議」は、子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づき設置している機関で、教育・保育の量や提供体制等、教育・保育施設の利用定員等に関して意見を聴き、子ども・子育て支援事業計画(キラキラこどもプラン)に反映させている。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
今年度は計画策定の年となっており、子ども子育て会議を開催し、アンケート結果を子ども子育て支援事業計画に反映して、計画を策定していく必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	児童福祉総務事業	細事業	ブックスタート支援事業	実施計画事業	ブックスタート支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
款	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する				
項	3						
目	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	62						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 赤ちゃんと生まれた家庭に絵本を贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心触れ合う時間を持つきっかけを作る。また、行政の各種施策を含む行政機関との繋がりを持つ機会を作る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 親子の絆づくりを目的に出産祝い品として絵本を保護者に贈呈する。</p>	R3	出産祝い品として絵本を136セット贈呈した。	R3計画 360			300	60
			当初予算 360			300	60
			決算額 310			300	10
	R4	出産祝い品として絵本を113セット贈呈した。	R4計画 360			300	60
			当初予算 360			300	60
			決算額 286			200	86
	R5	出産祝い品として絵本を115セット贈呈した。	R5計画 360			300	60
			当初予算 360			300	60
			決算額 301			300	1
	R6		R6計画 240			200	40
			当初予算 240			200	40
			決算額				
	R7		R7計画 360			300	60
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,680			1,400	280
			当初予算 1,320			1,100	220
			決算額 897			800	97

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 絵本購入セット数	絵本購入セット数(年度末)	170	セット	目標値	170	170	170	170	170
					実績値	170	150	150		
					% 達成率	100	88.2	88.2		
2 -					目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 絵本配布セット数	絵本配布セット数	160	セット	目標値	160	165	165	170	170
					実績値	136	113	115		
					% 達成率	85	68.5	69.7		
2 -					目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		16点	17点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 出生数の減少により贈呈数は目標値には届かなかったが、引き続き赤ちゃんと保護者が絵本を介して心触れ合う時間のきっかけづくりのために必要な事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 乳児家庭全戸訪問の際に親子のきずなづくりを目的に贈呈していて、今後の市独自の事業として続けていきたい。贈呈数については、出生数の減とともに減っている。
--	---

事業	児童福祉総務事業	細事業	子育て世帯リフォーム支援事業	実施計画事業	子育て世帯リフォーム支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
款	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する				
項	3	後期基本計画	42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1	決算	62	期間	年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 子育て世帯の住宅環境の向上、三世帯同居による子育て及び世代間支援を図るため、市内の子育て世帯が行う持ち家の改修工事の一部を補助する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 子育て世帯リフォーム支援事業の周知と改修工事の一部を補助する。</p>	R3	子どものための改修工事等に対し補助した。《子育て支援型1件、三世帯同居支援型2件》	R3計画 3,300	1,650			1,650
			当初予算 3,300	1,650			1,650
			決算額 1,800	900			900
	R4	子どものための改修工事等に対し補助した。《子育て支援型2件、三世帯同居支援型1件》	R4計画 2,550	1,275			1,275
			当初予算 3,300	1,650			1,650
			決算額 1,350	675			675
	R5	子どものための改修工事等に対し補助した。《子育て支援型0件、三世帯同居支援型1件》	R5計画 2,550	1,275			1,275
			当初予算 3,300	1,650			1,650
			決算額 750	375			375
	R6		R6計画 3,500	1,750			1,750
			当初予算 3,500	1,750			1,750
			決算額				
	R7		R7計画 2,550	1,275			1,275
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 14,450	7,225			7,225
			当初予算 13,400	6,700			6,700
			決算額 3,900	1,950			1,950

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 相談件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	18	件	目標値	20	20	20	20	20
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	13	20	23		
		% 達成率			65	100	115			
		目標値								
D 成果指標	1 補助金交付	<input type="checkbox"/> 総合計画	3	件	目標値	5	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	3	3	1		
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率			60	75	25			
		目標値								
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	19点	23点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
補助金制度について目標値を超える相談があったが、実際の申請件数は1件のみであった。子育て世帯のよりよい住環境整備を支援するため、引き続き周知・啓発を行う必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
子育て世帯や、子どもの居る三世帯の世帯を対象とした事業で、問い合わせや相談等もあり、今後も周知啓発しながら事業を継続していく必要があると思われる。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	児童福祉総務事業	細事業	子育てほっとクーポン活用事業	実施計画事業	子育てほっとクーポン活用事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		II 豊かな福祉社会の実現を目指す		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 子育てほっとクーポン交付金 子育てほっとクーポンシステム保守委託料 消耗品費 通信運搬費	当初予算額 3,480 132 20 5
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	1					
決算	62					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 子育て家庭の経済的負担等の軽減を図るとともに各種子育てサービスなどの利用促進を図るため、クーポンを配布する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> クーポンの配布と利用のあったクーポンの換金を行う。</p>	R3	地域の子育て支援サービスが利用できるクーポンを交付した。《172人、337冊》	R3計画 4,548	2,195			2,353
			当初予算 4,548	2,195			2,353
			決算額 3,603	1,878			1,725
	R4	地域の子育て支援サービスが利用できるクーポンを交付した。《114人、235冊》	R4計画 4,548	2,195			2,353
			当初予算 4,537	2,190			2,347
			決算額 3,075	1,607			1,468
	R5	出生による交付は令和4年度で終了したが、県内転入者の交換や県外転入者への交付は継続している。《交換:5人・6冊、交付:3人6冊》	R5計画 4,548	2,195			2,353
			当初予算 3,637	1,740			1,897
			決算額 1,879	950			929
	R6		R6計画 2,566	1,210			1,356
		当初予算 2,566	1,210			1,356	
		決算額					
		R7計画 4,548	2,195			2,353	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 20,758	9,990			10,768
			当初予算 15,288	7,335			7,953
			決算額 8,557	4,435			4,122

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 クーポン交付冊数	クーポン交付冊数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	327	冊	目標値	327	327	327	327
						実績値	337	235		
	% 達成率	103.1	71.9							
2 利用可能サービスの拡充	利用可能サービス数(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	15	個	目標値	15	16	16	17	17
					実績値	15	15	15		
					% 達成率	100	93.8	93.8		
D 成果指標	1 クーポン換金額	クーポン換金額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2,197.5	千円	目標値	2,197.5	2,197.5	2,197.5	2,197.5
						実績値	3,447.5	2,923.5	93.8	
	% 達成率	156.9	133	4.3						
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	2点	1点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	3点
		14点	13点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 出産子育て応援金の創設により、クーポンの新規交付は令和5年3月末で終了となった。令和4年度までに交付したクーポンについては3歳の誕生日の前日まで利用できるため、換金・転入による交換等は令和7年度で終了となる。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 R4年度生まれまでの交付の事業でR5.3まで配布。満3歳まで利用可能なため、R7年度までクーポン換金・転入等の引換えのみで事業終了予定。出産子育て応援金に代わり、クーポンから現金支給となった。
---	--

事業	児童福祉総務事業	細事業	子育て応援券給付事業	実施計画事業	子育て応援券給付事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 子育て応援給付金 子育て応援券運営業務委託料 印刷製本費 消耗品費	当初予算額 1,950 1,000 278 20	
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する				
項	3	施策展開					
目	1	後期基本計画	42 P				<input type="checkbox"/> 過疎計画
決算	62						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 子育てに必要な用品の購入費用等を補助することで子育て家庭の経済的負担を軽減し、市内で安心して子育てができる環境を作る。</p> <p><令和5年度取組内容(計画)> 利用可能用品及びサービスの周知と応援券を交付する。</p>	R3	粉ミルクや授乳関連用品など、子育てに必要な用品を購入できる券を発行した。《144人、430冊》	R3計画 8,426			8,000	426
			当初予算 8,426			8,000	426
			決算額 5,962			5,800	162
	R4	粉ミルクや授乳関連用品など、子育てに必要な用品を購入できる券を発行した。《102人、312冊》	R4計画 8,426			8,000	426
			当初予算 8,083			7,800	283
			決算額 4,652			4,200	452
	R5	令和4年度で交付が終了したため、令和5年度は換金のみ。	R5計画 8,426			8,000	426
			当初予算 3,260			2,950	310
			決算額 2,256			2,200	56
	R6		R6計画				
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 8,426			8,000	426	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 33,704			32,000	1,704
			当初予算 19,769			18,750	1,019
			決算額 12,870			12,200	670

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 応援券交付冊数	応援券交付冊数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	474	冊	目標値	474	474	474	474	474
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	430	312			
		% 達成率			90.7	65.8				
D 成果指標 1 応援券換金額	応援券換金額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4,561	千円	目標値	4,561	4,561	4,561	4,561	4,561
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	4,806	3,503	1,237		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	105.4	76.8	27.1		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	5点	21点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
		16点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 国の「出産・子育て応援給付金」創設に伴い、令和5年度以降の子育て応援券給付事業は終了となった。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 国の「出産・子育て応援給付金」は創設に伴い、市独自の給付金5万円を交付のため、令和5年度以降子育て応援券の配布はなし。応援券の有効期限の1年のため事業終了。
--	--

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	要保護児童対策事業	実施計画事業	要保護児童対策事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (131)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 社会保険料(会計年度任用職員分) 期末手当 費用弁償(会計年度任用職員分)	当初予算額 1,479 186 247 100
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する			
目	1	後期基本計画	42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	63					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置し、機能強化を図るため、家庭相談員を配置し専門性を強化し相談業務の実施及び児童虐待の予防、対策を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・ケース記録、共同管理台帳の作成 ・緊急受理会議、ケース検討会議 ・児童虐待対応研修 ・要保護児童等に関する情報共有システムの整備	R3	要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、児相連絡会、ケース会議を行い情報交換、支援方針の見直し等を行った。支援の実施状況の進行管理と関係機関との連絡調整を行った。	R3計画 1,947	1,298			649
			当初予算	1,947	1,298		649
			決算額	1,708	1,218		490
	R4	要保護児童対策地域協議会の代表者会議・児相連絡会・実務者会議・個別支援会議・ケース検討会議を行い情報交換・支援方針の見直し等を行った。支援の実施状況の進行管理と関係機関との連絡調整を行った。	R4計画 2,520	1,680			840
			当初予算	1,933	1,288		645
			決算額	1,706	1,213	7	486
	R5	要保護児童対策地域協議会の代表者会議・児相連絡会・実務者会議・各町毎の個別支援会議・ケース支援会議を行い情報交換・支援方針の見直しを行った。支援の実施状況の進行管理と関係機関との連絡調整を行った。	R5計画 2,520	1,680			840
			当初予算	2,360	1,572		788
			決算額	1,819	1,355		464
	R6		R6計画 2,520	1,680			840
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 2,520	1,680			840
			当初予算				
		決算額					
		R3～R7合計	計画額 12,027	8,018		4,009	
			当初予算 6,240	4,158		2,082	
			決算額 5,233	3,786	7	1,440	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7		
C 活動指標	1 各機関の連携による支援	<input type="checkbox"/> 総合戦略	68	回	目標値	70	70	70	70	70		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	55	40	48				
		% 達成率			78.6	57.1	68.6					
		目標値			100	100	100	100	100			
2 児童虐待相談	<input type="checkbox"/> 総合戦略	104	件	実績値	132	113	114					
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	132	113	114					
D 成果指標	1 実務者会議の開催			<input type="checkbox"/> 総合計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
				<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	12	12	12		
	<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率	100	100			100					
		目標値										
2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画				実績値							
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				% 達成率							
	<input type="checkbox"/> 個別計画											

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	21点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 虐待の危険度や緊急度の相談・判断等を伴うものが多く、家庭相談員の不在を解消するため3名の家庭相談員を配置し虐待対応や予防に向けて迅速に動ける体制が図れつつある。相談員が不在でも、共通の対応や認識を保持するため児童管理情報システムも導入できた。虐待通告に対する支援や関係機関との連携を適切に実施するため、更なる専門知識を有する人員体制の確保強化や体制の充実が望まれる。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 改正児童福祉法に基づき、R6から子育て世代包括支援センターと一緒に、子ども家庭センターとなった。虐待対応や予防に向けて積極的・専門的な支援などを行う虐待対応専門員等配置に今後も強化していく必要がある。児童管理情報システムも導入でき、業務の作業効率の向上や事務の軽減を図っていく必要もある。
---	---

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子ども家庭総合支援拠点事業	実施計画事業	子ども家庭総合支援拠点事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No. (131)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 社会保険料(会計年度任用職員分) 期末手当 唐待システム委託料	当初予算額 1,479 186 247 6,529
会計	一般	施策 3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策展開 ①子育て支援サービスを充実する	期間 年度～年度		
項	3	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1				
決算	63				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> すべての子どもの権利を擁護し、子どもとその家庭及び妊産婦を対象に、実情の把握、子ども等に関する相談全般から通所・在宅支援を中心としたより専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行うため、子ども家庭総合支援拠点を設置する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・子ども家庭支援全般に係る業務実情の把握、情報の提供、相談等への対応、総合調整 ・要支援児童、要保護児童、特定妊婦への支援業務 相談、通告の受付、受理会議、調査、支援、指導、児童記録表の作成</p>	R3	子どもの実情の把握、関係機関への情報の提供、相談等の対応、関係機関との総合調整を行った。児童記録表の作成、特定妊婦等への支援業務を行った。	R3計画 1,778	889			889	
				当初予算 1,778	889			889
				決算額 1,715	889			826
	R4	子どもの実情の把握、関係機関への情報の提供、相談等の対応、管期果敢との総合調整を行った。児童記録表の作成、業務を行った。	R4計画 2,320	1,160			1,160	
				当初予算 1,764	882			882
				決算額 1,985	1,095			890
	R5	子どもの実情の把握、関係機関への情報の提供、相談等の対応、関係機関との総合調整を行った。児童管理システムを導入した。	R5計画 2,320	1,160			1,160	
				当初予算 8,666	4,332			4,334
				決算額 8,965	1,243			7,722
	R6			R6計画 2,320	1,160			1,160
			当初予算					
			決算額					
R7			R7計画 2,320	1,160			1,160	
			当初予算					
			決算額					
		R3～R7合計	計画額 11,058	5,529			5,529	
			当初予算 12,208	6,103			6,105	
			決算額 12,665	3,227			9,438	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ケース会議	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	68	回	目標値	70	70	70	70	70
					実績値	55	40	48		
	%	達成率	78.6	57.1	68.6					
	2 児童虐待相談	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	104	件	目標値	100	100	100	100	100
実績値					132	113	114			
%					達成率	132	113	114		
D 成果指標	1 個別支援会議の開催	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	28	回	目標値	28	28	28	28	28
					実績値	28	28	28		
	%	達成率	100	100	100					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	21点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>家庭相談員を3名配置し、子どもの実情の把握、関係機関への情報の提供、相談等の対応、関係機関との総合調整が行えた。相談員の共通対応に対応するため、児童管理システムを導入した。しかし、相談員の更なる専門性を高め、多様化する相談に対応するため、人材の体制整備を図る必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>児童虐待等の相談件数は年々増加しており、状況を把握するための業務量も多いため導入した児童管理システムの円滑に運用していく必要がある。子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターが一体的に相談支援が行える体制づくりを今後も充実していく。</p>
---	---

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	地域子育てサポート事業	実施計画事業	地域子育てサポート事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (129)		II 豊かな福祉社会の実現を目指す		第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画		令和5年度主な歳出名称		当初予算額	
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実	個別計画名	期間 R2年度～R6年度	火災保険料			89
款	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する	期間	年度～年度	講師謝礼金			40
項	3	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	消耗品費		20
目	1								
決算	63								

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 地域子育てサポート事業・・・子育ての手助けをして欲しい人「よろしく会員」と手伝いが出る人「まかせて会員」が相互援助活動を行うことにより子育て支援を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 「まかせて会員」(14人)が「よろしく会員」(88人)を地域の中で援助した。《預かり57件、送迎18件》</p>	R3	「まかせて会員」(14人)が「よろしく会員」(88人)を地域の中で援助した。《預かり57件、送迎18件》	R3計画	193	128			65
				当初予算	193	128		65
				決算額	145	96		49
	R4	まかせて会員(14人)がよろしく会員(94人)を地域の中で相互援助した。(預かり68件・送迎0件)	R4計画	193	128			65
				当初予算	173	114		59
				決算額	149	106		43
	R5	まかせて会員(12人)が、よろしく会員(89人)を地域の中で相互援助した。《預かり14件、送迎0件》	R5計画	193	128			65
				当初予算	149	98		51
				決算額	148	96		52
	R6		R6計画	149	98			51
				当初予算	149	98		51
				決算額				
	R7		R7計画	193	128			65
			当初予算					
			決算額					
R3～R7合計			計画額	921	610		311	
			当初予算	664	438		226	
			決算額	442	298		144	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 よろしく会員登録者数	よろしく会員登録者数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	83	人	目標値	83	85	85	90	90
						実績値	88	94	89		
						% 達成率	106	110.6	104.7		
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	1 相互援助活動の実施数	相互援助活動の実施数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	58	件	目標値	55	55	60	60	65
						実績値	75	68	14		
						% 達成率	136.4	123.6	23.3		
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	4点
		18点	20点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 地域で子育てを支援するために必要な事業であるため、今後も需要と供給のバランスに注視しながら会員の確保に努める必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 子育ての手助けが欲しい人と、子育ての手伝いができる人との相互援助事業で、子育てを地域でサポートするため継続が必要な事業のため、今後はまかせて会員の確保に努めていく必要がある。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て短期支援事業	実施計画事業	子育て短期支援事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No. (131)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和5年度主な歳出名称 子育て短期支援事業委託料 当初予算額 876
会計	一般	施策 3 結婚・出産・子育て支援の充実		
款	3	施策展開 ①子育て支援サービスを充実する		
項	3	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
目	1		期間 年度～年度	
決算	63			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 保護者の疾病その他の理由により家庭において子どもを養育することが一時的に困難となった場合等に、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行うことにより、これらの子ども及びその家庭の福祉の向上を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・実施施設との委託契約 ・利用の申請受付 ・実施施設の受入れ状況等の審査、可否決定、通知 ・実施施設へ委託、利用 ・実施施設への経費の支払 ・里親活用に向けて準備</p>	R3	保護者が出産、就労等の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合、実施施設において保護をおこなった。3施設と委託契約し、利用の際は事前に見学、利用の申請の受付、可否決定、通知、実施施設へ委託、経費の支払いを行った。	R3計画 679	372			307
	当初予算	679	372			307	
	決算額	423	327			96	
	R4	保護者が出産、就労等の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合、実施施設において保護をおこなった。4施設と委託契約し、利用の際は事前に見学、利用の申請の受付、可否決定、通知、支援施設へ委託、経費の支払いを行った。	R4計画 679	372			307
	当初予算	515	342			173	
	決算額	1,341	618			723	
	R5	保護者が出産、就労等の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設等においてショートステイを行った。レスパイトでの利用が増えた。	R5計画 679	372			307
	当初予算	876	584			292	
	決算額	1,201	811			390	
	R6		R6計画 679	372			307
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 679	372			307	
当初予算							
決算額							
R3～R7合計			計画額 3,395	1,860			1,535
			当初予算 2,070	1,298			772
			決算額 2,965	1,756			1,209

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 短期入所生活援助利用	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	63	日	目標値	108	108	108	108	108
					実績値	143	241	199		
					% 達成率	132.4	223.2	184.3		
2 委託実施施設	短期入所生活援助事業を委託した実施施設数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	3	箇所	目標値	3	4	4	4	4
					実績値	3	4	5		
					% 達成率	100	100	125		
D 成果指標	1 利用児童数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	4	人	目標値	5	5	5	5	5
					実績値	5	11	14		
					% 達成率	100	220	280		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	5点	22点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
利用申請があった場合、速やかに実施施設の受け入れ先を決定し、弾力的運営に努められた。今後市内の委託先が更に充実され、利用者が委託先から園や学校に通えるよう、利便性を考慮し実施施設の開拓に努める必要がある。	保護者のレスパイトや、要保護児童の支援としての利用が増加した。委託先については母子で一緒に入所できるように母子生活支援施設も利用可能になった。市内のファミリーホームで委託が可能になり、委託先からの園への通園も可能になった。今後市内の委託先が更に充実が求められる。委託料についても他の市町村を参考にしながら改定の時期と思われる。

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	地域子育て支援拠点事業	実施計画事業	家庭訪問型子育て支援事業委託事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 家庭訪問型子育て支援事業委託料	当初予算額 3,306
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	63					

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			一般財源
				国庫支出金	地方債	その他	
<事業の目的> 家庭訪問型子育て支援事業(ホームスタート)では、地域等から孤立する可能性のある家庭に訪問し、悩みを聞いたり、共に行動することで徐々に地域や他の親との交流を促す。 <令和5年度の取組内容(計画)> 家庭訪問型子育て支援事業を行う事業所に委託して実施する。	R3	ホームビジター養成講座(全9回)を開催するとともに、傾聴や協働等の活動を行った。《新ビジター4人、訪問件数8件(訪問回数69回)》	R3計画 3,288	2,192			1,096
			当初予算 3,288	2,192			1,096
			決算額 3,306	2,204			1,102
	R4	ホームビジター養成講座(全9回)を開催するとともに、傾聴や協働等の活動を行った。新ビジター3名 訪問件数9件(訪問回数93回)	R4計画 3,306	2,204	1,000		1,102
			当初予算 3,306	2,204	1,000		102
			決算額 3,306	2,204			1,102
	R5	令和5年度のホームビジター養成講座は諸事情により中止し、令和6年6月に実施することとした。《訪問件数4件(訪問回数25回)》	R5計画 3,306	2,204			1,102
			当初予算 3,306	2,204	1,040		62
			決算額 3,302	2,204	1,040		58
	R6		R6計画 3,302	2,200	1,040		62
			当初予算 3,302	2,200	1,040		62
			決算額				
	R7		R7計画 3,306	2,204			1,102
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 16,508	11,004	1,040		4,464
			当初予算 13,202	8,800	3,080		1,322
			決算額 9,914	6,612	1,040		2,262

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 家庭訪問型子育て支援事業の継続	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	か所	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1	1		
		% 達成率	100			100	100				
D 成果指標	1 家庭訪問型子育て支援事業ボランティア養成講座の開催	<input type="checkbox"/> 総合計画		9	回	目標値	9	9	9	9	9
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	9	9			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値							
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率							

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		18点	18点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 本市で実施している「ホームセンターやしの実」は、日本初のホームスタート事業に取り組んだ団体の一つであり、転入や産後などで地域等から孤立する可能性のある家庭を訪問し、悩みを聞いたり、共に行動することで徐々に地域や他の親との交流を促すなど、子育て世帯を応援する重要な取組の一つである。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 DVで避難した中で出産し、気持ちが不安定だった産後の母子を訪問してもらって、お母さんの話を聴いてもらって一緒に家事や育児をおこなってもらい、聴いてくれるだけでそれだけで気持ちが軽くなったと実際利用者からの声が開かれた。今後も継続していきたい。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	地域子育て支援拠点事業	実施計画事業	地域子育て支援センター委託事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 地域子育て支援センター委託料	当初予算額 33,988
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	63					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的> 市内5カ所(三重、清川、緒方、大野、犬飼)に支援センターを設置し、子育て中の親の孤独感や不安感、負担の増大等に対応することで、地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を行う。 支援センター交流事業「なかよしこよしのつどい」を行い、センター間・保護者間の交流をする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 支援センター事業を委託し、子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行う。</p>	R3	市内4カ所に支援センター事業を委託し、子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行った。	R3計画	33,421	22,280			11,141	
				当初予算	33,421	22,280			11,141
				決算額	33,980	22,653			11,327
	R4	市内4カ所に支援センター事業を委託し、子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行った。	R4計画	33,980	22,652			11,328	
				当初予算	33,980	22,652	10,700		628
				決算額	33,988	22,658	11,200		130
	R5	市内4カ所に支援センター事業を委託し、子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行った。	R5計画	33,980	22,652			11,328	
				当初予算	33,988	22,658	10,760		570
				決算額	37,192	25,001	10,760		1,431
	R6			R6計画	38,147	25,430	12,060		657
			当初予算	38,147	25,430	12,060		657	
			決算額						
			R7計画	33,980	22,652			11,328	
			当初予算						
			決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額	173,508	115,666	12,060		45,782	
			当初予算	139,536	93,020	33,520		12,996	
			決算額	105,160	70,312	21,960		12,888	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 地域子育て支援拠点数	地域子育て支援拠点数(年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	4	か所	目標値	4	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	4	4		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標 1 利用人数	利用人数(年度末)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	5,351	人	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	5,125	5,576	5,551		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	85.4	92.9	92.5		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		21点	21点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 子育て支援センターは、子育て相談や子育て情報の提供のほか、親子の交流を図る場を提供する総合的な子育て支援拠点である。コロナ後、利用者数は戻りつつあり、利用者同士の交流を促進する取組が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 コロナ後、以前のような全ての支援センターが集まってのつどいの場の開催はなくなったが、全ての支援センターをスタンプラリーで廻る事業などスタートし、利用者同士の交流が図られている。今後も事業形態を工夫しながら継続していきたい。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	一時保育事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (135)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度 主な歳出名称 保育対策等促進事業費補助金	当初予算額 2,340
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1			期間	年度	年度
決算	63					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 保育所等を利用していない家庭において、一時的に家庭での保育が困難となった場合に、児童を一時的に預かる事業</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 一時保育を行う事業所に対し補助金を交付する。</p>	R3	6か所の私立保育所等で延べ174人の子どもを一時保育を行った。	R3計画 2,340	1,272	908	160	
			当初予算 2,340	1,272	908	160	
			決算額 313	313			
	R4	4か所の私立保育所等で延べ80人の子どもを一時保育を行った。	R4計画 2,340	1,272	908	160	
			当初予算 2,340	1,468		872	
			決算額 203	525		-322	
	R5	5か所の市立保育所等で延べ79人の子どもの一時保育を行った。	R5計画 2,340	1,272	908	160	
			当初予算 2,340	1,678		662	
			決算額 224			224	
	R6		R6計画 414	276		138	
			当初予算 414	276		138	
			決算額				
	R7		R7計画 2,340	1,272	908	160	
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 9,774	5,364	3,632	778	
			当初予算 7,434	4,694	908	1,832	
			決算額 740	838		-98	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 実施施設	一時保育事業を実施した私立の施設数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	8	か所	目標値	10	10	10	10	10
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	6	4	5		
		% 達成率			60	40	50			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 1 利用人数	一時保育を利用した人数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画	236	人	目標値	350	350	350	350	350
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	174	80	79		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	49.7	22.9	22.6		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	17点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
			／25点		／25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 保護者の就労等により保育所等の利用児童が増加しているため、利用者は減少傾向にあるが、断続的又は緊急一時的に育児が困難になる家庭の子育てを支援するために必要な事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 就労や保育料の無償化等で就園する子どもさんが増えているため、今後利用者は減少すると思われるが、母親のレスパイト等が必要な事業であると思われる。
---	---

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	預かり保育事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (135)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 保育対策等促進事業費補助金 当初予算額 14,052	
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1				期間	年度 ~ 年度
決算	63					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 子ども・子育て支援事業を実施し、子ども・保護者の置かれている環境に応じた適切な利用を促進する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 預かり保育を行う保育所等に対し補助金を交付する。	R3	7か所の私立保育所等で延べ3,234人の子どもを預かり保育を行った。	R3計画 13,920	9,280			4,640
			当初予算	13,920	9,280		4,640
			決算額	10,200	7,003		3,197
	R4	7か所の私立認定こども園等で延べ2,008人の児童を預かり、保育を行った。	R4計画	14,400	9,600		4,800
			当初予算	13,920	9,280		4,640
			決算額	9,155	7,972		1,183
	R5	8か所の私立認定こども園等で延べ3,349人の児童を預かり、保育を行った。	R5計画	14,400	9,600		4,800
			当初予算	14,052	9,368		4,684
			決算額	5,966	5,098		868
	R6		R6計画	10,971	7,314		3,657
			当初予算	10,971	7,314		3,657
			決算額				
	R7		R7計画	14,400	9,600		4,800
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	68,091	45,394		22,697
			当初予算	52,863	35,242		17,621
			決算額	25,321	20,073		5,248

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 実施施設	預かり保育事業を実施した私立の施設数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	か所	目標値	13	13	13	13	13
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	7	8		
		% 達成率			53.9	53.9	61.5			
D 1 利用人数	預かり保育を利用した人数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画	3,809	人	目標値	4,000	4,000	3,900	3,900	3,800
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	3,234	2,008	3,349		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	80.9	50.2	85.9		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	18点	4点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
1号認定の子どもについて、保護者の勤務の都合等により教育時間後に預かる事業で、保護者の勤務形態や就労形態の多様化等により一定のニーズがあり、保護者の負担軽減のために必要な事業である。	教育標準時間終了後、家庭での保育が困難な場合に通園している園等で子どもを預かる保育サービスは今後も必要である。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	延長保育事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (135)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 保育対策等促進事業補助金	当初予算額 24,679
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	63					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 就労形態の多様化に伴い、開所時間を超過して在籍園児を保育する事業 <令和5年度の取組内容(計画)> 延長保育を行う保育所等に対し補助金を交付する。	R3	10か所の私立保育所等で延べ353人の園児に延長保育を行った。	R3計画 22,145	14,762			7,383
			当初予算 22,145	14,762			7,383
			決算額 13,246	8,980			4,266
	R4	10か所の私立保育所等で延べ8534人の園児に延長保育を行った。	R4計画 23,450	15,633			7,817
			当初予算 23,638	15,758			7,880
			決算額 4,363	8,117			-3,754
	R5	10か所の私立保育所等で延べ7,417人の園児に延長保育を行った。	R5計画 23,450	15,633			7,817
			当初予算 24,679	16,450			8,229
			決算額 4,100	3,875			225
	R6		R6計画 14,579	9,718			4,861
		当初予算 14,579	9,718			4,861	
		決算額					
R7		R7計画 23,450	15,633			7,817	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 107,074	71,379			35,695
			当初予算 85,041	56,688			28,353
			決算額 21,709	20,972			737

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 実施施設	延長保育事業を実施した私立の施設数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	10	か所	目標値	12	12	12	12	12
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	10	9	10		
		% 達成率			83.3	75	83.3			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 1 利用人数	延長保育を利用した人数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画	366	人	目標値	450	450	450	450	450
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	353	406	252		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	78.4	90.2	56		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	18点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	4点
			21点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
2号・3号認定の子どもについて、保護者の勤務の都合等により保育時間前後の延長保育を行う事業で、保護者の勤務形態や就労形態の多様化等により一定のニーズがあり、保護者の負担軽減のために必要な事業である。	保護者の就労等で保育時間内の送迎が困難な場合に利用できるサービスは、就労形態の多様化などで今後も必要なサービスである。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	特別支援保育事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No. (135)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度 主な歳出名称 保育対策等促進事業補助金	当初予算額 10,676
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	63					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的> 保育が必要である児童のうち、心身に障害を有する者の保育所における受入れを促進し、健常児と同程度の保育を実施することで、障害児の健全な発達を図る。(県補助対象事業としてスタートするが、現在では県補助対象外につき市単事業として他市同様継続して実施。)</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 障がい児を保育するために職員を加配した園に対し、財政支援を行う。</p>	R3	8か所の保育所等が障がい児を受け入れるために職員を加配し17人の園児を保育した。	R3計画	10,677				10,677	
				当初予算	10,677				10,677
				決算額	14,877				14,877
	R4	8か所の保育所等が障がい児を受け入れるために職員を加配し25人の園児を保育した。	R4計画	10,677				10,677	
				当初予算	10,677				10,677
				決算額	20,957				20,957
	R5	8か所の保育所等が障がい児を受け入れるために職員を加配し、32人の園児を保育した。	R5計画	10,677				10,677	
				当初予算	10,676				10,676
				決算額	18,046				18,046
	R6		R6計画	18,683				18,683	
			当初予算	18,683				18,683	
			決算額						
R7		R7計画	10,677				10,677		
			当初予算						
			決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	61,391				61,391	
			当初予算	50,713				50,713	
			決算額	53,880				53,880	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 実施施設	特別支援保育事業を実施した施設数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	8	か所	目標値	6	6	6	6	6
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	8	8	8		
		% 達成率			133.3	133.3	133.3			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 1 受入人数	補助の対象となった園児数(一年度)	<input type="checkbox"/> 総合計画	17	人	目標値	10	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	17	25	32		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	170	250	320		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	22点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 国の補助事業が一般財源化されたため、平成15年度から市単独事業として実施している。障がい児の特性に応じた集団生活を通じて児童の心身の健全な発達を促すためにも必要な事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 支援の要する子どもは年々増加しており、今後も拡充が求められる事業と思われる。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	施設等利用給付事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No. (135)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 保育対策等促進事業補助金	当初予算額 5,448
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
項	3	施策展開	②保育サービスを充実する			
目	1	後期基本計画	42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	63					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 要件を満たした保護者が支払った施設等利用費について、子ども・子育て支援法第30条の十一の規定に基づき、償還する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 幼稚園の預かり保育等の利用料を保護者負担金として支払った分を償還払いにより給付する。</p>	R3	1号の預かり保育利用料は、16人に対し141件、認可外保育施設の保護者負担金は、3人に対し12件の償還払いによる給付をした。	R3計画 6,804	5,103			1,701
	当初予算	6,804	5,103			1,701	
	決算額	1,916	1,916				
	R4	1号の預かり保育利用料は、14人に対し132件、認可外保育施設の保護者負担金は、9人に対し97件の償還払いによる給付をした。	R4計画 6,804	5,103			1,701
	当初予算	6,804	5,103			1,701	
	決算額	3,789	2,929			860	
	R5	1号の預かり保育利用料は、15人に対し141件、認可外保育施設の保護者負担金は、5人に対し54件の償還払いによる給付を行った。	R5計画 6,804	5,103			1,701
	当初予算	5,448	4,086			1,362	
	決算額	2,506	2,506				
	R6		R6計画 6,594	4,945			1,649
当初予算	6,594	4,945			1,649		
決算額							
R7		R7計画 6,804	5,121			1,683	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 33,810	25,375			8,435
			当初予算 25,650	19,237			6,413
			決算額 8,211	7,351			860

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 認定者数	認定した児童数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	29	人	目標値	20	20	20	20	20
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	21	23	20		
					% 達成率	105	115	100		
					目標値					
D 成果指標 1 助成件数	償還払いした件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	212	件	目標値	200	200	200	200	200
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	177	229	195		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	88.5	114.5	97.5		
					目標値					
2		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	18点	16点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 子ども・子育て支援法に基づき実施する事業であるため、今後も継続して実施する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 子ども・子育て支援法に基づき実施する事業である。償還払いによる無償化の給付は今後も必要な事業として実施する。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	乳児家庭全戸訪問事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No. (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 消耗品費 115 印刷製本費 100	当初予算額
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	63					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・育児に関する不安や悩みの傾聴、相談 ・子育て支援に関する情報提供 ・乳児及びその保護者の心身の様子及び養育環境の把握 ・支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整 ・訪問の連絡調整等</p>	R3	すべての乳児のいる家庭(122戸)を訪問し支援を行った。ホームスタートなど子育て支援に関する情報提供を行い、育児に関する相談に応じ、心身の様子や養育環境の把握を行い、必要に応じてケース対応会議を開催し、サービスの提供につなげることが出来た。	R3計画	230	152		78	
				当初予算	230	152		78
				決算額	221	149		72
	R4	すべての乳児のいる家庭を訪問し支援を行った。ホームスタートなど子育て支援に関する情報提供を行い、育児に関する相談に応じ、心身の様子や養育環境の把握を行い、産後うつ検討会を毎月開催し支援方針を検討しサービスの提供につなげることができた。	R4計画	230	152		78	
				当初予算	203	134		69
				決算額	208	136		72
	R5	すべての乳児のいる家庭を訪問し支援を行った。ホームスタートなど子育て支援に関する情報提供を行った。育児に関する相談に応じ、産後うつ検討会を毎月開催し、支援方針を検討し支援につなげることができた。訪問数125件。	R5計画	230	152		78	
				当初予算	215	142		73
				決算額	252	155		97
	R6			R6計画	230	152		78
			当初予算					
			決算額					
R7			R7計画	230	152		78	
			当初予算					
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	1,150	760		390	
			当初予算	648	428		220	
			決算額	681	440		241	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 乳児家庭訪問率	対象家庭に対する乳児家庭訪問数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100	100		
					達成率	100	100	100		
D 成果指標 1 子育て情報の提供実施	訪問家庭に対する子育て支援に関する情報の提供数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100	100		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			達成率	100	100	100		
2 産後うつ検討数	産後うつ検討会でのハイリスク妊婦の支援延検討数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画	149	人	目標値	120	120	120	120	120
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	128	54	51		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			達成率	106.7	45	42.5		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	22点	5点	23点
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		5点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児に関する相談に応じ、育児に関する不安や悩みの傾聴が図られた。今後も現状を維持しながら継続していく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 産後訪問することによって、産後うつ等の早期把握も可能であるし、支援が必要な家庭にライしてサービスの提供を検討できるので、今後も現状を維持しながら継続していく必要がある。出産子育て交付金の産後の支給要件となっているため、母子の受入れもいい事業だと思う。
---	---

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	医療的ケア児保育支援モデル事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (131)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実					
款	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する					
項	3	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1							
決算	63							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 保育所等において医療的ケア児の受け入れを可能とするための体制を整備し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図る。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・医療的ケア児の受け入れについて検討 ・関係機関との連絡体制の構築 ・施設や保護者との調整 ・施設計画の策定 ・検討会の設置	R3	医療的ケア児の保育園の受け入れについてケース会議は行ったが、検討会の設置にまでは至らなかった。	R3計画 162				162
	当初予算	162				162	
	決算額						
	R4	医療的ケア児の入園希望対象児がいなかった。	R4計画 162				162
	当初予算	162				162	
	決算額						
	R5	医療的ケア児の入園希望対象児がいなかった。社会福祉課主催で医療的ケア児のについて協議の場はもった。	R5計画 162				162
	当初予算	162				162	
	決算額						
	R6		R6計画 162				162
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 162				162	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 810				810
			当初予算 486				486
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 検討会の設置	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値					
					% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 医療的ケア児の受け入れ	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値		100	100	100	100
					実績値					
					% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点	3点	9点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 医療的ケア児の入園希望対象児がいなかった。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 医療的ケア児の入園希望の対象児がいなかったため開催していない。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	家庭訪問型子育て支援事業委託事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No. (131)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和5年度主な歳出名称 家庭訪問型子育て支援事業委託料 当初予算額 150 消耗品費 389
会計	一般	施策 3 結婚・出産・子育て支援の充実		
款	3	施策展開 ①子育て支援サービスを充実する		
項	3	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
目	1		期間 年度～年度	
決算	63			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 乳児家庭全戸訪問事業等により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童若しくは保護者に監護させることが不適当であると認められた児童及びその保護者又は出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦に対し、その養育が適切に行われるよう当該居宅において育児家事の援助、養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行うことを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 産後間もない養育者に対し、育児不安の解消や養育技術の提供等のため相談や支援を行う。訪問等により支援が必要であると認めた家庭への支援内容の決定、訪問支援者との経過の把握、進行管理や、支援の最終決定の判断、委託先への委託料の支払。</p>	R3	(育児家事援助43件) 食事、衣類、生活環境等、不適切な養育状態にある家庭に、民間団体を活用して、育児家事援助等の支援の提供を行った。(専門的相談支援 92件) 妊娠期からの継続的な支援を必要とする家庭に、助産師等による訪問支援を行った	R3計画 538	358			180
	当初予算	538	358			180	
	決算額	347	294			53	
	R4	(育児家事援助70件) 食事、衣類、生活環境等、不適切な養育状態にある家庭に、民間団体を活用して、育児家事援助等の支援の提供を行った。(専門的相談支援 65件) 妊娠期からの継続的な支援を必要とする家庭に、助産師等による訪問支援を行った	R4計画 775	516			259
	当初予算	470	312			158	
	決算額	519	328			191	
	R5	(育児家事援助68件) 食事、衣類、生活環境等、不適切な養育状態にある家庭に、民間団体を活用して、育児家事援助等の支援の提供を行った。(専門的相談支援 45件) 妊娠期からの継続的な支援を必要とする家庭に、助産師等による支援を行った	R5計画 775	516			259
	当初予算	539	358			181	
	決算額	501	346			155	
	R6		R6計画 775	516			259
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 775	516			259	
当初予算							
決算額							
R3～R7合計			計画額 3,638	2,422			1,216
			当初予算 1,547	1,028			519
			決算額 1,367	968			399

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 育児家事援助支援利用世帯数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2	世帯	目標値	4	5	5	6	6
					実績値	4	8	4		
					% 達成率	100	160	80		
2 ケース検討会議	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	4	回	目標値	8	8	8	10	10	
				実績値	7	20	13			
				% 達成率	87.5	250	162.5			
D 成果指標	1 家庭訪問	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	63	件	目標値	95	95	94	93	92
					実績値	92	55	45		
					% 達成率	96.8	57.9	47.9		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	22点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
産後間もない時期の養育者及び生活環境等支援が必要な養育状態にある家庭に、必要な支援をつなぐことができた。支援が必要な対象者に、どのようにアプローチするか検討しなければならない。	産後間もない時期の養育者には、専門的相談支援ということで保健師、助産師、栄養士等が相談・支援を行った。食事、衣類、生活環境等について、不適切な養育状態にある家庭や、福祉サービスにつながらない児童のいる家庭に対し、民間団体と2か所委託契約を結んで育児・家事援助、通院送迎に重点を置いた必要な支援につなぐことができた。他のサービス等の負担のない家庭に対して、どのくらいの期間で支援をするかどうかが等懸念する点も今後検討していきたい。今後、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭や、ヤングケアラーの家庭に対しても、養育環境の維持・改善等の支援が必要である。支援の対象や訪問支援者等の拡充・検討に努めたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	利用者支援事業(母子保健型)	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No. (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 社会保険料(会計年度任用職員分) 期末手当 費用弁償(会計年度任用職員分)	当初予算額 1,985 249 331 120
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1			期間	年度 ~ 年度	
決算	63					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 母子保健に関する相談に対応するため母子保健型を設置し、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供する。保健師、助産師、臨床心理士等の専門職が、すべての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを作成することにより、妊産婦等に対しきめ細やかな支援を実施する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・妊産婦等の様々な悩みに対する相談支援、情報提供、助言、保健指導 ・妊産婦、乳幼児等の実情の把握 ・支援プランの策定 ・産婦人科、保健所等関係機関と連携、連絡調整</p>	R3	・妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応した。・支援を必要とする者が利用できるサービスを選定し、情報提供した。・支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、関係機関と協力して支援プランを作成した。配慮が必要な子育て家庭への支援をした。母子手帳の交付数(118人)	R3計画 3,100	2,066			1,034
			当初予算 3,100	2,066			1,034
			決算額 3,212	3,210			2
	R4	・妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応した。・支援を必要とする者が利用できるサービスを選定し、情報提供した。・支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、関係機関と協力して支援プランを作成した。配慮が必要な子育て家庭への支援をした。母子手帳の交付数(125人)	R4計画 3,100	2,066			1,034
			当初予算 3,877	3,230			647
			決算額 3,837	3,773			64
	R5	・妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応した。・支援を必要とする者が利用できるサービスを選定し、情報提供した。・支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、関係機関と協力して支援プランを作成した。配慮が必要な子育て家庭への支援をした。母子手帳の交付数(108人)	R5計画 3,100	2,066			1,034
			当初予算 3,244	2,702			542
			決算額 3,348	2,790			558
	R6		R6計画 3,100	2,066			1,034
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 3,100	2,066			1,034	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 15,500	10,330			5,170
			当初予算 10,221	7,998			2,223
			決算額 10,397	9,773			624

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
C 活動指標	1 支援プランの作成率	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100	100		
	2 経過確認入電	<input type="checkbox"/> 総合戦略	614	回	目標値	750	700	700	700	700
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	641	598	678		
				%	達成率	85.5	85.4	96.9		
D 成果指標	1 育児指導数	<input type="checkbox"/> 総合計画	73	人	目標値	50	40	40	40	70
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	111	89	68		
	2 産後うつ検討数	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	149	人	達成率	222	222.5	170		
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値	130	130	120	120	120
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	128	120	124		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			達成率	98.5	92.3	103.3		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	22点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	25点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 助産師が中心に妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談や利用できるサービスを選定し、情報提供した。支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、関係機関と協力した。配慮が必要な子育て家庭への支援をした。今後においても子育て家庭への相談・助言等を行い必要な支援を行っていく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 助産師が中心に特定妊婦、産後うつの方への対応など、多様なニーズに対応してくれた。コロナの影響でパパママ広場が昨年度から開催できていないが、心身の不調や育児不安のある方や、希望する妊婦さんへ、個別で育児技術支援(45名)を開催した。妊娠期の過ごし方や、子どものとの関わり方等、きめ細かな支援を行ってくれた。メンタル支援を要する妊婦さんには、産後も引き続き訪問やカウンセリングをしてくれた。臨床心理士も相談業務・発達相談等業務・かじか業務。今後も引き続き円滑かつ効果的に事業が行えるように努めたい。R6から子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)と子育て世代包括支援センター(母子保健)の一体的に相談支援を行う機能を有することも家庭センターとなるので、より相談支援体制を強化したい。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	幼児精密健診事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する				
目	1	後期基本計画	42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	63						
						幼児精密健診事業出務謝礼金	679
						実費弁償	96

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 幼児精密健診を実施し、育児支援・発達障害の早期発見・支援・相談を行い、子どもの成長発達に関する親の理解を深め、一貫した支援体制につなげる。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・幼児精密健診利用者の予約受付、調整 ・事業出務者へ担当ケースについて情報提供、連絡調整 ・幼児精密健康診査の実施 ・出務謝礼金、実費弁償の支払事務</p>	R3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月と11月の相談会は中止としたが、11月に臨時的相談会を開催し、年度内に計9回の相談会を実施した。R3の幼児健診で要精密と判断され医療機関につながっていない26名のうち18名が幼児健診フォローとして発達相談を利用した。	R3計画 775				775
	当初予算	775				775	
	決算額	647				647	
	R4	新型コロナウイルス感染症に留意しながら、当初の計画どおり計10回の相談会を実施した。R4年度の幼児健診で要精密と判断された17名と、R3年度の幼児健診で要精密と判断された後、相談会未参加だった8名の計25名のうち、19名が幼児健診フォローとして発達相談を利用した。	R4計画 775				775
	当初予算	775				775	
	決算額	639				639	
	R5	新型コロナウイルス感染症に留意しながら、当初の計画どおり計10回の相談会を実施した。R5年度の幼児健診で要精密と判断された15名のうち14名が幼児健診フォローとして発達相談を利用した。	R5計画 775				775
	当初予算	775				775	
	決算額	567				567	
	R6		R6計画 775				775
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 775				775	
当初予算							
決算額							
R3～R7合計			計画額 3,875				3,875
			当初予算 2,325				2,325
			決算額 1,853				1,853

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 発達相談会実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略	8	回	目標値	10	10	10	10	10	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	9	10	10			
					%	達成率	90	100	100		
	2 発達相談会利用者	<input type="checkbox"/> 総合戦略			50	人	目標値	80	80	80	80
<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		実績値	56	62			55				
		%	達成率	70			77.5	68.8			
D 成果指標	1 幼児健診フォロー数	<input type="checkbox"/> 総合計画	67	%			目標値	70	70	70	70
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	69	76	93			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	98.6	108.6	132.9		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	24点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	／25点	5点
			24点
			／25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>幼児精密健診を実施することにより、早期発見、早期支援を行うとともに、保護者の育児支援の体制づくりを行っている。今後においても、個々のこどもへのきめ細やかな支援に努めていかなければならない。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>幼児精密健診を実施することにより、早期発見、早期支援につなげることができている。保健師と連携をとりながら幼児健診フォローとして相談会につなげている。臨床心理士が個別に発達相談に応じたり、医療機関につなぐために必要に応じて検査をしたり、個々の子どもへきめ細やかな支援ができています。</p>
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	妊婦乳児支援事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No. (131)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指す		個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実					
款	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する					
項	3	後期基本計画	42 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1				期間	年度	年度	
決算	63						妊婦乳児健診委託料	17,297
							妊婦乳児健診助成金	664
							手数料	240
							育児等保健指導事業委託料	80

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的></p> <p>妊婦の健康の保持増進を図り、安全・安心な妊娠・出産に資するため妊婦健康診査を実施する。母胎や胎児の健康確保を図る上で、定期的な健康診査の受診を勧奨する。聴覚障害は早期に発見され適切な支援を行われた場合は、聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから早期発見・早期療育が図られるよう全ての新生児を対象として出生時に医療機関での健診を実施する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保連、助産所へ委託料、手数料の支払事務 ・償還払いの処理 ・母子手帳交付時受診券交付 ・転入、転出妊婦への受診券の差し替え 	R3	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査(2,154件) ・新生児聴覚検査(145件) ・乳児健康診査(264件) ・ペリネイタルビジット事業 ・転入妊婦へ受診券の差し替え(17名) 	R3計画	20,707		18,700		2,007
	当初予算	20,707		18,700		2,007		
	決算額	14,234		14,200		34		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査 ・新生児聴覚検査 ・乳児健康診査 ・ペリネイタルビジット事業 ・転入妊婦へ受診券の差し替え 	R4計画	19,612		16,753		2,859
	当初予算	18,561		16,700		1,861		
	決算額	11,621		11,200		421		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査 ・新生児聴覚検査 ・乳児健康診査 ・ペリネイタルビジット事業 ・妊産婦健診等支援事業 	R5計画	19,612		16,753		2,859
	当初予算	18,281				18,281		
決算額	13,545	202	12,300		1,043			
R6		R6計画	18,517		15,768		2,749	
当初予算								
決算額								
R7		R7計画	18,517		15,768		2,749	
当初予算								
決算額								
R3 ~ R7 合計		計画額	96,965		83,742		13,223	
		当初予算	57,549		35,400		22,149	
		決算額	39,400	202	37,700		1,498	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 妊婦乳児健康診査費	妊婦乳児健康診査費延件数(年度末)	2,287	件	目標値	2,380	2,310	2,310	2,240	2,240
					実績値	2,770	3,556	2,186		
					% 達成率	116.4	153.9	94.6		
D 成果指標	1 母子手帳の交付	母子手帳の交付数(年度末)	150	人	目標値	166	164	162	160	158
					実績値	118	125	108		
					% 達成率	71.1	76.2	66.7		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	23点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>定められた健康検査をきちんと受けてもらうことで、早期の支援につなげていく。R6年度妊婦に対する健康診査についての望ましい基準(超音波検診4回)まで事業を拡充した。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>母子保健法の規定に基づき、今後も妊婦健康診査について積極的な把握、受診勧奨、早期の支援に努めていきたい。国の2分の1の補助もあるので多胎児を妊娠した妊婦へ追加で受診する健康診査の費用を補助して、多胎妊婦の負担軽減も図っていきたい。R6年度妊婦に対する健康診査についての望ましい基準(超音波検診4回)まで事業を拡充した。R5、8から妊産婦の検診時の交通費の支援がスタートして、本市の基準で拡充をはかっている。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	産後ケア事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No. (133)		II 豊かな福祉社会の実現を目指す		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和5年度主な歳出名称 産後ケア事業委託料	当初予算額 495
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	1					
決算	63					

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等			
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)		
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 分娩施設退院後から一定の期間、病院において助産師等の看護職が中心となり、母子に対して母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育むことにより、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援することで、産後うつ病や育児不安、児童虐待などの問題を未然に防ぐことを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・県医師会、助産師会と委託契約 ・利用相談、事業説明、利用意向確認、申請受理 ・承認、不承認審査、予約確定、通知 ・キャンセルや変更の把握 ・利用料の支払、利用者アンケートの実施</p>	R3	乳児訪問や産婦健診等から、支援が必要な妊婦を早期に把握し、産後ケアの利用につなげることができた。(11回・実2人) デイサービス型 (13回・実7人)	R3計画 495	247		248
			当初予算 495	247		248
			決算額 667	247		420
	R4	乳児訪問や産婦健診等から、支援が必要な妊婦を早期に把握し、産後ケアの利用につなげることができた。(8回・実4人) デイサービス型 (3回・実1人)	R4計画 693	346		347
			当初予算 495	247		248
			決算額 375	247		128
	R5	乳児訪問や産婦健診等から、支援が必要な妊婦を早期に把握し、産後ケアの利用につなげることができた。(11回・実4人) デイサービス型 (6回・実4人)	R5計画 693	346		347
			当初予算 495	247		248
			決算額 420	247		173
	R6		R6計画 693	346		347
			当初予算			
			決算額			
	R7		R7計画 693	346		347
			当初予算			
			決算額			
R3～R7合計			計画額 3,267	1,631		1,636
			当初予算 1,485	741		744
			決算額 1,462	741		721

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 産後ケア利用者	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	人	目標値	3	5	5	5
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	9	5	5	
	2 産後ケア利用医療機関	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	箇所	目標値	3	3	3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	9	4	6	
						% 達成率	300	100	100	
D 成果指標	1 利用満足度	<input type="checkbox"/> 総合計画		2	人	目標値	3	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	9	5	5	
	2 -	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		2	%	達成率	300	100	100	
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
						実績値				
						% 達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	21点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点
			21点
			25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>乳児訪問や産婦健診等から、支援が必要な妊婦を早期に把握し、産後ケアの利用につなげることができた。市内に利用出来る産婦人科がなくなったので、その対策等今後検討していく必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>産後ケアを必要とする母子に対し、心身のケアや育児のサポート等の産後ケアの利用につなげることができた。市内に利用出来る産婦人科がなくなったので、その対策等今後検討していく必要がある。R6は助産師会と協議してアウトリーチ型を拡充している。</p>
--	--

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	産婦健診事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額 妊婦乳児健診委託料 1,500 妊婦乳児健診助成金 50 手数料 28
会計	一般	施策 3 結婚・出産・子育て支援の充実		
款	3	施策展開 ①子育て支援サービスを充実する		
項	3	後期基本計画 42 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
目	1		期間 年度～年度	
決算	63			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 産婦の産後うつや自殺予防、新生児への虐待予防等を図るため、産後2週間・産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査による費用を助成することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・国保連、助産所へ委託料、手数料の支払事務 ・償還払いの処理</p>	R3	地域における全ての産婦を対象に、産後2週間、産後1か月の産婦健康診査2回分に係る費用について、助成を行った。産婦健康診査の結果報告から、母体の精神状態の把握等を行い、支援が必要と判断される産婦に対し、事業を実施した。	R3計画 1,885	942			943
			当初予算 1,885	942			943
			決算額 1,050	925			125
	R4	全ての産婦を対象に、産後2週間、産後1か月の産婦健康診査2回分に係る費用について、助成を行った。産婦健康診査の結果報告から、母体の精神状態の把握等を行い、支援が必要と判断される産婦に対し事業を実施した。2週間89名・1ヶ月100名	R4計画 1,783	891			892
			当初予算 1,681	800			881
			決算額 940	800			140
	R5	全ての産婦を対象に、産後2週間、産後1か月の産婦健康診査2回分に係る費用について、助成を行った。産婦健康診査の結果報告から、母体の精神状態の把握等を行い、支援が必要と判断される産婦に対し事業を実施した。222件	R5計画 1,783	891			892
			当初予算 1,578	775			803
			決算額 1,110	775			335
	R6		R6計画 1,681	841			840
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 1,681	841			840	
		当初予算					
		決算額					
		R3～R7合計	計画額 8,813	4,406		4,407	
			当初予算 5,144	2,517		2,627	
			決算額 3,100	2,500		600	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 市内の産婦人科との定期連絡会開催数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	
					実績値	8				
	2 産婦健診受診数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	240	240	220	220	210
					実績値	210	189	222		
D 成果指標	1 産婦人科からの情報提供数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	5	5	5	5	5
					実績値	17	10	23		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	340	200	460		
					目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		23点	23点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 産婦健康診査2回分に係る費用について、助成を行った。産婦健康診査の結果報告から、母体の精神状態の把握等を行い、支援が必要な産婦の把握につながっていた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 産婦健康診査を2回実施し、実施機関から結果報告を受けて、支援が必要な産婦の把握ができた。支援が必要な産婦の把握につながっていた。今後産婦健診時に乳児の1ヶ月検診も拡充を検討していきたい。
--	---

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	幼児療育支援事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (131)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する				
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1			期間	年度	年度	
決算	63						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 療育機関受診や訓練を必要とする児は多く、訓練まで待機期間が長かったり、枠がなく家庭でそのまま対応しているケースも多くある。療育機関が対応できない中、地域で少しでも療育支援を始めていくため。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・幼児療育参加者の予約受付、調整 ・事業出務者へ担当ケースについて情報提供、連絡調整 ・幼児療育支援事業の実施 ・出務謝礼金、実費弁償の支払事務</p>	R3	きらきら教室を年4回実施、3歳児クラスの子どもとその保護者に園や保健師より声をかけてもらい22名(実11名)の参加があった。作業療法士より参加者全員に助言をもらった。教室に年2回以上の参加者は4名いた。	R3計画 325 当初予算 325 決算額 194				325	
	R4	きらきら教室を年8回実施、3歳児クラスの子どもとその保護者に園や保健師より声をかけてもらい99名の参加があった。作業療法士より32名に助言をもらった。プレ授業は市内すべての小学校によびかけて86名参加し、作業療法士から37名の方がアドバイスをもらった。	R4計画 447 当初予算 406 決算額 372				447	
	R5	きらきら教室を年9回実施、3歳児クラスの子どもとその保護者に園や保健師より声をかけてもらい100名の参加があった。作業療法士より39名に助言をもらった。プレ授業は市内すべての小学校によびかけて97名参加し、作業療法士から36名の方がアドバイスをもらった。	R5計画 447 当初予算 770 決算額 528				447	
	R6		R6計画 447 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 447 当初予算 決算額				447	
	R3～R7合計			計画額 2,113 当初予算 1,501 決算額 1,094				2,113 1,501 1,094

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ミニ児童発達・プレ授業体験参加者	<input type="checkbox"/> 総合戦略		人	目標値	30	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	58	185	197		
	2 個別相談対象者	<input type="checkbox"/> 総合戦略		件	達成率	193.3	185	197		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			目標値	20	20	60	70	80
D 成果指標	1 医療機関等への受診期間月数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		月	実績値	1				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	20	—			
	2 —	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	5点	5点
		24点	25点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
幼児・療育支援事業を実施することにより、保護者が作業療法士から個別のアドバイスをもらえた。今後は幼児教育アドバイザー等を中心に、就学前後の切れ目のない支援のために拡充しながら続けていきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度から新規の事業としてスタートし事業効果は高いと感じます。きらきら教室についても作業療法士さんからの助言をもらい、プレ授業についても日頃から子どもの様子に周囲から指摘をうけ精神的にきつい思いをしていた保護者が作業療法士さんから個別のアドバイスをもらえた。今後は教育委員会と連携して一緒に、就学前後の切れ目のない支援のために拡充しながら続けていきたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	支援対象児童等見守り強化事業	実施計画事業	支援対象児童等見守り強化事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (130)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和5年度主な歳出名称 支援対象児童等見守り強化事業補助金 当初予算額 4,550
会計	一般	施策 3 結婚・出産・子育て支援の充実		
款	3	施策展開 ①子育て支援サービスを充実する		
項	3	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当		
目	1		期間 年度～年度	
決算	63			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まる恐れがあることを踏まえ、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなげることができる体制の強化を推進するため、子どもの居宅を訪問するなどし、食事の提供等を通じた子どもの見守り体制を強化する。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・弁当の提供、子ども等の状況の把握(週2回) ・情報提供(月1回) ・配食の連絡調整	R3	子ども食堂と連携して、週2回の食事の提供を行い、子どもの状況把握を行った。年間99日、1日コロナのため臨時に中止にした。要対協の構成メンバーにいた子ども食堂と相互連携し、毎月情報共有をし、地域における子どもの見守り体制の強化を支援した。	R3計画 5,950	5,950			
	当初予算	5,950	5,950				
	決算額	4,370	4,370				
	R4	子ども食堂と連携して、週2回の食事の提供を行い、子どもの状況把握を行った。要対協の構成メンバーにいた子ども食堂と相互連携し、毎月情報共有をし、地域における子どもの見守り体制の強化を支援した。	R4計画 2,016				2,016
	当初予算	4,550	3,033			1,517	
	決算額	5,950	3,761			2,189	
	R5	子ども食堂と連携して、週2回の食事の提供を行い、子どもの状況把握を行った。要対協の構成メンバーにいた子ども食堂と相互連携し、毎月情報共有をし、地域における子どもの見守り体制の強化を支援した。	R5計画 2,016				2,016
	当初予算	4,550	3,791			759	
決算額	5,951	3,761			2,190		
R6		R6計画 2,016				2,016	
当初予算							
決算額							
R7		R7計画 2,016				2,016	
当初予算							
決算額							
R3～R7合計			計画額 14,014	5,950		8,064	
			当初予算 15,050	12,774		2,276	
			決算額 16,271	11,892		4,379	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 週2回の食事の提供	<input type="checkbox"/> 総合戦略	60	回	目標値	100	50	50	50	50	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	99	100	89			
					%	達成率	99	200	178		
					世帯	目標値	800	800	800	800	800
D 成果指標	1 子どもの見守りのための食事の提供	<input type="checkbox"/> 総合戦略	食	%	目標値	3,500	4,000	4,000	4,000	4,000	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3,351	3,949	3,557			
					%	達成率	95.7	98.7	88.9		
					食	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	22点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点
			23点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 子ども食堂と連携して、週2回の食事の提供を行い、子どもと家庭の状況把握を行い情報共有を行った。今後においても、地域における子どもの見守り体制の強化を支援を図りたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 要保護児童対策協議会の支援対象児童として登録されている子どもの居宅を訪問し、状況の把握や、食事の提供を行うことで、生活環境の把握ができ、養育支援訪問事業等で、家事援助等の支援に結ぶことが出来た。支援が必要であるにも関わらず行政の支援につなげていない家庭など、継続的な関わりが必要な家庭に対し食事を提供することで保護者が支援を受けやすくなった。今後はアウトリーチ型以外に居場所型も委託して、中学生の居場所づくりと学習支援に拡充していきたい。
--	--

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	出産・子育て応援交付金事業	実施計画事業	出産・子育て応援交付金事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (133)		個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	子育て応援金	21,500
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実	きらきら子育て応援金システム改修委託料	2,000
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する	消耗品費	20
目	1	後期基本計画	42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	手数料	16
決算	63				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済的負担を軽減する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 妊娠届出後に妊婦1人当たり5万円、出産届出後に子ども1人当たり10万円(うち市独自事業分5万円)を支給する。</p>	R3		R3計画				
	R4	令和4年4月以降に妊娠出産した人に166人、出産した人82人に、きらきら子育て応援金を給付した。	当初予算				
	R5	令和5年4月以降に妊娠した人106人、出産した人118人に、きらきら子育て応援金を給付した。	決算額				
	R6		R4計画				
	R7		当初予算	16,750			16,750
	R3 ~ R7 合計		決算額	12,500	10,332		2,168
			R5計画				
			当初予算	23,548	13,666		9,882
			決算額	18,229	11,974		6,255
			R6計画	18,045	10,000		8,045
		当初予算	18,045	10,000		8,045	
		決算額					
		R7計画	2,016			2,016	
		当初予算					
		決算額					
		計画額	20,061	10,000		10,061	
		当初予算	58,343	23,666		34,677	
		決算額	30,729	22,306		8,423	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 妊娠時の母子手帳交付	母子手帳交付者数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	回	目標値		100	100		
					実績値		118	106		
					% 達成率		118	106		
D 成果指標	1 出生後の赤ちゃん訪問	赤ちゃん訪問件数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	世帯	目標値		100	100		
					実績値		115	118		
					% 達成率		115	118		

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	5点	24点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 出産給付に関しては、市の単独補助を上乗せして給付しており、受給者から大変喜ばれている。伴奏型相談支援と合わせて、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりのために必要な事業である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 伴走型相談支援及び出産子育て応援交付金は、子育て応援券を廃止して、出産後は市独自の上乗せ分も入れて給付しており、経済的な軽減を図る子育て施策として必要と思う。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	放課後児童健全育成事業	細事業	放課後子どもプラン推進事業	実施計画事業	放課後児童健全育成事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	---------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (132)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 放課後児童健全育成事業委託料 会計年度任用職員報酬 費用弁償(会計年度任用職員分) 期末手当	当初予算額 122,031 9,135 928 1,200
款	3	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
項	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する			
目	1	後期基本計画	42 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	65					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や長期休みに適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る事業。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 委託または直営により放課後児童健全育成事業を行う。</p>	R3	13か所の放課後児童クラブで634人の登録児童を受入れを行った。	R3計画	103,397	68,904	29,200	5,293	
			当初予算	103,397	68,904	29,200	5,293	
			決算額	103,014	65,530	28,400	9,084	
	R4	13か所の放課後児童クラブで591人の登録児童を受入れを行った。	R4計画	116,000			116,000	
			当初予算	118,461	78,962	34,400	5,099	
			決算額	122,157	71,636	31,500	19,021	
	R5	13か所の放課後児童クラブで606人の登録児童を受入れを行った。	R5計画	122,000			122,000	
			当初予算	137,736	91,808	38,600	7,328	
			決算額	123,217	72,625	29,800	20,792	
	R6		R6計画	141,895	92,932	38,000	4,800	6,163
			当初予算	141,895	92,932	38,000	4,800	6,163
			決算額					
	R7		R7計画	134,000			134,000	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	617,292	161,836	67,200	4,800	383,456
			当初予算	501,489	332,606	140,200	4,800	23,883
			決算額	348,388	209,791	58,200	31,500	48,897

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 放課後児童クラブ施設数 放課後児童クラブの施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	13	か所	目標値	13	13	13	13	13
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	13	13	13		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標	1 登録児童数 年間の登録児童数	<input type="checkbox"/> 総合計画	651	人	目標値	550	550	550	500	500
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	634	549	606		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	115.3	99.8	110.2		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	20点	21点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 核家族化や共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの需要は高まっており、放課後や長期休暇に安心して児童を預けられることで保護者の負担軽減に繋がることから必要な事業である。安定的なクラブ運営ができるよう支援員や補助員の確保に努める必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 保護者の就労等により、放課後児童クラブの重要性が高まっている。放課後や長期休暇に適切な遊びや生活の場を与えることができたことで、一定の成果を上げている。今後においては、支援員や補助員の確保について努めていかなければならない。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	放課後児童健全育成事業	細事業	放課後子どもプラン推進事業	実施計画事業	放課後児童クラブ巡回派遣事業委託事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	---------------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No. (132)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 放課後児童クラブ巡回派遣事業委託料	当初予算額 312	
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する				
項	3	施策展開					
目	1	後期基本計画	42 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	65						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 放課後児童クラブへの作業療法士による巡回派遣を実施し、支援を担当する職員や児童の保護者に対し、障がいや特性の早期把握、早期対応のための助言等の支援を行う事業。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 放課後児童クラブを対象に希望調査を行い、巡回アドバイザーを派遣する。</p>	R3	6クラブに対し巡回派遣を行い、1クラブ当たり平均25人の児童が参加した。	R3計画	216	108		108	
				当初予算	216	108		108
				決算額	144	96		48
	R4	7クラブに対し巡回派遣を行い、1クラブ当たり平均25人の児童が参加した。	R4計画	216	108		108	
				当初予算	216	108		108
				決算額	156	90		66
	R5	13クラブに対し巡回派遣を行い、1クラブ当たり平均26人の児童が参加した。	R5計画	216	108		108	
				当初予算	312	156		156
				決算額	312	156		156
	R6		R6計画	312	156		156	
				当初予算	312	156		156
				決算額				
	R7		R7計画	216	108		108	
				当初予算				
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	1,176	588		588	
			当初予算	1,056	528		528	
			決算額	612	342		270	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 派遣事業の実施回数	巡回派遣の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	5	件	目標値	8	8	8	8	8
						実績値	6	7	13		
						% 達成率	75	87.5	162.5		
D 成果指標	1 参加児童数	1クラブ当たりの平均参加児童数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	28	人	目標値	30	30	30	30	30
						実績値	25	25	26		
						% 達成率	83.3	83.3	86.7		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	17点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	
		25点	23点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 全てのクラブに作業療法士を派遣することができた。支援員や保護者等に対し障がいや特性の早期発見、早期対応の助言等を行うため、必要な事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 放課後児童クラブで支援を有する子どもが多く、支援員等が作業療法士のアドバイザーをもらって支援を有する子どものかかわりを学ぶことができる。今後も必要な事業である。
---	--

事業	放課後児童健全育成事業	細事業	放課後子どもプラン推進事業	実施計画事業	保護者負担金減免事業補助事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	---------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (132)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実				
款	3	施策展開	①子育て支援サービスを充実する				
項	3	後期基本計画	42 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1	決算	65	期間	年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 放課後児童クラブを利用する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、保護者負担金の一部を助成することにより、円滑な放課後児童クラブの利用促進を図り、児童の健全育成を支援することを目的とする事業。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 保護者負担金の減免となる保護者へ助成する。</p>	R3	37人の対象児童に667,478円の保護者負担金の減免を行った。	R3計画	864	432		432	
				当初予算	864	432		432
				決算額	668	333		335
	R4	31人の対象児童に563,300円の保護者負担金の減免を行った。	R4計画	864	432		432	
				当初予算	864	432		432
				決算額	563	281		282
	R5	29人の対象児童に472,250円の保護者負担金の減免を行った。	R5計画	864	432		432	
				当初予算	828	414		414
				決算額	472	232		240
	R6		R6計画	1,200	600		600	
				当初予算	1,200	600		600
				決算額				
	R7		R7計画	864	432		432	
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	4,656	2,328		2,328	
			当初予算	3,756	1,878		1,878	
			決算額	1,703	846		857	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 減免対象児童数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	39	人	目標値	45	45	45	45	45
					実績値	37	31	29		
					% 達成率	82.2	68.9	64.4		
D 成果指標	1 減免額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	622,715	円	目標値	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000
					実績値	667,478	563,300	472,250		
					% 達成率	95.4	80.5	67.5		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	17点	4点	18点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 保護者の経済的負担を軽減することで、放課後児童クラブの利用促進及び放課後健全育成の推進に寄与すると思われる。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 経済的な負担軽減を図るために、今後も必要な事業と思われる。
---	---

事業	教育・保育施設運営事業	細事業	教育・保育施設運営事業	実施計画事業	教育・保育施設運営事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (134)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 保育所運営費	当初予算額 1,053,140
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2					
決算	68					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 教育・保育事業を実施するため管内・管外の教育・保育施設へ運営費を交付する。これにより、教育・保育サービスの充実を図り、子育てしやすい環境整備を整える。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 教育・保育施設運営事業や大分にここに保育支援事業に係る経費を各保育所等に給付する。</p>	R3	教育・保育を必要とする小学校就学前の子どもを、市内15園、市外7園に委託し教育・保育を行った。	R3計画	1,130,728	807,577	17,112	4,517	301,522
			当初予算	1,130,728	807,577	17,112	4,517	301,522
			決算額	1,029,462	753,961	10,176	6,460	258,865
	R4	教育・保育を必要とする小学校就学前の子どもを、市内15園、市外14園に委託し教育・保育を行った。	R4計画	1,120,439	799,501	17,100	4,471	299,367
			当初予算	1,040,487	740,391		6,576	293,520
			決算額	1,045,241	767,913		7,571	269,757
	R5	教育・保育を必要とする小学校就学前の子どもを、市内15園、市外13園に委託し、教育・保育を行った。	R5計画	1,109,233	791,505	17,100	4,426	296,202
			当初予算	1,053,140	739,336		8,059	305,745
			決算額	1,066,547	771,209		8,083	287,255
	R6		R6計画	1,056,799	735,481		253	321,065
			当初予算	1,056,799	735,481		253	321,065
			決算額					
	R7		R7計画	1,087,155	775,753	17,100	4,337	289,965
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	5,504,354	3,909,817	68,412	18,004	1,508,121
			当初予算	4,281,154	3,022,785	17,112	19,405	1,221,852
			決算額	3,141,250	2,293,083	10,176	22,114	815,877

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 委託施設数	入所を委託する市内外の教育・保育施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	24	か所	目標値	20	20	20	20	20
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	22	29	28		
		% 達成率			110	145	140			
D 成果指標 1 待機児童	待機児童数(4月1日時点)	<input type="checkbox"/> 総合計画		人	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	5点	24点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	5点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	5点	
		19点	24点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 教育・保育ニーズに対応できるよう、引き続き教育・保育の量と提供体制の適正化に努める必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 教育保育を必要とする就学前の子どもを教育・保育するため、内・外の教育・保育施設の運営を委託しサービスの充実を図り子育てしやすい環境整備を整えることに一定の成果を上げている。今後においては、教育・保育ニーズに対応できるよう、量と提供体制の適正化を図る必要がある。
--	--

事業	児童館管理運営事業	細事業	児童館運営事業	実施計画事業	児童館運営事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (132)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 大飼ふれあい児童館運営業務委託料 朝地児童館指定管理委託料 光熱水費	当初予算額 8,163 3,921 2,677 2,790
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する			
項	3	施策展開	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	4			期間	年度	年度
決算	72					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 児童、乳幼児及びその保護者相互の交流の場をつくり、母親クラブ等の地域組織活動の育成を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 児童館の運営を委託や直営により行う。</p>	R3	5か所の児童館で延べ11,450人に対し、児童等の遊びの場や親子の交流の場を提供した。	R3計画 26,427	1,754			24,673
	当初予算	26,427	1,754			24,673	
	決算額	24,986	1,527			23,459	
	R4	5か所の児童館で延べ12,053人に対し、児童等の遊びの場や親子の交流の場を提供した。	R4計画 26,427	1,754			24,673
	当初予算	25,773	3,174			22,599	
	決算額	25,538	3,401			22,137	
	R5	5か所の児童館で延べ11,186人に対し、児童等の遊びの場や親子の交流の場を提供した。	R5計画 26,427	1,754			24,673
	当初予算	23,433	250			23,183	
	決算額	19,409				19,409	
	R6		R6計画 19,509	250			19,259
	当初予算	19,509	250			19,259	
	決算額						
	R7		R7計画 26,427	1,754			24,673
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 125,217	7,266		117,951	
			当初予算 95,142	5,428		89,714	
			決算額 69,933	4,928		65,005	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 児童館管理運営事業の継続	児童館施設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	5	か所	目標値	5	5	5	5	5
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5	5	5		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標 1 児童館利用人数	児童館利用人数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	11,422	人	目標値	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	11,450	12,053	11,186		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	99.6	104.8	97.3		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	3点	3点
		18点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 千歳小中学校の建て替えに伴い、これまで同じ場所で行っていた放課後児童クラブが新校舎に併設されたこと、児童館利用者の減少等により、令和5年度末で千歳児童館が閉館となった。大野児童館についても閉館の方針を示したが、その後の保護者等との協議の結果、継続する方向となった。朝地児童館については、指定管理期間終了後(令和7年度以降)のクラブと館のあり方について、慎重に検討する必要がある。三重児童館と犬飼児童館については、年間を通じて一定の利用があるため、子どもと保護者の交流の場として継続することが望ましい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 3月末で千歳ふれあい児童館が廃館となった。残る大野児童館と朝地児童館も利用者数だけみると今後休館・廃館の方向と思われるが、両児童館とも放課後児童クラブとの兼ね合いで利用者数と思われる。子どもの居場所として協議を重ね児童館の今後のあり方を検討していきたい。
---	---

事業	児童館管理運営事業	細事業	連携型地域子育て支援拠点事業	実施計画事業	連携型地域子育て支援拠点事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (132)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指す	個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 費用弁償(会計年度任用職員分) 消耗品費	当初予算額 1,576 160 70
会計	一般	施策 3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策展開 ①子育て支援サービスを充実する			
項	3	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	4		期間	年度	年度
決算	72				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 児童、乳幼児及びその保護者相互の交流の場をつくり、母親クラブ等の地域組織活動の育成を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 児童館内に親子が集う場を設け子育て支援のための取組を実施する。</p>	R3		R3計画				
	R4	子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行った。	当初予算				
	R5	子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行った。	決算額				
	R6		R4計画				
	R7		当初予算				
	R3 ~ R7 合計		決算額				
				R5計画			
			当初予算	1,806	1,202		604
			決算額	1,677	1,164		513
			R6計画	1,919	1,278		641
			当初予算	1,919	1,278		641
			決算額				
			R7計画	26,427	1,754		24,673
			当初予算				
			決算額				
			計画額	28,346	3,032		25,314
			当初予算	3,725	2,480		1,245
			決算額	1,677	1,164		513

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 連携型地域子育て支援拠点数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1	か所	目標値	1	1	1		
					実績値	1	1	1		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 利用人数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	2,500	2,500	2,500		
					実績値	2,273	2,653	1,632		
					% 達成率	90.9	106.1	65.3		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	21点	4点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方
「子育て支援センター」は、子育て相談や子育て情報の提供のほか、親子の交流の場を提供する総合的な子育て支援拠点である。出生数の減少や保護者の就労等により利用者の減少が見られるが、初めて子育てをする親の不安解消や保護者同士の情報交換を図る場として必要な事業である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
児童館との連携型の子育て支援の場は今後も必要と思われる。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
67001	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課長名	子育て支援課	係名	緒方保育園
-----	--------	----	-------

事業	公立教育・保育施設管理運営事業	細事業	公立教育・保育施設管理運営事業	実施計画事業	公立教育・保育施設管理運営事業	終了年度	なし
----	-----------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No. (135)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 給食調理業務委託料 会計年度任用職員報酬 賄材料費 光熱水費	当初予算額 18,903 18,159 7,157 2,877
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	3	施策	②保育サービスを充実する			
項	3	施策展開				
目	5	後期基本計画	42 P			
決算	73					

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 幼児期の教育・保育は人格形成の基盤と生涯にわたる学習の基礎を培う極めて重要なものであり、子どもたちへの質の高い教育・保育の実施に努めます。また、保護者や地域の子育て力の向上を支援するため、保育サービスの拡充を図ります。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・子どもの健全育成の支援 ・多様な保育サービスの充実</p>	R3	園児一人ひとりの発達状況に応じた保育・教育を実施した。また保護者や地域のニーズに応え、一時保育、延長保育、病後児保育事業を実施した。さらに、職員はスキルアップのための研修に参加した。
	R4	園児一人ひとりの発達状況に応じた保育・教育を実施した。また保護者や地域のニーズに応え、一時保育、延長保育、病後児保育事業を実施した。さらに、職員はスキルアップのための研修に参加した。
	R5	園児一人ひとりの発達状況に応じた保育・教育を実施した。また、保護者や地域のニーズに応え、一時保育、延長保育、病後児保育事業を実施した。さらに職員はスキルアップのための研修に参加した。
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	国庫支出金	財源内訳 (単位:千円)			一般財源
		地方債	その他		
R3計画	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
当初予算	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
決算額	54,738	5,159	1,424	4,003	44,152
R4計画	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
当初予算	59,774	6,122		3,913	49,739
決算額	61,284	3,877		5,147	52,260
R5計画	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
当初予算	138,937	17,403	63,500	4,849	53,185
決算額	135,554	6,038	63,500	7,207	58,809
R6計画	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
当初予算					
決算額					
R7計画	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
当初予算					
決算額					
計画額	310,100	29,520	9,900	21,390	249,290
当初予算	260,731	29,429	65,480	13,040	152,782
決算額	251,576	15,074	64,924	16,357	155,221

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 入所者数	年度末(3月31日時点)の在園児数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	81	人	目標値	80	80	80	80	80
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	78	77	73		
		%			達成率	97.5	96.3	91.3		
D 成果指標 1 「安心して子どもを預けることができる」と回答した割合	補完保育施設アンケートの「保育園のこと」に関する項目で、「安心して子どもを預けることができる」の設問で、A(とてもそう思う)、B(そう思う)と回答した割合。※回答は、A(とてもそう思う)、B(そう思う)、C(あまりそう思わない)、D(そう思わない)、E(よくわからない)、F(該当しない)の6択	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	96.5	100	100		
		%			達成率	96.5	100	100		
2 「子ども一人一人を理解し、大切に保育している」と回答した割合	補完保育施設アンケートの「保育園のこと」に関する項目で、「子ども一人一人を理解し、大切に保育している」の設問で、A(とてもそう思う)、B(そう思う)と回答した割合。※回答は、A(とてもそう思う)、B(そう思う)、C(あまりそう思わない)、D(そう思わない)、E(よくわからない)、F(該当しない)の6択	<input type="checkbox"/> 総合戦略	91.2	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	91.2	97.9	97.6		
		%			達成率	91.2	97.9	97.6		

E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	20点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
在園児数や各種保育サービスの利用者数は、少子化等の影響で減少しているが、保護者と面談や随時情報共有を行う等、連携を図りながら、園児一人ひとりの発達状況に応じた保育・教育や、核家族化や保護者の就業形態の多様化等に対応した各種事業が実施できた。特に近年は、支援が必要な子どもが増え、保育教諭は研修等を受講しスキルアップに努めながら、関係機関と連携を取り合い、個々の発達状況・特性にあった保育・教育を実施している。また、食育にも力を入れており、園庭で栽培した野菜を給食の食材の一部として使用することで、園児は野菜が育つ様子や収穫した野菜が給食へと変わっていく過程を学び、食を身近に感じ興味を深めている。また、地域住民の方の協力によりも餅つきや収穫の喜びを味わうなど地域の方との交流も行っている。さらに、毎月1回避難訓練を実施し、園児は災害から安全に避難し身を守る方法を学んでいる。今後も様々な経験を通じて豊かな人間性をもった園児の育成を目指していきたい。	公立教育保育施設として、関係機関と連携を取り合い、個々の発達状況・特性にあった保育・教育を実施し、一定の成果を上げている。今後においても、職員のスキルアップを図り、保護者のニーズに応えながら、地域とともに豊かな人間性をもった園児の育成に努めていかなければならない。支援が必要な子どもの受け入れや、1人ひとりの発達を把握し早期に支援につなぐため、医療的ケアが必要な子どもの受け入れ等も推進していきたい。

I 令和7年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

事業	公立教育・保育施設管理運営事業	細事業	地域子育て支援拠点事業	実施計画事業	地域子育て支援拠点事業	終了年度	なし
----	-----------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (129)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画		令和5年度主な歳出名称		当初予算額			
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実	個別計画名	期間 R2年度～R6年度	会計年度任用職員報酬			1,235		
款	3	施策	①子育て支援サービスを充実する	期間	年度～年度	社会保険料(会計年度任用職員分)			164		
項	3	施策展開		期間	年度～年度	期末手当			206		
目	5	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	費用弁償(会計年度任用職員分)	124
決算	73										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的></p> <p>地域の子育て家庭に対する育児支援を行うため、身近な地域で、育児不安についての相談・助言その他の援助や、親子の交流の場の提供を目的に、子育て支援センターの運営に努めます。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <ul style="list-style-type: none"> 園行事への参加 誕生会 親子クッキング 茶話会 避難訓練 父親支援事業 遠足 育児相談 家庭教育学級 	R3	地域における子育ての拠点として、在宅親子や出産予定がある夫婦等の交流の場づくりや、育児に関する情報提供や育児相談等が実施できた。	R3計画	1,845	1,230			615	
				当初予算	1,845	1,230			615
				決算額	1,620	1,054			566
	R4	地域における子育ての拠点として、在宅親子や出産予定がある夫婦等の交流の場づくりや、育児に関する情報提供や育児相談等が実施できた。	R4計画	1,845	1,230			615	
				当初予算	1,914	1,276			638
				決算額	1,560	1,025			535
	R5	地域における子育ての拠点として、在宅親子や出産予定がある夫婦等の交流の場づくりや、育児に関する情報提供・育児相談等が実施できた。	R5計画	1,845	1,230			615	
				当初予算	2,007	1,340			667
				決算額	1,684	1,161			523
	R6		R6計画	2,167	1,444			723	
				当初予算	2,167	1,444			723
				決算額					
	R7		R7計画	1,845	1,230			615	
				当初予算					
			決算額						
		R3～R7合計	計画額	9,547	6,364			3,183	
			当初予算	7,933	5,290			2,643	
			決算額	4,864	3,240			1,624	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 子育て支援センター開所日数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	213	日	目標値	240	240	240	240	240
					実績値	229	242	177		
					% 達成率	95.4	100.8	73.8		
					目標値					
D 成果指標	1 地域子育て支援拠点事業の充実	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1,253	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
					実績値	1,469	703	914		
					% 達成率	97.9	46.9	60.9		
					目標値					
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
					目標値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	4点
		19点	20点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
<p>新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、利用者数は前年度に比べると増加した。出産予定者の利用や孤立しがちな出産後の利用者の交流の場づくりにより、子育てに関する情報提供・相談対応等が実施できた。</p> <p>市内の子育て支援センター等が協力しいながら、利用したことがない在宅親子が気軽に立ち寄ってもらえるような環境づくりを行うほか、保健師の新生児訪問や乳幼児健診の際等に更に周知に努めていきたい。また、主任児童委員等にも、地域の在宅親子へ支援センター利用の声をお願いしていく。</p>	<p>育児不安についての相談・助言等援助や親子交流の場の提供を行い、子育て家庭の支援として一定の成果を上げている。今後は、新規利用者を増やすとともに、他の地域の子育て支援センターと事業を行いながら連携を強化し充実した事業展開を行っていく。</p>

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	生活保護総務事業	細事業	生活保護適正実施推進事業	実施計画事業	診療報酬明細書点検等充実事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (162)		個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	レセプト点検業務委託料	1,070
款	3	施策	6 社会保障の充実	手数料	24
項	4	施策展開	①低所得者福祉を充実する		
目	1	後期基本計画	48 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	74				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 診療報酬明細書の点検強化等を実施することにより、医療扶助の適正化を図ることを目的とする。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・点検業務を委託し、月点検、縦覧点検を実施する。	R3	点検業務を委託し、月点検・縦覧点検を実施した。	R3計画 1,146	859			287
			当初予算 1,146	859			287
			決算額 997	757		240	
	R4	点検業務を委託し、月点検・縦覧点検を実施した。	R4計画 1,146	859			287
			当初予算 1,094	819			275
			決算額 910	682		228	
	R5	点検業務を委託し、月点検・縦覧点検を実施した。	R5計画 1,146	859			287
			当初予算 1,094	819			275
			決算額 881	778		103	
	R6		R6計画 1,146	859			287
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,146	859			287
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 5,730	4,295		1,435	
			当初予算 3,334	2,497		837	
			決算額 2,788	2,217	240	331	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 点検実施	月点検実施月数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12	月	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	12	12	12		
	% 達成率	100	100	100							
2 点検実施	縦覧点検実施月数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	月	目標値	4	4	4	4	4	
					実績値	4	4	4			
					% 達成率	100	100	100			
D 成果指標	1 点検件数	月点検件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12,163	件	目標値					
						実績値	11,334	10,908	10,668		
	% 達成率										
2 点検件数	縦覧点検件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3,620	件	目標値						
					実績値	3,383	3,152	2,918			
					% 達成率						

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			16点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 レセプトを活用し、健康管理の対象者、頻回受診者、後発医薬品の使用割合が低い者、重複調剤の防止が徹底されていない者、他法他施策を活用できる者などを適切な支援につなげるため継続が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 健康管理の対象者等レセプトを活用し、適切な支援につなげるため継続が必要。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	生活保護総務事業	細事業	生活保護受給者就労支援事業	実施計画事業	生活保護受給者就労支援事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (162)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	6 社会保障の充実					
款	3	施策展開	①低所得者福祉を充実する					
項	4	後期基本計画	48 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1							
決算	74							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 被保護者の就労の支援に関する問題について、被保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うことにより、被保護者の自立の促進を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・豊後大野市社会福祉協議会に委託し、生活保護現業員と共に対象者を訪問し、情報提供や就労活動の支援を行う。</p>	R3	豊後大野市社会福祉協議会に委託し、生活保護現業員と共に対象者の訪問を実施した。	R3計画	4,642	3,481		1,161
			当初予算	4,642	3,481		1,161
			決算額	1,762	1,338	424	
	R4	豊後大野市社会福祉協議会に事務委託し、生活保護現業員と共に対象者の訪問を実施した。	R4計画	4,642	3,481		1,161
			当初予算	4,569	3,426		1,143
			決算額	1,654	1,240	414	
	R5	豊後大野市社会福祉協議会に事務委託により、就労支援体制を整えた。	R5計画	4,642	3,481		1,161
			当初予算	4,569	3,426		1,143
			決算額	3,974	3,426	548	
	R6		R6計画	4,642	3,481		1,161
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	4,642	3,481		1,161
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	23,210	17,405		5,805
			当初予算	13,780	10,333		3,447
			決算額	7,390	6,004	424	962

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 訪問支援 対象者への訪問支援の実施率	<input type="checkbox"/> 総合戦略	60	%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	60	60			
					達成率					
D 成果指標	1 就労達成 対象者の就労率	<input type="checkbox"/> 総合計画	25	%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	25	22			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
適正かつ有効な就労支援によって、就労や増収が実現し生活保護から脱却することを目標とするが、本事業の他にも手段(ハローワークが行う事業等)がある上に、就労に向けて課題を抱える者の増加や対象者の高齢化が進んでいることから、手法を見直したうえで継続が必要である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
適正かつ有効な就労支援によって、就労や増収が実現し生活保護から脱却することを目標とする。しかしながら、就労に向けて課題を抱える者の増加や対象者の高齢化が進んでいることから、手法を見直したうえで継続が必要である。

事業	生活保護総務事業	細事業	生活保護事務費	実施計画事業	生活保護事務事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (162)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間	生活保護システム使用料	3,860
款	3	年度	医療扶助オンライン資格確認導入業務委託料	3,124
項	4	年度	通信運搬費	971
目	1	年度	手数料	719
決算	74			

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 生活保護の適正な運営を確保することを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・収入資産調査の充実強化等による認定事務の適正化 ・職員の資質向上のための研修の実施 ・被保護者健康管理のため市の実施する基本健診の受診の勧奨 ・システムの維持管理</p>	R3	収入資産調査の充実強化により認定事務の適正化を図った。職員研修はコロナ禍により中止されたため不参加。	R3計画 7,719			1	7,718
			当初予算 7,719			1	7,718
			決算額 17,652				17,652
	R4	収入資産調査の充実強化により認定事務の適正化を図った。職員研修は4名が社会福祉主事資格認定課程を受講した。	R4計画 7,719			1	7,718
			当初予算 8,106			1	8,105
			決算額 13,264			1	13,263
	R5	収入資産調査の充実強化により認定事務の適正化を図った。職員研修は3名が社会福祉主事資格認定課程を受講した。	R5計画 7,719			1	7,718
			当初予算 12,332	3,304		1	9,027
			決算額 16,019	3,305		1	12,713
	R6		R6計画 7,719			1	7,718
		当初予算					
		決算額					
		R7計画 7,719			1	7,718	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 38,595			5	38,590
			当初予算 28,157	3,304		3	24,850
			決算額 46,935	3,305		2	43,628

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 収入資産調査	収入資産調査の実施率	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値				
						実績値	100	100	100	
	2 職員研修	職員研修参加率	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値				
						実績値		100	100	
D 成果指標	1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値				
						実績値				
						達成率				
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値				
						実績値				
						達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		20点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 生活保護事務の効率化と省力化をめざし、DX推進を行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 生活保護事務の効率化と省力化をめざし、DX推進を行う必要がある。
---	--

事業	食育推進事業	細事業	食育推進事業	実施計画事業	食育推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No. (113)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	第2次豊後大野市食育推進計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額				
会計	一般	政策	1 保健・医療サービスの充実		期間			H26年度～R5年度	食育推進事業委託料	455	
款	4	施策	①健康づくり活動を推進する		第3次豊後大野市食育推進計画			期間	R6年度～R17年度	食育推進協議会委員謝礼金	102
項	1	施策展開							消耗品費	40	
目	1								講師謝礼金	10	
決算	77	後期基本計画	38 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 生活習慣病など、市民一人ひとりが日常的に食生活を通じて、健康づくりに取り組むことができる</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・関係機関と連携しながら、食育推進協議会(年2回)食育作業部会(年2回)を開催し、食育計画の推進を図った。 ・人権、部落差別解消推進課の【男女共同市民のつどい】にて「食育キャンペーン」を実施し、参加者へ減塩レシピを配布した。 ・市民への啓発を目的にケーブルテレビや市報で食育の情報提供を行った。</p>	R3	・関係機関と連携しながら、食育推進協議会(年2回・内1回資料送付)食育作業部会(年3回・内1回資料送付)を開催し、食育計画の推進を図った。 ・人権、部落差別解消推進課の【男女共同市民のつどい】にて「食育キャンペーン」を実施し、参加者へ減塩レシピを配布した。 ・市民への啓発を目的にケーブルテレビや市報で食育の情報提供を行った。	R3計画	718			500	218
	当初予算	718			500	218		
	決算額	251			160	91		
	R4	・関係機関と連携しながら、食育推進協議会(年2回・内1回資料送付)食育作業部会(年2回・内1回資料送付)を開催し、食育計画の推進を図った。 ・人権、部落差別解消推進課の【男女共同市民のつどい】にて「食育キャンペーン」を実施し、参加者へ減塩レシピを配布した。 ・市民への啓発を目的にケーブルテレビや市報で食育の情報提供を行った。	R4計画	718			500	218
	当初予算	662			500	162		
	決算額	354			236	118		
	R5	・関係機関と連携しながら、食育推進協議会(年2回・8月・1月)食育作業部会(年2回・6月・1月)を開催し、食育計画の推進を図った。 ・人権、部落差別解消推進課の【男女共同市民のつどい】にて「食育キャンペーン」を実施した。野菜摂取等の情報提供の提示や、参加者へ減塩の方法など推進するための資料やグッズを約200名へ配布した。 ・市民への啓発を目的に市報で食育の情報提供を4回行った。	R5計画	718			500	218
	当初予算	620			450	170		
	決算額	464			353	111		
	R6		R6計画	718			500	218
	当初予算	548			434	114		
	決算額							
	R7		R7計画	718			500	218
	当初予算							
決算額								
R3～R7合計			計画額	3,590			2,500	1,090
			当初予算	2,548			1,884	664
			決算額	1,069			749	320

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 食生活改善推進協議会へ委託している【食育推進事業】への参加数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	251	人	目標値	300	1,000	1,000	1,000	1,000
					実績値	318	500	867		
					達成率	106	50	86.7		
D 成果指標	1 食育に関心を持っている人の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	80	%	目標値		95			
					実績値		77.6			
					達成率		81.7			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	／25点	／25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>毎年、食育推進協議会や作業部会で、活動を共有しながら方針について話し合い食育を推進している。今後も関係課や関係機関、団体と協力して市民への啓発を行う予定である。活動指標の食育推進事業への参加延べ人数については、令和5年度は、コロナが5類に移行したことにより、参加延べ人数も増えてきており、今後も感染対策をとりながら目標値を目指した事業を実施していきたい。</p> <p>第3次食育推進計画については、関係機関と連携しながら、食育推進協議会(年2回…8月・1月)食育作業部会(年2回…6月・1月)を開催し、食育計画の策定を行った。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>食育推進協議会や食育作業部会を実施し、関係課、関係機関と情報共有しながら第2次食育推進計画の推進を図るとともに、令和4年度に実施したアンケート調査結果をもとに検討を行い、第3次食育計画を策定した。今後も協議会や部会を実施し、関係課、関係機関と協働しながら第3次食育計画の推進を図っていく。また食育キャンペーンの実施や市報等による普及啓発等についても連携して実施し、市民一人ひとりが日常的に食生活を通じて、健康づくりに取り組むことができるよう取組を継続する。</p> <p>食生活改善推進協議会へ委託している食育推進事業は、各地域のサロン等において63回、867名の市民へ実施している。フレイル予防や生活習慣病予防の普及啓発事業として今後も継続する。</p>
---	--

事業	食育推進事業	細事業	食生活改善事業	実施計画事業	食生活改善事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (113)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	第2次豊後大野市食育推進計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	1 保健・医療サービスの充実		第3次豊後大野市食育推進計画 期間 R6 年度 ~ R17 年度	食生活改善推進協議会補助金	245
款	4	施策	①健康づくり活動を推進する			消耗品費	20
項	1	施策展開				講師謝礼金	12
目	1	後期基本計画	38 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	77						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的> 市民が主体的に健康づくりや生活習慣病の予防対策、健康管理に取り組み、生涯にわたり健康で豊かな人生を送ることができるよう、市民への食育の推進に取り組む。食育を推進する中心的なボランティア組織である、豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援と、新規会員の育成を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 市民が主体的に健康づくりや生活習慣病の予防対策、フレイル予防など、健康管理に取り組み、生涯にわたり健康で豊かな人生を送ることができるよう、市民への食育の推進に取り組んだ。食育を推進する中心的なボランティア組織である、豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援と、新規会員の育成を行った。</p>	R3	1. 豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援を行った。 ・食推協の各支部のリーダーを対象に研修を行う・自主研修の実施支援・総会及び交流会の開催支援 ・役員会の実施 2. 新規の豊後大野市食生活改善推進員の育成(食生活改善指導者講習会の実施)を行った。 ・講習会の周知(チラシ設置市報、HP)・講習会の開催(年10回・修了者11名)	R3計画 当初予算 決算額	352 352 269				352 352 269	
	R4	1. 豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援を行った。 ・食推協の各支部のリーダーを対象に研修を行う・伝達講習会の実施支援・総会及び交流会の開催支援 ・役員会の実施 2. 新規の豊後大野市食生活改善推進員の育成(食生活改善指導者講習会の実施)を行った。 ・講習会の周知(チラシ設置市報、HP)・講習会の開催(年10回・修了者4名)	R4計画 当初予算 決算額	352 277 275				352 277 275	
	R5	市民が主体的に健康づくりや生活習慣病の予防対策、フレイル予防など、健康管理に取り組み、生涯にわたり健康で豊かな人生を送ることができるよう、市民への食育の推進に取り組んだ。(地域守りや体操教室、総合高校家庭科授業、保育所歯科講話内、乳児教室、幼児健診ほか) 食育を推進する中心的なボランティア組織である、豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援(総会、各会議、役員研修会4回、支部研修会、交流会)と、新規会員の育成(10回)を行った。	R5計画 当初予算 決算額	352 277 275					352 277 275
	R6		R6計画 当初予算 決算額	352 277					352 277
	R7		R7計画 当初予算 決算額	352					352
	R3 ~ R7 合計		計画額 当初予算 決算額	1,760 1,183 819					1,760 1,183 819

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	5	回	目標値	4	5	5	5	5
					実績値	2	4	4		
	2 新規の豊後大野市食生活改善推進員の育成	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	人	目標値	8	10	10	10	10
					実績値	10	4	4		
D 成果指標	1 食育活動者の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	210	人	目標値	203	200	200	200	200
					実績値	203	187	180		
	2 各支部での伝達講習会開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	34	回	目標値	36	45	40	40	40
					実績値	17	40	40		
					達成率	47.2	88.9	100		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
食生活改善推進協議会の支援を行い、推進員が地域で積極的に活動できるように支援しており、食育の推進ができています。新規の推進員の育成にも力を入れ、令和5年度は4名の推進員を養成。今後も食育、健康づくりを推進するため事業の継続を必要とする。	食生活改善推進協議会の役員会や各種研修会の企画、実施をとおり、協議会活動の活性化や活動内容の充実支援をおこなった。また、令和6年度の協議会役員改選にあたり、協議会活動が円滑に継続可能となるよう支援をおこなった。新規の推進員の育成にも力を入れ、令和5年度は4名の推進員を養成した。今後も地域での食育、健康づくりを推進するため、健康づくりの住民組織である食生活改善推進協議会の活動支援を継続していく。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	精神保健事業	細事業	精神保健相談事業	実施計画事業	精神保健相談事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (114)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度 豊後大野市自殺対策行動計画 期間 H31 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				
款	4	施策	1 保健・医療サービスの充実				
項	1	施策展開	①健康づくり活動を推進する				
目	1	後期基本計画	38 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	78					臨床心理士出務謝礼金	219

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的></p> <p>・こころの悩みや精神障がいをもった方が、地域の中で安心して暮らせるよう、相談しやすい環境づくりをおこなう。</p> <p>・精神に関する病気になったときに、重症化しないで、早期に医療にかかることができるよう、啓発を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <p>○精神保健相談事業</p> <p>・市民の心の健康づくりに関する相談や精神障がい者の自立支援(回復・社会復帰)に向けての相談、訪問の実施</p> <p>・精神障がい者家族会への支援・うつ病等こころの健康に関する健康教室の実施</p>	R3	○精神保健相談事業 ・精神保健相談延261件・訪問指導延456件・電話相談延203件・電子メール相談7件 ・精神障がい者家族会への支援・アルコール依存症家族会と断酒会の支援を行った。	R3計画 229	229				
	R4	○精神保健相談事業 ・こころの相談会(毎月1回)12回 相談件数37件 ・保健師による精神保健相談延334人、訪問指導延232人、電話相談239人 ・精神障がい者家族会への支援・アルコール依存症家族会と断酒会の支援を行った。	R4計画 229	229				
	R5	○精神保健相談事業 ・こころの相談会(毎月1回)12回 相談件数27件 ・保健師による精神保健相談延213人、訪問指導延93人、電話相談249人 ・精神障がい者家族会への支援や、アルコール依存症家族会と断酒会の支援	R5計画 229	229				
	R6		R6計画 229	229				
	R7		R7計画 229	229				
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,145	1,145			
				当初予算 896	786			110
			決算額 639	530			109	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 精神保健相談を受けた件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	136	人	目標値	136	136	136	136	136	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	456	232	213			
					%	達成率	335.3	170.6	156.6		
	2 アルコール関連問題に関する健康教室開催数	<input type="checkbox"/> 総合戦略			回	目標値	7	7	7	7	7
<input type="checkbox"/> 個別計画		実績値	13	5		5					
		%	達成率	185.7		71.4	71.4				
D 成果指標	1 こころの相談会利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	30	人		目標値	30	31	32	33	34
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	34	37	27			
	<input type="checkbox"/> 個別計画	%			達成率	113.3	119.4	84.4			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値									
		<input type="checkbox"/> 個別計画	%	達成率							

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	15点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>臨床心理士による「こころの相談会」を毎月1回開催し、相談者の悩みを傾聴し、気持ちに寄り添う助言をしている。また、保健師も市民のこころの健康相談に対応している。相談窓口を周知するとともに、関係機関と連携した事業の継続が必要である。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>相談窓口を市民や関係者に広く知ってもらうため、こころの相談会と豊肥保健所が実施する精神保健相談の掲示物を作成し、医療機関や関係機関に配布し掲示を依頼している。本市においては高齢者の自殺が増加していることから、今後も民生委員や各種団体、市報等を通じ相談会の周知を行っていく必要がある。</p>
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	精神保健事業	細事業	自殺対策事業	実施計画事業	自殺対策事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No. (114)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	豊後大野市自殺対策行動計画 期間 H31 年度 ~ R5 年度 第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称		当初予算額
会計	一般	政策	1 保健・医療サービスの充実			自殺対策行動計画策定業務委託料	1,000	
款	4	施策	①健康づくり活動を推進する			会計年度任用職員報酬	741	
項	1	施策展開	後期基本計画 38 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			消耗品費	398	
目	1					自殺対策連絡協議会委員謝礼金	185	
決算	78							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 自殺に関する地域全体の意識関心を高め、自殺のない町を目指した住みやすい地域づくり、個別相談の支援体制などの充実を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ○普及開発事業：地域研修会(こころの健康教室)、自殺対策キャンペーン等の実施 ○連携強化：自殺対策連絡協議会・委員会(庁内所属長)、作業部会(関係課職員)、未遂者対応機関連絡会。 ○支援者育成：ゲートキーパー養成研修会等 ○相談体制の強化：こころのホットライン(電話相談)、精神保健相談、遺族支援会議</p>	R3	○人材養成事業：自殺対策連絡協議会2回・委員会1回・作業部会2回開催、ゲートキーパー養成研修会2回24名参加 ○普及啓発事業：自殺対策キャンペーン1,300人グッズ配布 ○電話相談事業：豊後大野市こころのホットラインによる電話相談1,283件 ○こころの相談会12回34名 ○こころの健康教室13会場275名	R3計画	1,644	826	714	104
	R4	○普及開発事業：地域研修会(こころの健康教室)5回121人参加、自殺対策キャンペーン3会場4回、グッズ配布439人 ○連携強化：自殺対策連絡協議会2回・委員会1回・作業部会1回、未遂者対応機関連絡会1回 ○支援者育成：ゲートキーパー養成研修会1回11人参加	当初予算	1,644	826	714	104
	R5	○普及啓発事業：地域研修会(こころの健康教室)、自殺対策キャンペーン等の実施 ○連携強化：自殺対策連絡協議会・委員会(庁内所属長)、作業部会(関係課職員)、未遂者対応機関連絡会 ○支援者育成：ゲートキーパー養成研修会等76人 ○相談体制の強化：こころのホットライン(電話相談)延596件、精神保健相談延534人、訪問指導延232人、電話相談239人、遺族支援会議開催	決算額	1,509	700	390	419
	R6		R4計画	1,644	826	714	104
	R7		当初予算	3,194	1,602	714	878
	R3~R7合計		決算額	2,441	1,259	714	468
			R5計画	1,644	826	714	104
			当初予算	2,803	1,426	714	663
			決算額	2,643	1,405	714	524
			R6計画	1,644	826	714	104
		当初予算	1,722	863	300	559	
		決算額					
		R7計画	1,644	826	714	104	
		当初予算					
		決算額					
		計画額	8,220	4,130	3,570	520	
		当初予算	9,363	4,717	2,442	2,204	
		決算額	6,593	3,364	1,818	1,411	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 ゲートキーパー受講者数	年間のゲートキーパー受講者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	115	人	目標値	30	30	30	30	30
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	40	27	76		
		% 達成率			133.3	90	253.3			
D 成果指標 1 自殺死亡率(人口10万人対)	厚生労働省 地域における基礎資料より自殺者数/人口10万人対 ※実績値は前年度分を記載	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	16.7		目標値	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	22.6	18.2	26.4		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	156.9	126.4	183.3		
2 自殺SMR値	5年間の自殺に係る標準化死亡比 全国を100とする。100以下であることを目標とする。 ※実績値は前年度分を記載	<input type="checkbox"/> 総合計画	83.8		目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	94.4	106.9	125.6		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	94.4	106.9	125.6		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
令和4年度のアンケート調査結果等をもとに、自殺対策連絡協議会を中心とした庁内各課や関係機関の協力を得て、第2次自殺対策行動計画を策定できた。今後も本計画に沿って庁内各課、関係機関と協働して取り組んでいく必要がある。このほか、令和5年度は、介護支援専門員(ケアマネジャー)や市役所新任職員に対して、ゲートキーパー養成研修を開催し、こころの健康を支える地域の人材育成につながった。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
自殺対策連絡協議会等を開催し、第2次自殺対策行動計画を策定した。普及啓発グッズを作成し、市内大型店舗等でのキャンペーン時や支所窓口、サロン等で配布し、こころの悩みの相談先の周知をおこなった。相談体制の強化としてこころの相談専用電話を設置し専門の相談員を配置し、利用者ひとり一人の相談に丁寧に対応をしていただいている。今後もこころの健康づくりを推進していく必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	子ども医療費助成事業	細事業	子ども医療費助成事業	実施計画事業	子ども医療費助成事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 子ども医療費助成金 手数料 子ども医療費助成基金積立金 通信運搬費	当初予算額 100,980 2,930 385 31	
款	4	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実							
項	1	施策展開	①子育て支援サービスを充実する							
目	1	後期基本計画	42 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	79	A 事業目的・内容・実績						B 事業計画額・決算額等		

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市内在住の0歳～15歳(中学校卒業まで)の乳幼児、児童の保険診療分の医療費を助成する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 中学校卒業までの乳幼児、児童の保険診療分の医療費を助成する。	R3	中学生までの医療費を延べ3,316人、42,771件の助成を行った。	R3計画 112,668	20,888	56,754	35,026	
			当初予算	112,668	20,888	56,754	35,026
			決算額	96,909	20,803	46,236	29,870
	R4	中学生までの医療費を延べ3,329人、42,660件の助成を行った。	R4計画 87,000	17,050	44,100	25,850	
			当初予算	105,102	22,040	73,936	9,126
			決算額	92,520	17,991	72,499	2,030
	R5	中学生までの医療費を延べ3,157人、51,275件の助成を行った。	R5計画 87,000	17,050	44,100	25,850	
			当初予算	104,371	21,919	73,325	9,127
			決算額	113,636	20,334	86,738	6,564
	R6		R6計画 134,604	31,986	77,321	25,297	
			当初予算	134,604	31,986	77,321	25,297
			決算額				
	R7		R7計画 87,000	17,050	44,100	25,850	
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	508,272	104,024	266,375	137,873
			当初予算	456,745	96,833	281,336	78,576
			決算額	303,065	59,128	205,473	38,464

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 助成件数	現物給付・償還払い助成件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	41,997	件	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
						実績値	42,771	42,660	51,275		
						% 達成率	106.9	106.7	128.2		
D 成果指標	1 助成対象者	助成対象者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	3,405	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
						実績値	3,316	3,329	3,157		
						% 達成率	110.5	111	105.2		
E 評価対象外の理由	O 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)									

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		22点	23点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 子ども医療費助成事業の市単独分として、乳幼児は入院時食事療養費、小中学生は通院・調剤・歯科・入院時食事療養費を助成している。令和6年度からは対象年齢を高校生の年齢まで拡大することとし、保護者の経済的負担の軽減を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 子どもの傷病の早期発見・早期治療を促進し、医療費助成を引続き実施することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減を図ることを目的とする。子どもの保健の向上を図るとともに、保護者の子育て支援に寄与することで、一定の成果を上げることができた。 R6から高校生の年齢まで対象を引き上げることで更に子育て世帯の経済的支援となる。
--	--

事業	地域医療推進事業	細事業	救急医療対策事業	実施計画事業	小児救急医療対策事業費補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (121)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち				
款	4	施策	1 保健・医療サービスの充実				
項	1	施策展開	③地域医療環境を充実する				
目	1	後期基本計画	38 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	80					小児救急医療対策事業費補助金	644

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 輪番制方式により診療を行う市内の医療機関に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、休日等における小児救急患者の医療の確保を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・小児救急医療対策事業費補助 休日における小児救急患者の診療(豊後大野市民病院9時~12時、みやわき小児科8時45分~12時)に対し、基準事業費(2,930円/時間)を市民病院及びみやわき小児科に補助する。</p>	R3	・小児救急医療対策事業費補助 休日における小児救急患者の診療(豊後大野市民病院9時~12時、みやわき小児科8時45分~12時)に対し、基準事業費(2,930円/時間)を市民病院及びみやわき小児科に補助した。	R3計画 633	316			317
	当初予算	633	316			317	
	決算額	648	316			332	
	R4	・小児救急医療対策事業費補助 休日における小児救急患者の診療(豊後大野市民病院9時~12時、みやわき小児科8時45分~12時)に対し、基準事業費(2,930円/時間)を市民病院及びみやわき小児科に補助した。	R4計画 633	316			317
	当初予算	644	321			323	
	決算額	641	320			321	
	R5	・小児救急医療対策事業費補助 休日における小児救急患者の診療(豊後大野市民病院9時~12時、みやわき小児科8時45分~12時)に対し、基準事業費(2,930円/時間)を市民病院及びみやわき小児科に補助した。	R5計画 633	316			317
	当初予算	644	321			323	
	決算額	651	321			330	
	R6		R6計画 633	316			317
当初予算	644	321			323		
決算額							
R7		R7計画 633	316			317	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額	3,165	1,580		1,585
			当初予算	2,565	1,279		1,286
			決算額	1,940	957		983

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 小児救急医療対策事業費補助金交付決定率	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100		
					達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 休日等における年間小児患者延べ数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,609	人	目標値					
					実績値	1,614	2,023	2,883		
					達成率					
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>輪番制方式により診療を行う市内の医療機関に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、休日等における小児救急患者の医療の確保が図られているため、今後も事業は継続していく。令和元年度以前は小児救急休日診療件数は3,500件を超えていたが、新型コロナウイルス感染症の影響や出生数の減少等により2年度、3年度は約1,600件と減少した。令和4年度は約2,000件、令和5年度は約2900件と少しずつではあるが、診療件数が増えつつある状況となっている。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>休日等における小児救急患者の医療の確保が図られ、保護者が身近な場所で安心してこどもの受診ができるように、今後も市内小児科への助成を行っていく必要がある。</p>
---	---

事業番号	74002	枝番	1
------	-------	----	---

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係
-----	-------	----	----------

事業	地域医療推進事業	細事業	地域医療対策事業	実施計画事業	地域医療対策事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (120)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち								
款	4	施策	1 保健・医療サービスの充実								
項	1	施策展開	③地域医療環境を充実する								
目	1	後期基本計画	38	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
決算	80										

個別計画名	期間	年度	～	年度
	期間	年度	～	年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
病院事業特別会計負担金	363,460
病院統合整備基金積立金	130

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 地域医療の中核を担う市民病院の安定した経営を維持し、市民が安心して医療が受けられる体制づくりを進めていくため、地域医療の中核を担っている市民病院に対し地方債償還費分、及び交付税算入分を基準額に準じて補助するもの。 (交付税対象区分：二次救急医療、小児医療、へき地医療、感染症医療など) 普通交付税、特別交付税で算入される額、国の地方公営企業への繰出基準に基づいた補助</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 地域医療の中核を担う市民病院への繰出基準等に基づく運営費等に対する補助を行う。</p>	R3	地域医療の中核を担う市民病院への繰出基準等に基づく運営費等に対する補助を行った。
	R4	地域医療の中核を担う市民病院への繰出基準等に基づく運営費等に対する補助を行った。
	R5	地域医療の中核を担う市民病院への繰出基準等に基づく運営費等に対する補助を行った。
	R6	
	R7	
	R3～R7合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位：千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	377,849			4,564	373,285
当初予算	377,849			4,564	373,285
決算額	373,107			4,512	368,595
R4計画	377,849			4,564	373,285
当初予算	382,424			4,537	377,887
決算額	362,769			4,483	358,286
R5計画	377,849			4,564	373,285
当初予算	363,590			4,513	359,077
決算額	363,549			4,473	359,076
R6計画	377,649			4,564	373,085
当初予算	389,182			4,499	384,683
決算額					
R7計画	377,849			4,564	373,285
当初予算					
決算額					
計画額	1,889,045			22,820	1,866,225
当初予算	1,513,045			18,113	1,494,932
決算額	1,099,425			13,468	1,085,957

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 救急搬送における市内への搬送率	豊後大野市消防署年間搬送数より市内搬送件数/搬送件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	58.8	%	目標値	50	50	50	50	50
						実績値	58.9	55.6	65.4		
						%	達成率	117.8	111.2	130.8	
D 成果指標	1 市内医療機関受診率	医科入院外 市内医療機関受診件数/受診件数 (国民健康保険資料より)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	64.2	%	目標値	50	50	50	50	50
						実績値	64.5	64.3	58.4		
						%	達成率	129	128.6	116.8	

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF～I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)			
			評価点	評価点合計		
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	15点	3点		
	なっていない ⇒ なっている					
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)				3点	3点
	優先度低い ⇒ 優先度高い					
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか				3点	3点
できなかった ⇒ できた						
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	15点	3点		
	推移していない ⇒ 推移した					
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	/25点	3点		
	推移していない ⇒ 推移した					

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民が安心して医療が受けられる体制づくりを進めていくため、今後も継続していく。	地域医療の中核を担っている市民病院に対し、今後も運営費の助成を行っていく必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	母子保健事業	細事業	幼児健診事業	実施計画事業	1歳6か月・3歳児健康診査事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No. (133)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	第2次豊後大野市健康づくり計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額					
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実		期間			H26年度～R5年度	幼児健診委託料	1,169		
款	4	施策	①子育て支援サービスを充実する		第3次豊後大野市子ども子育て支援事業計画			期間	R2年度～R6年度	幼児健診事業出務謝礼金	442	
項	1	施策展開							消耗品費	228		
目	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>	医薬材料費	118
決算	81											

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等		財源内訳 (単位:千円)				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 母子保健法により行政の実施が義務づけられている健診。(対象は1歳6か月児、3歳児)医師、歯科医師の診察、発育発達チェック、子育てへの助言と支援を行うために実施している。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 感染対策を講じながら、少人数にて幼児健康診査を実施している。健診1回あたり対象者数を12名程度に設定し、1歳6か月児健診は年間11回、3歳児健診は年間12回実施し、未受診者には別日を受診案内し状況把握と、精密検査が必要な幼児には、医療機関の受診や発達相談会への参加を勧奨している。</p>	R3	新型コロナウイルス感染症感染対策を講じながら、少人数にて幼児健康診査を実施した。1歳6か月児健診:11回150名受診(受診率98.7%) 3歳児健診:22回238名受診(受診率99.2%) 未受診児の把握と精密検査が必要な幼児には、医療機関の受診や発達相談会を勧め、フォローを行った。	R3計画 3,140				3,140	
	当初予算	3,140				3,140		
	決算額	2,343					2,343	
	R4	新型コロナウイルス感染症感染対策を講じながら、少人数にて幼児健康診査を実施した。1歳6か月児健診:12回159名受診(受診率98.4%) 3歳児健診:12回190名受診(受診率98.4%) 未受診児の把握と精密検査が必要な幼児には、医療機関の受診や発達相談会を勧め、フォローを行った。	R4計画 2,500				2,500	
	当初予算	2,632				2,632		
	決算額	1,948					1,948	
	R5	新型コロナウイルス感染症等への対策を講じながら、少人数にて幼児健康診査を実施した。1歳6か月児健診:10回121名受診(受診率98.4%) 3歳児健診:12回150名受診(受診率98.0%) 未受診児の把握と精密検査が必要な幼児には、医療機関の受診や発達相談会を勧め、フォローを行った。	R5計画 2,500				2,500	
	当初予算	2,037				2,037		
	決算額	1,612					1,612	
	R6		R6計画 2,500				2,500	
当初予算								
決算額								
R7		R7計画 2,500				2,500		
当初予算								
決算額								
R3～R7合計			計画額 13,140				13,140	
			当初予算 7,809				7,809	
			決算額 5,903				5,903	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 対象者への周知 2 コロナ禍でも適切な月齢に応じて実施できた幼児健康診査実施率	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100		
					達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 幼児健診未受診者の状況把握率 2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100		
					達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
1歳6か月児健診、3歳児健診は母子保健法に定められた事業であり、市内各こども園や子育て支援機関等との連携により、高い受診率を維持できている。また、未受診者把握、要精密者へのフォローも継続的に行っている。今後も必要な感染対策や待ち時間の短縮策を講じながら、事業を継続していく必要がある。	幼児健康診査においては、市内各こども園や子育て支援機関等との連携や未受診者への受診勧奨により高い受診率を維持している。育児アンケートはロゴフォームの活用、問診票取り込みにはAIOCRを導入し、入力事務の事務量削減につながっている。今後においても、幼児健診を実施し、対象児全員の康状態や家庭状況を把握し、1人1人の子どもにあったサービスや対応をしていく。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	71002	枝番	2
------	-------	----	---

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	市民生活課	係名	親子健康係
-----	-------	----	-------

事業	母子保健事業	細事業	幼児健診事業	実施計画事業	5歳児すこやか相談会事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					
款	4	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実					
項	1	施策展開	①子育て支援サービスを充実する					
目	1		後期基本計画	42	P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	81							

個別計画名	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画		
期間	R2	年度	～ R6
年度		～	

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
5歳児すこやか相談会事業田務謝礼金	256
5歳児相談会診療支援負担金	250
消耗品費	10

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的></p> <p>5歳児を対象に、医療・保健・福祉・教育等の連携により発達相談会を実施することで、発達障がい等の早期発見・早期支援の実施、保護者の育児不安の軽減・幼児虐待予防等について、豊後大野市すべての子どもが安心して就学できることを目指す。さらにそのフォロー体制の充実を図る。また、引き続き、認定こども園・保育所・幼稚園等との連携を深め、支援の必要な子どもとその保護者が相談会につながるよう努める。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <ul style="list-style-type: none"> 5歳児すこやか相談会連絡会の開催(1回) 5歳児すこやか相談会の実施(計4日間) 療育・医療機関との情報共有、受診勧奨 	R3	<ul style="list-style-type: none"> 5歳児すこやか相談会連絡会3回開催 5歳児すこやか相談会の実施(計3日間)コロナで2回中止となり、12月の発達相談会に医師を派遣対象者204名、利用者30名(14.7%) 要精密・要医療児については、発達相談会で経過をみたり、医療機関の受診勧奨等を行い支援した。
	R4	<ul style="list-style-type: none"> 5歳児すこやか相談会連絡会2回開催 5歳児すこやか相談会の実施(計5日間)対象者178名(アンケート回収172名)、参加希望者30名、参加者30名(16.9%) 要精密・要医療児については、発達相談会で経過をみたり、医療機関の受診勧奨等を行い支援した。
	R5	<ul style="list-style-type: none"> 5歳児すこやか相談会連絡会1回開催 5歳児すこやか相談会の実施(計4日間)対象者167名(アンケート回収164名)回収率98.2%、うち発達相談19名(11.4%) 要精密・要医療児については、発達相談会で経過をみたり、医療機関の受診勧奨等を行い支援した。
	R6	
	R7	
	R3～R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	443				443
当初予算	443				443
決算額	194				194
R4計画	443				443
当初予算	515				515
決算額	217				217
R5計画	443				443
当初予算	516				516
決算額	252				252
R6計画	443				443
当初予算					
決算額					
R7計画	443				443
当初予算					
決算額					
計画額	2,215				2,215
当初予算	1,474				1,474
決算額	663				663

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C	活動指標	1 連絡会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	3	2	1		
						% 達成率	150	100	50		
D	成果指標	2 5歳児すこやか相談会への受診勧奨	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1	1	1		
						% 達成率	100	100	100		
D	成果指標	1 5歳児すこやか相談会のフォロー実施率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100	100	100		
						% 達成率	100	100	100		
D	成果指標	2 —	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF～I欄未記入可)
------------	--------	------------------

F 評価	評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
保健・医療・福祉・教育が連携して就学前に相談会を行うことで、子ども達の発育発達面の確認と、個々の特性にあった支援が受けられるよう関係機関が早期に対応できている。また、実施前後に、関係者(子育て支援課・社会福祉課・学校教育課・保健所)と連絡会を開催し、情報共有や事業の見直しを行うなど連携を深めている。要精密者の支援も丁寧に行い、子どもや保護者が安心して就学できるよう支援している。	就学前の子どもと保護者が安心して就学を迎えられるように、保健・医療・福祉・教育の関係機関が連携し、相談会を実施している。実施前には、関係機関で連絡会を開催し、情報の共有・連携を図った。実施後は必要な支援の種類により、各機関で対応を継続している。

I 令和7年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業	母子保健事業	細事業	幼児健診事業	実施計画事業	視力スクリーニング検査委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度 第3次豊後大野市子ども子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実					
款	4	施策展開	①子育て支援サービスを充実する					
項	1	後期基本計画	42 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1	決算	81					
A 事業目的・内容・実績					B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 視覚(視力)障害の早期発見を目的として、視力スクリーニングを実施する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 1歳6か月児、3歳児を対象とした幼児健康診査時に視力スクリーニング検査を実施し、要精密児に対しては精密券を発行し、受診勧奨を行う。</p>	R3	1歳6か月健診、3歳児健診にて実施。 1歳6か月健診受診者156名 要精密3名 3歳児健診受診者238名 要精密4名 要精密児については、精密券を発行し、受診勧奨を行った。	R3計画 252 当初予算 252 決算額 231				252	
	R4	1歳6か月健診、3歳児健診にて視力スクリーニングを実施。 1歳6か月健診受診者159名 要精密1名 3歳児健診受診者190名 要精密2名 要精密児については、精密券を発行し、受診勧奨を行った。精密受診率100%	R4計画 200 当初予算 210 決算額 189				200	
	R5	1歳6か月健診、3歳児健診にて視力スクリーニングを実施。 1歳6か月健診受診者121名 要精密0名 3歳児健診受診者150名 要精密4名 要精密児については、精密券を発行し、受診勧奨を行った。精密受診率75%	R5計画 200 当初予算 168 決算額 154				200	
	R6		R6計画 200 当初予算 決算額				200	
	R7		R7計画 200 当初予算 決算額				200	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,052 当初予算 630 決算額 574				1,052 630 574

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 幼児健診において視力スクリーニング検査を実施した割合	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100		
					達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 要精密フォロー児の精密受診割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	91.7	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	71.4	100	75		
					達成率	71.4	100	75		
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					

対象外事業は F~I 欄未記入可

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 1歳6か月健診での視力スクリーニング検査を実施する自治体は県下でも少数であるが、市内小児科医の協力により、幼児健診受診者全員に視力スクリーニング検査を実施できている。要精密者には受診勧奨を行い、早期診断、早期治療に結びついている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 視覚の感受性の高い時期(1歳半頃)に、本人が表現する必要のない他覚的視力検査で、早期に弱視・斜視・近視などを発見し治療につなげることができている。今後も継続して視力スクリーニング検査を行っていく必要がある。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	母子保健事業	細事業	幼児健診事業	実施計画事業	フッ素塗布事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26年度 ~ R5年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	個別計画名	フッ素塗布事業委託料	220
款	4	施策	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2年度 ~ R6年度	通信運搬費	28
項	1	施策展開			
目	1	①子育て支援サービスを充実する			
決算	81	後期基本計画 42 P			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 無料で利用できるフッ素塗布受診票を使用することで、う歯予防とかかりつけ医をつくるきっかけづくりになる。対象を2歳児とすることで早期からの予防歯科の意識を高めることにつながり、保護者自身の歯科保健への関心を高めることができる。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 2歳児を対象に、3歳までに利用できるフッ素塗布受診票を2枚郵送し、委託した医療機関でフッ素塗布を実施する。</p>	R3		R3計画					
	R4	3歳までにフッ素塗布を行えるよう、2歳児156人にフッ素塗布受診票を2枚郵送した。1回目利用 44人(受診率28.2%)、2回目利用 25人	380				380	
	R5	3歳までに2回フッ素塗布を行えるよう、2歳児140人にフッ素塗布受診票を2枚郵送した。そのうちR6年3月末現在で82人が受診している(内訳:1回目48人、2回目34人)。(参考:R4年度実績)155人通知124人受診:1回目74人(受診率47.7%)、2回目50人(受診率32.3%)	380				380	
	R6		248				248	
	R7		134				134	
	R3 ~ R7 合計		1,520				1,520	
				628				628
				210				210

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 対象者への周知 対象者への通知数・2歳の誕生日を迎えた幼児への周知数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値		100	100	100	100
					実績値		100	100		
					達成率		100	100		
D 成果指標	1 3歳児歯科健診1人平均むし歯本数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	0.8	本数	目標値		0.7	0.5	0.5	0.3
					実績値	0.38	0.49	0.43		
					達成率		70	86		
	2 3歳児歯科健診むし歯を持つ児の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20.7	%	目標値		20	19	18	17
					実績値	37.8	16.3	9.3		
					達成率		81.5	49		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 歯科医療機関では、医療保険を利用したフッ素塗布も行われているため、歯科医師会にフッ素塗布対象児が受診した際は、受診票を利用していただくよう依頼している。未受診児の保護者には、歯科衛生士が電話でフッ素塗布の必要性を伝え、受診勧奨を実施している。今後も幼児期のう蝕予防や口腔衛生の向上を目指し、事業を継続していく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 う歯予防のために定期的なフッ素塗布が有効であることを引き続き普及啓発することや、個別の受診勧奨にあわせて、歯科保健指導を実施することで、保護者の歯科保健への関心を高めていく必要がある。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	母子保健事業	細事業	愛育会事業	実施計画事業	愛育会事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------	--------	-------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 第3次豊後大野市子ども子育て支援事業計画 期間 R2年度～R6年度	令和5年度主な歳出名称 愛育会委託料 自動車等借上料 講師謝礼金	当初予算額 180 75 10
会計	一般	施策 3 結婚・出産・子育て支援の充実			
款	4	施策展開 ①子育て支援サービスを充実する			
項	1	後期基本計画 42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	1		期間 年度～年度		
決算	81				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 愛育会は地域の子育てのボランティアとして、子育て中の保護者が、子どもや子育てについて様々な悩みや不安を抱えたり、地域から孤立することがないよう、相互に交流するきっかけとなる機会や環境づくりのため、地域に住む親子が集える場を提供している。市は豊後大野市愛育会に親子交流事業を委託(対象:愛育会員が市民対象に事業実施)	R3	・分班長会議6回・各班会議実施 ・定期総会及び会員研修会の実施 ・新規会員募集のための愛育会員養成講習会の年1回開催 ・市委託事業:親子交流事業 4回113名参加 ・県助成事業:地域交流促進事業 10回339名参加 ・声かけ訪問活動実施	R3計画 265 当初予算 265 決算額 80				265 265 80	
	R4	・分班長会議6回・各班会議48回 ・定期総会及び会員研修会の実施 ・新規会員募集のための愛育会員養成講習会 1回開催 ・市委託事業:親子交流事業 8回222名参加 ・県助成事業:地域交流促進事業 15回358名参加 ・声かけ訪問活動実施 延べ35,107人	R4計画 265 当初予算 265 決算額 160				265 265 160	
	R5	・分班長会議6回・各班会議48回 ・定期総会及び会員研修会の実施 ・新規会員募集のための愛育会員養成講習会 1回開催 ・市委託事業:親子交流事業 9回243名参加 ・県助成事業:地域交流促進事業 19回534名参加 ・声かけ訪問活動実施 延べ1,556人	R5計画 265 当初予算 265 決算額 311				265 265 311	
	R6		R6計画 265 当初予算 265 決算額				265 265	
	R7		R7計画 265 当初予算 決算額				265	
	R3～R7合計			計画額 1,325 当初予算 1,060 決算額 551				1,325 1,060 551
	<令和5年度の取組内容(計画)> ・分班長会議(隔月)、各班会議の開催 ・定期総会及び会員研修会の開催 ・新規会員育成のための愛育会員養成講習会の開催(年1回) ・市委託事業:親子交流事業(年9回×20,000円) ・県助成事業:地域交流促進事業(令和5年度は135,000円の助成額)							

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 分班長会議と班会議の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	19	回	目標値	14	14	14	14	14
					実績値	36	54	54		
	% 達成率	257.1	385.7	385.7						
2 会員研修会の開催回数	会員研修会(年1回)開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 親子交流事業・地域交流促進事業の実施割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100		
					% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 愛育会はコロナ禍においても感染症対策を講じ工夫しながら地域活動を続けてきた実績もっている。行政としては愛育会からの相談対応や会員の育成を行っており、活動が健康づくりや子育て支援に結びつくように支援している。令和5年度は愛育班員3名と、支援者(保健師)1名が大分県知事感謝状を授与されている。今後も自主的な活動が継続できるように支援する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 分班長会議や各班会議において支援をおこない、地域の健康課題等について情報共有を行い、地域での交流事業の実施や声かけ活動に今後も、地域で親子の仲間づくり、交流、安心して子育てが行える環境づくりを目的に、愛育会活動を支援するとともに、子育て支援課、子育て支援センター、児童館等に事業の協力を求め支援者の負担の軽減を図りながら、愛育会の育成につとめていく必要がある。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	母子保健事業	細事業	周産期等保健事業	実施計画事業	すくすくひろば運営事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (133)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額
会計	一般	政策	3 結婚・出産・子育て支援の充実		
款	4	施策	①子育て支援サービスを充実する		
項	1	施策展開			
目	1	後期基本計画	42 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	81				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 生後3か月から5か月の乳児とその保護者を対象し、離乳食や歯のお手入れ等の育児に関する情報提供を専門職から行なう。 また、成長・発達の確認の場とするとともに、参加者同士の交流の場となるよう努める。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・奇数月にすくすくひろばを開催する。 ・子育て支援センターや児童館の紹介を行なう。 ・継続フォロー必要な対象者に対して、教室参加への勧奨を行なう。 ・愛育会員へ協力を得ることで、地域で子育てを見守る体制づくりへつなげる。</p>	R3	奇数月にすくすくひろばを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で3回実施31組参加 ・子育て支援センターや児童館の紹介を行なった。 ・継続フォロー必要な対象者に対して、教室参加への勧奨を行なった。 ・愛育会員へ協力を得ることで、地域で子育てを見守る体制づくりへつなげた。	R3計画 13 当初予算 13 決算額				13	
	R4	奇数月にすくすくひろばを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で年4回実施(2回中止)、22組(55人)参加 ・子育て支援センターや児童館の紹介を行なった。 ・継続フォロー必要な対象者に対して、教室参加への勧奨を行なった。 ・愛育会員へ託児協力を得ることで、地域で子育てを見守る体制づくりへつなげた。	R4計画 13 当初予算 17 決算額				13	
	R5	年6回実施、55組参加 ・子育て支援センターや児童館の紹介を行なった。 ・継続フォロー必要な対象者に対して、教室参加への勧奨を行なった。 ・愛育会員へ託児協力を得ることで、地域で子育てを見守る体制づくりへつなげた。	R5計画 13 当初予算 決算額					13
	R6		R6計画 13 当初予算 決算額					13
	R7		R7計画 13 当初予算 決算額					13
	R3 ~ R7 合計			計画額 65 当初予算 30 決算額				65 30

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 教室参加の周知	すくすくひろば開催について周知回数(個別通知、要フォローに対しては地区担当保健師より電話や訪問にて参加勧奨を行なう)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	1		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標 1 教室参加率	すくすくひろばへの参加率(参加組数÷対象組数)	<input type="checkbox"/> 総合計画	56.3	%	目標値	60	60	60	60	60
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	44.9	20.8	46.2		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	74.8	34.7	77		
2 要フォロー者への教室参加への声かけ実施割合	赤ちゃん訪問時等でのEPDS高値であった者・育児支援者がいない・HISの方等、要フォロー者の教室参加の声かけ実施数/要フォロー者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100	100		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>参加した乳児の発育発達に応じ、栄養や歯科保健の情報提供ができた。また、参加できなかった方には、ホームページでの情報発信や個別で相談対応している。今後も乳児期に必要な健康情報を提供するとともに、保護者の仲間づくり、子育て支援センターや愛育会の見守り等につなげていく必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>教室は、対象児の発育確認と保護者の育児知識の獲得と育児不安の軽減および交流の場となっている。教室に参加できなかった方へ管理栄養士による「離乳食」と歯科衛生士による「歯科保健」の講義内容を収録した動画を市ホームページにアップし普及につとめた。育児を学ぶ場や交流の場を希望する保護者も多く、今後も開催していく必要がある。</p>
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	母子保健事業	細事業	周産期等保健事業	実施計画事業	妊婦歯科健康診査事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (115)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名	第3次豊後大野市子ども子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度 第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち					
款	4	施策	1 保健・医療サービスの充実					
項	1	施策展開	②疾病予防を推進する					
目	1	後期基本計画	38 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	81							
A 事業目的・内容・実績				B 事業計画額・決算額等				

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 口腔内が不衛生になりやすい妊娠中に、歯科健診を勧めることで、う歯・歯周病の口腔内疾患の発見や、適切な治療へつなげることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 母子健康手帳交付時に妊娠中に歯科健診を委託歯科医療機関で受けられる受診券を1枚交付する。 妊婦の定期的な体調確認時に、歯科健診の受診勧奨を実施する。</p>	R3	母子健康手帳交付時に妊娠中の歯科保健について説明し、医療機関で受けられる妊婦歯科健診の受診券を交付した。受診者47名(受診率40.1%)	R3計画 309				309
	当初予算	309				309	
	決算額	155			155		
	R4	母子健康手帳交付時に妊娠中の歯科保健について説明し、医療機関で受けられる妊婦歯科健診の受診券を妊婦125人に交付した。受診者46人(受診率36.8%)	R4計画 309				309
	当初予算	309				309	
	決算額	143			143		
	R5	母子健康手帳交付時に妊娠中の歯科保健について説明し、医療機関で受けられる妊婦歯科健診の受診券を妊婦106人に交付した。受診者42人(受診率39.6%)	R5計画 297				297
	当初予算	225				225	
	決算額	116			116		
	R6		R6計画 292				292
	当初予算						
	決算額						
	R7		R7計画 287				287
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 1,494				1,494
			当初予算 843				843
			決算額 414			155	259

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 妊婦への歯科保健指導率	妊婦への歯科保健実施数/母子手帳発行数(妊婦数)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100	100	100		
						達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 妊婦歯科健診を受けた人の割合	妊婦歯科健診受診者数/母子手帳発行数(妊婦数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	40	%	目標値	40	41	42	43	44
						実績値	40.1	36.8	39.6		
						達成率	100.3	89.8	94.3		
E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)									

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	15点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>母子手帳交付時に、口腔衛生の大切さについて説明した上で歯科健診受診券を交付。安定期に入ったら歯科健診を実施するよう勧めている。これを契機に、妊婦の歯科保健への関心が高まり、適切な治療に結びついている。妊娠中に保護者の歯科保健への意識を高めることは、出産した子どもたちの乳幼児期の歯科保健向上にもつながるため、今後も事業の継続が必要である。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>妊娠中は、身体の上さまざまな変化の影響で口腔環境が悪化しやすくなり、むし歯菌や歯周病菌が体内に入り込むと早産などのリスクが高くなるため、母子健康手帳交付時に歯科受診券を発行し歯科健診の受診勧奨を行った。今後においても、継続して妊婦への歯科健診の受診勧奨を行っていく。</p>
---	--

事業	予防接種事業	細事業	定期予防接種事業	実施計画事業	定期予防接種事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (117)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 豊後大野市新型コロナウイルス等対策行動計画(H27年3月策定) 期間 年度 ~ 年度 第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画「さらさら子どもプラン」 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額 予防接種委託料 81,998 通信運搬費 450 印刷製本費 417 定期予防接種助成金 207
会計	一般	政策	1 保健・医療サービスの充実		
款	4	施策	②疾病予防を推進する		
項	1	施策展開	後期基本計画 38 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>		
目	2				
決算	82				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。また、予防接種による健康被害の迅速な救済を図る。(予防接種法より)</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 次の対象疾病について対象となる市民へ予防接種(委託医療機関における個別接種)を実施する。 ○乳幼児: Hib(ヒブ)、小児肺炎球菌、B型肝炎、4種混合、結核(BCG)、不活化ポリオ、2種混合、MR(麻しん・風しん)、水痘、日本脳炎、ロタウイルス ○小中高生: ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん) ○高齢者: インフルエンザ、高齢者肺炎球菌 ○成人男性(S37.4.2~S54.4.1生): 風しん抗体検査・予防接種</p>	R3	○乳幼児: Hib(ヒブ) 575名、小児肺炎球菌574名、B型肝炎414名、4種混合599名、結核(BCG) 143名、MR(麻しん・風しん) 352名、水痘277名、日本脳炎447名、二種混合151名、ロタウイルス283名 ○小中高生: ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん) 83名 ○高齢者: インフルエンザ8,750名、高齢者肺炎球菌520名 ○成人男性(S37.4.2~S54.4.1生): 風しん抗体検査205名・予防接種67名	R3計画	81,495	2,598	26,500	52,397	
	R4	○乳幼児: Hib(ヒブ) 428名、小児肺炎球菌428名、B型肝炎318名、4種混合438名、結核(BCG) 107名、MR(麻しん・風しん) 330名、水痘237名、日本脳炎660名、二種混合168名、ロタウイルス245名 ○小中高生: ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん) 168名 ○高齢者: インフルエンザ8,705名、高齢者肺炎球菌481名 ○成人男性(S37.4.2~S54.4.1生): 風しん抗体検査116名・予防接種24名	R4計画	82,000	2,600	27,000	52,400	
	R5	○乳幼児: Hib(ヒブ) 444名、小児肺炎球菌441名、B型肝炎326名、4種混合462名、結核(BCG) 115名、MR(麻しん・風しん) 260名、水痘210名、日本脳炎611名、二種混合128名、ロタウイルス287名 ○小中高生: ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん) 253名 ○高齢者: インフルエンザ8,387名、高齢者肺炎球菌564名 ○成人男性(S37.4.2~S54.4.1生): 風しん抗体検査66名・予防接種14名	R5計画	82,000	2,600	27,000	52,400	
	R6		R6計画	82,000	2,600	27,000	52,400	
	R7		R7計画	82,000	2,600	27,000	52,400	
	R3 ~ R7 合計			計画額	409,495	12,998	134,500	261,997
				当初予算	331,569	6,923	114,900	209,746
				決算額	190,401	1,467	76,900	112,034

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 定期予防接種の接種勧奨を行う	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
D 成果指標	1 MR1期予防接種率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	95	95	95	95	95
					実績値	85	87	91.4		
					達成率	89.5	91.6	96.2		
	2 MR2期予防接種率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	102.5	%	目標値	95	95	95	95	95
					実績値	97.2	96.1	93.8		
					達成率	102.3	101.2	98.7		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 予防接種法に基づいた定期予防接種を実施しているため、事業の継続は今後も必要。MRワクチン予防接種については、機会をとらへ度度も接種勧奨をしており、今後も接種勧奨を必要とする。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 予防接種法に基づき定期予防接種を実施しているため、事業の継続は今後も必要である。予防接種は個人の感染予防・重症化の防止という目的とともに、多くの人が接種を受けることにより、感染症のまん延を防止するという社会的な意義も持つことから、市として定期予防接種対象者への個別通知や接種勧奨、正しい知識の普及啓発に努めていく必要がある。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	予防接種事業	細事業	任意予防接種事業	実施計画事業	任意予防接種事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (117)		会計 一般	政策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	個別計画名 第3次豊後大野市子ども子育て支援事業計画「きらきらこどもプラン」 期間 R2 年度 ~ R6 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額 任意予防接種助成金 4,354 予防接種委託料 1,540 消耗品費 4
款	4	施策	1 保健・医療サービスの充実		
項	1	施策展開	②疾病予防を推進する		
目	2	後期基本計画	38 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	82				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。また、予防接種による健康被害の迅速な救済を図る。 ※任意予防接種は予防接種法によるものではないが、その目的や重要性は定期接種と同様。(日本小児科学会H1P「定期接種と任意接種のワクチン」より)</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 次の対象疾病について対象となる市民へ予防接種(委託医療機関における個別接種)を実施する。 ○乳幼児:おたふくかぜ ○乳幼児~小中学生:子どものインフルエンザ ○成人(妊娠を希望する女性等):風しん</p>	R3	○乳幼児:おたふくかぜ148名 ○乳幼児~小中学生:子どものインフルエンザ1,594名 ○成人(妊娠を希望する女性等):風しん27名	R3計画 6,013 当初予算 6,013 決算額 2,651				6,013 6,013 2,651	
	R4	○乳幼児:おたふくかぜ136名 ○乳幼児~小中学生:子どものインフルエンザ1,380名 ○成人(妊娠を希望する女性等):風しん12名 ○子宮頸がんワクチン 1名	R4計画 6,100 当初予算 5,928 決算額 2,246				6,100 5,928 2,246	
	R5	○乳幼児:おたふくかぜ109名 ○乳幼児~小中学生:子どものインフルエンザ906名 ○成人(妊娠を希望する女性等):風しん9名 ○子宮頸がんワクチン 1名	R5計画 6,100 当初予算 5,898 決算額 1,669				6,100 5,898 1,669	
	R6		R6計画 6,100 当初予算 5,791 決算額				6,100 5,791	
	R7		R7計画 6,100 当初予算 決算額				6,100	
	R3 ~ R7 合計			計画額 30,413 当初予算 23,630 決算額 6,566				30,413 23,630 6,566

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 おたふくかぜ予防接種の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100	100		
	2 幼児健診時の接種勧奨実施率	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
D 成果指標	1 おたふくかぜ接種率	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値	90	90	90	90	90
		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	101.36	100.74	102.8		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	112.6	111.9	114.2		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 任意接種費の負担軽減により、接種率を高め疾病予防につながっているため、今後も事業の継続が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 定期予防接種とともに、任意接種についても適切な情報提供を行い、疾病予防に努めていく。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	健康づくり増進事業	細事業	健康増進事業	実施計画事業	健康増進事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No. (112)		II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち		個別計画名 第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ~ R5 年度	令和5年度主な歳出名称 検査検診委託料 健康づくり計画作成業務委託料 会計年度任用職員報酬 通信運搬費	当初予算額 4,325 2,509 1,345 357
会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち			
款	4	施策	1 保健・医療サービスの充実			
項	1	施策展開	①健康づくり活動を推進する			
目	2	後期基本計画	38 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	83					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 生活習慣病の予防、重症化予防の為、豊後大野市健康づくり計画に基づき健康増進事業の各種事業を実施し、市民の健康増進および生活習慣病予防を推進する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 健康診査 ・基本健診 40歳未満の市民 ・被保護世帯 ・骨粗しょう症検診 281名 ・肝炎ウイルス検診 200名 ・歯周疾患健診 347名	R3	1. 健康教育の実施 53回/年 956名 2. 健康相談の実施 45回/年 486名 3. 訪問指導 72日/年 69名 4. 健康診査 ・基本健診40歳未満の市民 120名・被保護世帯 9名 ・骨粗しょう症検診 225名・肝炎ウイルス検診 113名 ・歯周疾患健診 443名 成果指標①脳血管疾患標準化死亡率 R3実績値(男性94.5、女性98.4) 成果指標②健康寿命(お達者年齢) R3実績値(男性79.62歳、女性84.11歳)	R3計画	8,146	1,940	3,800	2,406
	当初予算	8,146	1,940	3,800	2,406		
	決算額	6,821	1,940	3,132	1,749		
	R4	1. 健康教育の実施 73回/年 916名 2. 健康相談の実施 90回/年 874名 3. 訪問指導 126日/年 165名 4. 健康診査 ・基本健診40歳未満の市民 133名・被保護世帯 14名 ・骨粗しょう症検診 230名・肝炎ウイルス検診 131名 ・歯周疾患健診 386名 成果指標①脳血管疾患標準化死亡率 R4実績値(男性93.8、女性97.3) 成果指標②健康寿命(お達者年齢) R4実績値(男性80.78歳、女性84.08歳)	R4計画	8,146	1,940	3,800	2,406
	当初予算	9,489	2,146	3,800	3,543		
	決算額	7,598	2,096	3,800	1,702		
	R5	1. 健康教育の実施 72回/年 1239名 2. 健康相談の実施 63回/年 739名 3. 訪問指導 174日/年 222名 4. 健康診査 ・基本健診40歳未満の市民 115名 ・骨粗しょう症検診 186名 ・歯周疾患健診 347名 成果指標①脳血管疾患標準化死亡率 R5実績値(男性97.8、女性96.5) 成果指標②健康寿命(お達者年齢) R5実績値(男性80.35歳、女性84.16歳)	R5計画	8,146	1,940	3,800	2,406
当初予算	9,690	2,114	3,800	7,576			
決算額	7,179	1,937	3,800	1,442			
R6			R6計画	8,146	1,940	3,800	2,406
当初予算	7,096	2,158					4,938
決算額							
R7			R7計画	8,146	1,940	3,800	2,406
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額	40,730	9,700	19,000	12,030
			当初予算	34,421	8,358	7,600	18,463
			決算額	21,598	5,973	10,732	4,893

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 健康教育実施回数 地域保健事業報告実績値 健康教育(健康教室)回数 保健師・栄養士・歯科衛生士等	<input type="checkbox"/> 総合戦略	19	回	目標値	20	20	20	20	20
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	53	73	72		
		%			達成率	265	365	360		
2 健康相談実施回数 地域保健事業報告実績値 健康相談回数 保健師・栄養士・歯科衛生士等	<input type="checkbox"/> 総合戦略	49	回	目標値	50	50	50	50	50	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	45	90	93			
	%			達成率	90	180	186			
D 成果指標	1 脳血管疾患標準化死亡率 脳血管疾患標準化死亡率(保健所報「標準化死亡率(過去5年平均)より数値)」 R2実績値(男性95.6、女性96.9) R7目標値(男性100未満、女性100未満) R3実績値(男性94.5、女性98.4) R4実績値(男性87.8、女性97.3)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	—	—			
	2 健康寿命(お達者年齢) 大分県ホームページ「数字で見る「大分県の保健・福祉」市町村別健康寿命(お達者年齢 過去5年平均)より抜粋。 R2実績値(男性79.66歳、女性83.93歳) R7目標値(男性80.51歳、女性85.10歳) R3実績値(男性79.62歳、女性84.11歳) R4実績値(男性80.78歳、女性84.08歳) R5実績値(男性80.35歳、女性84.16歳)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画		歳	目標値					
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	—	—			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 新型コロナウイルスの第5類移行により、受診者は回復傾向ではあるが、受けやすい体制づくりをし、受診率向上に向けて取り組んでいる。令和5年度に、第3次健康づくり計画策定のための策定委員会を2回開催し、健康づくり計画を策定した。今後も健康づくり計画の目標指標を達成しながら総合計画の成果指標達成に近づけていきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 集団健診は、市民が希望の健診が受けられるように、休日健診、働き盛り健診、障がい者健診等市民のニーズをいかした健診の体制づくりを整えた。健康教育では、高血圧や糖尿病等、生活習慣病の重症化を予防するため、豊後大野市医師会に協力を得、糖尿病専門医による健康講話やフレッシュランドみえ大原体育館に運度教室を委託し、健康教室を実施した。教室生募集では、従来の電話申込に加え、QRコードによる申込も可能とした。保健指導については、KDBシステム、マップシステムを活用した資料を作成し、地域での健康教室時や個別保健指導時に活用していく。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	77002
枝番	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係
-----	-------	----	----------

事業	健康づくり増進事業	細事業	がん検診事業	実施計画事業	がん検診事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (115)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
款	4	施策	1 保健・医療サービスの充実
項	1	施策展開	②疾病予防を推進する
目	2	後期基本計画	38 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>
決算	83		

個別計画名	第2次豊後大野市健康づくり計画
期間	H26年度 ~ R5年度
期間	年度 ~ 年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
検査検診委託料	51,307
印刷製本費	280
通信運搬費	77
託児業務委託料	74

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 主要死因の1位である悪性新生物の早期発見を目的に、各種のがん検診を実施し、一人ひとりが健康づくりを進められる環境をつくる</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 事前予約制とし、スムーズに受診できる体制づくりに努めた。また、女性が受けやすいレディース検診、無料クーポン券の送付や働き世代が受診しやすいよう土曜・日曜健診の実施や、協会けんぽと連携した未受診者への通知等啓発を行った。さらに疾病の早期発見、早期治療の目的達成の為、精密検査未受診者への受診勧奨を委託先と協力して実施した。</p>	R3	胃がん検診:40歳以上の男女対象1,430名・肺がん検診3,488名・大腸がん検診2,906名・子宮頸がん検診2,239名(クーポン受診者除く)・乳がん検診:2,158名(前立腺がん検診1,118名) 女性特有のがん検診:子宮頸がん検診クーポン利用受診者19名(対象101名)受診率18.8%・乳がん検診クーポン利用受診者38名(対象168名)受診率22.6%
	R4	胃がん検診:40歳以上の男女対象1,323名・肺がん検診3,147名・大腸がん検診2,762名・子宮頸がん検診2,211名(クーポン受診者除く)・乳がん検診:2,129名(前立腺がん検診1,064名) 女性特有のがん検診:子宮頸がん検診クーポン利用受診者35名(対象98名)受診率35.7%・乳がん検診クーポン利用受診者38名(対象163名)受診率23.3%
	R5	胃がん検診:40歳以上の男女対象1,241名・肺がん検診3,200名・大腸がん検診2,666名・子宮頸がん検診2,091名(クーポン受診者除く)・乳がん検診:2,050名(前立腺がん検診1,077名) 女性特有のがん検診:子宮頸がん検診クーポン利用受診者16名(対象87名)受診率18.4%・乳がん検診クーポン利用受診者29名(対象151名)受診率19.2%
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	51,588				51,588
当初予算	51,588				51,588
決算額	46,882	2,055			44,827
R4計画	51,588				51,588
当初予算	51,646				51,646
決算額	41,348				41,348
R5計画	51,588				51,588
当初予算	51,738			3,800	47,938
決算額	39,752				39,752
R6計画	51,588				51,588
当初予算	51,732			3,800	47,932
決算額					
R7計画	51,588				51,588
当初予算					
決算額					
計画額	257,940				257,940
当初予算	206,704			7,600	199,104
決算額	127,982	2,055			125,927

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 子宮頸がん・乳がん検診(クーポン券)受診勧奨	子宮頸がん・乳がん検診(クーポン券)周知回数(個別通知・間接通知)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7	回	目標値	8	8	8	8	8
			<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	8	8	8		
	達成率	100	100	100							
D 成果指標	1 子宮頸がん・乳がん検診(クーポン券)受診状況	子宮頸がん・乳がん検診(クーポン券)受診率(受診者数/配布者数)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	26.1	%	目標値	30	30	40	50	50
			<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	21.2	23.3	18.9		
	達成率	70.7	77.7	47.3							
E 評価対象外の理由	0 評価対象	要精密者への受診勧奨率	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
			<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100	100		
			達成率			100	100	100			
F 評価	2 精密検査受診状況	精密検査受診率 5大がんそれぞれの精密受診者の和/5大がんそれぞれの要精密検査者数の和	<input type="checkbox"/> 総合戦略	88.7	%	目標値	95	95	100	100	100
			<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	86.5	87.3	90.4		
			達成率			91.1	91.9	90.4			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>主要死因の1位である悪性新生物の早期発見を目的に、各種のがん検診を実施しているため、今後も事業の継続が必要である。受診勧奨や受けやすい体制づくりを行っており、受診者が増えるように今後も取り組んでいく必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市民が、がん検診を受けやすいように、特定健診時大腸がんの郵送健診や託児付きレディース健診など健診体制を整えた。精密未受診者の方には、個別の電話かけを行い受診勧奨を促した。本市における悪性新生物による死亡率が高いことから、今後においてもがん検診の体制整備、普及啓発につとめていく必要がある。</p>
---	---

I 令和7年度の事業の方向性	⇒ A. 現状のまま継続
----------------	--------------

事業番号	77003
枝番	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係
-----	-------	----	----------

事業	健康づくり増進事業	細事業	高齢者の保健事業と介護予防一体的事業	実施計画事業	高齢者の保健事業と介護予防一体的事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------------------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (115)

会計	一般	政策	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち	
款	4	施策	1 保健・医療サービスの充実	
項	1	施策展開	②疾病予防を推進する	
目	2	後期基本計画	38 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	83			

個別計画名	第2次豊後大野市健康づくり計画	
期間	H26 年度	～ R5 年度
期間	年度	～ 年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	2,433
消耗品費	395
期末手当(会計年度任用職員分)	331
社会保険料(会計年度任用職員分)	298

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施し、切れ目のない支援に結びつけ、自立した生活ができる期間の延伸とQOL向上を目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・KDBシステム等を活用した保健・医療・介護情報の分析 ・高齢者への個別支援 ①健康状態不明者把握 46名 ②重症化予防 ・糖尿病性腎症 6名 ・その他生活習慣病 43名 ③低栄養 43名 ・通いの場等への積極的な関与 ①集団健診会場等の健康相談293名 ②サロンやカフェ等での健康教室68回 ③普及啓発 CATV・リーフレット 75歳到達者へ健康情報周知699名</p>	R3	
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・KDBシステムを導入し、地区分析を行い、保健・医療・介護情報をHPやリーフレットにて市民へ周知。 ・管理栄養士、歯科衛生士の医療専門職2名を配置し、健康相談、健康教室を実施 ・健康状態不明者把握81/81(100%) ・集団健診時の健康相談31/31(100%) ・サロン、カフェ等での健康教室
	R5	<ul style="list-style-type: none"> ・KDBシステム等を活用し、地区分析を行い、保健・医療・介護情報をHPやリーフレットにて市民へ周知。 ・管理栄養士、歯科衛生士の医療専門職2名を配置し、健康相談、健康教室を実施 ・健康状態不明者把握 35人 ・集団健診時の健康相談 33回 ・サロン、カフェ等での健康教室 17回
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画					
当初予算					
決算額					
R4計画					
当初予算	4,478			4,000	478
決算額	4,112			3,699	413
R5計画					
当初予算	3,997			3,997	
決算額	3,495			3,495	
R6計画					
当初予算	4,176	4,000			176
決算額					
R7計画					
当初予算					
決算額					
計画額					
当初予算	12,651	4,000		7,997	654
決算額	7,607			7,194	413

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
							目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C	1 健康状態不明者実態把握	KDBにより健康状態不明者抽出後訪問等による実態把握率 (R5:35人/35人)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値		100	100	100	100
						実績値		100	100		
						達成率		100	100		
2 集団健診時等の健康相談	健康相談日数/集団健診等日数 (R5:33日/33日) 相談者数 (R5:384人) 相談内容 低栄養予防・フレイル予防	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値		100	100	100	100	
					実績値		100	100			
					達成率		100	100			
D	1 健康状態不明者の保健・医療等への接続率	KDB等により健康状態不明者の保健・医療等への接続率を追求する (R5年度評価)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値			30	40	40
						実績値			34.3		
						達成率			114.3		
	2 後期高齢者健診受診率(75歳到達者)	令和5年度に勧奨した新規被保険者(75歳到達者)の健診受診率 KDBにより質問項目回答内容の経年変化	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値			40	41	41
						実績値			44.6		
						達成率			111.5		

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	評価項目	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 高齢者福祉課、市民生活課国保年金係と健康推進室が一体となり、県後期高齢者医療広域連合や地域包括支援センター、市医師会等と連携し事業に取り組んでいる。 国保データベースシステムを活用した地域の健康課題の分析、高齢者への個別支援、通いの場等への積極的な関与等の取組を行い、健康状態不明者の実態把握(率)、集団健診時等の健康相談(率)とも100%の実績を残すことができた。 令和6年度についても、継続し事業の推進に努めていく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 高齢者福祉課、市民生活課国保年金係と健康推進室が一体となり、県後期高齢者医療広域連合や地域包括支援センター、市医師会等と連携し事業に取り組んでいる。 国保データベースシステムを活用した地域の健康課題の分析、高齢者への個別支援、通いの場等への積極的な関与等の取組を行い、健康状態不明者の実態把握、集団健診時等の健康相談にも取り組んだ。 令和6年度についても、継続し事業の推進に努めていく。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業	環境衛生事業	細事業	公衆衛生事業	実施計画事業	狂犬病予防事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (230)		III 豊かなくらしと安心を実感できるまち		個別計画名	第3次豊後大野市環境基本計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	5 環境衛生の推進				
款	4	施策	④公衆衛生を推進する				
項	1	施策展開	後期基本計画 60 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>				
目	3			期間	年度 ~ 年度	消耗品費	344
決算	84					印刷製本費	256
						通信運搬費	118

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 狂犬病予防法に基づく予防注射の対応及び犬の登録、異動、死亡、飼い方等への対応を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・予防注射(集合)の実施 ・犬の登録、異動、死亡等の届出処理 ・キントーンを使用した犬システムを利用し台帳を整備 ・迷い犬、犬の飼い方への苦情対応</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> ・予防注射の実施(1,447頭) ・犬の登録(132頭)、異動、死亡等の届出処理(システムの保守管理を委託し、台帳へ入力を実施) ・迷い犬、犬の飼い方への苦情対応 	R3計画 762			762		
			当初予算 762				762	
			決算額 645				645	
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・予防注射の実施(1402頭) ・犬の登録(130頭)、異動、死亡等の届出処理(システムの保守管理を委託し、台帳へ入力を実施) ・犬システムのキントーンへの移行を行った。 ・迷い犬、犬の飼い方への苦情対応 	R4計画 762			762		
			当初予算 766				766	
			決算額 763				763	
	R5	<ul style="list-style-type: none"> ・予防注射の実施(1383頭) ・犬の登録(186頭)、異動、死亡等の届出処理 ・キントーンを使用した犬システムを利用し台帳を整備 ・迷い犬、犬の飼い方への苦情対応 	R5計画 762			762		
			当初予算 718				718	
			決算額 566				566	
	R6		R6計画 762				762	
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画 762				762	
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 3,810			3,810		
			当初予算 2,246			2,246		
			決算額 1,974			1,408	566	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 狂犬病予防注射頭数	過去5年間の平均注射頭数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,539	頭	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
						実績値	1,447	1,402	1,383		
						% 達成率	90.4	87.6	86.4		
D 成果指標	1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	13点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		13点	13点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 法令に基づくもの及び市民の生活環境を改善するために必要不可欠な事業であり、精査しながら対応していく必要がある。犬の登録頭数、注射頭数は人口と同じで、基本的には今後も減少傾向は続くと思われるが、令和5年度については登録頭数の伸びが見られた。
 また、令和4年6月から犬のマイクロチップ義務化(ペットショップやブリーダーなど犬を販売する事業者のみ義務化)が法改正により施行された。これに伴い国は登録等のワンストップ化のサービスを推進しているが、手数料等の徴収問題関係により県内市町村未加入状態である。他市の状況や条例適用等を踏まえ、今後の加入要検討である。
 なお、犬の登録についてはR5年2月よりkintoneを利用して登録・異動(市内)が出来るようになり改善が図られた。また、令和6年度は登録手数料のキャッシュレス化実現へ向け取り組む。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 法令に基づくもの及び市民の生活環境を改善するために必要不可欠な事業である。犬の登録及び注射は全体数が減少傾向が続くと考えられる。
 また、令和4年6月の犬のマイクロチップ義務化が法改正により施行された。これに伴い国は登録等のワンストップ化サービスを推進しているが、手数料等の徴収問題関係により県内市町村未加入状態である。他市の状況や条例適用等を踏まえ、今後の加入要検討である。
 なお、犬の登録についてはR5年2月よりkintoneを利用して登録・異動(市内)が出来るようになり改善が図られた。また、令和6年度は登録手数料のキャッシュレス化実現へ向け取り組む。

事業	環境衛生事業	細事業	公衆衛生事業	実施計画事業	悪臭防止事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (230)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	4	施策 5 環境衛生の推進	手数料					440
項	1	施策展開 ④公衆衛生を推進する	臭気調査委託料					106
目	3	後期基本計画 60 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	84							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 三重町三重原地域周辺の養豚業者からと思われる悪臭問題の解決に向け、悪臭の発生状況について地域住民からの意見を聞くためにモニタリング調査として三重原区から10名選任してもらい、毎月報告をいただく。市内の臭気問題について必要があれば悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定(臨時的発生時の対応) ・地域住民へ臭気測定のモニタリング調査を委託</p>	R3	・悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定7回(2,926千円) ・地域住民へ臭気測定のモニタリング調査を委託(106千円) ・循環型自然消臭法試験導入業務委託の実施(3,564千円)	R3計画 3,868 当初予算 3,868 決算額 6,596				3,868 3,868 6,596	
	R4	・悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定(臨時的発生時の対応) →対象業者の廃業表明によりR4年度に予定されていた臭気指数調査は行わなかった。 ・地域住民へ臭気測定のモニタリング調査を委託(106千円)	R4計画 3,868 当初予算 3,967 決算額 106				3,868 3,967 106	
	R5	・悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定(臨時的発生時の対応)については、対象業者が令和5年6月に廃業したため、調査が行われることはなかった。 ・地域住民へ臭気測定のモニタリング調査を委託(106千円)	R5計画 2,200 当初予算 546 決算額 106				2,200 546 106	
	R6		R6計画 2,200 当初予算 決算額				2,200	
	R7		R7計画 2,200 当初予算 決算額				2,200	
	R3 ~ R7 合計			計画額 14,336 当初予算 8,381 決算額 6,808				14,336 8,381 6,808

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 臭気指数の測定回数 地域住民からの要望及び予算による	<input type="checkbox"/> 総合戦略	8	回	目標値	8	8	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7				
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率	87.5				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	13点	13点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
三重町三重原地域周辺の2養豚業者のうち、主な対象であった1豚業者が令和5年6月に廃業したため、悪臭防止法に基づく臭気測定を実施することはなかった。地域住民に委託して行っていた臭気測定のモニタリング調査についても令和5年度末までとなった。今後は地区代表者との協議のあり方についてを含めて、臭気の改善の動向と今後の取組について検討する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
担当係長の意見と同様で、三重町三重原地域周辺の2養豚業者のうち、主な対象であった1豚業者が令和5年6月に廃業したため、悪臭防止法に基づく臭気測定を実施することはなかった。地域住民に委託して行っていた臭気測定のモニタリング調査についても令和5年度末までとなった。今後は地区代表者との協議のあり方についてを含めて、臭気の改善の動向と今後の取組について検討する必要がある。

事業	環境衛生事業	細事業	公衆衛生事業	実施計画事業	食品衛生協会補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No. (230)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	4	施策	5 環境衛生の推進		期間	年度 ~ 年度			食品衛生協会補助金	200
項	1	施策展開	④公衆衛生を推進する		期間	年度 ~ 年度				
目	3	後期基本計画	60 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	84									

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 豊後大野市食品衛生協会は食品関係業者により組織された団体として昭和38年に発足して以来、食品に起因する伝染病、食中毒の発生防止、食品の品質と食品衛生の向上に努めている。</p> <p>食中毒などの食品事故の防止のために巡回指導、食品衛生安全情報普及事業、衛生教育事業等さまざまな活動を行っている協会の安定化を図り、食品に起因する衛生上の危害を防止し、公衆衛生の向上及び推進に寄与することを目的として補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 豊後大野市食品衛生協会の令和5年度の事業に対し、補助金の交付を行う。</p>	R3	豊後大野市食品衛生協会の令和3年度の事業に対し、補助金の交付を行った。	R3計画	200			200	
				当初予算	200			200
				決算額	200			200
	R4	豊後大野市食品衛生協会の令和4年度の事業に対し、補助金の交付を行った。	R4計画	200			200	
				当初予算	200			200
				決算額	200			200
	R5	豊後大野市食品衛生協会の令和5年度の事業に対し、補助金の交付を行った。	R5計画	200			200	
				当初予算	200			200
				決算額	200			200
				R6計画	200			200
			当初予算					
			決算額					
			R7計画	200			200	
			当初予算					
			決算額					
			R3 ~ R7 合計	1,000			1,000	
			当初予算	600			600	
			決算額	600			600	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
					%	達成率					
D 成果指標	1 食中毒の発生抑制	<input type="checkbox"/> 総合計画			件	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値						
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値						
	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率						

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	16点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	／25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 食品衛生協会が行う食中毒などの食品事故防止のための活動をはじめ、さまざまな活動・取組を今後も支援していく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 係長意見と同様で、食中毒を起こさせないため、さまざまな取組を今後とも支援していく。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	環境衛生事業	細事業	飲料用水施設改善補助事業	実施計画事業	飲料用水施設改善補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (189)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	4	施策	2 上下水道の整備		期間	年度 ~ 年度			
項	1	施策展開	① 上下水道等を整備する						
目	3	後期基本計画	54 P		<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略			<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	84								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市民の健康増進と公衆衛生の確保及び生活環境の改善を図るため、市内の公営水道区域外の飲料用水施設の新設及び修繕に係る費用の一部を助成する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 補助率を1/3から1/2、補助対象事業費の上限を400万円から500万円、1世帯の補助金上限を30万円から50万円に改正し、4月1日より適用。 ・飲料用水施設改善補助金の交付 2世帯以上(12件)、1世帯(8件)</p>	R3	・飲料用水施設改善補助金の交付(8件)	R3計画 13,330				13,330
			当初予算 13,330				13,330
			決算額 3,774				3,774
	R4	・飲料用水施設改善補助金の交付(9件)	R4計画 13,330				13,330
			当初予算 13,300				13,300
			決算額 4,372				4,372
	R5	・飲料用水施設改善補助金の交付(19件)	R5計画 13,330				13,330
			当初予算 13,960				13,960
			決算額 16,978				16,978
	R6		R6計画 13,330				13,330
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 13,330				13,330	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 66,650				66,650
			当初予算 40,590				40,590
			決算額 25,124				25,124

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 補助事業実施数	過去の実績を踏まえ下限を設定する。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	19	件	目標値	10	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	8	9	19		
		% 達成率			80	90	190			
D 1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
D 2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	17点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
令和5年度からは1/2補助(対象事業500万円)へと要綱改正を行った。令和4年度の実績件数は8件であったが令和5年度は19件へと増加した。今後も需要はあると思われるので継続した取組が必要である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
地元申請に基づくため、年度間で件数・金額にばらつきが見られる。担当係長と同様だが、令和5年度からは1/2補助(対象事業500万円)へと要綱改正を行った。令和4年度の実績件数は8件であったが令和5年度は19件へと増加した。今後も需要はあると思われるので継続した取組が必要である。また、要望件数が増加する可能性があるため、申請者の現状や常に予算の執行状況(予算残)には注意を払う必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	環境衛生事業	細事業	環境衛生事務費	実施計画事業	自動車騒音監視業務委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (403)		政策	VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち	個別計画名	第3次豊後大野市環境基本計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	2 環境保全の推進				
款	4	施策展開	①環境保全対策を推進する				
項	1	後期基本計画	100 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>				
目	3	決算	84	期間	年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 豊後大野市内における自動車騒音の状況について、騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、環境省が配布する面的評価支援システムを使用して常時監視を実施し、対象路線の面的評価を行い環境基準の達成の把握、環境省への報告資料を作成し、総合的な道路環境の各種施策への反映、公表することを目的とする。(権限移譲により平成24年度から当該事業を市が行うこととなっている。)</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・自動車騒音監視業務委託(6路線 10区間)</p>	R3	・自動車騒音監視業務委託(7路線 12区間、実測4地点)	R3計画 2,530				2,530
				当初予算 2,530			2,530
				決算額 2,618			2,618
	R4	・自動車騒音監視業務委託(11路線、16区間)	R4計画 2,500				2,500
				当初予算 2,629			2,629
				決算額 2,255			2,255
	R5	・自動車騒音監視業務委託(5路線 7区間)	R5計画 2,500				2,500
				当初予算 2,310			2,310
				決算額 2,024			2,024
	R6			R6計画 2,200			2,200
			当初予算				
			決算額				
R7			R7計画 2,200			2,200	
			当初予算				
			決算額				
R3 ~ R7 合計			計画額 11,930			11,930	
			当初予算 7,469			7,469	
			決算額 6,897			6,897	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 対象路線数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	路線	目標値	7	11	5	5	4
					実績値	7	11	5		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	11点	3点	11点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
法令に基づくものであり必須の事業となっている。今後も道路交通センサスの状況による計画を見直ししながら、事業については入札を行い事業費の削減に務めていく必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
法令に基づくものであり必須事業である。道路交通センサスの状況による計画を見直し、入札を行い事業費の削減に務めていく。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	環境衛生事業	細事業	小規模給水施設整備事業	実施計画事業	小規模給水施設整備事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (189)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策 2 上下水道の整備					
項	1	施策展開 ① 上下水道等を整備する					
目	3	後期基本計画 54 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>					
決算	84					工事請負費	23,947
						修繕料	200

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市内の公営水道未普及地域の生活環境の改善を図るため、大分県の補助事業を活用して施設整備を図る。 また、平成30年度に小規模給水施設水源確保等支援事業(大分県補助)で整備した三重町松谷地区・小切畑地区の給水施設の修繕を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・小規模集落等水源整備事業(2箇所) 清川町中村水道組合、緒方町天神尾水道組合・三重町松谷地区の給水施設の補修(1箇所)</p>	R3	・三重町松谷地区の給水施設の補修(1箇所)	R3計画 200				200
			当初予算 200				200
			決算額 158				158
	R4	・小規模集落等水源整備事業(1箇所) 大野町中原区矢射渡水道組合 ・三重町松谷地区の給水施設の補修(1箇所)	R4計画 200				200
			当初予算 200				200
			決算額 12,265	6,000		60	6,205
	R5	・小規模集落等水源整備事業(2箇所) 清川町中村水道組合、緒方町天神尾水道組合について、ボーリング工事は終了したが管工事が繰越となった。 ・三重町松谷地区の給水施設の補修(1箇所)については令和5年度は実績なし	R5計画 200				200
			当初予算 24,147	11,973		1,196	10,978
			決算額 19,525				19,525
	R6		R6計画 200				200
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 200				200	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,000			1,000	
			当初予算 24,547	11,973	1,196	11,378	
			決算額 31,948	6,000	60	25,888	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1	施設の補修による状況を見守りつつ、地元への移管を検討する必要があるため。	<input type="checkbox"/> 総合計画		目標値					
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値					
	2-		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率					
			<input type="checkbox"/> 総合計画		目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率						

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		2点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	12点	—点 12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	／25点	3点 ／25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>県の小規模集落に対する新たな補助事業(R4~R6)を活用して施設整備を図る。令和5年度事業については繰越事業となったので令和6年度の早期完了を目指す。 また、平成30年度に小規模給水施設水源確保等支援事業(大分県補助)で整備した三重町松谷地区・小切畑地区の給水施設の修繕を行っているが地元移管を含めて検討する必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>今後とも事業費大きく市単独事業での取組みが難しいと思われるもので、県事業に該当する場合には、積極的な県の小規模集落に対する新たな補助事業(R4~R6)を活用して施設整備を図る。担当係長と同様で、令和5年度事業については、繰越事業となったので令和6年度の早期完了を目指す。 また、平成30年度に小規模給水施設水源確保等支援事業(大分県補助)で整備した三重町松谷地区・小切畑地区の給水施設の修繕を行っているが地元移管を含めて今後検討する必要がある。</p>
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	葬斎場事業	細事業	葬斎場管理運営事業	実施計画事業	葬斎場管理運営事業	終了年度	なし
----	-------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (229)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間	葬斎場運転管理業務委託料	24,833
款	4	年度	光熱水費	10,576
項	1	年度	燃料費	5,775
目	4	年度	修繕料	4,862
決算	85			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 人生の終焉となる葬斎場について、墓地・埋葬に関する法律及び条例、規則に則り、維持管理を適正に行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・葬斎場運転管理の業務委託 ・警備、浄化槽、エレベータ、火葬炉等の保守管理、点検業務の委託 ・燃料、光熱水費の支払、消耗品の購入及び修繕発生時の対応 ・臼杵市(野津町分)からの事務委託による精算業務</p>	R3	・葬斎場運転管理の業務委託 ・警備、浄化槽、エレベータ、火葬炉等の保守管理、点検業務の委託 ・燃料、光熱水費の支払、消耗品の購入及び修繕発生時の対応 ・臼杵市(野津町分)からの事務委託による精算業務	R3計画 56,928			17,025	39,903
			当初予算 56,928			17,025	39,903
			決算額 48,252			16,210	32,042
	R4	・葬斎場運転管理の業務委託 ・警備、浄化槽、エレベータ、火葬炉等の保守管理、点検業務の委託 ・燃料、光熱水費の支払、消耗品の購入及び修繕発生時の対応 ・臼杵市(野津町分)からの事務委託による精算業務	R4計画 56,928			17,025	39,903
			当初予算 56,234			18,379	37,855
			決算額 57,765			18,193	39,572
	R5	・葬斎場運転管理の業務委託 ・警備、浄化槽、エレベータ、火葬炉等の保守管理、点検業務の委託 ・燃料、光熱水費の支払、消耗品の購入及び修繕発生時の対応 ・臼杵市(野津町分)からの事務委託による精算業務	R5計画 56,928			17,025	39,903
			当初予算 56,766			17,312	39,454
			決算額 53,769				53,769
	R6		R6計画 56,928			17,025	39,903
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 56,928			17,025	39,903	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 284,640			85,125	199,515
			当初予算 169,928			52,716	117,212
			決算額 159,786			34,403	125,383

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 火葬業務件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	861	件	目標値	820	820	820	820	820
					実績値	821	938	915		
					% 達成率	100.1	114.4	111.6		
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	13点	3点	13点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
法令等により市が実施主体であることが定められており、必須の事業となっている。施設については建設から9年(平成27年3月20日竣工)を経過しており、今後も計画的な補修修繕及び維持管理に努め、委託業者と連携を密にして運営を行う必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
法令等により市が実施主体であることが定められており、必須の事業である。施設については、今後も計画的な補修修繕及び維持管理に努め、委託業者と連携を密にして運営を行う。残骨灰処理のうち有価物の対応については、今後とも継続的な課題と捉えている。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	清掃総務事業	細事業	一般廃棄物適正処理事業	実施計画事業	一般廃棄物適正処理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (221)		III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24年度 ~ R8年度 令和3年度一般廃棄物処理計画【実施計画】 期間 R3年度 ~ R3年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策			消耗品費	61
款	4	施策			通信運搬費	6
項	2	施策展開				
目	1					
決算	87	後期基本計画 60 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び本市の条例、規則に基づき一般廃棄物処理業の許可更新事務を行う。</p> <p>また、市道沿いの小動物の死骸処理を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・一般廃棄物処理業の許可更新事務 ・小動物の死骸処理</p>	R3	・一般廃棄物処理業の許可更新事務 8件 ・小動物の死骸処理 27件	R3計画 36			16	20
			当初予算 36			16	20
			決算額 17			16	1
	R4	・一般廃棄物処理業の申請事務 3件 更新2件(許可2件) 新規1件(不許可1件) ・小動物の死骸処理 30件	R4計画 36			4	32
			当初予算 36			4	32
			決算額 11			6	5
	R5	・一般廃棄物処理業の申請事務 9件 更新8件(許可8件) 新規1件(不許可1件) ・小動物の死骸処理 36件	R5計画 36			16	20
			当初予算 67			16	51
			決算額 54				54
	R6		R6計画 36			4	32
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 36			16	20
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 180			56	124
			当初予算 139			36	103
			決算額 82			22	60

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 一般廃棄物処理業の許可更新件数 現在許可されている業者数(2年更新)(新規申請の審査を含む)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		3	件	目標値	8	2	8	2	8
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	8	3	9		
		% 達成率	100			150	112.5				
D 成果指標	1 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値							
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率							
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値							
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率							

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	13点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点
			13点 / 25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
一般廃棄物処理業の許可更新事務については、関係法令に基づくものであり、粛々と進める必要がある。今後の課題としては令和9年度の新環境センター稼働に向けて、令和8年度で本市の一般廃棄物処理基本計画が終了するため、新たに策定が必要となる。
小動物の死骸処理については、土日祝日、時間外も環境衛生課係内職員で対応しており、他市ではシルバー人材センター等に委託しているところもあるが、本市では職員で対応している状況である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
一般廃棄物処理業許可更新事務については、関係法令に基づくもので、粛々と進める必要がある。今後の課題としては令和9年度の新環境センター稼働に向けて、令和8年度で本市の一般廃棄物処理基本計画が終了するため、新たに策定が必要となる。
小動物死骸処理の土日祝日時間外対応は、他市では委託しているところもあるが、本市では職員で対応しており、今後の検討課題と考えられる。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	清掃総務事業	細事業	塵芥処理事業	実施計画事業	段ボールコンポスト支給事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	---------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24年度 ~ R8年度 令和3年度一般廃棄物処理計画【実施計画】 期間 R3年度 ~ R3年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	5 環境衛生の推進				
項	2	施策展開	②循環型社会を形成する				
目	1	後期基本計画 60 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	87						
総合計画体系図No.1 (223)						消耗品費	572

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 家庭から排出される生ごみの減量の推進及びリサイクルに関する市民の意識の高揚を図るため。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 段ボールコンポストセットの給付(200基)し、モニタリング調査を行う。モニタリング調査結果をもとに事業の継続等について判断する。</p>	R3	段ボールコンポストセットについては100セットを59人へ給付した。モニタリング調査のアンケート結果については59名中53名の回答があり、取組が簡単だったが約6割、今後も取組たいが約5割であった。「混ぜるのが大変」、「夏場の臭いや虫の発生」などの気になる点があれば、「いい堆肥ができた」、「ごみの減量化ができた」などの意見があった。	R3計画 400				400
			当初予算 400				400
			決算額 198				198
	R4	段ボールコンポストセットについては200セットを63人へ給付した。モニタリング調査のアンケート結果については63名中56名の回答があり、今後も取組たいが約6割であった。	R4計画 400				400
			当初予算 484				484
			決算額 401				401
	R5	段ボールコンポストセットについては200セットを60人へ給付した。モニタリング調査のアンケート結果については60名中49名の回答があり、今後も取組みたいが約6割であった。	R5計画 400				400
			当初予算 572				572
			決算額 462				462
	R6		R6計画 400				400
		当初予算					
		決算額					
R7		R7計画 400				400	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 2,000				2,000
			当初予算 1,456				1,456
			決算額 1,061				1,061

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略	7,818	ト	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
D 成果指標	1) 生ごみの排出量(家庭系ごみ)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画		ト	目標値	7,277	7,178	7,080	6,981	6,883
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		ン	実績値	7,725	7,570	7,308		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	106.2	105.5	103.2		
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	14点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>段ボールコンポストの給付については、これまで畑で使用していたコンポスターに変わり新たに令和3年度から取組を開始したものである。(R3:100セット、R4:200セット、R5:200セット)</p> <p>R5年度のアンケート結果からは、約6割が今後も取組みたいとの結果であった。今後も継続的に事業を続ける必要がある。また、その他の給付への取組も検討していく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>段ボールコンポスト給付については、新たに令和3年度から取組を開始したものである。アンケート結果からは、ごみの減量化に対する意識付けという目標は達したと考える。本給付事業については、令和3年度からの継続事業ではあるが、今後とも市民のごみ減量化に対する意識高揚を継続して図る必要がある。しかし、値には段ボールコンポストが影響する燃えるごみ以外のごみも含まれており、今後ともごみの減量化啓発を行っていくことが必要。</p>
---	---

事業	清掃総務事業	細事業	塵芥処理事業	実施計画事業	不法投棄対策事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち	個別計画名	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24年度 ~ R8年度 第3次豊後大野市環境基本計画 期間 R2年度 ~ R6年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	4	施策	2 環境保全の推進				
項	2	施策展開	①環境保全対策を推進する				
目	1	後期基本計画 100 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	87						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 不法投棄の撲滅に向けた啓発と発生時の処理を関係機関と連携して行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・不法投棄防止対策等支援事業(看板20本作成) ・不法投棄された廃棄物の処理</p>	R3	・不法投棄防止対策等支援事業(看板20本作成) ・不法投棄された廃棄物の処理【家電リサイクル分(テレビ、冷蔵庫、洗濯機)、タイヤほか】	R3計画 334	49			285
			当初予算 334	49			285
			決算額 232	49			183
	R4	・不法投棄防止対策等支援事業(看板20本作成) ・不法投棄された廃棄物の処理【家電リサイクル分(テレビ、冷蔵庫、洗濯機)、タイヤほか】	R4計画 334	49			285
			当初予算 334	49			285
			決算額 335	49			286
	R5	・不法投棄防止対策等支援事業(看板20本作成) ・不法投棄された廃棄物の処理【家電リサイクル分(テレビ、冷蔵庫、洗濯機)、タイヤほか】	R5計画 334	49			285
			当初予算 309	61			248
			決算額 157				157
	R6		R6計画 334	49			285
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 334	49			285
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,670	245			1,425
			当初予算 977	159			818
			決算額 724	98			626

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
	% 達成率									
D 成果指標	1 不法投棄発生件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	14	件	目標値	13	12	11	10	9
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	17	26	24		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	130.8	216.7	218.2		
2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	11点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	25点	2点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>不法投棄防止に対する啓発及び発見後に処理等の取組を継続して行っているが、根本的な解決は困難である。 発見された不法投棄は以前から発生したものも多く、不法投棄撲滅の取組は地道な啓発活動が必要である。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>不法投棄防止に対する啓発及び発見後に処理等の取組を継続して行っている。しかしながら、実際の不法投棄発生件数は増加する結果となった。 不法投棄撲滅の取組は、地道な啓発活動が必要である。</p>
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	生活排水処理事業	細事業	浄化槽設置整備事業	実施計画事業	浄化槽設置整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (191)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 生活排水処理施設整備構想 期間 H28 年度 ~ R8 年度	令和5年度 主な歳出名称 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金	当初予算額 234,720
会計	一般	施策 2 上下水道の整備			
款	4	施策展開 ②生活排水処理を推進する			
項	2	後期基本計画 54 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	2				
決算	88				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 単独浄化槽やくみ取り便槽を合併処理浄化槽へ転換することにより、河川や用水路などの効用水域の水質保全、公共衛生が向上し、住民の生活環境の向上が図られる。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 単独浄化槽、くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換補助事業 目標基数250基</p>	R3	単独浄化槽、くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換補助事業 基数220基	R3計画 222,670	154,502			68,168
			当初予算 222,670	154,502			68,168
			決算額 190,326	141,116			49,210
	R4	単独浄化槽、くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換補助事業 基数211基	R4計画 222,670	154,502			68,168
			当初予算 224,220	155,665			68,555
			決算額 193,978	137,907			56,071
	R5	単独浄化槽、くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換補助事業 目標基数159基	R5計画 222,670	154,502			68,168
			当初予算 234,720	158,330			76,390
			決算額 150,521	125,593			24,928
	R6		R6計画 222,670	154,502			68,168
			当初予算 188,386	123,080			65,306
			決算額				
	R7		R7計画 222,670	154,502			68,168
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,113,350	772,510			340,840
			当初予算 869,996	591,577			278,419
			決算額 534,825	404,616			130,209

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 合併処理浄化槽転換基数	年度末転換完了基数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	228	基	目標値	200	200	200	200	200
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	220	211	159		
					% 達成率	110	105.5	79.5		
D 成果指標 1 汚水処理人口普及率	汚水処理人口/住民基本台帳人口×100	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	64.5	%	目標値	68.4	70.3	72.3	74.3	76.4
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	66.6	70	71.2		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	97.4	99.6	98.5		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		23点	23点
		/25点	/25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>石綿事前調査が義務化された影響で設置基数が大幅に減少した。「豊後大野市生活排水処理施設整備構想」では令和7年度末の生活排水処理率76.4%を目標としている。令和5年度末で71.18%と下回っており、年々設置基数が減少している状況である。目標達成のため、予算限度いっぱい設置に向けて取組みを進めていくと同時に、制度の周知を行なう必要がある。また、汚水処理人口普及率向上に向けて新たな推進策等を検討する必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>「豊後大野市生活排水処理施設整備構想」での生活排水処理率の令和5年度末目標値72.3%に対し実績は71.18%となった。年度途中で石綿事前調査が義務化された影響で設置基数が目標より大幅に減少したため目標達成とはならなかったが、業者側の資格取得も順調に進んでおり、今後は順調に推移していくと思われる。構想の中間目標である令和7年度末の生活排水処理率76.4%達成に向け広報啓発活動を行い、事業の推進に努めたい。</p>
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	一般廃棄物処理事業	細事業	一般廃棄物処理事業	実施計画事業	一般廃棄物処理事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (219)		III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24 年度 ~ R8 年度 令和3年度一般廃棄物処理計画 期間 R3 年度 ~ R3 年度	令和5年度主な歳出名称 ごみ収集・処分業務委託料 清掃センター施設管理委託料 修繕料 光熱水費	当初予算額 232,546 124,600 29,645 64,966
会計	一般	政策			
款	4	施策			
項	2	施策展開			
目	3	後期基本計画 60 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	89				

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 一般廃棄物処理事業(ごみ収集・処分業務) <令和5年度の取組内容(計画)> ・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集・運搬、処分する。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減を図る。	R3	・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集、運搬、処分をおこなった。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減が図られた。	R3計画 511,215			154,742	356,473
			当初予算 511,215			154,742	356,473
			決算額 515,061			145,613	369,448
	R4	・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集、運搬、処分をおこなった。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減が図られた。	R4計画 511,215				511,215
			当初予算 595,921		62,400	186,613	346,908
			決算額 681,773			195,697	486,076
	R5	・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集・運搬、処分業務が出来た。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減が図られた。	R5計画 543,092			177,971	365,121
			当初予算 543,092			177,971	365,121
			決算額 619,923			179,010	440,913
	R6		R6計画 535,189		79,500	183,135	272,554
			当初予算 535,189			186,135	349,054
			決算額				
	R7		R7計画 511,215				511,215
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 2,611,926		79,500	515,848	2,016,578
			当初予算 2,185,417		62,400	705,461	1,417,556
			決算額 1,816,757		520,320	1,296,437	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画								
		<input type="checkbox"/> 総合戦略								
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画								
		<input type="checkbox"/> 総合計画								

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	10点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	12点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
課題 焼却施設の老朽化に伴い計画的な修繕を行っているが、修繕箇所が多く、その分片炉のみでの稼働日数が多いためごみの搬入量においつかず、施設でストックしている状況がある。このことにより24時間勤務も常態化することが多々ある。 改善策 ごみ・し尿等収集計画表を活用してごみ分別アプリの情報を掲載し、分け方・出し方の情報を周知して分別強化を促進するとともに、生ごみの水切りの周知やダンボールコンポスの配布を実施した。また搬入者や電話対応においても分別の徹底等お伝えしながらごみ減量化に努めた。	施設の老朽化に伴い計画的な修繕を行っているが、修繕箇所が多く、焼却炉の修繕の時は焼却量が搬入量においつかず、3直勤務(24時間)をしたり施設でストックしている状況がある。 ごみ・し尿等収集計画表を活用してごみ分別アプリの情報を掲載し、分け方・出し方の情報を周知して分別強化(紙や布や布団なども)を促進するした。また搬入者や電話対応においても分別(リサイクル)の徹底等お伝えしながらごみ減量化に努めた。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	一般廃棄物処理事業	細事業	一般廃棄物処理施設整備事業	実施計画事業	一般廃棄物処理施設整備事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (218)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24 年度 ~ R8 年度 令和3年度一般廃棄物処理計画【実施計画】 期間 R3 年度 ~ R3 年度	令和5年度主な歳出名称 不燃物排出装置交換工事請負費 31,900	当初予算額
会計	一般	施策 5 環境衛生の推進			
款	4	施策展開 ①廃棄物対策を充実する			
項	2	後期基本計画 60 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	3				
決算	89				

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 一般廃棄物処理事業(ごみ収集・処分業務) <令和5年度の取組内容(計画)> ごみ処理施設の信頼性及び安全性を維持するために設備・機器の適切な保全及び管理を行い、ごみ処理に支障をきたすことなく安定的かつ継続的な業務を行う。	R3	ごみ処理施設の信頼性及び安全性を維持するために設備・機器の適切な保全・管理及び修繕を行い、ごみ処理に支障をきたすことなく安定的かつ継続的な業務を行った。	R3計画	57,915		7,800	50,115
			当初予算	57,915		7,800	50,115
			決算額	54,780			54,780
	R4	ごみ処理施設の信頼性及び安全性を維持するために設備・機器の適切な保全・管理及び修繕を行い、ごみ処理に支障をきたすことなく安定的かつ継続的な業務を行った。	R4計画	24,200		23,214	986
			当初予算	24,200		23,214	986
			決算額	24,178			24,178
	R5	ごみ処理施設の信頼性及び安全性を維持するために設備・機器の適切な保全・管理及び修繕を行い、ごみ処理に支障をきたすことなく安定的かつ継続的な業務が実施出来た。	R5計画	31,900		24,237	7,663
			当初予算	31,900		24,237	7,663
			決算額	28,930		23,441	5,489
	R6		R6計画	24,200		23,214	986
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画	24,200		23,214	986
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	162,415		101,679	60,736
			当初予算	114,015		55,251	58,764
			決算額	107,888		23,441	84,447

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略								
		<input type="checkbox"/> 個別計画								
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画								
		<input type="checkbox"/> 総合戦略								
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画								
		<input type="checkbox"/> 総合戦略								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	12点	12点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
意見 焼却炉下部に配置されている不燃物排出機が経年劣化、摩耗等によりスクリーユが減肉しており、正常に不燃物を排出されなくなる恐れがあるため機能維持と安定稼働のため交換工事が必要となった。 R9年度の新環境センター稼働開始までに、年次点検等で判明した重要設備機器の交換や修繕を必要とする箇所は今後もあると思われ、安定稼働のために実施する必要がある。	R9年度の新環境センター稼働開始までに、重要設備機器の交換や修繕を必要とする箇所は今後もあると思われ、安定稼働のために実施する必要がある。 可燃物処理施設は25年以上を経過しており、経年劣化による修繕が目立っている。新環境センター稼働開始までに高額の支出が予想される。
課題 可燃物処理施設は25年以上を経過しており、経年劣化による修繕が目立っている。また、機械設備も同様に修繕が必要となっているが、製造中止の物が多く、新環境センター稼働開始までに高額の支出が予想される。	

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	一般廃棄物処理事業	細事業	一般廃棄物処理事業	実施計画事業	一般廃棄物処理事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (227)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24 年度 ~ R8 年度 令和3年度一般廃棄物処理計画【実施計画】 期間 R3 年度 ~ R3 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額 包括運転管理委託料 227,331 白鹿浄化センター施設管理委託料 4,895 白鹿浄化センター設備維持補修工事請負費 106,557
款	4	施策 5 環境衛生の推進			
項	2	施策展開 ③汚水処理対策を充実する			
目	4	後期基本計画 60 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
決算	90				

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等					
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 一般廃棄物処理事業(ごみ収集・処分業務) <令和5年度の取組内容(計画)> ・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や膜分離装置等で適正に処理を行う。 ・処理過程で発生する脱水汚泥は発酵後に袋詰めを行い堆肥化(農地還元)を行う。 ・施設運転管理業務を民間(JKO)に委託。	R3	・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や膜分離装置等で適正に処理を行った。 ・処理過程で発生する脱水汚泥は発酵後に袋詰めを行い堆肥化(農地還元)を行った。 ・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。	R3計画 234,564 当初予算 234,564 決算額 233,116			26,384	208,180	
	R4	・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や膜分離装置等で適正に処理を行った。 ・処理過程で発生する脱水汚泥は発酵後に袋詰めを行い堆肥化(農地還元)を行い市民へ配布した。 ・施設運転管理業務を民間(JKO)に委託し円滑に事業がなされた。	R4計画 301,025 当初予算 301,025 決算額 296,517			95,782	205,243	
	R5	・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や膜分離装置等で適正に処理を行った。 ・処理過程で発生する脱水汚泥は発酵後に袋詰めを行い堆肥化(農地還元)を行い市民へ配布出来た。 ・施設運転管理業務を民間(JKO)に委託し円滑に事業がなされた。	R5計画 347,393 当初予算 347,393 決算額 343,683	80,400	80,400	59,243	207,750	
	R6		R6計画 287,677 当初予算 287,677 決算額			33,053	254,624	
	R7		R7計画 301,025 当初予算 決算額			85,782	215,243	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,471,684 当初予算 1,170,659 決算額 873,316	80,400	80,400	300,244	1,091,040

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		4点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	13点	—点 12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	／25点	—点 ／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 課題 施設や機器の老朽化が進んでいたため令和2年度までに大規模な改修を実施し、それ以外の修繕は更新時期に合わせて行うこととしている。また、簡易修繕については、運転時に確認されるため施設運転管理業務委託の契約範囲内で行っていただいている。 更新時期を向かえる、中央制御室電子機器配電盤や汚泥処理槽などは高額な更新費用が必要で、時期が重なるため計画的な予算の確保が必要となる。 改善策 施設運転管理業務委託の契約期間が3年であることから、計画的な補修整備や維持管理に必要な特殊物品の調達に期間を要し発注の見通しが難しい状況であるため、運転に必要な主要業務用機器の保守管理に影響があり、安定した運転管理に支障が生じてしまう。また、他社との契約となった場合、同様に更新工事に係る長期設計が難しい為、随時契約を行うか、契約期間を最低5年以上に延長し、円滑な長期の包括運転管理をする必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 包括運転管理業務(3~5年度)の最終年度で運転管理、整備、補修など運営出来ている。 汚泥予備貯留槽補修工事などの多額な費用のかかる維持補修工事も5年度で一応終了した。 第2期包括運転管理業務では委託期間が3年では計画的な補修整備や維持管理に必要な特殊物品の調達に期間を要し、発注の見通しが困難な状況にあり、運転に必要な主要業務用機器の保守管理に影響がある等安定した運転管理に支障が出てしまう。こうした理由から委託期間を5年の長期継続契約とした。(6年~10年度) し尿処理を円滑に事業実施するため包括運転管理業務受託業者に対して指導していきたい。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	雇用団体等助成事業	細事業	雇用労政事業	実施計画事業	豊後大野地区労働者福祉協議会補助事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (111)				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち				
款	5	施策	6 雇用環境の向上				
項	1	施策展開	③勤労者福祉を向上する				
目	1	後期基本計画	34 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	91						
A 事業目的・内容・実績				B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 豊後大野地区労働者福祉協議会(以下「労働者福祉協議会」という。)が労働者福祉の向上を図ることを目的に行う事業に要する経費について、補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 労働者福祉協議会が主催又は協賛する労働者福祉に関する活動やボランティア活動に対して予算の範囲内で補助金を支出する。</p>	R3	労働者福祉協議会が主催又は協賛する労働者福祉に関する活動やボランティア活動に対して予算の範囲内で補助金を支出した。	R3計画 135				135	
				当初予算 135				135
				決算額 135				135
	R4	労働者福祉協議会が主催又は協賛する労働者福祉に関する活動やボランティア活動に対して予算の範囲内で補助金を支出した。	R4計画 135				135	
				当初予算 135				135
				決算額 135				135
	R5	労働者福祉協議会が主催又は協賛する労働者福祉に関する活動やボランティア活動に対して予算の範囲内で補助金を支出した。	R5計画 135				135	
				当初予算 135				135
				決算額 135				135
	R6			R6計画 135				135
				当初予算 135				135
				決算額				
	R7			R7計画 135				135
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 675				675	
			当初予算 540				540	
			決算額 405				405	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 労働者福祉活動の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	5	5	5	5	5
					実績値	1	2	3		
					% 達成率	20	40	60		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 労働者福祉活動の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	390	390	390	390	390
					実績値	350	550	300		
					% 達成率	89.7	141	76.9		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	2点		2点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	2点		2点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点		2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	12点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
福祉研修会やスポーツ大会を実施することで労働者福祉の向上を図れたが、ボランティア活動等は未実施であったため、活動指標を満たすようにする必要がある。	労働者福祉の向上や地域貢献を図るよう、引き続き活動を進めていく必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	雇用団体等助成事業	細事業	雇用労政事業	実施計画事業	豊肥地域シルバー人材センター補助事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (111)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 豊肥地域シルバー人材センター補助金	当初予算額 12,000
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち			
款	5	施策	6 雇用環境の向上			
項	1	施策展開	③勤労者福祉を向上する			
目	1	後期基本計画	34 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	91				期間 年度 ~ 年度	

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 公益社団法人豊肥地域シルバー人材センター(以下「シルバー人材センター」という。)が高年齢者の福祉の増進に資することを目的に行う事業(高年齢者就業機会確保事業や雇用開発支援事業)に要する経費について、補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 竹田市から均等割及び高年齢者人口割の負担金を徴したうえで、シルバー人材センターへ補助金を支出する。なお、補助金の額は、当市が支出する額(竹田市分含む)と同額を国も補助している。</p>	R3	年度末会員数421人(うち豊後大野市297人)で、請負事業の受注件数は3,789件、受注金額は212,166,226円。就業延人数は32,905人。	R3計画	12,000			5,399	6,601
	R4	年度末会員数423人(うち豊後大野市299人)で、請負事業の受注件数は3,617件、受注金額は202,609,164円。就業延人数は29,729人。	当初予算	12,000			5,399	6,601
	R5	年度末会員数418人(うち豊後大野市293人)で、請負事業の受注件数は3,651件、受注金額は216,883,347円。就業延人数は29,620人。	決算額	12,000			5,399	6,601
	R6		R4計画	12,000			5,399	6,601
	R7		当初予算	12,000			5,379	6,621
			決算額	12,000			5,379	6,621
			R5計画	12,000			5,379	6,621
			当初予算	12,000			5,379	6,621
			決算額	12,000			5,379	6,621
			R6計画	12,000			5,379	6,621
		当初予算	12,000			5,379	6,621	
		決算額	12,000			5,379	6,621	
		R7計画	12,000			5,379	6,621	
		当初予算						
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額	60,000			26,935	33,065
			当初予算	48,000			21,536	26,464
			決算額	36,000			16,157	19,843

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 受注件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3,698	件	目標値	3,700	3,710	3,720	3,730	3,740
					実績値	3,789	3,617	3,651		
					% 達成率	102.4	97.5	98.2		
D 成果指標	1 シルバー人材センターの会員数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	458	人	目標値	450	450	450	450	450
					実績値	421	423	418		
					% 達成率	93.6	94	92.9		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			16点
			25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>豊肥地域の過疎高齢化や改正高年齢雇用安定法(事業主に対して65歳までの雇用確保と70歳までの就業確保の努力義務)施行の影響による会員確保の課題(全国的に減少傾向)や、会員の平均年齢の上昇があるなか、地域への質で低廉な労働力の供給あるいは高齢者の生きがいの場の確保に貢献している。なお、当該補助金は、高齢者の就業に関する普及や安全就業対策、会員の技能習得、会員の自主活動支援等、会員の労働で得る収入では賄いきれない不採算な部分を、本市と竹田市及び国(厚生労働省)で補助するものであるため、今後も必要と考える。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>シルバー人材センターは、高齢者の地域への労働力の供給・生きがいづくりの場として必要な組織である。近年は後継者不足で厳しい状況にもあるため、引き続き補助を行う必要がある。</p>
---	---

事業	農業委員会事業	細事業	農業委員会事業	実施計画事業	農業委員会事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度	年度			農地利用最適化推進委員報酬	10,241
項	1	施策展開	⑤農地利用の最適化を推進する		期間	年度	年度			農業委員会委員報酬	5,253
目	1	後期基本計画	24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							費用弁償	1,482
決算	92									大分県農業会議会費	707

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬、費用弁償等、農業委員会事業の事務管理費 <令和5年度の取組内容(計画)> 農業委員会事業 農地法第3条許可(審査及び許可) 農地法第4条許可 農地法第5条許可 農地移動適正化あっせん(売買、貸借) 各種証明書の発行(買受適格証明、非農地証明、耕作証明等) 農地利用の最適化(担い手への集積・集約化・耕作放棄地の発生防止・解消・新規参入の促進) 農業委員会だよりの発行(年2回) 市及び県へ要望書の提出 農業者団体との意見交換会	R3	権利移動:61件、転用:40件、利用権:104件	R3計画	20,707	4,272		16,435
			当初予算	20,707	4,272		16,435
			決算額	17,490	3,353	24	14,113
	R4	権利移動:53件、転用:41件、利用権:146件	R4計画	20,707	4,272		16,435
			当初予算	21,101	4,387		16,714
			決算額	18,658	3,674	24	14,960
	R5	権利移動:77件、転用:26件、利用権:202件	R5計画	20,707	4,272		16,435
			当初予算	20,775	3,482	419	16,874
			決算額	18,833	3,225	42	15,566
	R6		R6計画	20,707	4,272		16,435
			当初予算	20,653	4,292		16,361
			決算額				
	R7		R7計画	20,707	4,272		16,435
			当初予算				
			決算額				
		R3 ~ R7 合計	計画額	103,535	21,360		82,175
			当初予算	83,236	16,433	419	66,384
			決算額	54,981	10,252	90	44,639

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 農業者団体との意見交換会	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1		目標値	1	1	1			
					実績値	1	1	1			
					% 達成率	100	100	100			
	2 農業委員会だよりの発行	年2回	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2		目標値	2	2	2		
						実績値	2	2	2		
						% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 農業委員会総会の開催	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12		目標値	12	12	12			
					実績値	12	12	12			
					% 達成率	100	100	100			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	25点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点
		25点	25点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 主な支出は、農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬、費用弁償である。農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局が連携し、農地利用の最適化を推進するために必要な事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 農業委員会は「農地利用の最適化」を最重要業務として活動している。農業委員、農地利用最適化推進委員の両委員が相互に連携し「農地利用の最適化」を図るために必要な業務である。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農業委員会事業	細事業	機構集積支援事業	実施計画事業	機構集積支援事業	終了年度	なし
----	---------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No. (38)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策 1 農業の振興	期間		年度 ~ 年度	消耗品費			450
項	1	施策展開 ⑤農地利用の最適化を推進する	期間		年度 ~ 年度	通信運搬費			150
目	1	後期基本計画 24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	92								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 機構集積支援事業 利用状況調査(農地パトロール)により、市内全域の農地の利用状況を調査し、遊休農地の所有者に対して利用意向調査を実施する。また、意向調査の結果により農地中間管理機構への通知及び公告・勧告等の手続きを行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 事前調査説明会 利用状況調査(農地パトロール) 市内全域の農地の利用状況を調査 遊休農地の所有者に利用意向調査を実施 意向調査の結果により農地中間管理機構への通知及び公告・勧告等の手続き実施</p>	R3	調査面積: 6,080ha 遊休面積: 346.2ha 解消面積: 15.7ha	R3計画 572	572			
	R4	調査面積: 6,080ha 遊休面積: 365ha 解消面積: 24ha	当初予算 500	500			
	R5	調査面積: 6,060ha 遊休面積: 218ha 解消面積: 82ha	当初予算 1,091	869			222
	R6		決算額 528	412			116
	R7		R5計画 500	500			
			当初予算 637	637			
			決算額 436	283			153
			R6計画 500	500			
			当初予算 593	593			
			決算額				
		R7計画 500	500				
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 2,572	2,572			
			当初予算 2,893	2,671			222
			決算額 1,389	1,116			273

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	4点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点	4点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点	5点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	13点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 遊休農地発生抑制のため、地域で守るべき農地を「目標地図」に示し、農地利用の最適化を推進する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 農業者の高齢化・後継者不足により、中山間地域の耕作条件不利地域においては遊休農地が増加傾向にある。利用状況調査(農地パトロール)や地域計画の策定を通じて、今後守っていくべき農地を見極める必要がある。
---	---

事業	農政企画事業	細事業	農業振興地域整備促進事業	実施計画事業	農業振興地域整備促進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (37)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 農地情報データ更新委託料 農業振興地域整備促進協議会委員報酬 費用弁償 通信運搬費	当初予算額 495 161 30 18
款	6	施策 1 農業の振興				
項	1	施策展開 ④持続的かつ安定的な農業経営の確立				
目	3	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	93					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 総合的に農業の振興を図ることが必要であると認められる地域について、その地域の整備に関し必要な措置を講じ、農業の健全な発展を図るとともに、国土資源の合理的な利用に寄与すること。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・農業振興地域整備促進計画の作成及び変更に関する業務 ・農業振興地域整備促進協議会の開催</p>	R3	農業振興地域整備促進協議会を7月・12月・3月に開催。(除外8筆8,323.33㎡、編入11筆4,438㎡、用途変更4筆486㎡、農地内移動95筆88,345㎡)	R3計画 737				737
			当初予算 737				737
			決算額 603				603
	R4	農業振興地域整備促進協議会を7月・10月・12月・3月に開催。(除外7筆9,581㎡、編入29筆33,480㎡、用途変更6筆10,264㎡) 地図情報システムの農地情報更新。	R4計画 737				737
			当初予算 706				706
			決算額 615				615
	R5	農業振興地域整備促進協議会を10月・3月に開催。(除外5筆3,538㎡、編入17筆14,937㎡、農地内移動1筆190㎡、用途変更1筆915㎡) 地図情報システムの農地情報更新。	R5計画 737				737
			当初予算 711				711
			決算額 553				553
	R6		R6計画 737				737
		当初予算 735				735	
		決算額					
		R7計画 737				737	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 3,685				3,685
			当初予算 2,889				2,889
			決算額 1,771				1,771

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農業振興地域整備促進協議会開催 協議会委員数11名 7月・10月・12月・3月に開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3	回	目標値	4	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	4	2		
		% 達成率			75	100	50			
2 協議会委員による現地調査	委員数2名 7月・10月・12月・3月に実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	回	目標値	4	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	4	2		
		% 達成率			75	100	50			
D 成果指標	1 農用地区域の維持 農地確保の観点から、市内の農業振興地域内の農用地区域の面積維持を目指す。	<input type="checkbox"/> 総合計画	6,884	ha	目標値	6,884	6,884	6,884	6,884	6,884
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	6,884	6,887	6,888		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100.1		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	16点	3点	16点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>農業振興地域整備促進計画の作成及び変更は、市が行う事業であるため必要である。計画の変更(除外)には現地調査を行い、代替用地の有無や、計画の変更に伴い農用地域内における総合的な利用に支障を及ぼす恐れがないか等の確認を行い、安易な農振農用地からの除外を防いでいる。なお、令和5年度は計画の変更申請件数が少なかったため、活動指標である協議会の開催数等は2回だったが、成果指標の面積は目標を達成している。今後も、農業の健全な発展を図るため優良農地の確保・保全に努める。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>農業振興地域整備促進計画の作成及び変更は、市が行う事業であるため必要である。計画の変更(除外)には現地調査を行い、代替用地の有無や、計画の変更に伴い農用地域内における総合的な利用に支障を及ぼす恐れがないか等の確認を行い、安易な農振農用地からの除外を防いでいる。なお、令和5年度は計画の変更申請件数が少なかったため、活動指標である協議会の開催数等は2回だったが、成果指標の面積は目標を達成している。今後も、農業の健全な発展を図るため優良農地の確保・保全に努める。</p>
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農政企画事業	細事業	農業団体等支援事業	実施計画事業	農林業振興公社運営補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (9)	会計 一般	政策 I	豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称 農林業振興公社運営補助金	当初予算額 37,240
款 6	施策 1	農業の振興				
項 1	施策展開 ①	多様な担い手の確保・育成				
目 3	後期基本計画 23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算 93						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 農地の保全や受託作業の受け皿、また新規就農者の育成の場である豊後大野市農林業振興公社の運営を補助する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 担い手不足、遊休農地や荒廃農地の増大、鳥獣害の増大、異常気象等農業を取り巻く環境の厳しい中、農地の保全・担い手補助・担い手の育成を念頭に事業を実施する農林業振興公社の支援を行う。</p>	R3	運営補助金の交付。	R3計画 37,240				37,240
			当初予算 37,240				37,240
			決算額 37,240				37,240
	R4	運営補助金の交付。	R4計画 37,240				37,240
			当初予算 37,240				37,240
			決算額 37,240				37,240
	R5	本市の農業振興を図るため、農林業振興公社へ運営補助金を交付した。	R5計画 37,240				37,240
			当初予算 37,240				37,240
			決算額 37,240				37,240
	R6		R6計画 37,240				37,240
			当初予算 37,240				37,240
			決算額				
	R7		R7計画 37,240				37,240
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 186,200				186,200
			当初予算 148,960				148,960
			決算額 111,720				111,720

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 農林業振興公社の運営支援	公社運営を支援するために、年2回、推進会議を実施する。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	37,240	回	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	2	2		
		% 達成率			50	100	100			
D 成果指標 1 農林業振興公社の安定運営の支援	公社運営補助金を交付して安定的な運営を支援することにより、受託事業を継続させ、市内の農業の維持に寄与する。	<input type="checkbox"/> 総合計画	37,240	千円	目標値	37,240	37,240	37,240	37,240	37,240
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	37,240	37,240	37,240		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100		
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>市農林業振興公社は、農作業の受託事業やインキュベーションファーム事業等による担い手の育成事業に取り組み、本市農業振興の一翼を担っている。近年の課題として、水稲防除の受託事業の減少等により公社の自主財源となる農作業受託収入の減少が続いている。新たな収益事業を展開していく必要があるが、ドローンやトラクターの更新、水稲以外の防除の受託を開始するなど改善も進みつつある。本市の農業の発展と農地の保全の観点から、今後も継続した支援を行う。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市農林業振興公社は、農作業の受託事業やインキュベーションファーム事業等による担い手の育成事業に取り組み、本市農業振興の一翼を担っている。近年の課題として、水稲防除の受託事業の減少等により公社の自主財源となる農作業受託収入の減少が続いている。新たな収益事業を展開していく必要があるが、ドローンやトラクターの更新、水稲以外の防除の受託を開始するなど改善も進みつつある。本市の農業の発展と農地の保全の観点から、今後も継続した支援を行う。</p>
---	--

事業	農政企画事業	細事業	農政企画事務事業	実施計画事業	農政企画事務事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	④持続的かつ安定的な農業経営の確立				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	93						
		A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 農政企画業務の円滑な推進 <令和5年度の取組内容(計画)> 農業振興課が所管する公用車2台の管理及び地理情報システムの運用等。	R3	農業振興課が所管する公用車2台の管理及び地理情報システムの運用等。	R3計画 696				696
			当初予算 696				696
			決算額 555				555
	R4	農業振興課が所管する公用車2台の管理及び地理情報システムの運用等。	R4計画 696				696
			当初予算 857				857
			決算額 740				740
	R5	農業振興課が所管する公用車2台の管理及び地理情報システムの運用に必要な費用を支出した。	R5計画 696				696
			当初予算 606				606
			決算額 509				509
	R6		R6計画 696				696
			当初予算 2,112				2,112
			決算額				
	R7		R7計画 696				696
			当初予算				
			決算額				
		R3 ~ R7 合計	計画額 3,480				3,480
			当初予算 4,271				4,271
			決算額 1,804				1,804

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 技術習得のための研修会参加	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	人	目標値	6	4	4	4	4	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	6	8	13			
	2 公用車の定期的な点検	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	回	目標値	4	4	4	4	4	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	4	4			
					%	達成率	100	200	325		
D 成果指標	1 水土里情報システムの操作技術修得者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	60	%	目標値	86.7	80	80	80	80	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	86.7	86.7	93.3			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	100	108.4	116.6			
	2 公用車修繕料の抑制	<input type="checkbox"/> 総合計画	95	千円	目標値	100	100	100	100	100	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	36	121	50			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率	36	121	50			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	23点	3点	23点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 農業振興課で使用する公用車2台の管理を行っている。このうち1台は走行距離が20万キロを超え使用に耐えないため、令和6年度に入替を行う。今後も車検時期に注意するとともに、運行前や定期的な点検に努め、適切に管理していく。
 また、地理情報システムは農業の各事業で活用しており、事業の進捗管理や計画を作成する上で欠くことのできないシステムである。令和4年度にシステムをクラウド型に変更したことにより、より利用しやすい環境となった。今後も、各事業担当者として連携し最新の農地情報の把握に努める。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 農業振興課で使用する公用車2台の管理を行っている。このうち1台は走行距離が20万キロを超え使用に耐えないため、令和6年度に入替を行う。今後も車検時期に注意するとともに、運行前や定期的な点検に努め、適切に管理していく。
 また、地理情報システムは農業の各事業で活用しており、事業の進捗管理や計画を作成する上で欠くことのできないシステムである。令和4年度にシステムをクラウド型に変更したことにより、より利用しやすい環境となった。今後も、各事業担当者として連携し最新の農地情報の把握に努める。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農企企画事業	細事業	農地中間管理事業	実施計画事業	機構集積協力金交付金事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	--------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称	機構集積協力金交付金	当初予算額	5,450
款	6	施策	1 農業の振興						
項	1	施策展開	⑥農業生産基盤を整備する						
目	3	後期基本計画	24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	93								

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 担い手への農地の集積・集約化を加速させるため、機構を通じた農地の集積・集約化等を促進する。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・地域集積協力金交付事業 地域内の農地の一定割合を機構に貸し付けた地域への協力金 ・経営転換協力金交付事業 機構に農地を貸し付けることにより、経営転換またはリタイアした農業者へのへの協力金(R5年度廃止)	R3	機構集積協力金 4,821,900円の交付 <内訳> ・地域集積協力金 12地区 2,781a 4,268,400円 ・経営転換協力金交付事業 7戸 369a 553,500円	R3計画	9,000	9,000		
	当初予算	9,000	9,000				
	決算額	4,822	4,822				
	R4	機構集積協力金 1,538,800円の交付 <内訳> ・地域集積協力金 8地区 876a 1,435,800円 ・経営転換協力金交付事業 3戸 103a 103,000円	R4計画	9,000	9,000		
	当初予算	7,500	7,500				
	決算額	1,539	1,539				
	R5	機構集積協力金 1,826,400円の交付 <内訳> ・地域集積協力金 3地区 661a 1,650,000円 ・経営転換協力金交付事業 6戸 176a 176,000円	R5計画	9,000	9,000		
	当初予算	5,450	5,450				
	決算額	1,826	1,826				
	R6			R6計画	8,000	8,000	
当初予算	3,700	3,700					
決算額							
R7			R7計画	8,000	8,000		
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額	43,000	43,000		
			当初予算	25,650	25,650		
			決算額	8,187	8,187		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 説明会開催による事業の推進 農地中間管理事業の推進を目的とした説明会の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	回	目標値	4	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	6	7		
		% 達成率			175	150	175			
D 成果指標	1 担い手への農地集積 農地中間管理事業を利用した新規集積面積	<input type="checkbox"/> 総合計画	74	ha	目標値	35	35	35	35	35
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	40	47	30		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	114.3	134.3	85.7		
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		17点	17点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 まとまった農地の貸付を希望する地域や農業部門の減少、リタイアを機に農地の貸付を希望する個人に対して協力金を交付することで、農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積が図られた。また、将来の地域内の農地について住民同士が話し合うきっかけとなった。 令和6年度以降は、制度開始後10年を経過し初期に取扱いされた契約が更新を迎えるため、更新の案内を行うなど継続に向けた取組も必要。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 まとまった農地の貸付を希望する地域や農業部門の減少、リタイアを機に農地の貸付を希望する個人に対して協力金を交付することで、農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積が図られた。また、将来の地域内の農地について住民同士が話し合うきっかけとなった。 令和6年度以降は、制度開始後10年を経過し初期に取扱いされた契約が更新を迎えるため、更新の案内を行うなど継続に向けた取組も必要。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農政企画事業	細事業	農地中間管理事業	実施計画事業	事業事務委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	⑥農業生産基盤を整備する				
目	3	後期基本計画	24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	93						
						会計年度任用職員報酬	3,152
						期末手当(会計年度任用職員分)	520
						社会保険料(会計年度任用職員分)	392
						時間外・休日勤務手当	348

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 農地中間管理事業の円滑な事業推進を図る。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・事業推進員2名を雇用 ・地区説明会の開催	R3	・事業推進員2名を雇用 ・地区説明会の開催 7地区 ・R3年度集積面積 80.5ha (うち新規39.9ha)	R3計画 5,644			5,404	240
			当初予算 5,644			5,404	240
			決算額 5,322			5,280	42
	R4	・事業推進員2名を雇用 ・地区説明会の開催 6地区 ・R4年度集積面積 60.7ha (うち新規46.8ha)	R4計画 5,644			5,404	240
			当初予算 5,697			5,457	240
			決算額 6,016			5,800	216
	R5	・事業推進員2名を雇用 ・地区説明会の開催 7回 ・R5年度集積面積 59.9ha (うち新規30.3ha)	R5計画 5,644			5,404	240
			当初予算 5,347			5,107	240
			決算額 4,428			4,347	81
	R6		R6計画 5,644			5,404	240
		当初予算 5,798			5,558	240	
		決算額					
		R7計画 5,644			5,404	240	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 28,220			27,020	1,200
			当初予算 22,486			21,526	960
			決算額 15,766			15,427	339

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 説明会開催による事業の推進	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	回	目標値	4	4	4	4	4
					実績値	7	6	7		
					% 達成率	175	150	175		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 担い手への農地集積	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	74	ha	目標値	35	35	35	35	35
					実績値	40	47	30		
					% 達成率	114.3	134.3	85.7		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		19点	19点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 農地利用最適化推進委員会への説明会の開催により地元関係者へ制度の周知が図れ、令和5年度の成果指標の目標は概ね達成出来た。 今後も新規の集積の拡大に努めるとともに、令和6年度以降は制度開始後10年を経過し初期に取扱いされた契約が更新を迎えるため、更新の案内を行うなど継続に向けた取組が重要となる。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 農地利用最適化推進委員会への説明会の開催により地元関係者へ制度の周知が図れ、令和5年度の成果指標の目標は概ね達成出来た。 今後も新規の集積の拡大に努めるとともに、令和6年度以降は制度開始後10年を経過し初期に取扱いされた契約が更新を迎えるため、更新の案内を行うなど継続に向けた取組が重要となる。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農業振興事業	細事業	営農普及サポート支援事業	実施計画事業	営農普及サポート支援事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (10)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興	期間 年度 ~ 年度				
項	1	施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興					
目	3	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	94						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> JA等農業団体、県及び市行政等による営農普及指導体制の確立を図るとともに、食農教育の推進に向けた取り組みを支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 営農普及協力員の配置 (30千円×9名)</p>	R3	営農普及協力員の配置(9名)を行った。内訳はピーマン3名、白ねぎ1名、かんしょ2名、里いも3名。	R3計画 270				270
			当初予算 270				270
			決算額 60				60
	R4	営農普及協力員はJA部会で人選ができず、支援体制の強化が図られなかった。栽培マニュアルは、市、県、JAの担当が協力して作成できた。	R4計画 460			190	270
			当初予算 460			190	270
			決算額 50			50	
	R5	営農普及協力員の配置(3名)を行った。内訳はピーマン1名、かんしょ1名、白ねぎ1名。	R5計画 270				270
		当初予算 270				270	
		決算額 130				130	
	R6		R6計画 210				210
			当初予算 210				210
			決算額				
	R7		R7計画 270				270
			当初予算				
			決算額				
	R3 ~ R7 合計		計画額 1,480			190	1,290
			当初予算 1,210			190	1,020
			決算額 240			50	190

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 1 営農普及ネットワーク協議会及び連絡会議の開催	営農普及ネットワーク協議会及び連絡会議の開催を各1回としてカウント	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値	1	1	2		
				%	達成率	50	50	100		
D 1 営農普及協力員の指導、相談対応件数	現場(圃場)での指導、電話等による相談対応、栽培技術講習会の開催等各1回としてカウント(目標値:9名×3回=27回)	<input type="checkbox"/> 総合計画		回	目標値	27	27	27	27	27
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	実績値	11		10		
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	40.7		37		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	19点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
営農支援体制を強化することを目的として、園芸重点推進品目のうち、県の短期集中支援品目であるピーマン、かんしょ、白ねぎについて営農普及協力員の配置を行うこととした。人選については、ピーマン、かんしょは指導農業者を各1名選任、白ねぎについては元果白ねぎ技術支援アドバイザーを1名選任。活動内容は、作付け経験の浅い生産者(新規作付けから概ね3年以内)や単収の低い生産者を中心に巡回指導により底上げを図るというものである。指導にあたっては、豊肥振興局生産流通部の普及員、JA豊肥営農経済センター指導員、市担当者が営農普及協力員とともに巡回指導に当たる形で実施しており、生産者からも良い評価をいただいていると判断している。令和6年度においても営農普及協力員謝礼金の予算を確保しており、引き続き営農指導の強化を図っていくこととする。	営農支援体制を強化することを目的として、園芸重点推進品目のうち、県の短期集中支援品目であるピーマン、かんしょ、白ねぎについて、営農普及協力員の配置を行うこととした。人選については、ピーマン、かんしょは指導農業者を各1名選任、白ねぎについては元果白ねぎ技術支援アドバイザーを1名選任。活動内容は、作付け経験の浅い生産者(新規作付けから概ね3年以内)や単収の低い生産者を中心に巡回指導により底上げを図るというものである。指導にあたっては、豊肥振興局生産流通部の普及員、JA豊肥営農経済センター指導員、市担当者が営農普及協力員とともに巡回指導に当たる形で実施しており、生産者からも良い評価をいただいていると判断している。令和6年度においても営農普及協力員謝礼金の予算を確保しており、引き続き営農指導の強化を図っていくこととする。

事業	農業振興事業	細事業	安全・安心農業推進事業	実施計画事業	安全・安心農業推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (13)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策 1 農業の振興	認定認証取得支援補助金					100
項	1	施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興	試葉廃液処分委託料					20
目	3	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	通信運搬費					3
決算	94		講師謝礼金					18

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 安全・安心な農業を推進することにより、生産者と消費者の相互理解を深め、本市の地域性を生かした持続型農業の確立を図る。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・ 土壌分析の実施 ・ 講習会の開催 ・ GAP認定取得等支援	R3	土壌分析の実施 2団体 土壌分析講習会の開催 1回	R3計画 191 当初予算 191 決算額 36				191	
	R4	・ 土壌分析の実施 (2団体) ・ 土壌分析講習会の開催 (1回)	R4計画 180 当初予算 180 決算額 41				180	
	R5	土壌分析の実施 (2団体) 土壌分析講習会の開催 (1回) GAP認定取得支援 (6名)	R5計画 161 当初予算 161 決算額 93				161	
	R6		R6計画 156 当初予算 156 決算額				156	
	R7		R7計画 191 当初予算 決算額				191	
	R3 ~ R7 合計			計画額 879 当初予算 688 決算額 170				879

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 土壌分析講習会の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	1		
				%	達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 GAP認定取得件数	<input type="checkbox"/> 総合計画		件	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値			6		
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率			600		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	20点	5点	20点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 安全・安心農業を推進することを目的として、有機農業の実践や緑肥施用による取組を市内2団体(豊後大野市有機農業推進協議会(2名)・朝地町平井川保全会(4名))が実施した。事業効果の検証を目的として、土壌分析を実施し、分析結果をもとに講習会を開催することができた。課題としては、有機農業に取り組む農家が年々減少していることがあげられる。国は環境負荷低減を目的として「みどりの食料システム戦略」を策定、推進していることから、前述の2団体以外に有機農業に取り組む生産者を募るため、市ホームページ等で幅広く事業の周知を行っていく必要がある。
 GAP認定取得支援については、ピーマン生産者6名が取得したことからGAP認定取得支援事業補助金を支出した。JA等農業団体とも連携して、引き続きGAP認定取得支援を図ってきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 安全・安心農業を推進することを目的として、有機農業の実践や緑肥施用による取組を市内2団体(豊後大野市有機農業推進協議会(2名)・朝地町平井川保全会(4名))が実施した。事業効果の検証を目的として、土壌分析を実施し、分析結果をもとに講習会を開催することができた。課題としては、有機農業に取り組む農家が年々減少していることがあげられる。国は環境負荷低減を目的として「みどりの食料システム戦略」を策定、推進していることから、前述の2団体以外に有機農業に取り組む生産者を募るため、市ホームページ等で幅広く事業の周知を行っていく必要がある。
 GAP認定取得支援については、ピーマン生産者6名が取得したことからGAP認定取得支援事業補助金を支出した。JA等農業団体とも連携して、引き続きGAP認定取得支援を図ってきたい。

事業	農業振興事業	細事業	環境保全型農業直接支払交付金事業	実施計画事業	環境保全型農業直接支払交付金事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------------	--------	------------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	環境保全型農業直接支払交付金	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興					
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興					
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	94			期間	年度 ~ 年度			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、交付金の直接支払を行うもの</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 事業実施者：豊後大野市有機農業推進協議会、朝地町平井川保全会 事業内容：有機農業、緑肥(カバークロープ)施用</p>	R3	事業実施者：豊後大野市有機農業推進協議会(2戸)、朝地町平井川保全会(5戸) 実施面積：緑肥施用7.46ha、有機農業4.4ha	R3計画	1,202	890		312
			当初予算	1,202	890		312
			決算額	996	745		251
	R4	事業実施者：豊後大野市有機農業推進協議会(2戸)、朝地町平井川保全会(5戸) 実施面積：有機農業4.44ha、緑肥施用8.28ha	R4計画	1,202			1,202
			当初予算	1,057	788		269
			決算額	1,050	785		265
	R5	事業実施者：豊後大野市有機農業推進協議会(2戸)、朝地町平井川保全会(4戸) 実施面積：有機農業5.02ha、緑肥施用7.18ha	R5計画	1,202			1,202
			当初予算	1,057	788		269
			決算額	1,053	788		265
	R6		R6計画	1,148			1,148
			当初予算	1,148			1,148
			決算額				
	R7		R7計画	1,202			1,202
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	5,956	890		5,066
			当初予算	4,464	2,466		1,998
			決算額	3,099	2,318		781

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 事業実施主体との協議 豊後大野市有機農業推進協議会(1回) 朝地町平井川保全会(1回)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	回	目標値	2	2	2	2	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	7	2	2		
		% 達成率	350			100	100				
D 成果指標	1 緑肥施用、有機農業の実施 緑肥施用 9.53ha、有機農業 4.39ha (計13.92ha)	<input type="checkbox"/> 総合計画		17.9	ha	目標値	13.9	14	14	14	14
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	11.86	12.72	12.2		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	85.3	90.9	87.1		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	17点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者(農業団体)に対し、交付金の直接支払を行う「環境保全型農業直接支払交付金事業(国庫事業)」に取り組んだ。市内2団体(豊後大野市有機農業推進協議会(緒方町2戸)、朝地町平井川保全会(朝地町4戸))が継続して取り組んでいるが、事業参加者の増には至っていない。
国は「みどりの食料システム戦略」の中で環境負荷低減に取り組む生産者の支援を打ち出していることから、引き続き本事業に取り組む生産者を支援を行っていく。また、新たに減農薬、減化学肥料栽培に取り組む生産者に対しても本事業の周知徹底を図ることとする。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者(農業団体)に対し、交付金の直接支払を行う「環境保全型農業直接支払交付金事業(国庫事業)」に取り組んだ。市内2団体(豊後大野市有機農業推進協議会(緒方町2戸)、朝地町平井川保全会(朝地町4戸))が継続して取り組んでいるが、事業参加者の増には至っていない。
国は「みどりの食料システム戦略」の中で環境負荷低減に取り組む生産者の支援を打ち出していることから、引き続き本事業に取り組む生産者を支援を行っていく。また、新たに減農薬、減化学肥料栽培に取り組む生産者に対しても本事業の周知徹底を図ることとする。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農業振興事業	細事業	流通・販売戦略推進事業	実施計画事業	流通・販売戦略推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (12)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策 1 農業の振興	普通旅費					145
項	1	施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興	ホームページ保守管理委託料					264
目	3	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>	駐車場等使用料					5
決算	94		消耗品費					80

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 産地収益力向上をめざした生産から流通、販売、消費までを捉えた販売戦略を構築することを目的として、トップセールスによる販売促進や本市HPの見直しを行うもの。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・販売促進活動及び物流調査 ・大分の野菜畑豊後大野ホームページ保守管理委託	R3	・ホームページ保守管理委託(里丸君HP) 264千円 ・ホームページ等作成委託料 495千円	R3計画 1,020 当初予算 1,020 決算額 815				1,020 1,020 815	
	R4	・大分の野菜畑豊後大野ホームページ保守管理委託264千円	R4計画 525 当初予算 524 決算額 282				525 524 282	
	R5	・トップセールスの実施 ・大分の野菜畑豊後大野ホームページ保守管理委託料264千円	R5計画 494 当初予算 494 決算額 380				494 494 380	
	R6		R6計画 485 当初予算 485 決算額				485 485	
	R7		R7計画 525 当初予算 決算額				525	
	R3 ~ R7 合計			計画額 3,049 当初予算 2,523 決算額 1,477				3,049 2,523 1,477

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 トップセールスによる販売促進	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	1	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値			1		
				%	達成率			100		
2 市HPの見直し(協議、検討)	業者との打合せ等の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	3	3	3	3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値	3	3	3		
				%	達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 年間農業生産目標額 82億円	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画		億円	目標値	82	82	82	82	82
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		%	実績値	62	63.4	65.4		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	75.6	77.3	79.8		
2		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	18点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 販売促進におけるトップセールスを4年ぶりに福岡中央卸売市場において実施した。セリ場での市長からの売り込みに加え、福岡大同青果社長ほか市場関係者との取引協議を実施し、消費者及び市場のニーズの聞き取りも行うことができた。市場からは産地の維持に加え、市場への安定供給に引き続き努めてもらいたいという要望をいただいたことから、引き続き、JA等農業団体と連携して産地化、ブランド化に努めていきたい。大分の野菜畑豊後大野ホームページについては、園芸重点推進品目の紹介や各種行事のお知らせなど、PRIに努めた。引き続き、情報発信に努めるとともに、アクセス数向上策について検討する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 販売促進におけるトップセールスを4年ぶりに福岡中央卸売市場において実施した。セリ場での市長からの売り込みに加え、福岡大同青果社長ほか市場関係者との取引協議を実施し、消費者及び市場のニーズの聞き取りも行うことができた。市場からは産地の維持に加え、市場への安定供給に引き続き努めてもらいたいという要望をいただいたことから、引き続き、JA等農業団体と連携して産地化、ブランド化に努めていきたい。大分の野菜畑豊後大野ホームページについては、園芸重点推進品目の紹介や各種行事のお知らせなど、PRIに努めた。引き続き、情報発信に努めるとともに、アクセス数向上策の検討する。
---	---

事業	担い手支援事業	細事業	担い手団体補助事業	実施計画事業	認定農業者連絡協議会補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	-----------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (1)		I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額	
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					
款	6	施策	1 農業の振興					
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成					
目	3	後期基本計画	23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	95							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 豊後大野市認定農業者連絡協議会の活動費の一部を補助することにより、認定農業者相互の親睦と融和を図り、情報交換や研修などを通じ、会員個々の技術と生活の安定に資する。	R3	■ふるさとまつり コロナにより中止 ■研修会の開催 清川支部のみ開催 他支部はコロナにより中止 ■おおいた認定農業者組織ネットワーク研修会への参加 コロナによりオンラインにより研修受講	R3計画 340				340
			当初予算 340				340
			決算額 319				319
	R4	■ふるさとまつりがぶんどおのフェスタに名称変更され12月に開催されたが、内容が変更されたため不参加 ■研修会の開催 ■二重、清川、大野支部のみ開催。他支部はコロナにより中止 ■九州農業担い手サミットinおおいた、おおいた認定農業者組織ネットワーク研修会への参加 ■前年度繰越金が補助申請額以上であったため、基準により令和4年度の補助金の支給なし	R4計画 340				340
			当初予算 340				340
			決算額 340				340
	R5	■コミュニティ向上研修会の開催 ■新農業者協議会などの他団体との交流及びJAとの意見交換会 ■市長と語る会・夜なべ談義の開催 ■九州農業担い手サミットin福岡への参加 ■大分県認定農業者組織連絡協議会との意見交換会への参加	R5計画 340				340
			当初予算 340				340
		決算額 195				195	
	R6		R6計画 340				340
			当初予算 340				340
			決算額				
	R7		R7計画 340				340
			当初予算				
			決算額				
	R3 ~ R7 合計		計画額 1,700				1,700
			当初予算 1,360				1,360
			決算額 514				514

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 研修会の開催	各支部研修 7回	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	194	回	目標値	7	7	7	7	7
						実績値	1	3	4		
						達成率	14.3	42.9	57.1		
						目標値					
D 成果指標	1 会員数の確保		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	362	名	目標値	220	220	220	220	220
						実績値	180	179	171		
						達成率	81.8	81.4	77.7		
						目標値					
E 評価対象外の理由	0 評価対象		<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		経営体	目標値	370	370	370	370	370
						実績値	356	364	359		
						達成率	96.2	98.4	97		
						目標値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 新型コロナウイルスが5月に移行したことから、活動がコロナ禍以前の状況に戻りつつある。本協議会は会員確保が課題となっており、組織としてこの意義を見いだせるか、それを活動につなげていく必要があることを協議会役員で共有している。この中で令和5年度に開催したJAの意見交換会の開催手法を見直す必要も出ており、開催手法やこれに変わる事業を検討するなど次年度に向けた協議が行われたところである。 また、県の組織が令和5年度に「大分県認定農業者組織連絡協議会」に名称変更されるとともに、その目的に「地域組織の活性化」、「地域組織間の連携強化」があげられた。この目的を達成するための初めての取組みとして、地域が抱えている課題についてテーマを設け県協議会と地域組織の意見交換会が豊後地区で行われたが、地域で抱える課題は共通するものが多い。この意見交換会は令和6年度以降も引き続き他市で継続される予定である。 本協議会については、今後、如何に組織に加入するメリットを示せるかを継続して活動で示していく必要があると考える。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新型コロナウイルスが5月に移行したことから、活動がコロナ禍以前の状況に戻りつつある。本協議会は会員確保が課題となっており、組織としてこの意義を見いだせるか、それを活動につなげていく必要があることを協議会役員で共有している。この中で令和5年度に開催したJAの意見交換会の開催手法を見直す必要も出ており、開催手法やこれに変わる事業を検討するなど次年度に向けた協議が行われたところである。 また、県の組織が令和5年度に「大分県認定農業者組織連絡協議会」に名称変更されるとともに、その目的に「地域組織の活性化」、「地域組織間の連携強化」があげられた。この目的を達成するための初めての取組みとして、地域が抱えている課題についてテーマを設け県協議会と地域組織の意見交換会が豊後地区で行われたが、地域で抱える課題は共通するものが多い。この意見交換会は令和6年度以降も引き続き他市で継続される予定である。 本協議会については、今後、如何に組織に加入するメリットを示せるかを継続して活動で示していく必要があると考える。
--	---

事業	担い手支援事業	細事業	担い手団体補助事業	実施計画事業	新農業者協議会補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (2)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興					
項	1	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成					
目	3	後期基本計画 23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	95						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 豊後大野市新農業者協議会の活動費の一部を補助することにより、農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修を実施することを目的とする。 <令和5年度の取組内容(計画)> ■経営研修会の開催 ■先進地視察研修	R3	農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修会を開催した。 ■経営研修会の開催 ■先進地視察研修 コロナにより中止	R3計画 190				190
			当初予算 190				190
			決算額 26				26
	R4	農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修会を開催した。 ■脳業塾の開催 ■先進地視察研修 熊本県阿蘇市	R4計画 190				190
			当初予算 190				190
			決算額 92				92
	R5	農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修会を開催した。 ■脳業塾の開催 ■経営研修会の開催 ■先進地視察研修 熊本県長洲町	R5計画 190				190
			当初予算 190				190
			決算額 97				97
	R6		R6計画 190				190
		当初予算 190				190	
		決算額					
R7		R7計画 190				190	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 950				950
			当初予算 760				760
			決算額 215				215

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 経営研修会の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1	
					実績値	1	1	1			
	% 達成率	100	100	100							
2 先進地視察研修の実施	年1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1	
					実績値		1	1			
					% 達成率		100	100			
D 成果指標	1 会員数の確保	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	52	名	目標値	50	50	50	50	50	
					実績値	52	56	60			
					% 達成率	104	112	120			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			名	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	18点	18点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		
			25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 就農初期の農業青年・新規就農者・女性農業者等が、様々な研修や交流を行う組織として存在意義は高い。 例年開催している脳業塾は今後の農業経営に大いに貢献しているが、来年度にインキュベーションファーム事業とあわせ一部の内容及び参加者の範囲について見直しを行う予定である。 また、会費が年間5000円で県外研修などの活動に支障を来しているため、再来年度から1,000円へ改正予定である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 就農初期の農業青年・新規就農者・女性農業者等が、様々な研修や交流を行う組織として存在意義は高い。 例年開催している脳業塾は今後の農業経営に大いに貢献しているが、来年度にインキュベーションファーム事業とあわせ一部の内容及び参加者の範囲について見直しを行う予定である。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手団体補助事業	実施計画事業	法人連絡協議会補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (6)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策 1 農業の振興	法人連絡協議会補助金					250
項	1	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成						
目	3	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	95							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 豊後大野市集落営農法人連絡協議会の活動費の一部を補助することにより、集落営農法人の相互の情報交換や研修など自己研鑽を通じ、集落営農法人の経営の安定的な発展を図ることを目的とする。 <令和5年度の取組内容(計画)> ■研修会・検討会の開催 ■先進地視察研修	R3	資材検討会の開催。研修会、視察研修はコロナにより中止となった。補助金については会の繰越額が、補助金額を上回ったため今年度は支給していない。	R3計画 250				250
			当初予算 250				250
			決算額				
	R4	燃料高騰対策として各法人へ軽油へ200リットル支援。インボイス説明会、県内(由布市)の先進地視察研修の実施。補助金については前年度の繰越額が、補助金額を上回ったため支給していない。	R4計画 250				250
			当初予算 250				250
			決算額				
	R5	■市集落営農法人連絡協議会設立15周年記念式典の開催 ■先進地視察研修の実施。(福岡県、熊本県) ■法人等組織に係る勉強会	R5計画 250				250
			当初予算 250				250
			決算額				
	R6		R6計画 250				250
		当初予算 250				250	
		決算額					
R7		R7計画 250				250	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,250				1,250
			当初予算 1,000				1,000
			決算額 250				250

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 研修会・検討会の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	10	10	10	10	10	
					実績値	3	4	4			
	2 先進地視察研修	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	回	目標値	1	1	1	1	1		
				実績値		1	1				
					%	達成率	30	40	40		
D 成果指標	1 会員数の維持	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	32	法人	目標値	33	33	33	33	33	
					実績値	32	31	31			
					%	達成率	97	93.9	93.9		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	%	目標値							
				実績値							
				達成率							

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	16点	3点	16点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 集落営農法人相互の情報交換や研修などを通じ、経営の安定的な発展を図ることを目的としており必要な組織。近年、オペレーターや構成員の高齢化等の影響で解散に至る法人が発生している。また、常時雇用者を確保し、規模拡大に取り組む法人がある一方、小規模経営で現状維持がやっとの法人もあり、法人間で課題に大きな差がある。集落営農法人に対する支援は市の課題案件となっており、大分県も令和5年度に新たな補助制度を創設して支援を図っている。このことから、法人の抱えている課題や将来の目標など法人の状況を把握するため、アンケート調査及び法人への聞き取りを行い、県、市、関係機関と協議しながら支援策を検討していく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 集落営農法人相互の情報交換や研修などを通じ、経営の安定的な発展を図ることを目的としており必要な組織。近年、オペレーターや構成員の高齢化等の影響で解散に至る法人が発生している。また、常時雇用者を確保し、規模拡大に取り組む法人がある一方、小規模経営で現状維持がやっとの法人もあり、法人間で課題に大きな差がある。集落営農法人に対する支援は市の課題案件となっており、大分県も令和5年度に新たな補助制度を創設して支援を図っている。このことから、法人の抱えている課題や将来の目標など法人の状況を把握するため、アンケート調査及び法人への聞き取りを行い、県、市、関係機関と協議しながら支援策を検討していく必要がある。
--	---

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	経営開始資金事業補助金	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (4)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 経営開始資金事業補助金	当初予算額 15,000
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	95						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 青年の就業意欲の喚起と就農後の定着を図るため、49歳以下の認定新規就農者へ経営開始型の資金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> R4年度の継続者及び令和5年度新規対象者へ資金を交付</p>	R3		R3計画				
			当初予算				
			決算額				
	R4		R4計画				
			当初予算				
			決算額				
	R5	11名(うち夫婦型10名)	R5計画	15,000	15,000		
			当初予算	15,000	15,000		
			決算額	6,375	6,375		
	R6		R6計画				
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	15,000	15,000		
			当初予算	15,000	15,000		
			決算額	6,375	6,375		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 青年等就農計画作成 2組4名	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値			4	4	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値			7		
		% 達成率					175			
D 成果指標	1 営農継続者数 経営開始資金の交付対象者及び交付が終了した者の営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値			8	12	16
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値			11		
		% 達成率					137.5			
2		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		% 達成率								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		22点	22点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>国庫事業である農業次世代人材投資事業補助金が令和4年度から経営開始資金事業補助金に名称が変わった。交付期間が5年から3年に短縮されたが、そのかわりに就農初期の機械施設導入を目的とした経営発展支援事業が就農年度を対象として事業化されている。就農初期の経営の安定化を図るため本事業は有効な手段である。青年等就農計画で策定した目標を達成できるよう、交付期間中、交付後を含めて関係機関とサポートをしていく。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>国庫事業である農業次世代人材投資事業補助金が令和4年度から経営開始資金事業補助金に名称が変わった。交付期間が5年から3年に短縮されたが、そのかわりに就農初期の機械施設導入を目的とした経営発展支援事業が就農年度を対象として事業化されている。就農初期の経営の安定化を図るため本事業は有効な手段である。青年等就農計画で策定した目標を達成できるよう、交付期間中、交付後を含めて関係機関とサポートをしていく。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	新規就農支援交付金事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (2)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 1 農業の振興	期間	R3 年度 ~ R7 年度	新規就農支援交付金	2,100
款	6	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成	期間	年度 ~ 年度		
項	1	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	3					
決算	95					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 50歳以上55歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。 <令和5年度の取組内容(計画)> ■就農相談 ■就農計画支援 ■交付金の交付	R3	50歳以上55歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とし実施した。 ■就農相談 2名 ■就農計画支援 2名 ■交付金の交付 2名	R3計画 1,200			1,200	
			当初予算 1,200			1,200	
			決算額 1,200			1,200	
	R4	50歳以上55歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とし実施した。 ■交付金の交付 2名	R4計画 1,200			1,200	
			当初予算 2,400			2,400	
			決算額 1,200			1,200	
	R5	50歳以上55歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とし実施した。 ■交付金の交付 2名(9か月分)	R5計画 1,200			1,200	
		当初予算 2,100				2,100	
		決算額 900			900		
	R6		R6計画 1,200			1,200	
		当初予算 1,200				1,200	
		決算額					1,200
	R7		R7計画 1,200			1,200	
		当初予算					
		決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額 6,000			6,000	
			当初予算 6,900			3,600	3,300
			決算額 3,300			3,300	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 就農状況確認	年1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1	1	1		
						% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	名	目標値	4	6	8	10	12
						実績値	4	4	4		
						% 達成率	100	66.7	50		
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	17点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 国の給付金の支援対象とならない新規就農者を支援する市独自の事業であり、交付金を交付することで就農初期の経営を支援し、定着を図ることができた。今回の対象はインキュベーションファームの研修修了生で、国の年齢要件である就農時49歳未満に該当せず市の交付金を交付したものである。対象となる年齢層で新規就農を始める方が少ないところであるが、国の事業の対象とならない者を支援する目的として制度は必要であり、インキュベーションファームの応募資格が55歳未満となっていることから、継続は必要である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 国の給付金の支援対象とならない新規就農者を支援する市独自の事業であり、交付金を交付することで就農初期の経営を支援し、定着を図ることができた。今回の対象はインキュベーションファームの研修修了生で、国の年齢要件である就農時49歳未満に該当せず市の交付金を交付したものである。対象となる年齢層で新規就農を始める方が少ないところであるが、国の事業の対象とならない者を支援する目的として制度は必要であり、インキュベーションファームの応募資格が55歳未満となっていることから、継続は必要である。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	法人就農支援交付金事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (6)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称 法人就農支援交付金	当初予算額 1,200
款	6	施策 1 農業の振興					
項	1	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成					
目	3	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	95						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 集落営農法人の後継者確保を図ることを目的とする。 <令和5年度の取組内容(計画)> ■制度の周知・広報活動 ■実績把握	R3	集落営農法人の後継者確保を図ることを目的とし、1法人1名に交付した。	R3計画 1,800			1,800		
			当初予算 1,800			1,800		
			決算額 300				300	
	R4	集落営農法人の後継者確保を図ることを目的としているが令和4年度は対象者がなく、実績把握のみとなった。	R4計画 1,800			1,800		
			当初予算 1,200			1,200		
			決算額					
	R5	大分県が令和5年8月に新たに集落営農法人への支援制度を創設したため、市の方で集落営農法人に対し事業の説明会を開催し、あわせて市の制度についても説明した。県の制度にも人材確保への補助があり、市負担分があるため、補正予算で対応をした。県の制度の方が補助率が高いこともあり市の交付金について令和5年度は対象者がいなかった。	R5計画 1,800			1,800		
			当初予算 1,200				1,200	
			決算額					
	R6		R6計画 1,200			1,800	-600	
		当初予算 1,200				1,200		
		決算額						
R7		R7計画 1,800			1,800			
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 8,400			9,000	-600	
			当初予算 5,400			3,000	2,400	
			決算額 300				300	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 集落営農法人役員会における制度説明 年1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1	1		
						% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 後継者確保数 後継者の営農継続数	<input type="checkbox"/> 総合計画		1	名	目標値	1	2	3	4	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	1	1			
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	50			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	2点	2点	2点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点	2点	2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
		14点	14点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 オペレーター等が高齢化しており、集落営農法人の人材不足、後継者確保をする上で、必要不可欠な事業である。ただし、常時雇用ができる法人は限られており、国・県が人材確保支援で市単独事業より補助率のよい同趣旨の事業を実施しているため、現行の交付金事業がこれまでの実績からして、法人支援を後押しできているか疑問が残るところである。集落営農法人への支援は市の課題案件にもなっており、集落営農法人の現況、ニーズを把握し、支援策を検討することが必要である。そのためには、来年度アンケート調査の実施が必要であると考える。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 オペレーター等が高齢化しており、集落営農法人の人材不足、後継者確保をする上で、必要不可欠な事業である。ただし、常時雇用ができる法人は限られており、国・県が人材確保支援で市単独事業より補助率のよい同趣旨の事業を実施しているため、現行の交付金事業がこれまでの実績からして、法人支援を後押しできているか疑問が残るところである。集落営農法人への支援は市の課題案件にもなっており、集落営農法人の現況、ニーズを把握し、支援策を検討することが必要である。そのためには、来年度アンケート調査の実施が必要であると考える。
---	--

事業番号	枝番
93003	12

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係
-----	-------	----	--------

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	生涯現役世代育成支援交付金事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (1)		I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち					
款	6	I 農業の振興					
項	1	①多様な担い手の確保・育成					
目	3	後期基本計画 23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	95					生涯現役世代育成支援交付金	1,200

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 56歳以上65歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ■就農相談 ■就農計画支援 ■交付金の交付</p>	R3	認定農業者連絡協議会、農業大学校への事業説明を行い、制度の周知を行った。	R3計画 1,200			1,200	
			当初予算 1,200			1,200	
			決算額				
	R4	認定農業者連絡協議会、農業大学校への事業説明を行い、制度の周知を行った。 ■相談件数2件	R4計画 1,200			1,200	
			当初予算 1,200			1,200	
			決算額				
	R5	農業大学校への事業説明を行い、制度の周知を行った。 ■交付金の交付2件 ■相談件数4件	R5計画 1,200			1,200	
			当初予算 1,200				1,200
			決算額				1,200
	R6		R6計画 1,200			1,200	
		当初予算 1,200				1,200	
		決算額					
R7		R7計画 1,200			1,200		
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 6,000			6,000	
			当初予算 4,800			2,400	2,400
			決算額 1,200				1,200

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2	5		
					% 達成率	100	100	250		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
					実績値			2		
					% 達成率			100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	18点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	／25点	4点
			18点
			／25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>令和5年度は農大研修部卒業生2名に対し交付を行った。また、農大へ制度の周知を行い、その後、研修生から個別に相談を受けたところである。本事業の年齢層は、本市農業では十分活躍できる年齢層であり、意欲のある退職世代の就農意欲の喚起及び就農の定着を図るうえで必要な事業である。引続き制度の周知と相談に対応をしていく必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>令和5年度は農大研修部卒業生2名に対し交付を行った。また、農大へ制度の周知を行い、その後、研修生から個別に相談を受けたところである。本事業の年齢層は、本市農業では十分活躍できる年齢層であり、意欲のある退職世代の就農意欲の喚起及び就農の定着を図るうえで必要な事業である。引続き制度の周知と相談に対応をしていく必要がある。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
93003	13

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係
-----	-------	----	--------

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	広域営農機械施設整備事業	終了年度	
----	---------	-----	------------	--------	--------------	------	--

総合計画体系図No.→ (1)

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
款	6	施策	1 農業の振興
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	95		

個別計画名	第4次農業振興計画
期間	R3 年度 ~ R7 年度
期間	年度 ~ 年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 集落営農法人等が農業用機械施設を導入し、経営の多角化や規模拡大を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> R5 事業実施なし</p>	R3	令和4年度からの事業
	R4	1 経営体が事業実施。ハイクリトラクター、小橋中耕ディスクの導入を導入した。
	R5	集落営農法人連絡協議会総会の中で事業説明を行った。県の他の事業を活用する法人もあり、令和5年度は対象がなかった。
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3 計画					
当初予算					
決算額					
R4 計画	1,400	700			700
当初予算	1,400	700			700
決算額	1,181	590			591
R5 計画					
当初予算					
決算額					
R6 計画					
当初予算					
決算額					
R7 計画	1,400	700			700
当初予算					
決算額					
計画額	2,800	1,400			1,400
当初予算	1,400	700			700
決算額	1,181	590			591

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		1	1		
					% 達成率		50	50		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		1	1		
					% 達成率		50	50		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	12点	12点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>集落営農法人等が経営の多角化や規模拡大を図る上で必要な事業であり、機械等を導入することで労働力不足の解消を図ることができる。ただし、県の他の補助事業で同内容の制度があり、事業実施を行う場合、補助率や要件等で有利な事業を選択している状況のため、毎年度の事業実施となっていない。 今後も県と協力して周知を行い、対象の掘り起こしを行う必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>集落営農法人等が経営の多角化や規模拡大を図る上で必要な事業であり、機械等を導入することで労働力不足の解消を図ることができる。ただし、県の他の補助事業で同内容の制度があり、事業実施を行う場合、補助率や要件等で有利な事業を選択している状況のため、毎年度の事業実施となっていない。 今後も県と協力して周知を行い、対象の掘り起こしを行う必要がある。</p>
--	---

I 令和7年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	担い手育成支援事業	終了年度	なし
----	---------	-----	------------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (1)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 1 農業の振興	期間	R3 年度 ~ R7 年度	担い手育成支援事業補助金	400
款	6	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成	期間	年度 ~ 年度		
項	1	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	3					
決算	95					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 担い手の経営能力及び栽培技術等の向上に資する取組を支援することにより、農業生産額の向上並びに農業の担い手確保を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 認定農業者連絡協各支部、集落営農法人協議会、新農業者協議会の研修補助金 全国担い手サミット研修会補助</p>	R3	令和4年度からの事業	R3計画				
	R4	認定農業者連絡協支部2支部(清川、犬飼)のみ実施。他団体についてはコロナのため事業実施ができず、また研修会への参加ができなかった。	当初予算				
	R5	■認定農業者連絡協支部3支部(三重、緒方、千歳)が先進地研修を実施。 ■認定農業者連絡協議会が九州農業者担い手サミット研修会へ参加 ■交付対象とはならなかったが、清川支部、集落営農法人連絡協議会、新農業者協議会が視察研修を行っている。	決算額	450			450
	R6		当初予算	450			450
	R7		決算額	88			88
	R3 ~ R7 合計		当初予算	400			400
			決算額	400			400
			当初予算	400			400
			決算額	450			450
			計画額	1,700			1,700
		当初予算	1,250			1,250	
		決算額	258			258	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 制度の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値		1	1	1	1
					実績値		1	1		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率		100	100		
					目標値					
D 成果指標	1 交付対象事業	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		事業	目標値		9	8	9	8
					実績値		2	7		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率		22.2	87.5		
					目標値					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>令和3年度に廃止した担い手育成総合支援協議会補助事業の後を受け、必要な施策を引き続き行うため令和4年度より新たに創設された。しかしながら、令和4年度はコロナの影響もあり計画したほとんどの事業が実施ができなかった。 新型コロナウイルスが5類へ移行されたことにより、令和5年度は研修等の活動が再開され、引き続き事業の活用を推進していく必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>令和3年度に廃止した担い手育成総合支援協議会補助事業の後を受け、必要な施策を引き続き行うため令和4年度より新たに創設された。しかしながら、令和4年度はコロナの影響もあり計画したほとんどの事業が実施ができなかった。 新型コロナウイルスが5類へ移行されたことにより、令和5年度は研修等の活動が再開され、引き続き事業の活用を推進していく必要がある。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	経営多角化機械施設整備事業	終了年度	なし
----	---------	-----	------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (1)		I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		個別計画名 第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 経営多角化機械施設整備事業補助金 当初予算額 9,368	
会計	一般	政策	1 農業の振興			
款	6	施策	①多様な担い手の確保・育成			
項	1	施策展開				
目	3	後期基本計画	23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	95					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 経営発展を目指す意欲的な集落営農法人を対象に、園芸品目に必要な機械・施設の導入を支援し、経営の強化を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ■対象: 1 集落営農法人 ■導入施設・機械 ・堆肥舎、ホイルローダー、マニュアルスプレッダ各1台</p>	R3	令和4年度からの事業	R3計画				
	R4	1 経営体が事業実施。サンヨーハンマーナイフモア、ニプロスライドモアを導入した。	当初予算				
	R5	■対象: 1 集落営農法人 ■導入施設・機械 ・堆肥舎、ホイルローダー、マニュアルスプレッダ各1台	決算額				
	R6		R4計画	1,933	1,288		645
	R7		当初予算	1,933	1,288		645
	R3 ~ R7 合計		決算額	1,277	850		427
			R5計画	9,368	6,244		3,124
			当初予算	9,368	6,244		3,124
			決算額	7,960	5,306	303	2,351
			R6計画				
		当初予算					
		決算額					
		R7計画	1,933	1,288		645	
		当初予算					
		決算額					
		計画額	13,234	8,820		4,414	
		当初予算	11,301	7,532		3,769	
		決算額	9,237	6,156	303	2,778	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		1	2		
					% 達成率		50	100		
D 成果指標	1 営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		1	2		
					% 達成率		50	100		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	19点	4点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>令和5年8月に県は集落営農法人を支援するために新たな補助事業として「中山間地営農強化対策事業」を創設した。本事業はこの事業の中の一つのメニューとして組み替えられた。本事業は集落営農法人の経営の多角化や規模拡大を図る上で必要な事業であり、引き続き周知を行い、対象の掘り起こしを行う必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>令和5年8月に県は集落営農法人を支援するために新たな補助事業として「中山間地営農強化対策事業」を創設した。本事業はこの事業の中の一つのメニューとして組み替えられた。本事業は集落営農法人の経営の多角化や規模拡大を図る上で必要な事業であり、引き続き周知を行い、対象の掘り起こしを行う必要がある。</p>
---	--

事業番号	枝番
93003	16

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係
-----	-------	----	--------

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	新規就農者経営発展支援事業補助金	終了年度	なし
----	---------	-----	------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (1)		I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称 新規就農者経営発展支援事業補助金	当初予算額 22,500
会計	一般	政策	1 農業の振興				
款	6	施策	①多様な担い手の確保・育成				
項	1	施策展開					
目	3	後期基本計画	23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	95						

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 経営開始時に49歳以下の認定新規就農者に対し、機械・施設等導入費として最大375万円(夫婦型1.5倍)を支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ■機械・施設等導入:4組(夫婦型)</p>	R3	令和4年度からの事業
	R4	経営開始資金3組5名 機械・施設の導入支援3組5名
	R5	■機械・施設等導入:2組(夫婦型)
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画				
当初予算				
決算額				
R4計画	21,000	21,000		
当初予算	21,000	21,000		
決算額	13,497	13,497		
R5計画	22,500	22,500		
当初予算	22,500	22,500		
決算額	5,943	5,943		
R6計画	35,625	35,625		
当初予算	35,625	35,625		
決算額				
R7計画	21,000	21,000		
当初予算				
決算額				
計画額	100,125	100,125		
当初予算	79,125	79,125		
決算額	19,440	19,440		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		3	2		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率		150	100		
					目標値					
D 成果指標	1 営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		5	9		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率		250	450		
					目標値					
				%	実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)
------------	--------	------------------

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	20点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>次世代を担う新規就農者の営農開始にあたっては、不安定な経営となり所得の確保等が課題となる。就農初期の経営安定を図るため、この事業で機械・施設等を導入することは非常に有効な支援策となっている。課題としては、50万円以上の機械購入が補助対象となるが、無理に補助対象とするために機械性能が華美になる恐れがあり、導入するうえで性能の規模決定根拠をおさえておく必要がある。また、県の短期集中品目の事業が終了するため、本市で一番活用しているインキュベーションファーム研修修了生のピーマンハウス設置への補助が、令和7年度からは補助率2/3から1/2になる予定で、この事業を活用できないか関係部署と協議が必要である。制度としては補助率も高く有効な事業であるので、引き続き周知を図り、対象者の支援を行う。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>次世代を担う新規就農者の営農開始にあたっては、不安定な経営となり所得の確保等が課題となる。就農初期の経営安定を図るため、この事業で機械・施設等を導入することは非常に有効な支援策となっている。課題としては、50万円以上の機械購入が補助対象となるが、無理に補助対象とするために機械性能が華美になる恐れがあり、導入するうえで性能の規模決定根拠をおさえておく必要がある。また、県の短期集中品目の事業が終了するため、本市で一番活用しているインキュベーションファーム研修修了生のピーマンハウス設置への補助が、令和7年度からは補助率2/3から1/2になる予定で、この事業を活用できないか関係部署と協議が必要である。制度としては補助率も高く有効な事業であるので、引き続き周知を図り、対象者の支援を行う。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性

⇒ A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	農業次世代人材投資事業補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (2)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 1 農業の振興	期間	R3 年度 ~ R7 年度	農業次世代人材投資事業補助金	26,250
款	6	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成	期間	年度 ~ 年度		
項	1	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	3					
決算	95					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営開始型の資金を交付する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 交付予定者25名	R3	次世代を担う青年の就農意欲の喚起と、就農直後の経営確立を支援することを目的とし、26組29名に資金を交付した。	R3計画 31,500	31,500			
			当初予算 31,500	31,500			
			決算額 28,704	28,704			
	R4	次世代を担う青年の就農意欲の喚起と、就農直後の経営確立を支援することを目的とし、28名に資金を交付した。	R4計画 25,000	25,000			
			当初予算 36,750	36,750			
			決算額 27,458	27,458			
	R5	次世代を担う青年の就農意欲の喚起と、就農直後の経営確立を支援することを目的とし、25名に資金を交付した。	R5計画 26,250	26,250			
			当初予算 26,250	26,250			
			決算額 24,571	24,571			
	R6		R6計画 19,875	19,875			
			当初予算 19,875	19,875			
			決算額				
	R3 ~ R7 合計			計画額 127,625	127,625		
			当初予算 114,375	114,375			
			決算額 80,733	80,733			

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 青年等就農計画作成指導	1組2名	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	組	目標値	5	2	2	2	2
					実績値	4	8	7		
					% 達成率	80	400	350		
D 成果指標	1 営農継続者数	次世代人材投資資金の交付対象者及び交付が終了した者の営農継続数/営農継続者数/交付対象者及び交付終了者の総数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	65名	目標値	75	79	83	87	91
					実績値	78	84	84		
					% 達成率	104	106.3	101.2		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	22点	4点	22点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	25点	4点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 新規就農者の就農意欲を大きく後押しする国の事業で、これまでも本市の新規就農者の確保に大きな成果を上げてきた。令和3年度にこの名称での交付分は終了(別名称で令和4年度から期間が5年から3年に短くなったが実施中)しているが、今年度も交付継続者への交付、交付終了者の就農状況を確認するとともに、営農相談を行い確実な定着に向け事業を行った。課題は青年等就農計画で策定した目標を確実に達成できるよう、交付期間中交付期間後を含めて関係機関とサポートしていくことである。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 新規就農者の就農意欲を大きく後押しする国の事業で、これまでも本市の新規就農者の確保に大きな成果を上げてきた。令和3年度にこの名称での交付分は終了(別名称で令和4年度から期間が5年から3年に短くなったが実施中)しているが、今年度も交付継続者への交付、交付終了者の就農状況を確認するとともに、営農相談を行い確実な定着に向け事業を行った。課題は青年等就農計画で策定した目標を確実に達成できるよう、交付期間中交付期間後を含めて関係機関とサポートしていくことである。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	企業等農業参入推進事業補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (4)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策 1 農業の振興	企業等農業参入推進事業補助金					3,000
項	1	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成						
目	3	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	95							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 県外の優良な企業的農業経営体の誘致や市内外の意欲ある他産業企業からの農業参入を推進することを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ■ 参入企業の情報収集 ■ 1経営体の事業実施</p>	R3	当初2社の参入企業に対して事業予定であったが、採択申請に至らず事業未実施。	R3計画 7,500	5,000			2,500
			当初予算 7,500	5,000			2,500
			決算額				
	R4	1経営体が事業実施。トラクタの導入を行った。	R4計画 6,000	4,000			2,000
			当初予算 3,000	2,000			1,000
			決算額 2,863	1,908			955
	R5	当初1事業者の実施を予定していたが、別の補助事業を活用したため実施しなかった。	R5計画 3,000	2,000			1,000
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 3,000	2,000			1,000
			当初予算 3,000	2,000			1,000
			決算額				
	R7		R7計画 6,000	4,000			2,000
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 25,500	17,000			8,500
			当初予算 13,500	9,000			4,500
			決算額 2,863	1,908			955

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 セミナーへの参加 年1回開催されるセミナーへ参加する。	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1				
					% 達成率	100				
2 企業参入PT会議への参加 年1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1	
				実績値	1	1	1			
				% 達成率	100	100	100			
D 成果指標	1 年度毎の参入数 2社	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	社	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	1			
					% 達成率	100	50			
2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点	2点	2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	12点	12点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
農業への企業参入は、市にとって大きな効果がもたらされる。本年度も5事業者から相談があったが、事業の活用には至らなかった。企業参入は大変有効な手段ではあるが、これまで参入した企業の中には企業参入のお手本となる優良企業もあれば、撤退・休止といった企業も少なくない状況となっている。このことから参入にあたっては、企業のこれまでの実績、経営計画が確実に達成できる計画になっているかなどを確認するとともに、関係機関との情報共有と支援が必要不可欠となっている。今後も県等と連携を取りながら、企業参入を推進する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農業への企業参入は、市にとって大きな効果がもたらされる。本年度も5事業者から相談があったが、事業の活用には至らなかった。企業参入は大変有効な手段ではあるが、これまで参入した企業の中には企業参入のお手本となる優良企業もあれば、撤退・休止といった企業も少なくない状況となっている。このことから参入にあたっては、企業のこれまでの実績、経営計画が確実に達成できる計画になっているかなどを確認するとともに、関係機関との情報共有と支援が必要不可欠となっている。今後も県等と連携を取りながら、企業参入を推進する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	担い手経営強化対策事業補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (5)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称 担い手経営強化対策事業補助金	当初予算額 15,000
款	6	施策 1 農業の振興				
項	1	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	95					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 農業の担い手の確保及び育成を図りつつ、経営規模を拡大することを目的とする。 <令和5年度の取組内容(計画)> 機械導入 15件予定	R3	14経営体が事業実施し、機械導入に伴い約10haの規模拡大を行った。	R3計画 17,000			17,000	
			当初予算 17,000			17,000	
			決算額 11,752			11,752	
	R4	19経営体が事業実施し、機械導入に伴い約13haの規模拡大を行った。	R4計画 15,000			15,000	
			当初予算 20,000			20,000	
			決算額 16,635			16,635	
	R5	12経営体が事業実施し、機械導入に伴い約15ha及び肉用牛12頭の規模拡大を行った。	R5計画 15,000			15,000	
			当初予算 15,000			15,000	
			決算額 9,986			9,986	
			R6計画 15,000			15,000	
		当初予算 15,000			15,000		
		決算額					
		R7計画 15,000			15,000		
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 77,000			77,000	
			当初予算 67,000			67,000	
			決算額 38,373			38,373	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 機械導入件数	事業実施年度における機械導入経営体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	18	経営体	目標値	15	15	15	15	15
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	14	19	12		
		%			達成率	93.3	126.7	80		
D 1 経営規模の拡大面積	事業実施初年度からの拡大面積実績 (H2 8~)	<input type="checkbox"/> 総合計画	50	ha	目標値	60	70	80	90	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	60	73	88		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	104.3	110	
D 2 経営規模の拡大頭数	事業実施初年度からの拡大頭数実績 (H2 8~)	<input type="checkbox"/> 総合計画	11	頭	目標値	13	15	17	19	21
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	11	42	54		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	84.6	280	317.7	

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点	17点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点
		／25点		／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 認定農業者、認定新規就農者の確保・育成に取組む上で、大きく寄与してきた市単事業である。今年度は12経営体が事業実施を行った。規模拡大を要件としており、これまで事業の目的を十分に達成していると考えられる。 課題としては、平成28年度から事業を開始しているが、令和5年度末現在で実施が130経営体に留まっており(令和5年度末認定農業者数359)、執行率が36.2%と半数に満たず、補助対象期間終了了が令和7年度を考えると執行率が低い。また、議会の事務事業評価や認定農業者連絡協議会で複数回利用できる補助制度や補助要件緩和の要望が出されている。令和7年度にこれまでの実績と効果、担い手確保基金の残高を考慮し、令和8年度から事業を継続するのか、廃止するのかなどを判断する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 認定農業者、認定新規就農者の確保・育成に取組む上で、大きく寄与してきた市単事業である。今年度は12経営体が事業実施を行った。規模拡大を要件としており、これまで事業の目的を十分に達成していると考えられる。 課題としては、平成28年度から事業を開始しているが、令和5年度末現在で実施が130経営体に留まっており(令和5年度末認定農業者数359)、執行率が36.2%と半数に満たず、補助対象期間終了了が令和7年度を考えると執行率が低い。また、議会の事務事業評価や認定農業者連絡協議会で複数回利用できる補助制度や補助要件緩和の要望が出されている。令和7年度にこれまでの実績と効果、担い手確保基金の残高を考慮し、令和8年度から事業を継続するのか、廃止するのかなどを判断する必要がある。
--	---

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	親元就農給付金事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (3)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 1 農業の振興	期間	R3 年度 ~ R7 年度	親元就農給付金	12,000
款	6	施策展開 ①多様な担い手の確保・育成	期間	年度 ~ 年度		
項	1	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	3					
決算	95					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 農業後継者の就農意欲の喚起と就農の定着を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> "準備型認定2名 経営開始型認定9名"</p>	R3	農業後継者の就農意欲の喚起と就農の定着のため、準備型2名、開始型2名の経営発展計画を認定し、交付金を交付した。	R3計画 3,500	1,750			1,750
			当初予算	3,500	1,750		1,750
			決算額	5,000	2,500		2,500
	R4	農業後継者の就農意欲の喚起と就農の定着のため、準備型2名、開始型3名の経営発展計画を認定し、継続者と合わせ準備型2名、開始型6名に交付金を交付した。	R4計画 5,000	2,500			2,500
			当初予算	6,500	3,250		3,250
			決算額	9,000	4,500		4,500
	R5	農業後継者の就農意欲の喚起と就農の定着のため、経営開始型1名に交付金を交付した。	R5計画 12,000	6,000			6,000
			当初予算	12,000	6,000		6,000
			決算額	1,000	500		500
	R6		R6計画 7,000	3,500			3,500
			当初予算	7,000	3,500		3,500
			決算額				
	R7		R7計画 5,000	2,500			2,500
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 32,500	16,250		16,250	
			当初予算 29,000	14,500		14,500	
			決算額 15,000	7,500		7,500	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 研修計画の作成	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2	
					実績値	2	5	1			
					% 達成率	100	250	50			
	2 経営発展計画の作成	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2	
					実績値	2	5				
					% 達成率	100	250				
D 成果指標	1 営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	名	目標値	7	9	9	9	9	
					実績値	7	10	10			
					% 達成率	100	111.1	111.1			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>豊後大野市農業の課題である後継者確保にとって、非常に意義ある事業である。今年度は農業大学校研修生に対象者がなく、経営開始型1名に交付を行った。制度の周知を農大及び認定農業者連絡協議会に行ったが、今後も継続して制度の周知を行う必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>豊後大野市農業の課題である後継者確保にとって、非常に意義ある事業である。今年度は農業大学校研修生に対象者がなく、経営開始型1名に交付を行った。制度の周知を農大及び認定農業者連絡協議会に行ったが、今後も継続して制度の周知を行う必要がある。</p>
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	新規就農者負担軽減対策事業補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (2)		I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称 新規就農者負担軽減対策事業補助金	当初予算額 5,320
会計	一般	政策	1 農業の振興				
款	6	施策	①多様な担い手の確保・育成				
項	1	施策展開	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	3			期間	年度 ~ 年度		
決算	95						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 認定新規就農者・認定農業者及び配偶者の産前産後における外部雇用に係る経費の助成及び就農初期の経営安定に向けた所得を補てんする経費の助成を行い、円滑な経営開始等を支援することを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ■農作業サポート支援 ■新規就農者所得安定対策</p>	R3	就農初期に必要な機械等の取得を支援し、農業生産の相当部分を担うような農業構造を確立した。	R3計画 4,890	930		1,330	2,630
			当初予算 4,890	930		2,330	1,630
			決算額 761	507			254
	R4	配偶者が妊娠中であり農作業が困難なため、外部雇用をの経費を農作業サポート支援として1経営体へ支援し、負担軽減を図った。	R4計画 4,220	193		166	3,861
			当初予算 4,890	930		2,330	1,630
			決算額 337	168			169
	R5	配偶者が妊娠中で、農作業サポート支援を検討していた方が1名いたが、最終的に事業を活用しなかった。	R5計画 5,320	2,660		166	2,494
			当初予算 5,320	2,660			2,660
			決算額				
			R6計画 4,420	2,210		166	2,044
		当初予算 4,420	2,210			2,210	
		決算額					
		R7計画 4,220	193		166	3,861	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 23,070	6,186		1,994	14,890
			当初予算 19,520	6,730		4,660	8,130
			決算額 1,098	675			423

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 青年等就農計画作成支援	青年等就農計画認定申請者数/認定数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	12	名	目標値	8	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	5	4		
		% 達成率			50	125	100			
D 1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	12	名	目標値	20	24	28	32	36
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	18	19	19		
		% 達成率			90	79.2	67.9			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	13点	13点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
農作業サポート支援、新規就農者向け所得安定対策ともに県の事業を活用している。農作業サポート支援については、対象者が令和5年度から認定新規就農者に加え認定農業者に拡大された。認定新規就農者・認定農業者及びその配偶者の妊娠等により、農業へのサポートが必要な時期への支援は重要で必要な事業である。
農作業サポート支援については、令和6年度から支援する期間が拡充される予定となっている。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農作業サポート支援、新規就農者向け所得安定対策ともに県の事業を活用している。農作業サポート支援については、対象者が令和5年度から認定新規就農者に加え認定農業者に拡大された。認定新規就農者・認定農業者及びその配偶者の妊娠等により、農業へのサポートが必要な時期への支援は重要で必要な事業である。
農作業サポート支援については、令和6年度から支援する期間が拡充される予定となっている。

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	女性就農者確保対策事業補助事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (7)		I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		個別計画名 第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 女性就農者確保対策事業補助金 1,500	当初予算額 1,500
会計	一般	政策	1 農業の振興			
款	6	施策	①多様な担い手の確保・育成			
項	1	施策展開				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	95					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 就労環境等の整備を図ることにより、女性就農者の促進を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 女性用トイレ等の整備</p>	R3	1 経営体(集落営農法人)のトイレ改修を行い、女性就農者の就労環境の整備を図った。令和4年度に女性就農者を正規雇用する。	R3計画 750	375			375
			当初予算 750	375			375
			決算額 750	375			375
	R4	2 経営体(集落営農法人)のトイレ改修を行い、女性就農者の就労環境の整備を図った。	R4計画 750	375			375
			当初予算 1,500	750			750
			決算額 1,308	653			655
	R5	2 経営体で事業実施。トイレの改修、簡易トイレの整備、草刈り機の購入を行い、女性就農者の就労環境の整備を図った。	R5計画 750	375			375
			当初予算 1,500	750			750
			決算額 472	234			238
	R6		R6計画 750	375			375
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 750	375			375
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,750	1,875			1,875
			当初予算 3,750	1,875			1,875
			決算額 2,530	1,262			1,268

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の実施	実施件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	件	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	2	2		
					% 達成率	100	200	200		
D 成果指標	1 女性就農者数	正規・又は臨時職員雇用目標数/実績	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	名	目標値	1	1	1	1	1
					実績値		1	27		
					% 達成率		100	2,700		
E 評価対象外の理由	0 評価対象		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		18点	18点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>女性就農者の就労環境整備に関する事業はこれまで希望する多くの声があった。それを補完する県単事業で本市では令和3年度の補助事業開始から令和5年度までに5法人が事業を実施している。しかし、県が令和6年度に事業を廃止した。今後は、事業実施を行った5法人の実績状況報告を令和8年5月まで県へ提出が必要となっている。</p> <p>昨年度、認定農業者に要望調査を行ったが令和6年度事業要望はなかった。事業としては女性就農者の環境整備は重要だと考えられるので、担い手育成基金を使用した事業全体の見直しの中で、市単独で実施するのかなど検討を行う必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>女性就農者の就労環境整備に関する事業はこれまで希望する多くの声があった。それを補完する県単事業で本市では令和3年度の補助事業開始から令和5年度までに5法人が事業を実施している。しかし、県が令和6年度に事業を廃止した。今後は、事業実施を行った5法人の実績状況報告を令和8年5月まで県へ提出が必要となっている。</p> <p>昨年度、認定農業者に要望調査を行ったが令和6年度事業要望はなかった。事業としては女性就農者の環境整備は重要だと考えられるので、担い手育成基金を使用した事業全体の見直しの中で、市単独で実施するのかなど検討を行う必要がある。</p>
---	--

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	後継ぎ支援交付金事業	終了年度	R7
----	---------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (3)		政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
会計	一般	施策	1 農業の振興		期間			R3 年度 ~ R7 年度
款	6	施策展開	①多様な担い手の確保・育成		期間			年度 ~ 年度
項	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
目	3	決算	95					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 認定農業者の後継ぎを確保することを目的とする。 <令和5年度の取組内容(計画)> ■就農相談 ■就農計画支援 ■交付金の交付	R3	交付金 4経営体に交付 就農状況報告 5経営体	R3計画 1,950			1,950	
			当初予算 1,950			1,950	
			決算額 750			750	
	R4	R4対象者がいなかったため、交付実績なし 就農状況報告 5経営体	R4計画 1,200			1,200	
			当初予算 1,200			1,200	
			決算額				
	R5	R5対象者がいなかったため、交付実績なし	R5計画 1,200			1,200	
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 1,200			1,200	
		当初予算 1,200			1,200		
		決算額					
R7		R7計画 1,200			1,200		
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 6,750			6,750	
			当初予算 4,350			4,350	
			決算額 750			750	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農状況確認	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 営農継続者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	名	目標値	7	9	9	9	11
					実績値	7	7	7		
					% 達成率	100	77.8	77.8		
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点	2点	2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	15点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 同内容の県事業の親元就農給付金が54歳まで(市単は55歳まで)に対象年齢を引き上げたことにより、県事業の方が交付額が多いため、申請の見込みがほとんどない。55歳のみ対象の可能性はあるが、この事業も令和7年度までを期間とした市単独事業であるため、担い手育成基金事業全体の見直しの中で廃止や内容の見直しを行う必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 同内容の県事業の親元就農給付金が54歳まで(市単は55歳まで)に対象年齢を引き上げたことにより、県事業の方が交付額が多いため、申請の見込みがほとんどない。55歳のみ対象の可能性はあるが、この事業も令和7年度までを期間とした市単独事業であるため、担い手育成基金事業全体の見直しの中で廃止や内容の見直しを行う必要がある。
--	---

事業	担い手支援事業	細事業	担い手支援事務費	実施計画事業	農業次世代人材投資事業	終了年度	R7
----	---------	-----	----------	--------	-------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興	期間	R3 年度 ~ R7 年度	普通旅費	613
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成	期間	年度 ~ 年度	消耗品費	150
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			印刷製本費	150
決算	95					通信運搬費	102

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 担い手確保・育成業務実施に当たっての事務費及び農業次世代人材投資資金、経営開始金交付事務等</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ■旅費 ■消耗品費 ■印刷製本費 ■役務費</p>	R3	担い手確保・育成業務実施に当たっての事務費	R3計画 753	350			403
			当初予算	753	350		403
			決算額	350	350		
	R4	■旅費 ■消耗品費 ■印刷製本費 ■役務費	R4計画 700	350			350
			当初予算	780	350		430
			決算額	400	320		80
	R5	■旅費 ■消耗品費 ■印刷製本費 ■役務費	R5計画 700	350			350
			当初予算	1,428	320		1,108
			決算額	995	320		675
	R6		R6計画 700	350			350
			当初予算	757	320		437
			決算額				
	R7		R7計画 700	350			350
			当初予算				
			決算額				
R3 ~ R7 合計			計画額 3,553	1,750		1,803	
			当初予算 3,718	1,340		2,378	
			決算額 1,745	990		755	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 インキュベーションファームパンフレット作成	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,000	部	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
					実績値	1,000	800	500		
					% 達成率	100	80	50		
D 成果指標	1 就農相談件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	件	目標値	20	20	20	20	20
					実績値	23	52	34		
					% 達成率	115	260	170		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	評価項目	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	17点	3点	17点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 農業次世代人材投資資金及び経営開始金交付事務に必要な事務費。普通旅費の就農相談フェアへの参加については、効果を見極めながら今後も執行する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 農業次世代人材投資資金及び経営開始金交付事務に必要な事務費。普通旅費の就農相談フェアへの参加については、効果を見極めながら今後も執行する必要がある。
---	--

事業	インキュベーションファーム事業	細事業	インキュベーションファーム事業	実施計画事業	インキュベーションファーム事業	終了年度	R7
----	-----------------	-----	-----------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (2)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成				
目	3	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	96						
		A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等		財源内訳 (単位:千円)	

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 次代の農業及び地域を担う新規就農者をホームページ等を通じて全国から募集し、次代の豊後大野市農業の担い手を確保する。また、新規就農者技術習得研修施設(インキュベーションファーム)における栽培・管理等の実践研修、簿記研修等の農業経営研修により、新規就農者の育成を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ■第13期生の募集。 ■第11期生の2年目の研修及び就農支援。 ■第12期生の1年目の研修支援。</p>	R3	第9期生の就農支援 2組就農 第10期生の2年目の研修支援 2組 第11期生の募集 2組入校	R3計画 11,440 当初予算 11,440 決算額 3,501			11,440	1	
	R4	第10期生の就農支援 2組就農 第11期生の2年目の研修支援 2組 第12期生の募集 3組入校	R4計画 500 当初予算 4,485 決算額 3,786			500	159	
	R5	第11期生の2年目の研修及び就農支援 2組 第12期生の1年目の研修支援 3組 第13期生の募集 2組入校	R5計画 2,234 当初予算 3,134 決算額 2,197			2,234		
	R6		R6計画 879 当初予算 879 決算額			879		
	R7		R7計画 1,500 当初予算 決算額			1,500		
	R3 ~ R7 合計			計画額 16,553 当初予算 19,938 決算額 9,484			16,553	160

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 農地の確保 農地約40a~50a/組	<input type="checkbox"/> 総合戦略	63.3	a	目標値	50	50	50	50	50	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	50	50	50			
		% 達成率			100	100	100				
2 就農フェアへの参加	"おおいた就農・就業フェア(福岡)(東京) おんせん県おおいた就農応援フェア(大分)(大阪)(東京) おおいた農業法人等合同就農相談会(大分)"	<input type="checkbox"/> 総合戦略	5	回	目標値	5	5	5	5	5	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5	8	8			
		% 達成率			100	160	160				
D 成果指標	1 研修生の就農	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	組	目標値	2	2	3	3	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2	2	2			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	66.7			
	2 研修生の確保	3組(定員)	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	組	目標値	2	2	3	3	3
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2	3	2		
			<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	150	66.7		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	23点	5点	23点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>豊後大野市が全国に誇る就農システムであるインキュベーションファーム事業、令和5年度までに25組50名が研修を終了し、市内に就農。そのうち1組が離農したが24組48名が営農を継続し、市内農業者の中でも非常に優秀な成績で豊後大野市農業を牽引している。令和5年度は11期生2組4名が就農し、12期生3組6名が2年目の模擬経営、13期生2組4名が入校し基礎実践研修をスタートさせた。</p> <p>今後も、本市の新規就農システムとして拡充していく必要があるが、開始後12年を経過し社会情勢も変化していることから、研修終了後の住居の確保等、事業内容を見直していく必要がある。</p> <p>また、新型コロナウイルスが5類に移行した影響もあり、他産業も人手不足の状態でも農業への就農相談が減少しており、就農学校の乱立もあるが、研修生の争奪戦となっており、毎年研修生の確保に苦労している。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>豊後大野市が全国に誇る就農システムであるインキュベーションファーム事業、令和5年度までに25組50名が研修を終了し、市内に就農。そのうち1組が離農したが24組48名が営農を継続し、市内農業者の中でも非常に優秀な成績で豊後大野市農業を牽引している。令和5年度は11期生2組4名が就農し、12期生3組6名が2年目の模擬経営、13期生2組4名が入校し基礎実践研修をスタートさせた。</p> <p>今後も、本市の新規就農システムとして拡充していく必要があるが、開始後12年を経過し社会情勢も変化していることから、研修終了後の住居の確保等、事業内容を見直していく必要がある。</p> <p>また、新型コロナウイルスが5類に移行した影響もあり、他産業も人手不足の状態でも農業への就農相談が減少しており、就農学校の乱立もあるが、研修生の争奪戦となっており、毎年研修生の確保に苦労している。</p>
---	--

事業	園芸振興事業	細事業	園芸産地整備事業	実施計画事業	園芸産地整備事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (10)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 おおいの園芸産地づくり支援事業補助金 短期集中地域支援品目生産拡大推進事業補助金 谷ごと集団地育成産地強化対策事業補助金	当初予算額
会計 一般	6	施策 1 農業の振興			
款	1	施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興			
項	4	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	97				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 水田の畑地化による米から高収益な園芸品目への生産転換を加速するとともに、園芸団地づくり計画に位置づけられた大規模園芸産地の育成を重点的に推進し、農業産出額の向上をめざすもの</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 県事業(おおいの園芸産地づくり支援事業・短期集中地域支援品目生産拡大推進事業・谷ごと集団地育成産地強化対策事業)を活用し生産基盤整備を行う者に補助金を交付する。対象品目:ピーマン、かんしょ、白ねぎ等</p>	R3	活力あふれる園芸産地整備事業補助金(県事業)を活用して、栽培施設、生産基盤、機械施設等の整備を行うことができた。 事業実施品目:ピーマン、高糖度かんしょ、白ねぎ、ぶどう、キウイ	R3計画 149,059	104,994			44,065	
			当初予算	149,059	104,994			44,065
			決算額	45,484	34,258			11,226
	R4	県補助事業を活用し、園芸産地づくりを推進するための栽培施設、生産基盤、機械施設等の整備に対し補助金を交付する。 事業実施品目:ピーマン、かんしょ、白ねぎ、小ねぎ、葉たばこ、ぶどう等	R4計画 100,000	66,666			33,334	
			当初予算	91,642	64,620		27,022	
			決算額	61,645	40,773		20,872	
	R5	県補助事業を活用し、園芸産地づくりを推進するための栽培施設、生産基盤、機械施設等の整備に対し補助金を交付する。 事業実施品目:ピーマン、かんしょ、小ねぎ、キク、くり、かぼす	R5計画 66,213	51,077			15,136	
			当初予算	66,213	48,613		17,600	
			決算額	57,463	38,162		19,301	
	R6		R6計画 78,558	66,666			11,892	
		当初予算	78,558			78,558		
		決算額						
R7		R7計画 100,000	66,666			33,334		
		当初予算						
		決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額 493,830	356,069			137,761	
			当初予算 385,472	218,227			167,245	
			決算額 164,592	113,193			51,399	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 夏秋ピーマン生産額:6.0億円、白ねぎ生産額:2.1億円		<input type="checkbox"/> 総合戦略		億円	目標値	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	7	11.9	16		
				%	達成率	86.4	146.9	197.5		
						億円	目標値	6.2	6.2	6.2
D 成果指標 1 園芸重点品目の販売金額 26.4億円	目標年度:令和7年度 (野菜類:1,591,000千円、花き類:737,340千円、果樹:312,000千円)	<input type="checkbox"/> 総合計画		億円	目標値	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	26.1	24.9	32.8		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	98.9	94.3	124.2		
							目標値			
E 評価対象外の理由 O 評価対象		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	18点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点
			25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>県補助事業を活用してピーマンハウス栽培施設整備事業をはじめ、生産基盤整備事業、農業用機械整備事業等に取り組んだ。生産者からの事業要望に対し、支援を行うことができた。事業を行う上での課題として、資材高騰により、農業用機械本体、ハウス資材費等の単価が上がっていることがあげられる。円安の影響もあり、高止まりの状況が続いているため、生産者の経営状況等にも配慮しながら事業を組み立てていきたい。また、農業用機械の種類によっては、注文から納品まで長期間を要するものもあるため、事業計画申請から交付決定、着手までを速やかに進められるようスケジュール管理の徹底を図りたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>県補助事業を活用してピーマンハウス栽培施設整備事業をはじめ、生産基盤整備事業、農業用機械整備事業等に取り組んだ。生産者からの事業要望に対し、支援を行うことができた。事業を行う上での課題として、資材高騰により、農業用機械本体、ハウス資材費等の単価が上がっていることがあげられる。円安の影響もあり、高止まりの状況が続いているため、生産者の経営状況等にも配慮しながら事業を組み立てていきたい。また、農業用機械の種類によっては、注文から納品まで長期間を要するものもあるため、事業計画申請から交付決定、着手までを速やかに進められるようスケジュール管理の徹底を図りたい。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	園芸振興事業	細事業	園芸産地整備事業	実施計画事業	白ねぎ導入・拡大支援対策	終了年度	R5
----	--------	-----	----------	--------	--------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興	期間	R3 年度 ~ R7 年度	白ねぎ導入拡大支援事業補助金	96,881
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興	期間	年度 ~ 年度		
目	4	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	97						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 白ねぎ導入・拡大支援対策に伴う技術支援アドバイザー設置対策による新規事業開設農業者等への技術支援及び機械整備支援を行う <令和5年度の取組内容(計画)> ・白ねぎ用機械導入 ・肥料、農薬代購入費助成 ・種苗代購入費助成 ・土壌改良材購入費助成	R3	技術支援アドバイザー 1名 225千円 白ねぎ機械導入 6,518千円 〃 種苗等助成 13,798千円 〃 土壌改良 3,550千円	R3計画 8,225	4,112			4,113
			当初予算 8,225	4,112			4,113
			決算額 23,866	14,778			9,088
	R4	・白ねぎ用機械導入 ・肥料、農薬代購入費助成 ・種苗代購入費助成 ・土壌改良材購入費助成	R4計画 8,225	4,112			4,113
			当初予算 93,798	58,437			35,361
			決算額 58,286	41,775			16,511
	R5	・白ねぎ用機械導入 ・肥料、農薬代購入費助成 ・種苗代購入費助成 ・土壌改良材購入費助成 等	R5計画 96,881	69,057			27,824
			当初予算 96,881	69,057			27,824
			決算額 50,493	35,808			14,685
			R3 ~ R7 合計	計画額 113,331	77,281		
			当初予算 198,904	131,606			67,298
			決算額 132,645	92,361			40,284

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 技術支援相談対応	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	45	60	60		
					実績値	45				
					% 達成率	100				
2 補助事業申請事務	白ねぎ機械導入 8件	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	8	8	8		
					実績値	8	21	27		
					% 達成率	100	262.5	337.5		
D 成果指標	1 補助金交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	8	8	8		
					実績値	26	29	21		
					% 達成率	325	362.5	262.5		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	19点	4点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	／25点	4点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
令和3年度から5年度までの3ヶ年限定でスタートした県事業「ねぎ産出額100億円プロジェクト支援事業」を活用し、白ねぎ用機械整備や肥料・農薬、種苗費、土壌改良資材購入費の支援を行った結果、本市における白ねぎ産地の拡大に資する取り組みに繋がることができた。課題としては、短期間における急激な面積拡大により、生産者によっては栽培管理が行き届かず、収量向上につなげられていない生産者が見受けられることから、個別営農指導が必要な状況となっている。今後においても営農普及協力員や豊肥振興局生産流通部の普及員等とともに、営農指導の強化を図ることとする。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度から5年度までの3ヶ年限定でスタートした県事業「ねぎ産出額100億円プロジェクト支援事業」を活用し、白ねぎ用機械整備や肥料・農薬、種苗費、土壌改良資材購入費の支援を行った結果、本市における白ねぎ産地の拡大に資する取り組みに繋がることができた。課題としては、短期間における急激な面積拡大により、生産者によっては栽培管理が行き届かず、収量向上につなげられていない生産者が見受けられることから、個別営農指導が必要な状況となっている。今後においても営農普及協力員や豊肥振興局生産流通部の普及員等とともに、営農指導の強化を図っていくこととする。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	園芸振興事業	細事業	団体補助金	実施計画事業	JAおおいたぶんど大野生産部会補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------	--------	---------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (10)		I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		個別計画名 第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称 JAおおいたぶんど大野生産部会補助金 当初予算額 1,498
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		
款	6	施策	1 農業の振興		
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興		
目	4	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	97				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> JAおおいたぶんど大野生産部会に所属する各部会の取組を支援し、農業産出額の向上につなげ、農業所得、経営の安定を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> JAおおいた豊後大野生産部会に対する活動補助。 ・販売促進活動(トップセールス) ・部会(21部会)ごとの独自活動支援 ・安全、安心な農作物の安定供給</p>	R3	JAおおいたぶんど大野生産部会に対し活動補助金を交付した。部会毎に安全で安心な食糧を安定的に供給する体制づくりに向けて活動を行った。	R3計画 1,498				1,498
	当初予算	1,498				1,498	
	決算額	1,498				1,498	
	R4	JAおおいた豊後大野生産部会に対し、活動補助金を交付。部会ごとに安全で安心な食料を安定的に供給する体制づくりを行った。	R4計画 1,498				1,498
	当初予算	1,498				1,498	
	決算額	1,498				1,498	
	R5	JAおおいた豊後大野生産部会に対し、活動補助金を交付。部会ごとに安全で安心な食糧を安定的に供給する体制づくりを行った。	R5計画 1,498				1,498
	当初予算	1,498				1,498	
	決算額	1,498				1,498	
	R6		R6計画 1,498				1,498
当初予算	1,498				1,498		
決算額							
R7		R7計画 1,498				1,498	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 7,490				7,490
			当初予算 5,992				5,992
			決算額 4,494				4,494

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7		
C 活動指標	1 トップセールスによる販売促進	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1		
					実績値			1				
	2 JAぶんどおおの生産部会における総会、役員会の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	3	3	3	3	3		
					実績値	2	3	3				
					%	達成率	66.7	100	100			
D 成果指標	1 年間農業産出額 82億円	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		億 円	目標値	82	82	82	82	82		
					実績値	62	63.4	65.4				
						%	達成率	75.6	77.3	79.8		
						%	達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		16点	16点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>JAおおいた豊後大野生産部会連絡協議会(21部会)に対し、部会ごとの活動を支援するとともに、販売促進活動の一環で行うトップセールスの取組にも市として合同で行うなど、部会活動を支援した。各部会においても単独で市場への販売促進活動を実施するなど、コロナ禍前の取組に戻りつつある。栽培技術講習会の開催や目揃え会の実施など、販売額向上の取組に積極的に取り組んでいただいております。引き続き部会活動の支援を図ってまいります。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>JAおおいた豊後大野生産部会連絡協議会(21部会)に対し、部会ごとの活動を支援するとともに、販売促進活動の一環で行うトップセールスの取組にも市として合同で行うなど、部会活動を支援した。各部会においても単独で市場への販売促進活動を実施するなど、コロナ禍前の取組に戻りつつある。栽培技術講習会の開催や目揃え会の実施など、販売額向上の取組に積極的に取り組んでいただいております。引き続き部会活動の支援を図ってまいります。</p>
---	--

事業	園芸振興事業	細事業	団体補助金	実施計画事業	葉たばこ生産協議会補助事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (10)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興					
項	1	施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興					
目	4	後期基本計画 23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	97						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 葉たばこ生産協議会の育成強化と耕作技術と経営の改善、強化を図り、産地収益力の向上に資するため、協議会育成活動等に要する経費について補助するもの。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・ピクリン缶の回収および缶つぶし(適正処理) ・生産コスト低減の検討 ・健苗育成	R3	・ピクリン缶の回収及び缶つぶし(適正処理) ・生産コスト低減の検討 ・健苗育成(共同育苗実施)	R3計画 180 当初予算 180 決算額 180				180	
	R4	・ピクリン缶の回収および缶つぶし(適正処理) ・生産コスト低減の検討 ・健苗育成(共同育苗実施)	R4計画 180 当初予算 110 決算額 110				180	
	R5	・ピクリン缶の回収及び缶つぶし(適正処理) ・生産コスト低減の県等 ・健苗育成(共同育苗実施)	R5計画 110 当初予算 110 決算額 110				110	
	R6		R6計画 110 当初予算 110 決算額				110	
	R7		R7計画 180 当初予算 決算額				180	
	R3 ~ R7 合計			計画額 760 当初予算 510 決算額 400				760 510 400

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 総会、役員会の開催		<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	回	目標値	3	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	6	5	4		
		% 達成率			200	166.7	133.3			
2 ピクリン缶回収及び処分作業		<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	1		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標 1 葉たばこ販売金額の維持	葉たばこについては、制度上、新規作付けが認められていないため、現状の販売金額維持を目標とする。	<input type="checkbox"/> 総合計画	2	億円	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1.8	1.1	1.1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	90	55	55		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 葉たばこ生産協議会に対して、品質の統一化(高位平準化)を図ることを目的として補助金を交付した。共同育苗の実施や農薬空き缶(ピクリン缶)の共同適正処理などに協議会として取り組み、農業生産額向上に資する取り組みが行われている。後継者もいることから、引き続き葉たばこ生産者の活動支援を行っていきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 葉たばこ生産協議会に対して、品質の統一化(高位平準化)を図ることを目的として補助金を交付した。共同育苗の実施や農薬空き缶(ピクリン缶)の共同適正処理などに協議会として取り組み、農業生産額向上に資する取り組みが行われている。後継者もいることから、引き続き葉たばこ生産者の活動支援を行っていきたい。
---	--

事業	園芸振興事業	細事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	実施計画事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	終了年度	R5
----	--------	-----	-------------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (10)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称 戦略品目産地化プロジェクト支援事業補助金	当初予算額 2,129
款	6	施策 1 農業の振興					
項	1	施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興					
目	4	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	97						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 園芸重点品目の産地化及びブランド化を早期に図るための整備事業に対し補助金を交付するもの。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・産業用ドローン購入支援 ・なす、ゴーヤ新規栽培者用施設整備事業 ・ピーマン用高温障害果抑制実証事業 ・果樹園地管理用草刈機導入支援	R3	・夏秋なす施設整備 申請なし ・かんしょ貯蔵庫改修 1件	R3計画 375 当初予算 375 決算額 90				375	
	R4	・産業用ドローン購入支援(1件) ・地域資源(豚ふん堆肥)活用実証事業(美なす部会・ゴーヤ部会) ・堆肥散布機購入支援(市農林業振興公社)	R4計画 500 当初予算 1,150 決算額 1,704				500	
	R5	・産業用ドローン導入支援 ・栗園地用乗用草刈機導入支援 ・生分解性マルチ実証事業 ・ピーマン高温障害果抑制実証事業	R5計画 2,129 当初予算 2,129 決算額 2,129				2,129	
	R6		R6計画 1,200 当初予算 1,200 決算額				1,200	
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 4,204 当初予算 4,854 決算額 3,923				4,204 4,854 3,923

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 補助事業申請事務	夏秋なす施設整備(2件) かんしょ貯蔵庫改修(3件)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		件	目標値	5	5	5		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	5	4		
		% 達成率			20	100	80			
D 成果指標 1 補助金交付件数	補助金を交付した件数(補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数)	<input type="checkbox"/> 総合計画		件	目標値	5	5	5		
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	5	4		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		20	100	80	

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 スマート農業の推進を目的としたドローン導入支援(白ねぎ防除用)、栗園地管理の省力化を目的とした乗用草刈機購入支援、生分解性マルチ実証事業(ピーマン圃場)、ピーマン高温障害果抑制実証事業等に取り組んだ。農業用機械整備により生産基盤の強化が図られた。ピーマン栽培に係る高温障害果抑制実証事業では、夏場の遮熱を目的としたPOフィルムの効果検証を目的として取り組み、一部の生産者においては、障害果の減少という結果もみられたが、継続して検証が必要という評価となったため、令和6年度においても自費での効果検証を継続的に実施することとなった。生分解性マルチ実証事業については、令和6年度にかけて効果を実証するため、引き続き検証を行っていくこととする。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 スマート農業の推進を目的としたドローン導入支援(白ねぎ防除用)、栗園地管理の省力化を目的とした乗用草刈機購入支援、生分解性マルチ実証事業(ピーマン圃場)、ピーマン高温障害果抑制実証事業等に取り組んだ。農業用機械整備により生産基盤の強化が図られた。ピーマン栽培に係る高温障害果抑制実証事業では、夏場の遮熱を目的としたPOフィルムの効果検証を目的として取り組み、一部の生産者においては、障害果の減少という結果もみられたが、継続して検証が必要という評価となったため、令和6年度においても自費での効果検証を継続的に実施することとなった。生分解性マルチ実証事業については、令和6年度にかけて効果を実証するため、引き続き検証を行っていくこととする。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	園芸振興事業	細事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	実施計画事業	重量野菜省力化支援事業	終了年度	R5
----	--------	-----	-------------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (10)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興				
目	4	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	97						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 高齢化等により重量物野菜の積み込み等の作業の軽減を図るための経費を補助する <令和5年度取組内容(計画)> アシストスーツ導入支援	R3	パワースーツ 3基導入	R3計画 500				500
			当初予算 500				500
			決算額 204				204
	R4	アシストスーツ購入支援:1件(さといも農家)	R4計画 500				500
			当初予算 348				348
			決算額 68				68
	R5	アシストスーツ導入支援:4件	R5計画 500				500
			当初予算 413				413
			決算額 172				172
			R6計画 406				406
		当初予算 406				406	
		決算額					
		R7計画					
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 1,906				1,906
			当初予算 1,667				1,667
			決算額 444				444

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業申請事務	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	3	3	3		
					実績値	3	1	4		
					% 達成率	100	33.3	133.3		
D 成果指標	1 補助金交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	3	3	3		
					実績値	3	1	4		
					% 達成率	100	33.3	133.3		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		21点	21点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 園芸重点推進品目のうち、重量野菜であるかんしょ、さといもの生産振興を図るため、農作業の省力化を目的としたアシストスーツの導入推進を図った。令和4年度導入実績が1基であったことから、栽培講習会時にデモ機による実演会を実施するなど、積極的なPRに努め、4基の導入支援に繋げることができた。引き続き、生産者へのPRに努め、農作業の省力化に資する取り組みとして推進を図っていききたい。令和6年度においてもデモ機の実演会等を計画したい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 園芸重点推進品目のうち、重量野菜であるかんしょ、さといもの生産振興を図るため、農作業の省力化を目的としたアシストスーツの導入推進を図った。令和4年度導入実績が1基であったことから、栽培講習会時にデモ機による実演会を実施するなど、積極的なPRに努め、4基の導入支援に繋げることができた。引き続き、生産者へのPRに努め、農作業の省力化に資する取り組みとして推進を図っていききたい。令和6年度においてもデモ機の実演会等を計画したい。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	園芸振興事業	細事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	実施計画事業	労働環境改善補助事業	終了年度	R5
----	--------	-----	-------------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (10)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興				
項	1	施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興				
目	4	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	97						
		A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 圃場等で行う農作業等の労働環境改善を行うための経費を補助する <令和5年度の取組内容(計画)> 簡易トイレ設置	R3	簡易トイレ設置: 0箇所	R3計画 300 当初予算 300 決算額				300	
	R4	簡易トイレ設置: 2か所	R4計画 300 当初予算 438 決算額 176				300	
	R5	簡易トイレ設置: 1基	R5計画 300 当初予算 300 決算額 65				300	
	R6		R6計画 300 当初予算 300 決算額				300	
	R7		R7計画 当初予算 決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,200 当初予算 1,338 決算額 241				1,200 1,338 241

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業申請事務 簡易トイレ設置支援(3件)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		件	目標値	3	3	3		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		2	1		
		% 達成率				66.7	33.3			
D 成果指標	1 補助金交付件数 補助金を交付した件数(補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数)	<input type="checkbox"/> 総合計画		件	目標値	3	3	3		
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値		2	1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		66.7	33.3		

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 簡易トイレの整備など労働環境改善を目的とした「労働環境改善支援事業」を実施した。令和5年度はキク生産者(1法人)が1基導入し、環境改善が図られた。引き続き、労働環境改善の推進を図るとともに、女性農業者の労働環境改善に資する支援も積極的に行っていきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 簡易トイレの整備など労働環境改善を目的とした「労働環境改善支援事業」を実施した。令和5年度はキク生産者(1法人)が1基導入し、環境改善が図られた。引き続き、労働環境改善の推進を図るとともに、女性農業者の労働環境改善に資する支援も積極的に行っていきたい。
--	---

事業	経営所得安定対策等交付金事業	細事業	経営所得安定対策等推進事業	実施計画事業	経営所得安定対策等推進事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (19)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市水田収益力強化ビジョン	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 1 農業の振興	期間 R5 年度 ~ 年度	経営所得安定対策等推進事業補助金	15,050
款	6	施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興	期間 年度 ~ 年度		
項	1	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	5				
決算	98				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 経営所得安定対策等交付金事業の実施(米の生産調整等) <令和5年度の取組内容(計画)> 経営所得安定対策等の実施 ・畑作物の直接支払交付金事務 ・水田活用の直接支払交付金事務 ・水田・畑作経営所得安定対策事務(収入減少影響緩和対策)	R3	経営所得安定対策等の実施 ・畑作物の直接支払交付金事務 ・水田活用の直接支払交付金事務 ・水田・畑作経営所得安定対策事務(収入減少影響緩和対策)	R3計画 20,000	20,000			
			当初予算 20,000	20,000			
			決算額 15,596	15,596			
	R4	経営所得安定対策等の実施 ・畑作物の直接支払交付金事務 ・水田活用の直接支払交付金事務 ・水田・畑作経営所得安定対策事務(収入減少影響緩和対策)	R4計画 15,000	14,000			1,000
			当初予算 15,050	15,050			
			決算額 15,665	15,665			
	R5	経営所得安定対策等の実施 ・畑作物の直接支払交付金事務 ・水田活用の直接支払交付金事務 ・水田・畑作経営所得安定対策事務(収入減少影響緩和対策)	R5計画 14,000	13,000			1,000
		当初予算 15,050	15,050				
		決算額 14,248	14,248				
	R6		R6計画 13,000	12,000			1,000
			当初予算 15,697	15,697			
			決算額				
	R7		R7計画 13,000	12,000			1,000
			当初予算				
			決算額				
	R3 ~ R7 合計		計画額 75,000	71,000			4,000
			当初予算 65,797	65,797			
			決算額 45,509	45,509			

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 説明会の開催	説明会の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1	18	25		
						% 達成率	100	1,800	2,500		
D 成果指標	1 米の生産調整の達成率	達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100	100	100		
						% 達成率	100	100	100		
E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)									

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	14点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		2点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 米の生産調整である需要に応じた主食用水稲の作付け計画は達成できた。経営所得安定対策推進事務において、営農計画書及び交付申請書の配布と回収、電算入力、転換作物の現地確認と電算入力等の業務及び農政局への報告及び申請業務は問題無く完了した。また、令和4年度から水田協力員を廃止したため、「交付金取扱者説明会」及び「営農計画書相談会」を各町毎に開催し、制度の周知や営農計画書の配布・回収、農地等に対する相談を実施した。今後も、「交付金取扱者説明会」及び「営農計画書相談会」を継続して実施し、制度の周知を図ってきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 経営所得安定対策等推進事業については概ね計画どおりに推移している。ただし、令和5年度については担当課長不在の中で事務担当職員の相当な努力並びに他機関関係職員の多大な協力により成し遂げられたものである。そうした意味では「計画どおり」とは言い難い部分もあった。
--	---

事業	経営所得安定対策等交付金事業	細事業	畑地化促進事業	実施計画事業	畑地化促進事業	終了年度
----	----------------	-----	---------	--------	---------	------

総合計画体系図No.→ (11)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間	畑地化促進事業補助金	
款	6	年度		
項	1	年度		
目	5	年度		
決算	98	年度		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 経営所得安定対策等交付金事業の実施</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 水田畑地化に伴う産地づくりに向けた体制構築支援並びに土地改良区決済金等を支援するため</p>	R3		R3計画				
			当初予算				
			決算額				
	R4		R4計画				
			当初予算				
			決算額				
	R5	・産地づくりに向けた体制構築支援 ・土地改良区決済金等支援	R5計画				
			当初予算				
			決算額	23,488	23,488		
	R6		R6計画				
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額				
			当初予算				
			決算額	23,488	23,488		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
				%	達成率					
	2	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
				%	達成率					
D 成果指標	1	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
	2	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	2点	2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		15点	14点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 本事業は国の令和5年度補正で取り組みが始まった。令和5年度は取組初年度であったが申請圃場が多く、現地確認や土地改良区との調整等事務作業は多岐にわたったが事業は完了した。本事業がいつまで継続されるか未定ではあるが、広く制度や事業周知等を行っていきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 取組初年度ではあったが多くの圃場で事業実施を行うことができた。令和5年度については担当課長不在の中で事務担当職員の相当な努力、並びに他機関関係職員の多大な協力により成し遂げられたもので、計画どおりとは言い難い。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	中山間地域等直接支払事業	細事業	中山間地域等直接支払推進事業	実施計画事業	中山間地域等直接支払推進事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	----------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (46)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 1 農業の振興	期間	R3 年度 ~ R7 年度	消耗品費	621
款	6	施策展開 ⑦地域資源を活かした農村づくり	期間	年度 ~ 年度	通信運搬費	242
項	1	後期基本計画 24 P			中山間データ更新委託料	165
目	6	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			燃料費	119
決算	99					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 中山間地域等、耕作の条件不利地において、集落協定等を締結し、5年間以上継続して農業生産活動を行う農業者等に対し、田・畑別、傾斜別に単価を設定して直接支払交付金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 各協定を対象とした説明会を年1回開催するとともに、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募る。 また、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行う。</p>	R3	各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、コロナ禍により中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。	R3計画 1,155	568			587
			当初予算 1,155	568			587
			決算額 1,144	568			576
	R4	令和4年度も各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大の観点から開催を中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。	R4計画 1,000	500			500
			当初予算 1,587	784			803
			決算額 1,559	763			796
	R5	令和5年度は、これまで新型コロナウイルス感染症拡大の観点から開催を中止していた各協定を対象とした説明会を開催した。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。その他、各協定による実施状況を確認するため、現地調査及び証拠書類による審査を行った。	R5計画 1,000	500			500
			当初予算 1,182	581			601
			決算額 1,105	638			467
	R6		R6計画 1,000	500			500
		当初予算 1,512	574			938	
		決算額					
R7		R7計画 1,000	500			500	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 5,155	2,568			2,587
			当初予算 5,436	2,507			2,929
			決算額 3,808	1,969			1,839

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 説明会の開催及び広報活動 ・協定役員等を対象とした制度説明会の開催 1回 ・市報での制度紹介 1回 ・ホームページでの制度紹介 1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3	回	目標値	3	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3	3	3		
		% 達成率			100	100	100			
2 実施状況の確認	・全協定農用地を対象とした現地調査 2,386ha (R2年度実績) 1回 ・全集落協定を対象とした実績受取協議 174協定 (R2年度実績) 1回	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	回	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2	2	2		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標	1 協定農用地 ・協定農用地の面積	<input type="checkbox"/> 総合計画	2,386	ha	目標値	2,388	2,390	2,390	2,391	2,391
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2,419	2,407	2,425		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	101.3	100.7	101.5		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	21点	21点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>第5期対策4年目が終了した。協定数も増加し全体の面積も維持出来てはいるが、各集落協定では高齢化や役員の固定化など課題も見られる。今後も本制度の周知や地域内での合意形成の重要性を協定役員等に対して説明するなど、集落協定の活動が継続出来るよう対応していくことにより耕作放棄地の増加、農用地の減少を防止する。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>第5期対策4年目が終了した。協定数も増加し全体の面積も維持出来てはいるが、各集落協定では高齢化や役員の固定化など課題も見られる。今後も本制度の周知や地域内での合意形成の重要性を協定役員等に対して説明するなど、集落協定の活動が継続出来るよう対応していくことにより耕作放棄地の増加、農用地の減少を防止する。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	中山間地域等直接支払事業	細事業	中山間地域等直接支払交付金	実施計画事業	中山間地域等直接支払交付金事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	---------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (46)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 中山間地域等直接支払交付金	当初予算額 424,161
款	6	施策 1 農業の振興					
項	1	施策展開 ⑦地域資源を活かした農村づくり					
目	6	後期基本計画 24 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	99						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 中山間地域等、耕作の条件不利地において集落協定等を締結し、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対し、田・畑別、傾斜別に単価を設定して直接支払交付金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 各協定を対象とした説明会を年1回開催するとともに、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募る。 また、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行う。</p>	R3	各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、コロナ禍により中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。	R3計画 398,619	298,963			99,656
	当初予算	398,619	298,963			99,656	
	決算額	414,218	310,663			103,555	
	R4	令和4年度も各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、新型コロナウイルス感染拡大の観点から開催を中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。	R4計画 414,500	310,875			103,625
	当初予算	424,196	318,146			106,050	
	決算額	414,584	310,938			103,646	
	R5	令和5年度は、これまで新型コロナウイルス感染拡大の観点から開催を中止していた各協定を対象とした説明会を開催した。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。その他、各協定による実施状況を確認するため、現地調査及び証拠書類による審査を行った。	R5計画 415,000	311,250			103,750
	当初予算	424,161	318,120			106,041	
	決算額	406,359	304,769			101,590	
	R6		R6計画 415,000	311,250			103,750
当初予算	420,676	315,507			105,169		
決算額							
R7		R7計画 415,000	311,250			103,750	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 2,058,119	1,543,588			514,531
			当初予算 1,667,652	1,250,736			416,916
			決算額 1,235,161	926,370			308,791

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 説明会の開催及び広報活動	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3	
					実績値	3	3	3			
	2 実施状況の確認	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2	
					実績値	2	2	2			
					%	達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 協定農用地	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2,386	ha	目標値	2,388	2,390	2,390	2,391	2,391	
					実績値	2,419	2,407	2,425			
						%	達成率	101.3	100.7	101.5	
						%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	23点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
令和5年度は集落協定が3増加したことにより、全体の面積は令和4年度の2,407haから18ha増加し2,425haとなった。しかし、交付金額は3加算の減額交付が行われたため、8,225千円減の406,359千円となった。今後も国の予算不足による減額交付が懸念される。
なお、令和6年度は第5期の最終年度となるため、説明会等を通じ各協定への説明や指導を十分に行う必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和5年度は集落協定が3増加したことにより、全体の面積は令和4年度の2,407haから18ha増加し2,425haとなった。しかし、交付金額は3加算の減額交付が行われたため、8,225千円減の406,359千円となった。今後も国の予算不足による減額交付が懸念される。
なお、令和6年度は第5期の最終年度となるため、説明会等を通じ各協定への説明や指導を十分に行う必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	農業施設管理事業	細事業	農業施設管理事業	実施計画事業	農業施設管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No. (50)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策 1 農業の振興	千歳農村公園施設機能移転工事請負費					55,000
項	1	施策展開 ⑦地域資源を活かした農村づくり	千歳農村環境改善センターキュービクル内変圧器取替工事請負費					2,255
目	7	後期基本計画 24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	三重農村環境改善センター防犯シャッター等設置工事請負費					2,000
決算	100		三重農村環境改善センター指定管理委託料					2,000

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 施設の適切な管理運営を図る。 <令和5年度の取組内容(計画)> 農業施設の維持管理 ・【対象施設】 ・農村環境改善センター ①三重農村環境改善センター(指定管理) 防犯シャッター等設置工事 ②千歳農村環境改善センター(変圧器取替・浄化槽蓋取替) ・農村公園 ①緒方辻河原公園 ②緒方中央農村公園 ③千歳農村公園(機能移転工事) ・農林水産物直売所 ①千歳特産物直売所	R3	農業施設の維持管理 ・【対象施設】 ・農村環境改善センター ①三重農村環境改善センター(指定管理) ②千歳農村環境改善センター ・農村公園 ①緒方辻河原公園 ②緒方中央農村公園 ③千歳農村公園 ・農林水産物直売所 ①千歳特産物直売所 施設の修繕 ・千歳農村環境改善センター(空調機器及び玄関ポーチ柱) 2,119,700円 施設の工事 ・千歳特産物直売所修繕工事 11,770,000円	R3計画 6,050			164	5,886	
				当初予算 6,011			152	5,859
				決算額 19,333			169	19,164
	R4	農業施設の維持管理 ・【対象施設】 ・農村環境改善センター ①三重農村環境改善センター(指定管理) ②千歳農村環境改善センター ・農村公園 ①緒方辻河原公園 ②緒方中央農村公園 ③千歳農村公園 ・農林水産物直売所 ①千歳特産物直売所 施設の工事等 ■千歳農村公園(外付LED設置工事・水廻り等工事) 5,999,400円 ■千歳農村公園(比木伐採・解体撤去設計委託・施設設計委託・浄化槽清掃委託・解体撤去工事) 10,512,800円 ■緒方中央農村公園(駐車場改修工事) 145,800円	R4計画 6,050		5,000	164	5,886	
				当初予算 12,721			168	7,553
				決算額 22,704			11,021	11,683
	R5	農業施設の維持管理 ・【対象施設】 ・農村環境改善センター ①三重農村環境改善センター(指定管理) ②千歳農村環境改善センター ・農村公園 ①緒方辻河原公園 ②緒方中央農村公園 ③千歳農村公園 ・農林水産物直売所 ①千歳特産物直売所 施設の工事等 ■千歳農村環境改善センター(防犯シャッター等設置工事) 1,292,500円 ■千歳農村公園(機能移転工事) 41,709,800円 ■千歳農村環境改善センター(浄化槽改修工事) 1,288,000円	R5計画 6,050			164	5,886	
				当初予算 66,263			5,168	61,095
				決算額 50,189			5,142	45,047
	R6			R6計画 6,050			164	5,886
			当初予算 5,454				5,454	
			決算額					
R7			R7計画 6,050			164	5,886	
			当初予算					
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 30,250			820	29,430	
			当初予算 90,449	5,000		5,488	79,961	
			決算額 92,226			16,332	75,894	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 農業施設の管理	法定検査等各施設の点検を実施し、施設の安全かつ適正な管理に努める。※浄化槽法定検査×3、浄化槽維持管理×3、遊具点検×1、水質検査×1、消防設備点検×1、自家用電気工作物点検×1	<input type="checkbox"/> 総合戦略	10	件	目標値	10	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	10	10	10		
		% 達成率			100	100	100			
D 1 農業用施設修繕料の抑制	修繕の効果を検証し、適切な予算執行に努め、必要な分のみ修繕を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画	127	千円	目標値	300	300	300	300	300
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2,414	261	54		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	804.7	87	18		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 農業施設の維持管理等を適切に行った。工事においては大分県が実施する大野川護岸工事に伴い、千歳農村公園内施設の建替を行ったことにより利便性が向上した。千歳農村環境改善センターについては、利用状況等を考慮し令和5年度末で条例廃止した。今後も施設毎に利用状況や必要性等を検証する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 農業施設の維持管理等を適切に行った。工事においては大分県が実施する大野川護岸工事に伴い、千歳農村公園内施設の建替を行ったことにより利便性が向上した。千歳農村環境改善センターについては、利用状況等を考慮し令和5年度末で条例廃止した。今後も施設毎に利用状況や必要性等を検証する必要がある。

事業	道の駅等管理運営事業	細事業	道の駅等管理事業	実施計画事業	道の駅等管理事業	終了年度	なし
----	------------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (98)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 道の駅おおの施設整備改修工事請負費 道の駅きよかわ施設整備改修工事請負費 道の駅みえ施設整備改修工事請負費 工事設計監理委託料	当初予算額 19,544 13,234 5,217 3,450
款	6	施策 5 観光の振興				
項	1	施策展開 ③観光拠点の整備・活用				
目	8	後期基本計画 32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	101					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 一般道路の利用者等に対し、良好な休憩の場及び道路情報を提供するとともに、観光等の情報発信や地場産品の販売等を通じ、広域的な交流の促進及び市内の産業振興を図るための拠点として、道の駅を設置するものである。 (道の駅) 道の駅みえ、道の駅きよかわ、道の駅原尻の滝、道の駅あさじ及び道の駅おおの(里の駅) やすらぎ交差点 ※令和2年度に長寿化計画を策定し、その結果に基づいて改修を進めている。 <令和5年度の取組内容(計画)> ○道の駅(5駅) 合同イベントの実施による誘客 ○道の駅みえ、きよかわ、おおのの改修工事 ○必要に応じ適宜修繕	R3	<input type="checkbox"/> 指定管理料の支出 <input type="checkbox"/> 道の駅(5駅) 合同イベントの実施による誘客 <input type="checkbox"/> 道の駅おおのの駐車場改修工事 <input type="checkbox"/> 必要に応じ適宜修繕 <input type="checkbox"/> コロナ禍に対応した指定管理施設緊急運営負担金の支出	R3計画 39,242 当初予算 34,242 決算額 71,678				39,242 34,242 71,648	
	R4	<input type="checkbox"/> 道の駅(5駅) 合同イベントの実施による誘客 <input type="checkbox"/> 道の駅原尻の滝及び道の駅あさじの電気設備等改修 <input type="checkbox"/> 必要に応じ適宜修繕	R4計画 75,889 当初予算 75,889 決算額 82,698	1,000		1,000	75,889 73,889 81,019	
	R5	<input type="checkbox"/> 道の駅(5駅) 合同イベントの実施による誘客 <input type="checkbox"/> 道の駅みえ、おおのの改修工事 <input type="checkbox"/> 必要に応じ適宜修繕	R5計画 50,000 当初予算 54,027 決算額 16,064			36,000	50,000 18,027 16,055	
	R6		R6計画 100,000 当初予算 109,210 決算額			60,000	100,000 49,210	
	R7		R7計画 50,000 当初予算 決算額				50,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 315,131 当初予算 273,368 決算額 170,440	700		1,018	315,131 175,368 168,722

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 道の駅等管理事業	指定管理者数(道の駅・里の駅)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	6	社	目標値	6	6	6	6	6
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	6	6	6		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標 1 レジ客数	道の駅(観光入込客数の1/2)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	65	万人	目標値	70	72	75	78	82.5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	63	62	63		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	90	86.1	84		
2 農産物販売額	道の駅	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	4.3	億円	目標値	4.5	4.6	4.7	4.8	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	4.1	4.2	3.7		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	91.1	91.3	78.7		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	評価項目	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	18点	4点	19点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられたため、徐々に集客状況は改善されてきたが、指定管理者の経営努力もあり少しずつ販売実績は回復傾向にある。市としては、施設長寿化計画に基づく大規模改修を、令和4年度から本格的に開始しているほか、集客力の落ちる冬季に道の駅合同イベントへの補助金を交付するなどして、市民共通の財産であり地域活性化の拠点でもある道の駅の運営を支援してきた。令和6年度も引き続き物価高騰の厳しい経営環境の中での運営となりそうであるが、地域の雇用や農産物出荷者の生活を守るためにも引き続き指定管理者による管理運営を継続していく必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 道の駅の設置者である市として、地域活性化の拠点施設として、引き続き施設の適正な維持・管理を行う必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	畜産業振興事業	細事業	組織育成対策事業	実施計画事業	和牛振興会補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No. (26)	会計 一般	政策 I	豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
款 6	施策 1	農業の振興	期間 年度 ~ 年度				
項 2	施策展開 ③	畜産業を支援する					
目 1	後期基本計画 23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算 102							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 和牛振興会の実施する研修会、振興大会等の経費を含む運営に対し支援し、本市の和牛繁殖農家の飼養技術の向上と生産意欲の高揚を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 令和5年度計画 飼養技術研修会 各共進会参加 等</p>	R3	飼養技術研修会の実施 各種研修会への参加 全共役補牛巡回指導 等	R3計画 570				570
			当初予算 570				570
			決算額 570				570
	R4	飼養技術研修会の実施 各種研修会への参加 各共進会参加 等	R4計画 570				570
			当初予算 570				570
			決算額 570				570
	R5	飼養技術研修会等、各種研修会への参加。 各共進会への参加 等	R5計画 570				570
			当初予算 570				570
			決算額 570				570
	R6		R6計画 570				570
		当初予算 570				570	
		決算額					
R7		R7計画 570				570	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 2,850				2,850
			当初予算 2,280				2,280
			決算額 1,710				1,710

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修会等の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	5	10	12		
					% 達成率	250	500	600		
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	14点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点
			14点 / 25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
今年度も和牛振興大会の開催は見送ったが、飼養技術研修会等、各種研修会への参加、各共進会への参加等の活動は実施した。和牛農家の現状での課題は、後継者不足、高齢化による農家戸数の減少であるが、飼料価格の高騰や子牛価格の下落により、拍車をかけている。後継者に関しては、大規模農家の子弟が就農するものの新規就農者は厳しい状況にある。今後もヘルパー制度の活用や農業大学在校生への働き掛けを行ないながら新規就農者の確保に努めるとともに、和牛振興会の組織強化を通じ個々の農家の経営規模拡大、経営基盤強化を進め後継者の就農を促進する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
今年度も和牛振興大会の開催は見送ったが、飼養技術研修会等、各種研修会への参加、各共進会への参加等の活動は実施した。和牛農家の現状での課題は、後継者不足、高齢化による農家戸数の減少であるが、飼料価格の高騰や子牛価格の下落により、拍車をかけている。後継者に関しては、大規模農家の子弟が就農するものの新規就農者は厳しい状況にある。今後もヘルパー制度の活用や農業大学在校生への働き掛けを行ないながら新規就農者の確保に努めるとともに、和牛振興会の組織強化を通じ個々の農家の経営規模拡大、経営基盤強化を進め後継者の就農を促進する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	畜産業振興事業	細事業	組織育成対策事業	実施計画事業	酪農組合補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		酪農組合補助金	50		
項	2	施策展開	③畜産業を支援する		期間	年度 ~ 年度		
目	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	102							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 酪農組合の実施する研修会等の経費を含む運営に対し支援し、本市の酪農家の飼養技術の向上と生産意欲の高揚を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 令和5年度計画 飼養技術研修会 等</p>	R3	飼養技術研修会の実施	R3計画	50				50
			当初予算	50				50
			決算額	50				50
	R4	飼養技術研修会の実施	R4計画	50				50
			当初予算	50				50
			決算額	50				50
	R5	飼養技術研修会	R5計画	50				50
			当初予算	50				50
			決算額					
	R6		R6計画	50				50
			当初予算					
			決算額					
	R7		R7計画	50				50
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	250			250	
			当初予算	150			150	
			決算額	100			100	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修会等の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	12点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点
			12点 / 25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>飼養技術研修会を実施した。本市の酪農業最大の課題は農家戸数の減少であり、現在の酪農家は1戸となった。酪農家の支援を継続していかねばならないが、組合のかたちをなさなくなったため補助金の申請は辞退された。現状から今後酪農家の増加が見込めないことから酪農組合補助事業は廃止が妥当と思われる。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>飼養技術研修会を実施した。本市の酪農業最大の課題は農家戸数の減少であり、現在の酪農家は1戸となった。酪農家の支援を継続していかねばならないが、組合のかたちをなさなくなったため補助金の申請は辞退された。現状から今後酪農家の増加が見込めないことから酪農組合補助事業は廃止が妥当と思われる。</p>
--	---

事業	畜産業振興事業	細事業	各共進会对策事業	実施計画事業	各共進会对策事業	終了年度	なし
----	---------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (26)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興	期間 年度 ~ 年度				
項	2	施策展開 ③畜産業を支援する					
目	1	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	102						
		令和5年度 主な歳出名称		共進会出品補助金		2,576	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市・県共進会に牛を出品する経費に対し支援し、出品農家の負担軽減と共進会参加に対する意識の高揚を図ることを目的とする</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 市・県共進会に出品</p>	R3	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため肉用牛の部、乳牛の部は中止、肉牛の部のみ開催され4頭出品した。	R3計画 3,085				3,085
			当初予算 3,085				3,085
			決算額 91				91
	R4	全共へ1頭、県共へ7頭出品。全共では優等賞7席。県共では2頭が最優秀賞主席となった。	R4計画 3,085				3,085
			当初予算 5,535				5,535
			決算額 2,689				2,689
	R5	市共進会へは45頭の出品があり、県共進会へ8頭(肉牛1頭、肉用牛7頭)出品した。県共進会では肉用牛の部で最優秀賞第2席と第3席を受賞した。	R5計画 3,085				3,085
			当初予算 2,576				2,576
			決算額 2,245				2,245
			R6計画 3,085				3,085
		当初予算 2,506				2,506	
		決算額					
		R7計画 3,085				3,085	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 15,425				15,425
			当初予算 13,702				13,702
			決算額 5,025				5,025

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画		4	頭	目標値	4	24	24	24	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	4	7	8		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率	100	29.2	33.3	
2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値						
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値						
	<input type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	14点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	／25点	3点
			14点
			／25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>県共進会へ肉牛の部に1頭、肉用牛の部に7頭出品した。肉用牛の部で最優秀賞第2席と第3席を受賞し優秀な成績を収めることができた。共進会は農家の和牛改良推進と生産意欲向上に欠かせないものであるため、今後とも支援を行う。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>県共進会へ肉牛の部に1頭、肉用牛の部に7頭出品した。肉用牛の部で最優秀賞第2席と第3席を受賞し優秀な成績を収めることができた。共進会は農家の和牛改良推進と生産意欲向上に欠かせないものであるため、今後とも支援を行う。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	畜産業振興事業	細事業	畜産業振興事務費	実施計画事業	畜産業振興事務事業	終了年度	なし
----	---------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (26)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度			畜産センター運営負担金	1,000
項	2	施策展開	③畜産業を支援する		期間	年度 ~ 年度			燃料費	315
目	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		期間	年度 ~ 年度			通信運搬費	172
決算	102								普通旅費	164

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 畜産センターの運営や和牛検査場の管理を行うことにより、円滑な畜産業振興を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 令和5年度計画 畜産センター運営負担金 1,000千円 和牛検査場管理委託料 132千円 等</p>	R3	畜産センター運営負担金 702千円 燃料費 262千円 等	R3計画 2,330				2,330
			当初予算 2,330				2,330
			決算額 2,113				2,113
	R4	畜産センター運営負担金 665千円 燃料費 268千円 等	R4計画 2,330				2,330
			当初予算 2,630				2,630
			決算額 1,472				1,472
	R5	畜産センター運営負担金 645千円 燃料費 231千円 等	R5計画 2,330				2,330
			当初予算 2,246				2,246
			決算額 1,555				1,555
	R6		R6計画 2,330				2,330
		当初予算 25,828				25,828	
		決算額					
R7		R7計画 2,330				2,330	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 11,650				11,650
			当初予算 33,034				33,034
			決算額 5,140				5,140

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	10点	3点	10点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 畜産振興に係る事務的予算であるが、今後とも事務事業を精査し費用対効果が得られる効率的な事務の執行を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 畜産振興に係る事務的予算であるが、今後とも事務事業を精査し費用対効果が得られる効率的な事務の執行を行う。
---	--

事業	乳・肉用牛改良促進事業	細事業	種雄牛造成推進事業	実施計画事業	種雄牛造成推進事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (26)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称 種雄牛造成推進事業補助金	当初予算額 150
款	6	施策 1 農業の振興				
項	2	施策展開 ③畜産業を支援する				
目	1	後期基本計画 23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	104					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 肉用牛改良組合が認定する指定牛に指定交配を行うに当たり、指定交配種付け助成を行うことにより、種雄牛造成の推進と畜産農家の和牛改良意識の高揚を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 肉用牛改良組合が認定する指定牛に指定交配を行うに当たり、1頭30千円の指定交配種付け助成を行う。 令和5年度計画 助成頭数5頭</p>	R3	対象牛がおらず実績は0頭です。	R3計画 150				150
			当初予算 150				150
			決算額				
	R4	対象牛がおらず実績は0頭です。	R4計画 150				150
			当初予算 150				150
			決算額				
	R5	対象牛がなく実績0頭。	R5計画 150				150
			当初予算 150				150
			決算額				
			R6	R6計画 150			
		当初予算 150				150	
		決算額					
		R7	R7計画 150				150
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 750				750
			当初予算 600				600
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
				%	達成率					
2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
			%	達成率						
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画			頭	5	5	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1点	10点	10点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1点	1点	1点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 R5は対象牛がいなかったが、必要な事業であるため継続したい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 R5は対象牛がいなかったが、必要な事業であるため継続したい。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	乳・肉用牛改良促進事業	細事業	優良雌牛確保対策事業	実施計画事業	優良雌牛確保対策事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	------------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度			優良雌牛確保対策事業補助金	13,500
項	2	施策展開	③畜産業を支援する							
目	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	104									

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 和牛繁殖農家の雌牛導入及び自家保留に対し支援することにより、飼養頭数の維持、増頭を目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ①指定牛及び高育種価牛の導入及び自家保留に対し1頭あたり100千円を助成 ②①以外の導入及び自家保留に対し1頭あたり50千円を助成 令和5年度計画 ①90頭 ②90頭</p>	R3	①系統牛、指定牛及び高育種価牛の導入及び自家保留に対し1頭あたり100千円を助成 ②①以外の導入及び自家保留に対し1頭あたり50千円を助成 令和3年度実績 ①86頭 ②52頭	R3計画 10,000 当初予算 10,000 決算額 11,200				10,000	
	R4	①系統牛、指定牛及び高育種価牛の導入及び自家保留に対し1頭あたり100千円を助成 ②①以外の導入及び自家保留に対し1頭あたり50千円を助成 令和4年度実績 ①58頭 ②50頭	R4計画 10,000 当初予算 10,000 決算額 8,300				10,000	
	R5	①系統牛、指定牛及び高育種価牛の導入及び自家保留に対し1頭あたり100千円を助成 ②①以外の導入及び自家保留に対し1頭あたり50千円を助成 令和5年度実績 ①74頭 ②23頭	R5計画 10,000 当初予算 13,500 決算額 8,550				10,000	
	R6		R6計画 10,000 当初予算 13,500 決算額				10,000	
	R7		R7計画 10,000 当初予算 決算額				10,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 50,000 当初予算 47,000 決算額 28,050				50,000

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画	103	頭	目標値	150	150	150	150	150
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	138	108	97		
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	92	72	64.7		
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	14点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
農家は高育種価牛の導入保留に努めたが計画頭数には届かなかった。この事業は県の増頭事業の補完事業として実施しており、一戸あたりの平均飼養頭数の増加に大きく影響している事業であると認識しているため、今後も継続していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農家は高育種価牛の導入保留に努めたが計画頭数には届かなかった。この事業は県の増頭事業の補完事業として実施しており、一戸あたりの平均飼養頭数の増加に大きく影響している事業であると認識しているため、今後も継続していきたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	乳・肉用牛改良促進事業	細事業	優良乳用牛導入事業	実施計画事業	優良乳用牛導入事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (26)		政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額			
会計	一般	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度			優良乳用牛導入事業補助金	1,200	
款	6	施策展開	③畜産業を支援する								
項	2										
目	1	後期基本計画	23 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当		
決算	104										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 高能力な初任牛を県外から購入し個々の経営内の改良増殖に対し支援し、経営の安定強化を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 導入金額が600千円以上のものに対し、購入価格の30%以内で助成する。助成上限1頭あたり300千円 令和5年度計画4頭</p>	R3	R3導入実績無し。	R3計画	1,350				1,350
			当初予算	1,350				1,350
			決算額					
	R4	R4導入実績無し。	R4計画	1,350				1,350
			当初予算	1,200				1,200
			決算額					
	R5	R5導入実績無し	R5計画	1,350				1,350
			当初予算	1,200				1,200
			決算額					
	R6		R6計画	1,350				1,350
			当初予算	600				600
			決算額					
	R7		R7計画	1,350				1,350
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	6,750				6,750
			当初予算	4,350				4,350
			決算額					

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
				%	達成率					
2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
			%	達成率						
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画		2	頭	目標値	5	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
	<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	10点	3点	10点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		2点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
R5は導入実績がありませんでしたが、戸数の減少が著しい酪農家を支える重要な事業として、今後も継続していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
R5は導入実績がありませんでしたが、戸数の減少が著しい酪農家を支える重要な事業として、今後も継続していきたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	畜産経営基盤強化事業	実施計画事業	畜産経営基盤強化事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (26)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間	畜産経営基盤強化事業補助金	17,150
款	6	年度		
項	2	年度		
目	1	年度		
決算	105	年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 国及び県の補助事業に該当するものを除き、畜産農家又は営農集団に、施設の新築、改造及び増築、家畜排せつ物処理施設の設置及び機械導入並びに飼料生産用機械導入に要する経費を支援し、畜産農家の経営基盤強化を目的とする。</p> <p><令和5年度取組内容(計画)> 事業費の1/2を補助、補助上限700千円 令和5年度計画 施設整備14件 機械整備17件</p>	R3	施設整備10件 機械整備11件	R3計画 14,415 当初予算 14,415 決算額 10,232				14,415 14,415 10,232	
	R4	施設整備9件 機械整備9件	R4計画 15,000 当初予算 15,765 決算額 9,852				15,000 15,765 9,852	
	R5	施設整備12件 機械整備12件	R5計画 15,000 当初予算 17,150 決算額 13,135				15,000 17,150 13,135	
	R6		R6計画 15,000 当初予算 14,000 決算額				15,000 14,000	
	R7		R7計画 15,000 当初予算 決算額				15,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 74,415 当初予算 61,330 決算額 33,219				74,415 61,330 33,219

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画	23	件	目標値	28	30	30	30	30
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	21	18	24		
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	75	60	80		
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	15点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
本事業は、国県補助事業に該当しないものを補完する事業であり、国県補助事業の要件である大規模農家に該当しない中小規模農家の多い本市で、中小規模農家の経営改善に大きく寄与するものです。今後とも継続して事業を行い農家を支援していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本事業は、国県補助事業に該当しないものを補完する事業であり、国県補助事業の要件である大規模農家に該当しない中小規模農家の多い本市で、中小規模農家の経営改善に大きく寄与するものです。今後とも継続して事業を行い農家を支援していきたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	乳用牛保留事業	実施計画事業	乳用牛保留事業	終了年度	なし
----	------------	-----	---------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度		
項	2	施策展開	③畜産業を支援する					
目	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	105							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 乳牛飼養農家で生産された乳用牛を自家保留し、育成牛として飼養管理に要する経費の一部を支援し、経営の安定化を図ることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 自家保留1頭につき50千円助成 令和5年度計画15頭</p>	R3	自家保留1頭につき50千円助成 令和3年度実績9頭	R3計画 750 当初予算 750 決算額 526	138			750 750 388	
	R4	自家保留1頭につき50千円助成 令和4年度実績15頭	R4計画 500 当初予算 500 決算額 750				500 500 750	
	R5	自家保留1頭につき50千円助成 令和5年度実績3頭	R5計画 500 当初予算 750 決算額 150				500 750 150	
	R6		R6計画 500 当初予算 250 決算額				500 250	
	R7		R7計画 500 当初予算 決算額				500	
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,750 当初予算 2,250 決算額 1,426	138			2,750 2,250 1,288

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画		7	頭	目標値 15	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値 9	15	3			
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率 60	150	30			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点	12点	—点 12点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	／25点	3点 ／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
本事業は農家戸数の減少著しい酪農家を支える重要な事業と位置づけている。事業規模は小さいが、今後も継続していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本事業は農家戸数の減少著しい酪農家を支える重要な事業と位置づけている。事業規模は小さいが、今後も継続していきたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	肉用牛大規模経営体育成事業	実施計画事業	肉用牛大規模経営体育成事業	終了年度	R3
----	------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		期間 年度 ~ 年度	
項	2	施策展開	③畜産業を支援する		期間 年度 ~ 年度	
目	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	105					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> <令和5年度の取組内容(計画)>	R3	畜舎修繕1件	R3計画 3,500				3,500
			当初予算 3,500	2,333			1,167
			決算額 2,807	1,870			937
	R4		R4計画 3,500				3,500
			当初予算				
			決算額				
	R5	事業実績なし	R5計画 3,500				3,500
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 3,500				3,500
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 3,500				3,500
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 17,500				17,500
			当初予算 3,500	2,333			1,167
			決算額 2,807	1,870			937

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画		件	目標値	2	2	2	2	2	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1					
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	50				
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点		2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	10点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	25点	2点
			10点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 本事業は県単事業であり、補助要件が大規模経営体のため、大規模経営体の少ない本市では事業要望のあった年のみの取り組みとなるが、大規模経営体を支える事業として、今後も取組んでいきたい。
 令和6年度から事業名が肉用牛生産施設整備事業に変更。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 本事業は県単事業であり、補助要件が大規模経営体のため、大規模経営体の少ない本市では事業要望のあった年のみの取り組みとなるが、大規模経営体を支える事業として、今後も取組んでいきたい。

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	肉用牛生産基盤拡大緊急支援事業	実施計画事業	繁殖雌牛安定生産対策事業	終了年度	なし
----	------------	-----	-----------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (22)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度 ~ 年度		
項	2	施策展開	③畜産業を支援する					
目	1	後期基本計画	23 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	105							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 繁殖雌牛の増頭を行う際の経費の一部を支援し、「おおいた豊後牛」のうち、より高品質な牛肉である「おおいた和牛」の生産基盤を強化することを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 繁殖雌牛の増頭1頭あたり105千円補助 令和5年度計画90頭</p>	R3	繁殖雌牛の増頭1頭あたり105千円補助 令和3年度実績56頭	R3計画 6,300	3,150			3,150
			当初予算	6,300	3,150		3,150
			決算額	5,880	2,940		2,940
	R4	繁殖雌牛の増頭1頭あたり105千円補助 令和4年度実績47頭	R4計画 6,300	3,150			3,150
			当初予算	6,300	3,150		3,150
			決算額	4,935	2,467		2,468
	R5	繁殖雌牛の増頭1頭あたり105千円補助 令和5年度実績55頭	R5計画 6,300	3,150			3,150
			当初予算	9,450	4,725		4,725
			決算額	5,775	2,887		2,888
	R6		R6計画 6,300	3,150			3,150
			当初予算	9,450	4,725		4,725
			決算額				
	R7		R7計画 6,300	3,150			3,150
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 31,500	15,750		15,750	
			当初予算 31,500	15,750		15,750	
			決算額 16,590	8,294		8,296	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画	68	頭	目標値	60	60	60	60	60
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	56	47	55		
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	93.3	78.3	91.7	
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	16点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	／25点	4点
			16点
			／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
本事業は県単の増頭事業であり、補助要件に高育種価要件があり、市内農家の高育種価牛の導入推進に好影響を与えているため、今後も継続していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本事業は県単の増頭事業であり、補助要件に高育種価要件があり、市内農家の高育種価牛の導入推進に好影響を与えているため、今後も継続していきたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	酪農支援対策設備整備事業	実施計画事業	酪農支援対策設備整備事業	終了年度	R3
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (21)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間		
款	6	年度		
項	2	年度		
目	1	年度		
決算	105	年度		
政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち			
施策	1 農業の振興			
施策展開	③畜産業を支援する			
後期基本計画	23 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> <令和5年度の取組内容(計画)>	R3	事業実績無し。	R3計画 600	400			200
			当初予算 600	400			200
			決算額				
	R4		R4計画 600	400			200
			当初予算				
			決算額				
	R5	事業実績なし	R5計画 600	400			200
			当初予算				
			決算額				
	R6		R6計画 600	400			200
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 600	400			200
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,000	2,000		1,000	
			当初予算 600	400		200	
			決算額				

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 事業量	<input type="checkbox"/> 総合計画			戸	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	10点	3点	10点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		2点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点		2点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 本事業は県単事業の酪農省力化対策及び牛舎暑熱対策等の事業である。市内の酪農農家が1戸となったことから、要望をしっかりと把握し推進したい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 本事業は県単事業の酪農省力化対策及び牛舎暑熱対策等の事業である。市内の酪農農家が1戸となったことから、要望をしっかりと把握し推進したい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農道維持管理事業	細事業	農道維持管理事業	実施計画事業	農道維持管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (41)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興	期間 年度 ~ 年度				
項	3	施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する					
目	1	後期基本計画 24 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	106						

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等				
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 農道の適正な維持管理により、農耕車両及び一般通行車両等通行者が安全に通行できる状態を確保する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・農道除草作業委託 (1路線 延長L=1,440m) ・農道維持補修工事 3件 ・農業水利施設管理道路管理委託</p>	R3	・農道除草作業委託 (1路線 延長L=1,440m) ・農道維持補修工事 ・農業水利施設管理道路管理委託	R3計画 6,334			1,076	5,258
			当初予算 6,334			1,076	5,258
			決算額 5,332			1,017	4,315
	R4	・農道除草作業委託 (1路線 延長L=1,440m) ・農道維持補修工事 ・農業水利施設管理道路管理委託	R4計画 6,334			1,076	5,258
			当初予算 7,801			2,062	5,739
			決算額 5,841			1,985	3,856
	R5	・農道除草作業委託 (1路線 延長L=1,440m) ・農道維持補修工事 3件 ・農業水利施設管理道路管理委託	R5計画 6,334			1,076	5,258
			当初予算 6,945			2,145	4,800
			決算額 6,612			2,192	4,420
	R6		R6計画 6,151			1,676	4,475
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 6,334			1,076	5,258
			当初予算				
			決算額				
R3 ~ R7 合計			計画額 31,487			5,980	25,507
			当初予算 21,080			5,283	15,797
			決算額 17,785			5,194	12,591

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 農道維持管理事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6,334	千円	目標値	6,334	6,334	6,334	6,334	6,334
						実績値	5,332	5,841	6,612		
						% 達成率	84.2	92.2	104.4		
D 成果指標	1 農道維持管理事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6,334	千円	目標値	6,334	6,334	6,334	6,334	6,334
						実績値	5,332	5,841			
						% 達成率	84.2	92.2			

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
遠隔地の市管理農道における土砂撤去、除雪、溶解剤散布等の維持管理及び農道施設の点検等対応。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
今後も農道施設管理に必要であると思われる。また交付税措置がされる市道移管についても検討が必要であると推察される。

事業	農道維持管理事業	細事業	原材料支給事業	実施計画事業	原材料支給事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.→ (41)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間	原材料費(地元申請支給分)	16,000
款	6	年度		
項	3	年度		
目	1	年度		
決算	106	年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を図ります。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 原材料支給 農業用施設に対する原材料支給 (2戸以上の共同で施行されるもの) 40地区×400千円</p>	R3	原材料支給 農業用施設に対する原材料支給 (2戸以上の共同で施行されるもの) 38件	R3計画 18,000 当初予算 18,000 決算額 12,785	18,000	17,100	900	900	
	R4	原材料支給 農業用施設に対する原材料支給 (2戸以上の共同で施行されるもの) 39地区実施	R4計画 18,000 当初予算 18,000 決算額 13,128	18,000	17,100	900	128	
	R5	■原材料支給 農業用施設に対する原材料支給 (2戸以上の共同で施行されるもの) 実績値=28地区	R5計画 18,000 当初予算 16,000 決算額 9,308	18,000	17,100	900	800	
	R6		R6計画 16,000 当初予算 16,000 決算額		15,200	800		
	R7		R7計画 18,000 当初予算 決算額		17,100	900		
	R3 ~ R7 合計			計画額 88,000 当初予算 68,000 決算額 35,221	83,600	4,400	3,400	821

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 原材料費	総事業費	18,000	千円	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
					実績値	12,785	13,128	9,308		
					%	達成率	71	72.9	51.7	
D 成果指標	1 原材料費	総事業費	18,000	千円	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
					実績値	12,785	13,128			
					%	達成率	71	72.9		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
近年、自治区の高齢化等により申請件数が減少傾向にある。今後も住民に事業内容を広く周知し予算の範囲内において原材料を支給することにより、農業用施設の適正な維持管理及び施設整備を図る。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
近年、申請件数は減少しているが各自治区からの事業要望も強く今後も継続して事業を行う必要がある。また、資材高騰などで今後、要綱等の改定を検討する必要がある。

事業	農業農村整備事業	細事業	市営土地改良事業	実施計画事業	農業基盤整備促進事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (41)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興			期間 年度 ~ 年度	農業基盤整備促進事業工事請負費	48,200
項	3	施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する				農業基盤整備促進事業計画書作成業務委託料	7,800
目	1	後期基本計画 24 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	107						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 水路改修(牧原) L=120m 揚水機改修(長峰・原田) n=2箇所 表面被覆(緒方井路) n=2箇所</p>	R3	・農業体質強化基盤整備事業 ・農地耕作条件改善事業 農用施設の更新・改修 1.0式	R3計画 33,000	22,770	2,460	7,770	
			当初予算 33,000	22,770	2,460	7,770	
			決算額 43,710	29,946	2,882	10,882	
	R4	水門改修(牧原・羽飛) n=2箇所 農道・水路改修(柴山) n=1箇所 地域ストマネ調査委託 L=20km	R4計画 51,500	34,500	9,800	2,800	
			当初予算 63,780	47,270	4,200	12,310	
			決算額 69,391	52,175	2,766	14,450	
	R5	○(繰) 基盤整備促進事業(9期) 水路改修L=379m・取水施設N=5箇所 ○(繰) 農地耕作条件改善事業(柴山) 水路改修L=184m・暗渠L=280m・舗装L=224m ○基盤整備促進事業(10期) 水路改修L=11m・取水施設N=5箇所 ○農地耕作条件(馬背畑)・水路改修L=116m ○地域水利保全対策(豊後大野)・水路改修L=231m	R5計画 51,500	34,500	9,800	2,800	
			当初予算 42,000	28,980	4,200	8,820	
			決算額 60,940	38,295	4,893	17,752	
	R6		R6計画 51,500	34,500	5,150	11,850	
		当初予算 42,000	28,980	4,200	8,820		
		決算額					
R7		R7計画 51,500	34,500	9,800	2,800		
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 239,000	160,770	29,400	20,810	28,020
			当初予算 180,780	128,000	15,060	37,720	
			決算額 174,041	120,416	10,541	43,084	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 農業基盤整備促進事業費	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53,229	千円	目標値	33,000	51,500	51,500	51,500	51,500
						実績値	43,710	69,391	60,940		
						% 達成率	132.5	134.7	118.3		
D 成果指標	1 農業基盤整備促進事業費	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53,229	千円	目標値	33,000	51,500	51,500	51,500	51,500
						実績値	43,710	69,391	60,940		
						% 達成率	132.5	134.7	118.3		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	20点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
		15点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
○課題 土地改良施設は老朽化により更新時期を迎えているが、更新事業とその分担金が大きな課題となっている。	土地改良施設の更新事業は、国・県の補助金を活用し施設管理者負担の軽減が図られた。
○対策 国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。	今後も、有利な補助事業を活用し更新事業における各施設管理者の軽減を図る。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農業農村整備事業	細事業	市営土地改良事業	実施計画事業	経営体育成土地利用調整推進事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系No.→ (41)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称 経営体育成土地利用調整推進事業 委託料(宇田枝・上田原)	当初予算額 2,100
款	6	施策 1 農業の振興					
項	3	施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する					
目	1	後期基本計画 24 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	107						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を目的とする。あわせて中心経営体への農地集積率に応じて事業費負担を助成する農地集積促進事業への取組を推進します。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・大分県農業経営高度化支援事業 土地利用調査調整事業費 宇田枝・上田原 農地集積図作成委託 1.0式 推進協議会業務委託 1.0式</p>	R3	・大分県農業経営高度化支援事業 土地利用調査調整事業費 【宇田枝地区】 農地集積図作成委託 1.0式 推進協議会業務委託 1.0式	R3計画 1,150	920			230
			当初予算 1,150	920			230
			決算額 1,045	800			245
	R4	・大分県農業経営高度化支援事業 土地利用調査調整事業費 宇田枝・上田原・保全合理化(豊後大野) 農地集積図作成委託 1.0式 推進協議会業務委託 1.0式	R4計画 1,150	920			230
			当初予算 3,100	2,480			620
			決算額 3,091	2,400			691
	R5	・大分県農業経営高度化支援事業 土地利用調査調整事業費 宇田枝・上田原 農地集積図作成委託 1.0式 推進協議会業務委託 1.0式	R5計画 2,300	1,840			460
			当初予算 2,100	1,680			420
			決算額 2,072	1,600			472
	R6		R6計画 2,300	1,840			460
		当初予算 2,100	1,680			420	
		決算額					
R7		R7計画 2,300	1,840			460	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 9,200	7,360			1,840
			当初予算 8,450	6,760			1,690
			決算額 6,208	4,800			1,408

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 経営体育成土地利用調整推進事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,100	千円	目標値	1,150	1,150	2,300	2,300	2,300
						実績値	1,045	3,091	2,072		
						% 達成率	90.9	268.8	90.1		
D 成果指標	1 経営体育成土地利用調整推進事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,100	千円	目標値	1,150	1,150	2,300	2,300	2,300
						実績値	1,045	3,091			
						% 達成率	90.9	268.8			
E 評価対象外の理由	0 評価対象	(対象外事業はF~I欄未記入可)									

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)			
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	4点	17点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点				3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点				4点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点				3点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点				3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>・大分県農業経営高度化支援事業(土地利用調査調整事業費:宇田枝・上田原地区)は集積率アップのため必要であり、推進協議会委託については農地集積促進に欠かせない事業である。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>・大分県農業経営高度化支援事業は農地集積率アップのため必要な事業である。今後は、これまで以上に農地集積を加速させる必要あると考える。</p>
--	---

事業	農業農村整備事業	細事業	土地改良区育成事業	実施計画事業	土地改良区運営補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (45)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	6	施策	1 農業の振興		期間	年度	年度			土地改良区運営補助金	11,585
項	3	施策展開	⑥農業生産基盤を整備する		期間	年度	年度				
目	1	後期基本計画	24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当								
決算	107										

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市が補助金を交付することにより、土地改良区は土地改良財産を適正に維持管理し、各農家の農業生産性の維持向上につなげ、農業所得・経営の安定を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 豊後大野市土地改良推進協議会に加入している、若しくは市内に事務所を有し、恒常的に職員を雇用する土地改良区に対し運営補助金を交付する。 ・交付申請 ・交付決定書送付 ・概算払 ・実績報告 ・精算</p>	R3	豊後大野市土地改良推進協議会に加入している、若しくは市内に事務所を有し、恒常的に職員を雇用する13土地改良区に対し運営補助金を合計で11,831,000円交付した。	R3計画 11,831				11,831	
				当初予算 11,831				11,831
				決算額 11,831				11,831
	R4	豊後大野市土地改良推進協議会に加入している、若しくは市内に事務所を有し、恒常的に職員を雇用する13土地改良区に対し運営補助金を合計で11,708,000円交付した。	R4計画 11,708				11,708	
				当初予算 11,708				11,708
				決算額 11,708				11,708
	R5	豊後大野市土地改良推進協議会に加入している、若しくは市内に事務所を有し、恒常的に職員を雇用する13土地改良区に対し運営補助金を合計で11,585,000円交付した。	R5計画 11,585				11,585	
				当初予算 11,585				11,585
				決算額 11,585				11,585
	R6		R6計画 11,462				11,462	
			当初予算 11,462				11,462	
			決算額					
R7		R7計画 11,462				11,462		
			当初予算					
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 58,048				58,048	
			当初予算 46,586				46,586	
			決算額 35,124				35,124	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付金額	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	11,954	千円	目標値	11,831	11,708	11,585	11,462	11,462
					実績値	11,831	11,708	11,585		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	件	目標値	13	13	13	13	13
					実績値	13	13	13		
					% 達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		21点	21点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 土地改良区は、市の基幹産業である農業の振興に必要不可欠な土地改良施設を適正に維持管理しており、今後も継続的に事業実施していく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 当分の間、現状維持で事業継続する。
---	---

事業	農業農村整備事業	細事業	土地改良区育成事業	実施計画事業	土地改良区事業補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (45)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興	期間 年度 ~ 年度				
項	3	施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する					
目	1	後期基本計画 24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>					
決算	107						
						土地改良区事業補助金	1,202
						土地改良区事業補助金(小水力発電)	98,400

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的></p> <ul style="list-style-type: none"> 土地改良施設維持管理適正化事業を実施する土地改良区等に対し、市が補助を行うことにより、土地改良施設の機能を保持し、耐用年数を確保する。 施設の老朽化や組合員の高齢化、減少などで苦慮する土地改良区が行う小水力発電施設整備事業に対し、補助を行うことで、土地改良区の負担軽減を図る。 <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <ul style="list-style-type: none"> 緒方井路土地改良区及び長谷緒土地改良区が実施する土地改良施設維持管理適正化事業に対し補助金を交付する。 朝地町土地改良区が実施する小水力発電施設整備事業に対し負担率に応じた補助金を交付する。 新規事業要望の有無の確認 交付申請 交付決定書送付 実績報告 検査 請求後支払 	R3	・緒方井路土地改良区が実施する井上・野尻幹線水路と野間用排水路における土地改良施設維持管理適正化事業に対し負担率に応じた補助金を交付した。	R3計画 237				237	
				当初予算 237				237
				決算額 237				237
	R4	・緒方井路土地改良区が実施する井上・野尻幹線水路と野間用排水路における土地改良施設維持管理適正化事業に対し負担率に応じた補助金を交付した。	R4計画 582					582
				当初予算 1,481				1,481
				決算額 1,473				1,473
	R5	・緒方井路土地改良区及び長谷緒土地改良区が実施した土地改良施設維持管理適正化事業に対し補助金1,199,924円を交付した。	R5計画 318					318
				当初予算 111,187	82,800			28,387
				決算額 8,068	5,401	189		2,478
	R6	・朝地町土地改良区が実施した小水力発電施設整備事業に対し補助金2,230,400円を交付した。	R6計画 318					318
			当初予算 28,798	23,192			5,606	
			決算額					
R7	・野津土地改良区が実施した突発事故復旧事業に対し補助金4,638,000円を交付した。	R7計画 318					318	
			当初予算					
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 1,773				1,773	
			当初予算 141,703	105,992			35,711	
			決算額 9,778	5,401	189		4,188	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付金額	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	309	千円	目標値	237	582	318	318	318
					実績値	237	1,473	8,068		
					% 達成率	100	253.1	2,537.1		
D 成果指標	1 交付事業件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	件	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	4	6		
					% 達成率	100	200	300		
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点	2点	2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
		14点	14点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
土地改良事業を実施する土地改良区に対し、負担割合に応じた補助金を交付することは、農業生産基盤を維持していくために、今後も必要である。	土地改良区が所有する施設の維持管理には必要な事業である。今後も積極的に取り組む。

事業	農業農村整備事業	細事業	県営等土地改良事業	実施計画事業	県営等土地改良事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (41)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策 1 農業の振興					
項	3	施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する					
目	1	後期基本計画 24 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	107						

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等					
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を図ります。あわせて中心経営体への農地集積率に応じて事業費負担を助成する農地集積促進事業への取組を推進します。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 県営中山間地域総合整備事業負担金 豊後大野東部地区 豊後大野西部2期地区 豊後大野地区 県営経営体育成基盤整備事業負担金 宇田枝・上田原地区 県営ため池等整備事業負担金 白水ため池 県営農業水利施設保全合理化事業負担金 事業実施 9地区</p>	R3	県営中山間地域総合整備事業 県営経営体育成基盤整備事業 県営ため池等整備事業 県営農業水利施設保全合理化事業	R3計画	114,996	43,500	31,212	40,284	
			当初予算	114,996	43,500	31,212	40,284	
			決算額	135,430	47,000	38,774	49,656	
		R4	県営中山間地域総合整備事業負担金 豊後大野東部地区 豊後大野西部2期地区 県営経営体育成基盤整備事業負担金 宇田枝地区 県営ため池等整備事業負担金 白水ため池 県営農業水利施設保全合理化事業負担金 事業実施 11地区	R4計画	173,466	95,285	73,166	5,015
			当初予算	124,641	62,900	25,630	36,111	
			決算額	126,749	62,900	30,794	33,055	
		R5	県営中山間地域総合整備事業負担金 豊後大野東部地区 豊後大野西部2期地区 県営経営体育成基盤整備事業負担金 宇田枝・上田原地区 県営ため池等整備事業負担金 白水ため池 県営農業水利施設保全合理化事業負担金 事業実施 11地区	R5計画	111,791	57,702	51,052	3,037
			当初予算	159,109	87,600	45,838	25,671	
			決算額	159,532	88,200	41,813	29,519	
		R6		R6計画	124,170	62,730	58,138	3,302
			当初予算	219,005	130,900	60,427	27,678	
			決算額					
		R7		R7計画	136,400	67,687	65,150	3,563
			当初予算					
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	660,823	326,904	278,718	55,201	
			当初予算	617,751	324,900	163,107	129,744	
			決算額	421,711	198,100	111,381	112,230	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 県営事業負担金 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	75,248	千円	目標値	114,996	173,466	111,791	124,170	136,400
					実績値	135,430	126,749	159,532		
					% 達成率	117.8	73.1	142.7		
D 成果指標	1 県営事業負担金 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	75,248	千円	目標値	114,996	173,466	111,791	124,170	136,400
					実績値	135,430	126,749	159,532		
					% 達成率	117.8	73.1	142.7		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		20点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
土地改良施設は老朽化により更新時期を迎えているが、更新事業とその分担金が必要な課題となっている。国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
土地改良施設の更新事業は、国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。さらに土地改良区等の安定経営に寄与するため今後も財政状況を鑑みながら事業推進を図っていく。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	農業農村整備事業	細事業	多面的機能支払交付金事業	実施計画事業	多面的機能支払交付金事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (46)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 生物多様性ふんごおの戦略 期間 R4 年度 ~ R9 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	6	施策 1 農業の振興	多面的機能支払交付金					104,000
項	3	施策展開 ⑦地域資源を活かした農村づくり	時間外・休日勤務手当					280
目	1	後期基本計画 24 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	消耗品費					220
決算	107		水土里情報システム利用負担金					140

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	B 事業計画額・決算額等					
			事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 農業や農村が持つ多面的な機能の維持や、機能の発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する。	R3	・活動組織に対し交付金支出 ・全組織を対象とした事務説明会を開催 ・組織からの相談を受け付け、助言及び指導を実施 ・活動報告書の審査受領 ・事業拡大のための広報活動 ・新規実施希望地区に対する事業の説明 ・現地調査	R3計画	111,460	83,810		27,650	
			当初予算	111,460	83,810		27,650	
			決算額	106,409	79,936		54	26,419
	R4	・活動組織に対し交付金支出 ・全組織を対象とした事務説明会を開催 ・組織からの相談を受け付け、助言及び指導を実施 ・活動報告書の審査受領 ・事業拡大のための広報活動 ・中山間地域に取組中の集落協定への多面説明会の開催 ・新規実施希望地区に対する事業の説明 ・現地調査	R4計画	100,762	75,786		24,976	
			当初予算	100,106	75,356		24,750	
			決算額	97,639	73,355		107	24,177
	R5	・活動組織に対し交付金支出 ・全組織を対象とした事務説明会を開催 ・組織からの相談を受け付け、助言及び指導を実施 ・活動報告書の審査受領 ・事業拡大のための広報活動 ・中山間地域に取組中の集落協定への多面説明会の開催 ・新規実施希望地区に対する事業の説明 ・現地調査	R5計画	103,860	78,110		25,750	
			当初予算	104,760	78,760		26,000	
			決算額	100,141	75,185		18	24,938
	R6			R6計画	106,860	80,360		26,500
				当初予算	109,464	82,339		27,125
				決算額				
	R7			R7計画	109,860	82,610		27,250
				当初予算				
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	532,802	400,676		132,126	
			当初予算	425,790	320,265		105,525	
			決算額	304,189	228,476	179	75,534	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 交付金額	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	106,287	千円	目標値	110,600	99,902	103,000	106,000	109,000
					実績値	105,648	97,639	99,420		
					% 達成率	95.5	97.7	96.5		
D 成果指標	1 取組面積	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	2,055	ha	目標値	2,101	1,934	1,994	2,052	2,110
					実績値	2,056	1,804	1,888		
					% 達成率	97.9	93.3	94.7		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	17点	4点	17点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 令和5年度中は中山間直接支払に取組中の集落協定に対する説明会を行うなどして新規掘り起こしに務めた。今後も実施が可能と考えられる地域を抽出するなどして推進を図る。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 取組組織数も農用地面積も現状維持で推移しているが、ねばり強く新規参入を拡充していく。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	地籍調査事業	細事業	地籍調査事業	実施計画事業	地籍調査事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No. (206)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 国土調査事業第7次十箇年計画 期間 R2 年度 ~ R11 年度	令和5年度主な歳出名称 測量設計調査委託料 会計年度任用職員報酬 事務支援システムリース料 消耗品費	当初予算額 156,161 1,558 1,146 620
款	6	施策 4 土地利用・景観の整備				
項	3	施策展開 ②地籍調査を推進する				
目	2	後期基本計画 58 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>				
決算	108					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 地籍調査とは、主に市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査。「地籍」の情報が行政の様々な場面で活用されている。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 【R4繰越】三重町奥畑 (RD3, E) 0.51km², 朝地町綿田 (FII-2, G, H) 0.16km², 大野町片島 (FII-2, G, H) 0.80km², 千歳町船田 (FII-2, G, H) 0.17km² 【R5現年】清川町白尾 (FII-2, G, H) 0.15km², 三重町向野 (C, E, FI, FII-1) 0.50km², 朝地町池田 (C, E, FI, FII-1) 0.68km²: 合計2.97km²(換算面積)、法務局送付、問合対応等</p>	R3	三重町内田 (FII-2, G, H) 0.03km ² , 三重町内田 (FII-2, G, H) 0.06km ² , 清川町白尾 (FII-2, G, H) 0.17km ² , 千歳町船田 (FII-2, G, H) 0.14km ² , 三重町内田 (C, E, FI, FII-1) 0.62km ² , 大野町片島 (C, E, FI, FII-1) 0.75km ² , 千歳町船田 (E, FI, FII-1) 0.60km ² : 合計2.37km ² (換算面積)、リモセン活用、地籍調査準備、法務局送付、問合対応等	R3計画 144,279	100,590	120	43,569	
	R4	三重町内田 (FII-2, G, H) 0.18km ² , 大野町片島 (FII-2, G, H) 0.23km ² , 千歳町船田 (FII-2, G, H) 0.20km ² , 清川町白尾 (C, E, FI, FII-1) 0.49km ² , 朝地町綿田 (C, E, FI, FII-1) 0.54km ² , 千歳町船田 (E, FI, FII-1) 0.55km ² , 三重町奥畑 (C, RD1-2) 3.11km ² : 合計5.30km ² (換算面積)、法務局送付、問合対応等	R4計画 230,000	172,500	120	57,380	
	R5	【R4繰越】三重町奥畑 (RD3, E) 0.51km ² , 朝地町綿田 (FII-2, G, H) 0.16km ² , 大野町片島 (FII-2, G, H) 0.80km ² , 千歳町船田 (FII-2, G, H) 0.17km ² 【R5現年】清川町白尾 (FII-2, G, H) 0.15km ² , 三重町向野 (C, E, FI, FII-1) 0.50km ² , 朝地町池田 (C, E, FI, FII-1) 0.68km ² : 合計2.97km ² (換算面積)、法務局送付、問合対応等	R5計画 270,000	202,500	120	67,380	
	R6		R6計画 280,000	210,000	120	69,880	
	R7		R7計画 220,000	165,000	120	54,880	
	R3 ~ R7 合計		計画額 1,144,279	850,590	600	293,089	
			当初予算 692,206	480,238	480	211,488	
		決算額 447,545	332,623	330	114,592		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 1 調査済面積(進捗率)	第7次十箇年計画調査対象面積537.71km ² に対して、調査済面積(累計)が閉める割合を算出。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	49.5	%	目標値	50.23	50.85	51.62	52.41	53.07
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	49.93	50.92	51.47		
					達成率	99.4	100.1	99.7		
D 1 調査済面積(進捗率)	第7次十箇年計画調査対象面積537.71km ² に対して、調査済面積(累計)が閉める割合を算出。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	49.5	%	目標値	50.23	50.85	51.62	52.41	53.07
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	49.93	50.92	51.47		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			達成率	99.4	100.1	99.7		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	20点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	25点	4点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な事業実施に広範な知識や経験が必要となるため、研修等を活用し各担当の専門性を高める。 ・高齢化等により年々調査が困難化している。調査を円滑・効率的に行うため、新たな調査手法等を活用する。 ・毎年、未調査地区の実施時期の問合せがあるため、今後実施要望聴取を検討する必要がある。令和12年度以降の次期10箇年計画策定作業の中で行う。 	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>リモートセンシング等活用し、調査事業の進捗率向上に努めている。法務局、大分県の協力を得ながら成果品の持ち込み、認証等のスピードアップをはかりたい。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	公有林管理整備事業	細事業	公有林整備委託事業	実施計画事業	公有林整備委託事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (68)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 公有林調査業務委託料 3,251 森林地図情報システム保守点検委託料 713 燃料費 300 重機借上料 200	当初予算額
会計 一般	6	施策 2 林業の振興			
款	4	施策展開 ③未整備森林を整備する			
目	1	後期基本計画 26 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	109				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 公有林の適正管理及び継続的な整備を行い、森林価値の向上と山林の健全化を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> R4まで実施していた公有林整備委託事業については、大野郡森林組合と締結した市有林経営管理委託契約の中で実施することとし、白鹿山周辺(千歳町)と荒平の池周辺(緒方町)については、覚書に基づき、毎年整備を実施する。</p>	R3	森林の計画的な整備・保全を推進するため、森林地図情報の更新を図った。また、公有林の下刈等を行い、森林の健全化を図った。	R3計画 1,791			2	1,789
			当初予算 1,791			2	1,789
			決算額 1,501				1,501
	R4	森林の計画的な整備・保全を推進するため、森林地図情報の更新を図った。また、公有林の下刈等を行い、森林の健全化を図った。そして、市有林として継続的に収益が見込まれる県行分収造林の分収権買取を行った。	R4計画 1,791			2	1,789
			当初予算 20,234			2	20,232
			決算額 16,146				16,146
	R5	森林の計画的な整備・保全を推進するため、森林地図情報の更新を図った。また、公有林の下刈等を行い、森林の健全化を図った。	R5計画 1,791			2	1,789
			当初予算 4,865			2	4,863
			決算額 4,154			4,154	
	R6		R6計画 1,791			2	1,789
		当初予算 5,348			2	5,346	
		決算額					
R7		R7計画 1,791			2	1,789	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 8,955			10	8,945
			当初予算 32,238			8	32,230
			決算額 21,801			4,154	17,647

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 公有林管理整備事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,990	千円	目標値	1,791	1,791	1,791	1,791	1,791
						実績値	1,501	16,146	4,154		
						% 達成率	83.8	901.5	231.9		
D 成果指標	1 公有林管理整備事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,990	千円	目標値	1,791	20,234	1,791	1,791	1,791
						実績値	1,501	16,146	4,154		
						% 達成率	83.8	79.8	231.9		
E 評価対象外の理由	O 評価対象					目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
			／25点		／25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内に多く存在する公有林の管理を適切に行って行くため、森林地図情報の更新を図ることや、公有林の下刈りを計画的に行い、森林の健全化を図ることは重要。しかしながら、市が所有する公有林は多く、手つかずの公有林もあることから、台帳整備や現況把握が今後の課題。	市が所有する公有林の台帳整備や現況把握について、令和4年度から調査委託を行い公有林の適切な管理を行う。

事業	森林等整備事業	細事業	竹林再生事業	実施計画事業	竹林再生事業	終了年度	なし
----	---------	-----	--------	--------	--------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち				個別計画名 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 竹林再生事業補助金	当初予算額 1,541		
款	6	施策	2 林業の振興								
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する								
目	2	後期基本計画	26	P	<input type="checkbox"/>	過疎計画				<input type="checkbox"/>	総合戦略
決算	110										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 竹材・たけのこ生産地として持続的管理が見込める荒廃竹林の再生や竹チップ等の利活用を推進し、土士の保全と竹資源の有効活用を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 市内の荒廃竹林(1.2ha)において、荒廃竹林の再生を行うため、竹材生産を行う事業に対し補助を行う。</p>	R3	令和3年度については、県予算の豊肥地区への配分が無く、事業実施できなかった。	R3計画 1,598	1,598				
	R4	放置された竹林において、不良、大径竹を伐採し、より生産性の高い竹林へ整備することが出来た。	R4計画 1,600	1,600				
	R5	申請者がいなかった為、該当なし	R5計画 1,600	1,600				
	R6		R6計画 1,600	1,600				
	R7		R7計画 1,600	1,600				
	R3 ~ R7 合計			計画額 7,998	7,998			
				当初予算 4,516	4,516			
				決算額 932	932			

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 竹林再生事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	762	千円	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値		932			
		% 達成率				58.3				
D 成果指標 1 竹林再生事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	762	%	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値		932			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		58.3			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	9点	3点	9点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	1点		1点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1点		1点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1点		1点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
市内に事業実施を希望する事業者があり、事業の財源についても全額県費という有利な事業であるため、次年度以降も事業継続を行ってほしい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
事業の財源についても全額県費という有利な事業であるため、次年度以降も事業継続を行ってほしい。

事業	森林等整備事業	細事業	造林事業	実施計画事業	造林事業	終了年度	なし
----	---------	-----	------	--------	------	------	----

総合計画体系図No.→ (58)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 造林事業補助金	当初予算額 39,882
会計	一般	施策 2 林業の振興			
款	6	施策展開 ②林業生産基盤を整備する			
項	4	後期基本計画 26 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2				
決算	110				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤整備事業を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 人工造林124ha、下刈186.7ha、獣害防止施設(シカネット)40,000m、獣害防止施設(幼齢木保護ネット)5,800本、保育間伐5haに対して、国・県の補助額に対する上乗せ補助を行う。 また、R5より下刈、獣害防止施設に対する補助財源に森林環境譲与税を活用する。</p>	R3	再造林/41.39ha、付帯施設/21,600m、下刈/200.97ha、保育間伐/2.22ha、間伐/53.52haに対して補助金交付を行い、森林の健全化を図るための施策が実施できた。	R3計画 23,697	14,000			9,697	
				当初予算 23,697	14,000		9,697	
				決算額 17,302				17,302
	R4	再造林/54.39ha、付帯施設/32,082m、下刈/173.22ha、保育間伐/5.86haに対して補助金交付を行い、森林の健全化を図るための施策が実施できた。	R4計画 20,000				20,000	
				当初予算 21,773			21,773	
				決算額 15,905			15,905	
	R5	再造林/45.85ha、付帯施設/24,135m、下刈/221.98ha、保育間伐/1.53haに対して補助金交付を行い、森林の健全化を図るための施策が実施できた。	R5計画 20,000				20,000	
				当初予算 39,882		25,000	14,882	
				決算額 25,131		19,156	5,975	
	R6			R6計画 20,000			20,000	
			当初予算 37,873		25,000	12,873		
			決算額					
R7			R7計画 20,000			20,000		
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 103,697	14,000		89,697		
			当初予算 123,225	14,000	50,000	59,225		
			決算額 58,338		19,156	39,182		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 造林事業	総事業費	32,880	千円	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
					実績値	17,302	15,905	25,131		
					% 達成率	86.5	79.5	125.7		
D 成果指標	1 造林事業	総事業費	32,880	千円	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
					実績値	17,302	15,905	25,131		
					% 達成率	86.5	79.5	125.7		

E 評価対象外の理由 〇評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		16点	16点
		3点	3点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市内の森林整備に関し、森林経営計画の促進と造林事業補助金の交付は不可欠であり、今後も事業を推進していく。整備を行う市内事業体については、増えていない状況であるが、市外の事業体が市内の森林整備を行う状況が増えている。それに伴い、事業費も増加することから、補助率や財源についても検討していく必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 森林整備を行う面積が増えているため、森林経営計画の促進と造林事業補助金の交付は不可欠であり、今後も事業を推進していく。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	森林等整備事業	細事業	森林等整備事業関係団体補助事業	実施計画事業	大野川漁業協同組合補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	-----------------	--------	---------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興				
項	4	施策展開	①林業経営体を支援する				
目	2	後期基本計画 26 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	110						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤整備事業を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> 大野川漁業協同組合に対し、630千円の補助を行う。	R3	大野川漁業協同組合に対して、630千円の補助金交付を行った。	R3計画	630			630
			当初予算	630			630
			決算額	630			630
	R4	大野川漁業協同組合に対して、630千円の補助金交付を行った。	R4計画	630			630
			当初予算	630			630
			決算額	630			630
	R5	大野川漁業協同組合に対して、630千円の補助金交付を行った。	R5計画	630			630
			当初予算	630			630
			決算額	630			630
	R6		R6計画	630			630
			当初予算	630			630
			決算額				
	R7		R7計画	630			630
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	3,150			3,150
			当初予算	2,520			2,520
			決算額	1,890			1,890

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 大野川漁業協同組合補助事業	大野川漁業協同組合補助金交付要綱	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	630	千円	目標値	630	630	630	630	630
						実績値	630	630	630		
						% 達成率	100	100	100		
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	1 大野川漁業協同組合補助事業	大野川漁業協同組合補助金交付要綱	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	630	千円	目標値	630	630	630	630	
						実績値	630	630	630		
						% 達成率	100	100	100		
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		18点	18点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 カワウの処理、工場の水利使用、稚鮎の放流に関して、補助金交付を行っている。内水面事業の推進において重要な事業であり、今後も継続を行っていく。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 内水面事業の推進において重要な事業であり、今後も継続を行っていく。
---	---

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	低コスト簡易作業路緊急整備事業補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	---------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (62)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市森林整備計画	令和5年度主な歳出名称 低コスト簡易作業路緊急整備事業補助金	当初予算額 300
会計	一般	施策 2 林業の振興	期間 H29年度 ~ R8年度		
款	6	施策展開 ②林業生産基盤を整備する			
項	4	後期基本計画 26 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
目	2				
決算	111				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 椎茸原木搬出用の簡易作業路を開設することで、省力化・低コスト化を図り、椎茸の品質向上と生産規模の拡大に取り組む。</p> <p><令和5年度の実績内容(計画)> 市内要望延長 600m 補助率 (県単事業)400円/m+(市義務負担)100円/m=500円/m 補助対象 一路線延長100m以上で、対象面積0.1ha当たり、概ね100mまでとする。 事業費 600m×500円=300,000円</p>	R3	2路線、800mに対し、500円/mの補助金交付を行った。	R3計画 400	320			80
				当初予算 400	320		80
				決算額 400	320		80
	R4	2路線、600mに対し、500円/mの補助金交付を行った。	R4計画 400	320			80
				当初予算 300	240		60
				決算額 300	240		60
	R5	2路線、1,600mに対し、500円/mの補助金交付を行った。	R5計画 400	320			80
				当初予算 300	240		60
				決算額 800	640		160
	R6			R6計画 400	320		80
			当初予算 750	600		150	
			決算額				
R7			R7計画 400	320		80	
			当初予算				
			決算額				
R3 ~ R7 合計			計画額 2,000	1,600		400	
			当初予算 1,750	1,400		350	
			決算額 1,500	1,200		300	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 低コスト簡易作業路緊急整備事業補助事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	600	千円	目標値	400	400	400	400	400
					実績値	400	300	800		
					% 達成率	100	75	200		
D 成果指標	1 低コスト簡易作業路緊急整備事業補助事業	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	600	千円	目標値	400	400	400	400	400
					実績値	400	300	800		
					% 達成率	100	75	200		

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	19点	3点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
椎茸原木の搬出等の作業効率を上げるための簡易作業路整備に対する補助制度であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
椎茸原木の搬出等の簡易作業路整備補助制度は乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続が必要。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	しいたけ増産体制整備総合対策事業補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (60)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 2 林業の振興	期間	H29年度 ~ R8年度	しいたけ増産体制整備総合対策事業補助金	2,333
款	6	施策展開 ②林業生産基盤を整備する	期間	年度 ~ 年度		
項	4	後期基本計画 26 P	<input checked="" type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略
目	2	<input type="checkbox"/>	コロナ充当			
決算	111					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 椎茸生産施設等を整備することで、省力化・低コスト化を図り、椎茸の品質向上と生産規模の拡大に取り組む。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 散水施設1基、ハウス1棟、重機等運転技能講習支援3名に対して補助を行う。</p>	R3	ハウス(2棟)、乾燥機(2台)、重機講習(2名)に対して補助を行った。	R3計画 6,000	4,000			2,000
			当初予算 6,000	4,000			2,000
			決算額 5,516	3,737			1,779
	R4	散水施設1台・林内作業車1台・重機等運転技能講習2名・省エネ型椎茸乾燥機16台に対して補助を行った。	R4計画 6,000	4,000			2,000
			当初予算 9,061	6,061			3,000
			決算額 17,137	14,764			2,373
	R5	フォーク1基、アームウインチ1基、ハウス1棟、散水施設2棟に対して補助を行った。	R5計画 6,000	4,000			2,000
			当初予算 2,333	1,616			717
			決算額 9,510	6,338			3,172
	R6		R6計画 6,000	4,000			2,000
			当初予算 14,864	11,211			3,653
			決算額				
	R7		R7計画 6,000	4,000			2,000
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 30,000	20,000			10,000
			当初予算 32,258	22,888			9,370
			決算額 32,163	24,839			7,324

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	しいたけ増産体制整備総合対策事業補助事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	636	千円	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
						実績値	5,516	17,137	9,510		
						% 達成率	91.9	285.6	158.5		
D 成果指標	しいたけ増産体制整備総合対策事業補助事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	636	千円	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
						実績値	5,516	17,137	9,510		
						% 達成率	91.9	285.6	158.5		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点
			／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
乾しいたけ生産者の生産基盤強化を行う施設整備に対する補助金であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
乾しいたけ生産者の生産基盤強化の補助は重要な事業であり、今後も継続が必要。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	乾しいたけ新規参入者支援事業補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (60)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市森林整備計画	令和5年度主な歳出名称 乾しいたけ新規参入者支援事業補助金	当初予算額 3,000
会計	一般	施策 2 林業の振興	期間 H29年度 ~ R8年度		
款	6	施策展開 ②林業生産基盤を整備する			
項	4	後期基本計画 26 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	期間 年度 ~ 年度		
目	2				
決算	111				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 生産機械・施設等の整備に係る経費について助成することで、椎茸生産の担い手の確保・育成に取り組む。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ほだ木造成 10名(15,000本)に対して補助を行う。</p>	R3	乾燥機(1台)、作業車(1台)、チェーンソー(2台)、ほだ木造成 1,500本×3名に対して補助を行った。	R3計画 3,675	2,100			1,575
			当初予算 3,675	2,100			1,575
			決算額 2,212	1,323			889
	R4	スライサー1台、発電機1台、チェーンソー1台、ほだ木造成 6名(9,000本)に対して補助を行った。	R4計画 3,675	2,100			1,575
			当初予算 1,200	600			600
			決算額 2,204	1,168			1,036
	R5	散水施設1棟、運搬車2台、チェーンソー2台、ほだ木造成 7名(10,500本)に対して補助を行った。	R5計画 3,675	2,100			1,575
			当初予算 3,000	1,500			1,500
			決算額 4,292	2,269			2,023
	R6		R6計画 3,675	2,100			1,575
		当初予算 2,250	1,199			1,051	
		決算額					
R7		R7計画 3,675	2,100			1,575	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 18,375	10,500			7,875
			当初予算 10,125	5,399			4,726
			決算額 8,708	4,760			3,948

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 乾しいたけ新規参入者支援事業補助事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,800	千円	目標値	3,675	3,675	3,675	3,675	3,675
						実績値	2,212	2,204	4,292		
						% 達成率	60.2	60	116.8		
D 成果指標	1 乾しいたけ新規参入者支援事業補助事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,800	千円	目標値	3,675	3,675	3,675	3,675	3,675
						実績値	2,212	2,204	4,292		
						% 達成率	60.2	60	116.8		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			16点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
乾椎茸生産新規参入者の参入しやすい支援体制の整備を行う補助制度であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
乾椎茸生産新規参入者への補助制度は重要な事業であり、今後も継続が必要。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	ファーマーズスクール事業補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	------------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興	期間	H29年度～R8年度	ファーマーズスクール事業補助金	1,750
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する	期間	年度～年度		
目	2		後期基本計画 26 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	111						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 椎茸生産に係る研修経費について助成することで、就業体制を整備し、椎茸生産の担い手の確保・育成に取り組む。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・設置支援事業 独立型・経営開始型(指導者)1名 ・就業給付金事業 独立型・経営開始型(2年目)2名 親元型・準備型(2年目)2名 親元型・経営開始型(2年目)1名	R3	独立準備型2名、親元準備型1名に対して、補助を行った。	R3計画 3,200	1,600			1,600
	当初予算	3,200	1,600			1,600	
	決算額	2,300	1,150			1,150	
	R4	独立経営型2名、親元準備型2名、親元経営型1名に対して、補助を行った。	R4計画 3,200	1,600			1,600
	当初予算	2,300	1,150			1,150	
	決算額	2,350	1,175			1,175	
	R5	独立経営型2名、親元準備型1名、親元経営型1名に対して、補助を行った。	R5計画 3,200	1,600			1,600
	当初予算	1,750	874			876	
	決算額	1,100	549			551	
	R6		R6計画 3,200	1,600			1,600
当初予算	500	249			251		
決算額							
R7		R7計画 3,200	1,600			1,600	
当初予算							
決算額							
R3～R7合計			計画額 16,000	8,000			8,000
			当初予算 7,750	3,873			3,877
			決算額 5,750	2,874			2,876

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ファーマーズスクール事業補助事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,300	千円	目標値	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
					実績値	2,300	2,350	1,100		
					% 達成率	71.9	73.4	34.4		
D 成果指標	1 ファーマーズスクール事業補助事業	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,300	千円	目標値	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
					実績値	2,300	2,350	1,100		
					% 達成率	71.9	73.4	34.4		
E 評価対象外の理由	0 評価対象				目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	16点	3点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
			25点		25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新規椎茸生産者の担い手育成を行う補助事業であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、担い手育成のための重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	新規椎茸生産者の担い手育成を行う補助事業であり、継続していく必要がある。

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸種駒補助事業	実施計画事業	椎茸種駒補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興	期間	H29年度～R8年度	椎茸種駒補助金	10,975
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する	期間	年度～年度	通信運搬費	10
目	2	後期基本計画	26 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	111						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 椎茸種駒の購入者に補助金を交付することで、椎茸の増産を図り、生産者の生活と経営の安定に資する。</p> <p><令和5年度取組内容(計画)> 乾しいたけ生産量の安定化と生産者確保のため1万駒以上の植菌者に対し補助する。</p>	R3	95名、5,239,900駒に対して補助を行った。	R3計画 6,538				6,538
			当初予算 6,538				6,538
			決算額 5,250				5,250
	R4	101名、5,053,360駒に対して補助を行った。	R4計画 6,300				6,300
			当初予算 5,884				5,884
			決算額 5,053				5,053
	R5	100名、5,736,800駒に対して補助を行った。	R5計画 6,000				6,000
			当初予算 10,985				10,985
			決算額 9,715				9,715
	R6		R6計画 5,700				5,700
			当初予算 10,985				10,985
			決算額				
	R7		R7計画 5,400				5,400
		当初予算					
		決算額					
R3～R7合計			計画額 29,938				29,938
			当初予算 34,392				34,392
			決算額 20,018				20,018

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 椎茸種駒補助事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	5,255	千円	目標値	6,538	6,300	6,000	5,700	5,400
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	5,250	5,053	9,715		
		% 達成率			80.3	80.2	161.9			
D 成果指標	1 椎茸種駒補助事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	5,255	千円	目標値	6,538	6,300	6,000	5,700	5,400
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	5,250	5,053	9,715		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	80.3	80.2	161.9		
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		16点	16点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
乾しいたけ生産量の安定化と生産者確保のためR5年度より2万駒以上から1万駒以上の植菌者に対する補助制度に変更。日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であり継続する必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産支援対策事業関係団体補助事業	実施計画事業	椎茸振興会補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市森林整備計画	令和5年度主な歳出名称	椎茸振興会補助金	当初予算額	700
款	6	施策	2 林業の振興	期間	H29年度～R8年度				
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する						
目	2		後期基本計画 26 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	111								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 椎茸生産関係団体の活動支援を通じて椎茸産業の振興を図り、生産農林家の所得の向上と経営の安定に資する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 豊後大野市椎茸振興会補助金 700千円	R3	豊後大野市椎茸振興会に対して700千円の補助を行った。	R3計画 700				700
			当初予算 700				700
			決算額 700				700
	R4	豊後大野市椎茸振興会に対して700千円の補助を行った。	R4計画 700				700
			当初予算 700				700
			決算額 700				700
	R5	豊後大野市椎茸振興会に対して700千円の補助を行った。	R5計画 700				700
			当初予算 700				700
			決算額 700				700
	R6		R6計画 700				700
			当初予算 700				700
			決算額				
	R7		R7計画 700				700
			当初予算				
		決算額					
R3～R7合計			計画額 3,500				3,500
			当初予算 2,800				2,800
			決算額 2,100				2,100

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 椎茸振興会補助事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	700	千円	目標値	700	700	700	700	700
					実績値	700	700	700		
					% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 椎茸振興会補助事業	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	700	千円	目標値	700	700	700	700	700
					実績値	700	700	700		
					% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1→2→3→4→5 なっていない⇒なっている	3点	18点	3点	18点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1→2→3→4→5 優先度低い⇒優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1→2→3→4→5 できなかった⇒できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1→2→3→4→5 推移していない⇒推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1→2→3→4→5 推移していない⇒推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 日本一の乾椎茸産地である本市において、その生産を支える豊後大野市椎茸振興会の存在は重要と考えており、今後も支援していく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 豊後大野市椎茸振興会の活動は重要であり今後も支援していく。

事業	有害鳥獣被害対策事業	細事業	有害鳥獣被害防止対策事業	実施計画事業	有害鳥獣被害防止対策事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (52)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市鳥獣被害防止計画 期間 R2 年度 ~ R4 年度	令和5年度主な歳出名称 有害鳥獣被害防止対策事業補助金 13,000	当初予算額
会計	一般	施策 1 農業の振興			
款	6	施策展開 ⑤有害鳥獣対策を強化する	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	消耗品費	25
項	4	後期基本計画 24 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		通信運搬費	50
目	2				
決算	112				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 有害鳥獣による農林産物の被害防止を目的として設置するものに対し、購入経費を助成することで、本市における農林産物被害の軽減に資する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 電気柵・防護柵・複合柵、ワイヤーメッシュ、支柱の購入に対して補助を行う。</p>	R3	電気柵(120セット)、防護柵(1件)、防護ネット(10件)、ワイヤーメッシュ柵(51件)、ワイヤーメッシュ柵支柱(40件)に対して補助を行った。	R3計画 11,444	3,659			7,785	
			当初予算	11,444	3,659			7,785
			決算額	9,098	2,958			6,140
	R4	電気柵(92セット)、防護ネット(7件)、ワイヤーメッシュ柵(20件)、ワイヤーメッシュ柵支柱(17件)に対して補助を行った。	R4計画 11,444	3,659			7,785	
			当初予算	13,444	4,479	5,000	3,965	
			決算額	6,222	2,215		4,007	
	R5	電気柵(119セット)、電気柵アライグマ用2台、ネット柵アライグマ用640m、防護ネット(5,698m)、防護ネット支柱(1,539本)、ワイヤーメッシュ柵(11,614m)、ワイヤーメッシュ柵支柱(5,761本)に対して補助を行った。	R5計画 11,444	3,659			7,785	
			当初予算	13,075	3,931		9,144	
			決算額	10,096	2,999	2,000	5,097	
	R6		R6計画 11,444	3,659			7,785	
			当初予算	12,675	3,729		8,946	
			決算額					
	R7		R7計画 11,444	3,659			7,785	
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額 57,220	18,295		38,925		
			当初予算 50,638	15,798	5,000	29,840		
			決算額 25,416	8,172	2,000	15,244		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 有害鳥獣被害防止対策事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	8,993	千円	目標値	11,444	11,444	11,444	11,444	11,444
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	9,098	6,222	10,096		
		% 達成率			79.5	54.4	88.2			
D 成果指標	1 有害鳥獣被害防止対策事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	8,993	千円	目標値	11,444	11,444	11,444	11,444	11,444
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	9,098	6,222	10,096		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	79.5	54.4	88.2		
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		16点	16点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>市内の農地において、シカ、イノシシ等の鳥獣被害は継続して発生しており、有害鳥獣の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要。そのため、今後も事業実施を継続していく。また、サル群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>有害鳥獣の捕獲と被害防止は一体的に進めていくことが重要であり、今後も事業実施の継続が必要である。また、サル群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。</p>
---	---

事業	有害鳥獣等被害対策事業	細事業	有害鳥獣捕獲事業	実施計画事業	有害鳥獣捕獲事業補助事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	----------	--------	--------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市鳥獣被害防止計画 期間 R2 年度 ~ R4 年度 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 有害鳥獣捕獲事業補助金	当初予算額 59,260
款	6	施策	1 農業の振興			
項	4	施策展開	⑤有害鳥獣対策を強化する			
目	2	後期基本計画	24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	112					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 有害鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の設置指導を行い農林産物を被害から守る <令和5年度の取組内容(計画)> シカ3,700頭、イノシシ3,500頭、サル20頭、小動物1,000頭の捕獲に対して補助を行う。	R3	イノシシ 3,097頭、シカ3,586頭、サル23頭、小動物810頭の捕獲に対して補助を行った。	R3計画	54,000	35,408		18,592
			当初予算	54,000	35,408		18,592
			決算額	54,047	38,885		15,162
	R4	イノシシ 4,119頭、シカ 3,227頭、サル9頭、小動物1,134頭の捕獲に対して補助を行った。	R4計画	54,000	35,408		18,592
			当初予算	54,000	35,180	15,000	3,820
			決算額	55,164	40,145		15,019
	R5	イノシシ 2,719頭、シカ 3,394頭、サル33頭、小動物759頭の捕獲に対して補助を行った。	R5計画	54,000	35,408		18,592
			当初予算	59,260	42,220		17,040
			決算額	51,687	37,632		14,055
	R6		R6計画	54,000	35,408		18,592
			当初予算	59,260	4,222		55,038
			決算額				
	R7		R7計画	54,000	35,408		18,592
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	270,000	177,040		92,960
			当初予算	226,520	117,030	15,000	94,490
			決算額	160,898	116,662		44,236

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 有害鳥獣捕獲事業補助事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	46,180	千円	目標値	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	54,047	55,164	51,687		
		% 達成率			100.1	102.2	95.7			
D 成果指標	1 有害鳥獣捕獲事業補助事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	46,180	千円	目標値	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	54,047	55,164	51,687		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100.1	102.2	95.7		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	19点	3点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
			19点		19点	
			25点		25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市内の農地において、シカ、イノシシ等の鳥獣被害は継続して発生しており、有害鳥獣の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要。そのため、今後も事業実施を継続していく。また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 有害鳥獣の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要であり、事業実施の継続は必要。また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	有害鳥獣等被害対策事業	細事業	有害鳥獣等被害防止対策事業関係団体補助事業	実施計画事業	猟友会補助事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市鳥獣被害防止計画 期間 R2 年度 ~ R4 年度 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 猟友会補助金	当初予算額 2,500
款	6	施策	1 農業の振興			
項	4	施策展開	⑤有害鳥獣対策を強化する			
目	2	後期基本計画	24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	112					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 有害鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の設置指導を行い農林産物を被害から守る。 <令和5年度の取組内容(計画)> 豊後大野市猟友会補助金 2,500千円	R3	豊後大野市猟友会に対して、2,500千円の補助を行った。	R3計画 2,500				2,500
			当初予算 2,500				2,500
			決算額 2,500				2,500
	R4	豊後大野市猟友会に対して、2,500千円の補助を行った。	R4計画 2,500				2,500
			当初予算 2,500				2,500
			決算額 2,500				2,500
	R5	豊後大野市猟友会に対して、2,500千円の補助を行った。	R5計画 2,500				2,500
			当初予算 2,500				2,500
			決算額 2,500				2,500
	R6		R6計画 2,500				2,500
		当初予算 2,500				2,500	
		決算額					
R7		R7計画 2,500				2,500	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 12,500				12,500
			当初予算 10,000				10,000
			決算額 7,500				7,500

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 猟友会補助事業	豊後大野市猟友会補助金交付要綱	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2,500	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2,500	2,500	2,500		
		% 達成率			100	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 成果指標 1 猟友会補助事業	豊後大野市猟友会補助金交付要綱	<input type="checkbox"/> 総合計画	2,500	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	2,500	2,500	2,500		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画	% 達成率							

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	19点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	
		19点	19点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 市における有害鳥獣捕獲事業に支援をいただく重要な組織であり、市としても支援していくことが重要。継続して、事業実施を行う。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 有害鳥獣捕獲事業に支援をいただく重要な組織であり、継続して事業実施を行う。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	有害鳥獣等被害対策事業	細事業	有害鳥獣等被害防止対策事業関係団体補助事業	実施計画事業	鳥獣被害対策協議会補助事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-----------------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (54)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市鳥獣被害防止計画 期間 R2 年度 ~ R4 年度 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 鳥獣被害対策協議会補助金	当初予算額 830
款	6	施策 1 農業の振興				
項	4	施策展開 ⑤有害鳥獣対策を強化する				
目	2	後期基本計画 24 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	112					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 有害鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の設置指導を行い農林産物を被害から守る <令和5年度の取組内容(計画)> 鳥獣被害対策協議会補助金 830千円	R3	箱わな購入、初心者狩猟講習会、緩衝帯整備、サル用捕獲檻運用に係る通信費、防護柵設置用資材移動運搬費に対して830千円の補助を行った。	R3計画 500				500
			当初予算 500				500
			決算額 830				830
	R4	箱わな購入、初心者狩猟講習会、緩衝帯整備、サル用捕獲檻運用に係る通信費、防護柵設置用資材移動運搬費に対して830千円の補助を行った。	R4計画 500				500
			当初予算 830				830
			決算額 830				830
	R5	箱わな購入、初心者狩猟講習会、サル用捕獲檻運用に係る通信費、防護柵設置用資材移動運搬費に対して830千円の補助を行った。	R5計画 500				500
			当初予算 830				830
			決算額 830				830
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,500			
			当初予算 2,990				2,990
			決算額 2,490				2,490

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 鳥獣被害対策協議会補助事業	豊後大野市補助金等交付規則	<input type="checkbox"/> 総合戦略	500	千円	目標値	500	500	500	500	500
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	830	830	830		
		% 達成率			166	166	166			
D 成果指標 1 鳥獣被害対策協議会補助事業	豊後大野市補助金等交付規則	<input type="checkbox"/> 総合計画	500	千円	目標値	500	500	500	500	500
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	830	830	830		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	166	166	166		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	18点	3点	18点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
有害鳥獣被害対策において、鳥獣被害対策協議会による防護柵設置や箱わな購入、初心者狩猟講習会助成、緩衝帯整備等は重要な事業であり、今後も継続を行う。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
有害鳥獣被害対策において重要な事業であり、今後も継続を行う。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	森林経営管理事業	細事業	森林環境譲与税基金管理事業	実施計画事業	森林環境譲与税基金管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (68)		政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち		個別計画名 豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 森林環境譲与税基金積立金	当初予算額 59,895
会計	一般	施策	2 林業の振興				
款	6	施策展開	③未整備森林を整備する				
項	4	後期基本計画	26 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2						
決算	113						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 整備森林の整備を促進し、健全な育成と、公益的機能の増進を図り、地域林業の振興を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 森林環境譲与税(一般財源) 58,256千円 森林環境譲与税基金預金利子 1千円</p>	R3	森林環境譲与税として48,073千円が譲与された。また、クスギ林整備における売払い収入が99,884円あり、森林環境譲与税とあわせて基金積立を行った。	R3計画 47,949 当初予算 47,949 決算額 48,173			1	47,948	
	R4	森林環境譲与税として58,230千円が譲与された。また、クスギ林整備における売払い収入が172,243円あり、森林環境譲与税とあわせて基金積立を行った。	R4計画 62,053 当初予算 62,054 決算額 58,403			1	62,052	
	R5	森林環境譲与税として58,230千円が譲与及び利子の基金積立を行った。	R5計画 62,053 当初予算 59,895 決算額 58,231			1	62,052	
	R6		R6計画 76,155 当初予算 80,758 決算額			1	76,154	
	R7		R7計画 76,155 当初予算 決算額			1	76,154	
	R3 ~ R7 合計			計画額 324,365 当初予算 250,656 決算額 164,807			5	324,360
							4	250,652
							274	164,533

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 森林環境譲与税基金管理事業 森林環境譲与税	<input type="checkbox"/> 総合戦略	47,951	千円	目標値	47,949	62,053	62,053	76,155	76,155
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	48,173	58,403	58,231		
D 成果指標	1 森林環境譲与税基金管理事業 森林環境譲与税	<input type="checkbox"/> 総合戦略	47,951	千円	達成率	100.5	94.1	93.8		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	19点	3点	19点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 森林環境譲与税として58,230千円が譲与された。今後も譲与額は増額される予定であり、適切に基金管理を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 譲与された森林環境譲与税は基金として適切に管理を行う。
---	---

事業	森林経営管理事業	細事業	森林経営管理事業	実施計画事業	森林経営管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (63)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市森林整備計画 期間 H29年度 ~ R8年度	令和5年度主な歳出名称 未整備森林調査業務委託料 森林経営管理業務委託料 再造林担い手確保支援事業補助金 森林作業道整備事業補助金	当初予算額 8,260 8,000 5,400 3,200
会計	一般	施策 2 林業の振興			
款	6	施策展開 ③未整備森林を整備する			
項	4	後期基本計画 26 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>			
目	2				
決算	113				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 未整備森林の整備を促進し、健全な育成と、公益的機能の増進を図り、地域林業の振興を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <ul style="list-style-type: none"> ■森林整備 <ul style="list-style-type: none"> 未整備森林調査業務委託 森林経営管理業務委託 未整備森林情報管理システム保守業務委託 森林クラウドシステム使用料 森林作業道整備事業補助金 里山林等簡易作業路整備事業補助金 ■人材育成・担い手支援 <ul style="list-style-type: none"> 再造林担い手確保支援事業補助金 林業就業環境改善事業補助金 林業作業員育成支援事業補助金 林業機械等導入支援事業補助金 林業技術資格取得支援事業補助金 製材業等労働環境改善対策事業補助金 作業班雇用安定推進事業補助金 ■普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> 看板設置委託料 印刷製本費 ■実行体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> 事務員費 事務費 	R3	森林環境譲与税の使途として示されている①森林整備、②人材育成・担い手支援、③木材利用の促進、④普及啓発、⑤実行体制整備に従い、事業実施を行った。	R3計画	48,839	890		47,949	
				当初予算	48,839	890		47,949
				決算額	33,510	1,304		32,206
		R4	森林環境譲与税の使途として示されている①森林整備、②人材育成・担い手支援、③木材利用の促進、④普及啓発、⑤実行体制整備に従い、事業実施を行った。	R4計画	62,053	890		61,163
				当初予算	70,803	915		69,888
				決算額	53,727	940		52,787
		R5	森林環境譲与税の使途として示されている①森林整備、②人材育成・担い手支援、③木材利用の促進、④普及啓発、⑤実行体制整備に従い、事業実施を行った。	R5計画	62,053	890		61,163
				当初予算	37,290	3,807		33,483
				決算額	26,270	2,563		23,707
		R6		R6計画	76,155	890		75,265
			当初予算	42,053	4,073		37,980	
			決算額					
	R7		R7計画	76,155	890		75,265	
			当初予算					
			決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額	325,255	4,450		320,805	
			当初予算	198,985	9,685		189,300	
			決算額	113,507	4,807		108,700	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 1 森林経営管理事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	40,059	千円	目標値	48,839	62,053	62,053	76,155	76,155	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	33,510	53,727	26,270			
					%	達成率	68.6	86.6	42.3		
D 1 森林経営管理事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	40,059	千円	目標値	48,839	62,053	62,053	76,155	76,155	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	33,510	53,727	26,270			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	68.6	86.6	42.3		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
令和6年度から森林環境譲与税と金が更に増額される見込みであり、未整備森林の整備を更に加速していく必要がある。林業振興協議会およびプロジェクトチーム、林業事業者の意見も取り入れながら、有効な方策を事業化していく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和6年度から森林環境譲与税と金が更に増額される見込みであり、未整備森林整備等を更に加速していく必要がある。

事業	治山林道整備事業	細事業	林道維持管理事業	実施計画事業	林道維持管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	6	施策	2 林業の振興		期間	年度 ~ 年度		
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する		期間	年度 ~ 年度		
目	3	後期基本計画	26 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	114							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 低コストでの優良材生産を可能にするため、植栽・除伐・間伐・枝打ち・下刈りといった森林整備を効率的に実施できるように林道・作業道の整備を推進するなど、造林を支援します。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 林道維持補修工事請負費 林道補修 橋梁点検業務委託料 橋梁8橋 橋梁詳細設計 橋梁3橋 草刈等委託料 除草作業委託等</p>	R3	林道維持補修工事請負費 橋梁点検業務委託料 トンネル1件・橋梁1件・詳細設計1件 草刈等委託料	R3計画 23,788 当初予算 23,788 決算額 22,103	5,400			18,388	
	R4	林道維持補修工事請負費 林道補修 橋梁点検業務委託料 橋梁14橋 草刈等委託料 除草作業委託等	R4計画 18,000 当初予算 22,659 決算額 21,647		5,400		18,000	
	R5	■林道維持補修工事請負費 林道補修工事7件 ■橋梁点検業務委託料 点検橋梁12橋 ■橋梁詳細設計 橋梁2橋 ■草刈等委託料 除草作業委託等(23路線)	R5計画 18,000 当初予算 36,791 決算額 35,378			11,850	24,941	
	R6		R6計画 18,000 当初予算 63,045 決算額		33,000	20,000	18,000	
	R7		R7計画 18,000 当初予算 決算額				18,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 95,788 当初予算 146,283 決算額 79,128	5,400		20,000	90,388 70,633 55,845

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 林道維持管理事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	20,845	千円	目標値	23,788	18,000	18,000	18,000	18,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	22,103	21,647	35,378		
					%	達成率	92.9	120.3	196.5	
D 成果指標	1 林道維持管理事業 総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	20,845	千円	目標値	23,788	18,000	18,000	18,000	18,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	22,103	21,647			
					%	達成率	92.9	120.3		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
林道施設点検は、基本5年に一度は行うものなので、計画的に予算化して点検を行うものとする。今後は財政状況も鑑み計画的に実施する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
林道路線数が多く予算確保が難しい状況であるが、適正管理に努める必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	治山林道整備事業	細事業	管理林道整備事業	実施計画事業	管理林道整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	6	施策	2 林業の振興		期間	年度	年度			林道積算システム使用料	428
項	4	施策展開	②林業生産基盤を整備する		期間	年度	年度			三宅山線開設推進協議会負担金	30
目	3	後期基本計画	26 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当								
決算	114										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 低コストでの優良材生産を可能にするため、植栽・除伐・間伐・枝打ち・下刈りといった森林整備を効率的に実施できるように林道・作業道の整備を推進するなど、造林を支援します。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 林道積算システム使用料 林道積算システム 1式</p>	R3	林道積算システム使用料 林道積算システム 1式	R3計画 450				450
			当初予算 450				450
			決算額 420				420
	R4	林道積算システム使用料 林道積算システム 1式	R4計画 420				420
			当初予算 450				450
			決算額 419				419
	R5	林道積算システム使用料 林道積算システム 1式	R5計画 420				420
			当初予算 458				458
			決算額 428				428
	R6		R6計画 420				420
			当初予算 458				458
			決算額				
	R7		R7計画 420				420
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 2,130				2,130
			当初予算 1,816				1,816
			決算額 1,267				1,267

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 林道積算システム使用料	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	450	千円	目標値	450	420	420	420	420
						実績値	420	419	420		
						% 達成率	93.3	99.8	100		
D 成果指標	1 林道積算システム使用料	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	450	千円	目標値	450	420	420	420	420
						実績値	420	419	420		
						% 達成率	93.3	99.8	100		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 事業継続するために林道積算システムを継続して契約することが必要になる。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業継続するために林道積算システムを継続して契約することが必要になると思われる。
--	--

事業	治山林道整備事業	細事業	治山事業	実施計画事業	治山事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------	--------	------	------	----

総合計画体系図No.→ (57)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 治山工事請負費 5,000 治山事業測量設計委託料 500 大分県治山林道協会負担金 307 原材料費 300	当初予算額
款	6	施策 2 林業の振興				
項	4	施策展開 ②林業生産基盤を整備する				
目	3	後期基本計画 26 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	114					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 低コストでの優良材生産を可能にするため、植栽・除伐・間伐・枝打ち・下刈りといった森林整備を効率的に実施できるように林道・作業道の整備を推進するなど、造林を支援します。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ■ 県営治山事業付帯工事 大野町泉地区</p>	R3	治山工事請負費 大飼町西ノ平地区(黒松) 流末排水路整備 L=65.8m	R3計画 9,242 当初予算 9,242 決算額 3,672				9,242	
	R4	県営治山事業付帯工事 大野町泉地区	R4計画 1,242 当初予算 6,063 決算額 10,539				1,242	
	R5	■ 県営治山事業付帯工事 大野町泉地区	R5計画 1,242 当初予算 6,107 決算額 6,076				1,242	
	R6		R6計画 1,242 当初予算 5,932 決算額				1,242	
	R7		R7計画 1,242 当初予算 決算額				1,242	
	R3 ~ R7 合計			計画額 14,210 当初予算 27,344 決算額 20,287				14,210 27,344 20,287

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 治山事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略	570	千円	目標値	9,242	1,242	1,242	1,242	1,242
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	3,672	10,539	6,076		
		% 達成率			39.7	848.6	489.2			
D 成果指標 1 治山事業	総事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画	570	千円	目標値	9,242	1,242	1,242	1,242	1,242
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	3,672	10,539			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	39.7	848.6			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 県営治山事業を進める上で、県事業(補助事業)の付随した付帯工事を実施する。また、県営事業と同時期に行う必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 県営治山事業で実施できない箇所について付帯工事を実施するもの。今後も可能な限り県営にて実施できるように要望していく必要あり

事業	消費生活相談事業	細事業	消費生活相談事業	実施計画事業	消費生活相談事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (248)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	7	施策	7 交通安全・防犯対策の推進		期間	年度 ~ 年度			消費生活相談業務委託料	2,193
項	1	施策展開	③消費者対策を充実する		期間	年度 ~ 年度			消耗品費	300
目	2	後期基本計画	64 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		期間	年度 ~ 年度			専門相談員育成委託料	132
決算	115									

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 消費者安全法第10条第2項の規定に基づき、豊後大野市消費生活センターを設置する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 電話や来庁による相談受付に加え、出前講座やホームページにより、積極的な啓発に努める。また、毎月弁護士に消費生活相談に関する指導を受ける。</p>	R3	電話や来庁による相談受付を実施した。また、毎月弁護士に消費生活相談に関する指導を受けた。	R3計画 2,240				2,240
			当初予算 2,240				2,240
			決算額 2,240				2,240
	R4	電話や来庁による相談受付を実施した。また、毎月弁護士に消費生活相談に関する指導を受けた。	R4計画 2,131				2,131
			当初予算 2,131				2,131
			決算額 2,075				2,075
	R5	電話や来庁による相談受付を実施した。また、毎月弁護士に消費生活相談に関する指導を受けた。	R5計画 3,177				3,177
			当初予算 3,177				3,177
			決算額 2,874				2,874
	R6		R6計画 2,969				2,969
			当初予算 2,969				2,969
			決算額				
	R7		R7計画 3,177				3,177
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 13,694				13,694
			当初予算 10,517				10,517
			決算額 7,189				7,189

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 相談件数	市消費生活センターで受けた相談件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	61	件	目標値	80	80	80	80	80
						実績値	104	103	84		
						% 達成率	130	128.8	105		
D 成果指標	1 被害回復額	消費生活相談センターを介して相談者がクリーニングオフ等で救済された金額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,765	千円	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
						実績値	3,609	2,803	2,273		
						% 達成率	120.3	93.4	75.8		
E 評価対象外の理由	O 評価対象		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	17点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	17点
		17点	17点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>消費者安全法により市町村には消費生活センターを設置する努力義務があり、本市においては「豊後大野市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例」を制定して消費生活相談業務をおこなっているため、継続した取り組みが必要である。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>消費者安全法により市には消費生活センターを設置する努力義務があり、本市においては「豊後大野市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例」を制定し消費生活相談業務を実施している。今後も消費者を守るために事業の継続は必要である。</p>
--	--

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	商工会補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (77)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 4 商業・サービス業の振興			
款	7	施策展開 ①経営基盤を強化する			
項	1	後期基本計画 30 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2				
決算	116		期間 年度 ~ 年度	商工会補助金	17,000

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 商工会が行う小規模事業者に対する指導事業及び商工業の振興と安定を図るための事業に要する経費について、補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 補助金の交付により、経営指導員の取組を支援することにより、小規模事業者の経営の改善及び商工業の振興を図る。 ・各種補助金採択(持続化補助金、ものづくり補助金、経営革新補助金、事業承継補助金等) ・各種計画承認(事業継続力強化計画承認、経営革新等承認)</p>	R3	・会員事業所からの相談受付及び経営指導 ・コロナ関連の支援金、給付金等の申請支援 ・創業セミナーの開催	R3計画 17,700			4	17,696
			当初予算 17,700			4	17,696
			決算額 17,700			4	17,696
	R4	・会員事業所からの相談受付及び経営指導 ・各種補助金・給付金等の申請支援 ・創業セミナーの開催	R4計画 17,400			4	17,396
			当初予算 17,400			4	17,396
			決算額 17,400				17,400
	R5	・会員事業所からの相談受付及び経営指導 ・各種補助金・給付金等の申請支援 ・創業セミナーの開催	R5計画 17,000			4	16,996
			当初予算 17,000			4	16,996
			決算額 17,000			4	16,996
	R6		R6計画 17,000			4	16,996
			当初予算 17,000			4	16,996
			決算額				
	R7		R7計画 17,000			4	16,996
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 86,100			20	86,080
			当初予算 69,100			16	69,084
			決算額 52,100			8	52,092

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 経営等に関する指導件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	3,847	件	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4,231	3,452	4,018			
					%	達成率	120.9	98.6	114.8		
	2 創業相談	市商工会で創業相談や創業支援をした件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	51	件	目標値	40	40	40	40	40
<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値			127	57	45			
				%	達成率	317.5	142.5	112.5			
D 成果指標	1 商工会員数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	834	人	目標値	856	866	876	886	896	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	849	852	848			
			<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	99.2	98.4	96.8		
	2 事業所数	経済センサス(5年に1度の調査)で把握される事業所数 ※令和3年経済センサスが最新	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画			目標値					1,537
<input type="checkbox"/> 総合戦略					実績値	1,497	1,497	1,497			
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率						

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	16点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			17点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 通常の経営指導やコロナ収束後の社会情勢・物価高騰対策等における各種補助金・給付金等の申請支援あるいは融資相談等により、会員事業所の経営改善に貢献しており、担当の経営指導員が会員事業者を伴走型でサポートする体制が確立している。高齢化や人口の減少等で会員数の維持拡大は容易ではないが、今後も事業者により添った経営指導あるいは創業支援・後継者支援等により、本市商工業の発展を図っていただきたい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市内小規模事業者の経営維持や改善を図るための経営指導や各種補助金等の支援や創業セミナーの開催等により市内商工業の振興が図られており、今後も会員事業者をサポートし商工業の発展を期するため継続が必要である。
---	---

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	中小企業振興資金融資関連事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (76)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	7	施策	4 商業・サービス業の振興		期間	年度 ~ 年度			中小企業振興資金預託金	30,000
項	1	施策展開	①経営基盤を強化する		期間	年度 ~ 年度			融資制度資金保証料補助金	850
目	2	後期基本計画	30 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	116									

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 豊後大野市中小企業振興条例の規定に基づき、中小企業者等に対して必要な施策を講ずることにより、経営の改善及び経営基盤の強化の促進を図り、もって本市の商工業の発展に資することを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 豊後大野市中小企業振興資金融資規則第6条で定める融資資金として1千万円ずつ3つの取扱金融機関に預託し、この預託金を原資として金融機関から融資を受けた市内事業者に、同規則第12条で定める保証料補助金を交付する。</p>	R3	指定金融機関(大分銀行、県信用組合、豊和銀行)に1千万円ずつ預託し、指定金融機関が豊後大野市中小企業振興資金を市内事業者に貸し付ける際に必要となる保証料を、市が補助した。	R3計画 30,850			30,000	850
			当初予算 30,850			30,000	850
			決算額 30,350			30,000	350
	R4	指定金融機関(大分銀行、県信用組合、豊和銀行)に1千万円ずつ預託し、指定金融機関が豊後大野市中小企業振興資金を市内事業者に貸し付ける際に必要となる保証料を、市が補助した。	R4計画 30,850			30,000	850
			当初予算 30,850			30,000	850
			決算額 30,190			30,000	190
	R5	指定金融機関(大分銀行、県信用組合、豊和銀行)に1千万円ずつ預託し、指定金融機関が豊後大野市中小企業振興資金を市内事業者に貸し付ける際に必要となる保証料補助する制度であるが、実績はなかった。	R5計画 30,850			30,000	850
			当初予算 30,850			30,000	850
			決算額 30,000			30,000	
	R6		R6計画 30,850			30,000	850
			当初予算 30,850			30,000	850
			決算額				
	R7		R7計画 30,850			30,000	850
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 154,250			150,000	4,250
			当初予算 123,400			120,000	3,400
			決算額 90,540			90,000	540

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 取扱金融機関の数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	社	目標値	3	3	3	3	3
					実績値	3	3	3		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 資金貸付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値	3	3	3	3	3
					実績値	3	1			
					% 達成率	100	33.3			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市中小企業振興条例に基づき、産業振興対策及び創業者支援として、市内の中小企業者等が事業資金の融資を受けやすくなるための預託金と保証料補助金であり、今後も本市の産業振興及び創業者支援のために必要である。	市内の中小企業者等が事業資金の融資を受けやすくなるための預託金と保証料補助金であり、今後も本市の産業振興及び創業者支援のために必要である。

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	商業活性化支援事業補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	---------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称 商業活性化支援事業補助金(R4繰越)	当初予算額 179,804
款	7	施策	4 商業・サービス業の振興		期間	年度	年度		
項	1	施策展開	①経営基盤を強化する		期間	年度	年度		
目	2	後期基本計画	30 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	116								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市内景気の回復に向けた消費喚起及び地域の商工業者の振興による地域経済の活性化のため、豊後大野市商工会が実施するプレミアム商品券事業に要する経費に対して補助金を交付するもの。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ○ 商品券(プレミアム率30%)の販売 ○ 飲食専用商品券(プレミアム率40%)の販売</p>	R3	○レインボーシティ商品券(プレミアム率20%)の販売 ○飲食専用商品券(プレミアム率30%)の販売	R3計画 44,000 当初予算 44,000 決算額 42,254	44,000				4
	R4	○商品券(プレミアム率30%)の販売 3~5月と9~1月の2回実施 ○飲食専用商品券(プレミアム率40%)の販売 7月中旬~1月中旬 ※令和4年12月補正した179,804千円は、令和5年度に繰り越したため、ここでは計上していません。	R4計画 176,500 当初予算 176,500 決算額 272,092	152,250			24,250	28,065
	R5	○商品券(プレミアム率30%)の販売 4~8月(R4繰越)と10~1月の2回実施 ○飲食専用商品券(プレミアム率40%)の販売 7月~1月(R4繰越)に実施	R5計画 11,000 当初予算 179,804 決算額 263,459		164,072		2,719	10,278
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 当初予算 決算額	11,000				11,000
	R3 ~ R7 合計			計画額 242,500 当初予算 400,304 決算額 577,805	196,250		2,719	46,250 39,982 38,347

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 商品券等プレミアム分の額	<input type="checkbox"/> 総合戦略	52,128	千円	目標値	39,000	260,000	254,000	10,000	10,000
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	38,890	259,283	253,978		
		%			達成率	99.7	99.7	100		
D 成果指標	1 域内の消費喚起	<input type="checkbox"/> 総合計画	312,769	千円	目標値	219,000	1,110,000	833,000	110,000	110,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	218,443	1,107,021	832,431		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	99.8	99.7	99.9	

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	16点	4点	16点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
コロナ禍における商工業者支援策として実施した。今後も、コロナ禍や物価高騰に対応するために国県の交付金・補助金を最大限活用しながら、市内事業者の経営支援や市民の生活支援に役立てたい。ただし、他自治体の取組状況を確認し、事業廃止を検討する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍や物価高騰が続く状況においては、域内の消費喚起や事業所の経営支援として、プレミアム商品券の販売を実施した。域内の消費を喚起し、市内事業者を支援するために必要な事業であるが、国県の交付金・補助金を最大限活用しなくては実施は厳しい。よって他自治体の取組状況を確認し、事業廃止を検討する。

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	小規模事業者経営改善資金利子補給補助事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No. (76)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 小規模事業者経営改善資金利子補給補助金	当初予算額 6,781
款	7	施策 4 商業・サービス業の振興	期間 年度 ~ 年度				
項	1	施策展開 ①経営基盤を強化する					
目	2	後期基本計画 30 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	116						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的> 小規模事業者の経営の安定と発展を図るため、株式会社日本政策金融公庫による小規模事業者経営改善資金の融資を受けた小規模事業者に対し、借り入れた融資にかかる償還利子の一部について、利子補給補助金を交付するもの。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・商工会から請求のあった各債務者の償還利子の一部を要綱に基づき補助する。</p>	R3	当該利子補給は、コロナ禍前から実施しているものであるが、令和3年度は、コロナ禍に対応した様々な低利率融資があったため、小規模事業者経営改善資金の融資実績や当該利子補給の給付額が例年より伸びなかった。	R3計画	8,942				8,942	
				当初予算	8,942				8,942
				決算額	4,919				4,919
	R4	・商工会から請求のあった各債務者の償還利子の一部を要綱に基づき補助した。 ・補助要綱を改正し、事業実施期間を延長した。	R4計画	6,168				6,168	
				当初予算	6,168				6,168
				決算額	3,661				3,661
	R5	・商工会から請求のあった各債務者の償還利子の一部を要綱に基づき補助した。	R5計画	9,000				9,000	
				当初予算	6,781				6,781
				決算額	3,518				3,518
	R6		R6計画	6,354				6,354	
				当初予算	6,354				6,354
				決算額					
	R7		R7計画	9,000				9,000	
				当初予算					
			決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	39,464				39,464	
			当初予算	28,245				28,245	
			決算額	12,098				12,098	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 新規借入件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	46	件	目標値	50	50	50	50	50
					実績値	29	36	39		
					% 達成率	58	72	78		
D 成果指標	1 新規借入額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	290,000	千円	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
					実績値	125,400	234,700	277,650		
					% 達成率	41.8	78.2	92.6		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	17点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点
			17点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 コロナ禍に対応した国県や金融機関等による低利な融資が多数あり、コロナ前と比較すれば給付額が減少傾向であるが、それらの融資条件に合わない(コロナとは直接関係ない)融資が必要な事業者がいるほか、過去に融資を受けた事業者の利子補給も必要のため、引き続き実施する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 市内小規模事業者が、事業継続と経営の安定を図るために利用する融資に対して、市が行う利子補給は、今後も事業者の支援として必要である。

I 令和7年度の事業の方向性 A. 現状のまま継続

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	ものづくり生産性向上緊急促進事業補助	終了年度	R5
----	---------	-----	---------	--------	--------------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策	4 商業・サービス業の振興		期間	年度 ~ 年度		
項	1	施策展開	②商業・サービス業を活性化する					
目	2	後期基本計画	30 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	116							

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 新型コロナウイルス感染拡大の影響で経営状況が悪化した中小企業や個人事業主の支援。 <令和5年度の取組内容(計画)> ものづくり生産性向上緊急促進事業	R3	国が実施するものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金を活用した設備投資等の事業が完了したものに本市補助金を7件交付した。	R3計画 8,750	3,000			5,750
			当初予算 8,750	3,000			5,750
			決算額 8,265	3,000			5,265
	R4	国が実施するものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金を活用した設備投資等の事業が完了したものに本市補助金を13件交付した。	R4計画 20,000	14,000			6,000
			当初予算 20,000	14,000			6,000
			決算額 12,943	12,000			943
	R5	国が実施するものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金を活用した設備投資等の事業が完了したものに本市補助金を3件交付した。	R5計画 7,500				7,500
			当初予算 7,500				7,500
			決算額 2,719				2,719
		R6		R6計画			
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
			当初予算				
			決算額				
		R3 ~ R7 合計	計画額 36,250	17,000			19,250
			当初予算 36,250	17,000			19,250
			決算額 23,927	15,000			8,927

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 国のものづくり補助金採択件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	5	件	目標値	10	5	1		
					実績値	15	7	1		
					% 達成率	150	140	100		
D 成果指標	1 市補助金交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	件	目標値	4	12	3		
					実績値	7	13	3		
					% 達成率	175	108.3	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	15点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 感染症対応地方創生臨時交付金を充当した臨時的な補助事業であるため、令和5年度で終了した。
 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 感染症対応地方創生臨時交付金を充当した臨時的な補助事業であり、令和5年度で終了となる。

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	事業創出支援事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (82)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称 関係人口交流拠点施設指定管理委託料	当初予算額 30,000
款	7	施策 4 商業・サービス業の振興	期間		年度	年度			
項	1	施策展開 ②商業・サービス業を活性化する	期間		年度	年度			
目	2	後期基本計画 30 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画		<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	116								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 地域の住民との交流を通じて豊後大野市と多様な形で関わる人々を創出・拡大することにより、地域の活性化を図るため、豊後大野市関係人口交流拠点施設cocomioを指定管理者に管理運営させる。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 指定管理者による施設の管理運営事業及び創業支援事業</p>	R3		R3計画					
			当初予算					
			決算額					
	R4		R4計画					
			当初予算					
			決算額					
	R5	・指定管理者による施設の管理運営を行った。 ・創業セミナーやイベント等を開催した。	R5計画	30,000	15,000			15,000
			当初予算	30,000	15,000			15,000
			決算額	30,000	15,000		2,500	12,500
	R6		R6計画	30,000	15,000			15,000
			当初予算	30,000	15,000			15,000
			決算額					
	R7		R7計画					
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	60,000	30,000		30,000	
			当初予算	60,000	30,000		30,000	
			決算額	30,000	15,000	2,500	12,500	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用者数(累積)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値			1,300	1,300	
					実績値			3,422		
					% 達成率			263.2		
2 参加者数(累積)	拠点施設で行うセミナー等の参加者数(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値			100	100	
					実績値			170		
					% 達成率			170		
D 成果指標	1 事業創出数(累積)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値			5	7	
					実績値			8		
					% 達成率			160		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	16点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	4点
			17点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
関係人口交流拠点施設の目的は「関係人口の創出及び拡大」「移住及び定住の促進」「企業や事業創出の支援」などとなっており、その目的を果たすため、着実に事業を実施してきた。指定管理開始後、1年半を経過し、創業件数等も増えてきたが、引き続き各種セミナーの開催に努める必要がある。今後、指定管理料に充当しているデジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生推進交付金)の交付期間が令和8年度までとなっているため、新たな財源の確保の検討する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
関係人口交流拠点施設のcocomioの設置者である市として、財源確保を踏まえ、引き続き施設の適正な維持・管理を行う必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	商工業振興事業	細事業	特産品販路拡大事業	実施計画事業	求評・商談会委託事業	終了年度	なし
----	---------	-----	-----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (81)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 4 商業・サービス業の振興				
款	7	施策展開 ②商業・サービス業を活性化する	期間 年度 ~ 年度	年度 ~ 年度	求評・商談会等実施委託料	1,000
項	1	後期基本計画 30 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	2					
決算	116					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 中小企業・小規模企業活性化基本条例第11条の地域資源の活用による産業の発展及び創出という基本方針にのっとり、中小企業者等の特産品の販路を拡大する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 〇市商工会による本市特産品の商談会を開催する。</p>	R3	〇オンライン商談会の開催 コロナ禍におけるギフト需要に特化した商談会にしたため成約数が伸びた。	R3計画 880				880
			当初予算 880				880
			決算額 880				880
	R4	〇オンライン商談会の開催 〇東京都内や大分市内での本市特産品求評会・PRの実施	R4計画 1,870				1,870
			当初予算 1,870				1,870
			決算額 1,700				1,700
	R5	〇オンライン商談会の開催 〇東京都内や大分市内での本市特産品求評会・PRの実施	R5計画 1,000				1,000
			当初予算 1,000				1,000
			決算額 1,000				1,000
	R6		R6計画 1,100				1,100
			当初予算 1,100				1,100
			決算額				
	R7		R7計画 1,000				1,000
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 5,850				5,850
			当初予算 4,850				4,850
			決算額 3,580				3,580

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 商談会開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 成約件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	件	目標値	6	7	8	9	10
					実績値	24	12	23		
					% 達成率	400	171.4	287.5		

E 評価対象外の理由 〇評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	18点	3点	17点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
本市特産品製造事業者と市商工会の経営指導員等が協議を重ねながら準備を進め、デパートや通販事業者等のバイヤーと契約が成立するなどの成果が出ている。また、新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられたことから、オンライン商談会以外にも、実店舗やイベント会場での求評会も積極的に行うことができた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
商談会等の成果の検証を行った結果、今後も本市の魅力発信のために継続する必要がある。

事業	商工業振興事業	細事業	特産品販路拡大事業	実施計画事業	ブランド認証・特産品PR事業	終了年度	なし
----	---------	-----	-----------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (81)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 県公式オンラインショップ販促事業委託料 催事出展業務委託料 催事出展用会場等備品借上料 ブランド認証事業者販路拡大活動補助金	当初予算額 2,000 1,500 1,050 2,000
款	7	施策 4 商業・サービス業の振興				
項	1	施策展開 ②商業・サービス業を活性化させる				
目	2	後期基本計画 30 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	116					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市内で生産された、農林水産物等を活用した加工品等の商品を豊後大野市ブランドとして認証するなどして、広く情報発信することで、消費拡大、地域産業の振興、地域経済の活性化を図るとともに、豊後大野市の魅力を向上させることを目的としています。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ○新規ブランド認証品の審査選定 ○市外・県外のデパートやイベント会場等での本市産品のPR ○県公式オンラインショップ販促事業委託(本市産品への割引クーポン付与) ○ブランド認証事業者の支援</p>	R3	○ブランド認証審査会を開催し、新規ブランド認証品を5商品選定した。 ○京王百貨店で豊後大野市ブランド認証品フェアを開催したり、博多大丸百貨店と本市の魅力発信に関する協定書を締結するなどした。	R3計画 10,795 当初予算 10,795 決算額 9,162				10,795	
	R4	○新規ブランド認証品の審査選定 ○県公式オンラインショップ販促事業委託(本市産品への割引クーポン付与) ○PRイベント等実施委託	R4計画 10,390 当初予算 10,390 決算額 8,410	3,000			5,410	
	R5	○新規ブランド認証品の審査選定 ○県公式オンラインショップ販促事業委託(本市産品への割引クーポン付与) ○PRイベント等実施委託	R5計画 10,000 当初予算 11,184 決算額 5,107				10,000	
	R6		R6計画 11,493 当初予算 10,368 決算額				11,493	
	R7		R7計画 10,000 当初予算 決算額				10,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 52,678 当初予算 42,737 決算額 22,679	3,000			52,678 42,737 19,679

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ブランド認証審査会数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1		
					% 達成率	100	100	100		
2 特産品フェア参加回数	市外・県外のデパートやイベント会場等における特産品フェア等(例:新宿高野フェア、日本野菜ソムリエコンベンション、大分都市広域圏イベント)で、本市が経費の一部を負担して特産品を出展した回数(数日間連続で行われるものも1回でカウントする)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	2	5	7	10
					実績値	2	13	4		
					% 達成率	200	650	80		
D 成果指標	1 ブランド認証品数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	9	品	目標値	15	20	30	40	50
					実績値	14	24	26		
					% 達成率	93.3	120	86.7		
2 ブランド認証品販売実績額	豊後大野市ブランド認証商品の各年度内販売実績額の合計	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		千円	目標値	10,000	15,000	17,000	18,000	20,000
					実績値	14,000	20,506	18,132		
					% 達成率	140	136.7	106.7		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点	
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点	18点	3点	17点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
豊後大野市ブランド認証制度も4年度目となり、新たに2商品2事業者が認証され、全部で26商品12事業者となった。また、県公式オンラインショップでの本市産品への割引付与や市外県外イベントでの本市特産品のPR・販売等により、市外の方へ本市の魅力を発信できた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市ブランド認証制度を検証した結果、今後も引き続きブランド認証や特産品のPRを推進する必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	商工業振興事業	細事業	商業集積地管理事業	実施計画事業	商業集積地管理事業	終了年度	なし
----	---------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	7	施策	4 商業・サービス業の振興		期間	年度	年度			交流とにぎわいの拠点施設改修工事請負費	2,000
項	1	施策展開	②商業・サービス業を活性化化する		期間	年度	年度			交流とにぎわいの拠点施設管理委託料	1,410
目	2	後期基本計画	30 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		期間	年度	年度			光熱水費	660
決算	116										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 地域間交流の推進及びにぎわいの場を創出するとともに、利便性に優れた魅力ある商業地を形成する。 施設名: 豊後大野市交流とにぎわいの拠点施設(通称: 朝地サンサン通り)</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 各施設の維持管理及び使用料の徴収。</p>	R3	朝地町の交流とにぎわいの拠点施設(朝地サンサン通り)の維持管理を行った。	R3計画 2,809			1,691	1,118
			当初予算 2,809			1,691	1,118
			決算額 4,053			3,777	276
	R4	朝地町の交流とにぎわいの拠点施設(朝地サンサン通り)の維持管理を行った。また、屋外トイレの解体や広告塔の改修も行った。	R4計画 5,607			1,640	3,967
			当初予算 5,686			1,020	4,666
			決算額 5,686				5,686
	R5	朝地町の交流とにぎわいの拠点施設(朝地サンサン通り)の維持管理を行った。また、関係条例を廃止し、普通財産として管理することとした。	R5計画 5,070			1,321	3,749
			当初予算 5,070			1,259	3,811
			決算額 2,721			1,369	1,352
	R6		R6計画 2,667			1,321	1,346
		当初予算 2,667			1,260	1,407	
		決算額					
R7		R7計画 2,809			1,321	1,488	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 18,962			7,294	11,668
			当初予算 16,232			5,230	11,002
			決算額 12,460			5,146	7,314

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 貸付可能区画数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	件	目標値	6	6	6	6	6
					実績値	6	6	6		
					% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 貸付実行区画数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	件	目標値	6	6	6	6	6
					実績値	6	6	6		
					% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	15点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>豊後大野市交流とにぎわいの拠点施設条例に基づいて、適切に施設管理し、貸付審査委員会も適宜開催できた。当該施設の貸付地に大分県農協が設置しているAコープ朝地店は、中九州道路竹田ICまでの開通等により令和2年2月に閉店となっている。また、令和5年第4回議会において関係条例を廃止し、令和6年度より普通財産として管理することとなった。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>Aコープ朝地店の閉店等を受け、令和5年第4回議会において関係条例を廃止した。令和6年度からは、普通財産として引き続き施設管理を行う必要がある。</p>
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	企業誘致推進事業	細事業	企業誘致推進事業	実施計画事業	企業誘致推進事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	7	施策	3 工業の振興		期間	年度	年度			情報関連企業誘致促進事業補助金	4,000
項	1	施策展開	①企業誘致を推進する		期間	年度	年度			印刷製本費	776
目	2	後期基本計画	28 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当								
決算	117										

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 地域活力の向上や雇用の場の創出のために、企業誘致や工場企業の増設を推進する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ○工業用水の確保に向けた電気探査 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○工場等の新設・増設の推進 ○立地企業との意見・情報交換 ○企業立地案内冊子の作成・配布</p>	R3	○大分県企業立地推進課との連絡調整 ○企業ガイドブックの作成・配布 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業の工場増設等への支援 ○立地企業の本社訪問(隔年:R3年度実施)	R3計画	18,510			5	18,505
			当初予算	18,510			5	18,505
			決算額	13,902			5	13,897
	R4	○大分県企業立地推進課との連絡調整 ○企業立地案内冊子の作成・配布 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業の工場増設等への支援	R4計画	17,468			5	17,463
			当初予算	13,468			5	13,463
			決算額	13,468				13,468
	R5	○大分県企業立地推進課との連絡調整 ○企業立地案内冊子の作成・配布 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業の工場増設等への支援	R5計画	16,937			5	16,932
			当初予算	5,061			5	5,056
			決算額	582,168	1,716		570,635	9,817
	R6		R6計画	5,061			5	5,056
			当初予算	16,937	6,068		10,006	863
			決算額					
	R7		R7計画	5,061			5	5,056
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	63,037			25	63,012
			当初予算	53,976	6,068		10,021	37,887
			決算額	609,538	1,716		570,640	37,182

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 立地企業訪問回数	立地企業の工場等を訪問した回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	30	回	目標値	30	30	30	30	30
						実績値	35	37	39		
						% 達成率	116.7	123.3	130		
D 成果指標	1 立地企業数等	誘致企業の数及び企業立地促進条例第3条の指定を受けて事業所を新設又は増設した企業数(累積)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	社	目標値	7	7	8	9	10
						実績値	7	8	9		
						% 達成率	100	114.3	112.5		
E 評価対象外の理由	0 評価対象		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点	19点	4点	18点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
立地企業については、助成金による設備投資支援や過疎地域自立促進特別措置法による固定資産税の減免さえあれば、工場の増設や設備投資、それに伴う従業員の増員等が見込めることがあるので、引き続き地場企業との情報交換を続けるとともに、大分県企業立地推進課等関係機関と連携を図りながら空き工場の情報等を発信し新規の誘致を進める。	立地企業を訪問し、意見交換をするなどして情報の収集や市の情報提供に努めている。また、企業誘致を促進するための補助制度は引き続き継続する必要がある。

事業	観光振興事業	細事業	観光情報発信PR事業	実施計画事業	観光ポスター・パンフレット作成事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No. (93)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30年度 ~ R7年度	令和5年度主な歳出名称 印刷製本費	当初予算額 668
款	7	施策	5 観光の振興			
項	1	施策展開	②観光情報発信を強化する			
目	3	後期基本計画	32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	118					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 豊後大野市の地域資源や観光情報を市内外へ広く発信するため、観光パンフレットを作成し市内外に配付設置した。おでかけマップ 修正増刷 15,000部 新しい旅 修正増刷 10,000部 阿蘇くじゅう高千穂広域マップ印刷 1,625部 チューリップフェスタスタンプラリー台紙 5,000部 <令和5年度の取組内容(計画)> ・観光パンフレットの増刷(新しい旅パンフレット修正増刷(10,000部)) ・観光マップの増刷(おでかけマップ修正増刷15,000部)	R3	地域資源や観光情報を市内外へ広く発信するため、観光パンフレットを作成し市内外に配付設置した。おでかけマップ 修正増刷 15,000部 新しい旅 修正増刷 10,000部 阿蘇くじゅう高千穂広域マップ印刷 1,625部 チューリップフェスタスタンプラリー台紙 5,000部	R3計画 707 当初予算 707 決算額 890				707	
	R4	地域資源や観光情報を市内外へ広く発信するため、観光パンフレットを作成し市内外に配付設置した。おでかけマップ 修正増刷 15,000部 新しい旅 修正増刷 8,000部	R4計画 707 当初予算 631 決算額 631				707	
	R5	地域資源や観光情報を市内外へ広く発信するため、観光パンフレットを作成し市内外に配付設置した。おでかけマップ 修正増刷 15,000部 新しい旅 修正増刷 7,200部	R5計画 707 当初予算 668 決算額 665				707	
	R6		R6計画 699 当初予算 699 決算額				699	
	R7		R7計画 707 当初予算 決算額				707	
	R3 ~ R7 合計			計画額 3,527 当初予算 2,705 決算額 2,186				3,527 2,705 2,186

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 パンフレット設置箇所	市内外の観光案内所、観光施設等でのパンフレット設置箇所	<input type="checkbox"/> 総合戦略	20	箇所	目標値	25	30	35	38	40
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	25	30	35		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標 1 観光入込客数	観光入込客数(道の駅レジ客数2倍)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	130	万人	目標値	140	144	150	156	165
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	128	124	128		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	91.4	86.1	85.3		
2 観光ポータルサイトアクセス件数	ぶんご大野市の旅公社のホームページアクセス件数(令和2年度改修)	<input type="checkbox"/> 総合計画	9,515	件	目標値	50,000	65,000	80,000	90,000	100,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	70,056	99,390	122,499		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	140.1	152.9	153.1		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		20点	20点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
紙の観光マップ等はデジタル社会の時代においても誘客のツールとして必要。印刷部数は、どれも概ね1年で消費する部数を印刷している。毎年印刷を行うのは、観光に関する情報は変更が随時発生するため、毎年細かい修正を行いつつ印刷する必要がある。今年度は紙代の高騰により印刷できる部数が限られた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
紙の観光マップ等はデジタル社会の時代においてもまだ誘客のツールとして必要である。印刷部数は、どれも概ね1年で消費する部数を印刷しており、観光情報は、随時更新していかなければならないため、毎年修正して増刷をする必要があり継続して取組む必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	観光振興事業	細事業	観光情報発信PR事業	実施計画事業	広告事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------	------	----

総合計画体系図No.1 (93)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 ポッドタウンインフォメーション 広告委託料 839 iナビおおい業務委託料 374 広告料 300
会計	一般	施策 5 観光の振興		
款	7	施策展開 ②観光情報発信を強化する		
項	1	後期基本計画 32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>		
目	3			
決算	118			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 豊後大野市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するため、メディア等を活用した情報発信を行い、市民や市外からの来訪を促すとともに豊後大野市のPRやイメージアップを図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・ラジオ番組内でのスポットCM放送業務 ・インターネット、テレビ、ラジオを活用した情報発信業務 ・観光情報誌等広告掲載料</p>	R3	本市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するために、メディア等を活用した情報発信を行った。 ・ポッドタウンインフォメーション広告委託 放送回数147回 ・iナビおおい業務委託 情報掲載計187回 ・九州王国プレミアム広告 記事掲載1回	R3計画 1,513 当初予算 1,513 決算額 1,322				1,513	
	R4	本市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するために、メディア等を活用した情報発信を行った。 ・ポッドタウンインフォメーション広告委託 放送回数157回 ・iナビおおい業務委託 情報掲載計217回 ・月刊シティ情報おおい広告掲載2回 ・月刊サーン8月号広告掲載1回	R4計画 1,513 当初予算 1,513 決算額 1,508				1,513	
	R5	本市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するために、メディア等を活用した情報発信を行った。 ・ポッドタウンインフォメーション広告委託 放送回数120回 ・iナビおおい業務委託 情報掲載計189回 ・月刊シティ情報おおい広告掲載1回 ・道の駅旅案内校区掲載 1回 ・テルマエ展広告開催 (PRブース設置) 1回	R5計画 1,513 当初予算 1,513 決算額 1,513				1,513	
	R6		R6計画 1,413 当初予算 1,413 決算額				1,413	
	R7		R7計画 1,513 当初予算 決算額				1,513	
	R3 ~ R7 合計			計画額 7,465 当初予算 5,952 決算額 4,343				7,465 5,952 4,343

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 観光情報等の告知回数	メディアでの観光・イベント情報等の告知回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	20	回	目標値	25	30	35	35	35
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	25	30	35		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標 1 観光入込客数	観光入込客数(道の駅レジ客数2倍)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	130	万人	目標値	140	144	150	156	165
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	128	124	128		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	91.4	86.1	85.3		
2 観光ポータルサイトアクセス件数	ぶんど大野市の旅公社のホームページアクセス件数(令和2年度改修)	<input type="checkbox"/> 総合計画	9,515	件	目標値	50,000	65,000	80,000	90,000	100,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	70,056	99,390	122,499		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	140.1	152.9	153.1		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	20点	4点	20点
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
本市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するために、メディア等を活用した情報発信を行う必要がある。
FMラジオ、AMラジオ、インターネット、TV、雑誌と多様なメディアを活用した情報発信により、市外からの来訪を促すとともに、豊後大野市のPRが図れた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本市への誘客を促進するためには、メディア、雑誌等を活用した情報発信が必要であり、今後も事業を継続する必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	観光振興事業	細事業	観光振興事業	実施計画事業	情報発信支援事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (93)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額	
会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち			
款	7	施策	5 観光の振興			
項	1	施策展開	②観光情報発信を強化する			
目	3	後期基本計画	32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	118				会計年度任用職員報酬	3,984
					自動車等借上料	1,584
					住宅貸借料	1,040

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 豊後大野市の観光振興ビジョンの実現を目指し、観光振興を推進していくために「地域おこし協力隊」を雇用する。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・市内指定管理施設を主な活動場所とした活動 ・豊後大野市の地域資源を活用した体験型・交流型ツーリズム商品の造成 ・豊後大野市の魅力情報発信・観光振興業務	R3	令和3年度は1名の隊員が退任し、新たに3名の隊員が着任したことで隊員は4名となった。それぞれの協力隊が地域での活動を行い、協力隊フェイスブックで随時情報発信を行った。また、3月には令和3年度の活動報告会を開催した。	R3計画 23,382				23,382	
				当初予算 23,460				23,460
				決算額 14,761			7	14,754
	R4	・豊後大野市の地域資源を活用した体験型・交流型ツーリズム商品の造成 ・豊後大野市の魅力情報発信・観光振興業務 ・令和4年度の隊員数 4名 (年度末で2名が退任) ・3月 活動報告会を実施	R4計画 23,382				23,382	
				当初予算 19,481				19,481
				決算額 14,561			11	14,550
	R5	・豊後大野市の地域資源を活用した体験型・交流型ツーリズム商品の造成 ・豊後大野市の魅力情報発信・観光振興業務 ・令和5年度の隊員数 2名 (うち1名は出産による活動中断) ・3月 活動報告会を実施	R5計画 23,382				23,382	
				当初予算 10,826				10,826
			決算額 3,276				3,276	
R6		R6計画 9,210				9,210		
			当初予算 9,210				9,210	
			決算額					
R7		R7計画 23,382				23,382		
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 102,738				102,738	
			当初予算 62,977				62,977	
			決算額 32,598			18	32,580	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 活動報告会の実施	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1		
	% 達成率	100	100	100						
2 豊後大野市の情報発信	地域おこし協力隊の活動を通じ、フェイスブックやSNS等を活用し豊後大野市の情報発信を行う。	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	29	回	目標値	14	24	24	24	24
					実績値	17	48	30		
					% 達成率	121.4	200	125		
D 成果指標	1 協力隊員の定住	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2	人	目標値	1		1	3	1
					実績値	1		1		
	% 達成率	100		100						
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画								

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		18点	17点
		／25点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 地域おこし協力隊員は、各々のミッションに積極的に取り組み、観光の振興や地域の活性化に繋がっている。
 ただ、協力隊の活動がスムーズに行われるよう、市担当職員との定期的な意見交換・情報共有等を行う必要がある。
 令和2、3年度中に退任した隊員は全員市内に定住している。
 また、令和4年度末で退任した2名のうち1名は、市内でツーリズム事業を行っており、地域おこし協力隊の活動が、市内での新たな事業に結びついている。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 定住へとつながる地域おこし協力隊は、地域の魅力情報発信や地域力の維持・地域の活性化等に取り組む必要があり、引き続き事業展開が必要である。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	観光振興事業	細事業	ジオプロジェクト推進事業	実施計画事業	ジオプロジェクト推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No. (389)		会計 一般	政策 VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち	個別計画名 おおいた豊後大野ジオパーク基本計画 期間 H29年度 ~ R2年度	令和5年度主な歳出名称 ジオパーク推進協議会 会計年度任用職員報酬 ジオサイト・サイン作成設置業務委託料 おおいたジオパーク推進事業負担金	当初予算額	
款	7	施策	1 ジオ・自然との共生				5,200
項	1	施策展開	②ジオパーク基本計画の推進				2,880
目	3	後期基本計画	98 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				1,000
決算	118						750

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> ジオパーク基本計画に基づきジオサイトの保護・保全するとともに、市民への啓発・普及活動により次世代に継承する。また、ジオサイトと道の駅や食を絡めた「体験型」・「交流型」の商品を造成し地域経済の活性化を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・普及啓発、教育活動の推進 ・ジオサイトの保護保全活動の推進 ・持続可能な発展のための活動の推進 ・ジオサイトサイン作成・設置事業</p>	R3	ジオパーク訪問者を拠点施設やジオサイト等へ案内するための案内看板を市内14か所に設置した。また、ジオパーク専門員を雇用し、学術研究や防災などの専門的活動を行った。また、ジオパーク活動を行うジオパーク推進協議会へ負担金を支出した。	R3計画 12,807 当初予算 12,807 決算額 12,875	1,000		6,000	5,807	
	R4	・ジオサイト・サイン作成・設置業務 案内看板等を市内3か所に設置 ・ジオパーク専門員を雇用 学術研究や防災などの専門的活動を行った。 ・ジオパーク推進協議会負担金 おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会への負担金支出	R4計画 9,707 当初予算 11,111 決算額 10,563	500		5,000	4,207	
	R5	・ジオサイト・サイン作成・設置業務 案内看板等を市内3か所に設置 ・ジオパーク専門員を雇用 学術研究や防災などの専門的活動を行った。 ・ジオパーク推進協議会負担金 おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会への負担金支出	R5計画 9,707 当初予算 11,113 決算額 10,447	500		5,000	4,207	
	R6		R6計画 9,830 当初予算 11,124 決算額	500		5,000	4,330	
	R7		R7計画 12,807 当初予算 決算額	1,000		6,000	5,807	
	R3 ~ R7 合計			計画額 54,858 当初予算 46,155 決算額 33,885	3,500		27,000	24,358

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7		
C 活動指標	1 ジオガイド養成講座の開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1	1	1		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	1				
	% 達成率	100			100	100						
2 ジオパークフレンドショップ事業説明会等開催数	フレンドショップ事業説明会・既存事業所との会議数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1	1	1		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値			1				
		% 達成率					100					
D 成果指標	1 ジオガイド認定者数(累積)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	97	人	目標値	105	110	120	125	130		
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	97	112	130				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	92.4	101.8	108.3				
	2 ジオパークフレンドショップ事業所数(累積)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画			35	事業所	目標値	37	39	41	43	45
		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略					実績値	34	36	35		
		<input type="checkbox"/> 個別計画					% 達成率	91.9	92.3	85.4		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	20点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	3点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>再認定審査の結果を受け、令和5年度は、拠点施設の名称を「豊後大野市資料館ジオパークミュージアム」に変更した。 また、認定から10周年を迎え、開催した記念事業では県内各地から180名の来場があり、域外の方に本市ジオパークを認知してもらえた。 今後も、令和7年度の再認定審査に向け、課題の解決を図っていく。 ジオガイド養成講座の開催により、令和5年度に新たに18名が認定され、累計は130人となり、活動の輪が着実に広がりを見せている。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>ジオパークの基本理念である、「教育」・「保護・保全」・「持続可能な発展」を基本として各種事業に取り組んでいる。また、今年度はガイド養成講座をガイド認定まで行うことができた。今後も普及啓発、教育活動を中心に事業展開をする必要がある。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	観光振興事業	細事業	エコパーク推進事業	実施計画事業	エコパーク推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (393)		会計 一般	政策 VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策	1 ジオ・自然との共生				
項	1	施策展開	③ユネスコエコパーク事業の推進				
目	3	後期基本計画	98 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	118						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> ユネスコエコパークの普及啓発や自然に触れるイベントの実施や、ユネスコエコパークエリアであることを周知する看板などを設置することで、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」の普及啓発や、豊後大野市の宝である「豊かな生物多様性に育まれた自然の恵み」を将来に引き継ぐことを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・機械器具費(祖母山麓尾平青少年旅行村エアコン導入) ・川上溪谷吊改修工事請負費 ・滞泊峡階段手すり改修工事請負費 ・ユネスコエコパーク体感ツアー業務委託</p>	R3	エコパークを広く周知するため、周遊看板を計6箇所設置した。また、ジオパークと共同でオンラインシンポジウムを開催した。そのほか、エコパークの仕組みや生物多様性の保全に理解を深めるツアーを行った。	R3計画 6,442	2,031	4,000	411	
			当初予算 6,442	2,031	4,000	411	
			決算額 5,099	1,882	3,000	217	
	R4	エコパークエリア内の観光施設の整備・点検を行うことにより、安全な自然体験に機会の創出に繋がった。 ・ロッジきよかわ(テラス整備工事、プレハブ倉庫購入、ビニールカーテン更新工事、網戸設置工事) ・川上溪谷吊橋保守点検 3カ所	R4計画 7,000			7,000	
			当初予算 11,093	3,300	4,782	3,011	
			決算額 11,815	1,680	3,034	7,101	
	R5	エコパークエリア内の設備や施設に対し、誘客促進のため修繕等を行った。また、イベントやツアーを実施し、エコパークエリアの自然体験や、啓発につながった。 ・修繕等(祖母山麓尾平青少年旅行村 エアコン10台導入、川上溪谷第1・2吊橋修繕、滞泊峡階段手すり(木柵)改修)	R5計画 6,500			6,500	
			当初予算 7,588	1,736	2,200	3,652	
			決算額 6,487	1,773	2,700	2,014	
	R6		R6計画 2,165	405		1,760	
		当初予算 3,228	405	2,000	823		
		決算額					
		R7計画 6,500			6,500		
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 28,607	2,436	4,000	22,171	
			当初予算 28,351	7,472	12,982	7,897	
			決算額 23,401	5,335	8,734	9,332	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 エコパーク普及啓発イベント、自然学習会の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	3	4	4	4	4
					実績値	3	2	2		
					% 達成率	100	50	50		
D 成果指標	1 エコパーク普及啓発活動、自然学習会参加者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	15	人	目標値	70	340	460	580	700
					実績値	57	319	213		
					% 達成率	81.4	93.8	46.3		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点		3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	17点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	25点	4点
			18点
			25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>新型コロナウイルスの5類への移行を受け、イベント開催がコロナ前の水準に戻りつつある中で、観光施設の整備、点検を行うなど、受入環境の整備は着実に進んでいる。なお、令和5年度に予定していた生物多様性ふんごおの戦略の見直しは、国の策定が遅れたため令和6年度に実施するが、策定内容については令和2年度の事務事業の見直しにより縮小したものを作成する。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会で「保全」、「学術研究」、「持続可能な発展」に関する各種事業に取り組んでいる。また、観光施設の整備、点検を行うなど受入環境の整備も進んでおり、エコパークの普及啓発活動も行っている。引き続き協議会の事業に取組むとともに、市独自の事業を継続していく必要がある。</p>
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	スポーツツーリズム推進事業	細事業	交流人口拡大事業	実施計画事業	スポーツツーリズム事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	----------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No. (94)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額		
款	7	施策	5 観光の振興			団体宿泊助成事業委託料	4,500
項	1	施策展開	②観光情報発信を強化する			PRイベント等実施委託料	1,600
目	3	後期基本計画	32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			スポーツ大会等誘致・開催促進事業委託料	500
決算	119					講師謝礼金	500

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 総合スポーツ施設を核とした本市のスポーツ資源や観光資源等を活用し、スポーツ合宿・大会・イベント等の誘致や開催支援等に取り組み、スポーツ振興による地域の魅力向上や交流人口の拡大等による地域経済の活性化を図る</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・団体宿泊助成事業 スポーツ合宿等を行う団体を誘致する。 ・PRイベント等実施委託 地域交流イベントの実施やサイクルイベント等を実施する ・スポーツ大会等誘致・開催促進事業 市外からの大会等参加者の人数に応じて本市特産品を贈呈し、本市の魅力を発信する。</p>	R3		R3計画				
			当初予算				
			決算額				
	R4		R4計画				
			当初予算				
			決算額				
	R5	スポーツツーリズム推進のための事業 ・スポーツ合宿、大会、イベントの誘致 ・スポーツ・アウトドアツーリズムの推進 ・ポータルサイト等による情報発信 ・プロスポーツ団体による講習会 ・日本スポーツツーリズム推進機構負担金	R5計画				
			当初予算	7,351		5,500	1,851
			決算額	7,185		6,500	685
	R6		R6計画	9,007			9,007
		当初予算	9,007		7,010	1,997	
		決算額					
R7		R7計画					
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	9,007			9,007
			当初予算	16,358		12,510	3,848
			決算額	7,185		6,500	685

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 スポーツ合宿誘致活動	スポーツ合宿の誘致活動回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値			1	1	1
					実績値			1		
	%	達成率			100					
	2		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値					
実績値										
%	達成率									
D 成果指標	1 スポーツ合宿者数	スポーツ合宿者数(累計)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値			8,000	8,000	8,000
					実績値			7,553		
	%	達成率			94.4					
	2		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値					
実績値										
%	達成率									

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		17点	18点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市内のスポーツ施設や観光資源等を活用し、スポーツ合宿、大会、イベント等の誘致や開催に努めた。 また、スパカール大分との連携協定により、サイクルスポーツの振興や自転車を活用した地域づくりを実施した。 令和6年度以降も、スポーツツーリズムの活動方針に沿った各種取組を推進する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 スポーツ合宿・大会・イベント等の誘致や開催に努めており、スポーツツーリズムが展開されている。今後もスポーツツーリズムの活動方針に沿った各種取組を推進する必要がある。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	観光誘客促進事業	細事業	誘客対策強化事業	実施計画事業	誘客対策強化事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No. (101)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	7	施策	5 観光の振興		期間	年度 ~ 年度			サウナのまち推進事業委託料	6,000
項	1	施策展開	④新しい観光のあり方への取組		期間	年度 ~ 年度			DC推進事業委託料	3,500
目	3	後期基本計画	32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当		期間	年度 ~ 年度			観光PR事業委託料	1,927
決算	120									

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的></p> <p>・「サウナのまち・豊後大野」の定着と本市への誘客促進、地域活性化を図る</p> <p>・福岡・大分DCやインバウンドの復活など、観光ビジネスの拡大・定着によって、地域の経済活性化につなげる</p> <p>・観光PR事業</p> <p>メディアを活用し観光資源等を県内へPRする</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <p>・サウナのまち推進事業委託</p> <p>・デスティネーションキャンペーン推進事業委託</p> <p>・観光PR事業委託</p>	R3	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済支援策として、宿泊対策事業を行った。また、メディアを活用した観光誘客PR事業を行い誘客促進が図れた。地域資源活用促進事業はサウナのまちPR用ロゴを作成するなど、「サウナのまち」の定着に繋げた。	R3計画 7,208	7,208			
	R4	①サウナのまち推進事業委託料 ・パンフレット 5,000部作成ほか ・サウナのまち誘客キャンペーン実施 ・宿泊料金の増徴 300,000円ほか ②アウトドアサウナ整備支援事業補助金 助成件数 3件 ③観光PR事業 ・スタンダラリー 春先クーポン使用率 252/200部 秋先 278/500部 ・TOS統一わくワイド 放送回数 10回	R4計画	7,736	5,000	900	1,836
	R5	①サウナのまち推進事業委託料 ・パンフレット増刷 10,000部ほか ・サウナのまち誘客キャンペーン実績 クーポン換金 455/4,000枚 ②アウトドア・サウナ整備支援事業補助金 助成件数 6件 ③観光PR事業 ・TOS統一わくワイド 放送回数12回	R5計画	16,027		8,000	8,027
	R6		R6計画	6,907		3,000	3,907
	R7		R7計画				
	R3 ~ R7 合計			計画額 14,115	7,208	3,000	3,907
				当初予算 37,878	12,208	11,900	13,770
			決算額 21,840	6,000	10,200	5,640	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 宿泊対策事業商品券取扱事業所登録件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	84	か所	目標値					
					実績値	65				
					% 達成率					
2 メディアを通じた情報発信回数	テレビを通じ毎月1回市内の観光情報等をPRする。	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	9	10	12	12	12
					実績値	9	10	12		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 宿泊対策事業助成件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	782	泊	目標値	900				
					実績値	829				
					% 達成率	92.1	—	—		
2 サウナ利用者数	市内アウトドアサウナ事業者におけるアウトドアサウナ利用者の合計	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	834	人	目標値	4,000	8,000	10,000		
					実績値	4,214	8,725	9,643		
					% 達成率	105.4	109.1	96.4		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	3点
		21点	19点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 サウナ関連については、国内各地でサウナに取り組む事業者や地域が乱立する中「サウナのまち」の定着と誘客促進及び地域活性化に繋げるため、新たな展開が必要とされる。そのため、令和6年度もサウナ関連事業を行う。メディアを活用した情報発信は、TVを通じて広く県内に情報発信を行うことが出来るため、今後も継続して行う。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 観光関連事業者を支援するために、宿泊対策事業やメディアを活用したPR事業等は一定の成果を上げることができた。また、新たな観光資源の「サウナ」の取組は、市内のサウナ施設も10施設となり、新たな観光客を呼び込むことができ成果が表れた。今後も引き続きサウナのまちの定着に向け、事業を継続して取り組む必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	観光振興補助事業	細事業	観光イベント補助金	実施計画事業	観光イベント補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	7	施策	5 観光の振興		期間	年度 ~ 年度		
項	1	施策展開	②観光情報発信を強化する					
目	3	後期基本計画	32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	121							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市内各地で実施される観光イベント等に補助し、地域の振興を図る</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 観光イベントに対し、補助金を交付する。対象団体数 20</p>	R3	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各イベントは令和2年度に引き続き中止や縮小が相次いだ。それに伴い集客者数も落ち込んでいる。イベント補助金対象事業数 20 うち中止数 13	R3計画 32,194 当初予算 32,194 決算額 17,183			32,100	94	
	R4	長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度に引き続き中止や縮小となるイベントが発生した。それに伴い集客者数も落ち込んでいる。イベント補助金対象事業数 20 うち中止数 8 来場者数計 118,657人	R4計画 31,715 当初予算 34,172 決算額 24,415			31,715	1,172	
	R5	新型コロナウイルスによる事業への影響が少なくなり、中止していたイベントの再開や、落ち込んでいた集客数の回復が見られた。イベント補助対象事業数20 うち中止数1 来場者数計127,362人	R5計画 31,077 当初予算 35,172 決算額 30,582			31,077	2,172	
	R6		R6計画 34,857 当初予算 34,857 決算額			3,300	31,557	
	R7		R7計画 31,077 当初予算 決算額			31,077		
	R3 ~ R7 合計			計画額 160,920 当初予算 136,395 決算額 72,180			129,269	31,651

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 イベント補助金対象団体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	19	団体	目標値	20	20	20	20	20
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	20	20	20		
		% 達成率			100	100	100			
D 成果指標	1 観光イベント集客数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	7.7	万人	目標値	10	15	20	21	22
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	5.3	11.8	12.7		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	53	78.7	63.5		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業は F~I 欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	22点	4点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナの5類への移行を受け、イベント開催がコロナ前の水準に戻りつつある。若者等の流出による高齢化・人口減少が進む中、地域の活力を維持するために、今後も各種イベント実施に対し、継続して補助する必要がある。	コロナの影響でイベントが中止となったいたが、今年度はほとんどのイベントが再開し地域の活性化が図られた。また、物価高騰に伴い補助金の見直しも行った。今後も各種イベントを実施するため、継続して補助する必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	観光振興補助事業	細事業	里の旅公社補助事業	実施計画事業	里の旅公社補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (88)	会計 一般	政策 I	豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 里の旅公社補助金	当初予算額 13,800
款 7	施策 5	観光の振興				
項 1	施策展開 ①	里の旅の商品化				
目 3	後期基本計画 32 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算 121						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 豊後大野市の本質的価値である「豊かな水と恵の大地」の恩恵をうけた観光資源を活かした豊後大野市ならではの旅のスタイル「里の旅」を提供することを通じて、豊後大野市観光振興ビジョンの実現を目指す組織に対し補助を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> ぶんご大野市の旅公社へ運営補助金を交付する。	R3	ぶんご大野市の旅公社に運営補助金を補助した。公社では補助金により各種事業を展開した。主な事業・情報発信事業・観光まちづくり活性化事業・観光案内所運営事業	R3計画 13,800			13,800	
			当初予算 13,800			13,800	
			決算額 13,800			13,800	
	R4	ぶんご大野市の旅公社に運営補助金を補助した。公社では補助金により各種事業を展開した。主な事業・情報発信事業・観光まちづくり活性化事業・観光案内所運営事業	R4計画 13,800			13,800	
			当初予算 13,800			13,800	
			決算額 13,800			13,800	
	R5	ぶんご大野市の旅公社に運営補助金を補助した。公社では補助金により各種事業を展開した。主な事業・情報発信事業・観光まちづくり活性化事業・観光案内所運営事業	R5計画 13,800			13,800	
			当初予算 13,800			13,000	800
			決算額 13,800			13,000	800
	R6		R6計画 13,800			13,800	
			当初予算 13,800			13,800	
			決算額				
	R7		R7計画 13,800			13,800	
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 69,000			69,000	
			当初予算 55,200			54,400	800
			決算額 41,400			40,600	800

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ホームページ・SNSでの情報発信回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	55	回	目標値	120	130	140	150	160
					実績値	142	167	232		
					% 達成率	118.3	128.5	165.7		
2 ツーリズム推進会議実施回数	観光関連事業者が参加するツーリズム推進会議の実施回数(令和3年度設立)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値		3	4		
					% 達成率		150	200		
D 成果指標	1 ホームページアクセス件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	9,515	件	目標値	50,000	65,000	80,000	90,000	100,000
					実績値	70,056	99,390	120,383		
					% 達成率	140.1	152.9	150.5		
2 会員数	ぶんご大野市の旅公社の会員数(正会員・賛助会員)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	128	人	目標値	150	170	190	210	230
					実績値	151	156	145		
					% 達成率	100.7	91.8	76.3		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	21点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点
			20点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
情報発信については、発信数の増加により公社ホームページのアクセス数等は増加している。R6年度から市職員を研修派遣することにより、市とのより一層の連携が期待される。加えて、今後控えている観光協会への名称変更並びに事務所のJR三重町駅舎内への移転を契機に、より一層の観光客の獲得に取り組む必要がある。	里の旅公社は、観光振興ビジョンの実現に向け市と連携して取り組む組織であり、観光関連事業者との連携によるツーリズム商品の造成や情報発信等の業務を担ってきた。今後も里の旅公社運営のための補助金は継続して交付する必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	観光施設管理事業	細事業	観光施設一般管理事業	実施計画事業	観光施設一般管理事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (97)		会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名 豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 リバーパーク犬飼指定管理委託料 4,048 祖母山麓尾平青少年旅行村指定管理委託料 4,997 井崎河川公園キャンプ場指定管理委託料 2,447 祖母山九合目山小屋管理委託料 2,000	当初予算額
款	7	施策 5 観光の振興				
項	1	施策展開 ③観光拠点の整備・活用				
目	4	後期基本計画 32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	122					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 休憩、観光情報の取得、飲食、お土産品の購入などを行うことが出来る観光拠点の整備、活用を行うことで、市の来訪者の満足度を高め、ひいてはリピート客の増加による交流人口の増加を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・市内の3観光施設の指定管理業務 ・祖母山九合目山小屋管理委託 ・用作公園外観光施設管理</p>	R3	市内観光施設利用者の安全確保と利便性を図るため、施設の維持管理を適切に行った。管理対象施設数 観光施設・トイレ等 33 指定管理施設 4 計37	R3計画 35,444	312	203	34,929	
			当初予算 35,444	312	203	34,929	
			決算額 37,802	318	230	37,254	
	R4	市内観光施設利用者の安全確保と利便性を図るため、施設の維持管理を適切に行った。管理対象施設数 観光施設・トイレ等 33 指定管理施設 4 計37	R4計画 35,444	312	203	34,929	
			当初予算 34,344	317	241	33,786	
			決算額 36,148	318	427	35,403	
	R5	市内観光施設利用者の安全確保と利便性を図るため、施設の維持管理を適切に行った。管理対象施設数 観光施設・トイレ等 40 指定管理施設 3 計43	R5計画 35,444	312	203	34,929	
			当初予算 33,067	317	312	32,438	
			決算額 33,992	318	419	33,255	
	R6		R6計画 13,492	317		13,175	
		当初予算 34,263	317	220	33,726		
		決算額					
	R7		R7計画 35,444	312	203	34,929	
		当初予算					
		決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額 155,268	1,565	812	152,891	
			当初予算 137,118	1,263	976	134,879	
			決算額 107,942	954	1,076	105,912	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 定期的な施設の点検 各観光施設について定期的な点検等を年1回行う	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	回	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	1		
		%			達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 4つの観光施設の利用者数 市内4つの指定管理を行っている観光施設の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	15,476	人	目標値	15,500	15,500	16,000	16,100	16,200
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	23,000	25,951			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	148.4	167.4		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画	目標値							
		<input type="checkbox"/> 総合戦略	実績値							
		<input type="checkbox"/> 個別計画	%	達成率						

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	20点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	25点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 施設の適正な維持管理により、交流人口の増加や地域活性化が図られている。一方で、施設は市町村合併前に設置されたものも多く、老朽化しているため、今後維持管理費の増加も見込まれる。各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市として施設の適正な管理に努めなければならない一方で、古い観光トイレや公園等の施設も多く、経年劣化による不具合が多く発生し、毎年修繕費が増加傾向にある。今後は管理する施設の見直しを検討しなければならないが、来訪者の満足度を高めリピート客等の交流人口の増加を図る必要があるため、維持管理については継続する必要がある。
--	---

事業	観光施設管理事業	細事業	観光施設整備事業	実施計画事業	観光施設整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No. (97)	会計 一般	政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	豊後大野市観光振興ビジョン	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款 7	施策 5 観光の振興	施策展開 ③観光拠点の整備・活用	期間	H30年度～R7年度	井崎河川公園キャンプ場水源整備工事請負費	7,026
項 1					原尻の滝周辺遊歩道測量設計等委託料	3,022
目 4					能場公園水源確保工事請負費	1,342
決算 122		後期基本計画 32 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> コロナ充当				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 休憩、観光情報の取得、飲食、お土産品の購入などを行うことが出来る観光拠点の整備、活用を行うことで、市の来訪者の満足度を高め、ひいてはリピーター客の増加による交流人口の増加を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・井崎河川公園キャンプ場水源整備工事 ・原尻の滝周辺遊歩道測量設計等委託 ・原尻の滝周辺遊歩道改修工事 ・能場公園水源確保工事</p>	R3	観光施設の整備、修繕を行った。令和3年度主な事業・三ノ岳なかよしパーク解体工事・用作公園トイレ整備工事・指定管理施設備品購入・リバーパーク犬飼施設改修工事	R3計画 76,429	9,619	33,200	4,000	29,610	
			当初予算 76,421	9,619	33,200	4,000	29,602	
			決算額 61,132	7,200	16,200	4,010	33,722	
	R4	主な工事実績 ・白鹿山展望所トイレ整備工事 工事費 19,199,999円 ・師田原ダム管理棟トイレ解体工事 工事費 4,361,500円 ・リバーパーク犬飼施設改修工事 工事費 2,671,900円	R4計画 19,249				19,249	
			当初予算 38,588	20,500		2,000	16,088	
			決算額 36,468	17,500		2,000	16,968	
	R5	主な工事実績等 ・井崎河川公園キャンプ場水源整備工事 工事費 6,193,000円 ・原尻の滝周辺遊歩道測量設計等委託 委託費 3,025,000円 ・能場公園水源確保工事 工事費 1,276,000円	R5計画 11,600				11,600	
			当初予算 18,551			10,000	8,551	
			決算額 23,901	1,723			22,178	
	R6		R6計画 24,085				24,085	
			当初予算 26,457			250	26,207	
			決算額					
	R7		R7計画 11,600				11,600	
		当初予算						
		決算額						
R3～R7合計			計画額 142,963	9,619	33,200	4,000	96,144	
			当初予算 160,017	30,119	33,200	16,250	80,448	
			決算額 121,501	26,423	16,200	6,010	72,868	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 定期的な施設の点検	各観光施設について定期的な点検等を年1回行う <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 4つの観光施設の利用者数	市内4つの指定管理を行っている観光施設の利用者数 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	15,476	人	目標値	15,500	15,500	16,000	16,100	16,200
					実績値	23,000	25,951			
					% 達成率	148.4	167.4			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		21点	20点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>観光施設の整備により、交流人口の増加や地域活性化が図られている。一方で、施設は市町村合併前に設置されたものも多く、老朽化しているため、今後維持管理費の増加も見込まれる。各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。また、整備に当たっては優先順位を付けるなど、年度毎の費用の平準化を図る必要がある。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>観光施設整備により、交流人口の増加や地域活性化が図られている。施設は古いものも多く経年劣化による老朽化が進んでいるため、今後も維持管理費の増加が見込まれる。そのため、各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。また、整備については優先順位を付けるなど、年度毎に費用の平準化を図っていく必要がある。</p>
--	--

事業	土木総務事業	細事業	土木行政事務事業	実施計画事業	法定外公共物橋梁点検委託事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No. (176)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	8	施策	1 交通ネットワークの整備		期間	年度 ~ 年度		
項	1	施策展開	①市道を整備する					
目	1	後期基本計画	52 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	123							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市民が安心して暮らせるよう、また、市民の安全を守るため、中九州横断道路及び県道三重新殿バイパスを跨道している法定外公共物の橋梁を定期的に(5年に1回)点検する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 令和5年度:20橋梁中、計画なし</p>	R3	令和3年度に20橋梁中、中九州横断道路の大野~朝地間の跨道橋について、6橋梁の点検を実施予定だったが、地元及び国土交通省との事前協議に時間を要し、業務発注に遅延が生じたため繰越事業となった。	R3計画 10,879 当初予算 10,879 決算額				10,879	
	R4	令和3年度繰越事業の中九州横断道路大野~朝地間の跨道橋6橋梁及び令和4年度事業の大岡町の跨道橋1橋梁について点検を行った。 また、大岡~大野間の跨道橋5橋梁の補修工事を行った。	R4計画 8,374 当初予算 8,374 決算額 7,126				8,374	
	R5	令和5年度:20橋梁中、活動実績なし	R5計画 当初予算 決算額					
	R6		R6計画 当初予算 決算額					
	R7		R7計画 14,608 当初予算 決算額				14,608	
	R3 ~ R7 合計			計画額 33,861 当初予算 19,253 決算額 7,126				33,861

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 法定外公共物橋梁点検箇所	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	20	箇所	目標値	20	20	27	27	27
					実績値	6	1			
					% 達成率	30	5			
D 成果指標	1 実施件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	件	目標値	6	7	7		13
					実績値		7			
					% 達成率		100			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	23点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>市民が安心して暮らせるよう、また、市民の安全を守るため、中九州横断道路及び県道三重新殿バイパスを跨道している法定外公共物の橋梁を定期的に(5年に1回)点検する必要がある。今後も引き続き、地元及び国土交通省との事前協議を計画的に行い、業務発注に遅延が生じないよう実施に向け努力する。 また、維持補修箇所が生じた場合は、速やかに予算計上し、補修工事を行う。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>橋梁の点検については、市道では5年に1回の点検が義務づけられており、それに準じて点検を行っている。特に重要な道路である、中九州横断道路及び県道三重新殿バイパスを跨道している法定外公共物の橋梁については通行の安全の確保のため、それに準じて点検を行う必要がある。 また、点検結果を基に速やかに補修を行うことで、通行の安全の確保及び補修経費の低減となる。</p>
--	---

事業	土木総務事業	細事業	土木行政事務事業	実施計画事業	法定外公共物GISデータ作成業務委託事業	終了年度	R5
----	--------	-----	----------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (177)				個別計画名 期間 R3年度 ~ R5年度	令和5年度主な歳出名称 法定外公共物GISデータ作成業務委託料	当初予算額 7,460
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち			
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備			
項	1	施策展開	①市道を整備する			
目	1	後期基本計画	52 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	123			期間	年度 ~ 年度	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 国有財産から譲与された法定外公共物位置図が、現在、紙媒体であることから、データ化することで本庁及び支所の業務をスムーズに行い、窓口対応の効率化を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 令和5年度:7地区中、2地区(大野、千歳)をGIS化してシステムに反映</p>	R3	令和3年度に豊後大野市7町の内、緒方町、朝地町、大飼町の3町の法定外公共物をGIS化システムに反映した。しかし、朝地町のごく一部については、令和4年度に持ち越しとなった。	R3計画 8,369				8,369	
				当初予算 8,369				8,369
				決算額 8,369				8,369
	R4	令和3年度の持ち越し分、朝地町の一部及び令和4年度事業分、豊後大野市7町の内、三重町、清川町の2町の法定外公共物をGIS化システムに反映した。	R4計画 5,615				5,615	
				当初予算 5,615				5,615
				決算額 5,615				5,615
	R5	豊後大野市7町の内、大野町、千歳町の2町の法定外公共物をGIS化し、システムに反映した。	R5計画 7,459				7,459	
				当初予算 7,460				7,460
				決算額 7,459				7,459
				R6計画				
			当初予算					
			決算額					
			R7計画					
			当初予算					
			決算額					
			R3 ~ R7 合計					
			計画額 21,443				21,443	
			当初予算 21,444				21,444	
			決算額 21,443				21,443	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 法定外公共物GISデータ作成箇所	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	箇所	目標値	7	7	7		
					実績値	3	2	2		
					% 達成率	42.9	28.6	28.6		
D 成果指標	1 実施地区数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		地区	目標値	3	1	3		
					実績値	3	2	2		
					% 達成率	100	200	66.7		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点	5点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>国有財産から譲与された法定外公共物位置図が、現在、紙媒体であることから、データ化することで本庁及び支所の業務をスムーズに行い、窓口対応の効率化を図ることが必要である。事業については、令和5年度をもって終了した。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>国有財産から譲与された法定外公共物の図面について、現在、紙媒体で管理している。今後の管理、利用を考えるとデジタルデータ化は必須であり、これにより問い合わせ等の対応の効率化を図ることが可能となる。当初計画どおり令和5年度で完了した。</p>
---	--

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	市道維持管理委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No. (176)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	8	施策	1 交通ネットワークの整備		期間	年度 ~ 年度		
項	2	施策展開	①市道を整備する					
目	2	後期基本計画	52 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	125							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市道の路面・側溝清掃、支障竹木処理、堆積土の除去など作業委託等により安全性の確保に努める。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 自治会の要望書をもとに、市道の安全性等を確保するため、予算の範囲内で作業委託を実施する。</p>	R3	令和3年度、市道路面・側溝清掃、支障竹木伐採作業等作業委託60件、17,729千円、また、業者・シルバー人材センター・障害者施設による市道草刈り業務委託については105路線、19,569千円です。	R3計画 37,300				37,300
			当初予算 37,300				37,300
			決算額 37,298				37,298
	R4	令和4年度、市道路面・側溝清掃、支障竹木伐採作業等作業委託47件。また、業者・シルバー人材センター・障害者施設による市道草刈り業務委託については11件、37,125千円です。	R4計画 37,300				37,300
			当初予算 37,300				37,300
			決算額 37,125				37,125
	R5	令和5年度、路面・側溝清掃、支障竹木伐採作業等作業委託76件。また、業者・シルバー人材センター・障害者施設による市道草刈り業務委託については106路線、26,439千円です。	R5計画 37,300				37,300
			当初予算 48,872				48,872
			決算額 47,110				47,110
	R6		R6計画 37,300				37,300
		当初予算 48,872				48,872	
		決算額					
R7		R7計画 37,300				37,300	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 186,500				186,500
			当初予算 172,344				172,344
			決算額 121,533				121,533

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地元要望	作業委託業務	29,300	千円	目標値	37,300	37,300	37,300	37,300	37,300
					実績値	37,298	37,125	47,110		
					% 達成率	100	99.5	126.3		
D 成果指標	1 市道維持管理委託	総事業費	37,467	千円	目標値	37,300	37,300	37,300	37,300	37,300
					実績値	37,298	37,125	47,110		
					% 達成率	100	99.5	126.3		

E 評価対象外の理由 〇評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5点	21点	20点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5点		
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	3点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	4点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	4点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
市道維持管理委託料については自治体の要望に基づき事業実施しておりますが、年々増加し、内容についても様々であり大変苦慮しておりますが、予算の範囲内で対応しております。草刈り作業委託業務につきましても、高齢化等により自治体での対応が厳しくなっているのが現状ですが、近年の件数、燃料費等の高騰もあり、令和5年度より委託料の増額をお願いしました。今後は草刈り作業従事者の確保が困難になっておりますので、自主的な市道維持管理の方法を考えていかなければならない。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市道の管理については市の責務であり、今後の適正な道路環境を保持するため、継続して事業を行うことが必要である。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	市道維持補修工事事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	8	施策	1 交通ネットワークの整備		期間	年度 ~ 年度		
項	2	施策展開	①市道を整備する					
目	2	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	125							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市道の安全性・利便性を確保するため、地元要望書により、計画的に補修・改修を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> 令和3年度事業実績 151件 令和4年度事業実績 188件	R3	令和3年度維持補修工事事業実績は169件、279,662千円であり、1件市道拡幅工事が繰越事業であります。本事業におきましても自治区要望により予算の範囲内で事業実施しております。	R3計画 300,000	300,000	123,500	150,000	26,500
			当初予算 300,000		123,500	150,000	26,500
			決算額 279,662		95,000	91,000	93,662
	R4	令和4年度市道維持補修工事請負費については188件、299,190千円の事業実績であります。	R4計画 300,000	300,000	95,000	150,000	55,000
			当初予算 300,000		109,200	150,000	40,800
			決算額 299,190	3,696			295,494
	R5	令和5年度市道維持補修工事請負費については161件、301,293千円の事業実績であります。	R5計画 300,000	300,000	95,000	150,000	55,000
			当初予算 300,000		95,000	197,000	8,000
			決算額 301,293	4,758	95,000	170,000	31,535
	R6		R6計画 300,000	300,000	95,000	150,000	55,000
			当初予算 300,000	4,928	95,000	150,000	50,072
			決算額				
	R7		R7計画 300,000	300,000	95,000	150,000	55,000
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 1,500,000		503,500	750,000	246,500
			当初予算 1,200,000	4,928	422,700	647,000	125,372
			決算額 880,145	8,454	190,000	261,000	420,691

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地元要望	維持補修工事	300,000	千円	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
					実績値	279,662	299,190	301,293		
					% 達成率	93.2	99.7	100.4		
2 -					目標値			301,293		
					実績値			301,293		
					% 達成率					
D 成果指標	1 市道維持補修工事	工事費	278,827	千円	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
					実績値	279,662	299,190			
					% 達成率	93.2	99.7			
2 -					目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	3点	3点
		22点	19点
		/25点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 市道維持補修工事については、地元要望書の提出が令和5年度分371件(作業委託業務分含む)と毎年300~400件を受け付けております。要望内容についても多岐にわたっており旧町村ごとに担当者を配置し舗装補修、排水路改修・整備、路肩補修工事等を行っておりますが、職員数の減少により大変苦慮しております。課題は自治区要望数が多い為、年度内にすべての工事実施が不可能であり次年度以降へ持ち越す案件が増加しております。今後は市道維持管理要望が多いため自治区には優先順位を伺い過年の案件、危険性が高い案件より適宜工事施工を行い、大きな事業費の要望については十分検討し事業実施する案件は補助事業等活用していきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 市道の維持管理は、市の責務であり通行の安全を確保するため継続して事業を実施することが必要である。

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	道路愛護作業補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (176)				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち				
款	8	施策	1 交通ネットワークの整備				
項	2	施策展開	①市道を整備する				
目	2	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	125			期間	年度 ~ 年度	道路愛護作業補助金	8,869

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 生活道的な市道は各地元自治区に補助金を交付し草刈り作業をお願いしている。また、バイパス的な役割の市道や高齢化等による作業困難な自治区においては市役所発注の業者草刈り作業委託により環境保全と安全性の確保を担っている。 <令和5年度の取組内容(計画)> 令和5年度 (予定) 自治区による道路愛護作業 175地区	R3	令和3年度自治区による道路愛護作業については172地区、市道草刈り延長872239mであります。	R3計画 6,400				6,400
			当初予算 6,400				6,400
			決算額 6,352				6,352
	R4	令和4年度道路愛護作業については175地区、作業延長886.8kmの作業実績であります。	R4計画 6,400				6,400
			当初予算 6,300			6,300	
			決算額 6,346				6,346
	R5	令和5年度道路愛護作業については174地区、作業延長880.3kmの作業実績であります。	R5計画 6,400				6,400
			当初予算 8,869				8,869
			決算額 8,803				8,803
	R6		R6計画 8,869				8,869
		当初予算 8,869				8,869	
		決算額					
R7		R7計画 7,000				7,000	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 35,069				35,069
			当初予算 30,438			6,300	24,138
			決算額 21,501				21,501

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 道路愛護作業	地元草刈り作業	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	169	地区	目標値	169	169	169	169
						実績値	169	175	174	
						% 達成率	100	103.6	103	
2			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値				
						実績値				
						% 達成率				
D 成果指標	1 実施件数	作業実施地区数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	169	地区	目標値	169	169	169	169
						実績値	169	175	174	
						% 達成率	100	103.6	103	
2			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値				
						実績値				
						% 達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 道路愛護作業補助金については、自治区単位で市民のみならずが市道の安全性等確保するための大切な事業であります。今後も、過疎・高齢化など厳しい現状ではありますが、地域のみならずのご協力をお願いします。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 市道の維持管理は市民の皆さんに負うところが多く、道路愛護作業についても継続して事業を実施することが重要。少子高齢化の中、また燃料費の高騰等を考えると事業を継続するためには、令和5年度より補助金交付要領の変更。

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	支障木伐採補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (175)				個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち				
款	8	施策	1 交通ネットワークの整備				
項	2	施策展開	①市道を整備する				
目	2	後期基本計画	52 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	125			期間	年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 道路交通に支障を及ぼすおそれのある竹木等の管理処理を行い道路の交通安全対策を行い自治会へ補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 令和5年度支障木伐採事業においても、多くの自治区に広く事業活用していただく。</p>	R3	令和3年度支障木伐採事業においては75地区、13,849千円であり、多くの自治区に広く事業活用していただいております。	R3計画 14,000				14,000	
				当初予算 14,000				14,000
				決算額 13,849				13,849
	R4	令和4年度支障木伐採事業においては77地区、14,487千円であり、多くの自治区に広く事業活用していただいております。	R4計画 14,000				14,000	14,000
				当初予算 14,000			14,000	
				決算額 14,487				14,487
	R5	令和5年度支障木伐採事業においては92地区、17,953千円であり、多くの自治区に広く事業活用していただいております。	R5計画 14,000					14,000
				当初予算 14,000				14,000
				決算額 17,953			2,000	15,953
	R6		R6計画 16,000				4,000	12,000
				当初予算 16,000			4,000	12,000
				決算額				
	R7		R7計画 14,000					14,000
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 72,000			4,000	68,000	
			当初予算 58,000			18,000	40,000	
			決算額 46,289			2,000	44,289	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 道路愛護作業	支障木伐採作業	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53	地区	目標値	70	70	70	70	70
						実績値	75	77	92		
						% 達成率	107.1	110	131.4		
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	1 実施件数	作業完成件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	53	地区	目標値	70	70	70	70	70
						実績値	70	77	92		
						% 達成率	100	110	131.4		
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	4点	4点
		25点	23点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>支障木伐採事業は年々多くの自治区にご利用いただき、徐々に市民の皆様へ浸透してきたと考えております。昨今の人件費、燃料費等の高騰により20万円が補助金上限でありますので、事業進捗がままならないとおもわれますが、今後もみなさんに幅広くご利用いただくよう予算の確保に努めてまいります。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市道の通行の安全の確保のため必要な事業であり、重点的に実施する必要がある。自治会からの要望が増加しており、事業の拡充が必要と考える。</p>
---	---

事業	市道維持管理事業	細事業	道路ストック点検補修事業	実施計画事業	道路ストック点検補修事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.1 (175)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額
会計	一般	施策 1 交通ネットワークの整備		
款	8	施策展開 ①市道を整備する		
項	2	後期基本計画 52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
目	2			
決算	125			長寿命化修繕計画策定委託料 20,000 道路ストック総点検業務委託料 110,000 調査設計監理委託料 122,400

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 橋梁・トンネル長寿命化修繕計画に基づき健全度、管理状況を踏まえ効率的かつ合理的な維持管理により、更新費用の平準化と維持管理コストの低減を図り安心・安全を確保する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 橋梁長寿命化修繕計画策定、橋梁点検業務(千歳・大飼)、橋梁補修調査設計業務、トンネル調査補修設計業務</p>	R3	令和3年度事業実績は定期点検(緒方町)150橋、Ⅲ判定橋梁調査設計業務17橋、越生トンネル補修工事については繰越し事業で現在施工中であります。	R3計画 240,000	137,984	54,700	47,316	
			当初予算 240,000	137,984	54,700	47,316	
			決算額 194,398	116,590	45,000	32,808	
	R4	令和4年度事業実績は定期点検(朝地、大野町)146橋、Ⅲ判定橋梁調査設計業務17橋、トンネル調査補修設計2箇所、石佛トンネル補修工事、(繰越し)越生トンネル補修工事を施工しました。	R4計画 235,000	135,520	53,580	45,900	
			当初予算 246,000	148,456	62,300	35,244	
			決算額 221,764	131,715	54,700	35,349	
	R5	令和5年度事業実績は橋梁定期点検(千歳、大飼町)101橋、橋梁長寿命化修繕計画策定業務1式、橋梁調査設計業務7橋、トンネル定期点検28トンネル、トンネル調査補修設計5トンネル実施しました。	R5計画 240,000	137,984	54,700	47,316	
			当初予算 252,400	151,783	89,800	10,817	
			決算額 255,653	154,859	51,500	49,294	
	R6		R6計画 240,000	137,984	54,700	47,316	
		当初予算 259,000	153,384	83,900	21,716		
		決算額					
R7		R7計画 240,000	137,984	54,700	47,316		
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,195,000	687,456	272,380	235,164	
			当初予算 997,400	591,607	206,800	115,093	
			決算額 671,815	403,164	151,200	117,451	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 橋梁長寿命化修繕計画 調査設計・補修工事	<input type="checkbox"/> 総合戦略	10	橋	目標値	17	15	12	8	8
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	17	17	7		
		% 達成率			100	113.3	58.3			
2 トンネル長寿命化修繕計画 調査設計・補修工事	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	トンネル	目標値	1	2	5	1	1	
	<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	2	5			
	% 達成率			100	100	100				
D 成果指標	1 実績件数 業務実施数	<input type="checkbox"/> 総合計画	3	橋	目標値	17	15	12	8	8
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	17	17	7		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	113.3	58.3		
2 実績件数 業務実施数	<input type="checkbox"/> 総合計画	1	トンネル	目標値	1	2	5	1	1	
	<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1	2	5			
	<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	22点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	25点
		18点	
		25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 橋梁・トンネルについては5年に1度長寿命化修繕計画ならびに定期点検業務を実施しており、健全度、管理状況を踏まえ効率的かつ合理的な維持管理を図り、補修費用の平準化とコストの低減を図っております。 課題としては橋梁・トンネルともに、速やかに補修工事を行う必要がある物件が山積しておりますが事業費も高額であり補助事業を活用しながら補修工事を行い安全性の確保を図ってまいります。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 道路の重要な構造物である橋梁、トンネルについては、5年に1度の定期点検が義務づけられており、継続して事業を実施していく必要がある。また、点検結果をもとに長寿命化修繕計画を策定しており、それに基づき計画的に修繕事業に着手する必要がある。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道南部幹線道路改良事業	終了年度	R12
----	----------	-----	----------	--------	--------------	------	-----

総合計画体系図No.1 (174)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R3 年度 ~ R12 年度	令和5年度主な歳出名称 調査設計監理委託料 土地等購入費 移転補償費	当初予算額 2,000 5,500 3,500
会計	一般	施策 1 交通ネットワークの整備			
款	8	施策展開 ①市道を整備する			
項	2	後期基本計画 52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	3				
決算	126				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 移転補償算出委託 一式 土地等購入費 一式 移転補償費 一式</p>	R3	測量設計L=960m	R3計画 36,000	13,390	21,400	1,210	
			当初予算 36,000	13,390	21,400	1,210	
			決算額 28,770	15,900		12,870	
	R4	用地測量業務委託 L=0.96km	R4計画 47,000	10,528	34,600	1,872	
			当初予算 23,344	13,440	11,600	-1,696	
			決算額 25,741	13,440	11,600	701	
	R5	土地等購入費 一式 移転補償費 一式	R5計画 11,000	2,464	8,100	436	
			当初予算 6,100		5,700	400	
			決算額 1,443		700	743	
	R6		R6計画 43,000	8,960	32,300	1,740	
		当初予算 43,000	8,960	32,300	1,740		
		決算額					
		R7計画 160,000	35,840	117,900	6,260		
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 297,000	71,182	214,300	11,518	
			当初予算 108,444	35,790	71,000	1,654	
			決算額 55,954	13,440	28,200	14,314	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 補助事業の確保	補助対策事業費額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		千円	目標値	10,800	18,800	40,800	40,800	64,000
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	23,911	24,000	1,443		
					% 達成率	221.4	127.7	3.5		
D 成果指標 1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画		千円	目標値	10,800	18,800	40,800	40,800	64,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	23,911	24,000	1,443		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	221.4	127.7	3.5		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
年度内契約が完了し概ね計画どおり事業実施できた。
次年度以降も計画的に事業進捗を図る必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道久原柳瀬・伏野新田線道路改良事業	終了年度	R8
----	----------	-----	----------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (174)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 H23 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額 調査設計監理委託料 4,000 工事請負費 120,000
会計	一般	施策 I 交通ネットワークの整備		
款	8	施策展開 ①市道を整備する		
項	2	後期基本計画 52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
目	3			
決算	126			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 橋梁上部工架設 L=54m</p>	R3	道路改良・舗装工事L=240m	R3計画 131,200	50,400	76,700	4,100	
			当初予算 131,200	50,400	76,700	4,100	
			決算額 115,642	25,200	76,200	14,242	
	R4	橋梁下部工事 N=2基	R4計画 60,000	13,440	44,200	2,360	
			当初予算 66,150	29,120	35,100	1,930	
			決算額 54,997	29,120	25,700	177	
	R5	立木伐採委託 一式	R5計画 126,100	26,880	94,200	5,020	
			当初予算 126,100	26,880	94,200	5,020	
			決算額 4,891	4,600	291		
	R6		R6計画 126,100	26,880	94,200	5,020	
		当初予算 126,100	26,880	94,200	5,020		
		決算額					
R7		R7計画 60,000	13,440	44,200	2,360		
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 503,400	131,040	353,500	18,860	
			当初予算 449,550	133,280	300,200	16,070	
			決算額 175,530	54,320	106,500	14,710	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保 補助対策事業費額(年度額)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	24,000	千円	目標値	25,860	24,000	40,000	44,000	24,000
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	90,000	52,000	4,891		
		% 達成率			348	216.7	12.2			
D 成果指標	1 補助事業の確保 補助対策事業費額(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画	24,000	千円	目標値	25,860	24,000	40,000	44,000	24,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	90,000	52,000	4,891		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	348	216.7	12.2		
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	11点 /25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点	2点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 工事発注計画にあたり、入札不調に終わり工事進捗が図れなかった。 次年度は工事請負契約締結が出来るように努める。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、計画的に事業を実施する。
---	---

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道中原河屋線道路改良事業	終了年度	R6
----	----------	-----	----------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.→ (174)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 H24 年度 ~ R6 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額	
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備			工事請負費 143,000
項	2	施策展開	①市道を整備する			移転補償費 4,000
目	3	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	126					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 道路改良工事 L=192m</p>	R3	道路改良工事L=235m 舗装新設工事L=65m	R3計画 158,000	67,200	86,200	4,600	
			当初予算 158,000	67,200	86,200	4,600	
			決算額 130,600	25,219	88,000	17,381	
	R4	道路改良工事 L=158m	R4計画 80,000	17,920	58,900	3,180	
			当初予算 130,200	61,880	64,800	3,520	
			決算額 74,203	40,544	31,900	1,759	
	R5	道路改良工事 L=332m 移転補償費 一式	R5計画 147,000	32,928	108,300	5,772	
			当初予算 147,000	32,928	108,300	5,772	
			決算額 72,532	38,864	31,900	1,768	
	R6		R6計画 20,000	4,256	14,900	844	
			当初予算 20,000	4,256	14,900	844	
			決算額				
	R3 ~ R7 合計			計画額 405,000	122,304	268,300	14,396
			当初予算 455,200	166,264	274,200	14,736	
			決算額 277,335	104,627	151,800	20,908	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保 補助対策事業費額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	85,073	千円	目標値	32,400	32,000	32,000	32,000	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	130,000	111,500	72,532		
		% 達成率			401.2	348.4	226.7			
D 成果指標	1 補助事業の確保 補助対策事業費額(令和6年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画	85,073	千円	目標値	32,400	32,000	32,000	32,000	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	130,000	111,500	72,532		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	401.2	348.4	226.7		

E 評価対象外の理由 〇評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
計画どおり事業実施できた。次年度以降も計画的に実施する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道米山馬背畑線道路改良事業	終了年度	R8
----	----------	-----	----------	--------	----------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R2 年度 ~ R8 年度	令和5年度主な歳出名称 調査設計監理委託料 工事請負費	当初予算額 5,000 50,000
款	8	施策	I 交通ネットワークの整備			
項	2	施策展開	①市道を整備する			
目	3	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	126					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 橋梁上部工事 L=16m</p>	R3	橋梁設計 一式	R3計画 76,000	42,000	32,300	1,700	
			当初予算 76,000	42,000	32,300	1,700	
			決算額 21,264	2,184	18,100	980	
	R4	道路改良工事 L=70m 橋梁下部工事 N=2基	R4計画 80,000	17,920	58,900	3,180	
			当初予算 61,800	28,560	31,500	1,740	
			決算額 20,500	11,480	8,500	520	
	R5	橋梁上部工事 L=16m	R5計画 55,000	12,320	40,500	2,180	
			当初予算 55,000	12,320	40,500	2,180	
			決算額 77,298	42,392	33,100	1,806	
	R6		R6計画 10,000	2,016	7,500	484	
		当初予算 10,000	2,016	7,500	484		
		決算額					
	R7		R7計画 50,000	11,200	36,800	2,000	
		当初予算					
		決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額 271,000	85,456	176,000	9,544	
			当初予算 202,800	84,896	111,800	6,104	
			決算額 119,062	56,056	59,700	3,306	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 補助事業の確保	補助対策事業費額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	12,000	千円	目標値	22,800	32,000	32,000	20,000	20,000
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	75,000	54,000	77,298		
		% 達成率			329	168.8	241.6			
D 成果指標 1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画	12,000	千円	目標値	22,800	32,000	32,000	20,000	20,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	75,000	54,000	77,298		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	329	168.8	241.6		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
計画どおり事業実施できた。次年度以降も計画的に実施する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道木浦内線道路改良事業	終了年度	R7
----	----------	-----	----------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (174)		会計 一般	政策 III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 調査設計監理委託料	当初予算額 25,000
款	8	施策	1 交通ネットワークの整備			
項	2	施策展開	①市道を整備する			
目	3	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	126					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 路線測量設計業務委託 L=265m</p>	R3	測量設計L=800m	R3計画 28,000	10,712	16,400		888
			当初予算 28,000	10,712	16,400		888
			決算額 3,424		3,200		224
	R4	用地測量業務委託 L=830m 地質調査業務委託 N=2箇所	R4計画 44,000	9,856	32,400		1,744
			当初予算 30,000	14,000	15,200		800
			決算額 12,249	5,762	6,100		387
	R5	路線測量設計業務委託 L=265m	R5計画 25,000	5,600	18,400		1,000
			当初予算 25,000	5,600	18,400		1,000
			決算額 18,770	9,968	8,300		502
	R6		R6計画 9,000	1,232	7,300		468
			当初予算 9,000	1,232	7,300		468
			決算額				
	R7		R7計画 85,000	19,040	62,600		3,360
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 191,000	46,440	137,100		7,460
			当初予算 92,000	31,544	57,300		3,156
			決算額 34,443	15,730	17,600		1,113

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	千円	目標値	8,400	17,600	36,400	48,400	34,000
					実績値	19,129	21,000	18,770		
					% 達成率	227.7	119.3	51.6		
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	千円	目標値	8,400	17,600	36,400	48,400	34,000
					実績値	19,129	21,000	18,770		
					% 達成率	227.7	119.3	51.6		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	15点	5点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
計画どおり事業実施できた。
次年度以降も計画的に実施する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引き続き、計画的に事業を実施する。

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道市万田支庫線道路改良事業	終了年度	R8
----	----------	-----	----------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (174)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	
款	8	施策	1 交通ネットワークの整備	調査設計監理委託料 20,000
項	2	施策展開	①市道を整備する	不動産鑑定委託料 2,000
目	3	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	土地等購入費 3,500
決算	126			移転補償費 2,000

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 用地測量業務委託 L=360m</p>	R3		R3計画				
			当初予算				
			決算額				
	R4	路線測量設計業務委託 L=360m 地質調査業務委託 N=2箇所	R4計画	20,000	11,200	8,360	440
			当初予算	19,506	10,681	8,300	525
			決算額	19,506	10,681	8,300	525
	R5	用地測量業務委託 L=360m	R5計画	27,500	6,160	20,200	1,140
			当初予算	27,500	6,160	20,200	1,140
			決算額	13,314	7,280	5,700	334
	R6		R6計画	11,000	1,344	9,100	556
		当初予算	11,000	1,344	9,100	556	
		決算額					
		R7計画	50,000	28,000	20,900	1,100	
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	108,500	46,704	58,560	3,236
			当初予算	58,006	18,185	37,600	2,221
			決算額	32,820	17,961	14,000	859

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対象事業費額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		目標値		20,000	50,000	50,000	50,000
					実績値		19,076	13,314		
					% 達成率		95.4	26.6		
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対象事業費額(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		目標値		20,000	50,000	50,000	50,000
					実績値		19,076	13,314		
					% 達成率		95.4	26.6		
E 評価対象外の理由	O 評価対象				目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	15点	15点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に事業進捗を図る必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、計画的に事業を実施する。
---	---

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道肝煎中央・肝煎鬼塚線道路改良事業	終了年度	R8
----	----------	-----	----------	--------	--------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (174)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 調査設計監理委託料 不動産鑑定委託料 土地等購入費	当初予算額 1,000 1,500 2,300
款	8	施策	1 交通ネットワークの整備			
項	2	施策展開	①市道を整備する			
目	3	後期基本計画	52 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	126					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 用地取得 一式</p>	R3	路線測量L=370m	R3計画 20,000		19,000		1,000
			当初予算 20,000		19,000		1,000
			決算額 8,764		8,300		464
	R4	用地測量業務委託 L=370m	R4計画 20,000		19,000		1,000
			当初予算 10,000		9,500		500
			決算額 2,394		2,200		194
	R5	不動産鑑定業務 一式 用地取得 一式	R5計画 4,800		4,500		300
			当初予算 4,800		4,500		300
			決算額 3,851		2,600		1,251
	R6		R6計画 15,100		14,300		800
		当初予算 15,100		14,300		800	
		決算額					
R7		R7計画 60,000		57,000		3,000	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 119,900		113,800		6,100
			当初予算 49,900		47,300		2,600
			決算額 15,009		13,100		1,909

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 起債事業の確保	起債対象事業費額(年度末)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		目標値	20,000	20,000	60,000	60,000	60,000
					実績値	20,000	7,000	3,851		
					% 達成率	100	35	6.4		
D 成果指標	1 起債事業の確保	起債対象事業費額(令和7年度末)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		目標値	20,000	20,000	60,000	60,000	60,000
					実績値	20,000	7,000	3,851		
					% 達成率	100	35	6.4		

E 評価対象外の理由 〇評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	15点	5点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に事業進捗を図る必要がある。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、計画的に事業を実施する。
---	---

事業	河川総務事業	細事業	準用河川管理事業	実施計画事業	準用河川管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (259)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	8	施策	8 防災対策の充実		期間	年度 ~ 年度			
項	3	施策展開	③災害対策を強化する						
目	1	後期基本計画	66 P		<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略			<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	127								
								準用河川維持工事請負費	2,000

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市管理河川の堆積土砂除去や軽微な護岸補修工事等、災害防除と景観に配慮した事業である。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 準用河川の堆積土除去、軽微な補修工事を実施する。</p>	R3	令和3年度準用河川茜川河川維持工事はコンクリート工V=23.0m3で実施済み。	R3計画 2,000				2,000
			当初予算 2,000				2,000
			決算額 1,287				1,287
	R4	準用河川古川堆積土除去工事、準用河川茜川河床維持工事の2件実施済み	R4計画 2,000				2,000
			当初予算 2,000				2,000
			決算額 1,991				1,991
	R5	準用河川茜川維持工事、池田川維持工事の2件実施済み	R5計画 2,000				2,000
			当初予算 2,000				2,000
			決算額 1,998				1,998
	R6		R6計画 2,000				2,000
		当初予算 2,000				2,000	
		決算額					
R7		R7計画 2,000				2,000	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 10,000				10,000
			当初予算 8,000				8,000
			決算額 5,276				5,276

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 維持補修要望	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	2,000	千円	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
					実績値	1,287	1,991	1,998		
					% 達成率	64.4	99.6	99.9		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 維持補修工事	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,584	箇所	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2	2		
					% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	18点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	3点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	4点	
		15点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>準用河川維持補修工事については市が管理者である河川でありますので、少ない予算のなかで自治区要望により軽微な補修工事を行っておりますが市民の要望に添うように活用してまいります。また、大規模な案件につきましては、災害復旧事業を活用し対応していきます。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>準用河川市については、市が管理する河川であり今後も継続して事業を遂行する必要があります。</p>
---	---

事業	河川総務事業	細事業	普通河川管理事業	実施計画事業	普通河川管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.→ (257)		政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	～	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額				
会計	一般	施策	8 防災対策の充実		期間	年度	～	年度						
款	8	施策展開	②災害危険区域を整備する		期間	年度	～	年度						
項	3	後期基本計画	66 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略			<input type="checkbox"/>	コロナ充当	普通河川流末排水路整備工事請負費	4,000
目	1													
決算	127													

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 県営治山事業の市管理分末排水路整備事業である。 <令和5年度の取組内容(計画)> 朝地町郷野平川流末排水路整備工事を行う。	R3	令和3年度北平川流末排水路整備工事L=90.6mについては、大分県砂防事業の完成が遅れた為、繰越し事業において工事中であります。	R3計画 12,400				12,400
			当初予算 12,400				12,400
			決算額				
	R4	R3繰越北平川流末排水路整備工事を実施済み	R4計画				
			当初予算 12,400	12,400			12,400
			決算額 11,113	11,113			11,113
	R5	郷野平川流末排水路整備工事実施済み	R5計画				
			当初予算 4,000	4,000			4,000
		決算額 2,752	2,752			2,752	
	R6		R6計画 24,090				24,090
			当初予算 24,090				24,090
			決算額				
	R7		R7計画				
			当初予算				
			決算額				
	R3 ~ R7 合計		計画額 36,490				36,490
			当初予算 52,890				52,890
			決算額 13,865				13,865

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 普通河川管理	事業費	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	12,400	千円	目標値	12,400				
						実績値		11,113	2,752		
						% 達成率					
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	1 普通河川管理	事業費	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		千円	目標値	12,400				
						実績値		11,113	2,752		
						% 達成率					
2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	3点	3点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	11点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	9点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 普通河川管理事業については継続事業ではありませんが、今後も市民の安全確保のため大分県が実施する砂防施設工事が行われており、市としても予算の確保に努めてまいります。R6についても大飼町小福手谷川砂防事業に伴う流末排水路整備工事(補償費含む)24,090千円の実施予定であります。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 県営砂防事業で実施した箇所の流末の整備事業であり、今後、この事業を実施するか県と協議が必要と思われる。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	河川総務事業	細事業	河川総務事務費	実施計画事業	河川プール管理委託事業	終了年度	R7
----	--------	-----	---------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (258)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 8 防災対策の充実				
款	8	施策展開 ②災害危険区域を整備する				
項	3	後期基本計画 66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1					
決算	127		河川プール管理委託料	749		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 白山川河川プールを安心安全に利用していただく為、堆積土砂除去及び軽微な補修工事を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> R5白山川河川プールの堆積土砂除去を行う。	R3	令和3年度については堆積土砂除去を行いました。	R3計画 748				748
			当初予算 748				748
			決算額 507				507
	R4	令和4年度白山川河川プール堆積土砂除去作業委託を実施済み	R4計画 748				748
			当初予算 749				749
			決算額 433				433
	R5	令和5年度白山川河川プール堆積土砂除去作業委託を実施済み	R5計画 749				749
			当初予算 749				749
			決算額 514				514
	R6		R6計画 749				749
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 749				749
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 3,743				3,743
			当初予算 2,246				2,246
			決算額 1,454				1,454

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 維持補修工事	堆積土砂除去	<input type="checkbox"/> 総合戦略	748	千円	目標値	748	749	749	749	749
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	507	432	514		
		% 達成率			67.8	57.7	68.6			
D 成果指標 1 実績	実施数	<input type="checkbox"/> 総合計画	748	千円	目標値	748	749	749	749	749
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	507	432	514		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	67.8	57.7	68.6		

E 評価対象外の理由 〇評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	13点	13点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 河川プール管理委託料については、子供たちの遊び場として活用していただく為河川プール内堆積土砂除去の予算でありましたが、河川プールがかなり老朽化しており、管理責任がとわれる事など想定され危険ですので、市としましても、地元白山地区の同意をいただきR6年3月末をもって大分県との管理委託契約を解除することとなりました。令和6年度については管理委託料を計上しておりません。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 白山川河川プールについては、近年、利用者数の減少と施設の老朽化が著しく、維持管理費用の増加が続いており、大分県と管理委託契約を解除、令和6年3月をもって廃止。

事業	急傾斜地崩壊対策事業	細事業	市営急傾斜地崩壊対策事業	実施計画事業	市営急傾斜地崩壊対策事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (257)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 調査設計監理委託料 市営急傾斜地崩壊対策事業工事請負費	当初予算額 19,800 104,000
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち			
款	8	施策	8 防災対策の充実			
項	3	施策展開	②災害危険区域を整備する			
目	1	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	128			期間 年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的> 急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を守るため、災害の未然防止を図るため事業実施する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 台風14号災害により申請件数が増大したので事業を年間10件程から11件程に増やし市民の安全確保に努める。</p>	R3	令和3年度市営急傾斜地崩壊対策事業実績については測量設計業務委託8件11,247千円、対策工事15件81,620千円であります。	R3計画	104,500	40,000	52,900	8,800	2,800	
				当初予算	104,500	40,000	52,900	8,800	2,800
				決算額	92,867	40,750	41,400	8,167	2,550
	R4	令和4年度市営急傾斜地崩壊対策事業実績については対策工事10件79,899千円で実施済み。	R4計画	104,500	33,750	47,000	21,175	2,575	
				当初予算	104,500	40,000	52,800	8,800	2,900
				決算額	95,481	34,990	35,200	7,778	17,513
	R5	令和5年度市営急傾斜地崩壊対策事業8件事業実施。(千歳町下山地区、大飼町柴北地区、大野町宮迫地区)繰越事業3件。	R5計画	123,500	48,000	61,700	10,400	3,400	
				当初予算	123,500	48,000	61,700	10,400	3,400
				決算額	77,410	29,310	32,300	5,366	10,434
	R6		R6計画	120,500	48,000	58,800	10,400	3,300	
			当初予算	120,500	48,000	58,800	10,400	3,300	
			決算額						
			R7計画	104,500	33,750	47,000	21,175	2,575	
			当初予算						
			決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額	557,500	203,500	267,400	71,950	14,650	
			当初予算	453,000	176,000	226,200	38,400	12,400	
			決算額	265,758	105,050	108,900	21,311	30,497	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 事業要望 要望件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	72,750	千円	目標値	104,500	104,500			
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	92,867	95,480	77,410		
					% 達成率	88.9	91.4			
D 成果指標	1 工事実績 市営急傾斜地崩壊対策事業完了件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	55,649	千円	目標値	104,500	104,500			
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	92,867	95,480	77,410		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	88.9	91.4			
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	21点	4点	20点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		4点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		4点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		4点	
		21点	25点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>市営急傾斜地崩壊対策事業においては、市民のみならず市民の生命を守る為の必要不可欠な事業であり、大分県補助金1/2を活用し毎年10件以上の事業実施をしておりますが申請される市民の方が多く、申請待ち件数を減らすのに苦慮しております。R6予算の確保に留意し申請待ち件数の削減を図り速やかに事業実施してまいります。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>市営急傾斜地崩壊対策事業については、予算措置として有利な緊急自然債の対象となっている期間に重点的に実施する。</p>
---	---

事業	急傾斜地崩壊対策事業	細事業	県営急傾斜地崩壊対策事業	実施計画事業	県営急傾斜地崩壊対策事業	終了年度	なし
----	------------	-----	--------------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (257)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	8	施策 8 防災対策の充実	急傾斜地崩壊対策事業負担金					30,550
項	3	施策展開 ②災害危険区域を整備する						
目	1	後期基本計画 66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	128							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 県営(家屋3戸以上)急傾斜地崩壊対策事業に、市が負担金を支払い市民の安全性を確保する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 県営急傾斜地崩壊対策事業9件に対し市が負担金を納める。</p>	R3	令和3年度県営急傾斜地崩壊対策事業12地区、砂防施設再生事業7地区の負担金として34,754千円であります。	R3計画 32,750	25,400		7,350	
			当初予算 32,750	25,400		7,350	
			決算額 34,754	32,000		2,754	
	R4	令和4年度県営急傾斜地崩壊対策事業14箇所の市負担金として32,464千円あります。	R4計画 32,750	25,400		7,350	
			当初予算 30,934	19,500		11,434	
			決算額 32,465	11,700		20,765	
	R5	令和5年度県営急傾斜地崩壊対策事業9箇所の市負担金として29,925千円あります。	R5計画 32,750	25,400		7,350	
			当初予算 30,550	15,900		14,650	
			決算額 29,925	15,900		14,025	
	R6		R6計画 23,250		4,987		18,263
		当初予算 23,250		4,987		18,263	
		決算額					
	R7		R7計画 32,750		25,400		7,350
		当初予算					
		決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額 154,250	106,587		47,663	
			当初予算 117,484	65,787		51,697	
			決算額 97,144	59,600		37,544	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
D 成果指標	1	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
	2	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				
		<input type="checkbox"/> 総合計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	19点	3点	15点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		3点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4点		3点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
豊後大野市には土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定区域が令和5年12月現在2673箇所あります。市営急傾斜地崩壊対策事業ではカバー出来ない広範囲の大型事業により市民の方の生命はもとより、事前防災対策により安全を確保しており、豊後大野市が大分県実施事業に対して、負担金を支払いお願いしている大切な事業であります。市としては今後も負担金の予算確保に努めてまいります。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民の安全の確保のため必要な事業であり、今後の県と協力し事業を推進する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	都市計画総務事業	細事業	都市計画総務事業	実施計画事業	空き家等除却補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No. (261)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 地域住宅等整備計画(大分県地域) 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 空き家等除却費補助金	当初予算額 15,000
款	8	施策	8 防災対策の充実			
項	4	施策展開	③災害対策を強化する			
目	1	後期基本計画 66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	129					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 倒壊のおそれのある老朽危険空家のうち、倒壊した際に周辺道路や近隣に被害が及ぶ等の条件を満たす空家の解体に対し補助を行うこと、安全・安心なまちづくりを行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 5月市報及びHPにて事業内証周知 6月1日より受付開始</p>	R3	当初見込みの30件を大幅に上回る申請があったため、補正予算で増額したが、目標を上回る実績となった。国費については会計検査の指摘により対象外となったものがあつたため減額となった	R3計画	15,000	7,500		7,500
			当初予算	15,000	7,500		7,500
			決算額	18,523	5,828		12,695
	R4	事前現地調査 約50件実施 補助対象件数 36件 交付決定 28件 解体実績 26件 辞退 2件	R4計画	15,000	7,500		7,500
			当初予算	20,000	10,000	10,000	
			決算額	12,515	6,257		6,258
	R5	老朽危険空き家除却費補助 23件	R5計画	15,000	7,500		7,500
			当初予算	15,000	7,500		7,500
			決算額	10,975	5,487		5,488
	R6		R6計画	26,737	13,000		13,737
		当初予算	26,737	13,000		13,737	
		決算額					
R7		R7計画	15,000	7,500		7,500	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額	86,737	43,000		43,737
			当初予算	76,737	38,000	10,000	28,737
			決算額	42,013	17,572		24,441

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 老朽危険空家除却 老朽危険空家解体補助を行った件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	36	件	目標値	40	30	30	30	30
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	45	26			
		% 達成率			112.5	86.7				
D 成果指標	1 老朽危険空家除却 老朽危険空家の除却を行った件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	36	件	目標値	40	30	30	30	30
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	45	26			
		% 達成率			112.5	86.7				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	4点	12点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	12点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	4点	12点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	10点	12点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
住多悪と使用されたものが補助対象であるが、倉庫や付属屋の相談が多い。現在は国費の補助対象外のため、補助していない。補助制度開始から数年たつたため、事業の認知も進んでいるが、住宅のみが対象となったため、件数は減少傾向にある。倉庫や付属屋により危険な状態となっている場合もあり、危険除去のためには倉庫等の除却に市単費での補助が可能か検討したい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引き続き、計画的に事業を実施する。

事業	都市再生整備事業	細事業	都市再生整備事業	実施計画事業	三重町駅周辺整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 ('86)		政策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち	個別計画名	都市再生整備計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策 4 商業・サービス業の振興		期間 H30 年度 ~ R4 年度		
款	8	施策展開 ③中心市街地を活性化させる		都市再生整備計画	工事請負費	232,400
項	4	後期基本計画 30 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	期間 R5 年度 ~ R9 年度	負担金	28,548
目	1				補償金	3,000
決算	130					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 豊後大野市の中心地として『交通結節点機能の形成』・『誰もが集える空間の形成』・『地域資源の活用』により集約型都市機能を高め、人が集い人とひとがつながり賑わいが創出できる都市環境づくりを目指す。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> JR三重町駅前広場整備 JR三重町駅舎改修 都市再生整備計画事業効果検証業務</p>	R3	JR用地の測量に時間がかかり、購入の協議まで出来なかった。工事については繰越事業の進捗により着手が遅れたため、繰越となった。	R3計画 198,000	60,650	130,400	6,950	
			当初予算	198,000	60,650	130,400	6,950
			決算額	18,834	8,239	7,800	2,795
	R4	駅前上赤嶺線舗装工事、駅西広場整備は契約済、繰越にて5月完了予定 駅前2号線測量業務委託は契約済、繰越にて7月完了予定	R4計画 236,000	118,000	112,000	6,000	
			当初予算	38,390	17,000	16,100	5,290
			決算額	1,388			1,388
	R5	駅前広場西側整備工事施工中(繰越) 駅舎整備工事設計済	R5計画 282,468	95,000	106,000	81,468	
			当初予算	282,468	95,000	106,000	81,468
			決算額	6,072	514		5,558
	R6		R6計画 150,000	75,000	71,200	3,800	
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 100,000	50,000	47,500	2,500	
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 966,468	398,650	467,100	100,718	
			当初予算 518,858	172,650	252,500	93,708	
			決算額 26,294	8,753	7,800	9,741	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 イベントの開催	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	12				
					実績値						
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率						
					目標値						
D 成果指標	1 JR三重町駅の年間乗降客数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値		625,300				
					実績値						
					% 達成率						
	2 駅周辺商店街利用率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値		90			
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	11点	4点	11点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2点		2点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—点		—点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 駅前西側整備については設計完了後、工事施工中であり、繰越にて7月完了予定 駅舎整備についても設計は完了しており、発注済で7月完了見込み 駅東側については西側工事と調整しながら、早期発注を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 今後も計画通り事業を進めるとともに、次期計画について検討する必要がある。
---	--

事業	公園管理事業	細事業	公園管理事業	実施計画事業	公園管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (197)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	政策	都市公園管理委託料	6,260
款	8	施策	公園施設改修工事請負費	1,560
項	4	施策展開		
目	2	後期基本計画 56 P		
決算	131	過疎計画		
		総合戦略		
		コロナ充当		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市民が安全で快適に使用できるよう、公園の維持管理を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 各公園の適正管理 駅前広場及び駐車場の適正管理</p>	R3	公園管理については例年どおりであるが、大原総合公園に大型複合遊具が整備された。	R3計画 5,084				5,084
			当初予算 5,084				5,084
			決算額 4,703			540	4,163
	R4	大原総合公園防犯カメラ設置 大原総合公園の水路橋改修3箇所 既存ベンチ改修19基 公園施設災害復旧1箇所	R4計画 5,084				5,084
			当初予算 15,785,000	6,000,000			9,785,000
			決算額 17,859,367	7,250,000		540	10,608,827
	R5	駅前広場駐車場管理 公園施設修繕 公園内樹木伐採	R5計画 11,650				11,650
			当初予算 11,650				11,650
			決算額 10,342				10,342
	R6		R6計画 15,064				15,064
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 5,084				5,084
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 41,966			41,966	
			当初予算 15,801,734	6,000,000		9,801,734	
			決算額 17,874,412	7,250,000	1,080	10,623,332	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
				%	達成率						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値					
				%	達成率						
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		3点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	10点	—点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
今年度より駅前広場(芝生広場、有料駐車場、3×3コート)を供用開始した。有料駐車場については管理委託を単年度で結んでいるが、有料駐車場設備の設置費を含んでおり、今後5年間の継続契約となるため債務負担の設定が必要。各都市公園は樹木が大きくなりすぎており、台風の際に倒木もあつたため、大規模な剪定が必要である。公園内の照明は水銀灯、蛍光灯が主となっており、製造中止が迫っているため、順次、LEDへの更新を行う。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
今後も継続して適切に管理を行う必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	住宅管理事業	細事業	住宅管理事業	実施計画事業	住宅管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No. (195)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 豊後大野市公営住宅等長寿命化計画 期間 H28 年度 ~ R13 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額 市営住宅等管理委託料 69,169 市営住宅等維持補修工事請負費 7,727 修繕料 5,372 火災等保険料 2,326
款	8	施策 3 住宅環境等の整備			
項	5	施策展開 ①市営住宅を整備する			
目	1	後期基本計画 56 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		
決算	132				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 経済的に不安定な生活を送る低所得の市民や、住まいを確保しにくい障がい者、高齢者、子育て世帯などに対して、安全で快適に生活できる住宅を提供する。 また、住宅長寿命化計画の見直しを行い、市営住宅の統廃合を含め、管理戸数の見直しと計画的な建替及び維持管理に努める。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・住宅管理事務の委託：管理代行、指定管理委託 ・入居管理：毎月随時、入居者募集を行い、書類審査・抽選等を実施 ・退去管理：退去届を受理し、退去検査等を実施 ・施設の維持管理・補修：市営住宅の家屋、駐車場及び児童遊園等公共施設の維持管理・補修等 ・住宅使用料・浄化槽使用料の徴収事務：滞納者に対して住宅使用料・浄化槽使用料の徴収事務</p>	R3	大分県住宅供給公社(豊後大野市営住宅管理センターへ住宅管理事務の委託し、入居管理(36件)、退去管理(64件)、施設の維持管理として修繕(293件)、工事(6件)を行った。 また、住宅長寿命化計画の見直しを行い、市営住宅の統廃合を含め、管理戸数の見直しと計画的な建替及び維持管理に努めた。	R3計画 110,281 当初予算 110,281 決算額 94,681			110,281		
	R4	大分県住宅供給公社(豊後大野市営住宅管理センターへ住宅管理事務の委託し、入居管理(42件)、退去管理(52件)、施設の維持管理として修繕(264件)、工事(9件)を行った。	R4計画 110,281 当初予算 89,982 決算額 87,661			110,281		
	R5	大分県住宅供給公社(豊後大野市営住宅管理センターへ住宅管理事務の委託し、入居管理(22件)、退去管理(62件)、施設の維持管理として修繕(249件)、工事(5件)を行った。	R5計画 110,281 当初予算 86,448 決算額 83,391			110,281		
	R6		R6計画 110,281 当初予算 91,416 決算額			110,281		
	R7		R7計画 110,281 当初予算 決算額			110,281		
	R3 ~ R7 合計			計画額 551,405 当初予算 378,127 決算額 265,733			551,405	107,020

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 市営住宅使用料収納実績	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	98.8	98.5	99.01		
	2 市営住宅使用料(滞納繰越分)収納実績	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	11.5	6.4	5.52		
D 成果指標	1 収納実績	<input type="checkbox"/> 総合計画	98.8	%	目標値	98.9	99	99.1	99.2	99.3
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	98.8	98.5	99.51		
	2 収納実績	<input type="checkbox"/> 総合計画	12.2	%	目標値	12.3	12.4	12.5	12.6	12.7
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	11.5	6.4	5.52		
E 評価対象外の理由		O 評価対象		(対象外事業はF~I欄未記入可)						

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
		18点	18点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>今後も引き続き、大分県住宅供給公社(豊後大野市営住宅管理センターと連携し、経済的に不安定な生活を送る低所得の市民や、住まいを確保しにくい障がい者、高齢者、子育て世帯などに対して、安全で快適に生活できる住宅を提供する。 また、住宅使用料等の徴収事務についても、引き続き、大分県住宅供給公社(豊後大野市営住宅管理センターと連携し、特に高額及び悪質滞納者については、随時面談を行い分納誓約を交わすなど取り組むと共に、呼応しない場合は法的措置を行う。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>大分県住宅供給公社と連携し適切な管理、運営を行う。</p>
---	--

事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	細事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	実施計画事業	木造住宅耐震診断・改修事業補助事業	終了年度	なし
----	------------------	-----	------------------	--------	-------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	大分県建築物安全ストック整備計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称 木造住宅耐震診断・改修事業補助金	当初予算額 6,100
款	8	施策	8 防災対策の充実				
項	5	施策展開	③災害対策を強化する				
目	2	後期基本計画 66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	133						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市民の安全・安心な暮らしを支えるため、昭和56年以前に建てられた木造住宅等の耐震化を促進する <令和5年度の取組内容(計画)> 耐震診断補助 10件 耐震改修補助 5件	R3	耐震診断補助 4件 耐震改修補助 1件	R3計画 6,100	4,575			1,525
			当初予算 6,100	4,575			1,525
			決算額 1,390	1,042			348
	R4	耐震診断補助 4件 耐震改修補助 2件	R4計画 6,100	4,575			1,525
			当初予算 6,100	4,575			1,525
			決算額 2,150	1,612			538
	R5	耐震診断補助 4件 耐震改修補助 1件	R5計画 6,100	4,575			1,525
			当初予算 6,100	4,575			1,525
			決算額 1,385	1,038			347
	R6		R6計画 5,900	4,225			1,675
			当初予算 5,900	4,225			1,675
			決算額				
	R7		R7計画 6,100	4,575			1,525
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 30,300	22,525			7,775
			当初予算 24,200	17,950			6,250
			決算額 4,925	3,692			1,233

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
D 成果指標	1 耐震診断件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	大分県建築物安全ストック整備計画の事業計画数値	6	件	目標値	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 総合戦略	耐震診断 10件/年			実績値	4	4		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	40	40		
	2 耐震改修件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	大分県建築物安全ストック整備計画の事業計画数値	2	件	目標値	5	5	5	5
		<input type="checkbox"/> 総合戦略	耐震改修 5件/年			実績値	1	2		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	20	40		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	11点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	25点	—点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 耐震診断、改修については1月の能登半島地震以降、市民の関心も高くなり、問い合わせも多くなっている。申請件数が増える可能性があるため、予算が不足する場合は補正対応とするが、国費、県費の増額が可能か事前協議が必要となる。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、周知を図りながら、事業を実施していく必要がある。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	細事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	実施計画事業	危険ブロック塀等除却事業補助事業	終了年度	なし
----	------------------	-----	------------------	--------	------------------	------	----

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 安心・安全な暮らしを支える住まいたづくり 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 危険ブロック塀等除却事業補助金	当初予算額 1,000
款	8	施策	8 防災対策の充実			
項	5	施策展開	③災害対策を強化する			
目	2	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	133					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 市民の安全と避難路確保のため、災害時等に倒壊のおそれのあるブロック塀等の除却に対し補助を行う。 <令和5年度の取組内容(計画)> 危険ブロック塀等除却費補助 10件	R3	実績無し	R3計画 1,000	750			250
			当初予算 1,000	750			250
			決算額				
	R4	危険ブロック塀等除却費補助 3件	R4計画 1,000	750			250
			当初予算 1,000	750			250
			決算額 270	202			68
	R5	危険ブロック塀等除却費補助 5件	R5計画 1,000	750			250
			当初予算 1,000	750			250
			決算額 500	375			125
	R6		R6計画 1,000	750			250
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 1,000	750			250
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 5,000	3,750			1,250
			当初予算 3,000	2,250			750
			決算額 770	577			193

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			% 達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					
D 成果指標	1 危険ブロック塀等除却件数	<input type="checkbox"/> 総合計画		3	目標値	10	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値		3			
	2-	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率		30			
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	10点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	—点
		10点	11点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 危険ブロック塀等除却費補助の開始から4年が経過し、市民の認知も進んできている。少しずつではあるが、問い合わせも増え、実績に結びついている。1月の能登半島地震により、市民の関心も高まっており、申請の増加が見込まれるため、予算が不足する場合は補正対応とし、合わせて国費、県費の財源を確保できるよう協議する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 事業についての周知を行い、実施する必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	市営住宅整備事業	細事業	市営住宅整備事業	実施計画事業	市営住宅整備事業	終了年度	R8
----	----------	-----	----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No.1 (195)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名 市営住宅等長寿命化計画 期間 R3 年度 ~ R12 年度 地域住宅等整備計画(大分県地域) 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 市原住宅建替工事請負費 329,000 ストック総合改善工事請負費 50,000 調査設計監理委託料 17,000 移転補償費 2,736	当初予算額
会計	一般	施策 3 住宅環境等の整備			
款	8	施策展開 ①市営住宅を整備する			
項	5	後期基本計画 56 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	2				
決算	134				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 入居者が安全で安心できる住環境を確保するため、長寿命化計画をもとに市営住宅の建替え及び改修を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 市原住宅3期建替工事(R4~R5債務負担) 壳丁田住宅改修工事</p>	R3	市原住宅3期建替工事RC5階建て25戸(完了) 市原住宅2期駐車場整備 45台 市原住宅3期建替工事実施設計	R3計画 451,275	225,000	225,000		1,275
			当初予算 451,275	225,000	225,000		1,275
			決算額 439,520	221,672			217,848
	R4	市原住宅3期建替工事については解体工事、造成工事は完了。 3期本体工事も12月に契約済 東営住宅N棟・E棟のエレベータ防災対策工事も完了	R4計画 205,800	102,500	102,000		1,300
			当初予算 160,257	79,750	79,700		807
			決算額 128,617	56,827			71,790
	R5	市原住宅3期建替工事R5債務負担分繰越 壳丁田住宅空室先行改修(繰越)	R5計画 400,942	199,428	199,400		2,114
			当初予算 400,942	199,428	199,400		2,114
			決算額 31,102	31,030			72
	R6		R6計画 151,300	75,000	75,000		1,300
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画 301,300	150,000	150,000		1,300
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,510,617	751,928	751,400		7,289
			当初予算 1,012,474	504,178	504,100		4,196
			決算額 599,239	309,529			289,710

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
D 成果指標	1-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値						
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値						
	2-	<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率					
		<input type="checkbox"/> 総合計画			%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	3点	3点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	2点	2点	2点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	9点	—点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	—点	10点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
市原住宅3期建替工事については設計変更のため、着手できずにいたが、11月で計画変更申請、住宅性能評価の変更がそれぞれ完了したため、12月より工事中止を解除し、工事に着手した。債務負担の令和5年度分を繰越にて施工し、7年2月に完了予定。
壳丁田住宅については10戸改修の計画であったが、空き住戸の4戸を先行して改修し、入居中の6戸分については空き住戸を一時使用しながら改修を行い、6年12月に完了予定。
今回、1年遅れているため、事業全体に影響があるが、自治会からは集会所の早期建設が望まれているため、集会所建設を前倒して、4期工事と同時に先行し、全体計画の遅れを最低限としたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
継続して計画的に事業を推進する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	常備消防運営事業	細事業	教育研修事業	実施計画事業	教育研修事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.1 (263)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間	年度	年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額					
款	9	施策	9 消防・救急体制の充実		期間	年度	年度			研修会等負担金	4,537			
項	1	施策展開	①消防・救急体制を強化する		期間	年度	年度			普通旅費	1,374			
目	1	後期基本計画	68 P		<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>			総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	病院実習等委託料	370
決算	135													

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 救急・救助隊員、救急救命士の資格をはじめ職員個々の知識や技術の向上を図るために、各種研修を推進する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 消防学校入校 消防大学校入校 各種資格取得</p>	R3	職員個々の知識や技術の向上を図るため、消防学校入校(20名)、救急救命士研修(1名)、各種資格取得(9名)、その他研修(2名)を実施。	R3計画 5,018				5,018
			当初予算 5,018				5,018
			決算額 4,683				4,683
	R4	職員個々の知識や技術の向上を図るため、消防学校入校(26名)、救急救命士研修(2名)、各種資格取得(8名)、その他研修(2名)を実施。	R4計画 5,000				5,000
			当初予算 6,899				6,899
			決算額 6,614				6,614
	R5	職員個々の知識や技術の向上を図るため、消防学校入校(25名)、消防大学校教育(1名)、特別教育(フルハーネス61名、テールゲートリフター9名)及び各種資格取得(9名)を実施。	R5計画 5,000				5,000
			当初予算 6,298				6,298
			決算額 5,525				5,525
	R6		R6計画 5,000				5,000
		当初予算 5,175				5,175	
		決算額					
R7		R7計画 5,000				5,000	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 25,018				25,018
			当初予算 23,390				23,390
			決算額 16,822				16,822

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 実働救命士	実働救命士数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	24	名	目標値	24	24	30	30	30
			<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	22	22	25		
	2 救命士複数乗車	救命士複数乗車率	<input type="checkbox"/> 総合戦略	66	%	目標値	60	60	100	100	100
			<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	61	58	83		
						達成率	91.7	91.7	83.3		
D 成果指標	1 市民の安全安心の確保		<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
			<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
			<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
			<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
			<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点	5点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
多様化する各種災害に対応するため、より高度な教育を受けられる消防大学校の入校を実施し、卒業後は職員への教育を行い知識や技術の向上を図ることが出来た。今後も教育については、計画に沿って実施したい。	消防学校等の教育は、消防隊員の育成と市民の安全確保において重要な役割を果たしている。継続的な研修と訓練を通じて、消防隊員の能力向上を今後も図ってきたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	常備消防運営事業	細事業	車両・資機材整備事業	実施計画事業	車両・資機材整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No. (267)		会計 一般	政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	9	施策	9 消防・救急体制の充実				
項	1	施策展開	②消防施設を整備する				
目	1	後期基本計画	68 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	135						
		車輦購入	62,083				
		消耗品費	3,261				
		医薬材料費	1,965				
		機械器具費	1,277				

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 火災等から市民を守り迅速な活動等を行うため、消防施設や消防車両、資機材等の計画的整備を進め、災害活動における機動力の確保と性能向上を図り、円滑な消防活動を推進する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・水槽付消防ポンプ自動車の購入 ・消防資機材(ホース等)の購入 ・救急資機材(救急包帯等)の購入 ・救助資機材(空気ボンベ等)の購入</p>	R3	円滑な消防活動を行うため、作業車購入をはじめ、消防・救急・救助等の資機材購入を実施。	R3計画 11,545				11,545
			当初予算 11,545				11,545
			決算額 11,824	1,906			9,918
	R4	円滑な消防活動を行うため、消防・救急・救助等の資機材購入を実施。	R4計画 9,797				9,797
			当初予算 6,036				6,036
			決算額 5,857				5,857
	R5	円滑な消防活動を行うため、消防・救急・救助等の資機材購入を実施。	R5計画 56,197		48,800		7,397
			当初予算 68,586		60,600		7,986
			決算額 6,211				6,211
	R6		R6計画 57,997	48,100			9,897
		当初予算 96,987				96,987	
		決算額					
R7		R7計画 49,697		41,000		8,697	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 185,233	48,100	89,800	47,333	
			当初予算 183,154		60,600	122,554	
			決算額 23,892	1,906		21,986	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 車両整備 車両整備数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		台	目標値	1			1	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値	1				
				%	達成率	100				
D 成果指標	1 車両整備数	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	3点	3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点	3点	3点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		21点	21点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>消防用ホース、潜水用具等を計画に沿って購入を実施した。消防車購入については、半導体不足等の事情により納入が延期となったため、現消防車の維持管理に気をつけたい。現場活動に支障が無いよう計画的に車両及び各種資機材の更新をしていきたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>車両・資機材整備事業は、消防活動の基盤であり、市民の安全と安心を確保するための重要な取組で、消防力の向上に努めている。計画的な消防車両、資機材の更新を行い、今後も現場活動に迅速かつ効果的な消防活動ができるように努めていく。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	常備消防運営事業	細事業	管理運営事業	実施計画事業	消防119番通報通訳業務委託事業	終了年度	なし
----	----------	-----	--------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No. (269)	会計 一般	政策 III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち	個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款 9	施策 9 消防・救急体制の充実	施策展開 ③消防指令業務の共同運用を行う	期間 年度 ~ 年度	消防119番通報通訳業務委託料	196
項 1	後期基本計画 68 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	期間 年度 ~ 年度		
目 1					
決算 135					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 消防行政の円滑な推進を図るため、消防本部(署)の管理、通信施設及び資機材の維持管理、業務の運営などを行い、消防活動が迅速かつ的確に実施できるよう総合的な体制の強化を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 業務の運営</p>	R3	消防行政の円滑な推進を図るため、資機材の購入・維持管理、各種施設点検整備、業務の運営を実施。	R3計画 196				196
			当初予算 196				196
			決算額 196				196
	R4	消防行政の円滑な推進を図るため、資機材の購入・維持管理、各種施設点検整備、業務の運営を実施。女性仮眠室改築工事を実施。	R4計画 196				196
			当初予算 196				196
			決算額 195				195
	R5	消防行政の円滑な推進を図るため、資機材の購入・維持管理、各種施設点検整備、業務の運営を実施。	R5計画 196				196
			当初予算 196				196
			決算額 195				195
	R6		R6計画				
			当初予算 392,462				392,462
			決算額				
	R7		R7計画 196				196
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 784			784	
			当初予算 393,050			393,050	
			決算額 586			586	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 消防119番通報業務	消防119番通訳数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		件	目標値					
						実績値					
						% 達成率					
2 -			<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	1 市民の安全・安心の確保		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
						実績値					
						% 達成率					
	2 -			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値				
							実績値				
							% 達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	25点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>消防行政の円滑な推進を図るため、消防本部(署)の管理、通信施設及び資機材の維持管理、業務の運営を行うことが出来た。消防活動が迅速かつ的確に実施できるよう総合的な体制の強化を図ることが出来た。今後、消防車両等の老朽化による故障が懸念されるが、点検整備を定期的に行い、管理に努めたい。また、通信指令設備については、令和6年10月から県下全域からの119番通報が一括受信されることから計画的に準備を進めたい。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>消防組織の効率的な運営と管理を通じて、火災や災害時に迅速かつ適切な対応ができる体制を整えるため、車両及び資機材整備、点検を行っている。通信指令業務は県下全域の119番通報が一括受信されることとなり新たな通信機器の整備を計画的に進めていく。</p>
---	--

事業	常備消防運営事業	細事業	感染症予防対策事業	実施計画事業	感染症予防対策事業	終了年度	R4
----	----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.→ (267)		個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	期間	消耗品費	2,576
款	9	年度		
項	1	年度		
目	1	年度		
決算	135	年度		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として資機材を整備し、感染予防の徹底を図るもの。 <令和5年度の取組内容(計画)> ・感染予防資機材の購入	R3	新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として感染防止資機材(感染防止衣等)を購入。	R3計画 5,666	5,000			666
			当初予算 5,666	5,000			666
			決算額 5,274	4,800			474
	R4	新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として感染防止資機材(感染防止衣等)を購入。	R4計画 4,023	2,000			2,023
			当初予算 4,023	2,000			2,023
			決算額 3,952	3,000			952
	R5	新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として感染防止資機材(感染防止衣等)を購入。	R5計画				
			当初予算 2,576			1,500	1,076
			決算額 2,375			1,500	875
			R6計画				
		当初予算					
		決算額					
		R7計画					
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 9,689	7,000			2,689
			当初予算 12,265	7,000		1,500	3,765
			決算額 11,601	7,800		1,500	2,301

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 資機材整備	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100			
					実績値	100	100	100		
					達成率	100	100			
D 成果指標	1 市民の安全・安心を守る	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	目標値					
					実績値					
					達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	25点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として、感染防止衣、マスク等を購入し隊員及び傷病者への感染予防を図ることが出来た。感染症法では2類から5類に変更となったが、引き続き感染対策は変わらず実施したい。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 感染症予防対策事業は、消防職員の健康と安全を守るための重要な取組です。新型コロナウイルス感染症が感染症法で5類に変更となったが、継続的な感染防止策、情報共有を行い、感染症発生と拡大防止に努めていく。
--	--

事業	常備消防運営事業	細事業	南分署建設事業	実施計画事業	南分署建設事業	終了年度	R5
----	----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.→ (266)		III 豊かなくらしと安心を実感できるまち		個別計画名 南分署庁舎建設 期間 R3 年度 ~ R4 年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 南分署建設等工事請負費 庁用器具費 消防機器等移設工事 工事監理委託料	当初予算額 61,906 9,000 5,751 1,000
会計	一般	政策	9 消防・救急体制の充実			
款	9	施策	②消防施設を整備する			
項	1	施策展開	後期基本計画 68 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	135					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 火災等から市民を守り迅速な災害活動を行うため消防庁舎の整備を進め、円滑な消防活動を推進する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・南分署建設工事 ・工事監理業務委託 ・備品購入 ・消防機器等移設工事(無線・指令設備等)</p>	R3	南分署建設に伴う建設工事実施設計委託及び地質調査業務委託を実施。	R3計画 8,640	5,700		2,940	
			当初予算 8,640	5,700		2,940	
			決算額 7,593	5,100		2,493	
	R4	南分署建設工事を実施。	R4計画 110,000	95,000		15,000	
			当初予算 76,400	72,000		4,400	
			決算額 127,075	120,200		6,875	
	R5	南分署建設工事を実施。	R5計画 128,800			128,800	
			当初予算 77,876	59,700		18,176	
			決算額 46,568	30,000		16,568	
	R6		R6計画				
			当初予算				
			決算額				
	R7		R7計画				
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 247,440	100,700		146,740	
			当初予算 162,916	137,400		25,516	
			決算額 181,236	155,300		25,936	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 南分署庁舎整備	庁舎整備率	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	80	100		
					達成率	100	80	100		
D 成果指標 1 市民の安全・安心を守る		<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 〇評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	25点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 火災等から市民を守り迅速な災害活動を行うため消防庁舎を建設し、令和5年7月から運用を開始した。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和5年7月から運用を開始し、消防・救急活動の迅速な対応を強化し、防災拠点としての役割を果たしている。
--	---

事業	非常備消防運営事業	細事業	消防団活動事業	実施計画事業	消防団活動事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (264)		政策 III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	個別計画名	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
会計	一般	施策 9 消防・救急体制の充実				
款	9	施策展開 ①消防・救急体制を強化する	期間	年度 ~ 年度	消防団員報酬	28,317
項	1	後期基本計画 68 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	期間	年度 ~ 年度	費用弁償	21,547
目	2				消防補償等組合負担金	23,263
決算	136				消防協会負担金	3,586

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 各種災害現場において機能が十分発揮できるよう、消防団活動能力の充実強化を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 〇団員定数1,080人、1団、4方面団、37分団で組織される消防団の運営管理、並びに各種災害に迅速な活動ができるよう団員の充実強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団員報酬 費用弁償(出動手当等) 消防協会負担金 分団運営補助金 消防補償等組合負担金 	R3	団員定数1,080人、1団、4方面団、37分団で組織される消防団の運営管理、並びに各種災害に迅速な活動ができるよう団員の充実強化を図る。 実団員数 973人 災害出動回数 13回 訓練回数 2回	R3計画 94,112 当初予算 94,112 決算額 74,669			4	94,108	
	R4	団員定数1,080人、1団、4方面団、37分団で組織される消防団の運営管理、並びに各種災害に迅速な活動ができるよう団員の充実強化を図る。 実団員数 960人 災害出動回数 20回 訓練回数 10回	R4計画 94,112 当初予算 94,616 決算額 74,787			4	94,612	
	R5	団員定数1,080人、1団、4方面団、37分団で組織される消防団の運営管理、並びに各種災害に迅速な活動ができるよう団員の充実強化を図る。 実団員数 926人 災害出動回数 28回(火災・風水害等) 訓練回数 23回	R5計画 94,112 当初予算 92,903 決算額 77,484			4	92,903	
	R6		R6計画 94,112 当初予算 決算額			4	94,108	
	R7		R7計画 94,112 当初予算 決算額			4	94,108	
	R3 ~ R7 合計			計画額 470,560 当初予算 281,631 決算額 226,940			20	470,540
							8	281,623
						157	226,783	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 消防団員数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	991	人	目標値	973	973	960		
					実績値	973	960	926		
	% 達成率	100	98.7	96.5						
2 訓練回数	訓練回数(年間)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	4	回	目標値	6	6	6	6	6
					実績値	2	2			
					% 達成率	33.3	33.3			
D 成果指標	1 消防団員新入団員数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	33	人	目標値	53	40	40	40	40
					実績値	53	24	36		
	% 達成率	100	60	90						
2 消防団員の確保	消防団員数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	991	人	目標値	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026
					実績値	973	960	926		
					% 達成率	94.8	93.6	90.3		

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	5点	21点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	3点	
		9点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>各種訓練を重ね、団員の技能等の向上を図り、地域防災力の強化を目指すとともに、団員の危機を減らすため安全装備品の充実を図る。</p> <p>平成30年に団員定数も実団員数に近い定数に改正したが、年々団員数の減少が続いている。消防団の存在意義を地域住民に理解してもらい、新規入団者獲得のため粘り強く勧誘を行う。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>消防団活動事業は、消防団が火災や災害時に迅速かつ効果的に対応を行うため、消防団員の活動支援に取り組んでいる。今後も団員確保に努め、地域全体の防災意識を高めていきたい。</p>
---	--

事業番号	枝番
134001	1

(令和5年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(様式1)

(令和5年度決算) 事務事業評価調査

課局名	消防本部総務課	係名	消防保安係
-----	---------	----	-------

事業	消防施設整備事業	細事業	消防水利・資機材等整備事業	実施計画事業	消防水利・資機材等整備事業	終了年度	なし
----	----------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (266)

会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち
款	9	施策	9 消防・救急体制の充実
項	1	施策展開	②消防施設を整備する
目	3	後期基本計画	68 P
決算	137	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当

個別計画名	期間	年度	～	年度
	期間	年度	～	年度

令和5年度主な歳出名称	当初予算額
車輛購入費	21,744
消防施設整備工事請負費	9,000
消防団詰所整備工事請負費	56,838
消防団詰所解体工事請負費	1,566

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
<p><事業の目的> 消防施設、設備等の整備を行い、消防水利、資機材等の充実を図る</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ①防火水槽有蓋化事業(3基) ゴミ・汚泥等の流入や転落防止を図るため有蓋化を図る ②消防団詰所解体事業(1棟) 消防団組織再編計画に沿って詰所の集約化を図る ③消防団詰所整備事業(2棟) 消防団詰所更新計画に基づき詰所の建替えを行う ④電源立地対策交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う</p>	R3	<p>①防火水槽有蓋化事業(3基) ゴミ・汚泥等の流入や転落防止を図るため有蓋化を図る。 ②消防団詰所解体事業(1棟) 消防団組織再編計画に沿って詰所の集約化を図る。 ③消防団詰所整備事業(1棟) 消防団詰所更新計画に基づき詰所の建替えを行う。 ④電源立地対策交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う。</p>
	R4	<p>①防火水槽有蓋化事業(3基) ゴミ・汚泥等の流入や転落防止を図るため有蓋化を図る。 ②消防団詰所解体事業(1棟) 消防団組織再編計画に沿って詰所の集約化を図る。 ③消防団詰所整備事業(1棟) 消防団詰所更新計画に基づき詰所の建替えを行う。 ④電源立地対策交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う。</p>
	R5	<p>①防火水槽有蓋化事業(3基) ゴミ・汚泥等の流入や転落防止を図るため有蓋化を図る。 ②消防団詰所解体事業(1棟) 消防団組織再編計画に沿って詰所の集約化を図る。 ③消防団詰所整備事業(1棟) 消防団詰所更新計画に基づき詰所の建替えを行う。 ④電源立地対策交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う。</p>
	R6	
	R7	
	R3 ~ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源
R3計画	87,929	25,935	39,900		22,094
当初予算	87,929	25,934	39,900		22,095
決算額	82,426	25,916	33,700		22,810
R4計画	84,266	9,978	49,000		25,288
当初予算	56,496	14,192	19,800		22,504
決算額	59,712		1,200		58,512
R5計画	73,300	9,978	30,000		33,322
当初予算	96,170	14,000	42,500		39,670
決算額	55,900		14,000		41,900
R6計画	84,266	9,978	49,000		25,288
当初予算					
決算額					
R7計画	93,300	9,978	49,000		34,322
当初予算					
決算額					
計画額	423,061	65,847	216,900		140,314
当初予算	240,595	54,126	102,200		84,269
決算額	198,038	25,916	48,900		123,222

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 施設整備数	施設整備数(防火水槽、消防団詰所等)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	目標値	10	13	8	8	8
					実績値	9	4			
	%	達成率	90	30.8						
	2 車両整備数	車両整備数(ポンプ車、小型ポンプ積載車)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1	目標値	3	1	1	1	1
実績値					3	2				
%					達成率	100	200			
D 成果指標	1 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値					
					実績値					
					%	達成率				
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値					
					実績値					
					%	達成率				

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	3点	5点	21点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	3点	5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点	5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	3点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	—点	3点	
		9点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 消防施設整備の充実。 補助金等を有効に活用し、緊急性及び優先度の高いものから整備を行い、地域消防力の向上を図る。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 地域社会の火災に対する防御力を強化し、迅速かつ効果的な消火活動を行うため、今後も消防水利等の整備を計画的に行う。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性



A. 現状のまま継続

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	防災アドバイザー活用事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (253)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 当初予算額	
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち			
款	9	施策	8 防災対策の充実			
項	1	施策展開	①防災体制を強化する			
目	4	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	138				会計年度任用職員報酬	965
					期末手当(会計年度任用職員)	161
					費用弁償(会計年度任用職員)	75

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 防災講話等を通じて防災啓発を行い、市民の防災意識を高め、防災訓練、防災活動を支援する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 自主防災組織等に講習や講話を行う。</p>	R3	自主防災組織等に講習や講話を28回行った。	R3計画 1,510				1,510
			当初予算 1,510				1,510
			決算額 1,315				1,315
	R4	自主防災組織等に講習や講話等を47回行い防災意識の向上に努めた。	R4計画 1,510				1,510
			当初予算 1,462				1,462
			決算額 1,355				1,355
	R5	自主防災組織等に講習や講話等を45回行い防災意識の向上に努めた。	R5計画 1,510				1,510
			当初予算 1,201				1,201
			決算額 1,133				1,133
	R6		R6計画 1,510				1,510
			当初予算 1,290				1,290
			決算額				
	R7		R7計画 1,510				1,510
			当初予算				
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 7,550				7,550
			当初予算 5,463				5,463
			決算額 3,803				3,803

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 講習件数 団体へ出向いて行った講習等の件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	14	件	目標値	15	16	17	18	19
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	28	46	45		
		% 達成率			186.7	287.5	264.7			
D 成果指標	1 講習申請件数 団体からの講習等の申請件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	14	件	目標値	15	16	17	18	19
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	28	46	45		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	186.7	287.5	264.7		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	25点	25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 防災講話等を通じて市民の防災啓発、防災意識の向上を図ることは非常に重要であることから継続する。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 各地で発生している地震等により、年々、市民の防災意識が高まってきている。引き続き本事業に取り組み、自助・共助の意識を醸成するとともに地域防災力の向上に努める
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	自主防災組織活動事業費補助事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (250)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 自主防災組織活動事業補助金 2,600	当初予算額 2,600
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち			
款	9	施策	8 防災対策の充実			
項	1	施策展開	①防災体制を強化する			
目	4	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	138			期間 年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 自主防災組織等が行う訓練啓発や、資機材の購入に対し補助金を交付し、自主防災組織等の充実を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 防災訓練・啓発事業補助金の交付。 防災資機材整備事業補助金の交付。</p>	R3	8つの自主防災組織に補助金の交付を行った。	R3計画 2,670	1,135		1,000	535
			当初予算 2,670	1,135		1,000	535
			決算額 685	348			337
	R4	自主防災組織等17団体に補助金の交付を行った。	R4計画 2,670	1,135		1,000	535
			当初予算 2,670	1,006			1,664
			決算額 1,292	449		700	143
	R5	自主防災組織等16団体に補助金の交付を行った。	R5計画 2,670	1,135		1,000	535
			当初予算 2,600	800		1,000	800
			決算額 1,333	458		800	75
	R6		R6計画 2,670	1,135		1,000	535
			当初予算 2,600	800		1,000	800
			決算額				
	R7		R7計画 2,670	1,135		1,000	535
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 13,350	5,675		5,000	2,675
			当初予算 10,540	3,741		3,000	3,799
			決算額 3,310	1,255		1,500	555

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 補助金申請件数	交付申請数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	6	団体	目標値	7	8	9	10	11
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	8	17	16		
		% 達成率			114.3	212.5	177.8			
D 成果指標 1 新規自主防災組織結成数	新規に結成した自主防災組織数	<input type="checkbox"/> 総合計画	3	団体	目標値	3	3	3	3	3
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	13	1	5		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	433.3	33.3	166.7		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	25点	25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 地域防災力の向上は必須であり、自主防災組織への直接的な助成はその活性化に非常に重要であることから継続する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 防災アドバイザー活用事業と同様に、引き続き本事業に取り組み、自助・共助の意識を醸成するとともに地域防災力の向上に努める

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	地震・津波等防災・減災対策推進事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (259)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 消耗品費	当初予算額 900
会計	一般	政策	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち			
款	9	施策	8 防災対策の充実			
項	1	施策展開	③災害対策を強化する			
目	4	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	138			期間 年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 避難所等の消耗品、備品の充実を計る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 備蓄品等の購入。</p>	R3	避難所で使用する備蓄品の購入を行った。建替等で避難所表示板の無かった指定避難所表示板の作成を委託した。	R3計画 1,842	722			1,120
			当初予算 1,842	722			1,120
			決算額 1,097	375			722
	R4	備蓄計画に沿って避難所で必要な備蓄品の購入を行った。	R4計画 1,842	722			1,120
			当初予算 1,000	333			667
			決算額 628				628
	R5	備蓄計画に沿って避難所で必要な備蓄品の購入を行った。	R5計画 1,842	722			1,120
			当初予算 900	333			567
			決算額 647				647
			R3 ~ R7 合計	計画額 9,210	3,610		
			当初予算 4,642	1,721			2,921
			決算額 2,372	375			1,997

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 備蓄計画に沿った備蓄品の購入	計画購入量	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100	100		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標 1 各避難所への配備	計画配備量	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100	100		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	25点	25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 備蓄計画に沿って避難所で必要な備蓄品の購入を行った。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き備蓄計画に沿って事業を進める併せて、備蓄品の管理を徹底する
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	土砂災害ハザードマップ作成事業	終了年度	なし
----	----------------	-----	--------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.→ (255)				個別計画名 期間 年度 ~ 年度	令和5年度 主な歳出名称 防災マップ等作成業務委託料	当初予算額 1,650
会計	一般	政策	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち			
款	9	施策	8 防災対策の充実			
項	1	施策展開	②災害危険区域を整備する			
目	4	後期基本計画	66 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	138			期間 年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 大分県の土砂災害警戒地域調査により対象地域となった箇所について最新のハザードマップに反映し、住民への周知を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 17箇所新規警戒地域を反映したハザードマップの作成を委託する。</p>	R3	28区域の新規警戒地域を反映したハザードマップの作成を委託し完成したハザードマップを関係行政区に配布した。	R3計画 2,706	1,353			1,353	
				当初予算 2,706	1,353			1,353
				決算額 2,508	1,875		550	83
	R4	新規の土砂災害警戒区域等58箇所をを反映したハザードマップを作成し、関係行政区へ配布し、HPに掲載した。	R4計画 2,706	1,353			1,353	
				当初予算 2,200	1,650			550
				決算額 2,200	1,650			550
	R5	新規の土砂災害警戒区域等17箇所をを反映したハザードマップを作成し、関係行政区へ配布し、HPに掲載した。	R5計画 2,706	1,353			1,353	
				当初予算 1,650	1,237			413
				決算額 1,650	1,237			413
	R6		R6計画 2,706	1,353			1,353	
				当初予算 3,410	2,557			853
				決算額				
	R7		R7計画 2,706	1,353			1,353	
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 13,530	6,765			6,765	
			当初予算 9,966	6,797			3,169	
			決算額 6,358	4,762		550	1,046	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ハザードマップへの反映	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100		
					達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 ハザードマップの作成・HPへの掲載	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100		
					達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
市民への防災情報の提供、特に危険地域の情報提供は必須であり、国県の補助も充実していることから継続する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
高まる市民の防災意識や自主防災組織の地域防災力に 대응することができるよう本事業に取り組む

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	教育振興事業	細事業	学校教育力向上対策事業	実施計画事業	学校教育力向上対策事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (322)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	10	施策	1 学校教育の充実	学力調査委託料					1,951	
項	1	施策展開	①教育内容を充実する	学級集団診断業務委託料					441	
目	3	後期基本計画	84 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					印刷製本費	118
決算	141								講師謝礼金	29

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的></p> <p>豊後大野市教育委員会から地域全体に情報の発信や研修、学校生活の生徒に対する調査等を行うことにより、管内の小中学校の教育力の向上を目指す</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <ul style="list-style-type: none"> 豊後大野市学校教育基本方針のグランドポスターの作成 小中学生(中学校3年生を除く)の学力テストの実施 学校教育力向上のための研修 学校での児童生徒の生活、学力等の状況調査、分析を実施 	R3	学校教育基本方針として、「主体的な自己実現」のできる子どもの育成(ヘプタゴン教育)を推進しています。その中で「確かな学力の育成」を掲げ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っています。調査の結果をもとに研修を深め、教職員の力量向上を行うとともに、ポスター作成など、子どもたちや保護者に対して、広域活動を行っています。	R3計画	270			270		
				当初予算	270			270	
				決算額	208			208	
	R4	・学校教育基本方針グランドポスターの作成 ・中学校1年生を対象とした学校生活における満足度や意欲等についての学級集団診断の実施 ・小中学生(中学校3年生を除く)を対象とした学力テストの実施 ・学校教育力向上のための研修 ・学校での児童生徒の生活、学力状況等の調査及び分析	R4計画	270			270		
				当初予算	2,318		342	1,976	
				決算額	1,886		342	1,544	
	R5	・豊後大野市学校教育基本方針のグランドポスターの作成 ・家庭教育力UPリーフレットの作成 ・小学生(5・6年)、中学生(1・2年)を対象とした学校生活における満足度や意欲等についての学級集団診断の実施 ・小中学生(中学校3年生を除く)の学力テストの実施 ・学校教育力向上のための研修	R5計画	270			270		
				当初予算	2,611		635	1,976	
				決算額	2,359		635	1,724	
	R6		R6計画	2,705			600	2,105	
				当初予算	2,705		600	2,105	
				決算額					
	R7		R7計画	270			270		
				当初予算					
			決算額						
		R3 ~ R7 合計	計画額	3,785		1,680	2,105		
			当初予算	7,904		1,847	6,057		
			決算額	4,453		1,185	3,268		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 グランドポスターの作成	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	回	目標値	1	1	1	1
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1	1	
					%	達成率	100	100	100	
	2 学級集団診断の実施	回数(中学1年生に対して年1回の実施)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	回	目標値	1	1	1
<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値			1	1	1	
				%	達成率	100	100	100		
D 成果指標		1 学力の分析の実施率	<input type="checkbox"/> 総合計画			%	目標値	100	100	100
	<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値			100	100	100	
	<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率			100	100	100	
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画			%	目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 教育委員会から地域に向けた情報発信、学校生活に対する調査・分析や学力テストの実施、指導主事による学校教育力向上のための調査、研修、啓発等の取組は、小中学校の教育力向上を目指すために継続する必要がある、取組実績から達成できている。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 教育委員会から地域に向けた情報発信、学校生活に対する調査・分析や学力テストの実施、指導主事による学校教育力向上のための調査、研修、啓発等の取組は、小中学校の教育力向上を目指すために継続する必要がある、取組実績から達成できたと評価する。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	教育振興事業	細事業	教育振興事業	実施計画事業	スクールソーシャルワーカー活用事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (333)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 8,679 社会保険料(会計年度任用職員分) 885 会計年度任用職員共済組合負担金 561	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実	8,679			
項	1	施策展開	②教育体制を充実する	885			
目	3	後期基本計画	84 P	561			
決算	141						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> いじめ、不登校、暴力行為など、児童生徒の問題行動等については、極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと推察される。このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒がおかれた様々な環境へ働き掛け、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制を整備する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 学校教育課に2人配置を行う。 (1)課題を抱える児童生徒がおかれた環境への働きかけ(2)関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整(3)学校内におけるチーム体制の構築、支援(4)保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供(5)教職員等への研修活動(6)人件費の支払い及び国庫補助請求の実施</p>	R3	不登校や、虐待、いじめ等問題を抱える、児童生徒、保護者の相談や、それに対応する教員に対して、相談や、助言を行い必要に応じて、関係機関と連携を行った。その他に、各学校にて研修会を実施し、教員の育成を実施した。 相談件数実績:2227件	R3計画 9,300	4,534			4,766
	当初予算	9,300	4,534			4,766	
	決算額	9,307	4,651			4,656	
	R4	スクールソーシャルワーカー2名が常時、不登校、暴力行為、いじめ等の問題を抱える児童生徒及び保護者の相談やそれに対応する教員に対しての相談や助言を行った。また、必要に応じて関係機関と連携を図り、課題解決に向けた取組や相談体制の強化を行った。 この他に、各学校において研修会を実施した。 相談件数:のべ3,127件	R4計画 9,300	4,534			4,766
	当初予算	9,908	5,289			4,619	
	決算額	9,637	4,738			4,899	
	R5	学校教育課に2人配置し、いじめ、不登校、暴力行為等問題を抱える児童生徒及び保護者の相談や、それに対する教員に対して相談や助言を行い、必要に応じて関係機関と連携し、課題解決に向けた相談体制の強化を図った。 相談件数:3,199件	R5計画 9,300	4,534			4,766
	当初予算	10,644	5,119			5,525	
	決算額	9,804	4,955			4,849	
	R6		R6計画 10,596	5,218			5,378
当初予算	10,596	5,218			5,378		
決算額							
R7		R7計画 9,300	4,534			4,766	
当初予算							
決算額							
R3～R7合計			計画額	47,796	23,354		24,442
			当初予算	40,448	20,160		20,288
			決算額	28,748	14,344		14,404

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標 1 国庫補助を利用し、人材確保を行う	雇用人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	人	目標値	2	2	2	2	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2	2	2		
		% 達成率			100	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 成果指標 1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100	100		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	25点	5点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>いじめ、不登校、暴力行為等の児童生徒の問題行動は極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと推測される。このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒がおかれた様々な環境へ働き掛け、関係機関とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーの配置は不可欠である。計画通り2人配置し活用できた。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>いじめ、不登校、暴力行為等の児童生徒の問題行動は極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと推測される。このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒がおかれた様々な環境へ働き掛け、関係機関とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーの配置は不可欠である。計画通り2人配置し活用できたと評価する。</p>
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	教育振興事業	細事業	教育振興事業	実施計画事業	小中一貫コーディネーター活用事業	終了年度	なし
----	--------	-----	--------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (321)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	10	施策	1 学校教育の充実	会計年度任用職員報酬					2,031
項	1	施策展開	①教育内容を充実する	期末手当					331
目	3	後期基本計画	84 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					社会保険料(会計年度任用職員分)
決算	141				期間	年度 ~ 年度	会計年度任用職員共済組合負担金	142	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源		
<p><事業の目的></p> <p>会計年度任用職員として小中一貫コーディネーターを採用し小中一貫校の設置を進めていく。</p> <p>・豊後大野市の将来を担う児童生徒の育成のため小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進する。</p> <p>・小中一貫教育を実施していくことで、地域に学校を残し持続可能な地方の創造を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <p>・市内小中学校の教職員、PTA、地域住民への説明会を通じて啓発活動を実施する。</p> <p>・CS(学校運営協議会)を各学校年4回実施する。</p> <p>・9年間を見通した教育目標、教育課程の作成、年間計画などの作成を促進する。</p> <p>・小中一貫教育に関わる教職員の業務内容の点検整理を行い働き方改革を徹底する。</p>	R3	教職員はもとより保護者会での説明を2地区、自治会説明を3地区で実施し、一貫校への取り組みを啓発した。	R3計画	3,122				3,122	
			その他にも郷土学に対しての学習資料の作成や、校舎建築に対するアンケート、9年間を見通した教育目標の作成等を実施しコーディネーターとして活動した。	当初予算	3,122				3,122
			小中一貫コーディネーター1名を配置し、各小中学校の保護者会や学校運営協議会で小中一貫教育について説明し、周知した。また、各学校の創意工夫した学習活動を取材し、市報で紹介した。この他、郷土学や体験的学習が9年間を見通した学びとなり、地域と連携した取組となるよう、各学校の教育目標や教育内容の見直し支援をおこなった。	決算額	2,872				2,872
	R4			R4計画	3,122				3,122
				当初予算	3,120				3,120
				決算額	3,034				3,034
	R5			R5計画	3,122				3,122
				当初予算	2,838				2,838
				決算額	2,590				2,590
	R6			R6計画	3,122				3,122
			当初予算	3,040				3,040	
			決算額						
R7			R7計画	3,122				3,122	
			当初予算						
			決算額						
			計画額	15,610				15,610	
			当初予算	12,120				12,120	
			決算額	8,496				8,496	
		R3 ~ R7 合計							

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 小中一貫コーディネーターの配置	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1		
					% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 小中一貫校の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		校	目標値	1	2	4	5	7
					実績値	1	1	6		
					% 達成率	100	50	150		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
小中一貫コーディネーターを1人配置し、継続して小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進した結果、施設一体型小中学校2校(清川・千歳町)、隣接型小中一貫校3校(緒方・大野・犬飼町)の設置の運びとなった。令和6年度は小中一貫教育の定着を進めながら、基本計画の令和7年度の7校設置に向け、三重町の小中一貫校設置を目指す。計画通り1人配置し活用できた。	小中一貫コーディネーターを1人配置し、継続して小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進した結果、施設一体型小中学校2校(清川・千歳町)、隣接型小中一貫校3校(緒方・大野・犬飼町)の設置の運びとなった。令和6年度は小中一貫教育の定着を進めながら、基本計画の令和7年度の7校設置に向け、三重町の小中一貫校設置を目指す。計画通り1人配置し活用できたと評価する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	教育振興事業	細事業	外国語指導助手事業	実施計画事業	外国語指導助手事業	終了年度	なし
----	--------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (327)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬(外国語指導助手) 15,000 社会保険料(会計年度任用職員分) 1,553 会計年度任用職員共済組合負担金 990 外国青年招致事業負担金 800	当予算額
款	10	施策 1 学校教育の充実				
項	1	施策展開 ①教育内容を充実する				
目	3	後期基本計画 84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	141					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> グローバル化が叫ばれる中、豊後大野市では、外国語を「英語」とし、語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)により、4人の外国語指導助手(ALT)を配置し英語教育の充実を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 4人の外国語指導助手(ALT)を配置し、児童生徒に生きた英語授業を行う。</p>	R3	4月当初は2名体制で行っているが、コロナの影響により新規ALTの来日が遅れていたが9月に2名来日となり、4名の体制となった。市内小中学校の英語授業の補助を行った。	R3計画 19,065				19,065
			当初予算 19,065				19,065
			決算額 14,438				14,438
	R4	4名の外国語指導助手を配置し市内小中学校における英語授業の補助を行った。	R4計画 19,065				19,065
			当初予算 19,002				19,002
			決算額 16,987				16,987
	R5	4人の外国語指導助手(ALT)を配置し、市内小中学校における英語授業の補助を行った。	R5計画 19,065				19,065
			当初予算 19,214				19,214
			決算額 17,344				17,344
	R6		R6計画 19,065				19,065
		当初予算 18,374				18,374	
		決算額					
R7		R7計画 19,065				19,065	
		当初予算					
		決算額					
R3～R7合計			計画額 95,325				95,325
			当初予算 75,655				75,655
			決算額 48,769				48,769

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標 1 市内小中学校における英語授業補助のための人材確保	4人の配置	<input type="checkbox"/> 総合戦略	2	人	目標値	4	4	4	4	4	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	4	4			
		%			達成率	100	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値						
		%	達成率								
D 成果指標 1 「英語の授業が楽しい」と答える児童	アンケート等の実施による	<input type="checkbox"/> 総合計画	90	%	目標値	91	92	93	94	95	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	91.6	92.2	92.8			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100.7	100.2	99.8		
	2 「英語の授業が楽しい」と答える生徒(1年生)	アンケート等の実施による ※1年生	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値	67	69	71	73	75
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		%	実績値	81.9	78.6	90.5		
			<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	122.2	113.9	127.5		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)を活用して外国語指導助手(ALT)を配置し、小中学校において英語を楽しく学べる環境整備を継続することで、今後も英語教育を推進する。計画通り4人配置し活用できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)を活用して外国語指導助手(ALT)を配置し、小中学校において英語を楽しく学べる環境整備を継続することで、今後も英語教育を推進する。計画通り4人配置し活用できたと評価する。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	教育振興事業	細事業	特色ある学校づくり推進事業	実施計画事業	特色ある学校づくり推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (328)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和5年度主な歳出名称 特色ある学校づくり推進事業補助金	当初予算額 2,460
会計	一般	施策	1 学校教育の充実				
款	10	施策展開	②教育体制を充実する				
項	1	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過剰計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	3	決算	141	期間	年度	年度	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 平成25年度より開始した事業で、郷土学、小中一貫教育、学力向上、英語教育などをテーマとした取組を各学校が推進している。学校を地域コミュニティの核として、地域一体で小中一貫教育校の設置を進め、連携型小中一貫教育で培った「ふるさとを愛する子ども」に「将来もこのまちに住みたい」という心情を育み、「持続可能なまちづくり」につなげていくことを目指す。 (各小中学校に対する補助事業)</p> <p><令和5年度取組内容(計画)> 特色のある学校を作っていくために子どもや地域の特性を踏まえ、学校の独自性・創造性を発揮するために全小中学校で実施。自ら考える力の育成の実現、基礎的・基本的な内容の確実な定着、個性を生かす教育の実現、ICT機器を利用し情報発信等の学習活動に取組む。また、学校教育シンポジウムで、事業の取組内容を発表する。</p>	R3	各学校において、特色を作るため、それぞれの形で、取組みを行った。郷土学については、コミュニティ・スクールをはじめとする地域の方々との協力の下、ジオパークと関連付けたジオ学習や地域の伝統文化、地域の特色などについて学習し、また、農業体験や、地域に伝わる交流を行い推進した。小中一貫教育では、小学校と中学校が共通の学校教育目標を設定し、義務教育9年間の指導の一貫性を確保した。なお、結果については、コロナ禍で実施できなかったシンポジウムを動画開催とし、ICT機器を利用した取組も展開した。	R3計画	2,460		2,400	60
	当初予算	2,460		2,400	60		
	決算額	2,341		2,300	41		
	R4	各学校において特色ある学校づくりのためそれぞれの研究目標に沿った取組みを行った。コミュニティ・スクールをはじめとする地域の協力のもと、タブレット端末を活用したジオ学習、地域の伝統文化の学習、農業体験等を実施した。小中一貫教育では小学校と中学校が共通の目標を設定し、義務教育9年間の指導の一貫性を確保した。取組内容は教育シンポジウムにおいて発表し、ICT機器を利用した取組も展開した。	R4計画	2,460		2,400	60
	当初予算	2,460		2,400	60		
	決算額	2,390		2,300	90		
	R5	各学校が、特色のある学校づくりに向け様々な研究課題を設定し、年間事業計画を立てて取組を行った。【研究課題】ジオ学習、郷土学、小中一貫教育、人権・部落差別解消教育、英語教育、キャリア教育、防災教育、情報教育など。また、学校教育シンポジウムでICTを活用し、事業の取組内容を発表した。	R5計画	2,460		2,400	60
当初予算	2,460		2,400	60			
決算額	2,413		2,400	13			
R6		R6計画	2,460		2,400	60	
当初予算							
決算額							
R7		R7計画	2,460		2,400	60	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額	12,300		12,000	300
			当初予算	7,380		7,200	180
			決算額	7,144		7,000	144

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 特色ある学校づくりを実施 実施校	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	18	校	%	目標値	18	18	18	18	18
						実績値	18	18	18		
						達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 補助事業実施率 実施率(実施学校数/全学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	%	目標値	100	100	100	100	
						実績値	100	100	100		
						達成率	100	100	100		
E 評価対象外の理由	0 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	目標値					
						実績値					
						達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>各学校において、郷土学、小中一貫教育、情報教育などを研究課題とし、年間行事計画に沿って特色のある学校づくりに取組んだ。令和6年度から各学校の特色を魅力ある学校へ展開するため、キャリア教育推進事業の中で継続して取組む。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>各学校において、郷土学、小中一貫教育、情報教育などを研究課題とし、年間行事計画に沿って特色のある学校づくりに取組めたと評価する。令和6年度から各学校の特色を魅力ある学校へ展開するため、キャリア教育推進事業の中で継続して取組む。</p>
--	--

事業	教育振興事業	細事業	教育バス運行管理事業	実施計画事業	教育バス運行管理事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (323)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	10	施策	1 学校教育の充実	会計年度任用職員報酬					785	
項	1	施策展開	①教育内容を充実する	燃料費					919	
目	3	後期基本計画	84 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					修繕料	620
決算	141								自動車等借上料	220

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 各学校の社会見学、市内外の文化財等見学、各学校間の交流などバスが必要となった際に、教育委員会で保有するバス2台の安全を確保し運行管理を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> バス2台の管理運営及び運転手3人(再任用職員1人及び会計年度任用職員2人)体制による教育バスの運行。</p>	R3	バス2台の管理及び、運転手2名(再任用職員及び会計年度任用職員(時給))の確保ができた。コロナ禍の中で、社会見学等計画が中止になる状況もあったが、バス2台の運用に関しては、児童・生徒の安全を確保しつつ運用ができた。	R3計画 2,213 当初予算 2,213 決算額 1,554				2,213 2,213 1,554	
	R4	バス2台の管理及び運転手2名を確保した。コロナ禍で校外活動等を中止する状況もあったが、バス2台の運行に関しては児童生徒の安全を確保した運行ができた。稼働回数: 述べ216回	R4計画 2,213 当初予算 2,583 決算額 2,348				2,213 2,583 2,348	
	R5	バス2台の管理運営及び運転手3人(再任用職員1人及び会計年度任用職員2人)体制により教育バスを運行した。稼働回数: 述べ273回	R5計画 2,213 当初予算 3,176 決算額 2,146				2,213 3,176 2,146	
	R6		R6計画 2,213 当初予算 3,275 決算額				2,213 3,275	
	R7		R7計画 2,213 当初予算 決算額				2,213	
	R3 ~ R7 合計			計画額 11,065 当初予算 11,247 決算額 6,048				11,065 11,247 6,048

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 教育バス2台を確保し安全な運行を行う	教育バス2台の安全な運用	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2台	目標値	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	2	2	2		
			%		達成率	100	100	100		
D 成果指標 1 児童・生徒等を乗せた安全な運行業務	無事故達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画		100	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100	100		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	100	100	
2 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率(社会見学等)	<input type="checkbox"/> 総合計画		100	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100	100		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	100	100	

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	25点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>各学校の社会見学や文化財等見学、学校間の交流など校外活動の際に利用する教育バスの運行は今後も必要な事業であり、保有バス2台の維持管理及び安全確保に努めながら、継続した取組が必要である。2台活用して計画的に安全な運行ができた。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>各学校の社会見学や文化財等見学、学校間の交流など校外活動の際に利用する教育バスの運行は今後も必要な事業であり、保有バス2台の維持管理及び安全確保に努めながら、継続した取組が必要である。2台活用して計画的に安全な運行ができたと評価する。</p>
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	教育振興事業	細事業	キャリア教育推進事業	実施計画事業	キャリア教育推進事業	終了年度	なし
----	--------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (320)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	1	施策展開	①教育内容を充実する				
目	3	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	141						
						会計年度任用職員報酬	1,985
						期末手当	331
						社会保険料(会計年度任用職員分)	217
						講師謝礼金	266

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等							
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
<事業の目的> 子どもたち一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育て、キャリア発達を促すもの。 <令和5年度の取組内容(計画)> 小中学校におけるキャリア教育の推進 ・中学校「郷土の先輩特別授業」実施 ・小中学校「職業講話」実施 ・小学校「匠のWAZA」体験学習実施 ・中学校「職場体験学習」実施 ・小中学校の「郷土学」の推進	R3	小中学校におけるキャリア教育の推進 ○小学校「職業講話」実施 ・小学校高学年「職業講話」講師派遣(講師派遣:1校1人実施) ・中学校1年生「職業講話」講師派遣(講師派遣:2校1人実施) ○小学校「匠のWAZA」体験学習実施 講師派遣:5校15人の実施 対象児童・生徒については5校93人 ○中学校「職場体験学習」推進 9校で実施 ○小中学校の「郷土学」の推進 18小中学校全てで実施 ※小中学校の「郷土学」の推進は実施が完了できなかった	R3計画	3,378			3,000	378	
				当初予算	3,378			3,000	378
				決算額	3,167			2,967	200
	R4	小中学校におけるキャリア教育の推進 ○小学校「職業講話」 小学校高学年:3校実施、講師4人 中学校1年生:7校実施、講師延べ36人 ○小学校「匠のWAZA」体験学習 8校実施、講師延べ37人 ○中学校「職場体験学習」6校で実施 ○小中学校の「郷土学」全小中学校で実施	R4計画	3,378			3,000	378	
				当初予算	3,586			3,200	386
				決算額	3,331			3,100	231
	R5	小中学校におけるキャリア教育の推進 ・郷土の先輩特別授業:中学校7校 ・職業講話:小学校2校、中学校7校 ・匠のWAZA:小学校6校、中学校1校 ・職場体験学習:中学校7校 ・郷土学:全小中学校	R5計画	3,378			3,000	378	
			当初予算	3,308			200	3,108	
			決算額	3,246			200	3,046	
	R6		R6計画	3,378			3,000	378	
			当初予算	6,000			2,600	3,400	
			決算額						
	R7		R7計画	3,378			3,000	378	
			当初予算						
			決算額						
	R3～R7合計		計画額	16,890			15,000	1,890	
			当初予算	16,272			9,000	7,272	
			決算額	9,744			6,267	3,477	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 職業関係学習実施校数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	88.6	校	目標値	18	18	18	18	18
					実績値	13	16	18		
					% 達成率	72.2	88.9	100		
2 郷土学実施校数	郷土学の実施校数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	96.4	校	目標値	18	18	18	18	18
					実績値	18	18	18		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 小学校の授業や行事をキャリアの視点で見直しをしたか	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	88.6	%	目標値	90	92.5	95	97.5	100
					実績値	90.9	95.5	93.1		
					% 達成率	101	103.2	98		
	2 中学校の授業や行事をキャリアの視点で見直しをしたか	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	96.4	%	目標値	90	92.5	95	97.5	100
					実績値	89.3	89.3	100		
					% 達成率	99.2	96.5	105.3		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 児童生徒が将来、自分らしい生き方を実現するため、市にゆかりがあり活躍されている方から生き方を学ぶ「郷土の先輩特別授業」、様々な仕事への理解を深める「職場体験学習」「職業講話」、体験的な郷土学の実施により郷土愛を育む「匠のWAZA」などのキャリア教育事業は、今後も内容を精査しながら継続して取り組む必要がある。取組実績や児童生徒のアンケートから達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 児童生徒が将来、自分らしい生き方を実現するため、市にゆかりがあり活躍されている方から生き方を学ぶ「郷土の先輩特別授業」、様々な仕事への理解を深める「職場体験学習」「職業講話」、体験的な郷土学の実施により郷土愛を育む「匠のWAZA」などのキャリア教育事業は、今後も内容を精査しながら継続して取り組む必要がある。取組実績や児童生徒のアンケートから達成できたと評価する。
---	---

事業	小中学校ICT環境整備事業	細事業	小中学校ICT環境整備事業	実施計画事業	小中学校ICT環境整備事業	終了年度	なし
----	---------------	-----	---------------	--------	---------------	------	----

総合計画体系図No.1 (326)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	1	施策展開	①教育内容を充実する				
目	3	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	144						
A 事業目的・内容・実績				B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> GIGAスクール構想をはじめとした各種補助事業を有効活用し、学校のICT環境の整備・充実を図り、情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実を図る。また、課題の発見と解決に向けた主体的かつ協働的な学びを充実するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICTを活用した教育を推進する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 小中学校における、ICT環境の整備、維持管理及びICT教育に係るICT支援員による教職員研修、支援体制の充実、また端末の維持管理を行う。</p>	R3	GIGAスクール構想に基づき、市内の小中学校に於いて、ICT教育に必要な授業支援や端末の整備及びICT機器の維持管理を実施した。 ・研修費(タブレット研修等)・学校教育ICT支援員業務委託料(1名:月16日勤務)指導者向けに端末を活用した授業支援や各種アプリの使用に関する研修を56回実施・ソフトウェア導入作業委託料・フィルタリングソフトの導入・学習器具費、教職員に対してタブレット端末等整備を実施 合計購入数237台	R3計画 20,795	6,000			14,795
	当初予算	20,795	6,000			14,795	
	決算額	19,312	11,100			8,212	
	R4	GIGAスクール構想に基づき、小中学校に対してICT教育に必要な授業支援やICT機器の購入及び維持管理、ソフトウェアの導入等を実施した。 また、学校教育ICT支援員2名を配置し、指導者向けに端末を活用した授業支援や各種アプリの使用に関する研修を実施した。	R4計画 14,224				14,224
	当初予算	42,412				42,412	
	決算額	60,731				60,731	
	R5	学校教育システム(県統合型校務支援システム・インターネット接続パソコン管理システム)、GIGAスクール対応複合機(校内プリンター・複合機の整理統合)を導入した。また、端末やネットワーク管理・セキュリティ対策、ICT支援員を含めた活用支援のほか、教職員向けの研修に取組んだ。	R5計画 14,224				14,224
	当初予算	67,494				67,494	
	決算額	65,119				65,119	
	R6		R6計画 14,224				14,224
当初予算	91,209				91,209		
決算額							
R7		R7計画 14,224				14,224	
当初予算							
決算額							
R3～R7合計			計画額 77,691	6,000			71,691
			当初予算 221,910	6,000			215,910
			決算額 145,162	11,100			134,062

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 各校でのICT研修実施 1校あたりのICT研修の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	回	目標値	4	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	3.1	3	3		
						% 達成率	77.5	75	75		
D 成果指標	1 ICT機器を使って授業ができる教職員の割合 ICT機器を使って授業ができる教職員の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画		95	%	目標値	80	82	83	84	85
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	79.1	94.2	100		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	98.9	114.9	120.5		
2 高速大容量の通信ネットワークの整備 GIGA対応している普通教室・特別教室割合		<input type="checkbox"/> 総合計画		99	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	100	100	100		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		24点	24点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 GIGAスクール構想に基づき、学校のICT環境の整備・充実や情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実、ICTを活用した教育の推進に向け、今後も継続した取組が必要である。システムの導入や複合機の統合など計画通り達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 GIGAスクール構想に基づき、学校のICT環境の整備・充実や情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実、ICTを活用した教育の推進に向け、今後も継続した取組が必要である。システムの導入や複合機の統合など計画通り達成できたと評価する。
---	---

事業	教育支援センター運営事業	細事業	教育支援センター運営事業	実施計画事業	学校教育指導員活用事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	--------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (333)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 期末手当	当初予算額 5,663 944
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	1	施策展開	②教育体制を充実する				
目	4	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	145						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行うために学校教育指導員を配置し、通所する子どもたちの学習や、生活に対して支援を実施する。また、教員や保護者に対しての相談活動を行い、包括的に不登校に対応していく。(資格不問、1日6時間勤務)</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 学校教育指導員が必要な教育支援センターかじかに対して、必要な人員配置を行う。 配置予定人数:5人</p>	R3	4名確保し教育支援センターかじかに通所する子どもたちの支援を行った。 ・学習活動 ・相談活動 ・体験学習等	R3計画 5,311 当初予算 5,311 決算額 4,964				5,311 5,311 4,964	
	R4	学校教育支援員5名を配置し、教育支援センターかじかに通所する子どもへの学習活動、相談活動、体験学習等の支援をした。	R4計画 5,311 当初予算 6,637 決算額 5,999				5,311 6,637 5,999	
	R5	学校教育指導員5人を配置し、教育支援センターかじかに通所する子どもへの学習活動、相談活動、体験学習等の支援をした。	R5計画 5,311 当初予算 6,979 決算額 6,245				5,311 6,979 6,245	
	R6		R6計画 5,311 当初予算 7,357 決算額				5,311 7,357	
	R7		R7計画 5,311 当初予算 決算額				5,311	
	R3 ~ R7 合計			計画額 26,555 当初予算 26,284 決算額 17,208				26,555 26,284 17,208

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 学校教育指導員の配置	雇用人数(適正人数の配置)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		3人	目標値	4	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	5	5		
			%		達成率	100	125	125		
D 成果指標 1 通室児童生徒割合	かじか教室運営事業と同じ	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値	31	32	33	34	35
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	31	34.7	28.9		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	108.4	87.6	

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	24点	5点	24点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
学校教育指導員を配置することにより、教育支援センターかじかの運営を円滑かつ効率的に行うことができるため、継続的な配置が必要である。計画通り5人配置し活用できた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
学校教育指導員を配置することにより、教育支援センターかじかの運営を円滑かつ効率的に行うことができるため、継続的な配置が必要である。計画通り5人配置し活用できたと評価する。

事業	教育支援センター運営事業	細事業	教育支援センター運営事業	実施計画事業	かじか教室運営事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	--------------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (333)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	10	施策	1 学校教育の充実	消耗品費					210	
項	1	施策展開	②教育体制を充実する	講師謝礼金					36	
目	4	後期基本計画	84 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					図書	25
決算	145									

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 不登校の小中学生に対する支援拡充を目的とした教育支援センターかじかの運営費 ①教育支援センター: 不登校児童生徒の受け入れ、作業活動や体験活動の実施 ②不登校対策センター: 市内の不登校児童生徒の把握、個別の対応構築、市教委との連携 ③相談支援センター: 不登校児童生徒のカウンセリング、保護者や教職員からの相談 ④学習支援センター: 個に応じた学習支援の実施、受験対策 ⑤教職員研修センター: いじめ不登校に関する研修実施 <令和5年度の取組内容(計画)> ・業務内容 教育相談(来所、電話相談) 家庭訪問 学校訪問 児童生徒のための開室日教 学習指導 調理実習 スポーツ活動 校外学習	R3	・業務 教育相談(来所31人、電話相談97件) 家庭訪問317回 学校訪問29回 児童生徒のための開室日数177日 学習指導177日 調理実習11回 スポーツ活動12回 校外学習7回等 ・不登校児童生徒数(うち通室生) 小学生28名(小学生10名) 中学生50名(中学生14名) ・支援を行った中で学校に登校できるようになった児童生徒数 小学生4名 中学生2名	R3計画 246				246	
				当初予算 246				246
				決算額 1,255				1,255
	R4	教育相談(来室21回、電話相談95件)、家庭訪問134回、学校訪問22回、児童生徒のための開室日数174日、学習指導174日、調理実習14回、スポーツ活動12回、校外学習8回 ・不登校児童生徒数(うち通室生) 小学生19名(10名) 中学生53名(15名)	R4計画 246				246	
				当初予算 321				321
				決算額 1,110				1,110
	R5	教育相談(来室39回、電話相談90件)、家庭訪問58回、学校訪問18回、児童生徒のための開室日数176日、学習指導176日、調理実習12回、スポーツ活動14回、校外学習12回、外部指導による体験活動28回 ・不登校児童生徒数(うち通室生) 小学生30名(8人) 中学生46名(14人)	R5計画 246				246	
			当初予算 271				271	
			決算額 157				157	
R6		R6計画 246				246		
			当初予算 259				259	
			決算額					
R7		R7計画 246				246		
			当初予算					
			決算額					
R3～R7合計			計画額 1,230				1,230	
			当初予算 1,097				1,097	
			決算額 2,522				2,522	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値
C 活動指標	1 アウトリーチ件数	家庭を訪問した件数	290	件	目標値	300	300	300	300	300
					実績値	317	184	58		
					% 達成率	105.7	61.3	19.3		
D 成果指標	1 通室児童割合	通室児童÷不登校児童		%	目標値	35	36.5	38	39.5	41
					実績値	35.7	52.7	26.7		
					% 達成率	102	144.4	70.3		
2 通室生徒割合	通室生徒÷不登校生徒			%	目標値	28	29	30	31	32
					実績値	28	28.3	30.4		
					% 達成率	100	97.6	101.3		

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	2点	2点	2点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		21点	21点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 不登校の児童生徒に対する支援を目的とした教育支援センターかじかの運営はニーズもあり、対応も多様化しているため、今後も継続した取組が必要である。活動実績から目的はおおむね達成できた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 不登校の児童生徒に対する支援を目的とした教育支援センターかじかの運営はニーズもあり、対応も多様化しているため、今後も継続した取組が必要である。活動実績から目的はおおむね達成できたと評価する。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	教育支援センター運営事業	細事業	教育支援センター運営事業	実施計画事業	教育支援コーディネーター活用事業	終了年度	なし
----	--------------	-----	--------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (333)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度 期間 年度 ~ 年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 5,955 期末手当 993 社会保険料(会計年度任用職員分) 745 会計年度任用職員共済組合負担金 488	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実	5,955			
項	1	施策展開	②教育体制を充実する	993			
目	4	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	745			
決算	145			488			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行うために、教育支援コーディネーターを配置することにより、通所する子どもたちの学習や、生活に対して支援を実施する。また、教員や保護者に対しての相談活動を行い、包括的に不登校に対応していく。(資格有、週5日勤務)</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 教育支援コーディネーターが必要な教育支援センターかじかに対して、必要な人員配置を行う。</p>	R3	3名を確保し、通室生の支援のみならず、学校訪問等、アウトリーチを行った。	R3計画 9,363				9,363	
				当初予算 9,363				9,363
				決算額 8,828				8,828
	R4	教育支援コーディネーターを3名配置し、通室生の支援のみならず、学校訪問等、アウトリーチを行った。	R4計画 9,363				9,363	
				当初予算 9,218				9,218
				決算額 8,729				8,729
	R5	教育支援コーディネーターを3名配置し、通室生の支援のみならず、学校訪問等、アウトリーチを行った。	R5計画 9,363				9,363	
				当初予算 8,541				8,541
				決算額 8,011				8,011
	R6		R6計画 9,363				9,363	
				当初予算 9,102				9,102
				決算額				
	R7		R7計画 9,363				9,363	
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 46,815				46,815	
			当初予算 36,224				36,224	
			決算額 25,568				25,568	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標 1 教育支援コーディネーターの配置	雇用人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		2	人	目標値	3	3	3	3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	3	3	3		
		% 達成率	100			100	100				
D 成果指標 1 通室児童生徒割合	かじか教室運営事業と同じ	<input type="checkbox"/> 総合計画			%	目標値	31	32	33	34	35
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	31	34.7	28.9		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	108.4	87.6		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	24点	24点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 教育支援コーディネーターを配置することにより、教育支援センターかじかの運営を円滑かつ効率的に行うことができる。今後も継続的な配置による支援体制の確保や多様化する相談等にきめ細かな対応をしていくため、必要な事業である。計画通り3人配置し活用できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 教育支援コーディネーターを配置することにより、教育支援センターかじかの運営を円滑かつ効率的に行うことができる。今後も継続的な配置による支援体制の確保や多様化する相談等にきめ細かな対応をしていくため、必要な事業である。計画通り3人配置し活用できたと評価する。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	小学校一般管理事業	細事業	小学校一般管理事業	実施計画事業	臨時講師活用事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No. (330)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 期末手当 社会保険料(会計年度任用職員分) 会計年度任用職員共済組合負担金	当初予算額 20,043 2,982 2,259 1,466
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	2	施策展開	②教育体制を充実する				
目	1	後期基本計画	84 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	146						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 普通学級での授業や特別支援の必要な児童の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員を雇用し、教育体制を充実する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 臨時講師が必要な豊後大野市内の公立小学校に対して、必要な人員を配置する。	R3	・配置人数(のべ人数) 菅尾小学校1人 百枝小学校1人(内時短1名) 三重第一小学校2人(内時短1名) 新田小学校2人(内時短1名) 清川小学校0人 緒方小学校2人(内時短1名) 朝地小学校1人 大野小学校0人 千歳小学校2人(内時短2名) 大飼小学校1人	R3計画 27,206	27,206	24,700		2,506
	当初予算	27,206	24,700		2,506		
	決算額	26,399	23,800		2,599		
	R4	・配置人数(のべ人数) 臨時講師: 三重第一小1人、新田小1人、大野小1人 短時間講師: 菅尾小1人、百枝小3人、三重東小1人、清川小1人、緒方小1人、千歳小1人、大飼小2人	R4計画 27,206	27,206	24,700		2,506
	当初予算	26,997	19,120		7,877		
	決算額	30,297	19,100		11,197		
	R5	・配置人数(のべ人数) 臨時講師: 菅尾小1人、新田小1人、朝地小1人 短時間講師: 菅尾小1人、百枝小1人、三重第一小1人、三重東小2人、清川小3人、緒方小1人、大野小1人、大飼小2人	R5計画 27,206	27,206	24,700		2,506
	当初予算	27,950	26,100		1,850		
決算額	20,610	19,800		810			
R6		R6計画 27,206	27,206	24,700		2,506	
当初予算	28,900	26,100		2,800			
決算額							
R7		R7計画 27,206	27,206	24,700		2,506	
当初予算							
決算額							
R3～R7合計			計画額 136,030		123,500		12,530
			当初予算 111,053		96,020		15,033
			決算額 77,306		62,700		14,606

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 専門スタッフ等の適正配置	人数(実績値:のべ人数)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	10	人	目標値	14	13	10	10	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	14	13	9		
		% 達成率			100	100	90			
D 成果指標 1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100	100		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100		
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		24点	24点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 普通学級での授業や特別支援の必要な児童の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員については、きめ細かな学習支援を行うために今後も必要である。必要な人員については、おおむね配置し活用できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 普通学級での授業や特別支援の必要な児童の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員については、きめ細かな学習支援を行うために今後も必要である。必要な人員については、おおむね配置し活用できた」と評価する。
--	---

事業	小学校一般管理事業	細事業	フッ化物洗口推進事業	実施計画事業	フッ化物洗口推進事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (324)		会計 一般		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和5年度主な歳出名称 消耗品費 学校薬剤師報酬	当初予算額 543 178	
款	10	施策	1 学校教育の充実						
項	2	施策展開	①教育内容を充実する						
目	1	後期基本計画	84 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略				<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	146								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等								
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)						
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
<p><事業の目的> 児童に対して、「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る。実施については、保護者の同意が必要。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 保護者に対して説明を行い、全小学校で1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがいを実施する。</p>	R3	1週間に1回フッ化物洗口液を使用してうがいをを行う。 小学校 1,311人 の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 11校 749千円(消耗品)	R3計画 978 当初予算 978 決算額 886				978			
	R4	1週間に1回フッ化物洗口液を使用し、うがいをを行う。 小学校11校:1,263人の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入	R4計画 978 当初予算 721 決算額 531				978			
	R5	1週間に1回フッ化物洗口液を使用し、うがいをを行う。 小学校11校:1,224人の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入	R5計画 978 当初予算 721 決算額 500	359	358		362	142		
	R6		R6計画 978 当初予算 529 決算額	264			978	265		
	R7		R7計画 978 当初予算 決算額				978			
	R3～R7合計			計画額 4,890 当初予算 2,949 決算額 1,917		623		4,890	2,326	1,559

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 実施率の向上	保護者に事業の説明を行い重要性を理解してもらい、実施児童の割合を増やす(保護者の同意が必要なため)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	90.2	%	目標値	91	92	93	94	95
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	90.4	90.7	91.4		
					達成率	99.3	98.6	98.3		
D 成果指標 1 虫歯の本数の減少	12歳児むし歯平均本数(前年度数値,小中成果同じ)	<input type="checkbox"/> 総合計画	1.7	本	目標値	1.6	1.4	1.2	1	0.9
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1.46	0.93	1.08		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			達成率	—	—	—		
2 —		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	24点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点
		24点	24点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>児童に対して「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行うことで、むし歯予防対策の強化を図っており、今後も継続して取組む必要がある。実施率及びむし歯本数の減少は、おおむね目標を達成できた。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>児童に対して「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行うことで、むし歯予防対策の強化を図っており、今後も継続して取組む必要がある。実施率及びむし歯本数の減少は、おおむね目標を達成できたと評価する。</p>
---	---

事業	小学校教育振興事業	細事業	小学校教育振興事業	実施計画事業	小学校教育振興事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	2	施策展開	①教育内容を充実する				
目	2	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	148						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品の整備や社会見学等のバス借上げ等により教育を振興する</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 消耗品・教材備品の購入及びバス借上げ等</p>	R3	小学校の教育振興のための教材などの物品の購入等、教育活動の充実を実施 ・講師謝礼金(総合学習)・記念品代(新入学生、卒業生)・消耗品費(教科書、教材等)・通信運搬費(体験乗車)・借上料(バス、タクシー、土地)・教材備品・図書	R3計画 19,019			3,500	15,519	
			当初予算	19,019			3,500	15,519
			決算額	17,538			3,500	14,038
	R4	教育振興に必要な教材などの物品購入等、教育活動の充実の取り組み ・講師謝礼金(総合学習)・記念品代(新入学生、卒業生)・消耗品費(教科書、教材等)・通信運搬費(体験乗車)・借上料(バス、タクシー、土地)・教材備品・図書	R4計画 19,019			3,500	15,519	
			当初予算	17,880			3,200	14,680
			決算額	16,028			3,200	12,828
	R5	教育振興に必要な教材などの物品購入等、教育活動の充実に取組んだ。 ・講師謝礼金(総合学習)・記念品代(新入学生、卒業生)・消耗品費(教科書、教材等)・借上料(バス、タクシー、土地)・プール使用料(菅尾小)・教材備品・図書	R5計画 19,019			3,500	15,519	
			当初予算	18,743			3,000	15,743
			決算額	15,763			3,000	12,763
	R6		R6計画 19,019			3,500	15,519	
		当初予算	50,445			3,000	47,445	
		決算額						
R7		R7計画 19,019			3,500	15,519		
		当初予算						
		決算額						
		R3～R7合計	計画額 95,095			17,500	77,595	
			当初予算 106,087			12,700	93,387	
			決算額 49,329			9,700	39,629	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 一般教材及び図書の整備	備品購入費(教材備品+図書)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	6,038	千円	目標値	4,823	4,475	4,401		
						実績値	4,823	4,475	4,401		
						% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 図書年間貸出冊数	児童一人当たり年平均※基本計画	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	168	冊	目標値	157	158	159	160	160
						実績値	161	161	157.2		
						% 達成率	102.6	101.9	98.9		
D 成果指標	2 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100	100	100		
						% 達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 学校の運営の中で、教育に必要な教材備品の整備、校外活動におけるバス借上げ等により教育を振興する事業であり、今後も継続した取組が必要である。活動実績から目的は達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 学校の運営の中で、教育に必要な教材備品の整備、校外活動におけるバス借上げ等により教育を振興する事業であり、今後も継続した取組が必要である。活動実績から目的は達成できたと評価する。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	小学校教育振興事業	細事業	小学校理科教育設備等整備事業	実施計画事業	理科教育設備等整備事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	----------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (328)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和5年度主な歳出名称 教材備品	当初予算額 864
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	2	施策展開	②教育体制を充実する				
目	2	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	148						

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 学校における理科及び算数に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、小学校に対して理科教育等を実施するための設備整備を実施する。 <令和5年度の実績内容(計画)> 各学校での整備計画により市内小学校の8校を対象に理科教材を購入する。	R3	市内小学校9校、27品目の更新を実施	R3計画 1,009	504			505
			当初予算	1,009	504		505
			決算額	979	379		600
	R4	小学校8校、25品の理科備品等の更新を実施	R4計画	1,009	504		505
			当初予算	691	317		374
			決算額	691	317		374
	R5	小学校8校、25品の理科備品等更新を実施	R5計画	1,009	504		505
			当初予算	864	432		432
			決算額	843	410		433
	R6		R6計画	1,009	504		505
			当初予算	858	428		430
			決算額				
	R7		R7計画	1,009	504		505
		当初予算					
		決算額					
R3～R7合計			計画額	5,045	2,520		2,525
			当初予算	3,422	1,681		1,741
			決算額	2,513	1,106		1,407

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 理科教育備品整備	整備数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	35	セ	目標値	27	25	25		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	27	25	25		
		% 達成率			100	100	100			
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		% 達成率								
D 成果指標 1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	100	100	100		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 小学校における理科及び算数に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づく国の補助事業を活用した理科教育教材の設備整備を行っており、教育振興の充実に努めている。今後も継続的な取組が必要な事業である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 小学校における理科及び算数に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づく国の補助事業を活用した理科教育教材の設備整備を行っており、教育振興の充実に努められていると評価する。今後も継続的な取組が必要な事業である。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	中学校一般管理事業	細事業	中学校一般管理事業	実施計画事業	臨時講師活用事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	----------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	3	施策展開	②教育体制を充実する				
目	1	後期基本計画	84 P <input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	149						
						会計年度任用職員報酬	6,794
						期末手当	993
						社会保険料(会計年度任用職員分)	847
						会計年度任用職員共済組合負担金	550

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 普通学級での授業や特別支援の必要な生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員を雇用し、教育支援体制を充実する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 臨時講師が必要な豊後大野市内の公立中学校に対して、必要な人員を配置する。</p>	R3	・配置人数(のべ人数) 三重中学校 1人(内時短1名) 清川中学校 1人 緒方中学校 0人 朝地中学校 1人 大野中学校 0人 大畑中学校 1人	R3計画 9,316		8,500		816
	R4	配置校:3校 三重中、清川中(2)、大飼中	当初予算 9,316		8,500		816
	R5	配置人数(のべ人数) 臨時講師:大飼中1人 短時間講師:三重中2人、緒方中1人、千歳中1人	決算額 10,227		9,300		927
	R6		R4計画 9,316		8,500		816
	R7		当初予算 9,238		8,700		538
	R3~R7合計		決算額 8,479		7,400		1,079
			R5計画 9,316		8,500		816
			当初予算 9,544		8,900		644
			決算額 4,880		4,600		280
			R6計画 9,316		8,500		816
		当初予算 6,613		5,900		713	
		決算額					
		R7計画 9,316		8,500		816	
		当初予算					
		決算額					
		計画額 46,580		42,500		4,080	
		当初予算 34,711		32,000		2,711	
		決算額 23,586		21,300		2,286	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 専門スタッフ等の適正配置 人数(実績値:のべ人数)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		4	人	目標値	4	4	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	4	4	2	
						% 達成率	100	100	66.7	
D 成果指標	1 教育課程の達成 文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	<input type="checkbox"/> 総合計画		100	%	目標値	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	100	100	100	
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	100	100	100	
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	3点		3点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	22点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
			22点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
普通学級での授業や特別支援の必要な生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員については、きめ細やかな学習支援を行うために今後も必要である。必要な人員については、おおむね配置し活用できた。	普通学級での授業や特別支援の必要な生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員については、きめ細やかな学習支援を行うために今後も必要である。必要な人員については、おおむね配置し活用できたと評価する。

事業	中学校一般管理事業	細事業	フッ化物洗口推進事業	実施計画事業	フッ化物洗口推進事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (324)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度	令和5年度主な歳出名称 消耗品費 学校薬剤師報酬	当初予算額 260 77
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	3	施策展開	①教育内容を充実する				
目	1	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	149						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 生徒に対して、「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る。実施については、保護者の同意が必要。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 保護者に対して説明を行い、全中学校で1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがいを実施する。</p>	R3	1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがいを 行う。 中学校 531人 の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 7校 351千円(消耗品)	R3計画 477 当初予算 477 決算額 396				477	
	R4	1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがいを 行う。 中学校 559人 の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 7校 293千円(消耗品)	R4計画 477 当初予算 337 決算額 293				477	
	R5	1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがいを 行う。 中学校7校:548人の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入	R5計画 477 当初予算 337 決算額 245	168			169	
	R6		R6計画 477 当初予算 266 決算額	133			133	
	R7		R7計画 477 当初予算 決算額				477	
	R3～R7合計			計画額 2,385 当初予算 1,417 決算額 934				2,385 1,116 766

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 実施率の向上	保護者に事業の説明を行い重要性を理解してもらい、実施生徒の割合を増やす(保護者の同意が必要のため)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	75.3	%	目標値	76	77	78	79	80
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	68.3	73.9	74.7		
					達成率	89.9	96	95.8		
D 成果指標 1 虫歯の本数の減少	12歳児むし歯平均本数(前年度数値,小中成果同じ)	<input type="checkbox"/> 総合計画	1.7	本	目標値	1.6	1.4	1.2	1	0.9
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	1.46	0.93	1.08		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			達成率	—	—	—		
2 —		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		24点	24点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 生徒に対して「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行うことで、むし歯予防対策の強化を図っており、今後も継続して取組む必要がある。実施率及びむし歯本数の減少は、おおむね目標を達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 生徒に対して「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行うことで、むし歯予防対策の強化を図っており、今後も継続して取組む必要がある。実施率及びむし歯本数の減少は、おおむね目標を達成できたと評価する。
--	--

事業	中学校教育振興事業	細事業	中学校教育振興事業	実施計画事業	部活動指導員活用事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	------------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度 期間 年度～年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬	当初予算額 336
款	10	施策	1 学校教育の充実			
項	3	施策展開	②教育体制を充実する			
目	2	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
決算	151					

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 部活動指導員を配置し、部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 部活動指導員が必要な豊後大野市内の公立中学校に対して、必要な人員配置を行う。 配置予定校: 犬飼中学校</p>	R3	部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図るため部活動指導員を会計年度任用職員として雇用了。 ・犬飼中学校、卓球部 1名 ・年間210時間(補助対象時間)	R3計画 366	224			142
			当初予算 366	224			142
			決算額 336	224			112
	R4	配置校: 犬飼中学校 卓球部1名 指導時間: 年間210時間	R4計画 366	224			142
			当初予算 366	224			142
			決算額 336	224			112
	R5	配置校: 犬飼中学校 卓球部1人 指導時間: 年間210時間	R5計画 366	224			142
			当初予算 366	224			142
			決算額 336	224			112
	R6		R6計画 366	224			142
			当初予算 366	224			142
			決算額				
	R7		R7計画 366	224			142
		当初予算					
		決算額					
R3～R7合計			計画額 1,830	1,120			710
			当初予算 1,464	896			568
			決算額 1,008	672			336

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1	会計年度任用職員の採用 採用人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	1	人	目標値	1	1	1		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	1	1	1		
		%			達成率	100	100	100		
2	-	<input type="checkbox"/> 総合戦略			目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値					
		%			達成率					
D 成果指標 1	教員の子どもに向き合う時間の増加 月平均増加時間(目標: 月平均15時間以上)	<input type="checkbox"/> 総合計画	15	時間	目標値	15	15	15	15	15
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	15	15	17.5		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	100	100	116.7	
2	-	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	25点	25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図ることができており、今後も継続した取組が必要である。計画通り1人配置し活用できた。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図ることができており、今後も継続した取組が必要である。計画通り1人配置し活用できたと評価する。</p>
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	中学校教育振興事業	細事業	中学校教育振興事業	実施計画事業	中学校教育振興事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	3	施策展開	①教育内容を充実する				
目	2	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	151						
		消耗品費	9,524				
		図書	1,794				
		自動車等借上料	889				
		教材備品	800				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品の整備や社会見学等のバス借上げ等により教育を振興する <令和5年度の取組内容(計画)> 消耗品・教材備品等の購入やバス借上げ等	R3	中学校の教育振興ため教材などの物品の購入等、教育活動の充実を実施した ・会計年度任用職員報酬(部活動指導員)・講師謝礼金(修学旅行、総合学習等)・記念品代(卒業生)・消耗品費(教科書、教材等)・通信運搬費(職業体験)・火災等保険料(職業体験)・借上料(バス、タクシー)・教材備品・図書・各種大会出場補助金(中体連、中文連主催の県大会以上の出場にかかる費用一式)	R3計画 32,059			2,200	29,859
			当初予算 32,059			2,200	29,859
			決算額 30,155			2,200	27,955
	R4	中学校の教育振興ために必要な教材の購入等による教育活動の支援を実施 講師謝礼金(総合学習等)、記念品代(卒業生用)、消耗品費(教科書、教材等)、通信運搬費(職業体験)、火災等保険料(職業体験)、借上料(バス、タクシー)、教材備品・図書	R4計画 32,059			2,200	29,859
			当初予算 13,862			1,800	12,062
			決算額 12,441			1,700	10,741
	R5	中学校の教育振興ために必要な教材の購入等による教育活動の支援を実施 講師謝礼金(総合学習等)、記念品代(卒業生用)、消耗品費(教科書、教材等)、火災等保険料(職業体験)、借上料(バス)、教材備品・図書	R5計画 32,059			2,200	29,859
			当初予算 13,821			1,500	12,321
		決算額 17,640			1,500	16,140	
	R6		R6計画 32,059			2,200	29,859
		当初予算 20,222			1,500	18,722	
		決算額					
	R7		R7計画 32,059			2,200	29,859
		当初予算					
		決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額 160,295			11,000	149,295
			当初予算 79,964			7,000	72,964
			決算額 60,236			5,400	54,836

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 一般教材及び図書の整備	備品購入費(教材備品+図書)	3,890	千円	目標値	2,743	2,762	2,556		
					実績値	2,743	2,762	2,556		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 図書年間貸出冊数	生徒一人当たり年平均※基本計画	26	冊	目標値	31	32	33	34	35
					実績値	30	24.2	23.6		
					% 達成率	96.8	75.6	71.5		
D 成果指標	2 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100		
					% 達成率	100	100	100		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		24点	24点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 学校の運営の中で、教育に必要な教材備品の整備、校外活動におけるバス借上げ等により教育を振興する事業であり、今後も継続した取組が必要である。活動実績から目標はおおむね達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 学校の運営の中で、教育に必要な教材備品の整備、校外活動におけるバス借上げ等により教育を振興する事業であり、今後も継続した取組が必要である。活動実績から目標はおおむね達成できたと評価する。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	中学校教育振興事業	細事業	中学校理科教育設備等整備事業	実施計画事業	理科教育設備等整備事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	----------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (328)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	1 学校教育の充実				
款	10	施策展開	②教育体制を充実する				
項	3	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	2						
決算	151					教材備品	2,086

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 学校における理科及び数学に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、中学校に対して理科教育等を実施するための設備整備を実施する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 各中学校の整備計画により市内中学校の4校を対象に理科教材を購入する。	R3	市内中学校3校、47品目の更新を実施	R3計画	1,203	601			602
			当初予算	1,203	601			602
			決算額	1,199	419			780
	R4	中学校3校、9品の理科備品等の更新を実施	R4計画	1,203	601			602
			当初予算	351	175			176
			決算額	339	165			174
	R5	中学校4校、52品の理科備品等更新を実施	R5計画	1,203	601			602
			当初予算	2,086	1,042			1,044
			決算額	2,027	978			1,049
	R6		R6計画	1,203	601			602
			当初予算	1,100	549			551
			決算額					
	R3 ~ R7 合計			計画額	6,015	3,005		
			当初予算	4,740	2,367			2,373
			決算額	3,565	1,562			2,003

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 理科教育備品整備	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	32	セ	目標値	47	9	52		
					実績値	47	9	52		
					% 達成率	100	100	100		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 教育課程の達成	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100	100	100
					% 達成率	100	100	100	100	100
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 中学校における理科及び数学に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づく国の補助事業を活用した理科教育教材の設備整備を行っており、教育振興の充実に図られている。今後も継続的な取組が必要である。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 中学校における理科及び数学に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づく国の補助事業を活用した理科教育教材の設備整備を行っており、教育振興の充実に図られていると評価する。今後も継続的な取組が必要である。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	幼稚園一般管理事業	細事業	幼稚園一般管理事業	実施計画事業	幼稚園教諭(会計年度)活用事業(地域子ども・子育て支援分)	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-------------------------------	------	----

総合計画体系図No. (332)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名 第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度～R7年度 キラキラ子どもプラン 期間 R2年度～R6年度	令和5年度主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 3,912 期末手当 576 社会保険料(会計年度任用職員分) 466 会計年度任用職員共済組合負担金 307	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実	3,912			
項	4	施策展開	②教育体制を充実する	576			
目	1	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	466			
決算	152			307			

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 1園につき幼稚園教諭3人(会計年度任用職員を1人配置)体制で、子ども・子育て支援事業(一時預かり事業)に取り組む。 <令和5年度の取組内容(計画)> 幼稚園教諭が必要な豊後大野市内の公立幼稚園に対して、必要な人員を配置する。 配置予定: 東幼稚園	R3	預かり保育の対応も含め、三重・おおのさくら・千歳幼稚園に会計年度任用職員を1名ずつ計3名配置した。	R3計画 8,473	2,214			6,259
	R4	配置園: 3園 三重幼、東幼、千歳幼(預かり保育含む)	当初予算 8,473	2,214			6,259
	R5	配置園: 1園 東幼	当初予算 8,171	2,122		65	5,984
	R6		当初予算 5,501	2,122		16	3,363
	R7		当初予算 2,923	862		24	2,037
	R3～R7合計			計画額 42,365	11,070		31,295
				当初予算 25,068	7,320		17,643
				決算額 18,140	5,732		12,408
				決算額 7,839	3,056		4,783
				決算額 7,716	2,074		5,642
				決算額 2,585	602		1,983
				決算額 8,473	2,214		6,259
				決算額 8,473	2,214		6,259

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 幼稚園教諭(会計年度任用職員)の配置 人数(雇用した会計年度任用職員)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		人	目標値	3	3	1		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値	3	3	1		
				%	達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 教育課程の達成 文科省の幼稚園教育要領に則った教育課程の達成率	<input type="checkbox"/> 総合戦略		園	目標値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値	4	4	3		
				%	達成率					
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合戦略		100	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 個別計画		%	実績値	100	100	100	100	100
				%	達成率	100	100	100	100	100

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 会計年度任用職員を1人配置し、幼稚園教諭3人体制で、子ども・子育て支援事業(一時預かり事業)に取り組んでおり、預かり保育のニーズがあるなか、体制整備や幼児教育の充実を図るためには継続した取組が必要である。計画通り1人配置し活用できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 会計年度任用職員を1人配置し、幼稚園教諭3人体制で、子ども・子育て支援事業(一時預かり事業)に取り組んでおり、預かり保育のニーズがあるなか、体制整備や幼児教育の充実を図るためには継続した取組が必要である。計画通り1人配置し活用できたと評価する。
---	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	青少年健全育成事業	細事業	子ども文化・芸能事業	実施計画事業	子ども文化・芸能事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (345)		V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和5年度主な歳出名称		当初予算額			
会計	一般	政策	2 生涯学習の推進		期間	R3 年度 ~ R7 年度	出演団体謝礼金	60			
款	10	施策	①生涯学習を推進する	期間	年度 ~ 年度	消耗品費	20				
項	5	後期基本計画	86 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	通信運搬費	5
目	1	決算	154								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 文化・郷土芸能の継承に取り組んでいる青少年団体に発表する機会を提供し、取組の励みとしてもらう。</p> <p><令和5年度取組内容(計画)> 文化・郷土芸能の継承に取り組む青少年団体に発表の場を提供する。 ・子ども文化芸能大会1回予定(ふるさとまつりを予定) ・出演3団体予定</p>	R3	第11回ふるさとまつりメインステージにおいて発表の場を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	R3計画	85			80	5
			当初予算	85			80	5
			決算額					
	R4	さまざまな発表の場で行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	R4計画	85			80	5
			当初予算	85			80	5
			決算額					
	R5	2団体(緒方こども太鼓、清川中清流太鼓)15,000円	R5計画	85			80	5
			当初予算	85				85
			決算額	15				15
	R6		R6計画	85			80	5
			当初予算	85				85
			決算額					
	R7		R7計画	85			80	5
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	425			400	25
			当初予算	340			160	180
			決算額	15				15

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 出演依頼団体数	出演を依頼する団体数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	団体	目標値	3	3	3	3	3
					実績値			2		
					% 達成率			66.7		
2 開催回数	開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	回	目標値	1	1	1	1	1	
				実績値						
				% 達成率						
D 成果指標	1 出演団体数	出演する団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	団体	目標値	3	3	3	3	3
					実績値			2		
					% 達成率			66.7		
2 出演人数	出演する人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	人	目標値	30	30	30	30	30	
				実績値			30			
				% 達成率			100			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	22点	22点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点		
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	3点		
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>「文化・郷土芸能の継承に取り組んでいる青少年団体に発表する機会を提供し、取組の励みとしてもらう。」については、2団体のみの謝礼金交付にとどまり、周知や開催の方法について見直す必要があると考える。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>文化・郷土芸能の継承に取り組んでいる青少年団体に発表する機会の提供方法を見直す必要があると考える。</p>
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業	青少年健全育成事業	細事業	放課後子ども教室事業	実施計画事業	放課後子ども教室事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (345)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	2 生涯学習の推進				
款	10	施策展開	①生涯学習を推進する				
項	5	後期基本計画	86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	1	決算	154	期間	年度 ~ 年度	放課後チャレンジャー謝礼金	3,675
						放課後チャレンジ教室委託料	924
						協力者謝礼金	480
						消耗品費	250

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 小学生を対象に、放課後の安心・安全な活動場所(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、創作活動や地域学習とともに宿題の見守り等に取り組み、心豊かな子どもの育成を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 学校と地域の力をマッチングさせる協育コーディネーターを小学校区単位に配置 ・三重町小学校5校区にコーディネーター配置 ・その他6つの小学校区の各公民館に委託 ・協力者を募集 ・放課後子ども教室では学習の見守りと各種体験活動を行う。(工作、茶道、読み聞かせ、科学実験、太鼓体験、郷土学習、座禅、軽スポーツ等)</p>	R3	地域の方々と交流しながら、子どもの実体験を育むため県補助事業を活用し、市内全小学校児童を対象に、工作教室、環境学習、絵手紙、郷土料理、陶芸教室、大正琴、ジオ学習、安全講話等のチャレンジ活動と宿題の見守り等、年間287回の学級を開催した。(登録児童:274名)	R3計画	5,105	953	3,600	552	
				当初予算	5,105	953	3,600	552
				決算額	4,632	681	3,600	351
	R4	地域の方々と交流しながら、子どもの実体験を育むため県補助事業を活用し、市内全小学校児童を対象に、工作教室、環境学習、絵手紙、郷土料理、陶芸教室、大正琴、ジオ学習、安全講話等のチャレンジ活動と宿題の見守り等、各教室40回程度の学級を開催した。(登録児童:267名)	R4計画	5,105	953	3,600	552	
				当初予算	5,105	953	3,600	552
				決算額	4,767	792	3,000	975
	R5	地域の方々と交流しながら、子どもの実体験を育むため県補助事業を活用し、市内全小学校児童を対象に、工作教室、環境学習、絵手紙、郷土料理、陶芸教室、大正琴、ジオ学習、安全講話等のチャレンジ活動と宿題の見守り等、各教室合計400回の学級を開催した。(登録児童:290名)	R5計画	5,516	1,286	3,600	630	
				当初予算	5,516	1,286	3,600	630
				決算額	5,141	943	3,900	298
	R6		R6計画	5,516	1,358	3,600	558	
			当初予算	5,516	1,358		4,158	
			決算額					
R7		R7計画	5,105	953	3,600	552		
			当初予算					
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	26,347	5,503	18,000	2,844	
			当初予算	21,242	4,550	10,800	5,892	
			決算額	14,540	2,416	10,500	1,624	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 実施対象校区数	放課後子ども教室を実施する校区数(市内全校区数:11)	<input type="checkbox"/> 総合戦略	11	校区	目標値	11	11	11	11	11
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	11	11	11		
		%			達成率	100	100	100		
2 登録人数	放課後子ども教室 対象児童登録人数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	279	人	目標値	300	300	300	300	300
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	274	267	290		
		%			達成率	91.3	89	96.7		
D 1 開催回数	開催回数(延べ回数) ※放課後開催・土曜日開催の合計	<input type="checkbox"/> 総合計画	246	回	目標値	300	495	495	495	495
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	287	379	400		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	95.7	76.6	80.8	
2 参加人数	参加人数(延べ人数) ※放課後開催・土曜日開催の合計	<input type="checkbox"/> 総合計画	4,237	人	目標値	8,000	13,000	13,000	13,000	13,000
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	7,151	7,926	7,436		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	89.4	61	57.2	

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	24点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
「小学生を対象に、放課後の安心・安全な活動場所(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、創作活動や地域学習とともに宿題の見守り等に取り組み、心豊かな子どもの育成を図る。」については、実績から見て達成できた。	児童の放課後の安心・安全な活動場所(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、さまざまな体験活動を通じ「生きる力」の醸成を図ることができた。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	青少年健全育成事業	細事業	二十歳を祝う会	実施計画事業	二十歳を祝う会	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	2 生涯学習の推進				
項	5	施策展開	①生涯学習を推進する				
目	1	後期基本計画	86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	154						
		A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 二十歳という節目を迎える成人の門出を祝福するとともに、成人としての義務と責任を自覚し、郷土への誇りと愛情を再確認する場を提供する。(R4年度より今の事業名)</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 二十歳を迎える若者の中から募集した実行委員が「二十歳を祝う会」を企画し、会当日の運営を行う。</p>	R3	※令和4年度から「二十歳を祝う会」へ	R3計画 606			600	6
			当初予算 606			600	6
			決算額 530			500	30
	R4	※令和4年度から「二十歳を祝う会」へ ・令和5年1月8日(日)実行委員形式で開催 ・対象者265名、当日参加者207名	R4計画 606			600	6
			当初予算 611			600	11
			決算額 504				504
	R5	・令和6年1月7日(日)実行委員形式で開催 ・対象者274名、当日参加者206名	R5計画 611			600	11
			当初予算 611				611
			決算額 442			400	42
	R6		R6計画 611			600	11
			当初予算 611			600	11
			決算額				
	R7		R7計画 606			600	6
			当初予算				
			決算額				
		R3 ~ R7 合計	計画額 3,040			3,000	40
			当初予算 2,439			1,800	639
			決算額 1,476			900	576

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1	
					実績値	1	1	1			
					% 達成率	100	100	100			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値					
						実績値					
						% 達成率					
D 成果指標	1 参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値		265	265	265	265	
					実績値		207	206			
					% 達成率		78.1	77.7			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画				目標値					
						実績値					
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点	5点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「二十歳という節目を迎える成人の門出を祝福するとともに、成人としての義務と責任を自覚し、郷土への誇りと愛情を再確認する場を提供する」については達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 二十歳という節目を迎える若者の新しい門出を祝福することができた。またビデオレターなど実行委員会が考案したイベントを通し、参加した若者が成人としての義務と責任を自覚し、郷土への誇りと愛情を再確認する場を提供することができた。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	青少年健全育成事業	細事業	中学校国際交流事業	実施計画事業	中学校国際交流事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-----------	--------	-----------	------	----

総合計画体系図No.1 (344)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	2 生涯学習の推進				
款	10	施策展開	①生涯学習を推進する				
項	5						
目	1	後期基本計画	86 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
決算	154						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市内の中学2年生～3年生を海外(韓国/プサン広域市機長郡長安中学校)へ派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味・関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 市内中学2年生～3年生20名(最低15名)による訪韓ホームステイ及び韓国・長安中学校パートナーによる来日ホームステイ</p>	R3	市内の中学2・3年生を海外に派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味・関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	R3計画 1,800			1,800	
			当初予算 1,800			1,800	
			決算額				
	R4	市内の中学2・3年生を海外に派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味・関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	R4計画 1,800			1,800	
			当初予算 1,800			1,800	
			決算額				
	R5	市内中学1～3年生17名による韓国・長安中学校パートナーによる来日ホームステイ(7/28～7/30)及び訪韓ホームステイ(8/4～8/6)	R5計画 1,800			1,800	
			当初予算 1,800				1,800
			決算額 1,756			1,756	
			R6計画 1,800			1,800	
		当初予算 1,800			1,800		
		決算額					
		R7計画 1,800			1,800		
		当初予算					
		決算額					
		R3～R7合計	計画額 9,000			9,000	
			当初予算 7,200			5,400	1,800
			決算額 1,756			1,756	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 派遣回数	訪韓ホームステイ派遣回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値			1		
	%	達成率			100						
	2 受入回数	来日ホームステイ受入回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値			1			
%	達成率			100							
D 成果指標	1 訪韓人数	訪韓ホームステイ参加人数(引率除く)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	20	20	20	20	20
						実績値			17		
	%	達成率			85						
	2 来日人数	来日ホームステイ参加人数(引率除く)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		人	目標値	20	20	20	20	20
					実績値			17			
%	達成率			85							

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF～I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1～5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	24点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
「市内の中学2年生～3年生を海外へ派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味や関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成することを目的とする。」については、概ね達成することができたが、近年生徒数の減少とともに参加希望者自身が低下傾向にある。例えば対象者を1年生までに拡大するなど、募集について少し工夫が必要であると考えている。	令和元年度以来徐々に実施することができた。相互ホームステイ交流により地域や学校では得がたい異文化(韓国の歴史、同年代との交流、研修)体験により、広い視野と社会性、国際感覚を養うことができた。一方で、参加希望者の減少等新たな課題があるが、例えば訪日の受入態勢等については、社会情勢の変化に即した形で実施出来るよう何らかの工夫が必要であると考えている。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	青少年健全育成事業	細事業	青少年健全育成大会事業	実施計画事業	青少年健全育成大会事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (343)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	2 生涯学習の推進				
款	10	施策展開	①生涯学習を推進する				
項	5						
目	1						
決算	154	後期基本計画	86 P	<input type="checkbox"/> 過剰計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	
A 事業目的・内容・実績				B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 豊後大野市の児童・生徒の健やかな成長を願い、学校・家庭・地域が連携して、活力と実行力のある青少年健全育成活動へと発展させることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> おおいた教育の日(11月1日)関連行事として、「豊後大野市次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」を開催する。(主催:豊後大野市青少年健全育成市民会議)</p>	R3	11月6日(土)、エイトピアで約286名の参加により、「豊後大野市次代を担う『豊後大野っ子』を育てる市民のつどい」を開催した。 「第24回ことばの森フェスタ」の作品発表、表彰。講演「笑って前向きに! ~素敵な大人の背中を見せましょう~」講師 (オアシス星野トーン高知校) 中山 まさとも氏による講演を実施した。	R3計画 258 当初予算 258 決算額 280			200	58	
	R4	11月5日(土)、エイトピアで約229名の参加により、「豊後大野市次代を担う『豊後大野っ子』を育てる市民のつどい」を開催した。 「第25回ことばの森フェスタ」の作品発表、表彰。講演「幸せに生きる力を育むために~自由教育から見つめる子どもの人権~」講師 シンガソングライター U.T.a.さんによる講演を実施した。	R4計画 258 当初予算 258 決算額 224			200	58	
	R5	11月4日(土)、エイトピアで約229名の参加により、「豊後大野市次代を担う『豊後大野っ子』を育てる市民のつどい」を開催した。(261名) 「第26回ことばの森フェスタ」の作品発表、表彰。講演会『アツウのカタチ』~大人が知らない子どもの世界~ 講師 複合スペースmarble 津田 憲吾 氏	R5計画 257 当初予算 257 決算額 228			200	57	
	R6		R6計画 232 当初予算 232 決算額			200	32	
	R7		R7計画 258 当初予算 決算額			200	58	
	R3 ~ R7 合計			計画額 1,263 当初予算 1,005 決算額 732			1,000	263

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	254	人	目標値	268	268	268	268	268
					実績値	286	229	261		
					% 達成率	106.7	85.5	97.4		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
「豊後大野市の児童・生徒の健やかな成長を願い、学校・家庭・地域が連携して、活力と実行力のある青少年健全育成活動へと発展させることを目的とする。」については、実績から見て達成できた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
青少年健全育成市民会議と連携した子どもたちの安心・安全な見守り及び「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」を開催し、家庭協働力の向上を図ることができた。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	社会教育総務事業	細事業	社会教育総務事業	実施計画事業	P T A連合会補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No. (341)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策 2 生涯学習の推進					
項	5	施策展開 ①生涯学習を推進する					
目	1	後期基本計画 86 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	155						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市PTA連合会が行う、児童・生徒の健全育成と福祉の推進、生涯学習実現のための研修及び実践活動、もって家庭教育力を高め、学校教育や地域・関係機関等の連携融合を図る団体活動の助成のため、補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先:市PTA連合会 交付金額:543,000円 (参考)市PTA連合会 R4年度行事予定・市P定期総会・市防煙・薬物防止教室・県P連理事会(6回)・市P役員会(6回)・市P常任委員会(3回)・市内P会長研修会・三重総合高校との意見交換会・差別をなくす市民のつどい・県P・九P・日P研究大会・市・市教委との要望に係る意見交換会・親善ベタング大会・PTA指導者研修会・「おおいた教育の日」推進大会・県P教育問題懇談会・豊後大野つづい・その他</p>	R3	豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先:市PTA連合会、交付金額:543,000円(参考)市PTA連合会 R3年度行事予定・市P定期総会・市防煙・薬物防止教室・県P連理事会(6回)・市P役員会(6回)・市P常任委員会(3回)・市内P会長研修会・三重総合高校との意見交換会・差別をなくす市民のつどい・県P・九P・日P研究大会・市・市教委との要望に係る意見交換会・親善ベタング大会・PTA指導者研修会・「おおいた教育の日」推進大会・県P教育問題懇談会・豊後大野つづい・その他	R3計画 当初予算 決算額	543 543 543				543 543 543
	R4	豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先:市PTA連合会、交付金額:543,000円(参考)市PTA連合会 R4年度行事予定・市P定期総会・市防煙・薬物防止教室・県P連理事会(6回)・市P役員会(6回)・市P常任委員会(3回)・市内P会長研修会・三重総合高校との意見交換会・差別をなくす市民のつどい・県P・九P・日P研究大会・市・市教委との要望に係る意見交換会・親善ベタング大会・PTA指導者研修会・「おおいた教育の日」推進大会・県P教育問題懇談会・豊後大野つづい・その他	R4計画 当初予算 決算額	543 543 543				543 543 543
	R5	豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先:市PTA連合会、交付金額:543,000円(参考)市PTA連合会 R5年度行事予定・市P定期総会・市防煙・薬物防止教室・県P連理事会(14回)・県P連その他(20回)・市P連役員会(6回)・市P連その他(11回)・「三重総合高校明日を聞く会」監査及び総会(3回)・市男女共同参画推進協議会(2回)・市社会教育委員の会議(2回)・市・市教委への要望行動(2回)・社会を明るくする運動(2回)・市児童館運営委員会(2回)・その他市に関する活動(47回)	R5計画 当初予算 決算額	543 543 543				543 543 543
	R6		R6計画 当初予算 決算額	543 543 543				543 543 543
	R7		R7計画 当初予算 決算額	543 543 543				543 543 543
	R3 ~ R7 合計			計画額 当初予算 決算額	2,715 2,172 1,629			2,715 2,172 1,629

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 市PTA連合会への補助	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	543	千円	目標値	543	543	543	543	543
					実績値	543	543	543		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
D 成果指標	1 主催イベント回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	25	回	目標値	20	20	20	20	20
					実績値	17	20	19		
	2 参加イベント回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	111	回	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	91	95	91		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	24点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	25点	4点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
補助金の交付により市P連が実施する各種研修活動や、児童生徒の健全育成に寄与することができ、目標を達成することができた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
社会教育関係団体として、家庭教育をはじめさまざまな学びの場を創出し、青少年の健全育成を図っている。補助金も適正に交付している。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	社会教育総務事業	細事業	社会教育総務事業	実施計画事業	女性団体等活動費補助事業	終了年度	なし
----	----------	-----	----------	--------	--------------	------	----

総合計画体系図No.→ (341)		V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		個別計画名 豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称 女性団体等活動費補助金	当初予算額 300
会計	一般	政策	2 生涯学習の推進			
款	10	施策	①生涯学習を推進する			
項	5	施策展開	後期基本計画 86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当			
目	1					
決算	155					

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<事業の目的> 市内女性団体が、家庭生活ならびに地域社会の発展のために行う、学習活動や実践活動を助成するために補助金を交付する。 <令和5年度の取組内容(計画)> 豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先: 市地域婦人団体連合会 交付金額: 300,000円 (参考) 地域婦人団体連絡協議会 R5年度行事予定 ・定期総会 ・理事会 ・県婦連行事参加 ・九州地区地域婦人大会(全国大会)参加 ・各種研修参加 ・交通安全運動 ・ごみ空き缶拾い ・その他	R3	豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先: 市地域婦人団体連合会, 交付金額: 147,000円 (参考) 地域婦人団体連絡協議会 R3年度行事予定・定期総会・理事会 (7回)・県婦連行事参加 (3回) ・九州地区地域婦人大会(全国大会)参加 ・各種研修参加・交通安全運動 (4回) ・ごみ空き缶拾い・その他	R3計画	300				300
	当初予算	300					300	
	決算額	147						147
	R4	豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先: 市地域婦人団体連合会, 交付金額: 144,000円 (参考) 地域婦人団体連絡協議会 R4年度行事予定・定期総会・理事会 (7回)・県婦連行事参加 (3回) ・九州地区地域婦人大会(全国大会)参加 ・各種研修参加・交通安全運動 (4回) ・ごみ空き缶拾い・その他	R4計画	300				300
	当初予算	300						300
	決算額	144						144
	R5	豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先: 市地域婦人団体連合会, 交付金額: 200,000円 (参考) 会 計監査、市婦連R5年度総会、市婦連役員会 (4回)、県婦連総会 交通安全運動(春と秋)、県婦連リーダー研修会、おおいた事故 防止運動(夏と冬)、複十字シール運動、九州地区地域婦人大会、市安全で住みよいまちづくり推進大会、おおいた冬の事故防止運動、ゴミ空き缶拾い活動、その他県理事会等 (10回)	R5計画	300				300
	当初予算	300						300
	決算額	200						200
	R6		R6計画	300				300
当初予算	300						300	
決算額								
R7		R7計画	300				300	
当初予算								
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	1,500				1,500
			当初予算	1,200				1,200
			決算額	491				491

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1 女性団体への補助	補助金額	<input type="checkbox"/> 総合戦略	129	千円	目標値	150	300	300	300	300
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	147	144	200		
					% 達成率	98	48	66.7		
					目標値					
D 成果指標 1 主催イベント回数	女性団体が行うイベントの回数 (諸会議・研修会・その他)	<input type="checkbox"/> 総合計画	6	回	目標値	4	4	4	4	4
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	3	3	9		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	75	75	225		
					目標値	8	8	8	8	8
2 参加イベント回数	女性団体が参加するイベントの回数 (主催イベントを除く)	<input type="checkbox"/> 総合計画	19	回	目標値	8	8	8	8	8
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	8	8	9		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	112.5		
					目標値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	24点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 「市内女性団体が、家庭生活ならびに地域社会の発展のために行う、学習活動や実践活動を助成するために補助金を交付する。」については、実績から見て達成できた。
 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 三重町、千歳町、大飼町の婦人会から構成する婦人団体連合会に対し、青少年の健全育成や子どもの見守りなど、社会教育関係団体としての活動を積極的に実施した。補助金の交付も適正に行なった。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	公民館管理運営事業	細事業	公民館運営事業	実施計画事業	公民館運営事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	2 生涯学習の推進				
項	5	施策展開	②公民館機能を充実する				
目	2	後期基本計画	86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	156						
A 事業目的・内容・実績						B 事業計画額・決算額等	

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 公民館を市民の生涯学習拠点として、また利用しやすい貸館としての運用に努めることを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・公民館における各種事業の企画実施について調査審議するため公民館運営審議会委員を13名配置する。 ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図る。</p>	R3	・公民館における各種事業の企画実施について調査審議するため公民館運営審議会委員を13名配置した。 ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図った。	R3計画 474 当初予算 474 決算額 101				474
	R4	・公民館における各種事業の企画実施について調査審議するため公民館運営審議会委員を13名配置した。 ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図った。	R4計画 474 当初予算 474 決算額 136				474
	R5	・公民館における各種事業の企画実施について調査審議するため公民館運営審議会委員を13名配置した。 ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図った。	R5計画 474 当初予算 474 決算額 207		20		454
	R6		R6計画 313 当初予算 313 決算額		23		290
	R7		R7計画 474 当初予算 決算額				474
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,209 当初予算 1,735 決算額 444		43	2,166

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 公民館運営審議会委員数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	13	人	目標値	13	13	13	13	13	
					実績値	13	13	12			
	2 公民館運営審議会開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	2	2	2	2	2	
					実績値	2	2	2			
D 成果指標	1 公民館関係職員研修参加回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	6	回	目標値	3	3	3	3	3	
					実績値	2	2	3			
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率	66.7	66.7	100		
						目標値					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	25点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「公民館を市民の生涯学習拠点として、また利用しやすい貸館としての運用に努めることを目的とする。」については、実績から見て達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 公民館運営審議会の意見を参考にするなどして、学びの機会を確保することができていた。
---	---

事業	公民館管理運営事業	細事業	自治公民館整備支援事業	実施計画事業	自治公民館整備支援事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.1 (349)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	自治公民館建設・改修補助金	当初予算額	3,000
会計	一般	施策	2 生涯学習の推進						
款	10	施策展開	②公民館機能を充実する						
項	5	後期基本計画	86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
目	2	決算	156						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 自治公民館を地域住民が集い、学ぶ拠点として活用するとともに、そこでの生涯学習活動を促進するため、自治公民館の新築や改修などの環境整備に対して補助を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 各自治公民館の新築・改修経費に対し補助を行う。(R5年度は新築2件)</p>	R3	各自治公民館の新築・改修にかかる補助(補助率:20%) 【改修】6件 ・緒方町上瀬迫区・緒方町野仲区 ・大野町沢田区・緒方町草深野区 ・三重町中小坂区・三重町前内田区 【新築】1件 ・緒方町上自存区	R3計画 6,000 当初予算 6,000 決算額 3,635				6,000	
	R4	各自治公民館の新築・改修にかかる補助(補助率:20%) 【改修】3件 ・三重町深田区・大飼町栗ヶ畑区 ・三重町市場一区 【新築】1件 ・三重町下玉田区	R4計画 3,000 当初予算 3,000 決算額 2,054				3,000	
	R5	各自治公民館の新築・改修にかかる補助(補助率:50%、新築は最大300万円、改修は最大100万円) 【改修】6件(大飼町長谷区外5件) 【新築】2件(三重町三重原区外1件)	R5計画 3,000 当初予算 3,000 決算額 8,747					3,000
	R6		R6計画 3,000 当初予算 3,000 決算額					3,000
	R7		R7計画 3,000 当初予算 決算額					3,000
	R3 ~ R7 合計			計画額 18,000 当初予算 15,000 決算額 14,436				18,000 15,000 14,436

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 自治公民館整備支援事業周知回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	7	回	目標値 実績値	7 7	7 7	7 8	7	7
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	100	100	114.3		
D 成果指標	1 補助金交付率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	100	%	目標値 実績値	100 100	100 100	100 100	100	100
	2 補助金交付金額	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	1,562	千円	目標値 実績値	3,000 3,635	3,000 2,054	3,000 32,437	3,000	3,000
				%	達成率	121.2	68.5	1,081.2		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	25点	5点	25点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
「自治公民館を地域住民が集い、学ぶ拠点として活用するとともに、そこでの生涯学習活動を促進するため、自治公民館の新築や改修などの環境整備に対して補助を行う。」については、実績から見て達成できた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
自治公民館は、地域住民の学びとコミュニティの拠点として活用されているが、当該活動を支えるための改修工事等に対する本補助金の交付要綱を小規模改修から使えるように改正したことで申請件数が増え、大変効果があった。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	公民館管理運営事業	細事業	公民館等指定管理事業	実施計画事業	公民館等指定管理事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (347)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	2 生涯学習の推進					
項	5	施策展開	②公民館機能を充実する					
目	2	後期基本計画	86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	156							
		A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	財源内訳 (単位:千円)				
			事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 指定管理者制度導入による市民サービスの向上と、公民館施設の利用率増を目指すとともに、施設使用料、自主事業による収入増等と、指定管理者の努力による効果的・効率的で柔軟な公民館運営を目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済(基本協定R3.1.13締結、期間R3~R7年度)</p> <p>委託内容 ・業務実施体制の整備 ・施設維持管理業務 ・社会教育事業に関する業務 ・スポーツ振興事業に関する業務 ・施設運営業務 ・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡会 ・自主事業</p>	R3	指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済(基本協定R3.1.13締結、期間R3~R7年度)委託内容・業務実施体制の整備・施設維持管理業務・社会教育事業に関する業務・スポーツ振興事業に関する業務・施設運営業務・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡会・自主事業	R3計画	194,885			194,885
	当初予算	194,885			194,885		
	決算額	177,168			177,168		
	R4	指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済(基本協定R3.1.13締結、期間R3~R7年度)委託内容・業務実施体制の整備・施設維持管理業務・社会教育事業に関する業務・スポーツ振興事業に関する業務・施設運営業務・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡会・自主事業	R4計画	194,779			194,779
	当初予算	194,779			194,779		
	決算額	195,901			195,901		
	R5	指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済(基本協定R3.1.13締結、期間R3~R7年度)委託内容・業務実施体制の整備・施設維持管理業務・社会教育事業に関する業務・スポーツ振興事業に関する業務・施設運営業務・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡会・自主事業	R5計画	194,671		7	194,664
	当初予算	194,671			7	194,664	
	決算額	194,671			7	194,671	
	R6		R6計画	194,562		7	194,555
	当初予算	194,562			7	194,555	
	決算額						
	R7		R7計画	194,452			194,452
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額	973,349		14	973,335
			当初予算	778,897		14	778,883
			決算額	567,740			567,740

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 1 指定管理委託料	指定管理委託料(指定管理者募集要項 基準価格) ※令和3年新規	<input type="checkbox"/> 総合戦略		千円	目標値	194,885	194,779	194,671	194,562	194,452	
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	177,168	195,901	194,671			
					% 達成率	90.9	100.6	100			
D 1 主催学級・講座数	主催学級・講座数 385講座/指定期間最終年度(指定管理者募集要項 教育委員会が設定する数値目標)	<input type="checkbox"/> 総合計画	279	個	目標値	305	325	345	365	385	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	402	614	420		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	131.8	188.9	121.7		
D 2 公民館利用状況	公民館利用者数 R元年度に対し、毎年度1%増(参考)令和元年度実績数値(延べ数)・青少年団体99団体/3,688人・女性団体30団体/1,440人・成人団体4,664団体/61,737人・高齢者団体38団体/7,002人・その他251団体/18,586人 計5,082団体/92,453人	<input type="checkbox"/> 総合計画	65,783	人	目標値	93,378	94,312	95,256	96,209	97,172	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	73,171	96,803	107,529		
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	78.4	102.6	112.9		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「指定管理者制度導入による市民サービスの向上と、公民館施設の利用率増を目指すとともに、施設使用料、自主事業による収入増等と、指定管理者の努力による効果的・効率的で柔軟な公民館運営を目的とする。」については、実績から見て達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 指定管理者は公民館利用者が安心して生涯学習に取り組めるよう努めていた。さらに市民のニーズを把握し、高齢者に対するスマートフォン活用講座等を開催するなど新規事業に取り組むなどし、利用者のニーズにあわせた運営が行われていた。
--	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業	実施計画事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業	終了年度	なし
----	-----------------	-----	-------------------	--------	-------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (380)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額			
会計	一般	施策	6 人権尊重社会の実現							
款	10	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する							
項	5	後期基本計画	94 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	<input type="checkbox"/>
目	3					消耗品費	480			
決算	157					講師謝礼金	265			
						費用弁償	169			
						普通旅費	129			

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> より深く人権意識を身につけてもらい若い世代のリーダーの育成を図ることを目的に、公民館利用団体等を対象に人権講座を開催し、人権意識の高揚を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 各町公民館でPTAや一般公募の市民を対象に同一受講者による人権連続講座(5回)を開催する。</p>	R3	各町公民館でPTAや一般公募の市民を対象に同一受講者による人権連続講座(5回)を開催した。	R3計画	1,363				1,363
			当初予算	1,363				1,363
			決算額	773				773
	R4	各町公民館でPTAや一般公募の市民を対象に同一受講者による人権連続講座(5回)を開催した。	R4計画	1,363				1,363
			当初予算	1,301				1,301
			決算額	871				871
	R5	各町公民館でPTAや一般公募の市民を対象に同一受講者による人権連続講座(5回)を開催した。	R5計画	1,334				1,334
			当初予算	1,334				1,334
			決算額	976				976
	R6		R6計画	1,544				1,544
		当初予算	1,544				1,544	
		決算額						
R7		R7計画	1,363				1,363	
		当初予算						
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	6,967			6,967	
			当初予算	5,542			5,542	
			決算額	2,620			2,620	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 人権講座 開催回数	人権講座(連続講座を含む)開催回数(延べ回数)	59	回	目標値	45	45	45	45	45
					実績値	46	48	45		
					% 達成率	102.2	106.7	100		
2 -					目標値					
					実績値					
					% 達成率					
D 成果指標	1 人権講座 受講者数	人権講座(連続講座を含む)受講者数(延べ人数)	1,908	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
					実績値	954	1,000	996		
					% 達成率	95.4	100	99.6		
2 -					目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	25点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「より深く人権意識を身につけてもらい若い世代のリーダーの育成を図ることを目的に、公民館利用団体等を対象に人権講座を開催し、人権意識の高揚を図る。」については、実績から見て達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 部落差別解消教育をはじめとするさまざまな人権問題への解決に通じる学びについて、人権連続講座を開催するなどして効果的に実施することができた。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権を学ぶ子ども会事業	実施計画事業	人権を学ぶ子ども会事業	終了年度	なし
----	-----------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

総合計画体系図No.→ (381)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額		
款	10	施策	6 人権尊重社会の実現	期間	R3 年度 ~ R7 年度	人権を学ぶ子ども会運営委託料	461		
項	5	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する	期間	年度 ~ 年度	火災等保険料	21		
目	3	後期基本計画	94 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当
決算	157								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的></p> <p>・市内の児童・生徒を対象に、放課後の時間を利用した「人権を学ぶ子ども会」を開設し、「差別に負けない」「差別を許さない」「人の気持ちが分かる」子どもたちの育成を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <p>・市内の児童・生徒を対象に、三重東小学校、大野小学校、三重中学校、大野中学校で放課後の時間を利用した「人権を学ぶ子ども会」を開設し、「差別に負けない」「差別を許さない」「人の気持ちが分かる」子どもたちの育成を図る。</p>	R3	三重東小学校、三重中学校、大野小学校、大野中学校で人権を学ぶ子ども会を開設し、より深く人権を学ぶため放課後の時間帯を利用した活動に取り組んだ。豊肥地区解放文化祭は11月27日(土)緒方中学校を会場に2年ぶりの開催となった。上記の人権を学ぶ子ども会をはじめ、豊後大野市高校生人権学習会、豊後大野市内中学校、竹田市中学校による解放劇の取組みや研究発表の実践報告を行った。	R3計画 461				461
	当初予算	461				461	
	決算額	461				461	
	R4	三重東小学校、三重中学校、大野小学校、大野中学校で人権を学ぶ子ども会を開設し、より深く人権を学ぶため放課後の時間帯を利用した活動に取り組んだ。豊肥地区解放文化祭は11月26日(土)竹田市久住公民館を会場に開催された。上記の人権を学ぶ子ども会をはじめ、豊後大野市高校生人権学習会、豊後大野市内中学校、竹田市中学校による解放劇の取組みや研究発表の実践報告を行った。	R4計画 461				461
	当初予算	461				461	
	決算額	411				411	
	R5	三重東小学校、三重中学校、大野小学校、大野中学校で人権を学ぶ子ども会を開設し、より深く人権を学ぶため放課後の時間帯を利用した活動に取り組んだ。豊肥地区解放文化祭は11月23日(木)グランドたけを会場に開催された。上記の人権を学ぶ子ども会をはじめ、豊後大野市高校生人権学習会、豊後大野市内中学校、竹田市中学校による解放劇の取組みや研究発表の実践報告を行った。	R5計画 461				461
	当初予算	461				461	
	決算額	481				481	
	R6		R6計画 492				492
当初予算	492				492		
決算額							
R7		R7計画 461				461	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 2,336				2,336
			当初予算 1,875				1,875
			決算額 1,353				1,353

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 団体数 「人権を学ぶ子ども会」開設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略	4	団体	目標値	4	4	4	4	4
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	4	3	4		
		% 達成率			100	75	100			
D 成果指標	1 参加者数 「人権を学ぶ子ども会」参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	45	人	目標値	30	45	45	45	45
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	31	42	26		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	103.3	93.3	57.8		
E 評価対象外の理由	O 評価対象	<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	23点	5点	23点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3点		3点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
「あらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き、差別を解消するための実践力のある子どもを育成することを目的とする。」については、実績から見て達成できた。	市人権・部落差別解消教育研究協議会に委託し子どもたちの差別を見抜き差別を許さないという学びを提供することができた。加えて参加した児童生徒は豊肥地区解放文化祭に参加しあらゆる差別に対する深い学びの中で一体感と達成感を体験することができた。「人権を学ぶ子ども会」の参加者数を増やすように引き続き取組みたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権を学ぶ子ども会事業	実施計画事業	高校生人権学習会事業	終了年度	なし
----	-----------------	-----	-------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.→ (381)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	6 人権尊重社会の実現				
款	10	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する				
項	5	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	3	決算	157	期間	年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市内在住の高校生を対象に、「高校生人権学習会」を開設し、人権意識の基礎を培い、豊かな人間感覚を育成するとともに、自他の人権を尊重する意欲・態度・技能を育成し、実践的な行動につながる人権教育を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 市内在住の高校生を対象とした「豊後大野市高校生人権学習会」を隣保館にて講師を招き実施する。また、部落解放大分県友の会などにも参加し人権教育を推進する。</p>	R3	市内在住の高校生を対象とした「豊後大野市高校生人権学習会」を開設し部落差別を始めとするあらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き・差別を解消するための実践力のある生徒の育成を図った。	R3計画	384			384	
				当初予算	384			384
				決算額	107			107
	R4	市内在住の高校生を対象とした「豊後大野市高校生人権学習会」を開設し部落差別を始めとするあらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き・差別を解消するための実践力のある生徒の育成を図った。	R4計画	384			384	
				当初予算	384			384
				決算額	91			91
	R5	市内在住の高校生を対象とした「豊後大野市高校生人権学習会」を開設し部落差別を始めとするあらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き・差別を解消するための実践力のある生徒の育成を図った。	R5計画	384			384	
				当初予算	384			384
				決算額	93			93
	R6			R6計画	384			384
			当初予算	384			384	
			決算額					
R7			R7計画	384			384	
			当初予算					
			決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	1,920			1,920	
			当初予算	1,536			1,536	
			決算額	291			291	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 団体数 「高校生人権学習会」開設数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	団体	目標値	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	1	1		
		% 達成率	100			100	100				
D 成果指標	1 参加者数 高校生人権学習会 参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画		7	人	目標値	10	10	10	10	10
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値	9	3	9		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率	90	30	90		
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画				% 達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	24点	5点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点		4点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「市内出身の高校生を対象に、「高校生人権学習会」を開設し、人権意識の基礎を培い、豊かな人間感覚を育成するとともに、自他の人権を尊重する意欲・態度・技能を育成し、実践的な行動につながる人権教育を図る。」については、実績から見て達成できた。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 さまざまな高校から集まり、部落差別問題をはじめとするあらゆる人権問題に関し学びを深めることができたことは今後の市内において人権リーダーとして活躍してくれるものと期待できる。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権教育総合推進地域事業	実施計画事業	人権教育総合推進地域事業	終了年度	令和6年度
----	-----------------	-----	--------------	--------	--------------	------	-------

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	6 人権尊重社会の実現				
項	5	施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する				
目	3	後期基本計画	94 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	157						
		A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 人権意識を高め、お互いを認め合う地域の創生をめざす。 <令和5年度の取組内容(計画)> 令和4年度より3カ年事業で、令和5年度は清川地域で実施	R3		R3計画				
			当初予算				
			決算額				
	R4	三重校区 各学校において人権講演会・人権の花の寄せ植え等実施。	R4計画	970	970		
			当初予算	970	970		
			決算額	515	515		
	R5	清川地域の各学校において人権講演会・人権の花の寄せ植え等実施。	R5計画	970	970		
			当初予算	970	970		
			決算額	375	375		
	R6		R6計画	970	970		
			当初予算	970	970		
			決算額				
	R7		R7計画				
			当初予算				
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額	2,910	2,910		
			当初予算	2,910	2,910		
			決算額	890	890		

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 校区数	事業実施校区数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値		1	1	1	1
					実績値		1	1		
			% 達成率			100	100			
	D 成果指標	1 実施学校数	取り組み学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値		6	2	2
実績値							6	2		
			% 達成率			100	100			
2				<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		目標値				
	実績値									
	% 達成率									

E 評価対象外の理由 〇 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点		5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	24点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
			24点
			25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 「人権意識を高め、お互いを認め合う地域の創生をめざす」については、ある程度達成できたが、本事業が県の委託事業であることから担当課と協議を重ねさらに効果的な事業を実施する必要があると考える。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 清川小中学校を中心に地域の方々の人権問題に関し学びを深めることができた。最終年度である令和6年度は本年の課題をいかしてさらに良い事業にすることとする。

事業	資料館運営事業	細事業	資料館運営事業	実施計画事業	資料館運営事業	終了年度	なし
----	---------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No. (371)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	5 文化財等の保存・継承				
款	10	施策展開	①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進				
項	5	後期基本計画	92 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
目	4	決算	158	期間	年度 ~ 年度		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 資料館を基本施設として、各施設と共に市民等へ文化財に接する機会や情報を提供し、文化意識の高揚を図る</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 歴史民俗や地質関係資料の収集・保管・展示・公開、関係機関団体と連携した資料館運営における各種業務、学校教育(小中学校)におけるふるさと学習、ジオパーク学習の支援、資料館施設維持管理業務など</p>	R3	歴史的に重要な資料(古文書、古写真)の収集・公開・調査や、展示公開を行った。またジオパークの拠点施設としての学校教育でのふるさと学習の支援や、市民の生涯学習の拠点施設としての学習などを行った。	R3計画 12,981			2	12,979
			当初予算 12,981			2	12,979
			決算額 8,169			37	8,132
	R4	企画展の開催や、古文書の燻蒸や鉄製品保存処理、粘土人形の修復など歴史的資料の公開や保存等を行った。またジオパークの拠点施設としての学校教育での学習支援や、市民の生涯学習施設としての学習などを行った。	R4計画 13,000			1	12,999
			当初予算 9,381			2	9,379
			決算額 8,951			1	8,950
	R5	歴史的に重要な資料(古文書、古写真)の収集・公開・調査や、展示公開を行った。また、ジオパークの拠点施設として、学校教育でのふるさと学習の支援や、市民の生涯学習の拠点施設として取組を行った。	R5計画 11,000			1	10,999
			当初予算 7,519			2	7,517
			決算額 6,168			51	6,117
	R6		R6計画 11,000			1	10,999
		当初予算 7,045			2	7,043	
		決算額					
R7		R7計画 11,000			1	10,999	
		当初予算					
		決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 58,981			6	58,975
			当初予算 36,926			8	36,918
			決算額 23,288			89	23,199

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 地域の歴史文化に関する情報発信	市民講座実施件数・企画展示の開催件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	件	目標値	4	4	4	4	4	
					実績値	3	4	10			
	2 -		<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	件	目標値						
					実績値						
					%	達成率	75	100	250		
D 成果指標	1 資料館入館者数	令和4年度の入館者数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	人	目標値	1,000	1,000	6,000	6,000	6,000	
					実績値	12,404	9,917	11,632			
	2 講座・学校支援等実施件数	小中学校ふるさと学習支援や地域学習の件数、(ジオパーク活動を含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	80 件	目標値	103	103	103	100	100	
					実績値	119	96	99			
					%	達成率	115.5	93.2	96.1		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	4点
		23点	23点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
活動指標・成果指標については、令和4年度よりも数字を伸ばしたが、小中学校のふるさと学習等で回数が目標に達しなかったことは課題である。令和3年に行われたジオパーク再認定審査で指摘された事項の1つであった「拠点施設の明確化」については、「豊後大野市資料館」から「豊後大野市資料館ジオパークミュージアム」に呼称を変更し、併せてサイン表示の更新を行うなど、対外的に周知することができた。また、資料館の主要業務の1つでもある資料収集・保管・展示・公開について、特に保管の部分で旧町村から引き継いだ資料と合併して収集した資料が多くなり、保管場所を検討する必要がある。現在は大型の資料について、稀に「民具等展示」公開できないという課題がある。歴史民俗資料やジオパークを通じて行う各種教育活動については、学校や市民の理解も深まり、入館者数や参加者数は安定しており、また、市民からの要望も増えている。今後は引き続き資料館の充実を図るべく、市民等のニーズに合った企画展や展示内容の更新を行っていくとともに、懸念となっている資料の保管について、実現に向けた検討を行っていく。また、興味を引く学習内容の構築や提供を積極的に行っていく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
成果指標の入館者数が増加に転じたことは評価できることであり、今後も引き続き増加に向けた業務の推進を進めていきたい。小中ふるさと学習が昨年よりは増加したとはいえ、目標値に届かなかったのは市内全校に学習が浸透したことも一因にあると思われる。今後も引き続きジオ学習などの学習支援を積極的に行う必要がある。こうした取組で市民の資料館に対する関心を高められるよう、資料の適切な保管体制や学習活動の推進による資料館業務の向上を目指したい。

事業	文化財保護事業	細事業	指定文化財等調査保護事業(単独)	実施計画事業	指定文化財等調査保護事業(単独)	終了年度	なし
----	---------	-----	------------------	--------	------------------	------	----

総合計画体系図No.→ (373)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額		
款	10	施策	5 文化財等の保存・継承							
項	5	施策展開	①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進							
目	4	後期基本計画	92 P	<input checked="" type="checkbox"/> 過疎計画					<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当
決算	159									

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 指定文化財を始め埋蔵文化財の調査保護を行い、情報公開を進める中で、市民の保護意識の高揚を図る</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 市内の指定文化財の維持管理や修理・虫害予防等の保護活動の支援を行う</p>	R3	市内の指定文化財の維持管理や環境整備などの保護業務を行い、また補修に対する援助を行った。	R3計画 95,750			62,500	33,250
			当初予算 95,750			62,500	33,250
			決算額 36,561			1,200	35,361
	R4	市内の指定文化財の維持管理や環境整備などの保護業務を行い、宮迫東石仏木柵や旧緒方村庁舎の改修を行い、また普光寺境内補修や御嶽神楽の九州大会出場に対する援助を行った。	R4計画 30,000				30,000
			当初予算 3,937			2,500	1,437
			決算額 4,282			2,200	2,082
	R5	市内の指定文化財の維持管理や環境整備などの保護業務を行い、また、民間団体等が所有・管理する文化財の補修に対する援助を行った。	R5計画 30,000				30,000
			当初予算 3,885			2,500	1,385
			決算額 2,756			2,100	656
	R6		R6計画 30,000				30,000
		当初予算 5,432			2,500	2,932	
		決算額					
	R7		R7計画 30,000				30,000
		当初予算					
		決算額					
	R3 ~ R7 合計		計画額 215,750			62,500	153,250
			当初予算 109,004			70,000	39,004
			決算額 43,599			5,500	38,099

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 文化財を国指定にするための調査、指定件数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		3	件	目標値	2	2	2	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1	2	9	
			% 達成率			50	100	450		
			目標値					1	1	1
2 文化財保存活用地域計画の策定	文化財保存活用地域計画の策定数	<input type="checkbox"/> 総合戦略			件	実績値				
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率						
				目標値		505	505	502	502	502
				実績値		505	506	506		
D 成果指標	1 文化財指定件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画		505	件	% 達成率	100	100.2	100.8	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				目標値				
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
						% 達成率				
2 -		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値						
		<input type="checkbox"/> 個別計画		% 達成率						

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点	4点	4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	4点	4点	4点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		22点	22点
		25点	25点

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <p>活動指標・成果指標における「文化財の調査・記録保存や市民への調査実績公開件数」については、令和5年3月に緒方川と緒方盆地の農村景観が国重要文化的景観に選定されたことを受け、シンポジウムや市内各公民館での巡回展、市報での特集記事掲載など、幅広く公開ができた。</p> <p>文化財保護法の改正に伴い、文化財の保存活用を目的とした地域計画の策定が求められて久しいが、なかなか着手できないでいる。未指定文化財の把握も必要となっているため、市民の協働体制の構築も含め、早急に事業実施に向けた検討を行う必要がある。</p> <p>所有管理者、団体の高齢化が進み、保存管理が厳しい状態になってきている。市としての対応が求められていることから、検討しなければならない。</p>	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <p>活動指標の文化財調査・記録保存や市民への公開件数は目標を大きく上回ることができたが、文化財保存活用地域計画は着手に向けた取組が必要である。来年度より作成に向けた作業に着手できるよう目指せるよう準備を進めていきたい。成果指標の指定件数については変動はないが、地域計画の作成に合わせて、文化財の管理や保存の適正化に向けた取組を構築していく必要がある。</p>
---	--

事業	文化財保護事業	細事業	国宝重要文化財等保存整備費事業(文化的景観)	実施計画事業	国宝重要文化財等保存整備費事業(文化的景観)	終了年度	R10
----	---------	-----	------------------------	--------	------------------------	------	-----

総合計画体系図No.1 (372)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	10	施策	5 文化財等の保存・継承	文化的景観整備計画策定業務支援等委託料					2,255
項	5	施策展開	①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進	文化的景観案内看板等作成設置業務委託料					7,175
目	4	後期基本計画	92 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	159								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 指定文化財を始め埋蔵文化財の調査保護を行い、情報公開を進める中で、市民の保護意識の高揚を図る <令和5年度の取組内容(計画)> 整備計画の作成に着手し、文化的景観の保存活用に向けた体制作りを行う	R3	令和3年度事業は、緒方盆地における文化的景観を「重要文化的景観」として選定されることをめざし、保存活用計画書の作成に関する委託業務を行った。	R3計画 7,405	4,239	3,000	166	
			当初予算 7,405	4,239	3,000	166	
			決算額 4,268	2,054	2,181	33	
	R4	文化的景観保存活用事業に移行のため実績なし。	R4計画 500			500	
			当初予算				
			決算額				
	R5	令和5年3月に国の重要文化的景観に選定された「緒方川と緒方盆地の農村景観」において、整備計画の策定に向けた骨子(案)の作成や普及啓発事業として、案内板等の設置、選定記念シンポジウムの開催、市内各公民館において文化的景観パネル巡回展を開催した。なお、案内板等の設置に関しては、次年度への繰越事業となった。	R5計画				
			当初予算 10,360	7,311	3,000	49	
			決算額 6,633	4,699	1,800	134	
	R6		R6計画				
		当初予算 11,120	8,092	1,000	2,028		
		決算額					
		R7計画					
		当初予算					
		決算額					
		R3 ~ R7 合計	計画額 7,905	4,239	3,000	666	
			当初予算 28,885	19,642	7,000	2,243	
			決算額 10,901	6,753	3,981	167	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 文化的景観選定のための調査報告書発行(令和2年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	件	目標値				
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値				
	2 文化的景観選定のための保存活用計画書の発行(令和3年度)	<input type="checkbox"/> 総合戦略		1	件	目標値	1			
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				実績値	1			
					%	達成率	100			
D 成果指標	1 重要文化的景観の選定(令和4年度選定申請、5年度選定)	<input type="checkbox"/> 総合計画			箇所	目標値			1	
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値			1	
	2 -	<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画				%	達成率		100	
		<input type="checkbox"/> 総合計画				目標値				
		<input type="checkbox"/> 総合戦略				実績値				
		<input type="checkbox"/> 個別計画			%	達成率				

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
		25点	25点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 活動指標・成果指標について、計画どおり成果指標を達成することができた。国や県補助事業を活用し、保存活用に向けた取組を継続して実施していく。なお、景観を構成する重要な構成要素を所有管理する個人や団体との連携を密にし、令和6年度に策定予定の整備計画を基に、修理、修景や対外的な便益施設の設置を検討していく。本景観活用については、庁内横断的な取組が必要となることから、その体制づくりを確立し、事業展開を図らなければならない。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 活動指標・成果指標ともに目標を達成できており、事業も計画どおり取り組んでいる。新たに整備計画の策定と計画に基づく整備への取組を進めて、文化的景観の保全及び市民による活用の活発化へ向けた取組を進めていきたい
---	---

事業	図書館管理運営事業	細事業	図書館外事業	実施計画事業	館外配送事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	--------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (351)		会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	2 生涯学習の推進					
項	5	施策展開	③図書館利用を推進する					
目	5	後期基本計画	86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当					
決算	160							
		A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 図書館の補完的機能として図書館外配送を行い、各町公民館図書室と連携し直接図書館に来館することが困難な地域住民の読書支援を行う。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・図書館外配送業務の開始 ・館外配送用図書の充実 ・各町公民館図書室に設置する返却ポストの購入 ・団体貸出の促進</p>	R3		R3計画					
			当初予算					
			決算額					
	R4		R4計画					
			当初予算					
			決算額					
	R5	図書館外配送業務を開始し、館外配送用図書の充実を図った。各町公民館図書室に設置する返却ポストを購入した。また、団体貸出の利用促進を行い、地域住民に読書支援をすることができた。	R5計画	2,703				2,703
			当初予算	2,715				2,715
			決算額	2,638				2,638
	R6		R6計画	2,703				2,703
			当初予算	412				412
			決算額					
	R7		R7計画	2,703				2,703
			当初予算					
		決算額						
R3 ~ R7 合計			計画額	8,109			8,109	
			当初予算	3,127			3,127	
			決算額	2,638			2,638	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 館外配送巡回先数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		ヶ所	目標値			18	18	18
					実績値			18		
					% 達成率			100		
2 館外配送回数	図書館外配送の年間延べ回数。ただし、月2回、4・8・3月を除く(令和5年度より開始)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		回	目標値			18	18	18
					実績値			18		
					% 達成率			100		
D 成果指標	1 館外配送の貸出冊数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		冊	目標値			13,000	13,500	14,000
					実績値			13,050		
					% 達成率			100.4		
2		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	4点		4点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点		4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	23点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
図書館外配送業務を開始し、市内18ヶ所の認定こども園、保育園、幼稚園、公民館図書室を巡回し、市民が読書に親しむ環境づくりの充実を図った。次年度に向けては、引き続き図書館の補完的機能として図書の館外配送業務を行い、直接図書館へ来館することが困難な地域住民の読書支援を図る。また、事業の効率化から図書館内事業との統合を行う。	直接図書館へ来館することが困難な地域住民の読書支援を図るため、公民館などの事業と連携した取組により事業推進を図る必要がある。

事業	図書館管理運営事業	細事業	図書館館内事業	実施計画事業	図書購入事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	--------	------	----

総合計画体系図No.→ (351)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	2 生涯学習の推進				
款	10	施策展開	③図書館利用を推進する				
項	5						
目	5						
決算	160	後期基本計画	86 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input type="checkbox"/> コロナ充当	

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 新しい情報、資料の計画的な蔵書整備が行われ、市民の多様な資料要求に迅速に対応し、常に新しい情報・資料を提供する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 市民のニーズに応じた情報・資料の収集及び提供 ・蔵書の整備(新聞、雑誌、図書、DVDの整備) ・地域資料の収集 ・相互貸借(図書館間の図書貸出) ・レファレンス(調査相談)サービスの充実 ・予約、リクエスト ・相互連携(大分都市広域圏)の開始</p>	R3	市民のニーズに応じた情報・資料の収集し提供することができた。 蔵書の整備及び地域資料の収集(図書21,218冊、CDブック41点、DVD328点) ・新聞5紙、雑誌136タイトル ・相互貸借(図書館間の図書貸出) ・レファレンス(調査相談)件数2,829件 ・予約件数1,940件	R3計画 64,710 当初予算 64,710 決算額 64,706			32,000	32,710	
	R4	市民のニーズに応じた情報・資料を収集し提供することができた。 蔵書の整備及び地域資料の収集(新聞9紙、雑誌142タイトル、図書18,509冊、DVD369点、CDブック413点) ・相互貸借(図書館間の図書貸出) ・レファレンス(調査相談)3,008件 ・予約2,539件	R4計画 52,710 当初予算 52,710 決算額 52,385			25,000	27,710	
	R5	市民のニーズに応じた情報・資料を収集し提供することができた。 蔵書の整備及び地域資料の収集(新聞9紙、雑誌142タイトル、図書19,521冊、DVD165点、CDブック142点) ・相互貸借(図書館間の図書貸出) ・レファレンス(調査相談)3,511件 ・予約2,695件	R5計画 52,710 当初予算 52,710 決算額 52,697			25,000	27,710	
	R6		R6計画 52,710 当初予算 32,788 決算額			25,000	27,710	
	R7		R7計画 52,710 当初予算 決算額			25,000	27,710	
	R3 ~ R7 合計			計画額 275,550 当初予算 202,918 決算額 169,788	39,406		132,000	143,550

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 図書購入冊数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	23,368	冊	目標値 18,000 実績値 21,218 達成率 117.9%	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	2 蔵書冊数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	84,597	冊	目標値 86,000 実績値 102,239 達成率 118.9%	88,000	90,000	95,000	100,000	
D 成果指標	1 市民1人当たりの貸出冊数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	0.7	冊	目標値 3 実績値 4.17 達成率 139%	4	4	5	5	5
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値 実績値 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点	24点	4点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 蔵書計画に沿って選書を行い、目標値以上の図書の購入が実施できた。また、県内他図書館との相互貸借やレファレンス(調査相談)サービスの浸透が図られ、今後も市民のニーズに応え、読書支援を行う。事業の効率化から図書館館外事業との統合を行う。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 蔵書計画に沿った図書の購入が実施できているが、貸出し冊数の目標達成に向けた事業実施を考えていく必要がある。
---	---

事業	図書館管理運営事業	細事業	図書館教育事業	実施計画事業	図書館教育事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.→ (353)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策 2 生涯学習の推進	講師謝礼金 240				
項	5	施策展開 ③図書館利用を推進する	消耗品費 100				
目	5	後期基本計画 86 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	印刷製本費 100				
決算	160		食糧費 13				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 様々な学習機会の提供と読書を通じた人づくりを推進する。 対象別の講座、ワークショップ、おはなし会等の教育事業を行い、図書館利用の促進に取り組む。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 図書館の利用につながる教育事業の実施 ・子どもを対象とした事業 ・一般市民を対象とした事業</p>	R3	図書館の利用につながる教育事業の実施することができた。 ・子ども(親子を含む)を対象とした事業 18回 212名参加 ・一般市民を対象とした事業 13回 132名参加	R3計画 453 当初予算 453 決算額 293				453	
	R4	図書館の利用につながる教育事業の実施することができた。 ・子ども(親子を含む)を対象とした事業 20回 273名参加 ・一般市民を対象とした事業 19回 193名参加	R4計画 453 当初予算 453 決算額 420				453	
	R5	図書館の利用につながる教育事業の実施することができた。 ・子ども(親子を含む)を対象とした事業 12回 225名参加 ・一般市民を対象とした事業 23回 291名参加	R5計画 453 当初予算 453 決算額 444				453	
	R6		R6計画 453 当初予算 438 決算額				453	
	R7		R7計画 453 当初予算 決算額				453	
	R3 ~ R7 合計			計画額 2,265 当初予算 1,797 決算額 1,157				2,265 1,797 1,157

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 子ども対象事業の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	12	12	12	12	12
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	18	20	12		
	2 一般対象事業の回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略		回	目標値	6	6	6	6	6
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	13	19	23		
D 成果指標	1 参加者の利用者カード登録率	<input type="checkbox"/> 総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	95	86	81		
	2 -	<input type="checkbox"/> 個別計画		%	達成率	95	86	81		
		<input type="checkbox"/> 総合計画			目標値					
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値					
		<input type="checkbox"/> 個別計画			達成率					

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	4点	4点	4点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	23点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 コロナ禍も明け、行事を実施することができた。また、子どもだけでなく一般向けの体験教室を実施することで、今まで図書館の利用がなかった方に興味を持ってもらい、新規登録者の増加につながった。今後も様々なニーズに対応した行事を実施し、新たな利用につなげる。	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 各種の体験教室を実施することで、新規登録者の増加につながってはいるが、新規登録者数目標に達していないため、今後も様々なニーズに対応した行事を計画する必要がある。
---	--

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	図書館管理運営事業	細事業	図書館運営事業	実施計画事業	図書館運営事業	終了年度	なし
----	-----------	-----	---------	--------	---------	------	----

総合計画体系図No.1 (356)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額						
款	10	施策	2 生涯学習の推進	期間	R3 年度 ~ R7 年度	会計年度任用職員報酬	12,403						
項	5	施策展開	③図書館利用を推進する	期間	年度 ~ 年度	図書館システム機器リース料	11,567						
目	5	後期基本計画	86 P	<input type="checkbox"/>	過疎計画	<input type="checkbox"/>	総合戦略	<input type="checkbox"/>	コロナ充当	電算システム等保守委託料	3,908		
決算	160											光熱水費	4,596

A 事業目的・内容・実績			B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市民の学習ニーズの多様化に伴い、図書館機能の向上を図る。 また、図書館の取組や活動など情報を発信し、利用促進に努める。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ・図書館協議会の開催(年2回) ・図書館施設の環境整備 ・セルフ貸出機や自動返却機の活用による利用者のプライバシー保護 ・季節や市民のニーズに応じた特設コーナーの充実 ・電子図書館サービスの利用促進 ・ループル図書館の利用促進 ・広報活動(市報、ホームページ、ケーブルテレビ等) ・デジタルサイネージの活用 ・図書館通帳の発行 ・既設排水路集水枘増設工事の実施</p>	R3	・図書館協議会を年2回開催 ・図書館施設の環境整備 ・季節や市民のニーズに応じた特設コーナーの設置(48回) ・広報等により利用につながる図書館情報の発信ができた。 ・デジタルサイネージの活用し、行事や新刊本等の紹介ができた。	R3計画	51,888			1,224	50,664
	当初予算	51,888			1,224	50,664		
	決算額	51,316	1,300	202	49,814			
	R4	・図書館協議会を年2回開催 ・図書館施設の環境整備 ・電子図書館サービス(電子書籍コンテンツ購入361件) ・広報活動(市報、ホームページ、ケーブルテレビ等)により利用につながる図書館情報の発信ができた。 ・デジタルサイネージを活用し、行事や新刊本等の紹介ができた。	R4計画	50,557			24	50,533
	当初予算	54,207			208	53,999		
	決算額	52,807			210	52,597		
	R5	・図書館協議会を年2回開催 ・図書館施設の環境整備 ・電子図書館サービス(電子書籍コンテンツ購入442件) ・広報活動(市報、ホームページ、ケーブルテレビ等)により利用につながる図書館情報の発信ができた。 ・デジタルサイネージを活用し、行事や新刊本等の紹介ができた。 ・既設排水路集水枘増設工事を実施した。	R5計画	50,557			24	50,533
	当初予算	51,905			36	51,869		
	決算額	49,418			18	49,400		
	R6		R6計画	50,557			24	50,533
当初予算	51,801			36	51,765			
決算額								
R7		R7計画	50,557			24	50,533	
当初予算								
決算額								
R3 ~ R7 合計			計画額	254,116			1,320	252,796
			当初予算	209,801			1,504	208,297
			決算額	153,541	1,300		430	151,811

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 図書館協議会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	3	回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2	2		
					% 達成率	100	100	100		
D 成果指標	1 来館者数(延べ数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> 個別計画	17,119	人	目標値	38,000	40,000	40,000	50,000	50,000
					実績値	78,946	69,374	64,433		
					% 達成率	207.8	173.4	161.1		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	5点	5点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		24点	24点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
図書館の円滑な運営を図るため、図書館協議会を2回開催した。来館者数については、昨年度を下回ったが、目標値は超えることができた。会計年度任用職員、図書館システム関係、施設の管理維持費に係る経費が多くを占めていること、また来館者数が減少傾向であることが課題である。	図書館協議会を2回開催し、図書館に来れない人のために出前事業の計画を要望された。人口減少や高齢化により来館者数が伸び悩んでいるが、その方が来館できる方法や来館しなくても各町の公民館で図書を楽しめる機会を作る必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	各地区スポーツ振興会補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No. (357)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 豊後大野市スポーツ推進計画 期間 H30 年度 ~ R9 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	3 スポーツの振興				
項	6	施策展開	①生涯スポーツを推進する				
目	1	後期基本計画	88 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	161						
		A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> 市民がスポーツを通じて、明るく、豊かな生活の実現に資するために各町にスポーツ振興会を設置し、誰もが参加できる健康づくりと体力づくりを目的としたスポーツ行事、教室等を開催するとともに、円滑な運営を図るために振興会に予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 各町のスポーツ振興会が中心となり地域の関係機関や団体と連携を図り地域の特性を活かした活動計画を策定する。健康づくりと体力づくりを目的に、誰もが生涯スポーツに親しむ機会を提供できるようにスポーツ行事、教室等を開催する。</p>	R3	①三重町は7振興会:8事業を実施②清川町は7振興会:9事業を実施③緒方町は7振興会:12事業を実施④朝地町は7振興会:10事業を実施⑤大野町は7振興会:13事業を実施⑥千歳町は7振興会:5事業を実施⑦大飼町は7振興会:15事業を実施 市内全体で115事業を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により43事業が中止となった。	R3計画 8,640				8,640
	当初予算	8,640				8,640	
	決算額	4,916				4,916	
	R4	①三重町は7振興会:15事業を実施②清川町は7振興会:18事業を実施③緒方町は7振興会:12事業を実施④朝地町は7振興会:10事業を実施⑤大野町は7振興会:12事業を実施⑥千歳町は7振興会:7事業を実施⑦大飼町は7振興会:15事業を実施 市内全体で117事業を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により28事業が中止となった。	R4計画 8,640				8,640
	当初予算	8,640				8,640	
	決算額	7,096				7,096	
	R5	①三重町は7振興会:16事業を実施②清川町は7振興会:17事業を実施③緒方町は7振興会:16事業を実施④朝地町は7振興会:12事業を実施⑤大野町は7振興会:14事業を実施⑥千歳町は7振興会:8事業を実施⑦大飼町は7振興会:17事業を実施 市内全体で112事業を企画したが、高齢化の進展等の影響により12事業が中止となった。	R5計画 8,640				8,640
	当初予算	8,640				8,640	
	決算額	7,682				7,682	
	R6		R6計画 8,640				8,640
	当初予算	8,640				8,640	
	決算額						
	R7		R7計画 8,640				8,640
	当初予算						
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 43,200				43,200
			当初予算 34,560				34,560
			決算額 19,694				19,694

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 生涯スポーツへの参加	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	51	回	目標値	72	115	115	115	115
					実績値	72	89	100		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					%	達成率	100	77.4	87	
D 成果指標	1 生涯スポーツへの参加	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	51	回	目標値	72	115	115	115	115
					実績値	72	89	100		
	2 -	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画			目標値					
					実績値					
					%	達成率	100	77.4	87	

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	4点
		23点	23点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
<今後の進め方(課題・改善策等)> スポーツ活動を推進するため、各町スポーツ振興会及び事務局のここからプラスと連携し、生涯スポーツに親しみやすいスポーツ行事、教室や研修会等の新たな企画・運営を進めて行く。高齢化が進んでおり軽スポーツの普及に重点を置いて取組む。	各町のスポーツ振興会やここからプラスと連携し、親しみやすい生涯スポーツ行事・教室・研修会等の新たな企画を進めて行くことと、高齢者向けの軽スポーツの普及に重点を置いて取組む必要がある。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	スポーツ協会補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	------------	------	----

総合計画体系図No.1 (361)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 豊後大野市スポーツ推進計画 期間 H30 年度 ~ R9 年度	令和5年度 主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	3 スポーツの振興				
項	6	施策展開	③競技スポーツを振興する				
目	1	後期基本計画	88 P <input type="checkbox"/> 過剰計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当 <input type="checkbox"/>				
決算	161						
A 事業目的・内容・実績				B 事業計画額・決算額等			

事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市民のスポーツを推進し、市民の体力の向上とスポーツ精神の高揚と、心身共に健全で活力にみちた市民生活の実現を図ることを目的に組織された豊後大野市スポーツ協会の積極的な事業の推進と円滑な運営を図るための経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 豊後大野市スポーツ協会事業計画 ①市民スポーツ大会(種目別別に6月から11月の期間に開催) ②第16回豊後大野市小中学生水泳記録会 ③第76回大分県民スポーツ大会 ④第19回豊後大野市少年少女駅伝競走大会 ⑤第76回大分県民スポーツ大会(スキー競技) ⑥スポーツ指導者研修会の開催</p>	R3	①市民体育大会(7月から11月の期間に9種目を開催) ②第14回豊後大野市小中学生水泳記録会/18種目に男子30名、女子19名参加 ③第74回大分県民スポーツ大会(中止) ④第17回豊後大野市少年少女駅伝競走大会(中止) ⑤第75回大分県民体育大会・スキー競技 参加取下げ ⑥春季県体・第64回県内一府大合同駅伝競走大会(中止) ⑦スポーツ指導者研修会の開催(4回開催)	R3計画 12,380 当初予算 12,380 決算額 6,139				12,380	
	R4	①市民スポーツ大会(6月から11月の期間に12種目を開催) ②第15回豊後大野市小中学生水泳記録会/18種目に男子19名、女子11名参加 ③第75回大分県民スポーツ大会(28種目に447名参加) ④第18回豊後大野市少年少女駅伝競走大会(男子21チーム、女子4チーム参加) ⑤第76回大分県民スポーツ大会・スキー競技(5名参加) ⑥スポーツ指導者研修会の開催(3回開催)	R4計画 12,935 当初予算 12,935 決算額 10,501				12,935	
	R5	①市民スポーツ大会(6月から11月の期間に16種目を開催) ②第16回豊後大野市小中学生水泳記録会/18種目に男子14名、女子14名参加 ③第76回大分県民スポーツ大会(28種目に475名参加) ④第19回豊後大野市少年少女駅伝競走大会(男子19チーム、女子5チーム参加) ⑤第77回大分県民スポーツ大会・スキー競技(中止) ⑥スポーツ指導者研修会の開催(4回開催)	R5計画 12,935 当初予算 12,300 決算額 11,107				12,935	
	R6		R6計画 12,935 当初予算 12,300 決算額				12,935	
	R7		R7計画 12,935 当初予算 決算額				12,935	
	R3 ~ R7 合計			計画額 64,120 当初予算 49,915 決算額 27,747				64,120

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
C 活動指標	1 競技力の向上	県民スポーツ大会の成績(市スポーツ協会加盟28種目部別の競技団体)	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		位	目標値 9 実績値 15 達成率 —	9	9	9	9	8
	2 スポーツ少年団指導者の育成	公認スポーツ少年団指導者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	137	名	目標値 140 実績値 119 達成率 85	140	140	140	140	140
D 成果指標	1 競技力の向上	県民スポーツ大会の成績(市スポーツ協会加盟28種目部別の競技団体)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		位	目標値 9 実績値 15 達成率 —	9	9	9	9	8
	2 スポーツ少年団への加入率	加入者数/児童生徒数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	36.1	%	目標値 45 実績値 31.6 達成率 70.2	45	45	45	45	50

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	23点	24点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点		
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
<今後の進め方(課題・改善策等)> 今後も継続して競技スポーツ活動やスポーツ少年団活動の支援を行う。 また、人口減少に伴う競技人口の減少や競技力の低下、スポーツ指導者の確保などの課題解決に向けて、関係機関、団体が連携して取り組める環境づくりの方策を検討していく必要がある。	人口減少に伴う競技人口の減少や競技力の低下、スポーツ指導者の確保などの課題解決に向けて、関係機関、団体が連携して取り組める環境づくりの方策を検討していく必要がある。また、部活動の地域移行について、スポーツ少年団指導者に理解を深める取組を進める必要がある。

事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	各種スポーツ大会出場補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	----------------	------	----

総合計画体系図No. (361)	会計 一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款 10	施 策	3 スポーツの振興		期間	R3 年度 ~ R7 年度	各種スポーツ大会出場補助金	1,800
項 6	施策展開	③競技スポーツを振興する		個別計画名	豊後大野市スポーツ推進計画		
目 1	後期基本計画	88 P	<input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当	期間	H30 年度 ~ R9 年度		
決算 161							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 市民のスポーツ水準の向上、振興を図るため、市民等が各スポーツ大会及び競技大会等に出席した場合の経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> 国、県、公益財団法人日本スポーツ協会の加盟団体(属する専門部も含む。)が主催、若しくは共催し、県大会等以上の予選会を経てその代表として出場する大会とする。 (1) 九州大会 (2) 西日本大会 (3) 全国大会 (4) 世界大会</p>	R3	令和3年度の実績は、13団体・個人、延べ89人が九州大会以上の大会に出場 全国・西日本大会 7団体39人 九州大会 6団体延べ50人	R3計画 1,800 当初予算 1,800 決算額 872				1,800	
	R4	令和4年度の実績は、41団体・個人、延べ192人が九州大会以上の大会に出場 全国・西日本大会 23団体延べ99人 九州大会 19団体延べ93人	R4計画 1,800 当初予算 1,800 決算額 1,932				1,800	
	R5	令和5年度の実績は、45団体・個人、延べ198人が九州大会以上の大会に出場 全国・西日本大会 24団体延べ63人 九州大会 21団体延べ135人	R5計画 1,800 当初予算 1,800 決算額 911				1,800	
	R6		R6計画 1,800 当初予算 1,800 決算額				1,800	
	R7		R7計画 1,800 当初予算 決算額				1,800	
	R3 ~ R7 合計			計画額 9,000 当初予算 7,200 決算額 3,715				9,000 7,200 3,715

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 全国大会・西日本大会	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		選手数	目標値	39	70	70	70	70
					実績値	39	99	63		
					% 達成率	100	141.4	90		
	2 九州大会	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		選手数	目標値	50	88	88	88	88
					実績値	50	93	135		
					% 達成率	100	105.7	153.4		
D 成果指標	1 全国大会・西日本大会	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		選手数	目標値	39	70	70	70	70
					実績値	39	99	63		
					% 達成率	100	141.4	90		
	2 九州大会	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画		選手数	目標値	50	88	88	88	88
					実績値	50	93	135		
					% 達成率	100	105.7	153.4		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	23点
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
<今後の進め方(課題・改善策等)> 今後も競技スポーツに取り組む選手、指導者へ九州大会以上に出場する団体・個人への補助金制度を継続し、スポーツ競技意欲の喚起を促して行く。また、全国大会で3位以内に入賞した場合に感謝状を贈呈するスポーツ顕彰制度も併せて活用する。	今後も競技スポーツに取り組む選手、指導者へ九州大会以上に出場する団体・個人への補助金制度を継続し、スポーツ競技意欲の喚起を促して行き、全国大会で3位以内に入賞した場合に感謝状を贈呈するスポーツ顕彰制度も併せて活用しながら事業推進に努める。

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	総合型地域スポーツクラブ活動支援補助事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	----------------------	------	----

総合計画体系図No.1 (357)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 豊後大野市スポーツ推進計画 期間 H30 年度 ~ R9 年度	令和5年度主な歳出名称	総合型地域スポーツクラブ活動支援補助金	当初予算額	3,150
款	10	施策 3 スポーツの振興							
項	6	施策展開 ①生涯スポーツを推進する							
目	1	後期基本計画 88 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当							
決算	161								

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> スポーツ基本法の基本理念に基づき、市民が地域における文化・スポーツ活動等の振興を図り、会員及び青少年の健全な心身を育成するとともに、会員相互の親睦を通じ、地域の活性化・地域社会の連帯に資することを目的に総合型地域スポーツクラブ(以下「クラブ」という。)へ予算の範囲内で補助金を交付する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> みえスポーツクラブ、おがたいいきスポーツクラブ、特定非営利活動法人朝地フレンドクラブの特性を活かした活動計画を策定し会員の体力向上と健康増進を図る。 (1) 定期的なクラブ活動等の実施 (2) 年間計画に基づくクラブ行事等の開催 (3) 会員相互の親睦を図るための行事の開催 (4) 地域住民のスポーツ活動や地域づくりに資するボランティア活動 (5) 会員の健康・体力相談事業 (6) 他の機関・団体などが開催するスポーツ行事等への参加 (7) クラブの目的達成及び設立準備のために必要な事業 (8) 中学部活動の地域移行への支援準備</p>	R3	①みえスポーツクラブ:11事業を実施(5事業中止)、会員数300名 ②おがたいいきスポーツクラブ:10事業を実施(5事業中止)、会員数140名 ③朝地フレンドクラブ:19事業を実施(10事業中止)、会員数196名 新型コロナウイルス感染症の影響により例年どおりの活動が実施できなかった。	R3計画	3,150			3,150
	R4	①みえスポーツクラブ:18事業を実施、会員数314名 ②おがたいいきスポーツクラブ:9事業を実施(4事業中止)、会員数151名 ③朝地フレンドクラブ:10事業を実施(5事業中止)、会員数188名 新型コロナウイルス感染症の影響により例年どおりの活動が実施できなかった。	R4計画	3,150			3,150
	R5	①みえスポーツクラブ:23事業を実施、会員数386名 ②おがたいいきスポーツクラブ:15事業を実施、会員数173名 ③朝地フレンドクラブ:12事業を実施、会員数183名	R5計画	3,150			3,150
	R6		R6計画	3,150			3,150
	R7		R7計画	3,150			3,150
	R3 ~ R7 合計		計画額	15,750			15,750
			当初予算	12,600			12,600
			決算額	9,291			9,291

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
C 活動指標	1 地域スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの会員数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	628	名	目標値	720	720	720	720	720
						実績値	636	653	742		
						% 達成率	88.3	90.7	103.1		
						% 達成率					
D 成果指標	1 地域スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの会員数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	628	名	目標値	720	720	720	720	720
						実績値	636	653	742		
						% 達成率	88.3	90.7	103.1		
						% 達成率					

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
			評価点	評価点合計
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	5点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	5点
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	5点
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	5点	25点	5点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
<今後の進め方(課題・改善策等)> スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造を基本理念とする総合型地域スポーツクラブの育成支援に取り組むとともに、自立に向けた活動を引続き支援して行く。	スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造を基本理念とする総合型地域スポーツクラブの育成支援に取り組むとともに、自立に向けた活動を引続き支援して行き、部活動の地域移行への理解も深める必要がある。

事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	スポーツ推進委員	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	----------	------	----

総合計画体系図No. (357)		会計 一般	政策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育む	個別計画名	豊後大野市総合教育計画 期間 R3 年度 ~ R7 年度 豊後大野市スポーツ推進計画 期間 H30 年度 ~ R9 年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額	
款	10	施策 3 スポーツの振興	報酬					1,750
項	6	施策展開 ①生涯スポーツを推進する						
目	1	後期基本計画 88 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当						
決算	161							

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等					
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
<p><事業の目的> スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第32条第2項の規定に基づき、市内7町にスポーツ推進委員を35名配置し、生涯スポーツの推進に寄与することを目的とする。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> スポーツ推進委員は、スポーツの普及・振興を図るためスポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図る研修会を開催するとともに、市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営に携わり生涯スポーツの普及を図る。</p>	R3	地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、竹田地区スポーツ推進委員協議会が主催する研修会を10月に神楽会館で開催し、「オリンピックへの道のり」について豊後大野市ふるさと大使の矢澤選手氏の講演会を開催した。また、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わった。	R3計画 1,750				1,750
	当初予算	1,750				1,750	
	決算額	1,750					1,750
	R4	地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、九州地区スポーツ推進委員研究大会に2日間で延べ42名参加し資質の向上に努めた。また、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わった。	R4計画 1,750				1,750
	当初予算	1,750				1,750	
	決算額	1,750					1,750
	R5	地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、九州地区スポーツ推進委員研究大会に2日間で延べ22名参加し資質の向上に努めた。また、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わった。	R5計画 1,750				1,750
	当初予算	1,750				1,750	
決算額	1,750					1,750	
R6		R6計画 1,750				1,750	
当初予算	1,750					1,750	
決算額							
R7		R7計画 1,750				1,750	
当初予算							
決算額							
R3 ~ R7 合計			計画額 8,750				8,750
			当初予算 7,000				7,000
			決算額 5,250				5,250

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 推進委員の配置	市内7町に35名のスポーツ推進委員を配置し、生涯スポーツの普及を図る。	<input type="checkbox"/> 総合戦略	35	名	目標値	35	35	35	35	35
		<input type="checkbox"/> 個別計画			実績値	35	35	35		
		% 達成率			100	100	100			
D 1 会議・研修会の開催	地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、会議・研修会を開催する。	<input type="checkbox"/> 総合計画	9	回	目標値	12	12	12	12	12
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	10	10	10		
		<input type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	83.3	83.3	83.3		

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)				
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
F 1 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5点	23点	5点	24点			
	なっていない ⇒ なっている							
	2 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)					1 → 2 → 3 → 4 → 5	5点	5点
	優先度低い ⇒ 優先度高い							
	3 事業計画どおりに事業を進めることができたか					1 → 2 → 3 → 4 → 5	5点	5点
できなかった ⇒ できた								
4 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	4点	23点	5点				
推移していない ⇒ 推移した								
5 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	4点	23点	4点				
推移していない ⇒ 推移した	／25点				／25点			

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 <今後の進め方(課題・改善策等)>
 地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、研修会を開催するとともに、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わり生涯スポーツの普及を推進する。また、地域スポーツ振興の担い手であるスポーツ推進委員と相互に連携し、運動部活動の地域移行や人口減少にもなる生涯スポーツの普及の方策など諸課題についても協議を進めて行く。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 地域スポーツ振興の担い手であるスポーツ推進委員と連携し、運動部活動の地域移行や人口減少にもなる生涯スポーツの普及の方策など諸課題についても協議を進めて行きたい。

I 令和7年度の事業の方向性 → A.現状のまま継続

事業	スポーツ施設管理事業	細事業	スポーツ施設管理事業	実施計画事業	大原総合体育館指定管理委託事業	終了年度	なし
----	------------	-----	------------	--------	-----------------	------	----

総合計画体系図No.1 (359)		政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	豊後大野市総合教育計画	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
会計	一般	施策	3 スポーツの振興		期間 R3 年度 ~ R7 年度	大原総合体育館指定管理委託料	28,500
款	10	施策展開	②スポーツ施設を整備する		スポーツ推進計画		
項	6	後期基本計画	88 P <input type="checkbox"/> 過疎計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当		期間 H30 年度 ~ R9 年度		
目	2	決算	162				

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的></p> <p>本市における生涯スポーツ活動の拠点として、また市民の健康づくりとスポーツ振興及び世代間の交流活動等を支援する施設として大原総合体育館を設置している。</p> <p>管理運営については、指定管理者である「豊後大野市スポーツ振興協議会」に委託しスポーツの普及振興に関する事業推進、施設の適切な維持管理を実施する。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)></p> <p>豊後大野市スポーツ推進計画に基づき、市民の健康づくりの拠点施設として健康増進、地域スポーツの振興、スポーツを通じたまちづくりを行うとともに、市民の求めるサービスの向上に努める。指定管理者制度の導入による効率的な施設の維持管理を行い経費の節減に努め利益を追求する。</p> <p>①施設の適切な管理運営 ②施設の効率的な運営及び利用促進 ③市民のためのスポーツの自主事業の実施 ④職員のための各種教育訓練の実施</p>	R3	①プール、トレーニング室 ○施設利用者数 49,267人 ②体育館、研修室 ○施設利用者数 45,149人 計 94,416人	R3計画 27,000 当初予算 27,000 決算額 27,000				27,000	
	R4	①プール、トレーニング室 ○施設利用者数 49,466人 ②体育館、研修室 ○施設利用者数 57,900人 計 107,366人	R4計画 30,000 当初予算 28,000 決算額 28,000				30,000	
	R5	①プール、トレーニング室 ○施設利用者数 49,952人 ②体育館、研修室 ○施設利用者数 56,572人 計 106,524人	R5計画 30,000 当初予算 28,500 決算額 28,500				30,000	
	R6		R6計画 30,000 当初予算 28,500 決算額				30,000	
	R7		R7計画 30,000 当初予算 決算額				30,000	
	R3 ~ R7 合計			計画額 147,000 当初予算 112,000 決算額 83,500				147,000

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 施設利用者数	<input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	76,785	人	目標値	94,416	118,500	119,700	121,000	122,300
					実績値	94,416	107,366	106,524		
					% 達成率	100	90.6	89		
D 成果指標	1 施設利用料等	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> 個別計画	21,465	千円	目標値	27,607	30,426	30,734	31,067	31,401
					実績値	27,607	28,062	29,518		
					% 達成率	100	92.2	96		

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)	二次評価(課長等)	
		評価点	評価点合計
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	5点	5点	23点
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	5点	5点	
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	5点	5点	
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	4点	4点	
		23点	23点
		25点	25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
<p><課題、改善策等></p> <p>令和4年度の利用者と比較すると利用者人数が減少した。今後は、利用促進のための広報活動の推進、スポーツツーリズムによる合宿や大会の誘致を図っていく必要がある。</p>	<p>利用者人数が減少してきているが、利用促進のための広報活動の推進、スポーツツーリズムによる合宿や大会の誘致を図る取組に努めたい。</p>

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

事業	給食共同調理場運営事業	細事業	給食共同調理場運営事業	実施計画事業	給食共同調理場運営事業	終了年度	なし
----	-------------	-----	-------------	--------	-------------	------	----

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個別計画名	第4次豊後大野市総合計画 期間 R3年度 ~ R7年度	令和5年度主な歳出名称	当初予算額
款	10	施策	1 学校教育の充実				
項	6	施策展開	②教育体制を充実する				
目	3	後期基本計画	84 P <input type="checkbox"/> 過剰計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略 <input type="checkbox"/> コロナ充当				
決算	164						

A 事業目的・内容・実績		B 事業計画額・決算額等						
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	事業費計	財源内訳 (単位:千円)				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
<p><事業の目的> 給食に地元食材を活用し、生産者や地域の食文化を理解していただくとともに、食に関する指導の充実を図る。</p> <p><令和5年度の取組内容(計画)> ●給食共同調理場運営事業 市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒への給食数…2,436食(関係教職員含む) 調理場施設の状態…三重学校給食共同調理場・西部学校給食共同調理場の2施設 ○市内・県内産食材の活用○施設のドライシステムによる調理の安全性や衛生面の向上○給食配送業務の外部委託 委託先:(社)豊肥地域シルバー人材センター○給食調理業務の外部委託</p>	R3	●給食共同調理場運営事業(完全給食の実施) 市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒への給食数…2,744食(関係教職員含む) ○市内・県内産食材の活用○施設のドライシステムによる調理の安全性や衛生面の向上○給食配送業務の外部委託(豊肥地域シルバー人材センター)○給食調理業務の外部委託の推進の実施	R3計画 396,061			164,624	231,437	
				当初予算 396,061			164,624	231,437
				決算額 380,172			157,061	223,111
	R4	●給食共同調理場運営事業 市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒への給食数…2,548食(関係教職員含む) 調理場施設の状態…三重学校給食共同調理場・西部学校給食共同調理場の2施設 ○市内・県内産食材の活用○施設のドライシステムによる調理の安全性や衛生面の向上○給食配送業務の外部委託 委託先:(社)豊肥地域シルバー人材センター○給食調理業務の外部委託	R4計画 310,000		4,400	125,322	184,678	
				当初予算 402,022			130,651	266,971
				決算額 389,096	69,353		46,322	273,421
	R5	●給食共同調理場運営事業 市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒への給食数…2,436食(関係教職員含む) 調理場施設の状態…三重学校給食共同調理場・西部学校給食共同調理場の2施設 ○市内・県内産食材の活用○施設のドライシステムによる調理の安全性や衛生面の向上○給食配送業務の外部委託 委託先:(社)豊肥地域シルバー人材センター○給食調理業務の外部委託	R5計画 310,000			122,815	187,185	
				当初予算 360,802			129,699	231,103
				決算額 371,893	48,624			323,269
	R6			R6計画 310,000		27,000	120,359	189,641
			当初予算 420,674			116,996	276,678	
			決算額					
R7			R7計画 310,000			117,952	192,048	
			当初予算					
			決算額					
R3 ~ R7 合計			計画額 1,636,061			651,072	984,989	
			当初予算 1,579,559	31,400		541,970	1,006,189	
			決算額 1,141,161	117,977		203,383	819,801	

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 1 食の指導	三重管内 100回 西部管内 100回 計画によるもの(各管内週2回~3回) 200回以上	<input type="checkbox"/> 総合戦略	196	回	目標値	200	200	200	200	200
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	210	227	220		
					% 達成率	105	113.5	110		
					目標値	100	100	100	100	100
C 2 給食の実施数	管内給食実施施設 24カ所	<input type="checkbox"/> 総合戦略	100	%	目標値	100	100	100	100	100
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			実績値	100	100	100		
					% 達成率	100	100	100		
					目標値	75	75	75	75	75
D 1 学校給食における地場産品の使用割合	大分県産品調査による 75%以上	<input type="checkbox"/> 総合計画	77	%	目標値	75	75	75	75	75
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	75	75	75		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100	100	100		
					目標値	97	97	97	97	97
D 2 学校給食費の収納率	現年度分収納率 97%以上	<input type="checkbox"/> 総合計画	97.4	%	目標値	97	97	97	97	97
		<input type="checkbox"/> 総合戦略			実績値	97.2	97.9	98.7		
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別計画			% 達成率	100.2	100.9	101.8		
					目標値	97	97	97	97	97

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)

評価項目	5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価(課長等)		
		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F 評価	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点	25点	5点	25点
	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5点		5点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点		5点	

<p>G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰に伴い、給食の栄養バランスや量のバラツキが生じないよう、安心・安全な給食を提供できることが必要とされる。 ・滞納に対する法的措置にスムーズに移行できる体制整備が必要。 ・計画的に修繕、機器更新の実施。 	<p>H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで同様に安心安全な給食を安定して提供を行う。 ・滞納に対しての体制整備が必要である。 ・施設老朽化に伴う長期計画的修繕が必須とされる。
--	---

I 令和7年度の事業の方向性 → A. 現状のまま継続

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合 計画 体系図 ナン バー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号	枝番			細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
議会事務局議会係	1	1	1	議会運営事業 議会運営事務 議会運営事務事業	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 2 協働によるまちづくりの推進 ①協働の仕組みづくりと意識を高める	295	76	1 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
2001	1							
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 自衛官募集事務事業 自衛官募集事務事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ①防災体制を強化する	254	66	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
3001	1							
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 総務一般事務費 行政区運営交付金事業	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 1 地域コミュニティ活動の推進 ①地域コミュニティを育成する	289	74	9 その他（評価が困難な事務事業）
3003	1							
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 総務一般事務費 自治連合会交付金事業	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 1 地域コミュニティ活動の推進 ①地域コミュニティを育成する	289	74	9 その他（評価が困難な事務事業）
3003	2							
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 感染症予防対策事業 感染症対策事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実 ②疾病予防を推進する	118	38	9 その他（評価が困難な事務事業）
3008	1							
まちづくり推進課企画調整係	2	1	8	土地利用対策事業 土地利用対策事業 土地利用対策事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 4 土地利用・景観の整備 ①都市計画区域を整備する	204	58	7 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
16001	1							
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 戸籍、住民基本台帳等管理事業 個人番号カード交付事務事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ①適正な情報管理を強化する	271	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
29001	1							
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 一般旅券発給事業 一般旅券発給事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ①適正な情報管理を強化する	273	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
29002	1							
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 外国人登録事業 外国人登録事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ①適正な情報管理を強化する	271	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
29003	1							
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 人口動態調査事業 人口動態調査事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ①適正な情報管理を強化する	272	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
29004	1							
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 住民票等コンビニ交付サービス導入事業 住民票等コンビニ交付サービス導入事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ①適正な情報管理を強化する	271	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
29005	1							
選挙管理委員会事務局選挙係	2	4	1	選挙管理委員会事業 選挙管理委員会事業 選挙管理委員会事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ②広聴・広報活動を充実する	277	71	1 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
30001	1							
まちづくり推進課企画調整係	2	5	1	統計調査事業 統計調査事業 統計調査事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ①適正な情報管理を強化する	272	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
250001	1							

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合 計画 体系図 ナン バー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号	枝番			細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
社会福祉課福祉監査係	3	1	1	民生・児童委員関係事業 民生・児童委員関係交付金 民生・児童委員活動費等交付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実 ②災害時における地域福祉を支援する	127	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
41001	1							
社会福祉課福祉監査係	3	1	1	民生・児童委員関係事業 民生・児童委員関係事務費 民生・児童委員関係事務事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実 ②災害時における地域福祉を支援する	127	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
41003	1							
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	地域生活支援事業 福祉ホーム運営補助金 福祉ホーム運営補助事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	9 その他（評価が困難な事務事業）
43012	1							
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 身体障害者自立支援医療費給付事業 身体障害者自立支援医療費給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44006	1							
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 介護給付・訓練等給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011	1							
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 高額介護サービス事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011	2							
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 特定障害者特別給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011	3							
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 計画相談支援給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011	4							
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 障害児通所給付通所給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011	5							
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 障害児通所給付高額介護サービス事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011	6							
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 障害児通所給付相談支援給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
44011	7							
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 児童発達支援等利用者負担給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	9 その他（評価が困難な事務事業）
44011	8							
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 その他障害福祉サービス事務費 身体障害者福祉協議会補助事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ②地域生活支援拠点等の整備と充実	160	46	9 その他（評価が困難な事務事業）
44012	1							

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合 計画 体系図 ナン バー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号	枝番			細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
市民生活課国保年金係	3	1	3	国民年金事務取扱事業 国民年金事務取扱事業 国民年金事務取扱事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実 ③国民年金制度の健全な運営を推進する	167	48	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
45001	1							
市民生活課国保年金係	3	1	6	国民健康保険特別会計繰出事業 国民健康保険特別会計繰出事業 国民健康保険特別会計繰出事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実 ②国民健康保険制度の健全な運営を推進する	164	48	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
49001	1							
高齢者福祉課介護保険係	3	2	4	介護保険事業 介護サービス利用者支援事業 介護サービス利用者支援事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 4 高齢者福祉の充実 ①介護サービスを充実する	143	44	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
53001	1							
高齢者福祉課介護保険係	3	2	4	介護保険事業 介護保険特別会計繰出金 介護保険特別会計繰出金事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 4 高齢者福祉の充実 ①介護サービスを充実する	143	44	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
53002	1							
市民生活課国保年金係	3	2	6	後期高齢者医療療養給付等事務事業 後期高齢者医療療養給付等事務事業 後期高齢者医療療養給付等事務事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実 ④後期高齢者医療制度の健全な運営を推進する	171	48	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
55001	1							
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 1号補正給付事業（低所得の子育て世帯）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
409002	2							
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 特別児童扶養手当取扱交付金 特別児童扶養手当取扱交付金事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
56001	1							
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 児童措置費負担金徴収事務 児童措置費負担金徴収事務事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
56002	1							
子育て支援課子ども支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 児童福祉事務費 子育て支援従事者スキルアップ事業補助事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	134	42	9 その他（評価が困難な事務事業）
56005	2							
子育て支援課子ども支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 児童福祉事務費 保育補助者雇上強化事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	9 その他（評価が困難な事務事業）
56005	5							
子育て支援課子ども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 保育対策等促進事業 病後児保育事業委託事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	135	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
57013	1							
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 子育て世代包括支援センター事業 不妊治療助成事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
57015	10							
子育て支援課子ども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点） 感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	129	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
57017	1							

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合 計画 体系図 ナン バー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号	枝番			細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
子育て支援課こども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（病児・病後児保育） 感染症予防対策事業（病児・病後児保育）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
57018	1							
子育て支援課こども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（延長保育） 感染症予防対策事業（延長保育）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
57021	1							
子育て支援課こども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（一時預かり保育） 感染症予防対策事業（一時預かり保育）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
57022	1							
子育て支援課こども支援係	3	3	1	児童手当事業 児童手当事業 児童手当事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
58002	1							
子育て支援課こども支援係	3	3	1	放課後児童健全育成事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	132	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
59002	1							
子育て支援課こども支援係	3	3	2	教育・保育施設運営事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
61006	1							
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	児童扶養手当給付事業 児童扶養手当給付事業 児童扶養手当給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
63001	1							
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子生活支援施設措置事業 母子生活支援施設措置事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
64001	1							
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子・父子家庭自立支援給付金事業 母子・父子家庭自立支援給付金事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
64002	1							
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子寡婦福祉資金貸付金徴収事務 母子寡婦福祉資金貸付金徴収事務	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
64003	1							
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子・父子自立支援事業 母子・父子自立支援事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
64006	1							
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	ひとり親家庭医療助成事業 ひとり親家庭医療助成事業 ひとり親家庭医療助成事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
65001	1							
子育て支援課こども支援係	3	3	4	児童館管理運営事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	132	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
66004	1							

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合計画体系図ナンバー	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号	枝番			細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
子育て支援課こども支援係	3	3	4	児童館管理運営事業 感染症予防対策事業（遊働型地域子育て支援拠点） 感染症予防対策事業（遊働型地域子育て支援拠点）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	132	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
66006	1							
子育て支援課緒方保育園	3	3	5	公立教育・保育施設管理運営事業 感染症予防対策事業（緒方保育園） 感染症予防対策事業（緒方保育園）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
67004	1							
子育て支援課緒方保育園	3	3	5	公立教育・保育施設管理運営事業 感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点） 感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点）	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	129	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
67005	1							
社会福祉課生活保護係	3	4	2	生活保護事業 生活保護費 生活保護（扶助費）事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実 ①低所得者福祉を充実する	162	48	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
69001	1							
社会福祉課福祉監査係	3	5	1	災害救助事業 災害緊急援助事業 災害緊急援助事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実 ②災害時における地域福祉を支援する	128	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
70001	1							
社会福祉課福祉監査係	3	5	1	災害救助事業 災害被災者住宅再建支援事業 災害被災者住宅再建支援事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実 ②災害時における地域福祉を支援する	128	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
70002	1							
市民生活課親子健康係	4	1	1	母子保健事業 保健衛生総務事業 骨髄移植ドナー支援事業助成事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実 ③地域医療環境を充実する	122	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
71007	1							
市民生活課親子健康係	4	1	1	母子保健事業 保健衛生総務事業 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実 ③地域医療環境を充実する	122	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
71007	2							
子育て支援課こども支援係	4	1	1	子ども医療費助成事業 未熟児養育医療費助成事業 未熟児養育医療費助成事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
73002	1							
市民生活課健康づくり支援係	4	1	2	予防接種事業 新型コロナウイルスワクチン予防接種事業 新型コロナウイルスワクチン予防接種事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実 ②疾病予防を推進する	117	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
76005	1							
環境衛生課環境衛生係	4	1	3	環境衛生事業 奥嶽川水質監視事務委託事業 奥嶽川水質監視事務委託事業	VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち 2 環境保全の推進 ①環境保全対策を推進する	403	100	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
78001	1							
上下水道課工務係／管理係	4	1	5	水道事業 水道事業 水道事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備 ①上水道等を整備する	187	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
80001	1							
上下水道課工務係／管理係	4	2	2	生活排水処理事業 浄化槽法に関する事務 浄化槽法に関する事務事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備 ②生活排水処理を推進する	192	54	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
83003	1							

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合 計画 体系図 ナンバ ー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号	枝番							
上下水道課工務係/ 管理係	4	2	2	生活排水処理事業 農業集落排水事業 農業集落排水事業	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備 ②生活排水処理を推進する	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
83004	1							
上下水道課工務係/ 管理係	4	2	2	生活排水処理事業 公共下水道事業 公共下水道事業	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備 ②生活排水処理を推進する	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
83005	1							
上下水道課工務係/ 管理係	4	2	2	生活排水処理事業 浄化槽市町村整備推進事業 浄化槽市町村整備推進事業	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備 ②生活排水処理を推進する	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
83006	1							
上下水道課工務係/ 管理係	4	2	2	生活排水処理事業 生活排水事務費 生活排水事務事業	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備 ②生活排水処理を推進する	193	54	7 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
83007	1							
農業委員会事務局農 地管理係	6	1	1	農業委員会事業 農業者年金事務取扱事業 農業者年金事務取扱事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ⑤農地利用の最適化を推進する	38	24	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
87002	1							
農業委員会事務局農 地管理係	6	1	1	農業委員会事業 農地売買支援事業 農地売買支援事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ⑤農地利用の最適化を推進する	38	24	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
87004	1							
農業振興課農業振興 係	6	1	4	園芸振興事業 大規模園芸リース団地整備事業 ブランドを育む園芸産地育成支援事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ②収益力の向上をめざした生産振興	10	23	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
95003	1							
農業振興課農業振興 係	6	1	4	園芸振興事業 野菜価格安定対策事業 野菜価格安定対策事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ②収益力の向上をめざした生産振興	10	23	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
95004	1							
農業振興課農業振興 係	6	1	4	園芸振興事業 団体負担金 団体負担金事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ②収益力の向上をめざした生産振興	10	23	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
95006	1							
農業振興課農業振興 係	6	1	4	園芸振興事業 園芸振興事務費 園芸振興事務事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ②収益力の向上をめざした生産振興	10	23	7 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
95010	1							
建設課建設企画係	8	2	1	道路橋梁総務事業 道路橋梁総務事業 道路台帳作成整備委託事業	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち 1 交通ネットワークの整備 ①市道を整備する	175	52	9 その他（評価が困難な事務事業）
121001	1							
建設課建設企画係	8	2	1	道路橋梁総務事業 道路橋梁総務事業 県営道路事業負担金事業	III 豊かな暮らしと安心を実感できるまち 1 交通ネットワークの整備 ②国道・県道の整備を促進する	178	52	4 国県が河川、道路等を直轄で行う事業で、市がその経費の一部を法律等で負担しなければならない負担金事業
121001	2							
学校教育課教育総務 係	10	1	1	教育委員会運営事業 教育委員会運営事業 教育委員会運営事業	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 2 協働によるまちづくりの推進 ①協働の仕組みづくりと意識を高める	295	76	1 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
136001	1							

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合 計画 体系図 ナンバ	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号	枝番			細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
学校教育課教育総務係	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業 人権・部落差別解消教育研究大会補助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
137001	1							
学校教育課教育総務係	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業 三重総合高校の明日を拓く会補助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ⑤高等学校を支援する	339	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
137001	2							
学校教育課教育総務係	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業 奨学金返還支援補助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	338	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
137001	4							
学校教育課教育総務係	10	1	2	教育委員会事務局事業 基金運営管理事業 基金運営管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	333	84	7 事務管理費／特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
137002	1							
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 日本スポーツ振興センター事業 日本スポーツ振興センター事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ③安心安全な教育環境をつくる	336	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138001	1							
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 学校教育振興協議会補助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004	1							
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 中学校体育連盟補助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004	2							
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 教員業務サポートスタッフ活用事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004	4							
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 「生理の貧困」対策事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004	6							
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 著作物使用料	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	333	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
138004	7							
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 学力向上指導員	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	333	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004	8							
学校教育課学校教育係	10	1	3	就学援助事業 要保護児童生徒援助事業 要保護児童生徒援助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
139001	1							
学校教育課学校教育係	10	1	3	就学援助事業 特別支援教育就学奨励事業 特別支援教育就学奨励事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
139002	1							

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業	政策	総合 計画 体系図 ナン バー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号	枝番			細事業 実施計画事業	施策 施策展開			
学校教育課学校教育係	10	1	3	就学援助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	337	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
139003	1			就学援助事業 就学援助事業	1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する			
学校教育課教育総務係	10	1	3	遠距離通学運営事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	337	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
140001	1			スクールバス運行管理事業 スクールバス運行管理事業	1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する			
学校教育課教育総務係	10	1	3	遠距離通学運営事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	337	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
140002	1			遠距離通学事業 遠距離通学事業	1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001	1			小学校一般管理事業 学校教育援助員活用事業	1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001	2			小学校一般管理事業 学校司書活用事業	1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001	3			小学校一般管理事業 学校主事活用事業	1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001	4			小学校一般管理事業 学校図書主事活用事業	1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する			
学校教育課教育総務係	10	2	1	小学校施設維持管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	334	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
258001	1			小学校施設維持管理事業 小学校施設維持管理事業	1 学校教育の充実 ③安心安全な教育環境をつくる			
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
259001	2			中学校一般管理事業 学校司書活用事業	1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
259001	3			中学校一般管理事業 学校主事活用事業	1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
259001	4			中学校一般管理事業 学校図書主事活用事業	1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する			
学校教育課教育総務係	10	3	1	中学校施設維持管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	334	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
260001	1			中学校施設維持管理事業 中学校施設維持管理事業	1 学校教育の充実 ③安心安全な教育環境をつくる			
学校教育課学校教育係	10	3	2	中学校教育振興事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
148002	1			中学校教育振興事業 各種大会等出場補助事業	1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する			

VI 課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合 計画 体系図 ナン バー	後期 基本 計画 ページ	評価対象外の理由
事業番号	枝番							
学校教育課学校教育係	10	4	1	幼稚園一般管理事業 幼稚園一般管理事業 子育てのための施設等利用給付事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	332	84	2 国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
261001	2							
学校教育課教育総務係	10	4	1	幼稚園施設維持管理事業 幼稚園施設維持管理事業 幼稚園施設維持管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ③安心安全な教育環境をつくる	334	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
262001	1							
社会教育課社会教育係	10	5	1	社会教育総務事業 社会教育総務事業 社会教育指導員活用事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ①生涯学習を推進する	341	86	9 その他（評価が困難な事務事業）
152001	1							
社会教育課社会教育係	10	5	2	公民館管理運営事業 公民館施設管理事業 公民館施設管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ②公民館機能を充実する	347	86	9 その他（評価が困難な事務事業）
154001	1							
社会教育課社会教育係	10	5	2	公民館管理運営事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ②公民館機能を充実する	347	86	9 その他（評価が困難な事務事業）
154004	1							
社会教育課文化財係	10	5	4	文化財保護事業 埋蔵文化財調査事業（単独） 埋蔵文化財調査事業（単独）	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 5 文化財等の保存・継承 ①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進	372	92	9 その他（評価が困難な事務事業）
157002	1							
社会教育課スポーツ推進係	10	6	2	スポーツ施設管理事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興 ②スポーツ施設を整備する	359	88	9 その他（評価が困難な事務事業）
161002	1							
農林整備課基盤整備係	11	1	1	農業用施設災害復旧事業 農業用施設災害復旧事業 農業用施設災害復旧事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ⑥農業生産基盤を整備する	41	24	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
163001	1							
農林整備課基盤整備係	11	1	1	農業用施設災害復旧事業 農地等災害復旧支援事業 農地等災害復旧支援事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ⑥農業生産基盤を整備する	41	24	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
163003	1							
農林整備課基盤整備係	11	1	2	林業用施設災害復旧事業 林業用施設災害復旧事業 林業用施設災害復旧事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 2 林業の振興 ②林業生産基盤を整備する	57	26	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
164001	1							
建設課道路保全係	11	2	1	道路橋梁河川災害復旧事業 補助災害復旧事業 補助災害復旧事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ③災害対策を強化する	260	66	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
165001	1							
建設課道路保全係	11	2	1	道路橋梁河川災害復旧事業 単独災害復旧事業 単独災害復旧事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ③災害対策を強化する	260	66	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
165002	1							
財政課財政係	12	1	1	借入金償還事業 借入金償還事業 借入金償還事業	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 4 主体的で計画的な行財政運営の推進 ②健全な財政運営と財政基盤の強化	314	80	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
167001	1							